

杉並区高齢者実態調査報告書

- 日常生活圏域二一ズ調査
- 介護保険に関する調査

平成29年3月

杉 並 区

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の種類及び対象者	3
3. 調査実施方法	3
4. 回収結果	3
5. 地域区分	4
6. 報告書を見る際の注意事項	4
第2章 日常生活圏域ニーズ調査	5
I. 要支援・要介護を受けていない人への調査	7
1. 回答者の属性	9
(1) 調査票の記入者、対象者の性別・年齢	9
(2) 介助・介護の必要有無	11
2. 家族・生活の状況について	12
(1) 家族構成	12
(2) 日中にひとりでのいる頻度	14
(3) 親族との会話・連絡の頻度	15
(4) 主な収入の種類	16
(5) 世帯の収入額	17
3. 住まいについて	18
(1) 居住形態	18
(2) 将来希望する介護形態	20
(3) 家賃・介護費用負担可能額	22
(4) 在宅生活のために必要なサービス	24

4. 社会参加について.....	25
(1) 社会参加の有無.....	25
(2) 生きがいを感じるかについて.....	26
(3) 現在やっている活動.....	28
(4) 今後やってみたい活動.....	30
(5) 近所の方との付き合いの有無.....	32
5. 日常生活について.....	34
(1) 日常生活で行っていること（その1）.....	34
(2) 日常生活で行っていること（その2）.....	35
(3) 情報取得に利用している機器.....	36
(4) 情報取得の目的.....	37
(5) 外出の頻度.....	38
(6) 外出の機会が増えるために必要なもの.....	39
(7) 家での過ごし方.....	40
(8) 1日の食事の回数.....	41
(9) ほかの人と食事をともにする機会の有無.....	42
(10) 日常生活で手助けをしてほしいこと.....	43
(11) 日常生活で手助けをしてほしい相手.....	45
(12) 地域の生活支援サービスの認知度.....	46
(13) NPOや近所の人の手助けの要否.....	47
(14) NPOや近所の人に手伝ってもらいたくない理由.....	48
6. 記憶・判断について.....	49
(1) 記憶・判断について.....	49
(2) 認知機能の分析結果.....	50
7. 健康について.....	51
(1) 主観的な健康感について.....	51
(2) 健康に気を使っていること.....	52
(3) 悩みやストレスの有無.....	53
(4) 悩みやストレスの原因.....	55
(5) 生活の中で不安に思ったときの相談先.....	56
(6) 通院・往診の状況.....	57
(7) 通院・往診の頻度.....	59

(8) 服用している薬の種類	60
(9) 1年以内の入院の有無	61
8. その他	62
(1) 地域包括支援センター（ケア24）の認知度	62
(2) 地域包括支援センター（ケア24）の利用有無	64
(3) 長寿応援ポイント事業の認知度	66
(4) 長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加有無	67
(5) 長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加後の生活の変化	68
(6) 長寿応援ポイントシールがもらえる活動に参加していない理由	69
(7) 長寿応援ポイントシールがもらえる活動に参加したことがない理由	70
(8) 介護保険の認定	71
(9) 介護保険サービスと保険料のあり方について	72
(10) 今後、充実した方が良くと思う高齢者施策について	73
9. 社会的孤立の状況について	74
10. 高齢者の福祉についてのご意見・ご要望	75
II. 要支援1・2の認定を受けた人への調査	79
1. 回答者の属性	81
(1) 調査票の記入者、対象者の性別・年齢	81
(2) 介助・介護の必要有無	83
2. 家族・生活の状況について	84
(1) 家族構成	84
(2) 日中にひとりでの頻度	86
(3) 親族との会話・連絡の頻度	87
(4) 主な収入の種類	88
(5) 世帯の収入額	89
3. 住まいについて	90
(1) 居住形態	90
(2) 将来希望する介護形態	92
(3) 家賃・介護費用負担可能額	94
(4) 在宅生活のために必要なサービス	96

4. 社会参加について.....	97
(1) 社会参加の有無.....	97
(2) 生きがいを感じるかについて.....	98
(3) 現在やっている活動.....	100
(4) 今後やってみたい活動.....	102
(5) 近所の方との付き合いの有無.....	104
5. 日常生活について.....	106
(1) 日常生活で行っていること（その1）.....	106
(2) 日常生活で行っていること（その2）.....	107
(3) 情報取得に利用している機器.....	108
(4) 情報取得の目的.....	109
(5) 外出の頻度.....	110
(6) 外出の機会が増えるために必要なもの.....	111
(7) 家での過ごし方.....	112
(8) 1日の食事の回数.....	113
(9) ほかに人と食事をともにする機会の有無.....	114
(10) 日常生活で手助けをしてほしいこと.....	115
(11) 日常生活で手助けをしてほしい相手.....	117
(12) 地域の生活支援サービスの認知度.....	118
(13) NPOや近所の人の手助けの要否.....	119
(14) NPOや近所の人に手伝ってもらいたくない理由.....	120
6. 記憶・判断について.....	121
(1) 記憶・判断について.....	121
(2) 認知機能の分析結果.....	122
7. 運動機能について.....	123
(1) 運動機能について.....	123
(2) 転倒リスクの分析結果.....	124
8. 健康について.....	125
(1) 主観的な健康感について.....	125
(2) 健康に気を使っていること.....	126
(3) 悩みやストレスの有無.....	127

(4) 悩みやストレスの原因.....	129
(5) 生活の中で不安に思ったときの相談先.....	130
(6) 通院・往診の状況.....	131
(7) 通院・往診の頻度.....	133
(8) 服用している薬の種類.....	134
(9) 1年以内の入院の有無.....	135
9. 介護保険サービスの利用・制度について.....	136
(1) 介護保険の認定.....	136
(2) 介護保険サービスの利用有無.....	137
(3) 介護保険サービスを利用していない理由.....	138
(4) 介護保険サービスと保険料のあり方について.....	139
10. その他.....	140
(1) 今後、充実した方が良いと思う高齢者施策について.....	140
(2) 長寿応援ポイント事業の認知度.....	141
(3) 長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加有無.....	142
(4) 長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加後の生活の変化.....	143
(5) 長寿応援ポイントシールがもらえる活動に参加していない理由.....	144
(6) 長寿応援ポイントシールがもらえる活動に参加したことがない理由.....	145
11. 介助・介護者への設問.....	146
(1) 介護保険サービスによる負担の軽減感.....	146
(2) 介助・介護のことで困ったときの相談先.....	147
(3) 介助・介護者が必要とするサービス.....	148
12. 社会的孤立の状況について.....	149
13. 高齢者の福祉についてのご意見・ご要望.....	150
III. ニーズ調査の経年比較.....	153
1. ニーズ調査の経年比較.....	155
(1) 主な収入の種類.....	155
(2) 世帯の収入額.....	156
(3) 居住形態.....	157
(4) 生きがいを感じるかについて.....	158

(5) 現在やっている、または今後やってみたいこと	159
(6) 近所の方との付き合いの有無	160
(7) 外出の頻度	161
(8) 主観的な健康感について	162
(9) 健康に気を使っていること	163
(10) 悩みやストレスの有無	164
(11) 悩みやストレスの原因	165
(12) 生活の中で不安に思ったときの相談先	166
(13) 長寿応援ポイント事業の認知度	167
第3章 介護保険に関する調査	169
1. 回答者の属性	171
(1) 調査票の記入者、対象者の性別・年齢	171
(2) 家族構成	174
(3) 現在の要介護度	176
2. 日常生活の状況について	177
(1) 日常生活における自立度	177
(2) 生活の中で不安に思ったときの相談先	178
3. 健康について	179
(1) 通院・往診の状況	179
(2) 通院・往診の頻度	180
(3) 往診の内容	181
4. サービスの利用状況	182
(1) 介護保険サービスの利用有無	182
(2) 介護保険サービスを利用していない理由	184
(3) ショートステイの利用有無	186
(4) ショートステイを利用できないときの対応	188
(5) 介護保険の地域密着型サービスの認知度	189
(6) 地域密着型サービスについての利用希望	190
(7) 高齢者在宅サービスの利用有無	193
5. 住まいについて	194
(1) 居住形態	194

(2) 現在の住居が在宅生活に適しているかについて	195
(3) 現在の住居が在宅生活に適していない理由	197
6. 施設入所について	198
(1) 施設入所の希望	198
(2) 入所を希望する施設	200
(3) 入所を希望する理由	202
7. 介護保険制度について	205
(1) 介護保険サービスの満足度	205
(2) 介護保険料の負担感	207
(3) 介護保険サービスと保険料のあり方について	209
(4) 介護保険サービス利用費のお知らせの確認有無	211
(5) ケアマネジャーの事業所を知った経緯	212
(6) 今後、区が力を入れていくべきと思う施策	213
8. 介助・介護者への設問	214
(1) 主な介護者	214
(2) 主な介護者の性別	214
(3) 主な介護者の年齢	215
(4) 主な介護者の健康状態	217
(5) 主な介護者の高齢者ご本人との同居の状況	218
(6) 主な介護者の介護の時間帯	219
(7) 主な介護者の介護年数	220
(8) 主な介護者以外の介護者の有無	222
(9) 介護保険による介護負担の軽減感	224
(10) 介護者から見た介護保険の満足度	226
(11) 介護をする上で困っていること	228
(12) 介護に関する相談先	230
(13) 介護者が必要とするサービス	231
(14) 介護者の仕事の有無・介護休暇制度の利用有無	233
(15) 介護者の状況	234
(16) 今後の在宅介護の見通し	235
(17) 「こころの健康チェック」の分析結果	237
(18) 本人と衝突した経験	238
(19) 本人の認知状況について	241

9. 社会的孤立の状況について.....	242
10. 高齢者の福祉についてのご意見・ご要望.....	243
資料 調査票.....	245

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、保健福祉計画策定、第 7 期介護保険事業計画策定、地域包括ケアシステム構築及び今後の高齢者施策検討のための基礎調査として実施した。

2. 調査の種類及び対象者

本調査では「日常生活圏域ニーズ調査」「介護保険に関する調査」の 2 種類の調査を実施した。各調査の対象者については下表に示すとおりとする。なお、「日常生活圏域ニーズ調査」については「①要支援・要介護認定を受けていない第 1 号被保険者」、「②要支援 1・2 の認定を受けた第 1 号被保険者」において、調査内容が一部異なるため、それぞれ別の調査票を使用した。

図表 1 調査の種類及び対象者

調査種類	対象者の条件		対象者数	調査時期
日常生活圏域 ニーズ調査	①要支援・要介護認定を受けていない第 1 号被保険者	7 地域別※に無作為抽出	3,000 名	平成 28 年 9 月 15 日 ～10 月 14 日
	②要支援 1・2 の認定を受けた第 1 号被保険者	7 地域別※に無作為抽出	3,000 名	
介護保険に関する調査	要介護認定者のうち、施設サービス受給者を除いた第 1 号被保険者	7 地域別※・要介護度別に無作為抽出	4,000 名	平成 28 年 10 月 1 日 ～10 月 31 日

※「7 地域別」の区分については「5. 地域区分」を参照

3. 調査実施方法

本調査は、郵送（配布、回収）によるアンケート調査とした。

4. 回収結果

本調査での回収結果は下表に示すとおりである。

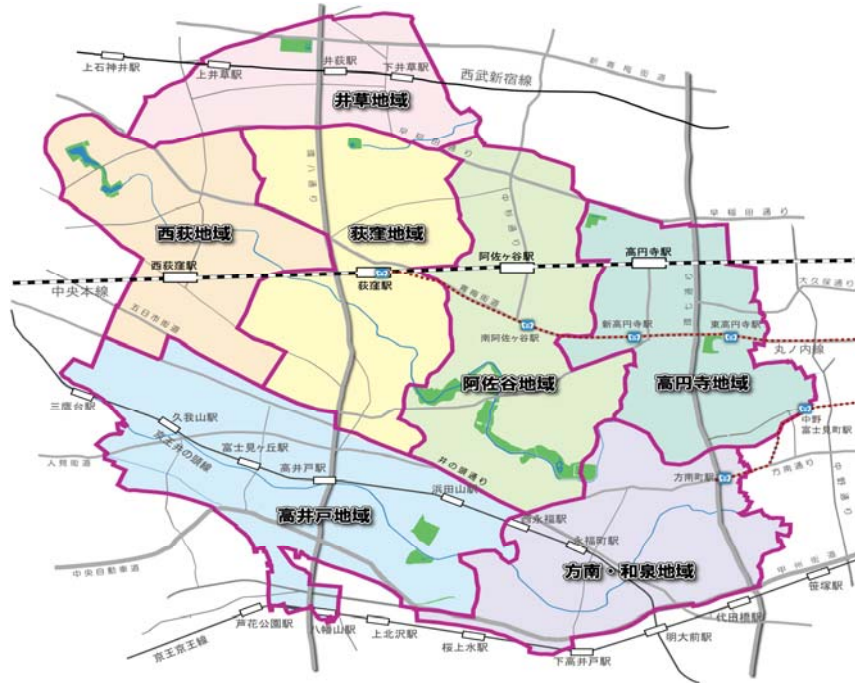
図表 2 回収結果

調査名		発送数	回収数	回収率
日常生活圏域ニーズ調査	①要支援・要介護認定を受けていない第 1 号被保険者	3,000 件	2,123 件	70.7%
	②要支援 1・2 の認定を受けた第 1 号被保険者	3,000 件	2,242 件	74.7%
介護保険に関する調査		4,000 件	2,355 件	58.8%

5. 地域区分

本調査で用いた地域区分は以下の 7 区域である。

図表 3 各地域の説明



地域名	地域の説明
井草地域	西武新宿線沿線の上井草、井荻、下井草の 3 駅を中心とした地域
西荻地域	JR 中央線の西荻窪駅を中心とした地域
荻窪地域	JR 中央線の荻窪駅を中心とした地域
阿佐谷地域	JR 中央線の阿佐ヶ谷駅を中心とした地域
高円寺地域	JR 中央線の高円寺駅を中心とした地域
高井戸地域	京王井の頭線の久我山、富士見ヶ丘、高井戸、浜田山の 4 駅を中心とした地域
方南・和泉地域	京王井の頭線の西永福、永福町の 2 駅と地下鉄丸ノ内線の方南町駅を中心とした地域

6. 報告書を見る際の注意事項

- (1) 基数となるべき実数 (n) は、設問に対する回答者数である。
- (2) 回答の比率 (%) は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると 100.0%にならない場合がある。
- (3) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (4) クロス集計の合計は、当該質問に対する全ての内訳ではないので、全体の合計とは合わない場合がある。
- (5) 回答数が 30 未満と少ないものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。

第2章 日常生活圏域ニーズ調査

I. 要支援・要介護を受けていない人への調査

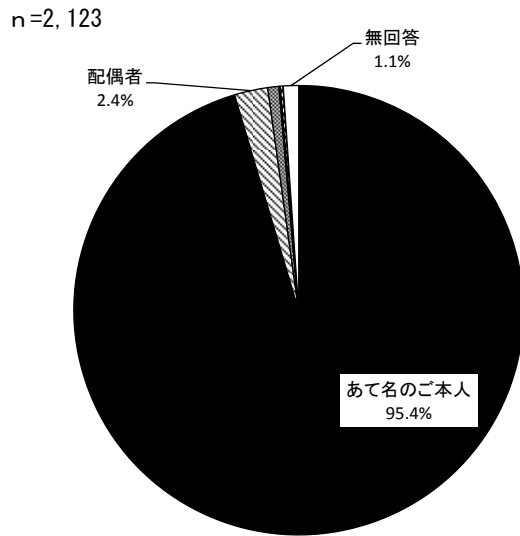
1. 回答者の属性

(1) 調査票の記入者、対象者の性別・年齢

○調査票の記入者

問1 この調査票を記入するのはどなたですか。

図表1-1 調査票の記入者

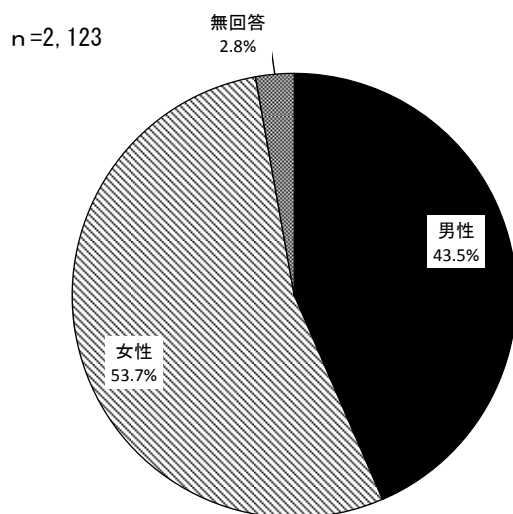


	基数	構成比
あて名のご本人	2025	95.4%
配偶者	50	2.4%
子	18	0.8%
子の配偶者	2	0.1%
兄弟姉妹	4	0.2%
その他	1	0.0%
無回答	23	1.1%
全体	2123	100.0%

○対象者の性別

問2 あなたの性別は。(1つに○)

図表2-1 対象者の生活場所

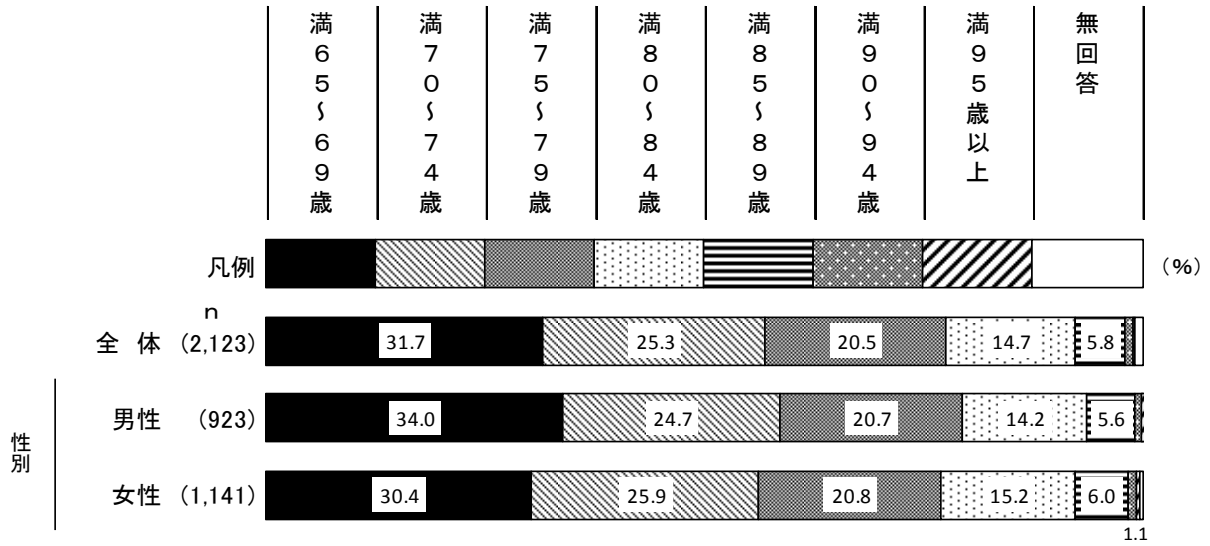


	基数	構成比
男性	923	43.5%
女性	1141	53.7%
無回答	59	2.8%
全体	2123	100.0%

○対象者の年齢

問3 あなたの年齢は。(1つに○)

図表3-1 対象者の年齢(性別)

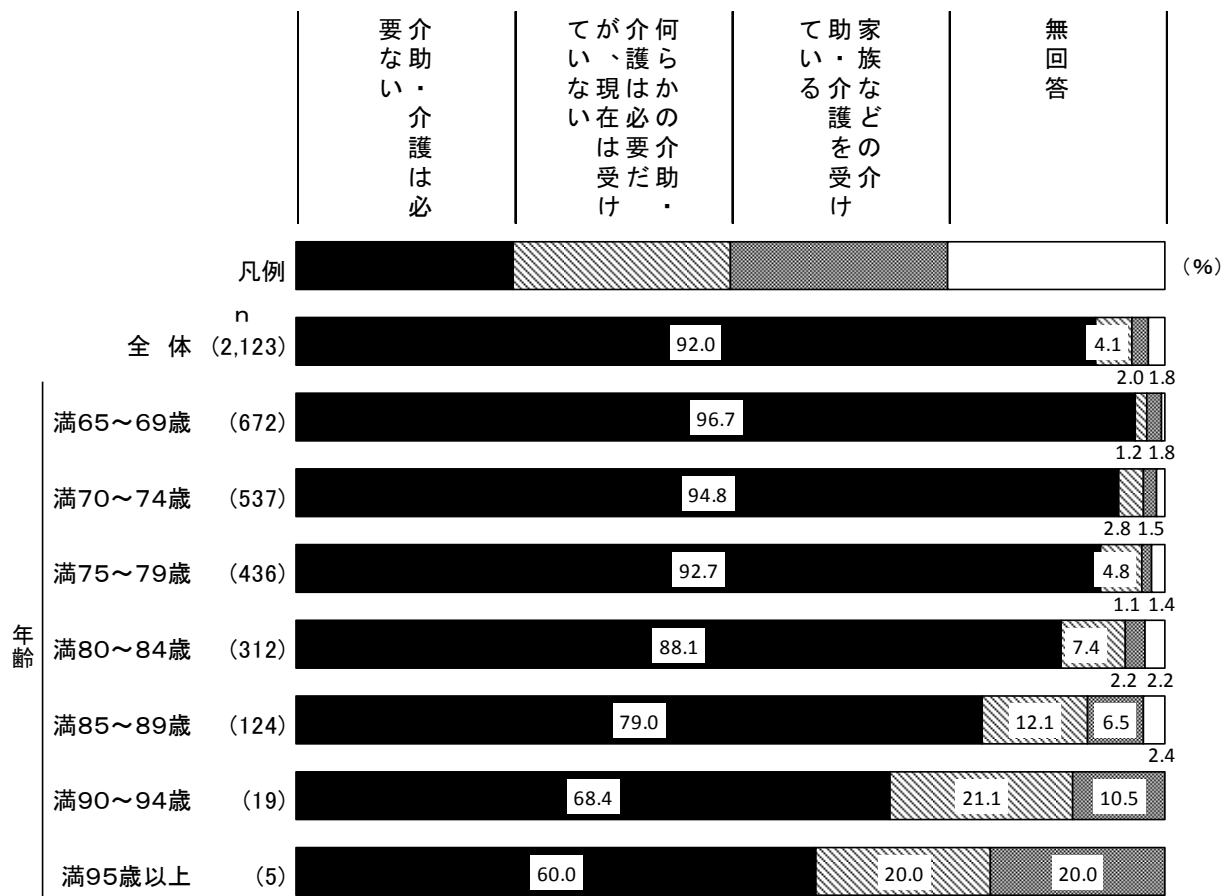


(2) 介助・介護の必要有無

問4 普段、どなたかの介助・介護が必要ですか。(1つに○)

「介助・介護は必要ない」が92.0%、「何らかの介助・介護は必要だが、現在は受けていない」が4.1%

図表4-1 介助・介護の必要有無 (年齢別)



介助・介護の必要有無・状況について、「介助・介護は必要ない」が92.0%と最も多く、次いで「何らかの介助・介護は必要だが、現在は受けていない」(4.1%)、「家族などの介助・介護を受けている」(2.0%)で続いている。

年齢別でみると、「介助・介護は必要ない」は年齢が高くなるに従って少なくなる傾向がみられる。
(図表4-1)

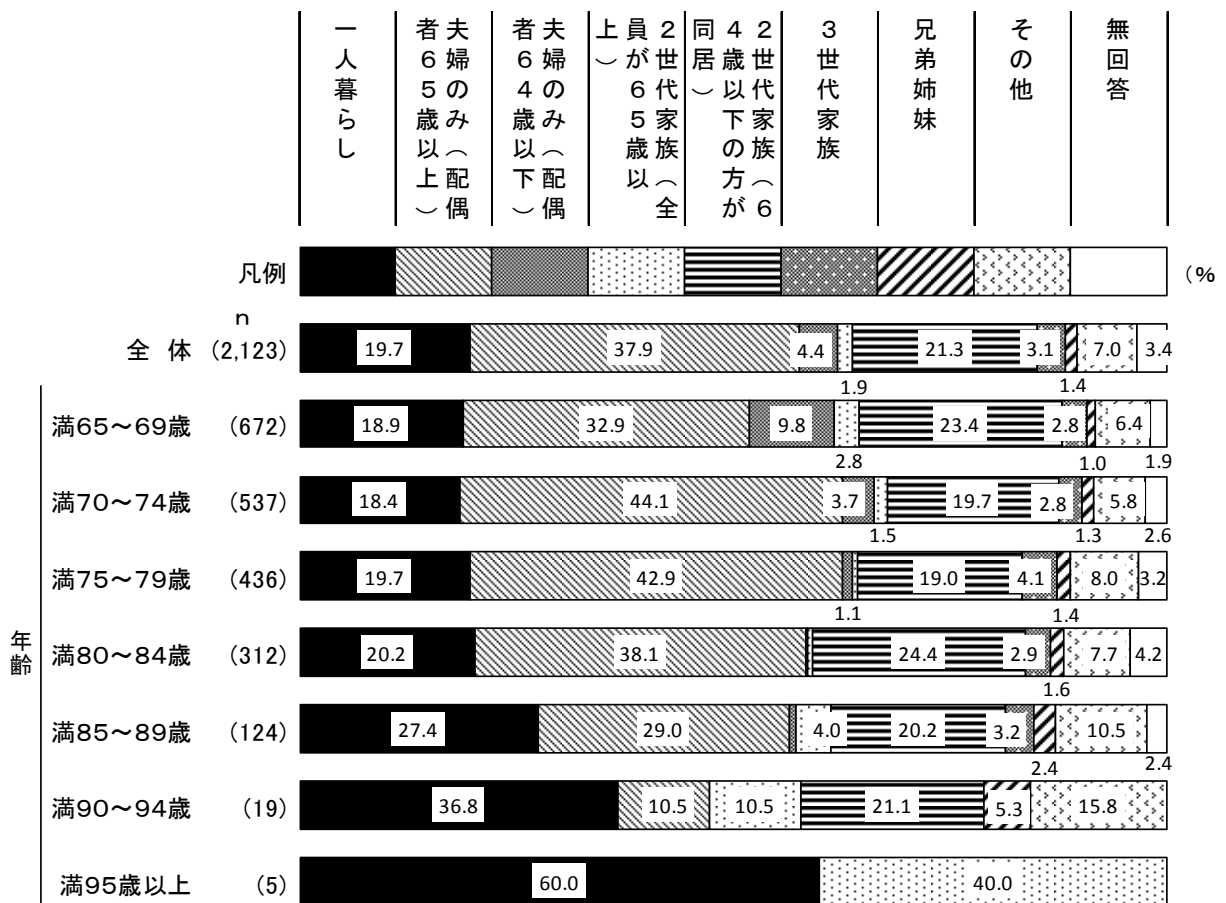
2. 家族・生活の状況について

(1) 家族構成

問5 一緒に暮らしている家族の構成を教えてください。(1つに○)

「夫婦のみ(配偶者65歳以上)」が37.9%、「2世代家族(64歳以下の方が同居)」が21.3%

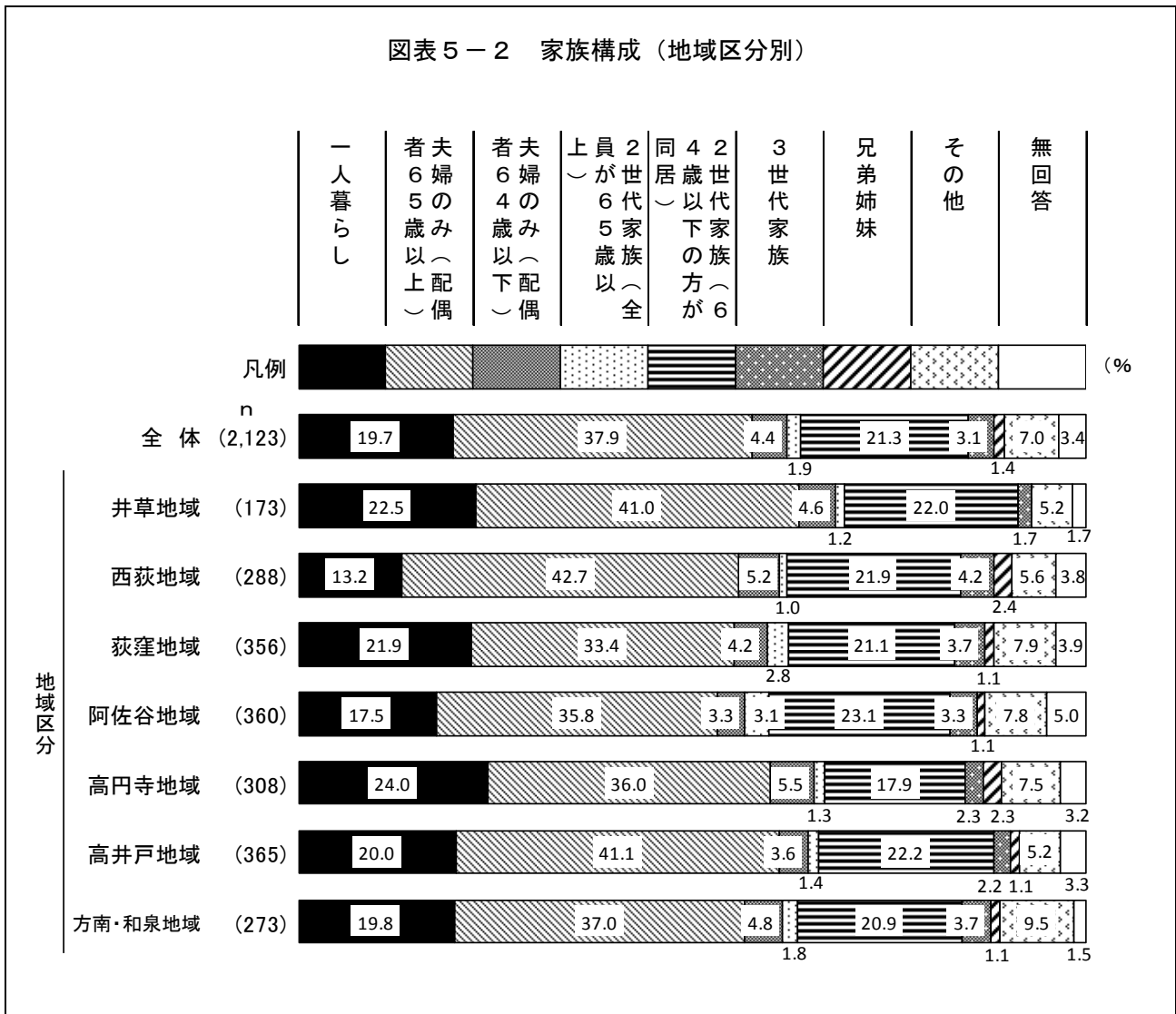
図表5-1 家族構成(年齢別)



家族構成については、「夫婦のみ世帯(配偶者65歳以上)」が37.9%と最も多く、次いで「2世代家族(64歳以下の方が同居)」(21.3%)、「一人暮らし」(19.7%)となっている。

年齢別でみると、「夫婦のみ世帯(配偶者65歳以上)」は「満70~74歳」が44.1%と最も多く、次いで「満75~79歳」(42.9%)、「満80~84歳」(38.1%)が続いている。また、「一人暮らし」は年齢が高くなるに従って多くなる傾向がみられる。(図表5-1)

図表5-2 家族構成（地域区分別）



地域区分別でみると、「夫婦のみの世帯（配偶者65歳以上）」は「西荻地域」が42.7%と最も多く、次いで、「高井戸地域」（41.1%）、「井草地域」（41.0%）が続いている。

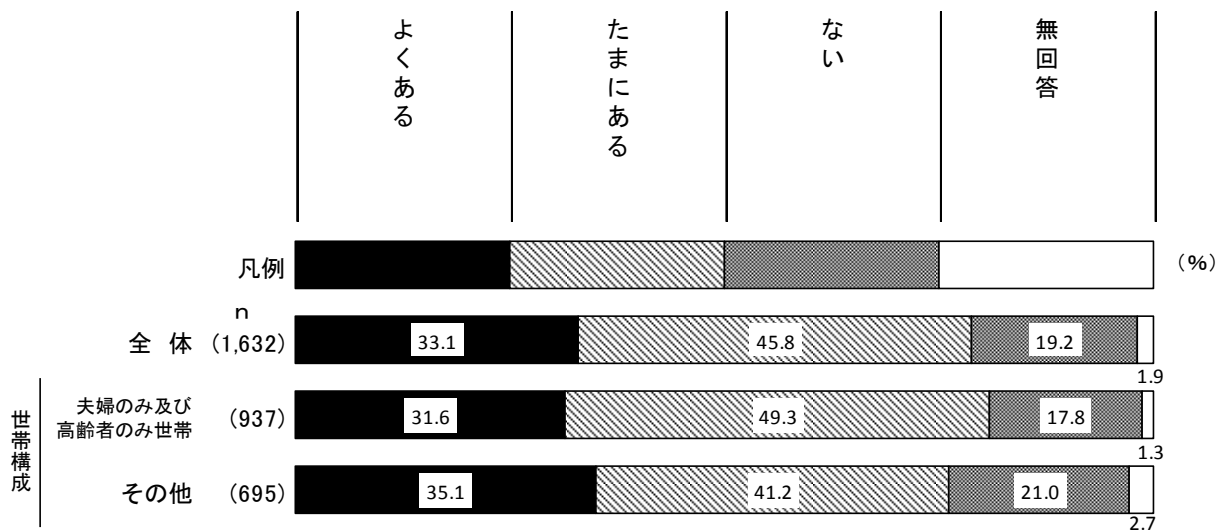
また、「一人暮らし」「夫婦のみ（配偶者65歳以上）」「2世代家族（全員が65歳以上）」を合計した、「高齢者のみ世帯」の割合は、「井草地域」（64.7%）をはじめ、「高井戸地域」（62.5%）、「高円寺地域」（61.3%）で6割を超えている。（図表5-2）

(2) 日中にひとりでのいる頻度

問6 日中、ひとりになることがありますか。(1つに○)

「たまにある」が45.8%、「よくある」が33.1%。日中にひとりでのいることがある人は、78.9%。

図表6-1 日中にひとりでのいる頻度（世帯構成別）



日中にひとりでのいる頻度について、「たまにある」が45.8%と最も多く、次いで「よくある」(33.1%)、「ない」(19.2%)と続いている。

世帯構成別でみると、「よくある」と「たまにある」を合わせた『ひとりでのいることがある』は「夫婦のみ及び高齢者のみ世帯」(80.9%)がそれいがいその他(76.3%)より4.6ポイント多くなっている。

(図表6-1)

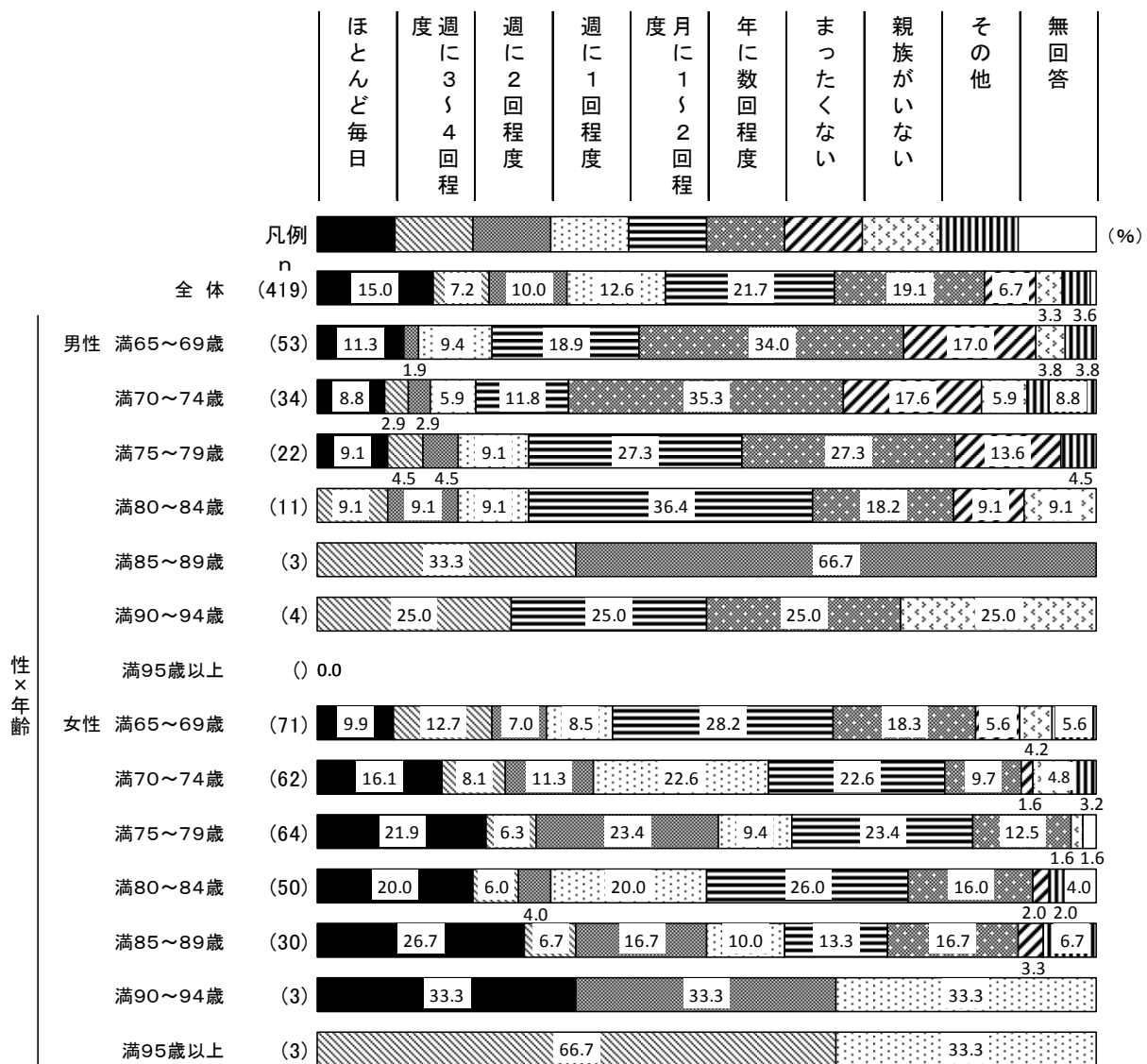
(3) 親族との会話・連絡の頻度

問7 (問5で「1.一人暮らし」と回答された方におたずねします。)

お子さんや兄弟姉妹など親族の方とは、どのくらいの頻度で会ったり、電話などで連絡をとっていますか。(1つに○)

「月に1～2回程度」が21.7%、「年に数回程度」が19.1%。

図表7-1 親族との会話・連絡の頻度 (性×年齢別)



親族との会話・連絡の頻度について、「月に1～2回程度」が21.7%と最も多く、次いで「年に数回程度」(19.1%)、「ほとんど毎日」(15.0%)で続いている。

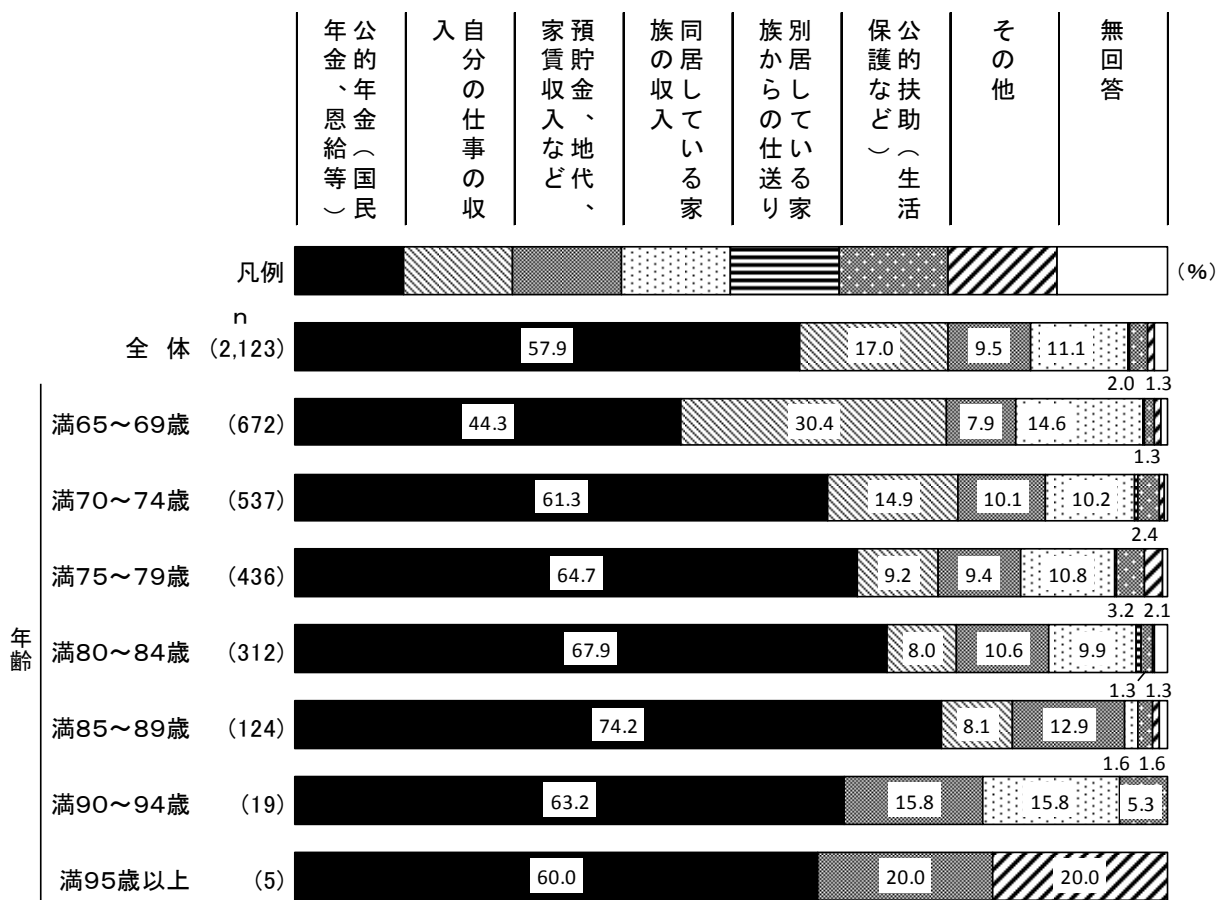
性・年齢別でみると、満65～69歳の男性の「まったくくない」の割合が17.0%、同年代の女性の割合が5.6%であるというのを筆頭に、男性はどの年代においても女性より「まったくくない」の割合が高い。これにより、女性に比べ男性は親族とのかかわりが少ないことがわかる。(図表7-1)

(4) 主な収入の種類

問8 あなたの生活を支えている主な収入はどれですか。(1つに○)

「公的年金(国民年金・恩給等)」が57.9%、「自分の仕事の収入」が17.0%、「同居している家族の収入」が11.1%。

図表8-1 主な収入の種類(年齢別)



主な収入の種類については、「公的年金(国民年金・恩給等)」が57.9%と最も多く、次いで「自分の仕事の収入」(17.0%)、「同居している家族の収入」(11.1%)が続いている。

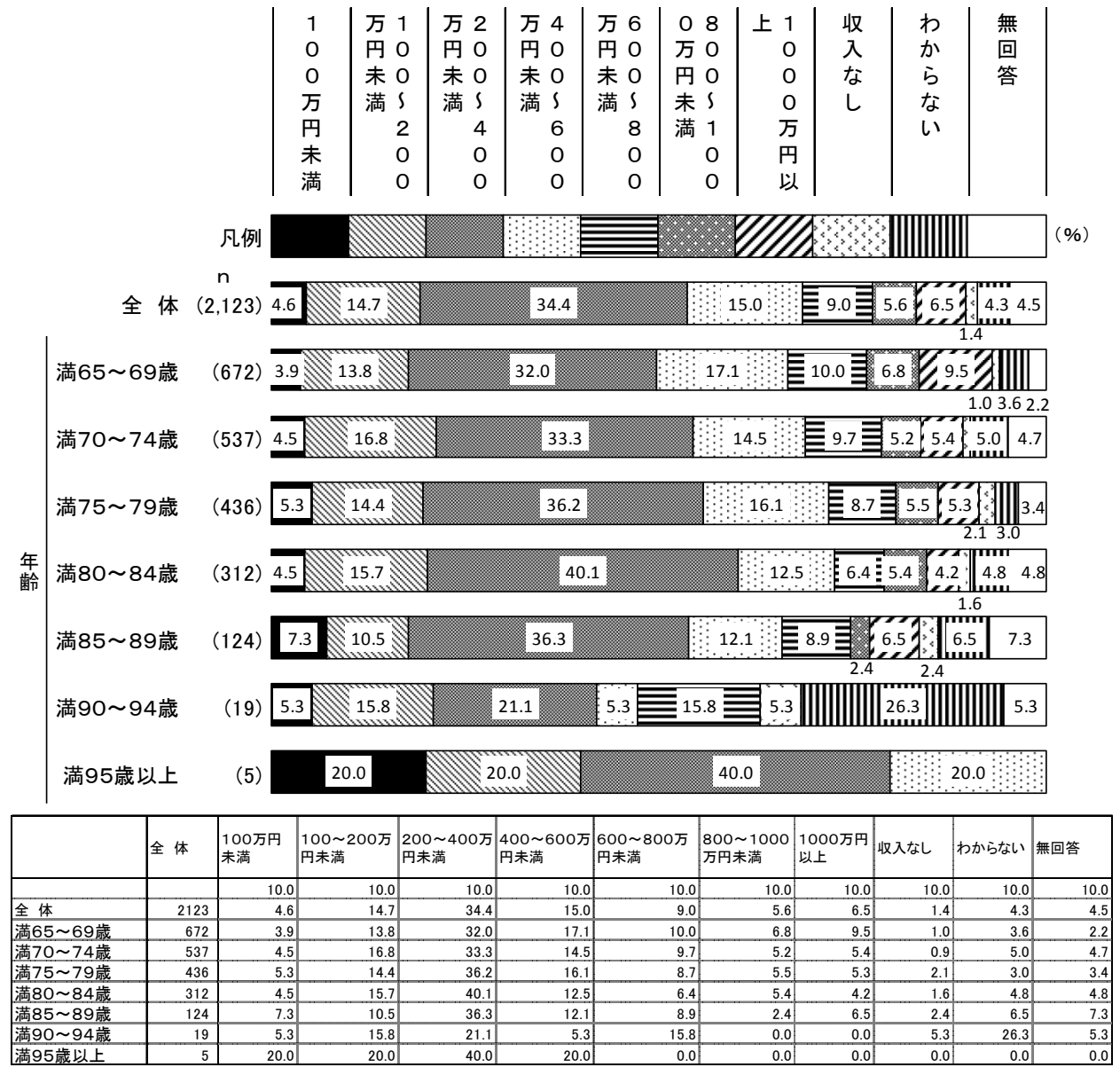
年齢別でみると、「公的年金(国民年金・恩給等)」は満85~89歳が74.2%と最も多く、次いで満80~84歳(67.9%)、満75~79歳(64.7%)が続いている。一方、「自分の仕事の収入」は満65~69歳が30.4%と最も多くなっている。(図表8-1)

(5) 世帯の収入額

問9 昨年1年間の世帯(同居するご家族すべてを含む)の収入はどのくらいでしたか。(1つに○)

「200~400万円未満」が34.4%、「400~600万円未満」が15.0%

図表9-1 世帯の収入額(年齢別)



世帯の収入額については、「200~400万円未満」が34.4%と最も多く、次いで「400~600万円未満」(15.0%)、「100~200万円未満」(14.7%)と続いている。

年齢別でみると、「200~400万円未満」は満80~84歳が40.1%と最も多く、次いで満85~89歳(36.3%)、満75~79歳(36.2%)と続いている。(図表9-1)

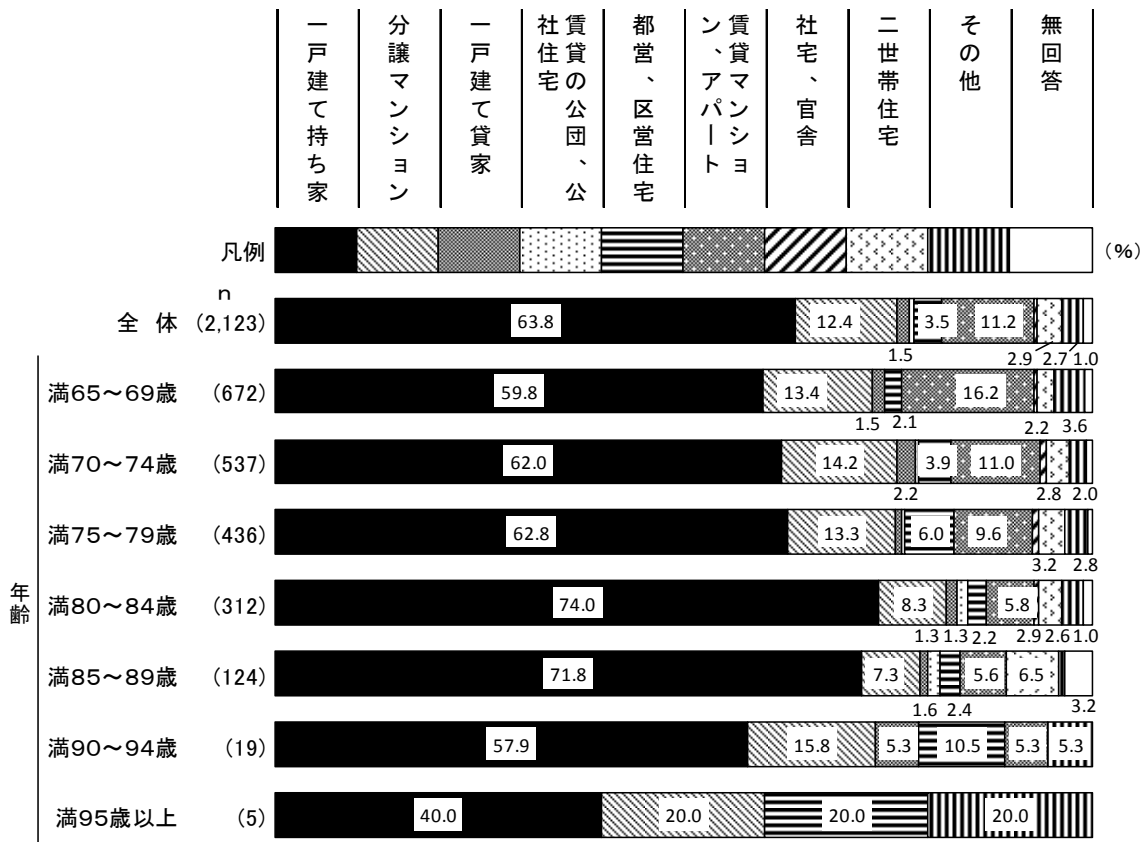
3. 住まいについて

(1) 居住形態

問10 お住まいは次のうちどれですか。(1つに○)

「一戸建て持ち家」が63.8%、「分譲マンション」が12.4%、一人暮らし世帯では「賃貸マンション・アパート」が28.9%。

図表10-1 居住形態（年齢別）

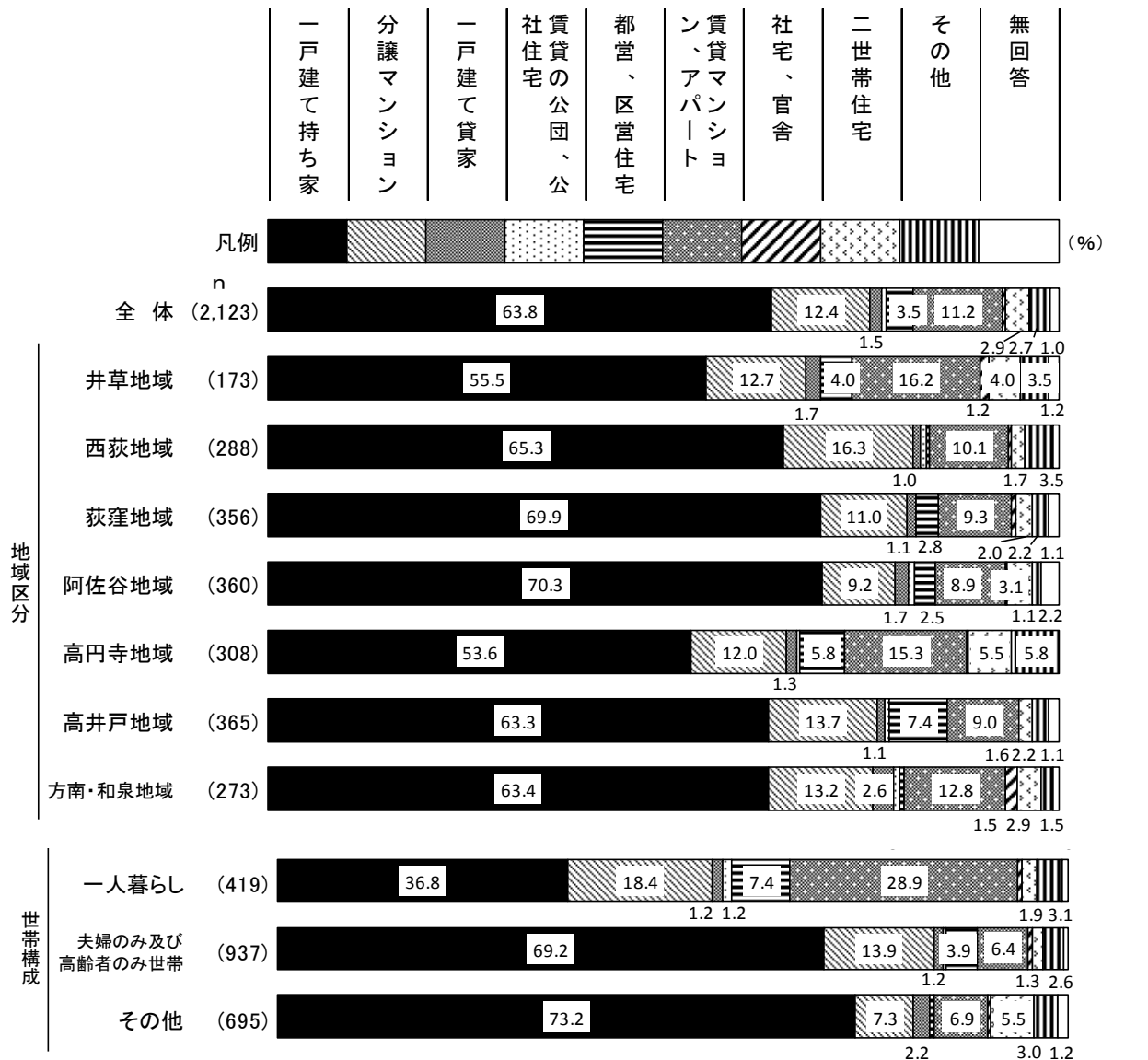


	全体	一戸建て持ち家	分譲マンション	一戸建て貸家	賃貸の公団・公社住宅	都営・区営住宅	賃貸マンション・アパート	社宅・官舎	二世帯住宅	その他	無回答
全体	2123	63.8	12.4	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
満65～69歳	672	59.8	12.4	1.5	0.5	3.5	11.2	0.5	2.9	2.7	1.0
満70～74歳	537	62.0	14.2	2.2	0.0	2.1	16.2	0.3	2.2	3.6	0.9
満75～79歳	436	62.8	13.3	0.7	0.5	6.0	9.6	0.7	3.2	2.8	0.5
満80～84歳	312	74.0	8.3	1.3	1.3	2.2	5.8	0.6	2.9	2.6	1.0
満85～89歳	124	71.8	7.3	0.8	1.6	2.4	5.6	0.0	6.5	0.8	3.2
満90～94歳	19	57.9	15.8	5.3	0.0	10.5	5.3	0.0	0.0	5.3	0.0
満95歳以上	5	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0

住居形態については、「一戸建て持ち家」が63.8%と最も多く、次いで「分譲マンション」(12.4%)、「賃貸マンション・アパート」(11.2%)と続いている。

年齢別でみると、「一戸建て持ち家」は満80～84歳が74.0%と最も多く、次いで満85～89歳(71.8%)、満75～79歳(62.8%)と続いている。(図表10-1)

図表10-2 居住形態（地域区分別／世帯構成別）



	一戸建て持ち家	分譲マンション	一戸建て貸家	賃貸の公団、公社住宅	都営、区営住宅	賃貸マンション、アパート	社宅、官舎	二世帯住宅	その他	無回答
全体 (2,123)	63.8	12.4	1.5	0.5	3.5	11.2	0.5	2.9	2.7	1.0
井草地域 (173)	55.5	12.7	1.7	0.0	4.0	16.2	1.2	4.0	3.5	1.2
西荻地域 (288)	65.3	16.3	1.0	0.7	0.3	10.1	0.3	1.7	3.5	0.7
荻窪地域 (356)	69.9	11.0	1.1	0.0	2.8	9.3	0.6	2.0	2.2	1.1
阿佐谷地域 (360)	70.3	9.2	1.7	0.8	2.5	8.9	0.3	3.1	1.1	2.2
高円寺地域 (308)	53.6	12.0	1.3	0.3	5.8	15.3	0.3	5.5	5.8	0.0
高井戸地域 (365)	63.3	13.7	1.1	0.5	7.4	9.0	0.0	1.6	2.2	1.1
方南・和泉地域 (273)	63.4	13.2	2.6	0.7	0.7	12.8	1.5	2.9	1.5	0.7
一人暮らし (419)	36.8	18.4	1.2	1.2	7.4	28.9	0.5	1.9	3.1	0.7
夫婦のみ及び高齢者のみ世帯 (937)	69.2	13.9	1.2	0.4	3.9	6.4	0.7	1.3	2.6	0.4
その他 (695)	73.2	7.3	2.2	0.0	0.4	6.9	0.3	5.5	3.0	1.2

地域区分別でみると、「一戸建て持ち家」は「阿佐谷地域」が 70.3%と最も多く、次いで「荻窪地域」(69.9%)、「西荻地域」(65.3%)と続いている。

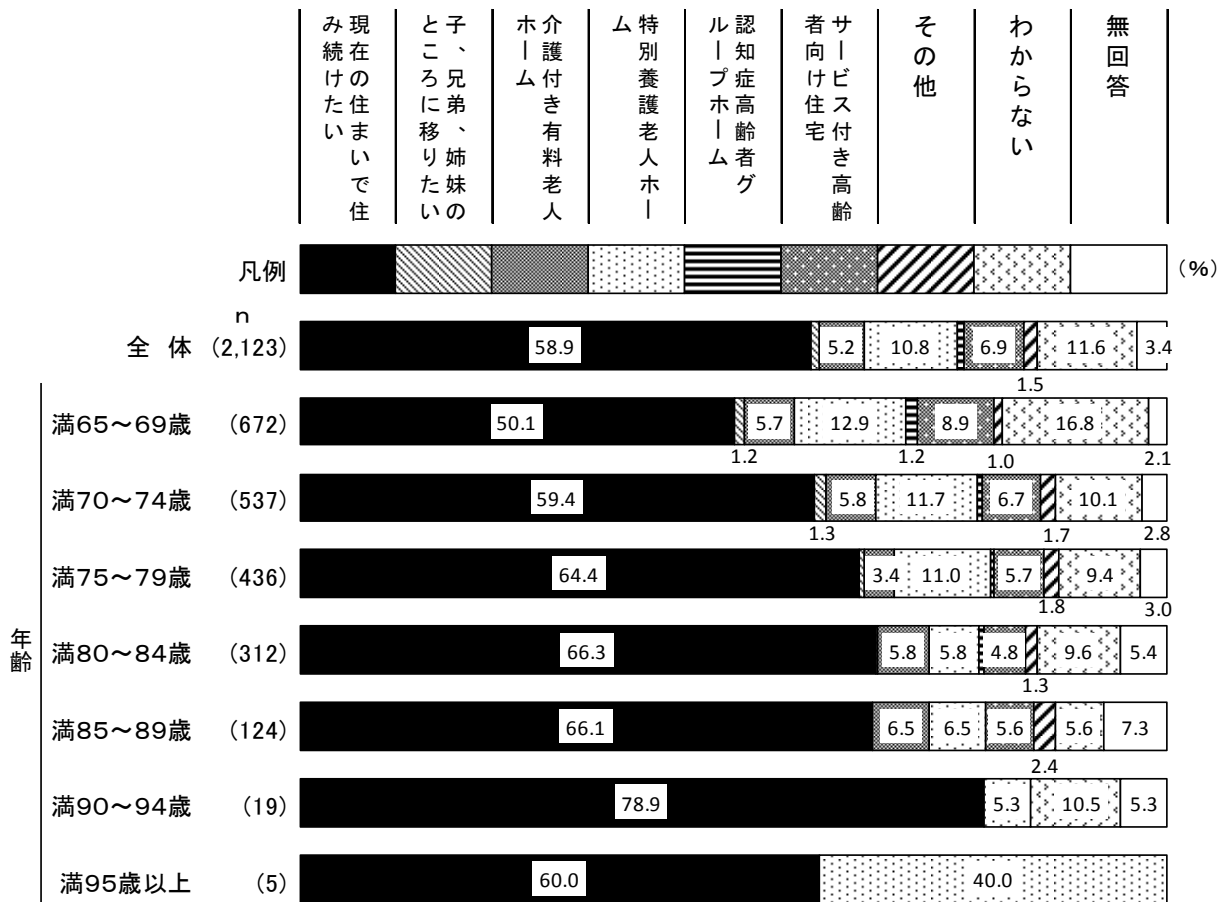
世帯構成別でみると、「賃貸マンション・アパート」は「一人暮らし世帯」(28.9%)が「夫婦のみ及び高齢者のみ世帯」(6.4%)より 22.5ポイント多くなっている。(図表10-2)

(2) 将来希望する介護形態

問1-1 介護が必要になった場合に希望する（今、介護を受けている方は理想と思う）居住形態について一番近いものはどれですか。（1つに○）

「現在の住まいで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい」が58.9%、「介護度が高くなっても所得に応じた費用で入所できる「特別養護老人ホーム」に入りたい」が10.8%

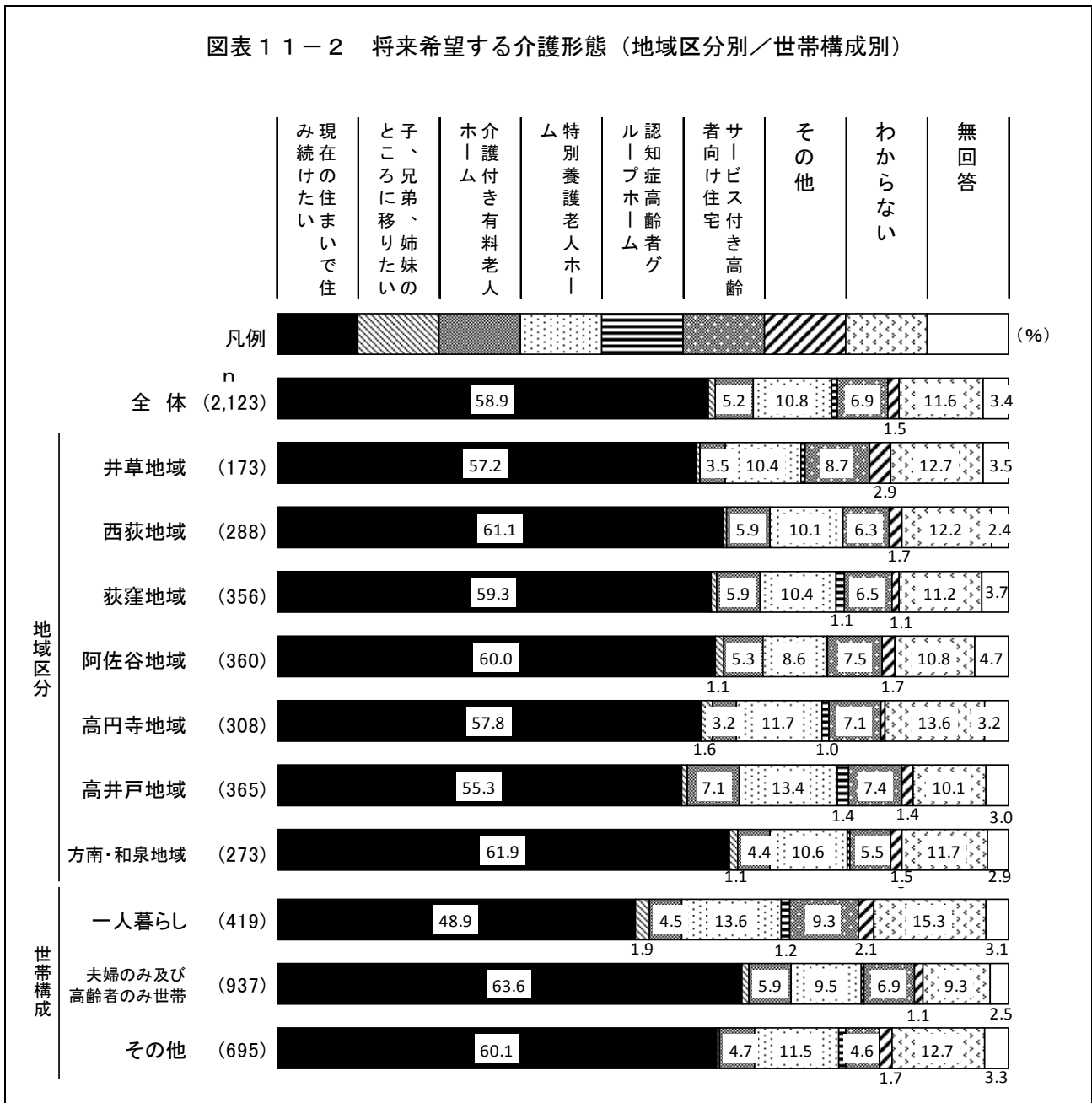
図表 1 1 - 1 将来希望する介護形態（年齢別）



将来希望する介護形態については、「現在の住まいで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい（現在の住まいで住み続けたい）」が58.9%と最も多く、次いで「介護度が高くなっても所得に応じた費用で入所できる「特別養護老人ホーム」に入りたい（特別養護老人ホーム）」（10.8%）となっている。

年齢別でみると、「現在の住まいで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい（現在の住まいで住み続けたい）」は年齢が高くなるに従って多くなる傾向がみられる。（図表 1 1 - 1）

図表 1 1 - 2 将来希望する介護形態（地域区分別／世帯構成別）



地域区分別でみると、「現在の住まいで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい（現在の住まいで住み続けたい）」は「方南・和泉地域」が61.9%と最も多く、次いで「西荻地域」（61.1%）、「阿佐谷地域」（60.0%）と続いている。

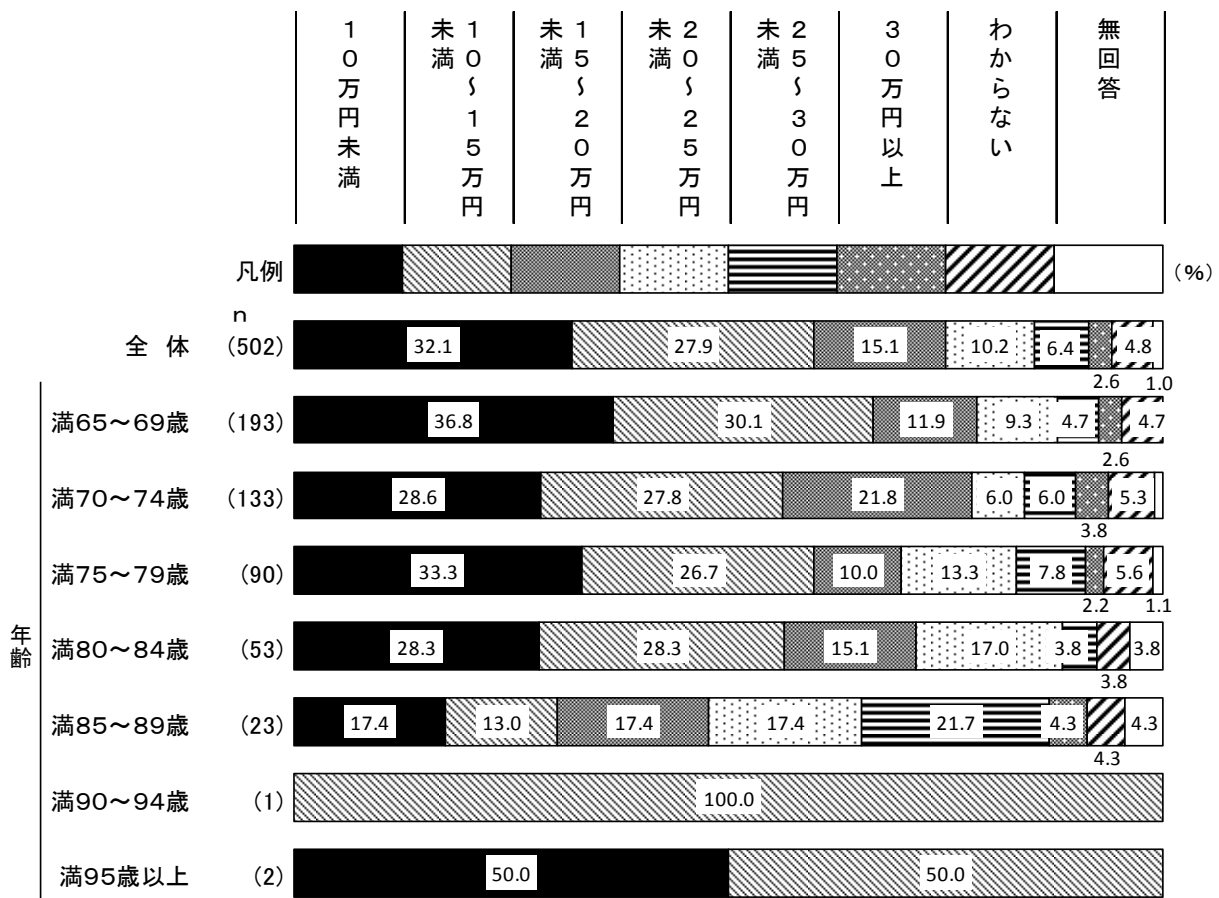
世帯構成別でみると、「現在の住まいで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい（現在の住まいで住み続けたい）」は「夫婦のみ及び高齢者のみ世帯」（63.6%）が「一人暮らし世帯」（48.9%）より14.7ポイント多くなっている。一方、「介護度が高くなっても所得に応じた費用で入所できる「特別養護老人ホーム」に入りたい（特別養護老人ホーム）」は、「一人暮らし世帯」（13.6%）が「夫婦のみ及び高齢者のみ世帯」（9.5%）より4.1ポイント多くなっている。（図表 1 1 - 2）

(3) 家賃・介護費用負担可能額

問12 (問11で「3」「4」「5」「6」と回答された方におたずねします。
家賃・介護費用など月額負担費用はいくらまで可能ですか。(1つに○)

「10万円未満」が32.1%、「10～15万円未満」が27.9%

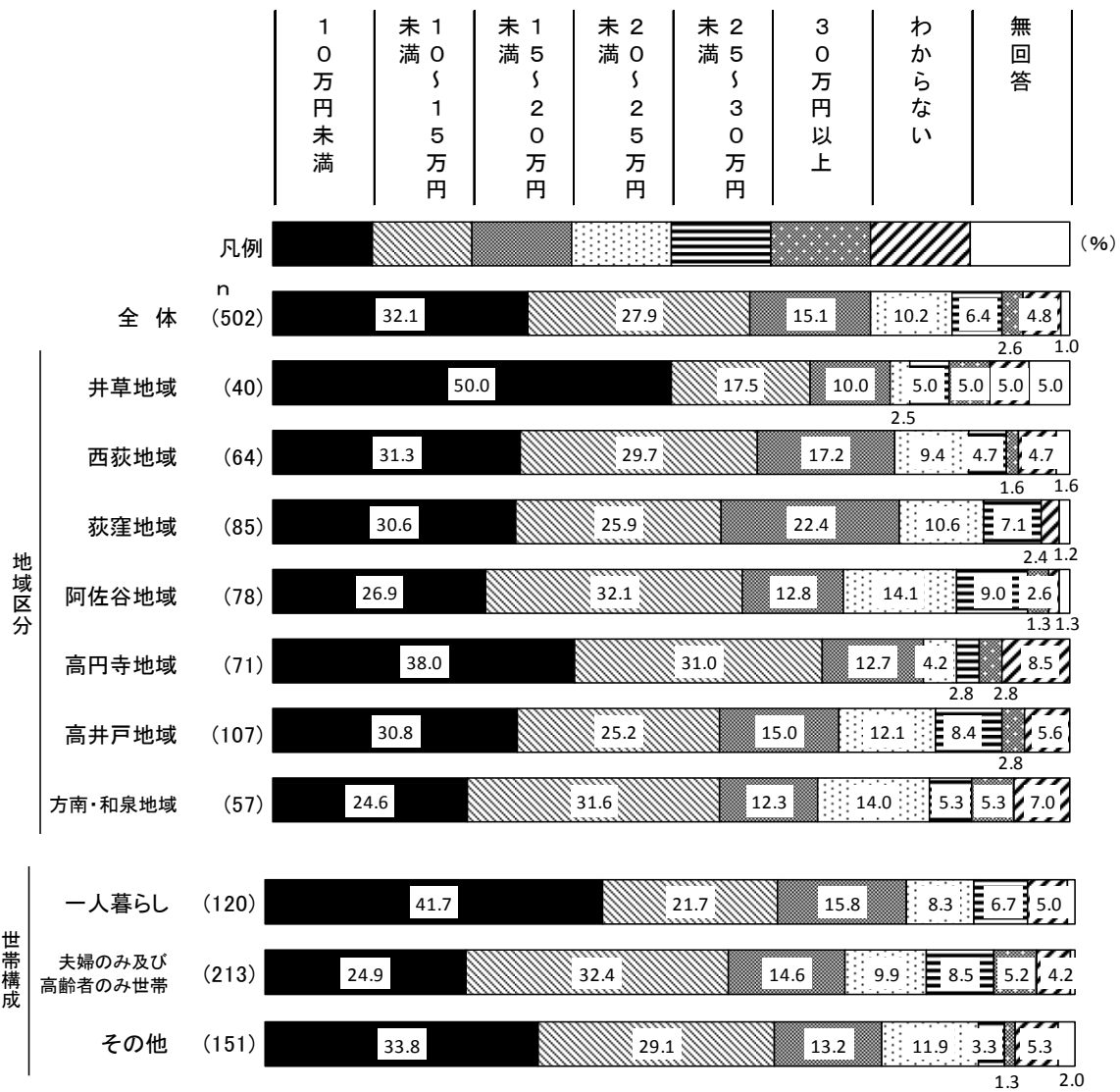
図表12-1 家賃・介護費用負担可能額 (年齢別)



家賃・介護費用負担可能額について、「10万円未満」が32.1%と最も多く、次いで「10～15万円未満」(27.9%)、「15～20万円未満」(15.1%)と続いている。

年齢別でみると、「10万円未満」は満65～69歳(36.8%)が最も多く、次いで満75～79歳(33.3%)、満70～74歳(28.6%)と続いている。(図表12-1)

図表 1 2 - 2 家賃・介護費用負担可能額（地域区分別／世帯構成別）



	10万円未満	10~15万円未満	15~20万円未満	20~25万円未満	25~30万円未満	30万円以上	わからない	無回答
全体 (502)	32.1	27.9	15.1	10.2	6.4	2.6	4.8	1.0
井草地域 (40)	50.0	17.5	10.0	2.5	5.0	5.0	5.0	5.0
西荻地域 (64)	31.3	29.7	17.2	9.4	4.7	1.6	4.7	1.6
荻窪地域 (85)	30.6	25.9	22.4	10.6	7.1	2.4	1.2	1.2
阿佐谷地域 (78)	26.9	32.1	12.8	14.1	9.0	2.6	1.3	1.3
高円寺地域 (71)	38.0	31.0	12.7	4.2	2.8	2.8	8.5	0.0
高井戸地域 (107)	30.8	25.2	15.0	12.1	8.4	2.8	5.6	0.0
方南・和泉地域 (57)	24.6	31.6	12.3	14.0	5.3	5.3	7.0	0.0
一人暮らし (120)	41.7	21.7	15.8	8.3	6.7	0.0	5.0	0.8
夫婦のみ及び高齢者のみ世帯 (213)	24.9	32.4	14.6	9.9	8.5	5.2	4.2	0.5
その他 (151)	33.8	29.1	13.2	11.9	3.3	1.3	5.3	2.0

地域区分別でみると、「10万円未満」は「井草地域」が50.0%と最も多く、次いで「高円寺地域」(38.0%)、「西荻地域」(31.3%)と続いている。

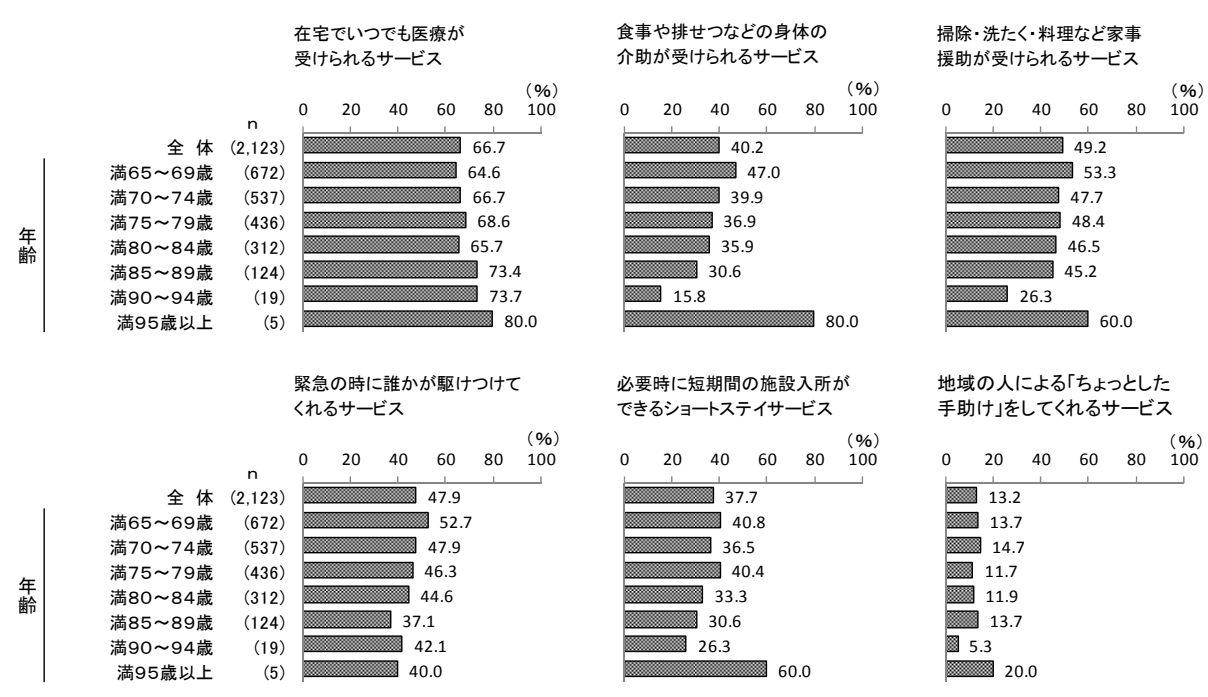
世帯構成別でみると、「10万円未満」は「一人暮らし世帯」(41.7%)が「夫婦のみ及び高齢者のみ世帯」(24.9%)より16.8ポイント多くなっている。(図表12-2)

(4) 在宅生活のために必要なサービス

問13 できるだけ自宅に住み続けるために必要と思われるサービスは何ですか。(いくつでも○)

「在宅でいつでも医療が受けられるサービス」が66.7%、「掃除・洗たく・料理など家事援助が受けられるサービス」が49.2%

図表13-1 在宅生活のために必要なサービス（年齢別）



在宅生活のために必要なサービスについて、「在宅でいつでも医療が受けられるサービス」が 66.7%と最も多く、次いで「掃除・洗たく・料理など家事援助が受けられるサービス」(49.2%)、「緊急の時に誰かが駆けつけてくれるサービス」(47.9%)と続いている。

年齢別でみると、満65～69歳は、「掃除・洗たく・料理など家事援助が受けられるサービス」(53.3%)、「緊急の時に誰かが駆けつけてくれるサービス」(52.7%)、「食事や排せつなどの身体の介助が受けられるサービス」(47.0%)、「必要時に短期間の施設入所ができるショートサービス」(40.8%)で他の年齢層と比較して高い割合となっている。(図表13-1)

4. 社会参加について

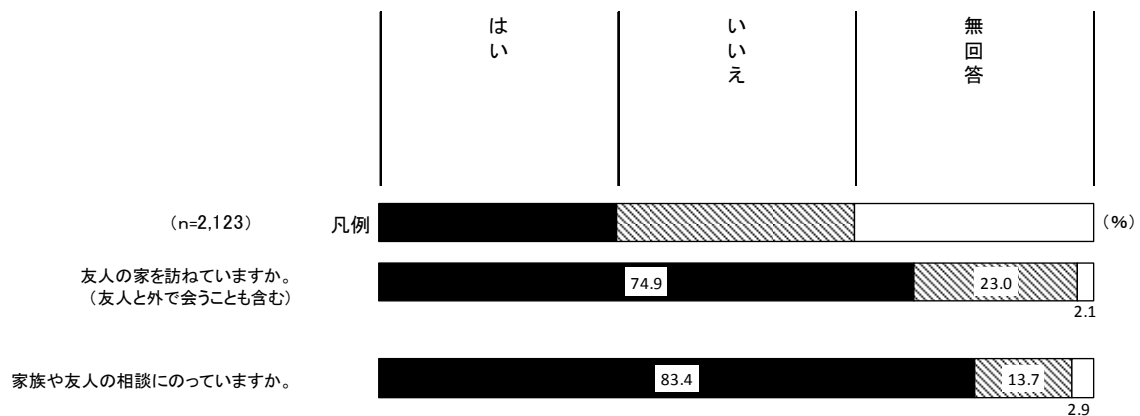
(1) 社会参加の有無

問14 友人の家を訪ねていますか。(友人と外で会うことも含む)

問15 家族や友人の相談にのっていますか。

「はい」の割合は、『家族や友人の相談にのっている』が83.4%、『友人の家をたずねている』が74.9%。

図表14-1 社会参加の有無



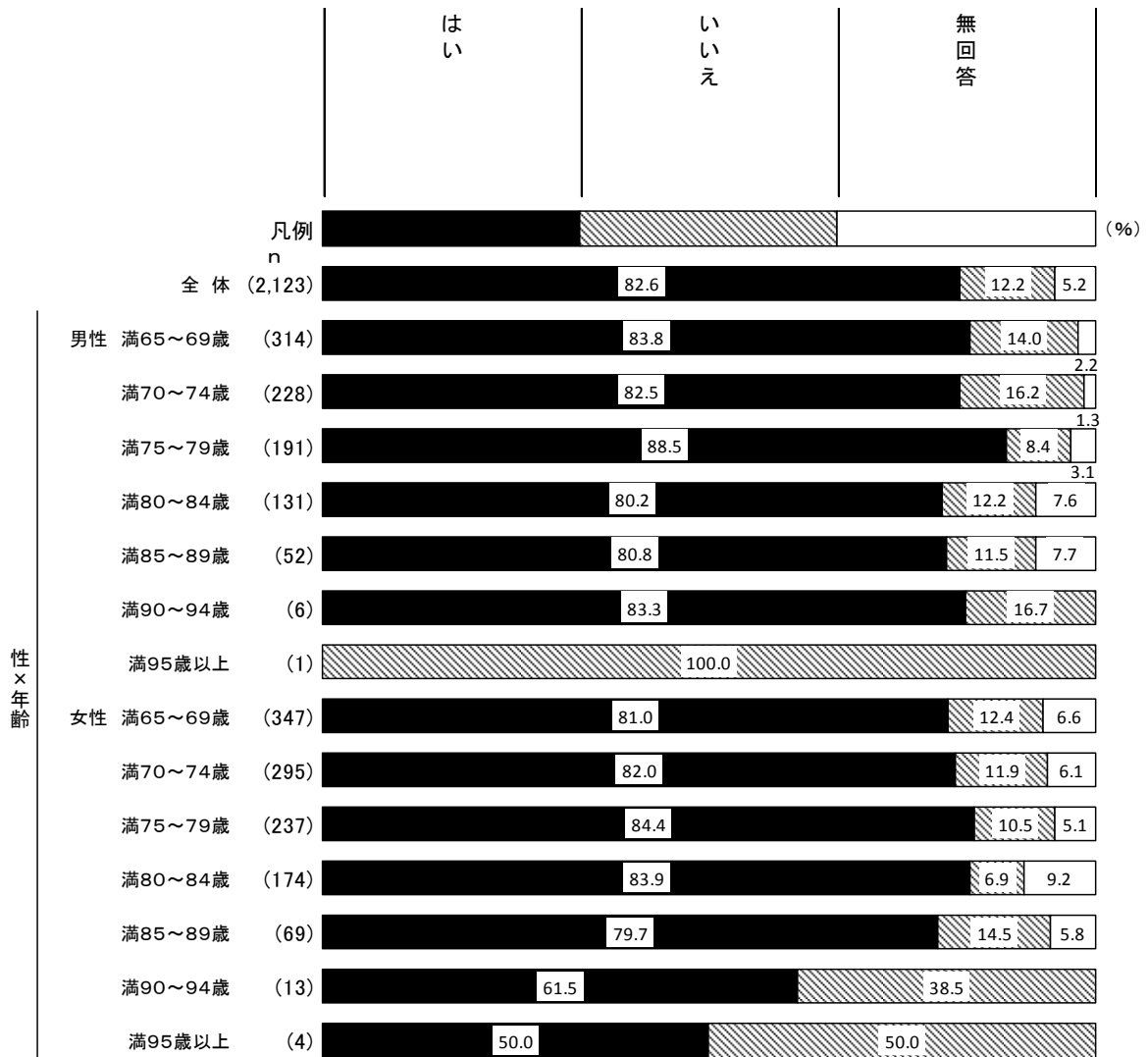
社会参加の有無について、「はい」の割合は、『家族や友人の相談にのっている』が83.4%、『友人の家をたずねている』が74.9%となっている。(図表14-1)

(2) 生きがいを感じるかについて

問16 生きがいを感じていますか。

「はい」が82.6%、「いいえ」が12.2%。

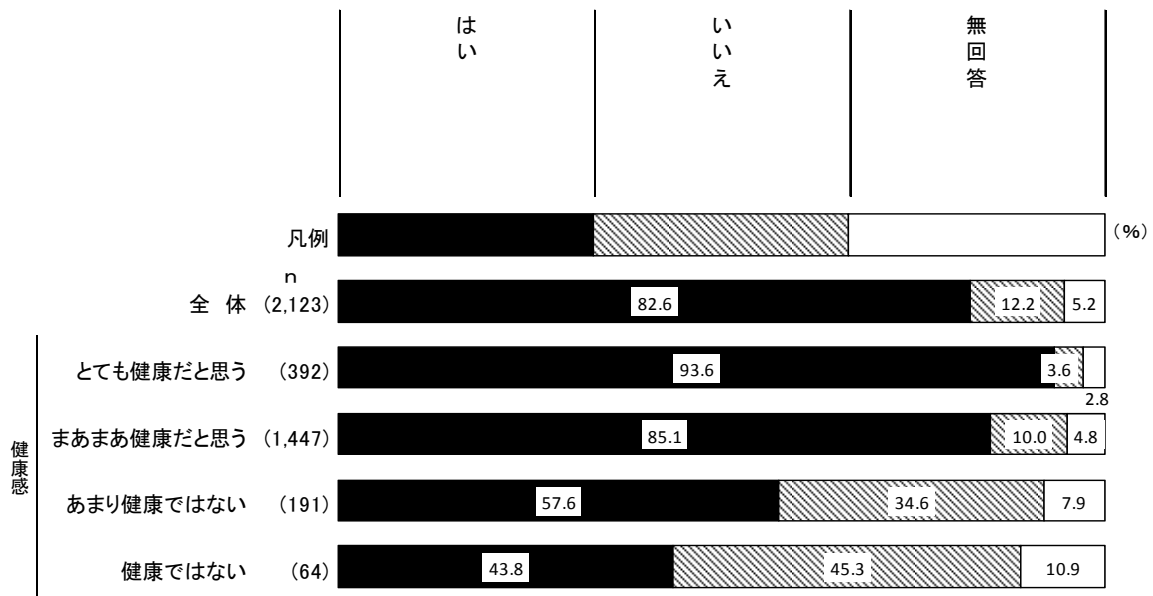
図表16-1 生きがいを感じるか（性×年齢別）



生きがいを感じるかについて、「はい」が82.6%、「いいえ」が12.2%となっている。

性・年齢別でみると、「はい」は男性満75～79歳が88.5%と最も多く、次いで女性満75～79歳(84.4%)、女性満80～84歳(83.9%)と続いている。(図表16-1)

図表 1 6 - 2 生きがいを感じるか（健康感別）



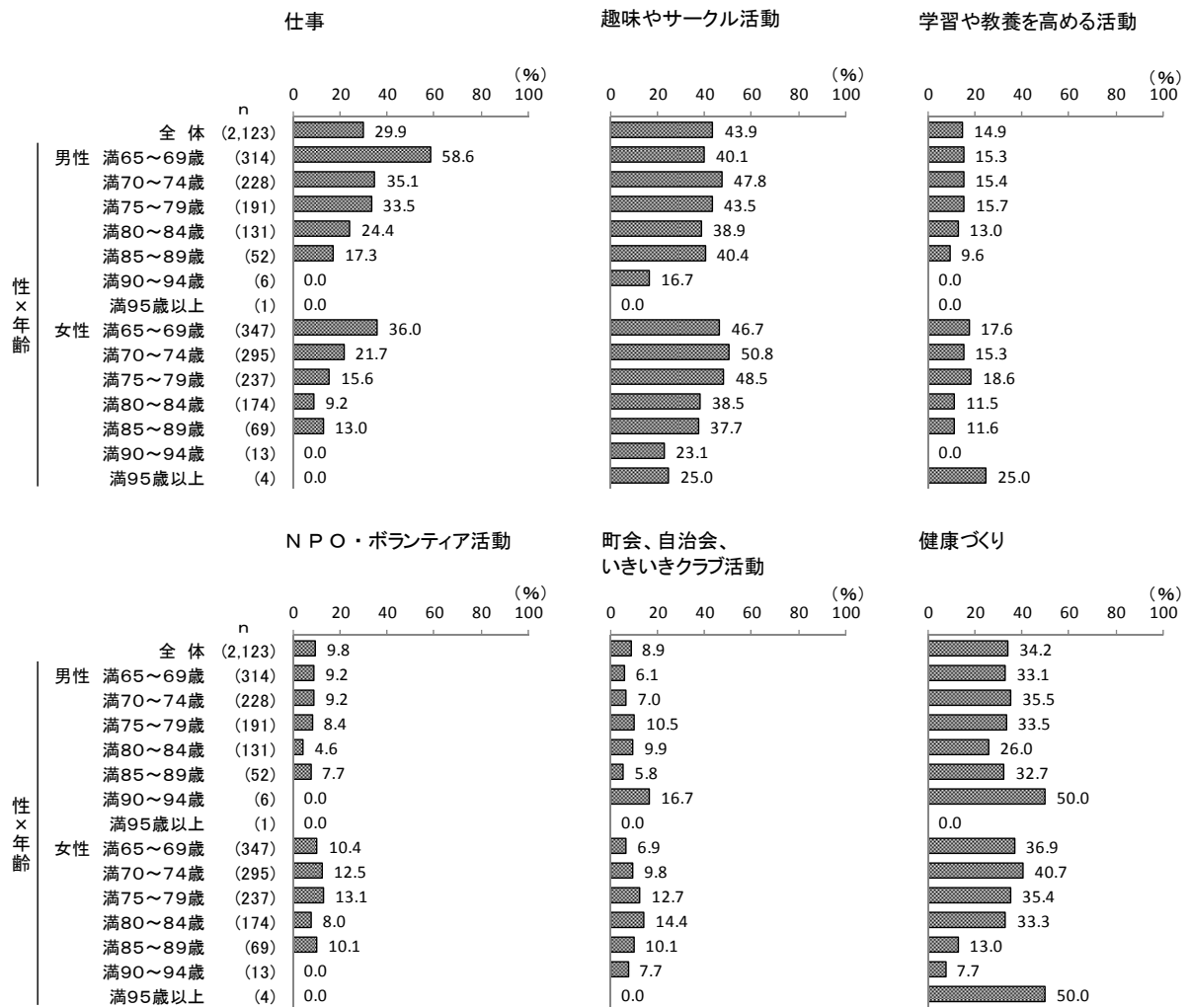
健康感別でみると、「はい」は、「とても健康だと思う」が93.6%と最も多く、『健康』だと回答したの方が生きがいを感じる傾向がみられる。(図表 1 6 - 2)

(3) 現在やっている活動

問17 現在やっている活動はありますか。(いくつでも○)

「趣味やサークル活動」が43.9%、「健康づくり」が34.2%。

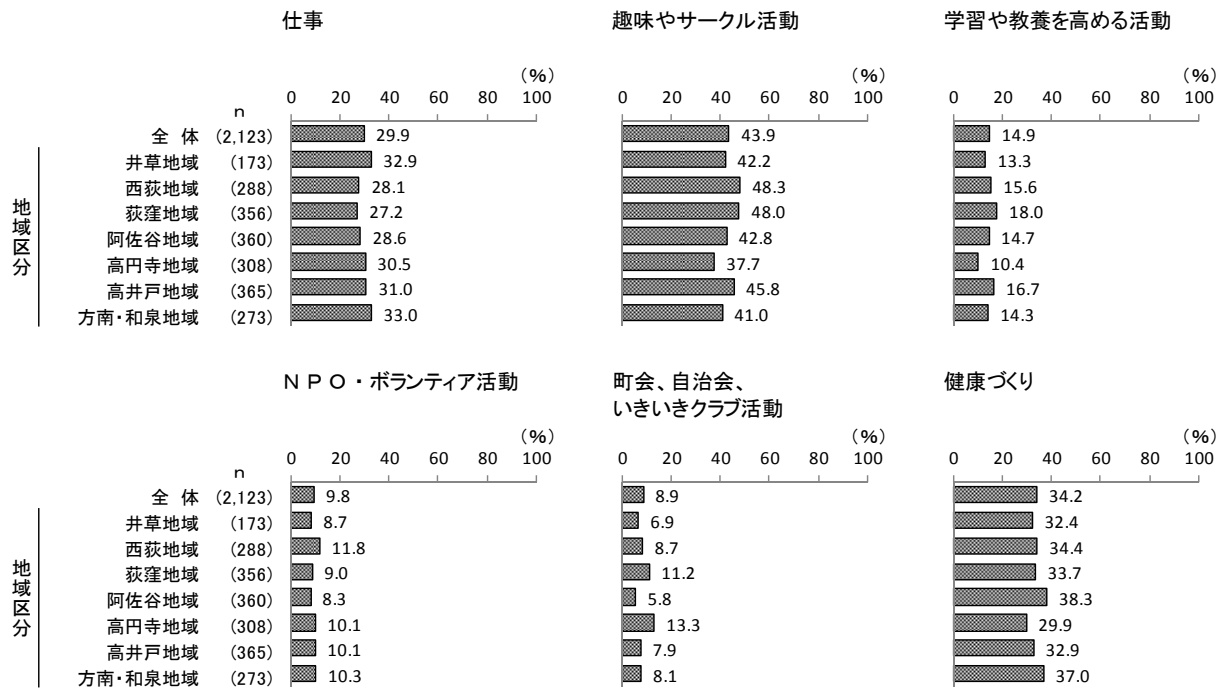
図表17-1 現在やっている活動(性×年齢別)



現在やっている活動について、「趣味やサークル活動」が43.9%と最も多く、次いで「健康づくり」(34.2%)、「仕事」(29.9%)と続いている。

性・年齢別でみると、「趣味やサークル活動」は女性満70~74歳が50.8%と最も多く、次いで女性満75~79歳(48.5%)、男性の満70~74歳(47.8%)と続いている。(図表17-1)

図表 17-2 現在やっている活動（地域区分別）



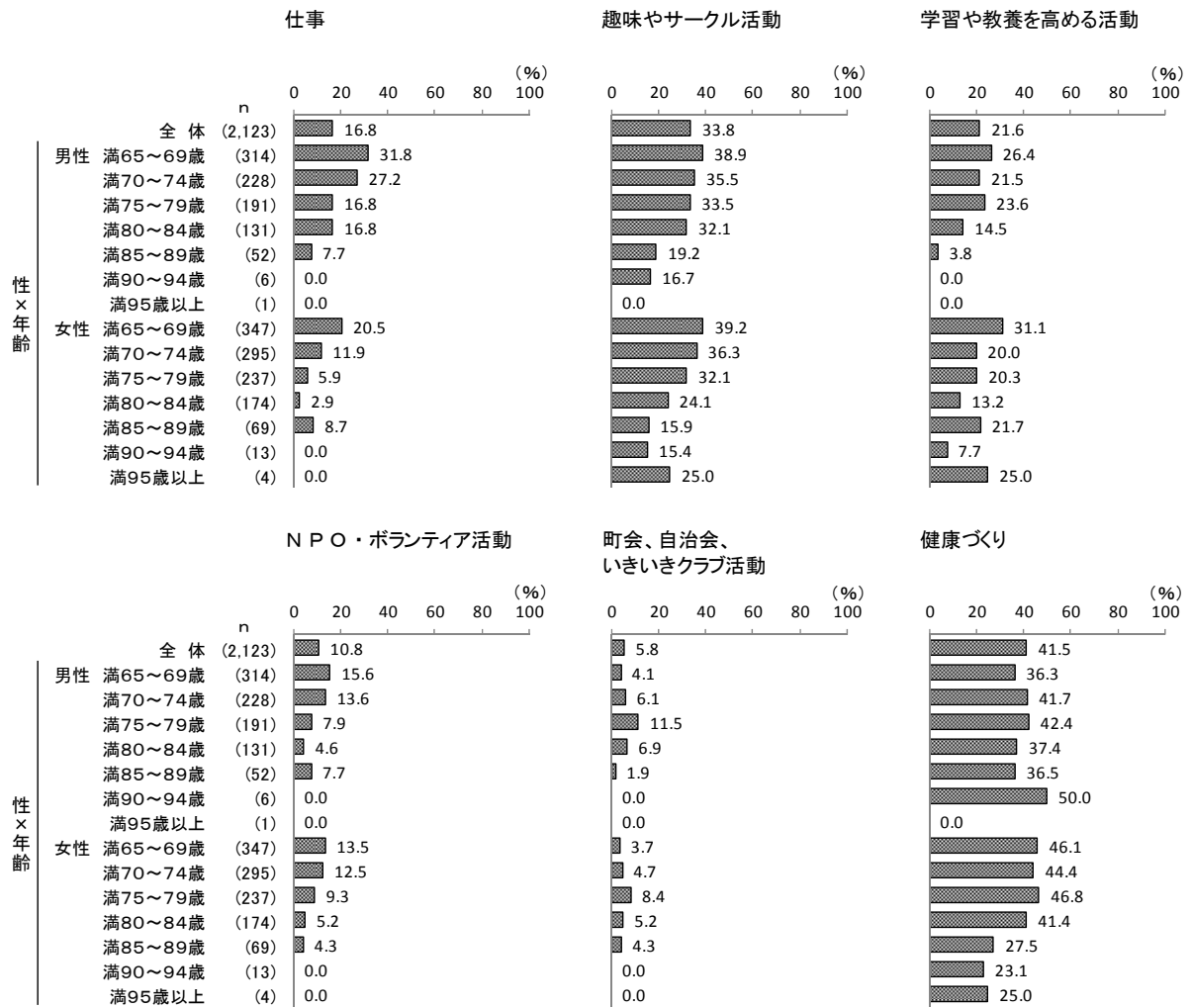
地域区分別でみると、「趣味やサークル活動」は、「西荻地域」が 48.3%で最も多く、次いで「荻窪地域」（48.0%）、「高井戸地域」（45.8%）と続いている。（図表 17-2）

(4) 今後やってみたい活動

問18 これからやってみたい活動はありますか。(いくつでも○)

「健康づくり」が41.5%、「趣味やサークル活動」が33.8%。

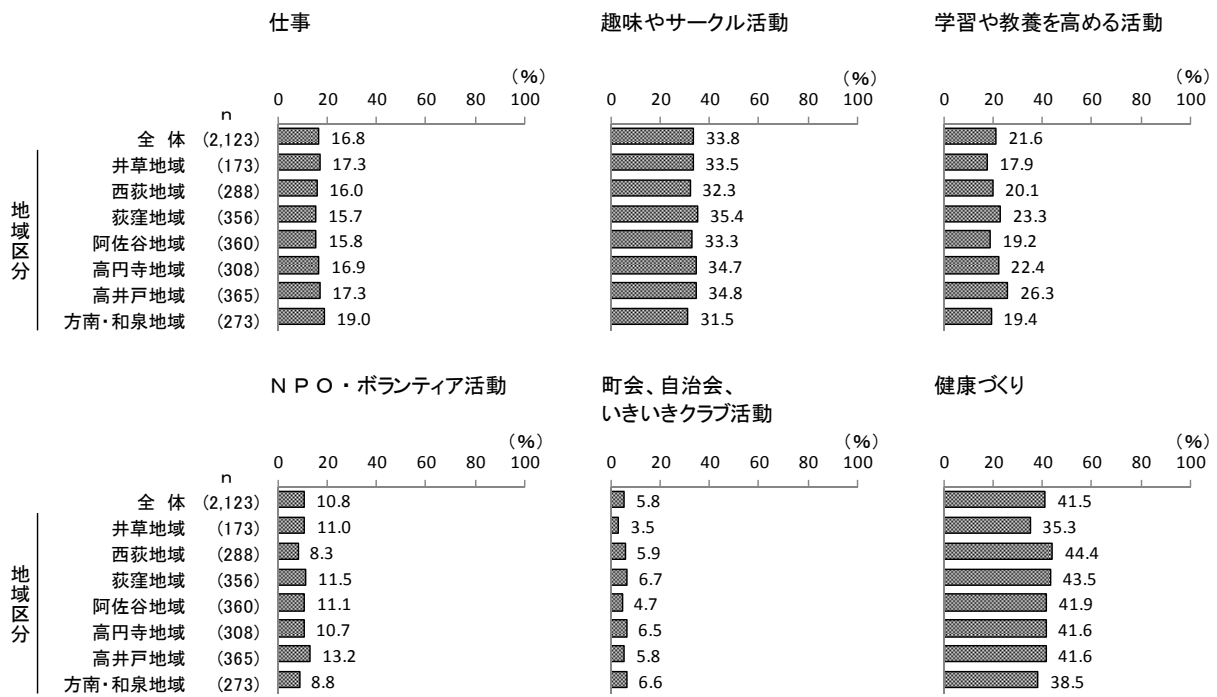
図表18-1 今後やってみたい活動(性×年齢別)



今後やってみたい活動について、「健康づくり」が41.5%と最も多く、次いで「趣味やサークル活動」(33.8%)、「学習や教養を高める活動」(21.6%)と続いている。

性・年齢別でみると、「健康づくり」は分析数が少ない男性の満90~94歳(50.0%)を除けば、女性の満75~79歳が46.8%と最も多く、次いで女性の満65~69歳(46.1%)、女性の満70~74歳(44.4%)と続いている。(図表18-1)

図表 18-2 今後やってみたい活動（地域区分別）



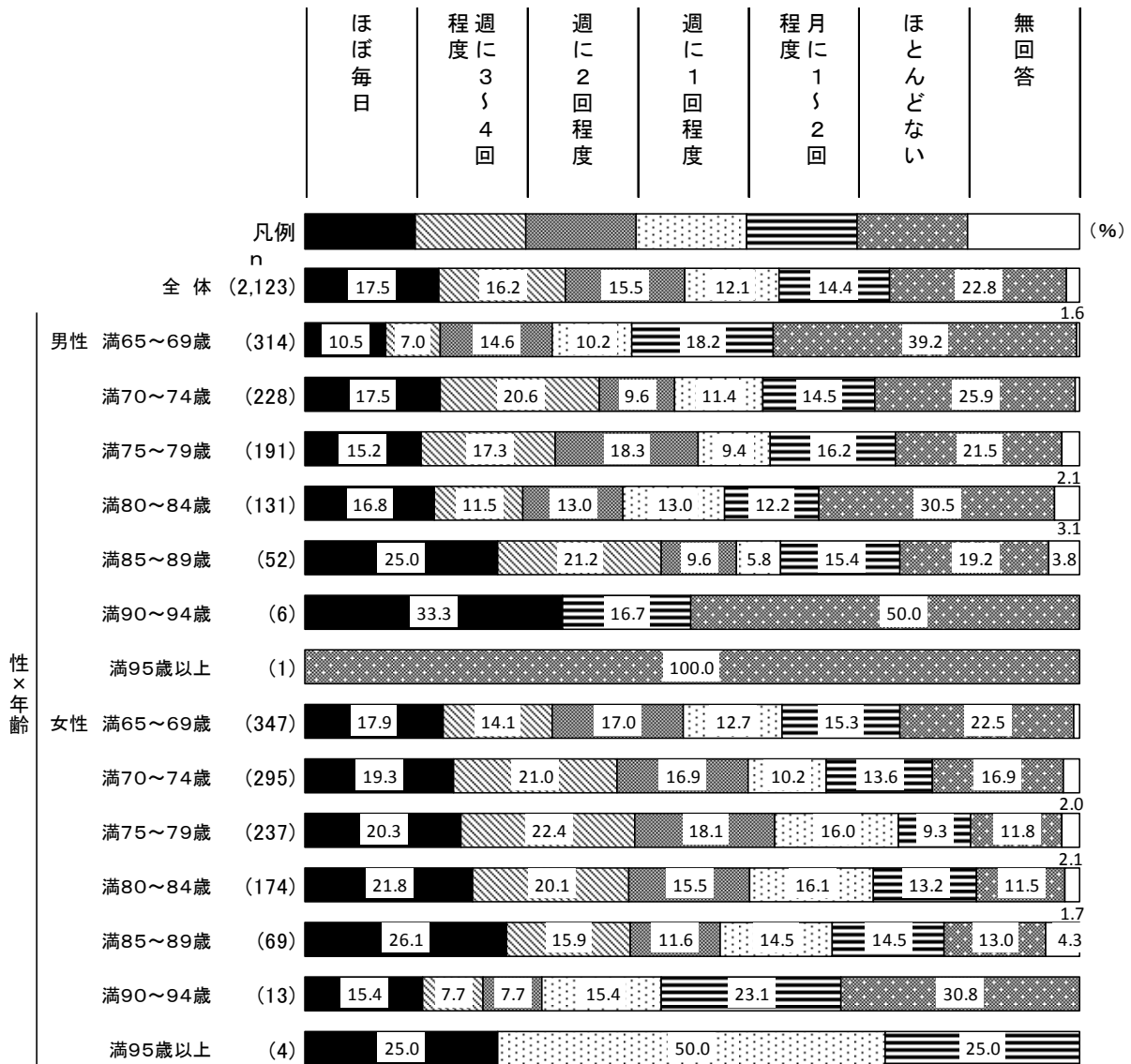
地域区分別でみると、「健康づくり」は「西荻地域」が44.4%と最も多く、次いで「荻窪地域」(43.5%)、「阿佐谷地域」(41.9%)と続いている。(図表 18-2)

(5) 近所の方との付き合いの有無

問19 近所の方と会話をしているなど、お付き合いはありますか。(1つに○)

「ほぼ毎日」が17.5%、「週に3~4回程度」が16.2%。

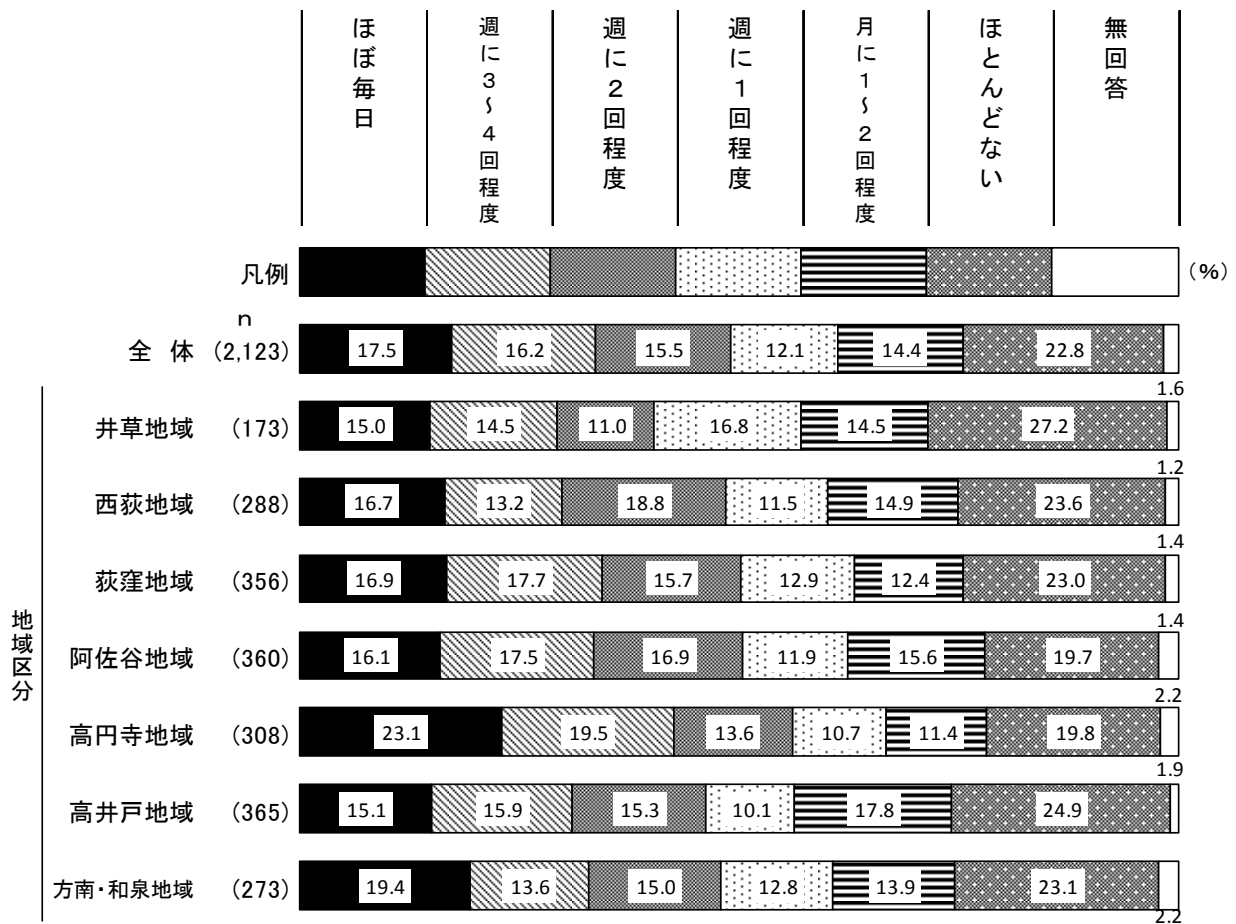
図表19-1 近所の方との付き合いの有無(性×年齢別)



近所の方との付き合いの有無について、「ほぼ毎日」が17.5%と最も多く、次いで「週に3~4回程度」(16.2%)、「週に2回程度」(15.5%)と続いている。

性・年齢別でみると、「ほぼ毎日」は女性の年齢が高くなるに従って多くなる傾向がみられる。一方、「ほとんどない」の割合は、男性の満65~69歳が39.2%、同年代の女性が22.5%であるのを筆頭に、全ての年代において男性の方が女性より多くなっている。(図表19-1)

図表 19-2 近所の方との付き合いの有無（地域区分別）



地域区分別にみると、「ほぼ毎日」は「高円寺地域」が23.1%と他の地域に比べて多くなっている。一方、「ほとんどない」は「井草地域」が27.2%と他の地域に比べて多くなっている。(図表19-2)

5. 日常生活について

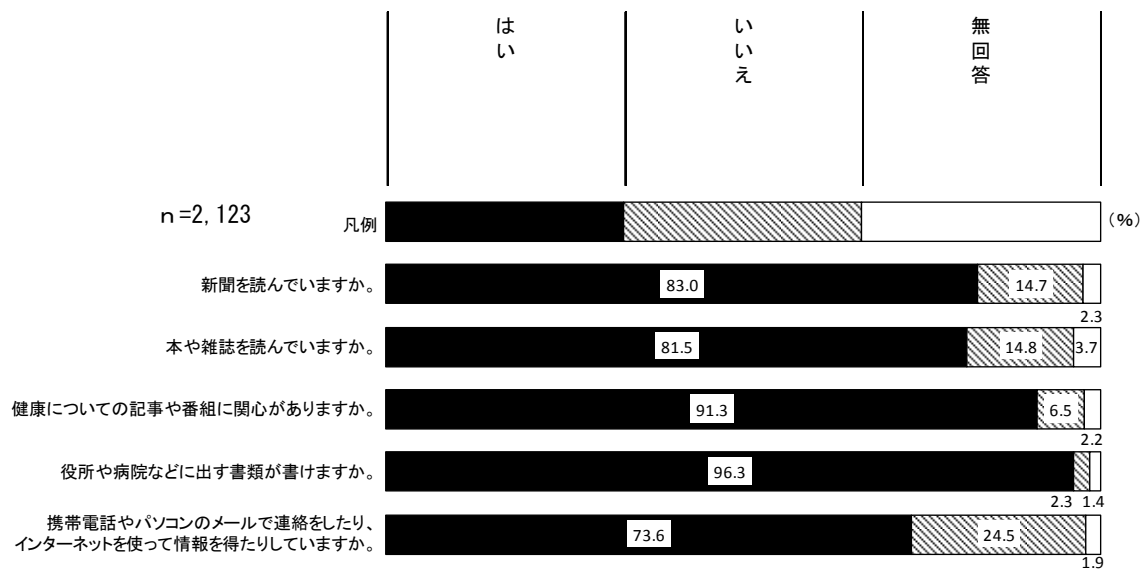
(1) 日常生活で行っていること（その1）

問20

- (1) 新聞を読んでいますか。
- (2) 本や雑誌を読んでいますか。
- (3) 健康についての記事や番組に関心がありますか。
- (4) 役所や病院などに出す書類が書けますか。
- (5) 携帯電話やパソコンのメールで連絡をしたり、インターネットを使って情報を得たりしていますか。

「はい」は、『役所や病院などに出す書類を書く』が96.3%、『健康についての記事や番組に関心をもつ』が91.3%、『新聞を読む』が83.0%。

図表20-1 日常生活で行っていること（その1）



日常生活で行っていることの有無について尋ねたところ「はい」は、『役所や病院などに出す書類を書く』が96.3%と最も多く、次いで『健康についての記事や番組に関心をもつ』(91.3%)、『新聞を読む』(83.0%)と続いている。

一方、「いいえ」は『携帯電話やパソコンのメールで連絡をしたり、インターネットを使って情報を得る』が24.5%と最も多くなっている。(図表20-1)

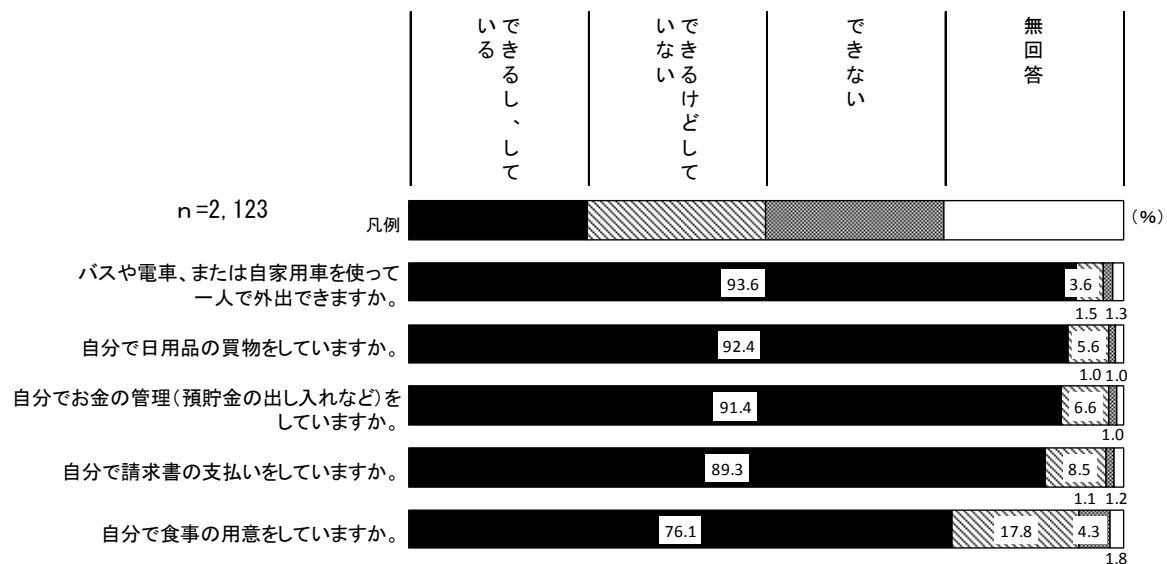
(2) 日常生活で行っていること (その2)

問20

- (6) バスや電車、または自家用車を使って一人で外出できますか。
 (7) 自分で日用品の買物をしていますか。
 (8) 自分でお金の管理(預貯金の出し入れなど)をしていますか。
 (9) 自分で請求書の支払いをしていますか。
 (10) 自分で食事の用意をしていますか。

「できるし、している」は、『バスや電車、または自家用車を使って一人で外出』が93.6%、
 『日用品の買物』が92.4%、『お金の管理』が91.4%

図表20-2 日常生活で行っていること (その2)



日常生活で行っていることをできるか尋ねたところ、「できるし、している」は『バスや電車、または自家用車を使って一人で外出』が93.6%と最も多く、『日用品の買物』(92.4%)、『お金の管理』(91.4%)と続いている。

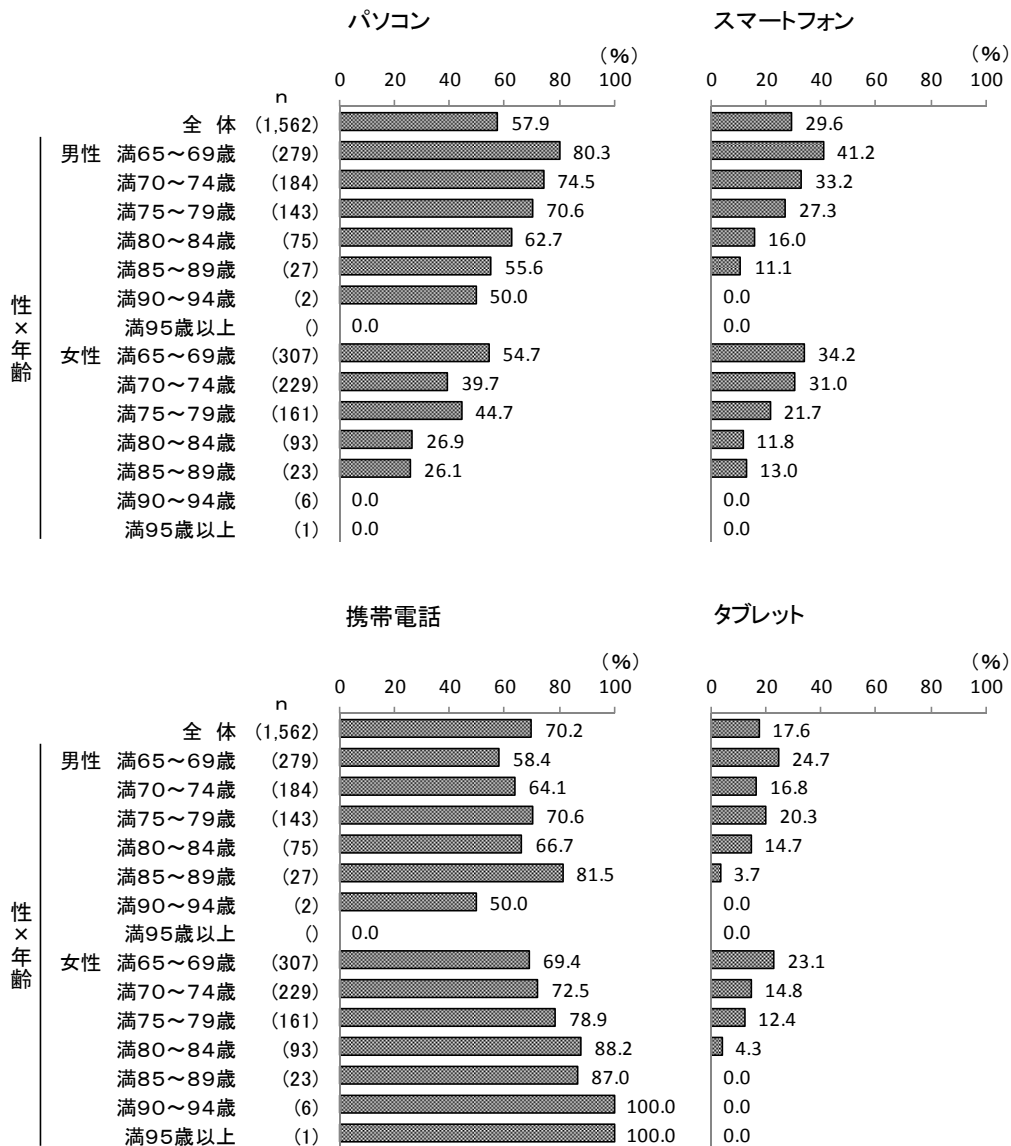
一方、「できるけどしてない」は『食事の用意』が17.8%と最も多くなっている。(図表20-2)

(3) 情報取得に利用している機器

問20-1 (問20(5)で「はい」と回答された方におたずねします。
 どのような機器を利用していますか (いくつでも○)

「携帯電話」が70.2%、「パソコン」が57.9%、「スマートフォン」が29.6%。

図表20-1-1 情報取得に利用している機器 (性×年齢別)



情報取得に利用している機器については、「携帯電話」が70.2%と最も多く、次いで「パソコン」(57.9%)、「スマートフォン」(29.6%)と続いている。

性・年齢別でみると、「パソコン」は男性が女性より各年齢層で多い傾向がみられる。

(図表20-1-1)

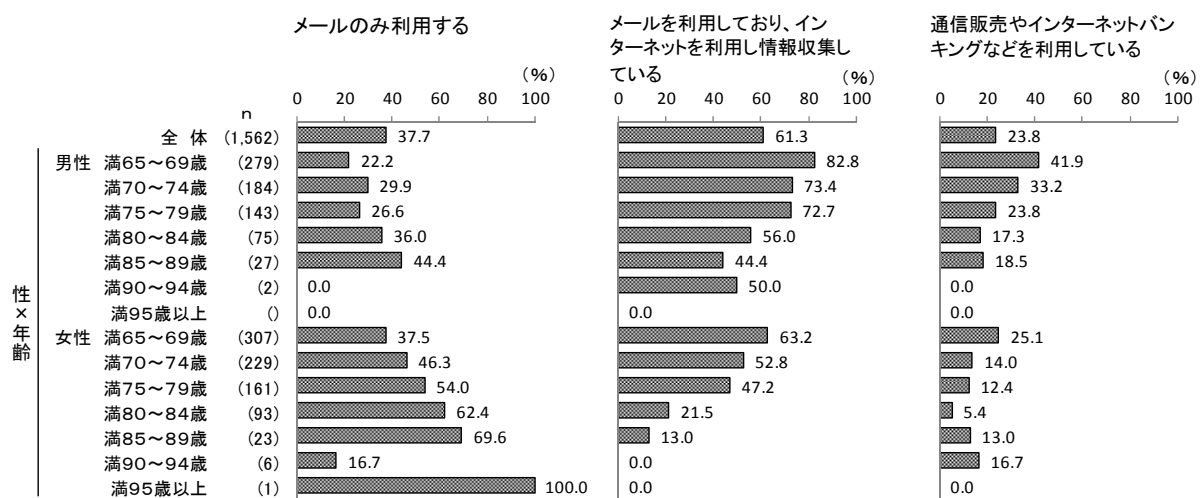
(4) 情報取得の目的

問20-2 (問20(5)で「はい」と回答された方におたずねします。)

どのような目的に利用していますか。(いくつでも○)

「メールを利用しており、インターネットを利用し情報収集している」が61.3%、「メールのみ利用する」が37.7%、「通信販売やインターネットバンキングなどを利用している」が23.8%。

図表20-2-1 情報取得の目的(性×年齢別)



情報取得の目的について、「メールを利用しており、インターネットを利用し情報収集している」が61.3%と最も多く、次いで「メールのみ利用する」(37.7%)、「通信販売やインターネットバンキングなどを利用している」(23.8%)と続いている。

性・年齢別でみると、「メールを利用しており、インターネットを利用し情報収集している」、「通信販売やインターネットバンキングなどを利用している」は男性が女性より各年齢層で多い傾向がみられる。一方、「メールのみ利用する」は女性が男性より各年齢層で多い傾向がみられる。

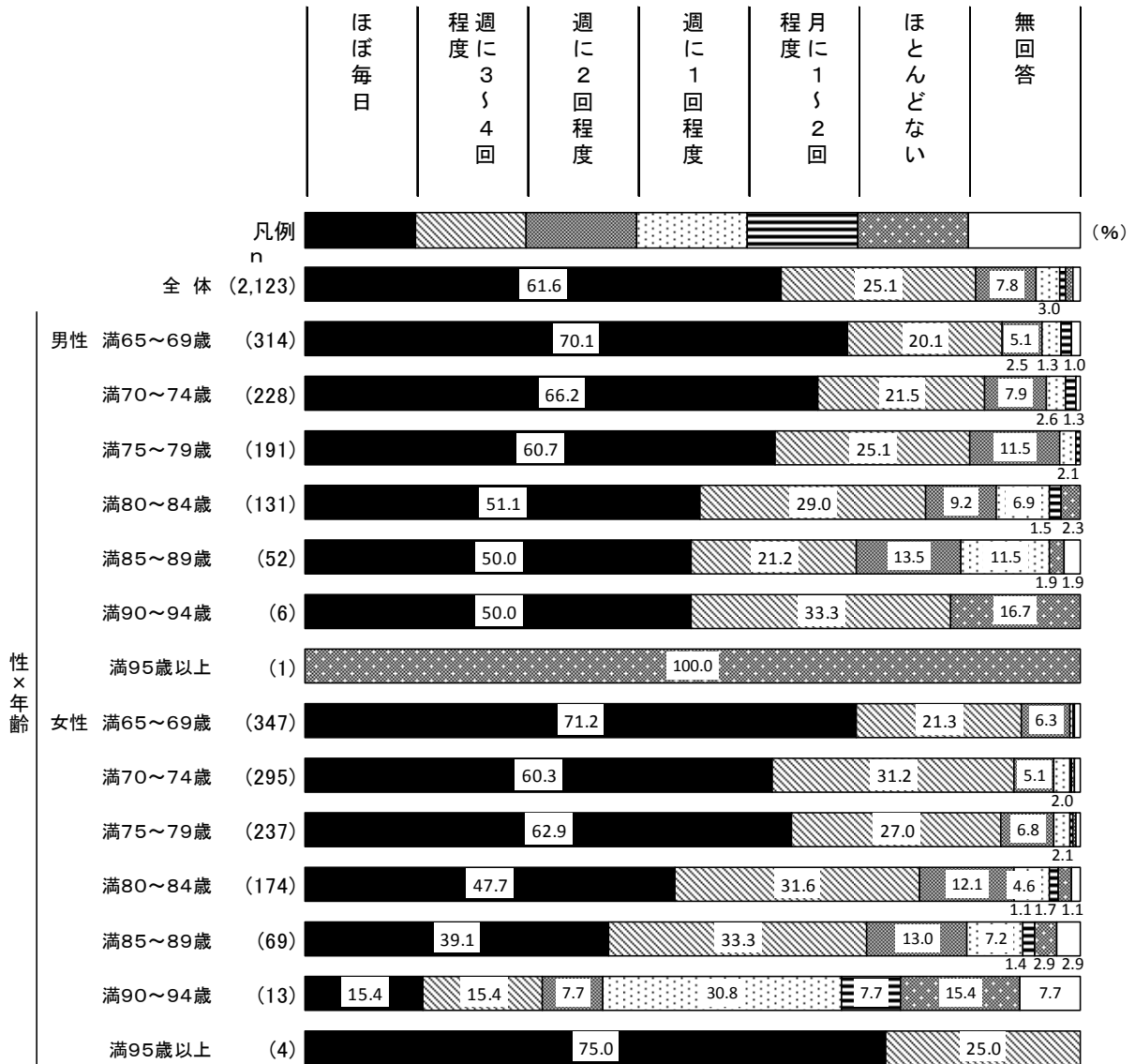
(図表20-2-1)

(5) 外出の頻度

問2 1 散歩や買い物など、外出の回数はどのくらいですか（通院を除く）。（1つに○）

「ほぼ毎日」が61.6%、「週に3～4回程度」が25.1%、「週に2回程度」が7.8%。

図表2 1-1 外出の頻度（性×年齢別）



外出の頻度について、「ほぼ毎日」が61.6%と最も多く、次いで「週に3～4回程度」（25.1%）、「週に2回程度」（7.8%）と続いている。

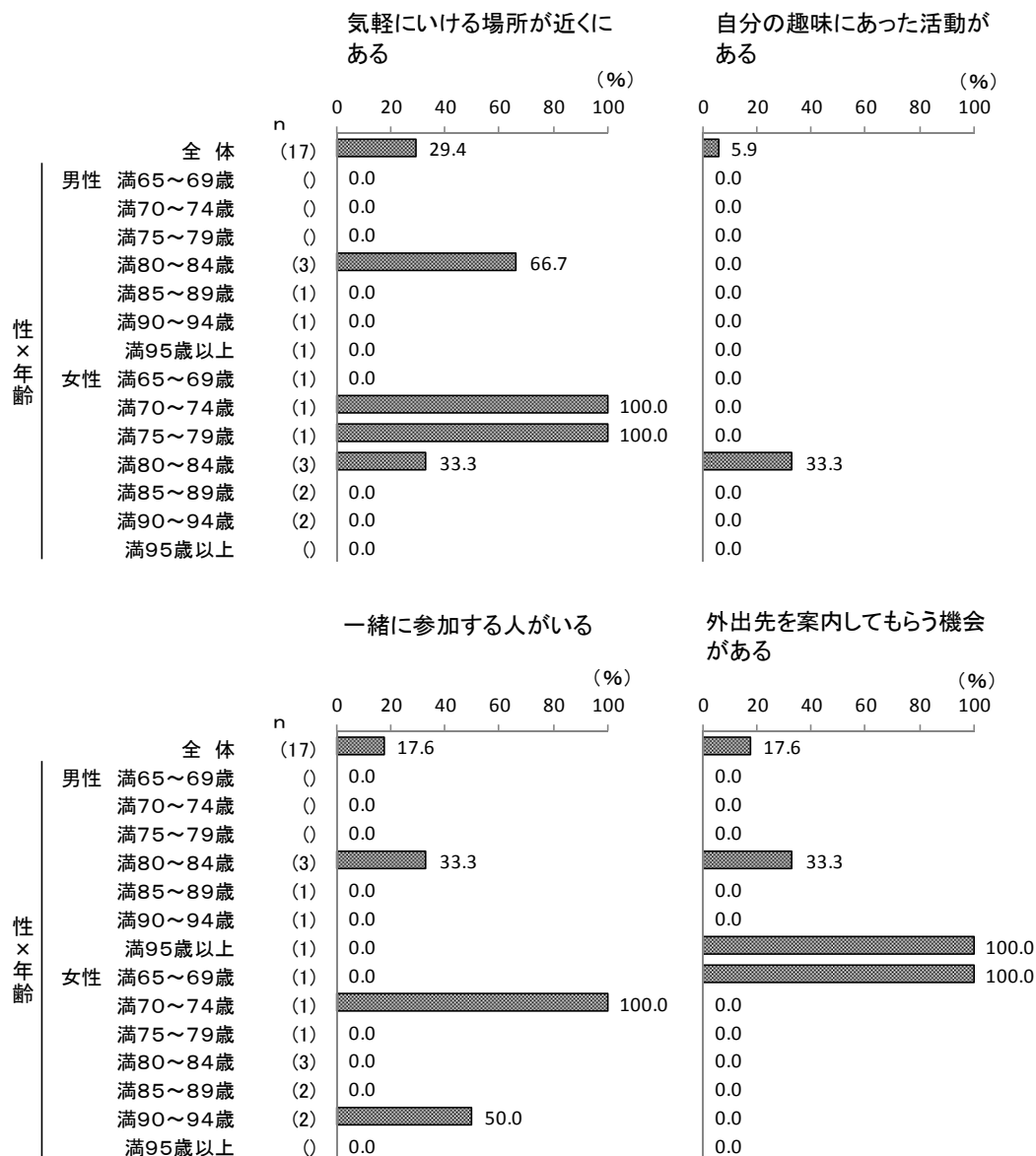
性・年齢別でみると、「ほぼ毎日」は男性は年齢が高くなるに従って、少なくなる傾向がみられる（図表2 1-1）

(6) 外出の機会が増えるために必要なもの

問21-1 問21で「6」と回答された方におたずねします。
 外出の機会は何があると増えますか。(いくつでも○)

「気軽に行ける場所が近くにある」が 29.4%、「一緒に参加する人がいる」が 17.6%、「外出先を案内してもらおう機会がある」が 17.6%。

図表21-1-1 外出の機会が増えるために必要なもの(性×年齢別)



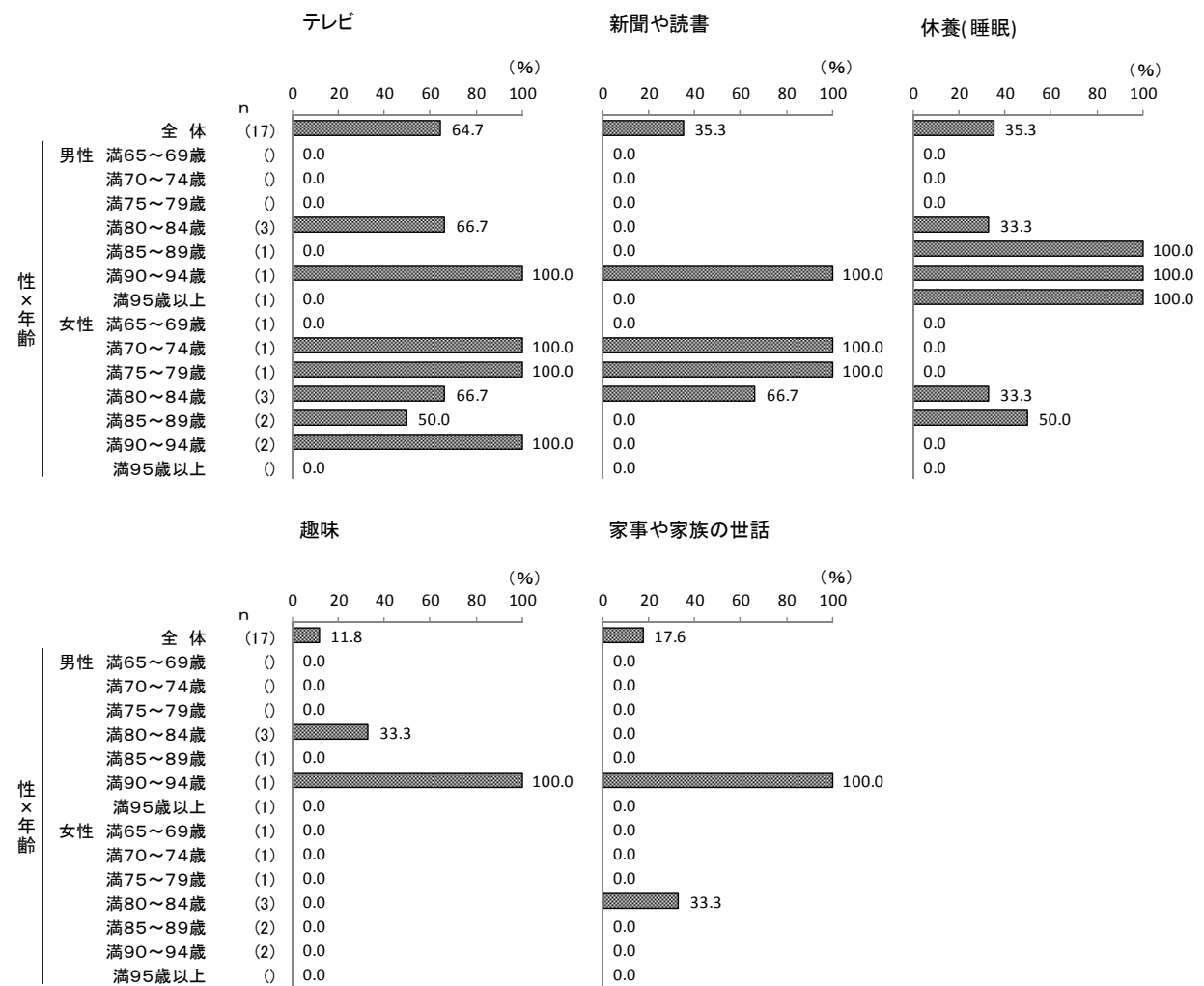
外出機会が増えるために必要なものについて、「気軽に行ける場所が近くにある」が 29.4%と最も多く、次いで「一緒に参加する人がいる」(17.6%)、「外出先を案内してもらおう機会がある」(17.6%)と続いている。(図表21-1-1)

(7) 家での過ごし方

問21-2 問21で「6」と回答された方におたずねします。
家で過ごすときは何をしていますか。(いくつでも○)

「テレビ」が64.7%、「新聞や読書」が35.3%、「休養(睡眠)」が35.3%。

図表 2 1 - 2 - 1 家での過ごし方 (性×年齢別)



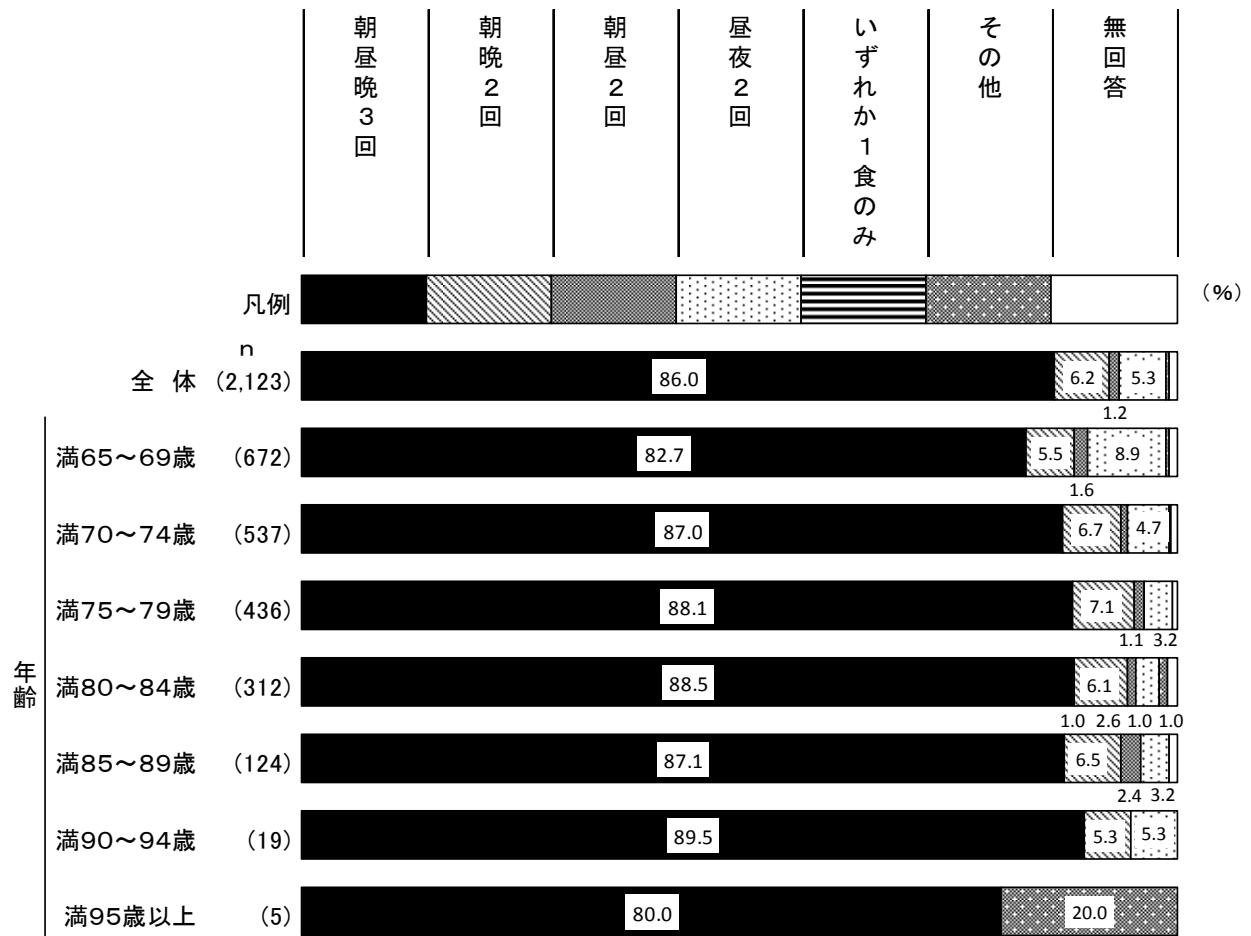
家での過ごし方について、「テレビ」が64.7%と最も多く、次いで「新聞や読書」(35.3%)、「休養(睡眠)」(35.3%)と続いている。(図表21-2-1)

(8) 1日の食事の回数

問22 1日の食事の回数は何回ですか。(普段の生活から平均的な回数)(1つに○)

「朝昼晩3回」が86.0%、「朝晩2回」が6.2%。

図表22-1 1日の食事の回数(年齢別)



1日の食事の回数について、「朝昼晩3回」が86.0%と最も多く、次いで「朝晩2回」(6.2%)、「昼夜2回」(5.3%)と続いている。

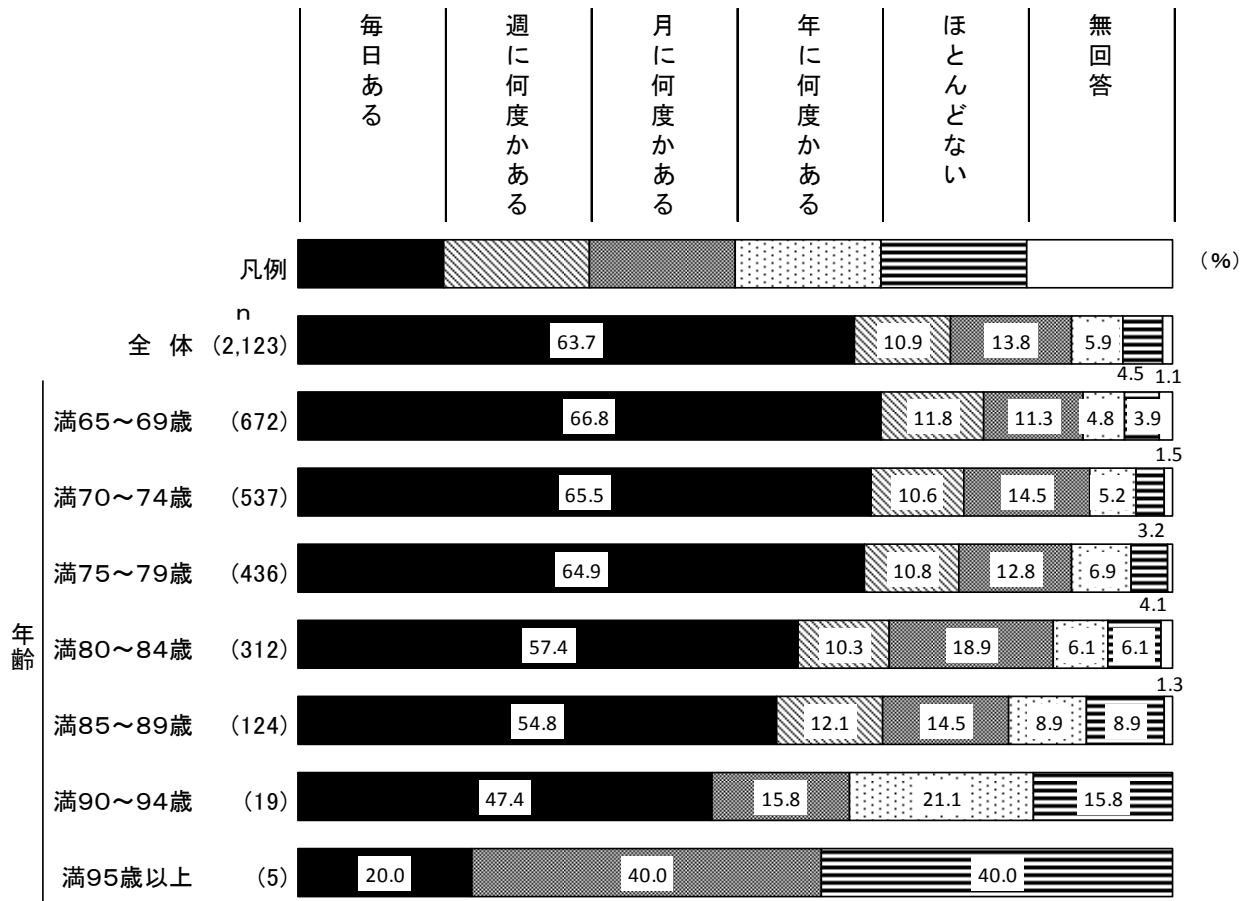
年齢別でみると「朝昼晩3回」は満80~84歳が88.5%と最も多く、次いで満75~79歳(88.1%)、満85~89歳(87.1%)と続いている。(図表22-1)

(9) ほかの人と食事をともしる機会の有無

問23 自分一人ではなく、どなたかと食事をともしる機会はありますか。(1つに○)

「毎日ある」が63.7%、「月に何度かある」が13.8%、「週に何度かある」が10.9%。

図表23-1 ほかの人と食事をともしる機会の有無(年齢別)



ほかの人と食事をともしる機会の有無について、「毎日ある」が63.7%と最も多く、次いで「月に何度かある」(13.8%)、「週に何度かある」(10.9%)と続いている。

年齢別でみると、「毎日ある」は年齢が高くなるに従って、少なくなる傾向がみられる。

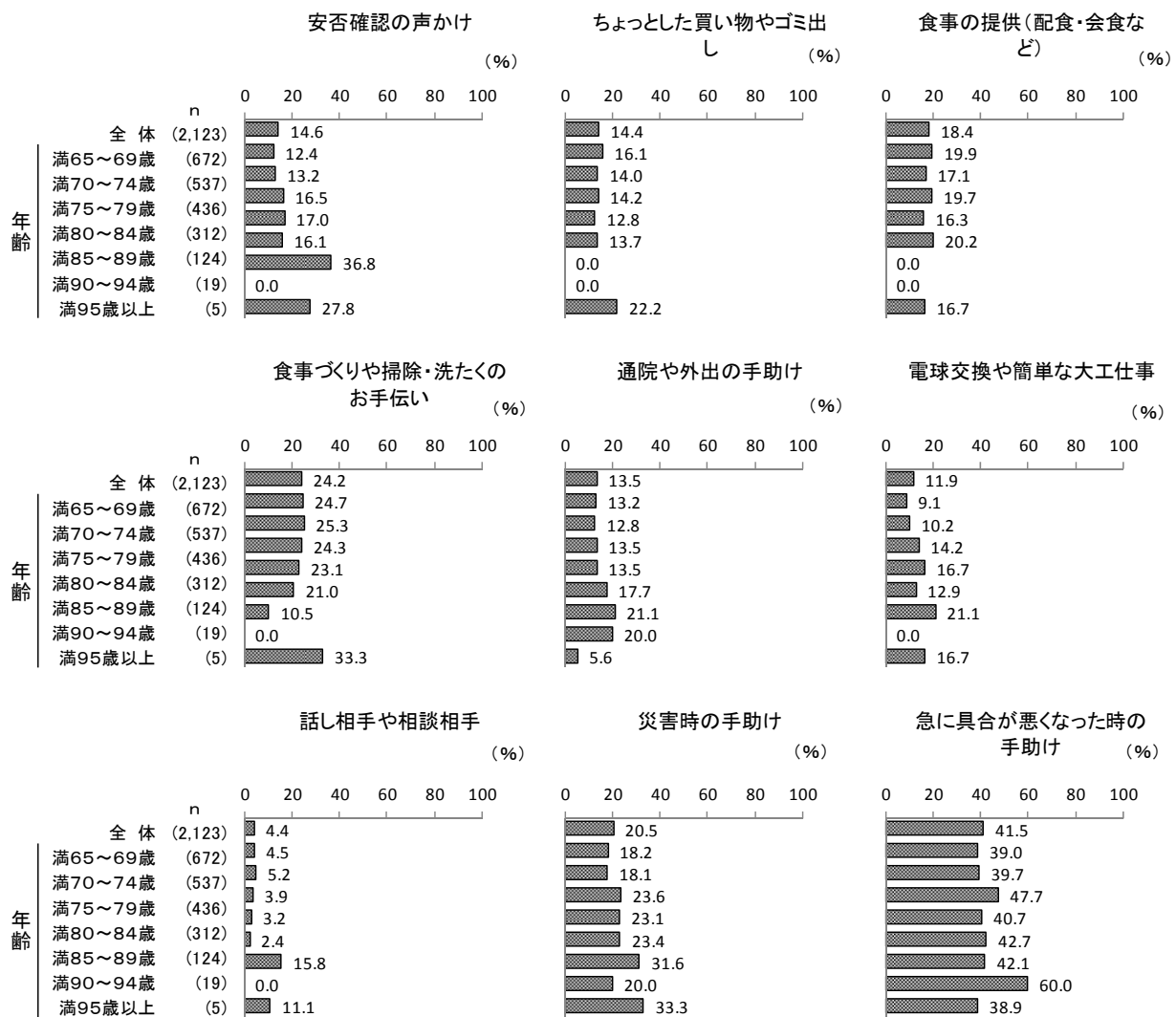
(図表23-1)

(10) 日常生活で手助けをしてほしいこと

問24 日常生活で手助けが必要になった場合、どんな手助けをしてほしいですか。(3つまで○)

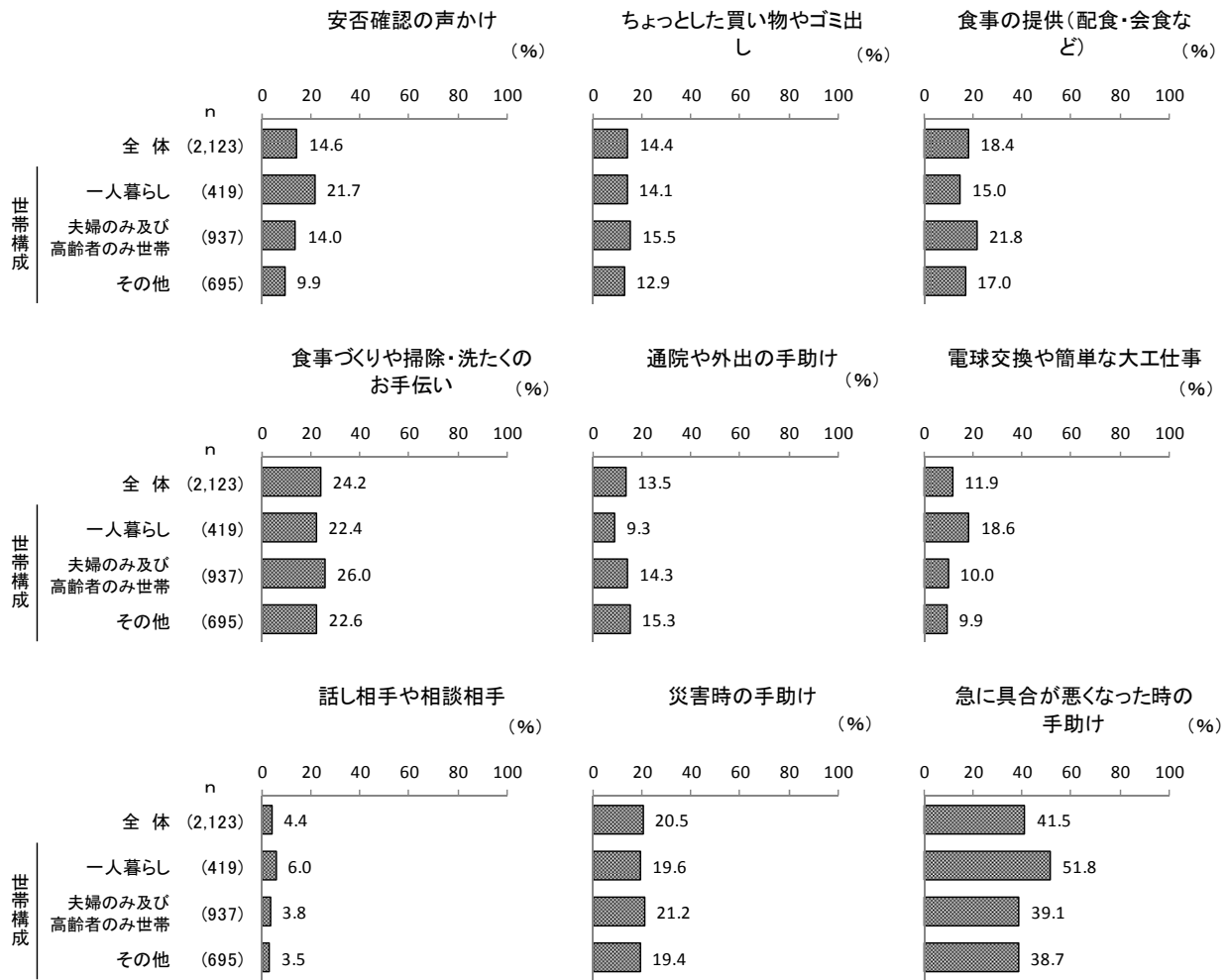
「急に具合が悪くなった時の手助け」が41.5%、「食事づくりや掃除・洗たくのお手伝い」が24.2%、「災害時の手助け」が20.5%。

図表24-1 日常生活で手助けをしてほしいこと(年齢別)



日常生活で手助けをしてほしいことについて、「急に具合が悪くなった時の手助け」が41.5%と最も多く、次いで「食事作りや掃除・洗たくのお手伝い」(24.2%)、「災害時の手助け」(20.5%)と続いている。年齢別でみると、満85~89歳は「安否確認の声かけ」(36.8%)、「話し相手や相談相手」(15.8%)が他の年齢層より多くなっている。(図表24-1)

図表 2 4 - 2 日常生活で手助けをしてほしいこと（世帯構成別）



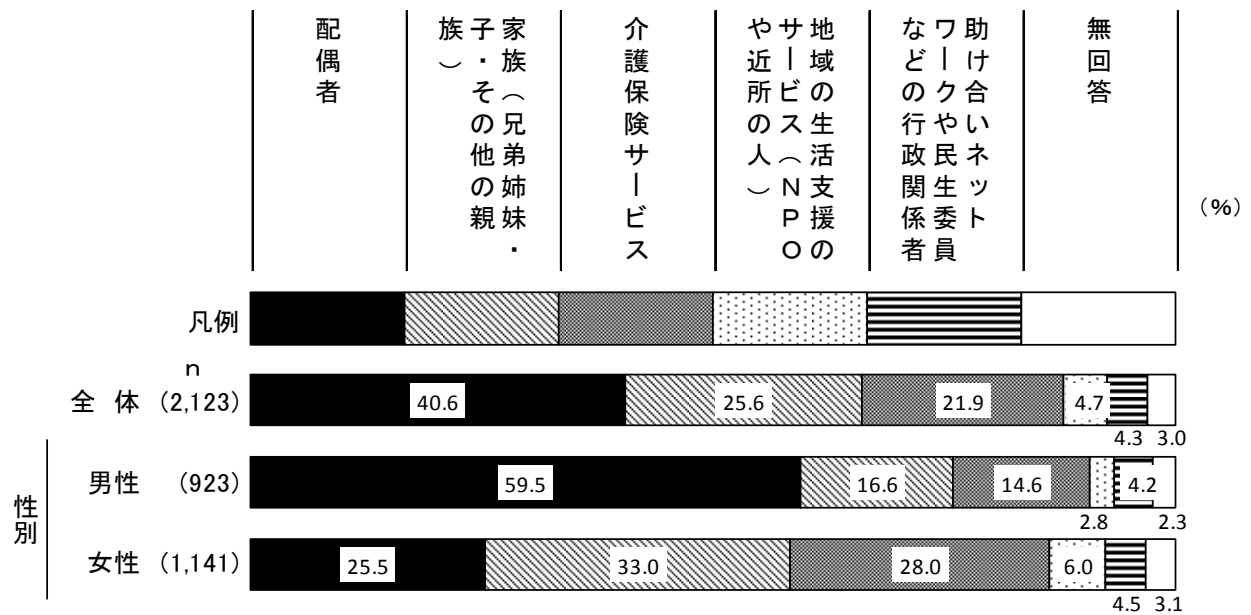
世帯構成別でみると、「一人暮らし」は「夫婦のみ及び高齢者のみ世帯」より「急に具合が悪くなった時の手助け」が12.7ポイント、「電球交換や簡単な大工仕事」が8.6ポイント、「安否確認の声かけ」が7.7ポイント多くなっている。一方、「夫婦のみ及び高齢者のみ世帯」は「一人暮らし世帯」より「食事の提供(配食・会食など)」が6.8ポイント多くなっている。(図表 2 4 - 2)

(11) 日常生活で手助けをしてほしい相手

問25 日常生活で手助けが必要になった場合、だれに手伝ってほしいですか。(1つに○)

「配偶者」が40.6%、「家族(兄弟姉妹・子・その他の親族)」が25.6%、「介護保険サービス」が21.9%。

図表25-1 日常生活で手助けをしてほしい相手(性別)



日常生活で手助けをしてほしい相手について、「配偶者」が40.6%と最も多く、次いで「家族(兄弟姉妹・子・その他の親族)」(25.6%)、「介護保険サービス」(21.9%)と続いている。

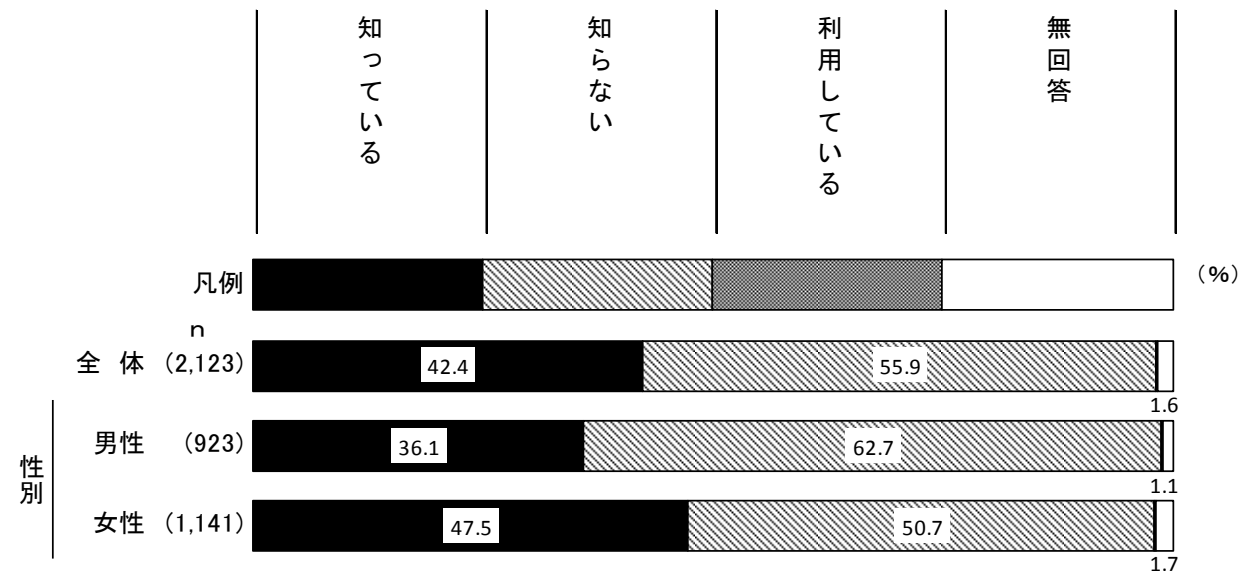
性別でみると、男性は女性より「配偶者」が34.0ポイント多くなっている。一方、女性は男性より「家族(兄弟姉妹・子・その他の親族)」が16.4ポイント、「介護保険サービス」が13.4ポイント多くなっている。(図表25-1)

(12) 地域の生活支援サービスの認知度

問26 地域に困ったときのお手伝い(移動の援助や買い物、配食)を行う生活支援のサービスがあることを知っていますか(1つに○)

「知っている」が42.4%、「知らない」が55.9%。

図表26-1 地域の生活支援サービスの認知度(性別)



地域の生活支援サービスの認知度について、「知っている」が42.4%、「知らない」が55.9%となっている。

性別で見ると、女性は男性より「知っている」が11.4ポイント多くなっている。(図表26-1)

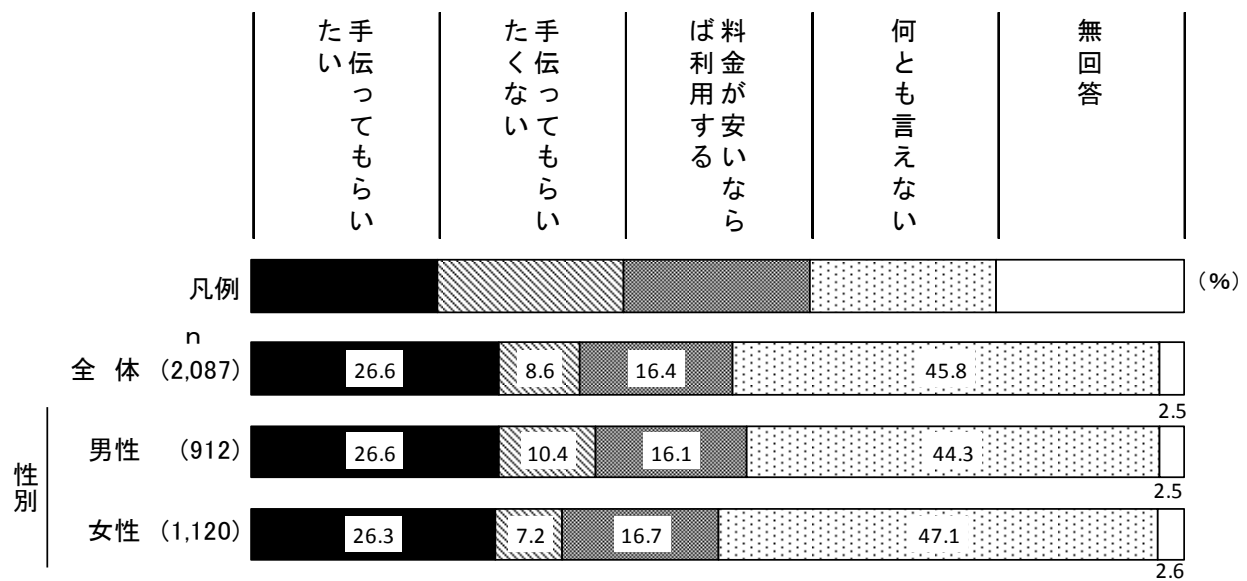
(13) NPOや近所の人の手助けの要否

問27 (問26で「1」または「2」と回答された方におたずねします。)

困った時のお手伝い(移動の援助や買い物、配食)を行うNPOや近所の人に手伝ってもらいたいですか。(1つに○)

「手伝ってもらいたい」が26.6%、「料金が安いならば利用する」が16.4%、「手伝ってもらいたくない」が8.6%。

図表27-1 NPOや近所の人に手伝ってもらいたいか(性別)



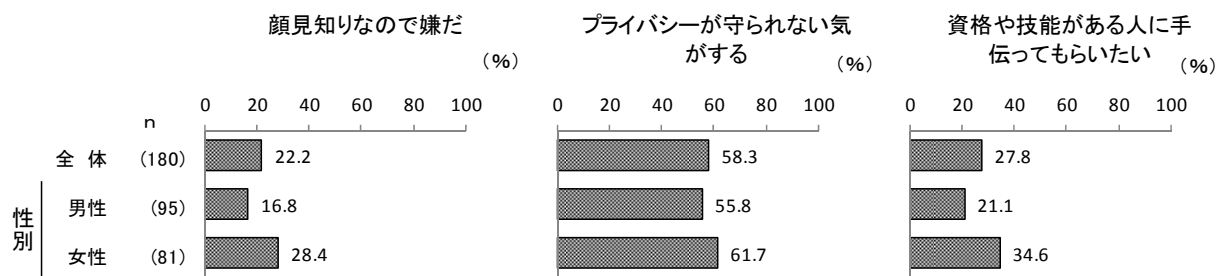
NPOや近所の人の手助けの要否について、「手伝ってもらいたい」が26.6%と最も多く、次いで「料金が安いならば利用する」(16.4%)、「手伝ってもらいたくない」(8.6%)と続いている。(図表27-1)

(14) NPOや近所の人に手伝ってもらいたくない理由

問28 (問27で「2」と回答された方におたずねします。)
 手伝ってもらいたくない理由は何ですか(いくつでも○)

「プライバシーが守られない気がする」が58.3%、「資格や技能がある人に手伝ってもらいたい」が27.8%、「顔見知りなので嫌だ」が22.2%。

図表28-1 NPOや近所の人に手伝ってもらいたくない理由(性別)



NPOや近所の人に手伝ってもらいたくない理由について、「プライバシーが守られない気がする」が58.3%と最も多く、次いで「資格や技能がある人に手伝ってもらいたい」(27.8%)、「顔見知りなので嫌だ」(22.2%)と続いている。

性別でみると、女性が男性よりいずれの項目も多い傾向がみられる。(図表28-1)

6. 記憶・判断について

(1) 記憶・判断について

問29 その日の活動（食事をする、衣類を選ぶなど）を自分で決めていますか。（1つに○）

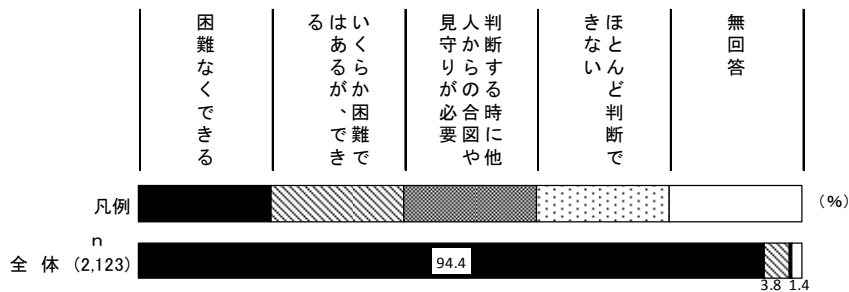
問30 5分前のことが思い出せますか。

問31 人に自分の考えをうまく伝えられていますか。（1つに○）

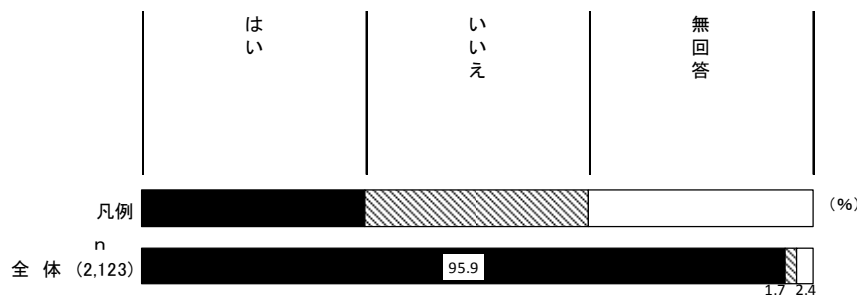
その日の活動(食事をする、衣類を選ぶなど)を自分で決められる人は94.4%、5分前のことが思い出せる人は95.9%、人に自分の考えをうまく伝えられる人は92.0%。

図表29-1 記憶・判断について

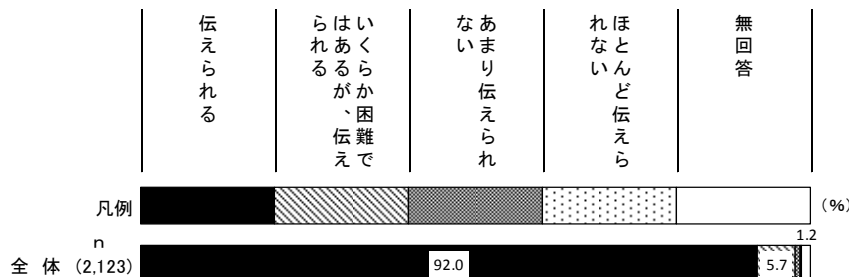
【その日の活動を自分で決める】



【5分前のことを思い出せる】



【人に自分の考えをうまく伝えられる】



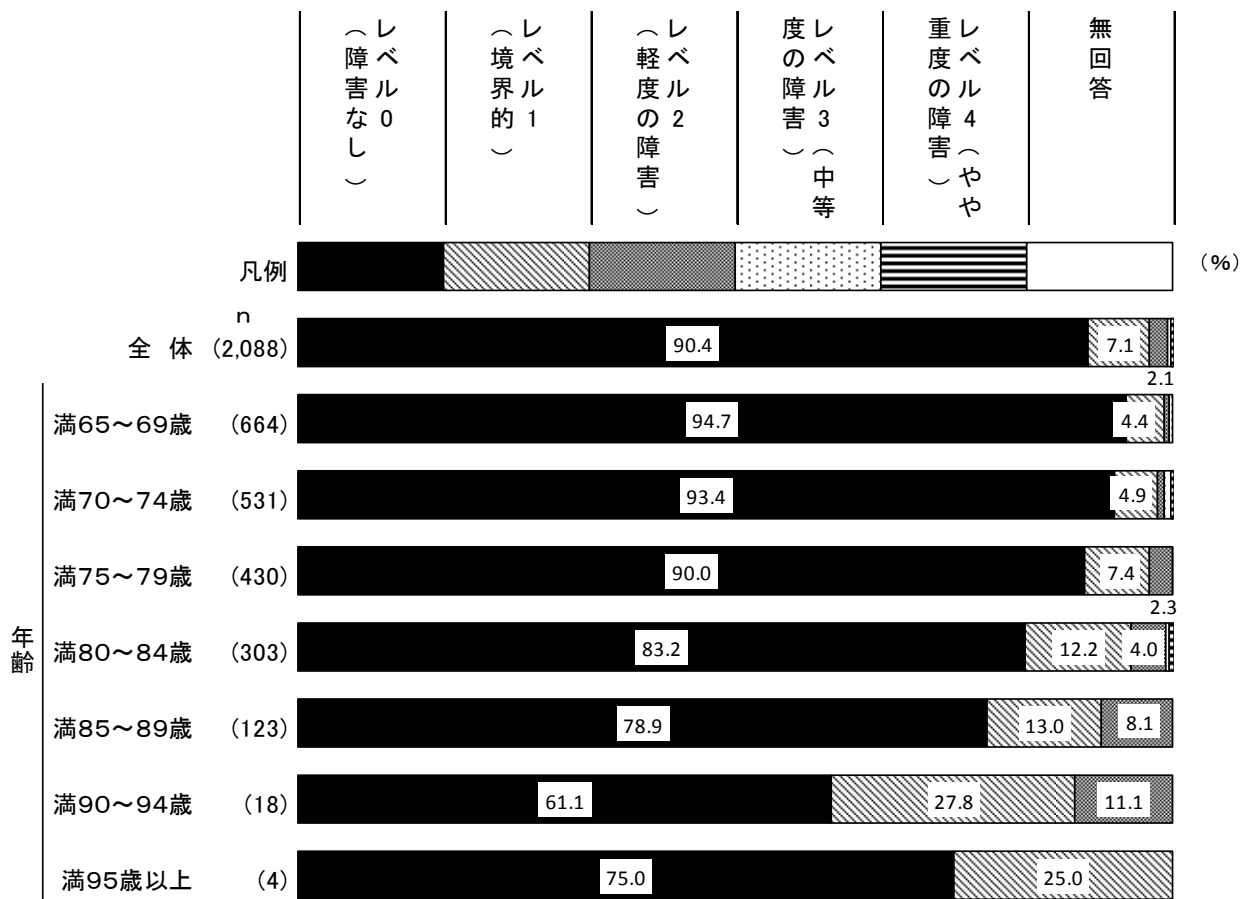
記憶・判断について、その日の活動(食事をする、衣類を選ぶなど)を自分で決められる人は94.4%、5分前のことが思い出せる人は95.9%、人に自分の考えをうまく伝えられる人は92.0%となっている。

(図表29-1)

(2) 認知機能の分析結果

「レベル0 (障害なし)」が90.4%、「レベル1 (境界的)」が7.1%

図表 a-1 認知機能の分析結果 (年齢別)



問29～問31の回答の組み合わせをもとに認知機能判定を行った。その結果、「レベル0 (障害なし)」が90.4%と最も多く、次いで「レベル1 (境界的)」(7.1%)、「レベル2 (軽度の障害)」(2.1%)と続いている。

年齢別でみると、「レベル0 (障害なし)」は年齢が高くなるに従って、少なくなる傾向がみられる。

(図表 a-1)

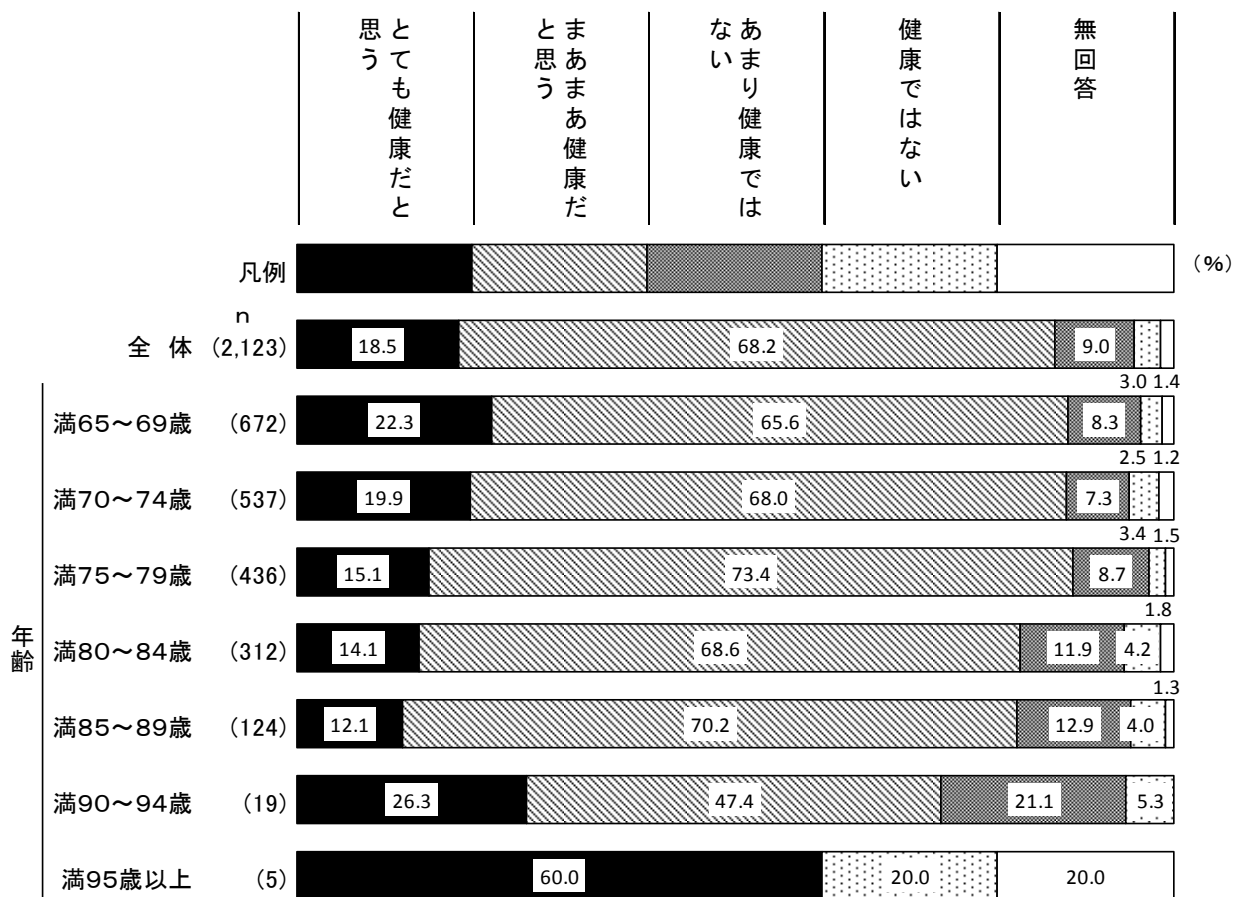
7. 健康について

(1) 主観的な健康感について

問32 ご自分で健康だと思いますか。(1つに○)

「まあまあ健康だと思う」が68.2%、「とても健康だと思う」が18.5%。

図表32-1 主観的な健康感について(年齢別)



主観的な健康感について、「まあまあ健康だと思う」が68.2%と最も多く、次いで「とても健康だと思う」(18.5%)、「あまり健康ではない」(9.0%)と続いている。

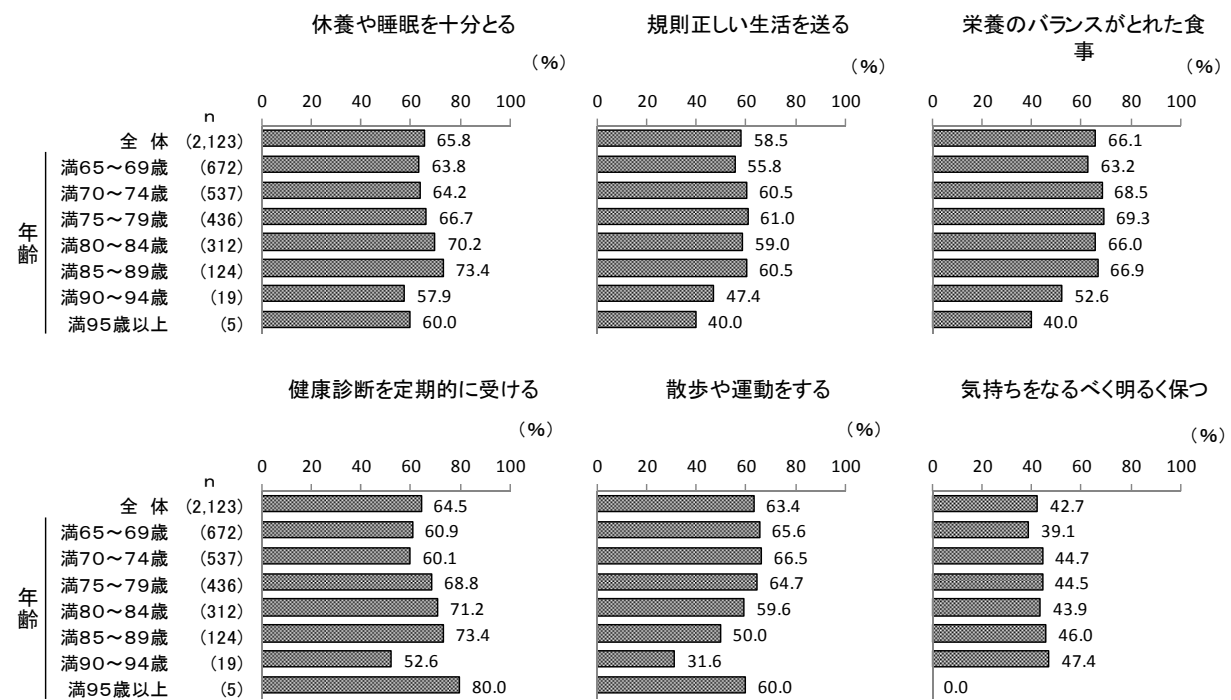
年齢別でみると、「まあまあ健康だと思う」は満75～79歳が73.4%と最も多く、次いで満85～89歳(70.2%)、満80～84歳(68.6%)と続いている。(図表32-1)

(2) 健康に気を使っていること

問33 健康に気を使っていることはありますか。(いくつでも○)

「栄養のバランスがとれた食事」が 66.1%、「休養や睡眠を十分とる」が 65.8%、「健康診断を定期的に受ける」が 64.5%。

図表 3 3 - 1 健康に気を使っていること (年齢別)



健康に気を使っていることについて、「栄養のバランスがとれた食事」が 66.1%と最も多く、「休養や睡眠を十分とる」(65.8%)、「健康診断を定期的に受ける」(64.5%)と続いている。

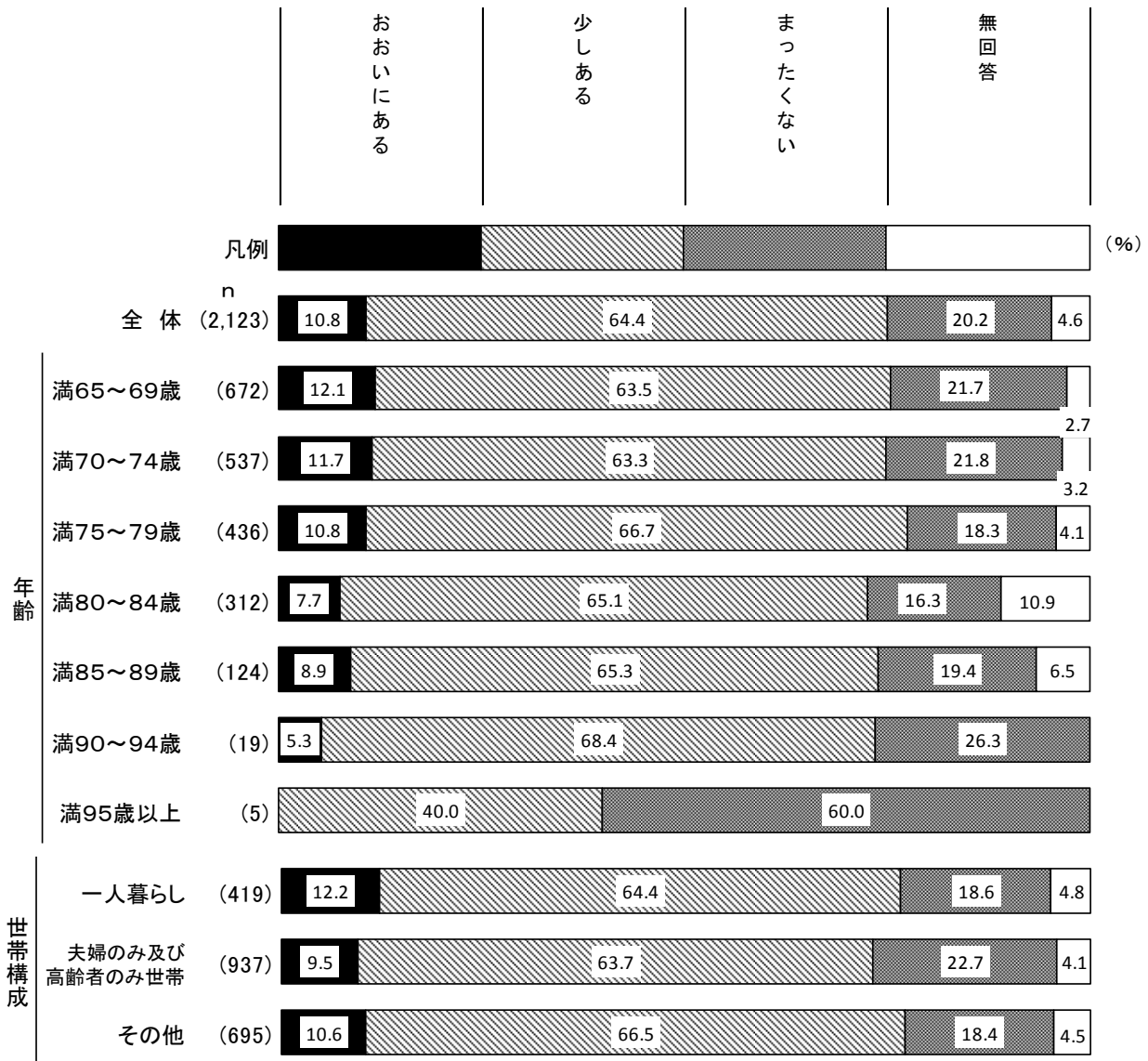
年齢別でみると、満80～84歳と満85～89歳は、他の年齢層に比べ、「休養や睡眠を十分とる」、「健康診断を定期的に受ける」の割合が多くなっている。(図表 3 3 - 1)

(3) 悩みやストレスの有無

問34 悩みやストレスはありますか。(1つに○)

「少しある」が64.4%、「おおいにある」が10.8%。

図表34-1 悩みやストレスの有無(年齢別/世帯構成別)

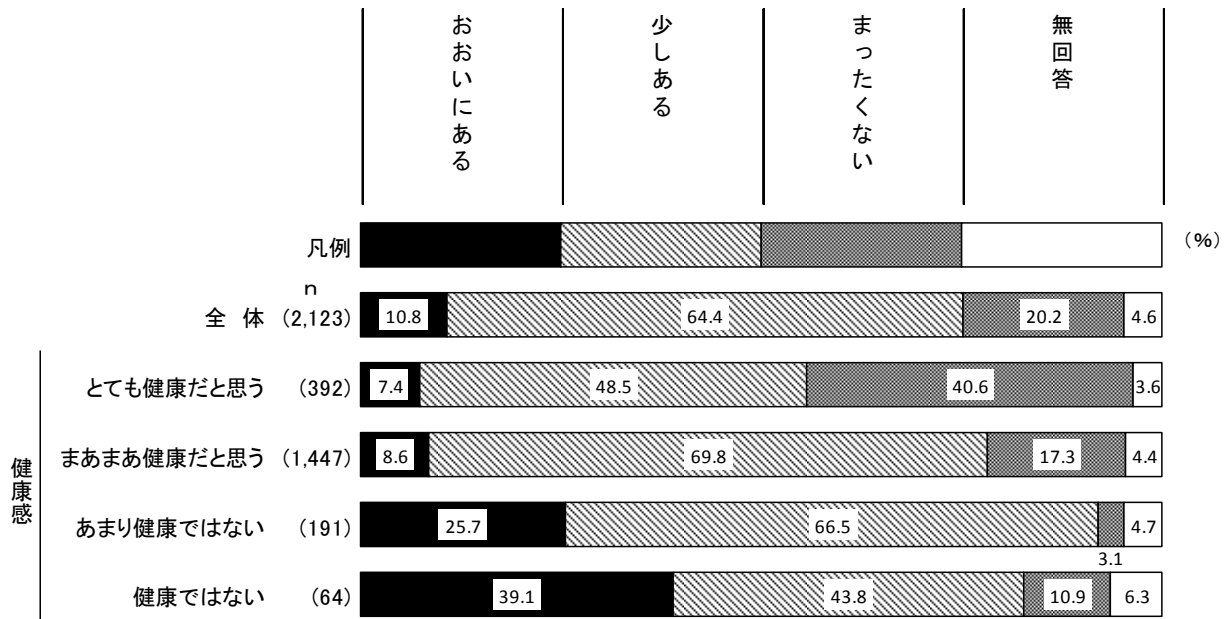


悩みやストレスの有無について、「少しある」が64.4%と最も多く、次いで「まったくない」(20.2%)、「おおいにある」(10.8%)と続いている。

年齢別でみると、「少しある」は、満90～94歳が68.4%と最も多く、次いで、満75～79歳(66.7%)、満85～89歳(65.3%)と続いている。

世帯構成別でみると、「一人暮らし世帯」は「夫婦のみ及び高齢者のみ世帯」より「おおいにある」が2.7ポイント多くなっている。(図表34-1)

図表 3 4 - 2 悩みやストレスの有無（健康感別）



健康感別でみると、健康と感じている人ほど「悩みやストレス」が「おおいにある」と感じている人は少なくなる傾向がみられる。（図表 3 4 - 2）

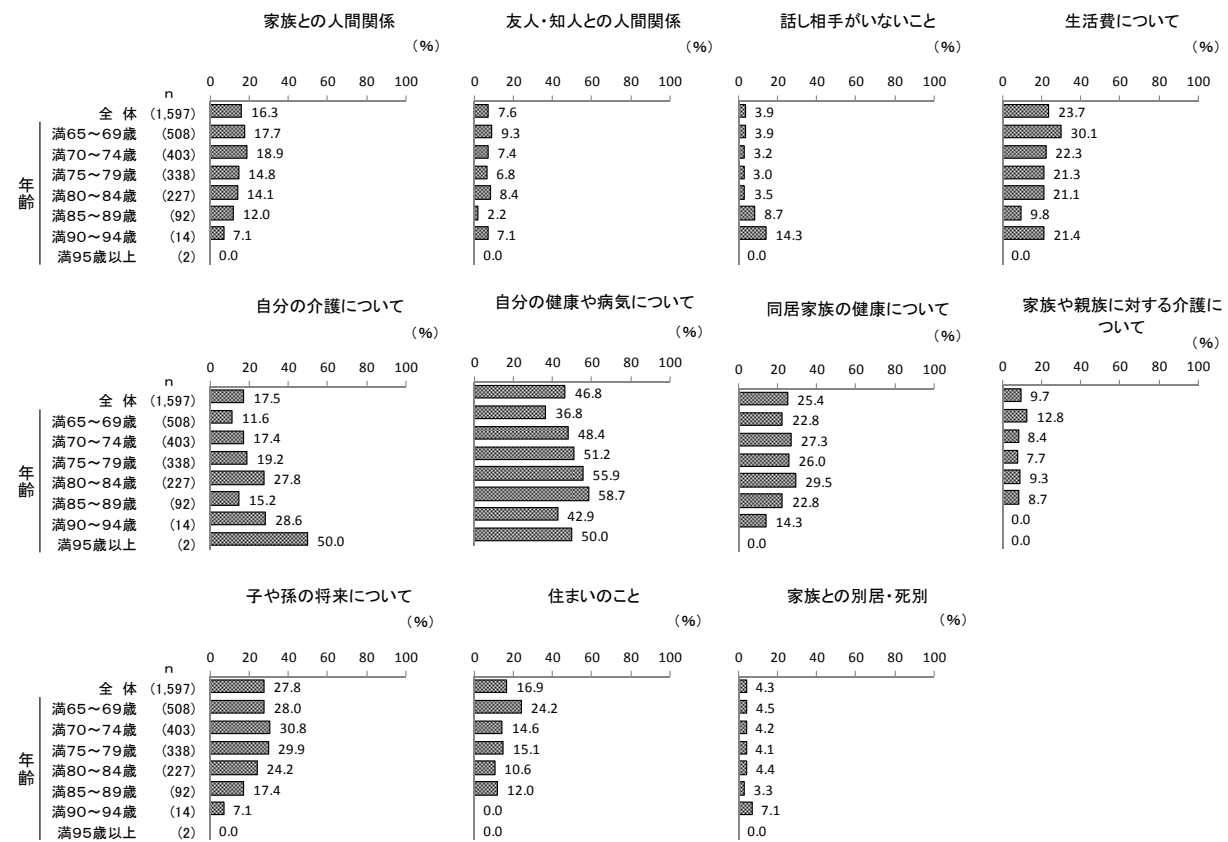
(4) 悩みやストレスの原因

問35 (問34で「1」「2」と回答された方におたずねします。)

その原因は何ですか。(いくつでも○)

「自分の健康や病気について」が46.8%、「子や孫の将来について」が27.8%、「同居家族の健康について」が25.4%。

図表35-1 悩みやストレスの原因(年齢別)



悩みやストレスの原因について、「自分の健康や病気について」が46.8%と最も多く、「子や孫の将来について」(27.8%)、「同居家族の健康について」(25.4%)と続いている。

年齢別で見ると、「自分の健康や病気について」は年齢が高くなるに従って多くなる傾向がみられる。

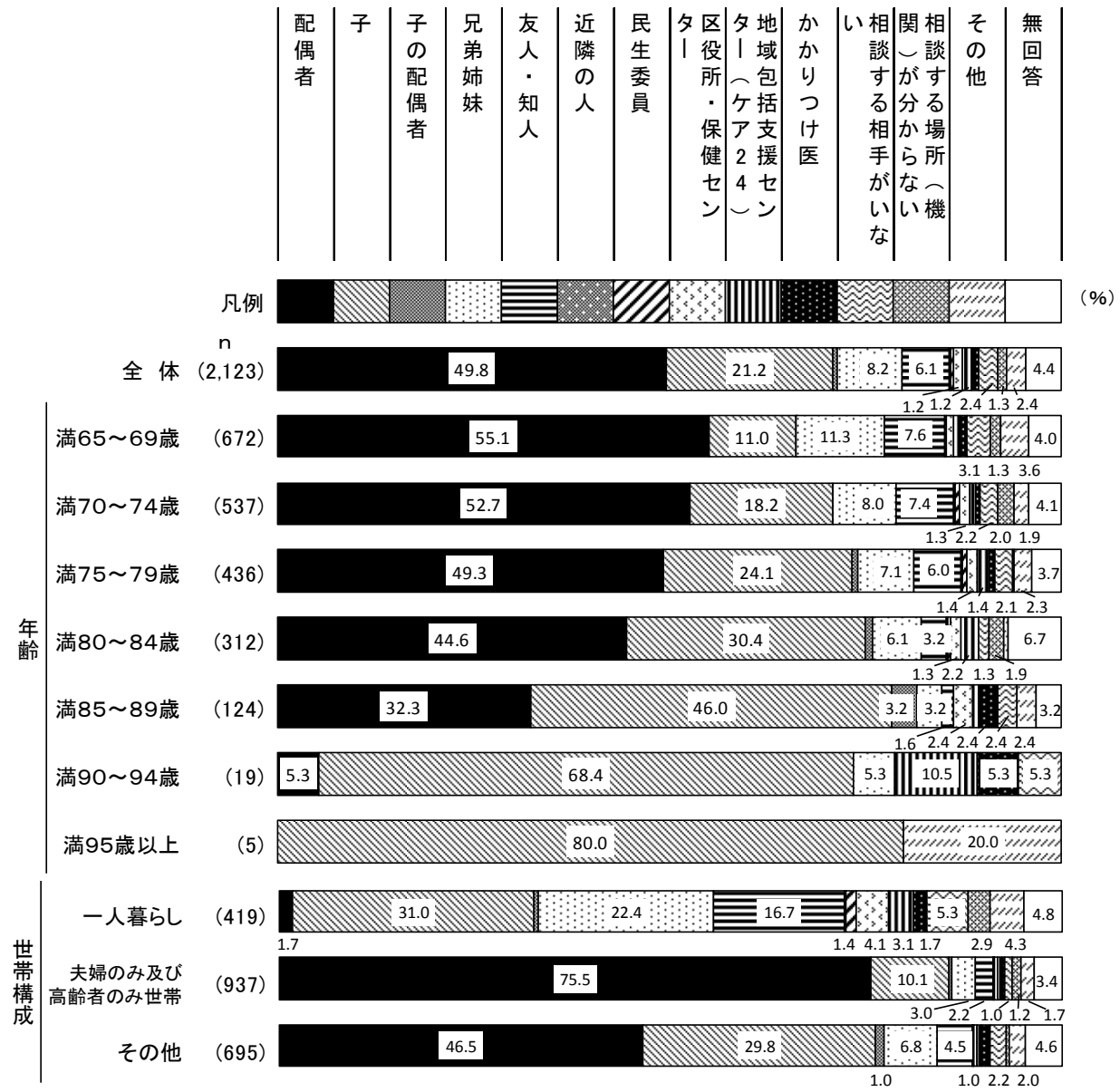
(図表35-1)

(5) 生活の中で不安に思ったときの相談先

問36 あなたは生活の中で不安に思ったとき、どなた(どこ)に相談しますか。
(もっともよくあてはまるもの1つに○)

「配偶者」が49.8%、「子」が21.2%。

図表36-1 生活の中で不安に思ったときの相談先(年齢別/世帯構成別)



生活の中で不安に思ったときの相談先について、「配偶者」が49.8%と最も多く、「子」(21.2%)、「兄弟姉妹」(8.2%)と続いている。

年齢別で見ると、「配偶者」は年齢が高くなるに従って少なくなる傾向がみられる。一方、「子」は年齢が高くなるに従って多くなる傾向がみられる。

世帯構成別で見ると、「配偶者」は「夫婦のみ及び高齢者のみ世帯」が75.5%と最も多くなっている。

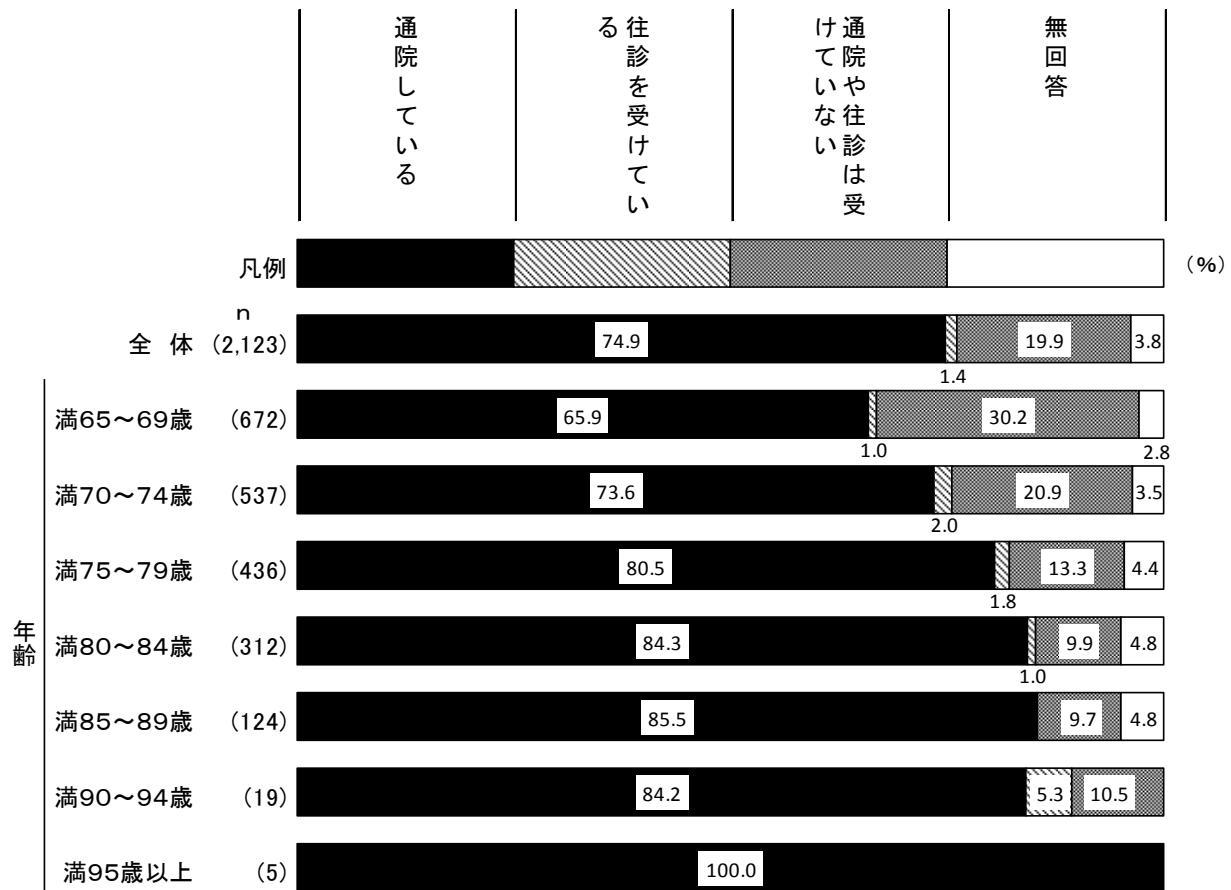
(図表36-1)

(6) 通院・往診の状況

問37 現在、通院（病院・医院・診療所など）や往診を受けていますか。（1つに○）

「通院している」が74.9%、「通院や往診を受けていない」が19.9%。

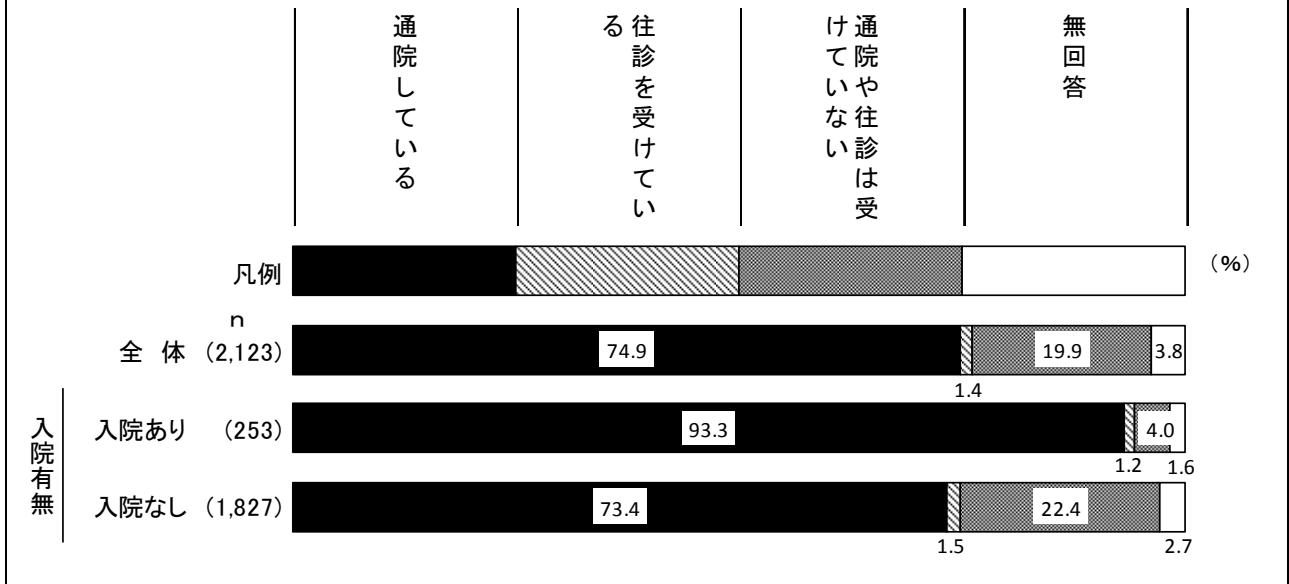
図表37-1 通院・往診の状況（年齢別）



通院・往診の状況について、「通院している」が74.9%と最も多く、次いで「通院や往診は受けていない」(19.9%)、「往診を受けている」(1.4%)と続いている。

年齢別でみると、「通院や往診は受けていない」は年齢が高くなるに従って少なくなる傾向が見られる。(図表37-1)

図表 3 7 - 2 通院・往診の状況（この1年間での入院の有無別）



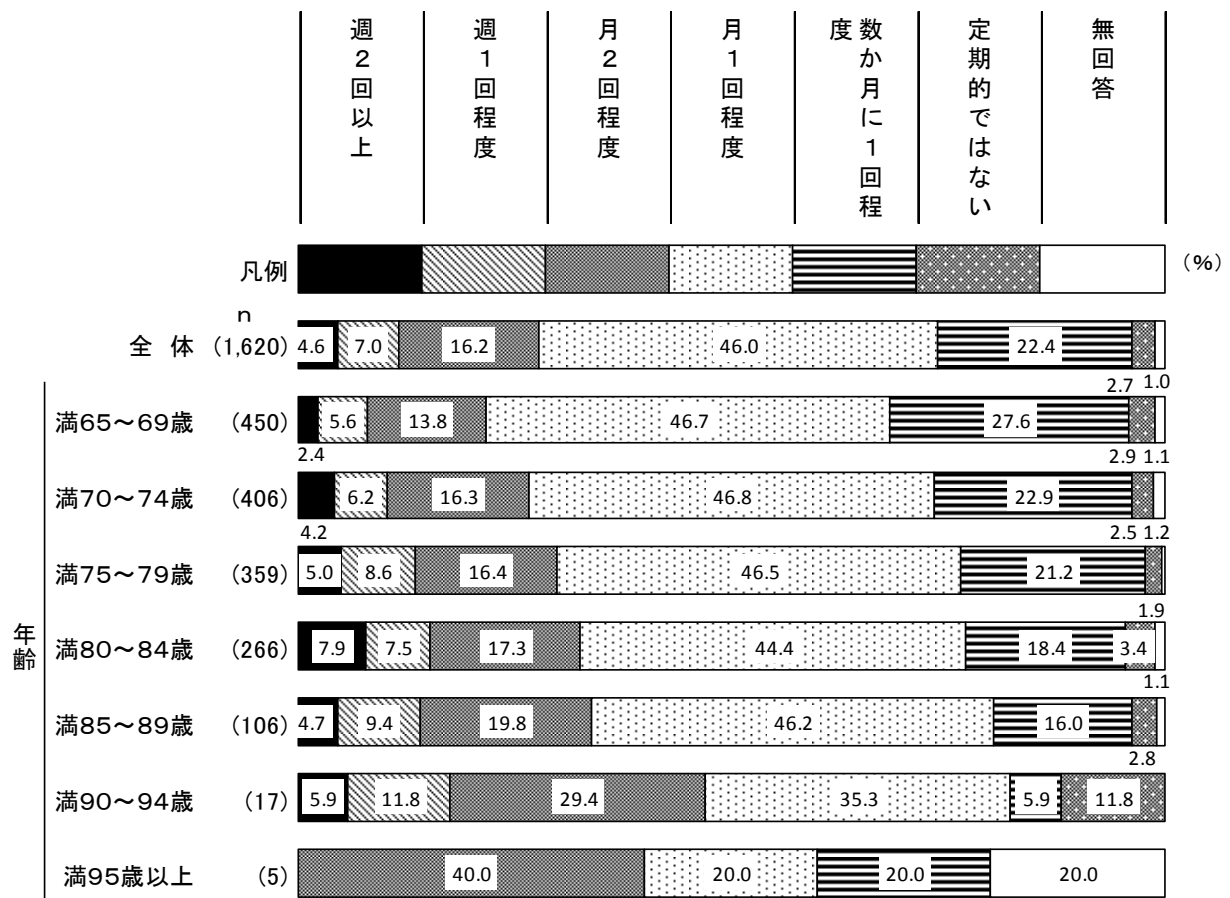
この1年間での入院の有無別で見ると、「通院している」は「入院あり」の人が「入院なし」の人より19.9ポイント多くなっている。(図表37-2)

(7) 通院・往診の頻度

問38 (問37で「1」「2」と回答された方におたずねします。) 通院や往診の頻度をおしえてください。(1つに○)

「月1回程度」が46.0%、「数か月に1回程度」が22.4%、「月2回程度」が16.2%。

図表38-1 通院・往診の頻度 (年齢別)



通院・往診の頻度について、「月1回程度」が46.0%と最も多く、次いで「数か月に1回程度」(22.4%)、「月2回程度」(16.2%)と続いている。

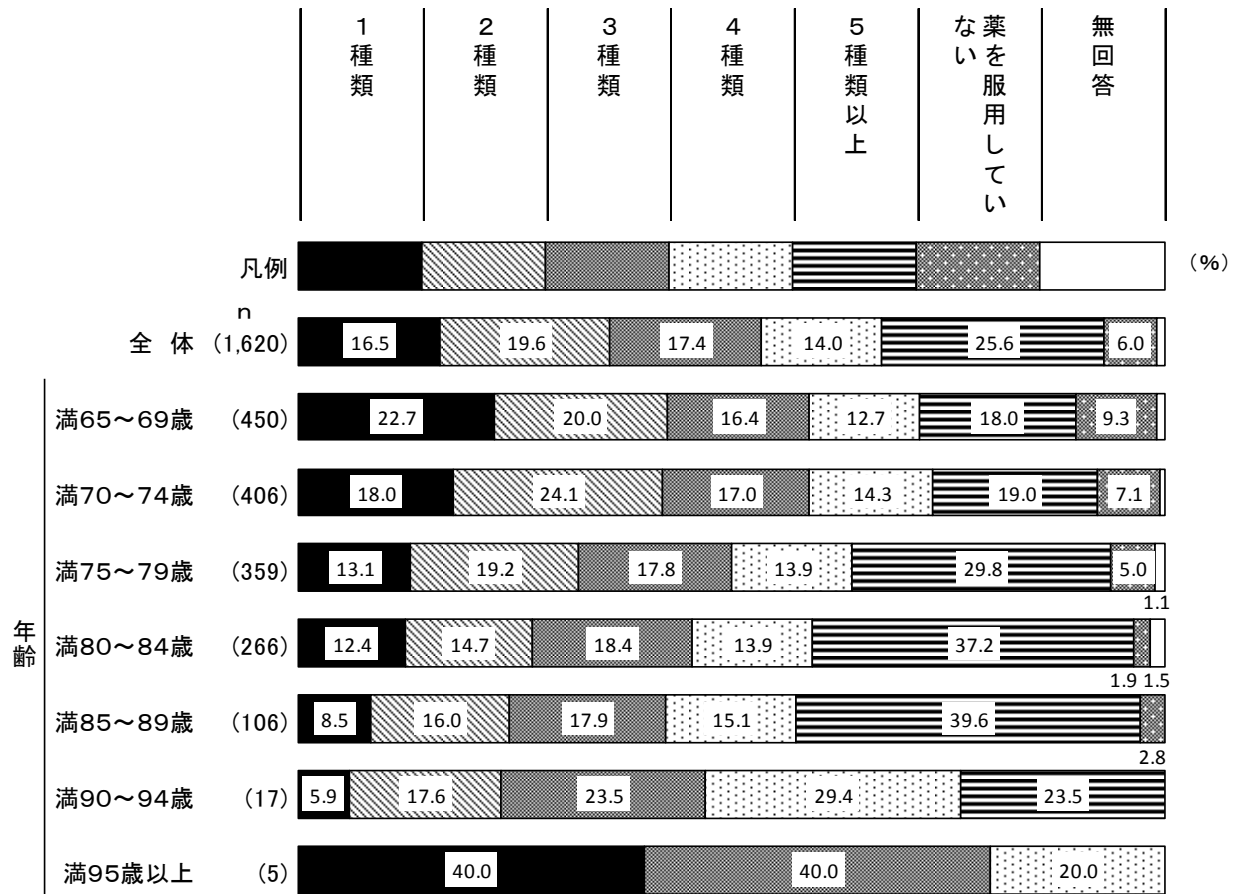
年齢別でみると、「月2回程度」は年齢が高くなるに従って多くなる傾向がみられる。一方、「数か月に1回程度」は年齢が高くなるに従って少なくなる傾向がみられる(図表38-1)

(8) 服用している薬の種類

問39 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでますか。(1つに○)

「5種類以上」が25.6%、「2種類」が19.6%、「3種類」が17.4%。

図表39-1 服用している薬の種類(年齢別)



服用している薬の種類について、「5種類以上」が25.6%と最も多く、次いで「2種類」(19.6%)、「3種類」(17.4%)と続いている。

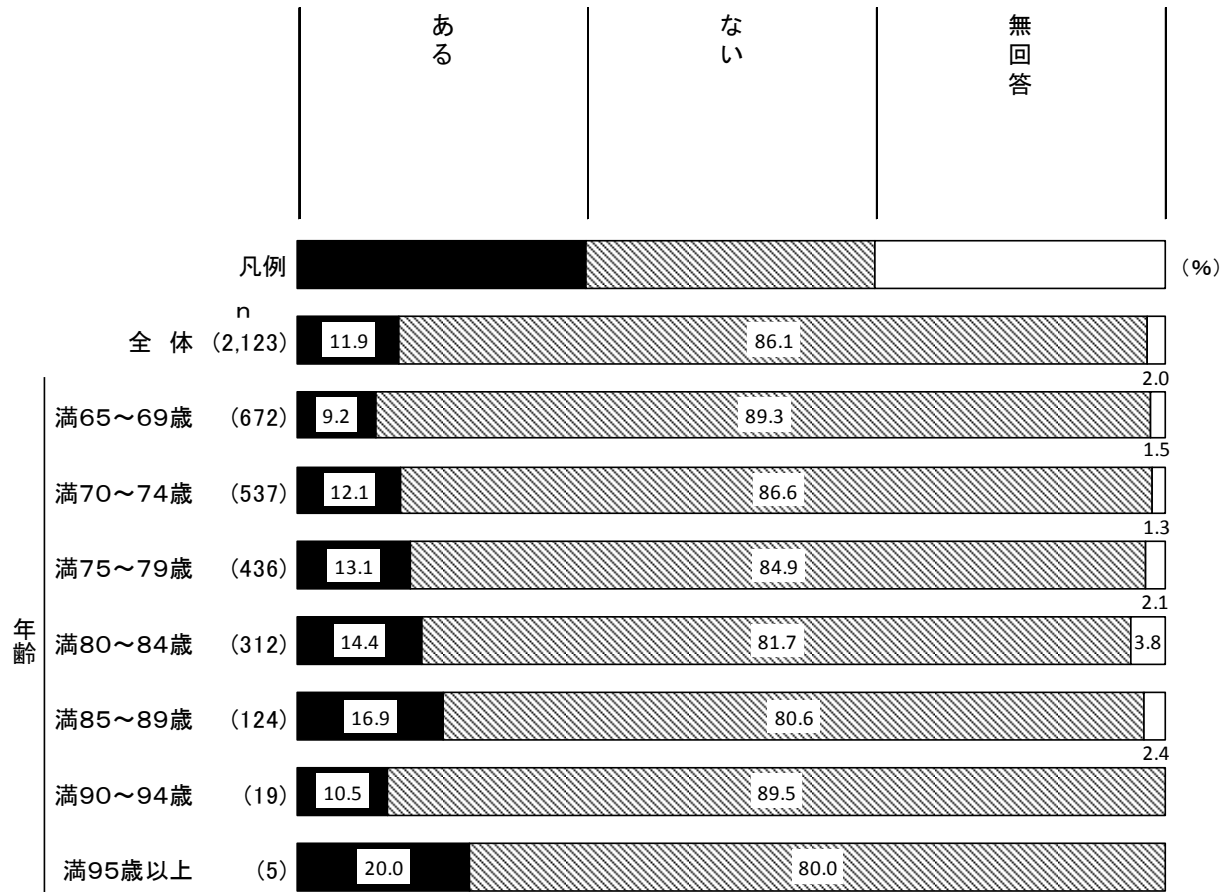
年齢別で見ると、「5種類以上」は年齢が高くなるに従って、多くなる傾向がみられる。一方、「1種類」は年齢が高くなるに従って、少なくなる傾向がみられる(図表39-1)

(9) 1年以内の入院の有無

問40 この1年間で入院したことがありますか。(1つに○)

「ある」が11.9%、「ない」が86.1%。

図表40-1 1年以内の入院の有無(年齢別)



1年間以内の入院の有無について尋ねたところ、「ある」が11.9%、「ない」が86.1%となっている。年齢別でみると、「ある」は年齢が高くなるに従って多くなる傾向がみられる。(図表40-1)

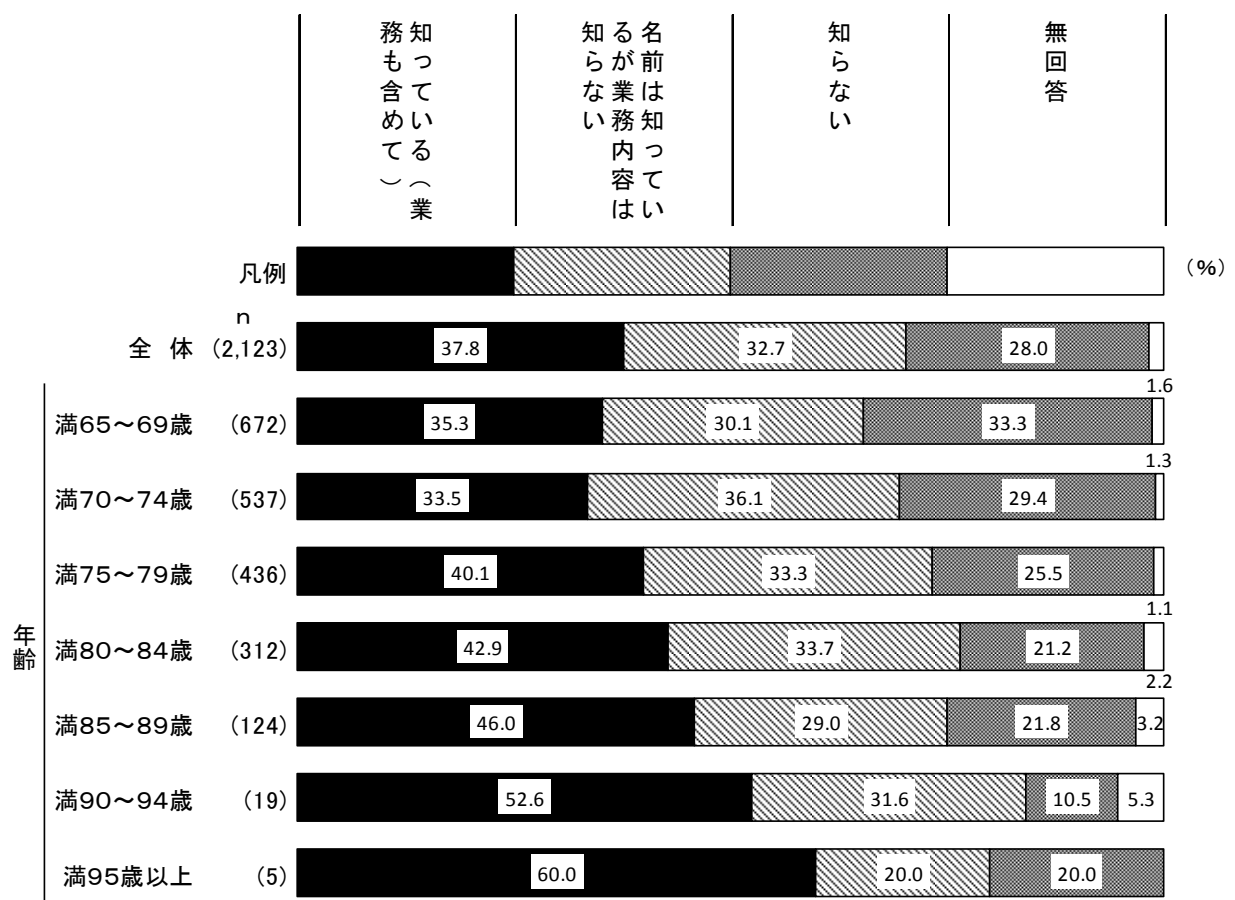
8. その他

(1) 地域包括支援センター（ケア24）の認知度

問4-1 地域包括支援センター（ケア24）を知っていますか。（1つに○）

「知っている(業務を含めて)」が 37.8%、「名前は知っているが業務内容は知らない」が 32.7%、「知らない」が 28.0%。

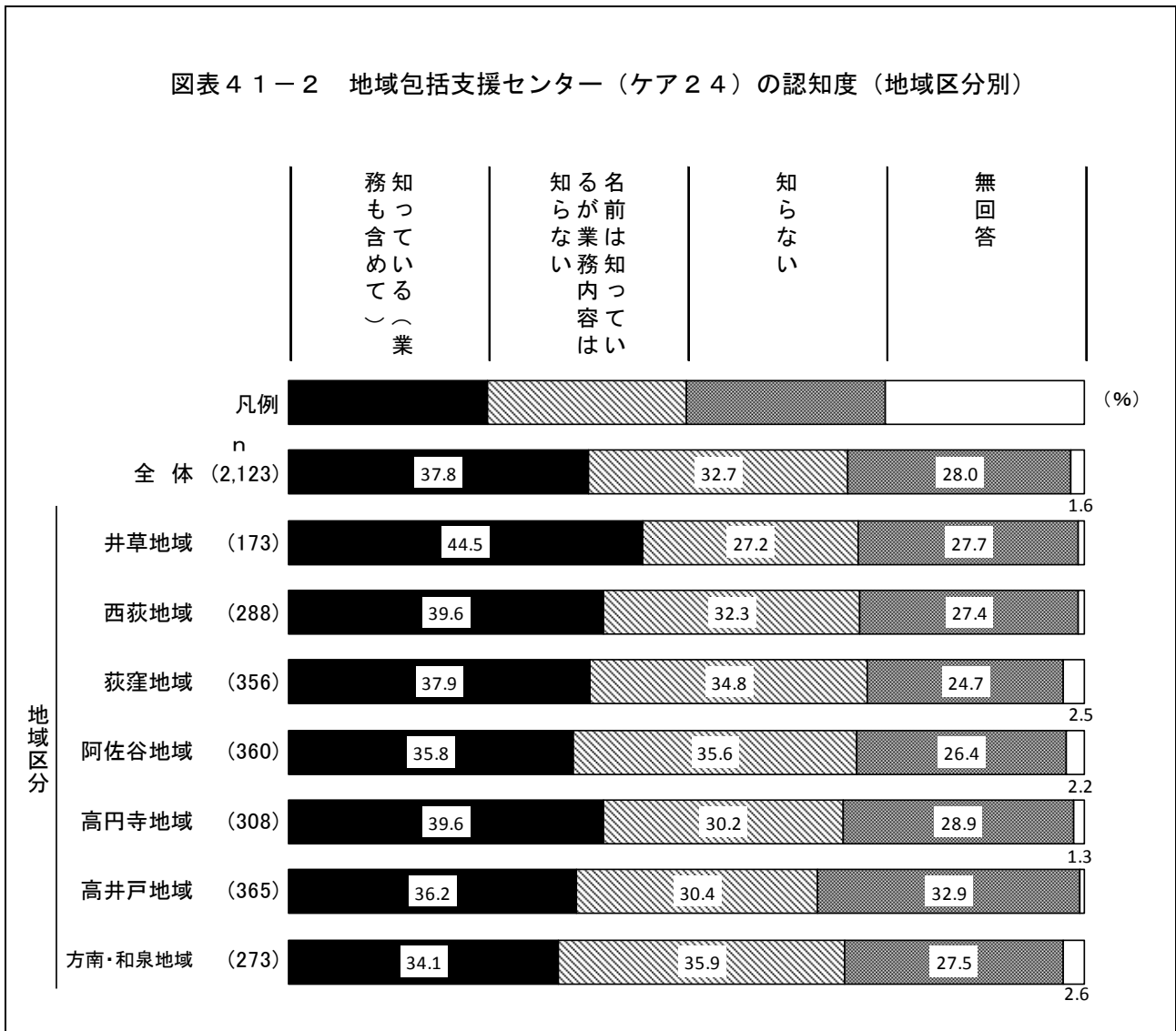
図表 4 1 - 1 地域包括支援センター（ケア24）の認知度（年齢別）



地域包括支援センター（ケア24）の認知度について、「知っている(業務を含めて)」が 37.8%と最も多く、次いで「名前は知っているが業務内容は知らない」(32.7%)、「知らない」(28.0%)と続いている。

年齢別でみると、「知っている(業務を含めて)」は満95歳以上が 60.0%と最も多く、次いで満90～94歳(52.6%)、満85～89歳(46.0%)と続いている。(図表 4 1 - 1)

図表 4 1 - 2 地域包括支援センター（ケア24）の認知度（地域区分別）



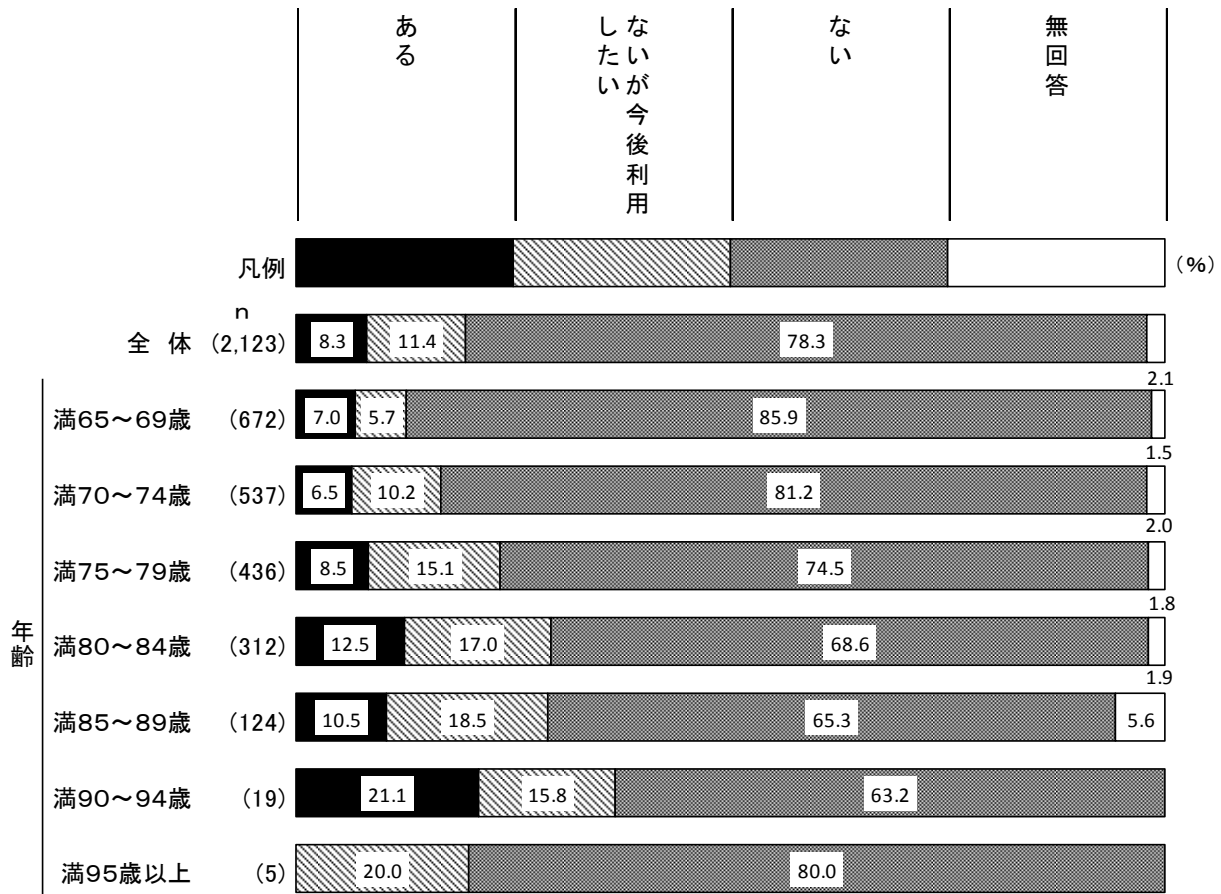
地域区分別でみると、「知っている(業務を含めて)」は「井草地域」が44.5%と最も多く、次いで「西荻地域」、「高円寺地域」(各39.6%)、「荻窪地域」(37.9%)と続いている。(図表41-2)

(2) 地域包括支援センター（ケア24）の利用有無

問42 地域包括支援センター（ケア24）を利用したことはありますか。（1つに○）

「ある」が8.3%、「ないが今後利用したい」が11.4%、「ない」が78.3%。

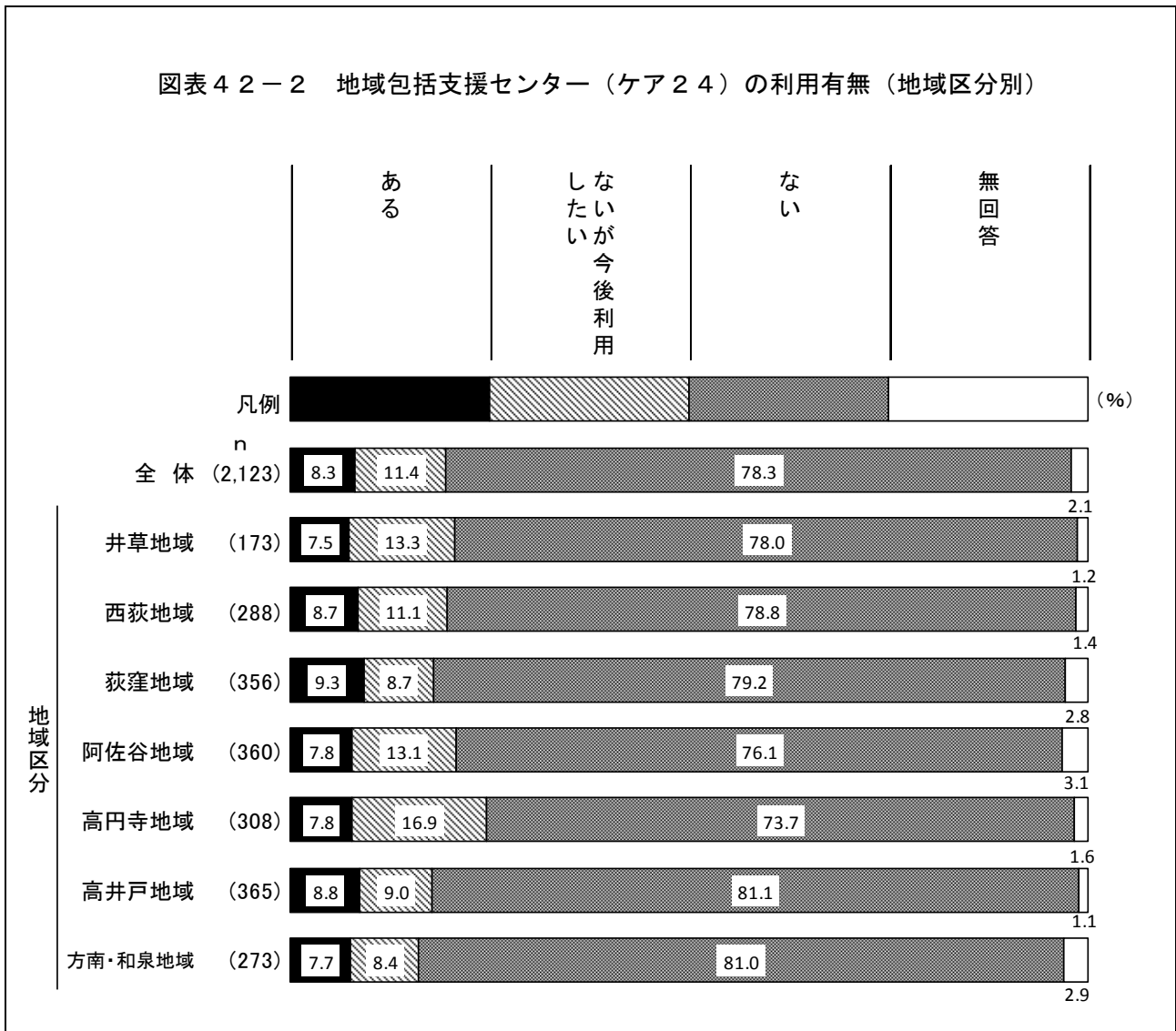
図表42-1 地域包括支援センター（ケア24）の利用有無（年齢別）



地域包括支援センター（ケア24）の利用有無について、「ある」が8.3%、「ないが今後利用したい」が11.4%、「ない」が78.3%となっている。

年齢別でみると、「ないが今後利用したい」は年齢が高くなるに従って、多くなる傾向がみられる。（図表42-1）

図表4 2-2 地域包括支援センター（ケア24）の利用有無（地域区分別）



地域区分別でみると、「ないが今後利用したい」は「高円寺地域」が16.9%と最も多く、次いで「井草地域」(13.3%)、「阿佐谷地域」(13.1%)と続いている。(図表4 2-2)

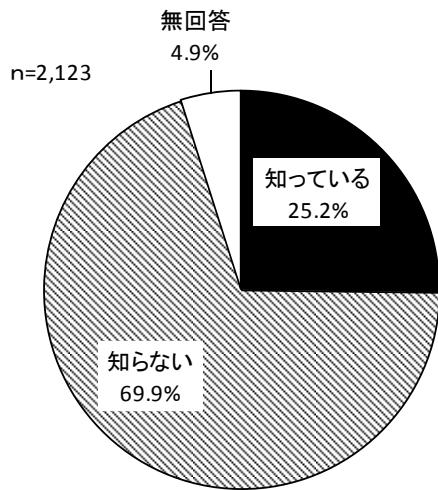
(3) 長寿応援ポイント事業の認知度

問43 区が実施している長寿応援ポイント事業を知っていますか。(1つに○)

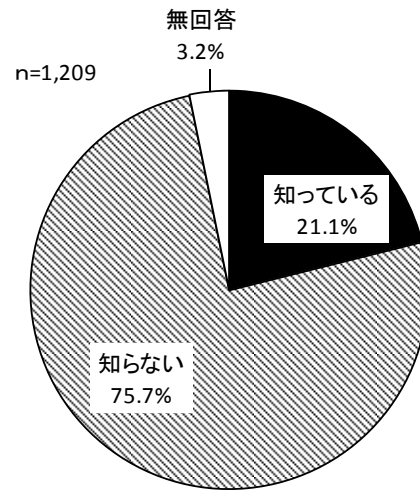
「知っている」が25.2%、「知らない」が69.9%。

図表43-1 長寿応援ポイント事業の認知度(年齢別)

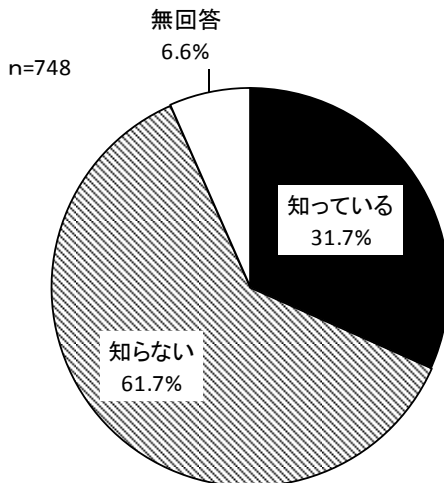
全体



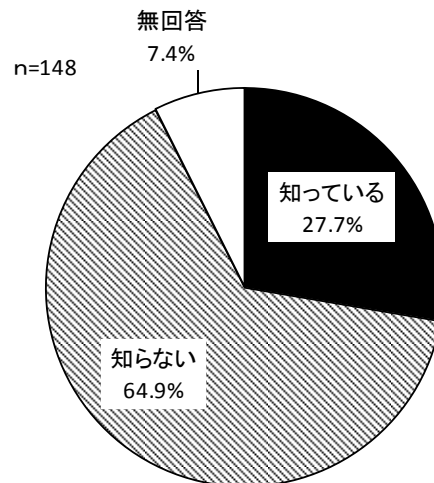
満65歳~74歳



満75歳~84歳



85歳以上



長寿応援ポイント事業の認知度について、「知っている」が25.2%、「知らない」が69.9%となっている。

年齢別でみると、「知っている」は満75~84歳が31.7%と最も多く、次いで85歳以上(27.7%)、満65歳~74歳(21.1%)と続いている。(図表43-1)

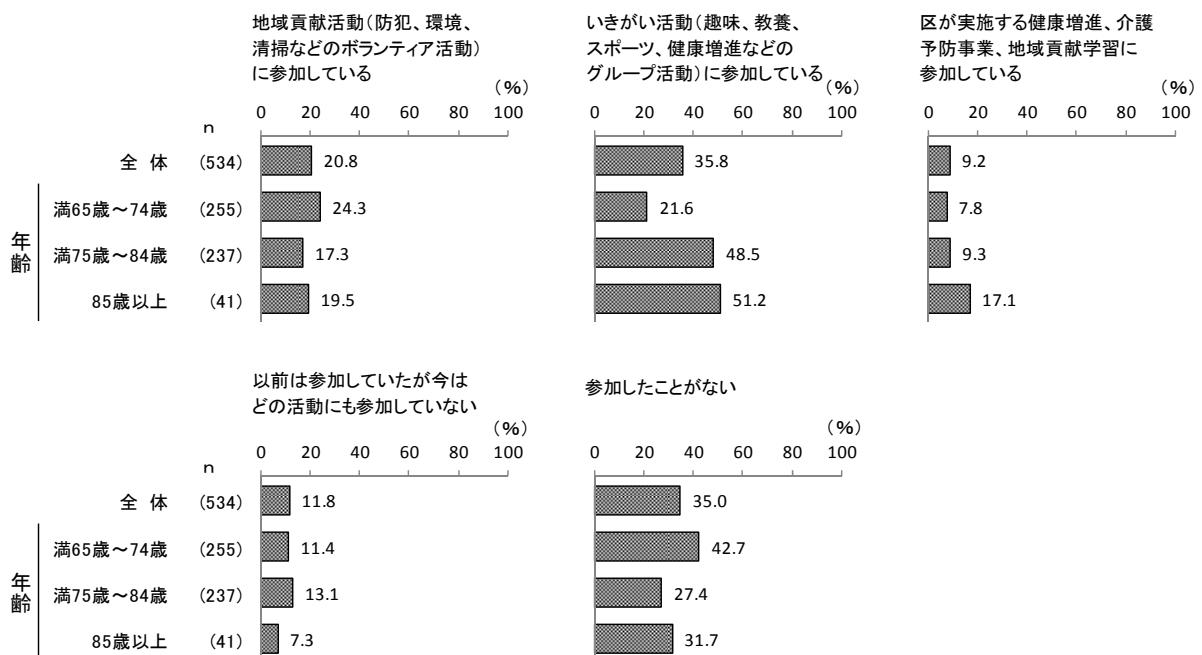
(4) 長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加有無

問44 (問43で「1」と回答された方におたずねします。)

長寿応援ポイントシールがもらえる活動に参加していますか。(いくつでも○)

「いきがい活動(趣味、教養、スポーツ、健康増進などのグループ活動)」が35.8%、「地域貢献活動(防犯、環境、清掃などのボランティア活動)」が20.8%、「区が実施する健康増進、介護予防事業、地域貢献学習」が9.2%。

図表44-1 長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加有無(年齢別)



ポイントシールがもらえる活動への参加は、「いきがい活動(趣味、教養、スポーツ、健康増進などのグループ活動)」が35.8%と最も多く、次いで「地域貢献活動(防犯、環境、清掃などのボランティア活動)」(20.8%)、「区が実施する健康増進、介護予防事業、地域貢献学習」(9.2%)の順となっている。

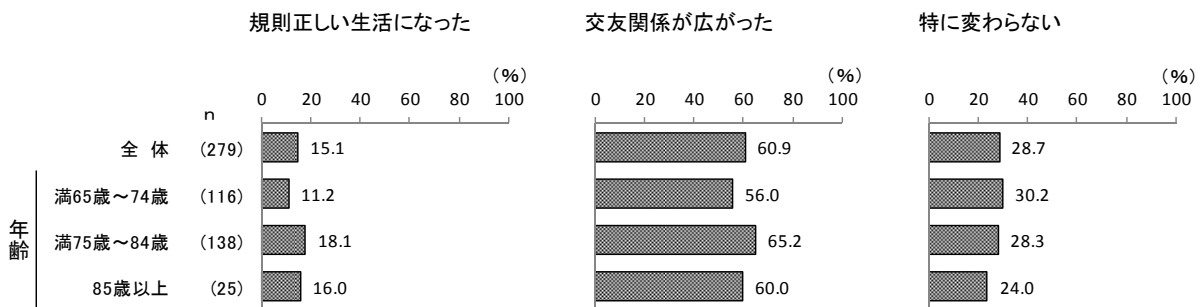
年代別でみると、「いきがい活動(趣味、教養、スポーツ、健康増進などのグループ活動)」は年代が上がるにつれて割合が多くなっている。(図表44-1)

(5) 長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加後の生活の変化

問45 (問44で「1」～「3」と回答された方におたずねします。)
参加前と比べて生活に変化を感じられますか。(いくつでも○)

「規則正しい生活になった」が15.1%、「交友関係が広がった」が60.9%。

図表45-1 長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加後の生活の変化(年齢別)



活動への参加後の生活の変化は、「交友関係が広がった」が60.9%と最も多く、「規則正しい生活になった」は15.1%となっている。

年代別でみると、「交友関係が広がった」は満75歳～84歳で65.2%と最も多くなっている。

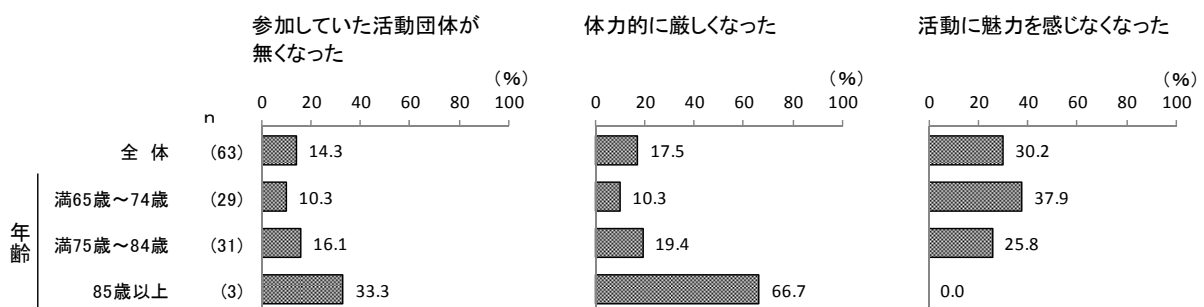
(図表45-1)

(6) 長寿応援ポイントシールがもらえる活動に参加していない理由

問46 (問44で「4」と回答された方におたずねします)
今参加していない理由はなんですか。(いくつでも○)

「参加していた活動団体が無くなった」が14.3%、「体力的に厳しくなった」が17.5%、「活動に魅力を感じなくなった」が30.2%。

図表46-1 長寿応援ポイントシールがもらえる活動に参加していない理由(年齢別)



活動に参加していない理由は、「活動に魅力を感じなくなった」が30.2%と最も多く、次いで「体力的に厳しくなった」(17.5%)、「参加していた活動団体が無くなった」(14.3%)の順となっている。

年代別で見ると、「体力的に厳しくなった」、「参加していた活動団体が無くなった」は年代が高くなるにつれて割合が多くなっているが、「活動に魅力を感じなくなった」は年代が高くなるにつれて割合は少なくなっている。(図表46-1)

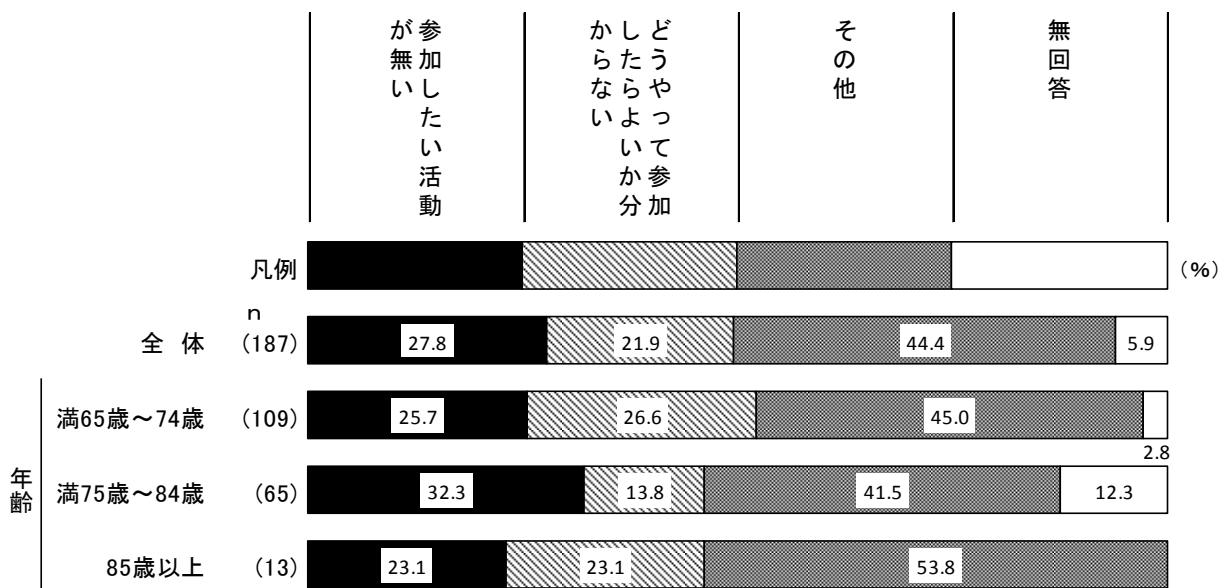
(7) 長寿応援ポイントシールがもらえる活動に参加したことがない理由

問47 (問44で「5」と回答された方におたずねします。)

理由はなんですか？

「参加したい活動が無い」が27.8%、「どうやって参加したらよいか分からない」が21.9%。

図表47-1 長寿応援ポイントシールがもらえる活動に参加したことがない理由 (年齢別)



参加したことがない理由は、「参加したい活動が無い」が27.8%、「どうやって参加したらよいか分からない」が21.9%となっている。

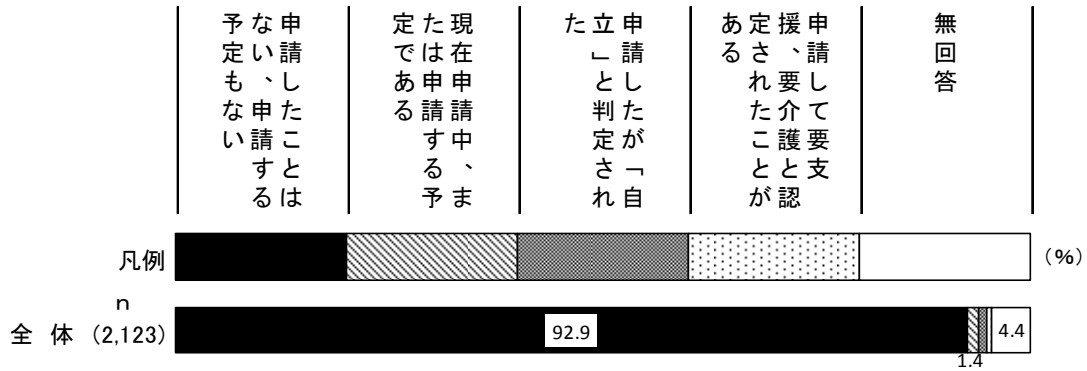
年代別でみると、「参加したい活動が無い」は満75歳～84歳で最も多くなっている。(図表47-1)

(8) 介護保険の認定

問48 あなたはこれまでに介護保険の認定を申請したことがありますか。(いくつでも○)

「申請したことはない、申請する予定もない」が92.9%。

図表48-1 介護保険の認定



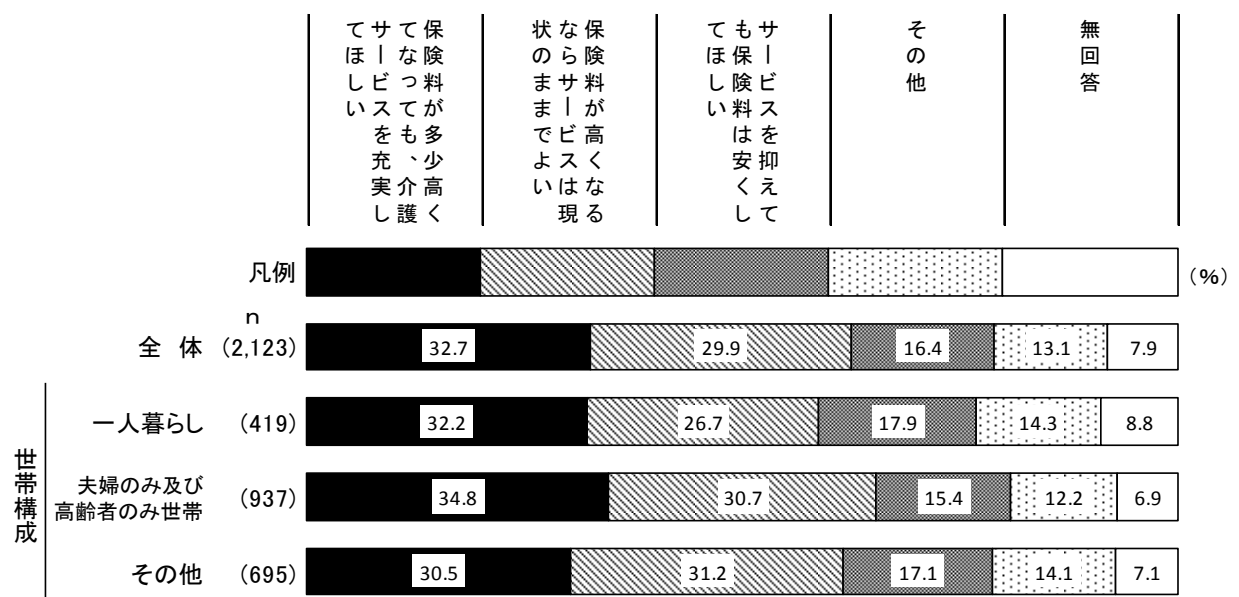
介護保険の認定は、「申請したことがない、申請する予定もない」が92.9%と最も多くなっている。
(図表48-1)

(9) 介護保険サービスと保険料のあり方について

問 4 9 介護保険サービスと保険料のあり方について、あなたの考えにもっとも近いのはどれですか。(1つに○)

「保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい」が32.7%、「保険料が高くなるならサービスは現状のままでよい」が29.9%、「サービスを抑えても保険料は安くしてほしい」が16.4%。

図表 4 9 - 1 介護保険サービスと保険料のあり方について (世帯構成別)



介護保険サービスと保険料のあり方について、「保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい」が32.7%と最も多く、次いで「保険料が高くなるならサービスは現状のままでよい」(29.9%)、「サービスを抑えても保険料は安くしてほしい」(16.4%)の順となっている。

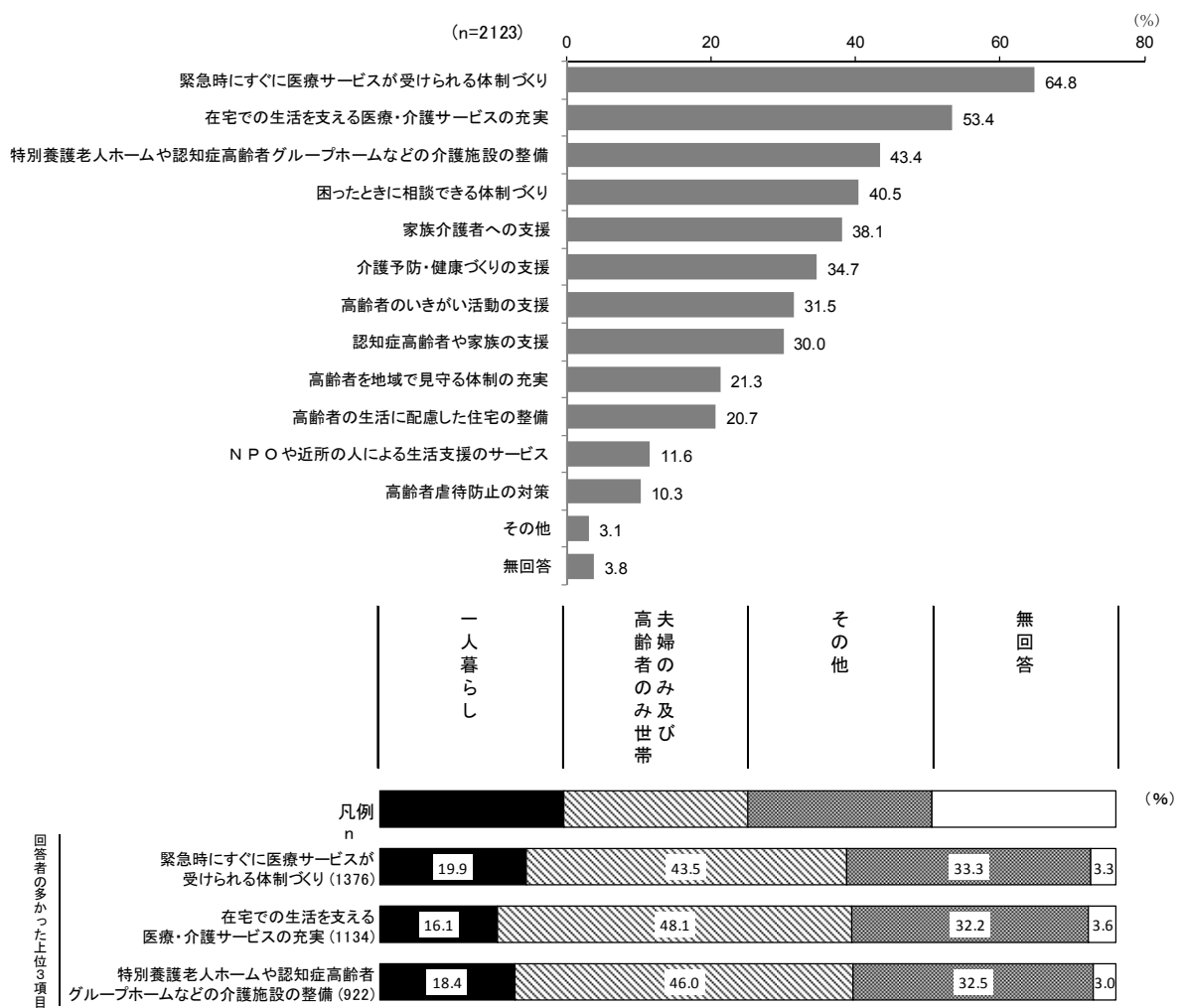
世帯構成別でみると、特に大きな差はみられなかった。(図表 4 9 - 1)

(10) 今後、充実した方が良いと思う高齢者施策について

問50 今後、高齢者のためにどのような施策を充実したらよいと思いますか。(いくつでも○)

最も要望が多かったのは「緊急時にすぐに医療サービスが受けられる体制づくり」が64.8%、次いで「在宅での生活を支える医療・介護サービスの充実」が53.4%、「特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホームなどの介護施設の整備」が43.4%。

図表50-1 今後、充実した方が良いと思う高齢者施策について



上位3項目について世帯構成別でみると、「一人暮らし世帯」では「緊急時にすぐに医療サービスが受けられる体制づくり」(19.9%)、「夫婦のみ及び高齢者のみ世帯」では「在宅での生活を支える医療・介護サービスの充実」(48.1%)がそれぞれ最も多くなっている。(図表50-1)

9. 社会的孤立の状況について

問7 親族の方とは、どのくらいの頻度で会ったり、電話などで連絡をとっていますか。

問14 友人の家を訪ねていますか。(友人と外で会うことも含む)

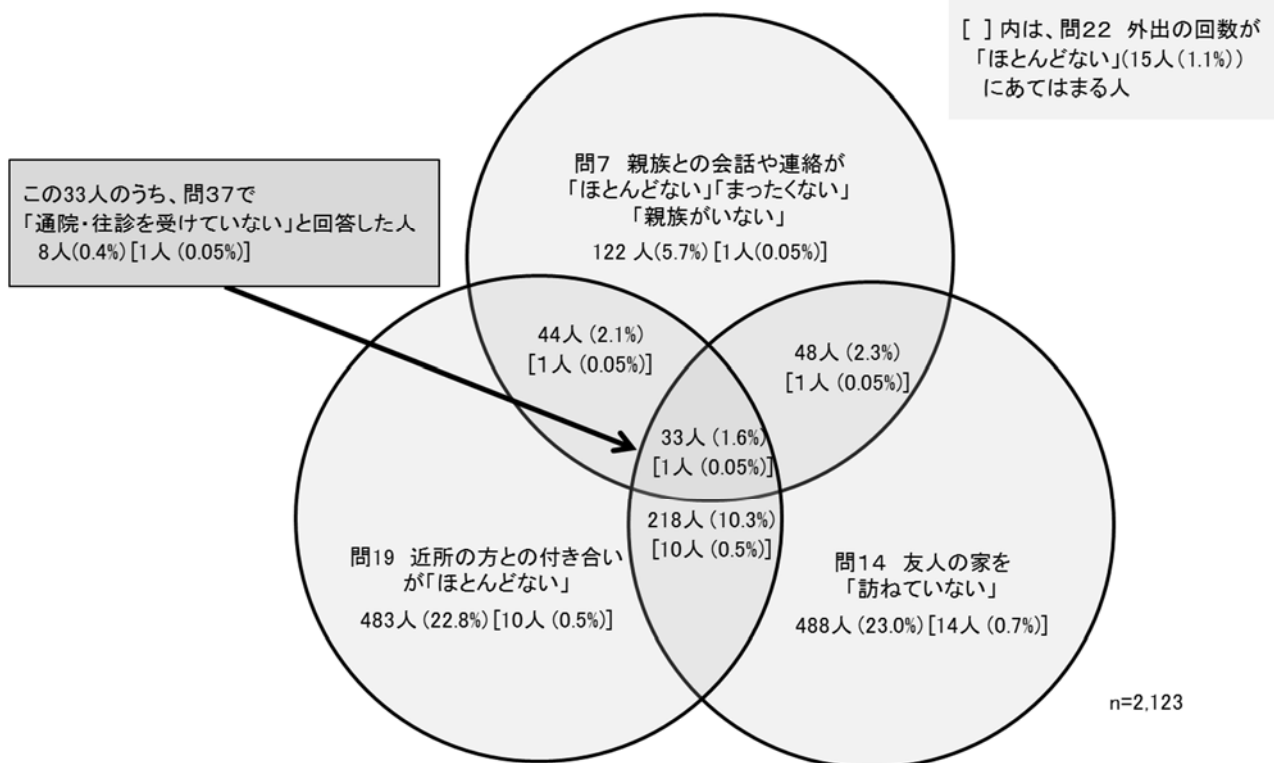
問19 近所の方と会話をしているなど、お付き合いはありますか。

問21 散歩や買い物など、外出の回数はどのくらいですか(通院を除く)。

問37 現在、通院(病院・医院・診療所など)や往診を受けていますか。

親族の方との会話や連絡、友人宅の訪問、近所の方との付き合いがすべてない人は33人(1.6%)。

図表 b-1 社会的孤立の状況について



親族の方との会話や連絡の頻度(問7)、友人の家への訪問の有無(問14)、近所の方との付き合いの頻度(問19)、外出の回数(問21)、通院・往診の有無(問37)の社会的孤立にかかわる5項目にてその有無・頻度がほとんど無いと回答した人の状況を整理した。

回答者1,426人のうち、親族の方との会話や連絡、友人宅の訪問、近所の方との付き合いの3項目がすべてない人は33人(1.6%)であり、さらに外出の回数がほとんどない人は1人(0.05%)、通院・往診を受けていない人は8人(0.4%)。また、5項目すべてがない人は1人(0.05%)であった。

(図表 b-1)

10. 高齢者の福祉についてのご意見・ご要望

高齢者の福祉について、446 人から意見・要望があった。記載内容を区分し、いくつかの意見等について以下に示す。

【施設の基盤整備について (57 件)】

- ・高齢者と幼児（保育園や学童保育を必要としている子ども）が共に利用しあえるような施設を沢山つくってほしい。
- ・特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホームなどの施設を充実してほしい。有料老人ホームにはとても高くて入れない。せめて年金で足りる施設に入居したい。

【福祉施策について (17 件)】

- ・税金を上げずに、効率的で充実した内容の高齢者福祉を期待する。
- ・高齢社会になり、若い時に思い描いていた福祉が十分得られない社会になってきた。人口の減少、働く世代の減少等で、老人にシワ寄せができてきている。若者の教育、人口減少の歯止めが必要。

【情報、相談について (8 件)】

- ・新聞をとっていないので区報を読む機会がない。どこでも簡単に手に入る様にして欲しい。
- ・高齢者への支援や制度をもっとわかりやすく誰にでも利用できるようにして欲しい。（親や同居人が介護を受けた人は内容を知っているが高齢者夫婦でも利用したことのない人は実態をまったく知らない）

【医療、医療費、病院について (9 件)】

- ・高齢者でも人にものを頼んだりする勇気がない。相手の生活を乱してしまいそうに思う。先々どうなるかわからないが、出来る限り自分でやろうと思っている。今は大学病院に定期的に行っているので、いざという時は近所の開業医の先生に心良く受け入れてもらえるかが心配。
- ・病気になった時の治療費はなんとかなるにしても、入院した際の部屋代（保険 3 割）、差額ベッド代などほとんど無料はなく、1 日 5000 円と言われると困る。差額ベッド代がとても気になる。少しでもよいので低額のベッドがほしい。

【生きがい、社会参加について (30 件)】

- ・高齢者も元気な人は意識をもって社会活動をする事が良いと思っている。昔から比べたら、65 才以上でも元気な人達が多い。志を高く持つ事の方が元気だと思う。福祉を手厚くするのは税金がかかる事であり、収入が（税金）少なくなっている現在、資産のある人達からも負担してもらわなければならないと思う。
- ・どんな年齢にでも社会的つながりが必要と思う。孤立しないことが大切である。

【今後の介護について (19件)】

- ・認知症が進んでいても、身体が丈夫だと要介護の段階が低く査定されてしまう。認知症状がひどくなると一人にはできず、目が離せないのは身体が不自由な人と同じ。要介護のあり方を検討してほしい。
- ・プライバシーの保護に配慮した老・老介護家族への支援をお願いしたい。

【介護保険制度について (6件)】

- ・要支援1、2を介護保険の対象に戻して欲しい。
- ・現在、夫婦共健康に生活できているが、このアンケート回答をしている内に、どちらかが介護を受けなければならなくなっても、介護保険サービスの内容が判らない。予め事前に理解しておかないといざという時の事を考えると不安を感じる。区が実施している長寿応援ポイント、介護保険サービスの内容を高年齢者向けに積極的にPR、案内等をして頂きたい。

【サービス、スタッフの質について (28件)】

- ・母の事でケア24に行ったが対応が非常に悪かった。
- ・デイサービス等を見ると過剰な点が目立つ。有効適切な活用を願いたい。

【介護保険料について (20件)】

- ・介護保険サービスを使っている人と80才になってもサービスを使っていない人の保険料が一緒なのはおかしい。
- ・介護保険などの介護サービスの自己負担が高すぎる。お金が無ければ、サービスが受けられないのが現状で、おかしい。だれでも同じようなサービスを安価で受けられるように平等にすべきだ。

【健康増進、予防について (12件)】

- ・高齢者のスポーツ参加を支援してほしい。
- ・長寿応援ポイント事業は、いきがい、健康の手助けとなっていて良いと思う。合唱等、ピアノのある施設を増やして欲しい。

【在宅サービスについて (10件)】

- ・在宅での緩和ケア、自宅での看取りに対する体制の整備を特に要望する。
- ・在宅での介護について。介護する人を犠牲にするような在宅は反対である。(現在そういうケースが多々ある。)

【高齢者という認識が無いことについて (59件)】

- ・福祉についてあまり考えたことがない。(特に自分のこととして) もう2、3年したらハッキリと感じると思う。
- ・現在、健康である為正直わからない。

【経済的負担について (19件)】

- ・年金無しの生活で、1日1、2時間でも働ける場所がほしい。年々生きて行く事が困難に感じる。
- ・お金がなくてサービスが受けられない人。また、その人の介護のために仕事に行けない家族などが気になる。

【その他 (152件)】

- ・今後もこのような調査を行ってほしい。
- ・このアンケートのように、高齢者全員に常に区の方から声掛け、訪問、連絡等をしていくと良いと思う。
- ・誰でも高齢者になるのでお互い様の気持ちを持って暮らしたいと願っている。なかなか難しいとは思いますが気持ちだけでも。これからの区の施策に期待しつつ、健康でいられる様自分でも気を付けたい。

Ⅱ. 要支援 1・2 の認定を受けた人への調査

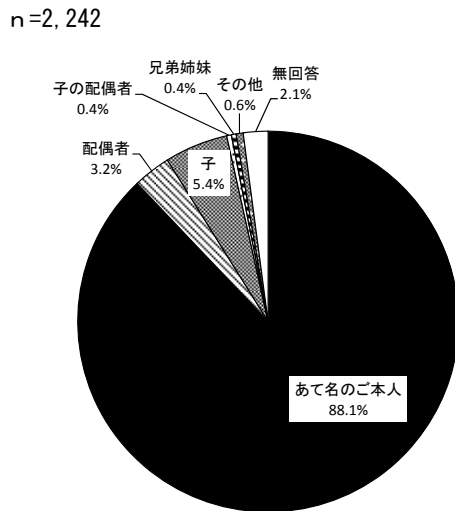
1. 回答者の属性

(1) 調査票の記入者、対象者の性別・年齢

○調査票の記入者

問1 この調査票を記入するのはどなたですか。

図表1-1 調査票の記入者

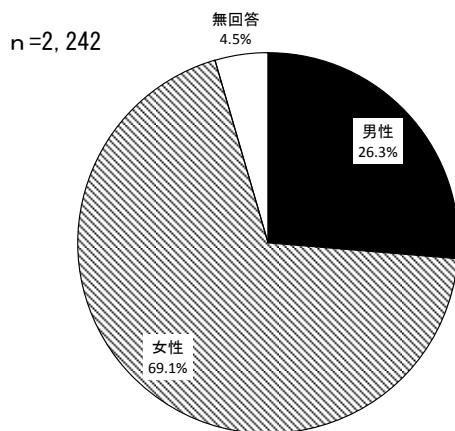


	基数	構成比
本人	1975	88.1%
配偶者	71	3.2%
子	120	5.4%
子の配偶者	9	0.4%
兄弟姉妹	8	0.4%
その他	13	0.6%
無回答	46	2.1%
全体	2242	100.0%

○対象者の性別

問2 あなたの性別は。(1つに○)

図表2-1 対象者の生活場所

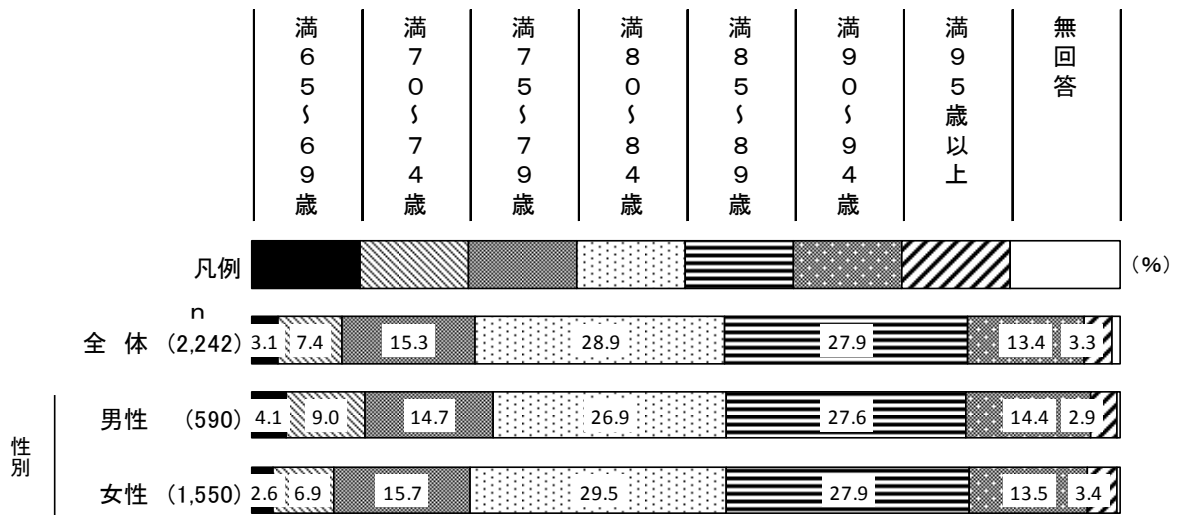


	基数	構成比
男性	590	26.3%
女性	1550	69.1%
無回答	102	4.5%
全体	2242	100.0%

○対象者の年齢

問3 あなたの年齢は。(1つに○)

図表3-1 対象者の年齢(性別)

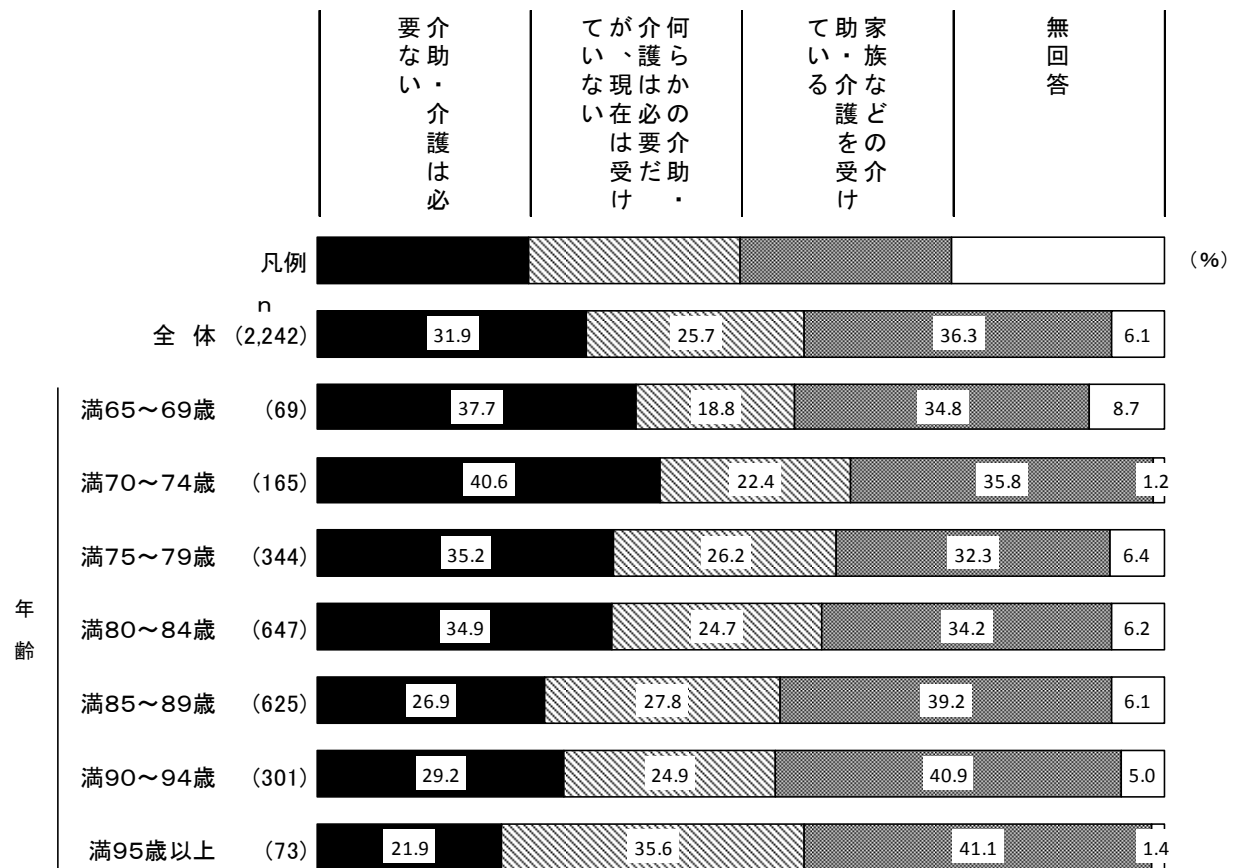


(2) 介助・介護の必要有無

問4 普段、どなたかの介助・介護が必要ですか。(1つに○)

「家族などの介助・介護を受けている」が36.3%、「介助・介護は必要ない」が31.9%。

図表4-1 介助・介護の必要有無(年齢別)



介助・介護の必要有無・状況について、「家族などの介助・介護を受けている」が36.3%と最も多く、次いで「介助・介護は必要ない」(31.9%)、「何らかの介助・介護は必要だが、現在は受けていない」(25.7%)と続いている。

年齢別でみると、「介助・介護は必要ない」は満70～74歳が40.6%と最も多く、次いで満65～69歳(37.7%)、満75～79歳(35.2%)と続いている。すべての年齢層において、「介助・介護は必要ない」「何らかの介助・介護は必要だが、現在は受けていない」を合計した割合は6割近くあり、生活は自立している方が多い。(図表4-1)

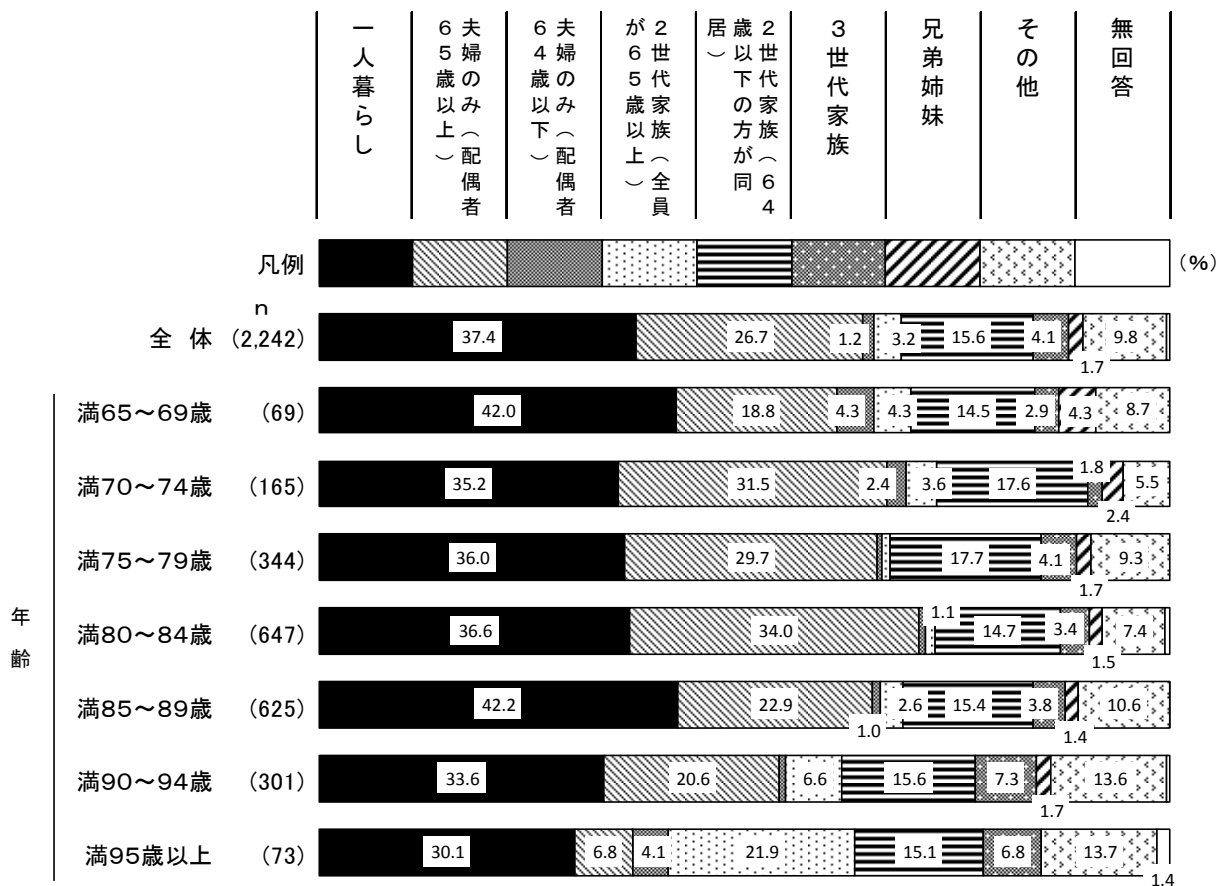
2. 家族・生活の状況について

(1) 家族構成

問5 一緒に暮らしている家族の構成を教えてください。(1つに○)

「一人暮らし」が37.4%、「夫婦のみ（配偶者65歳以上）」が26.7%。「2世帯家族（64歳以下の方が同居）」が15.6%。

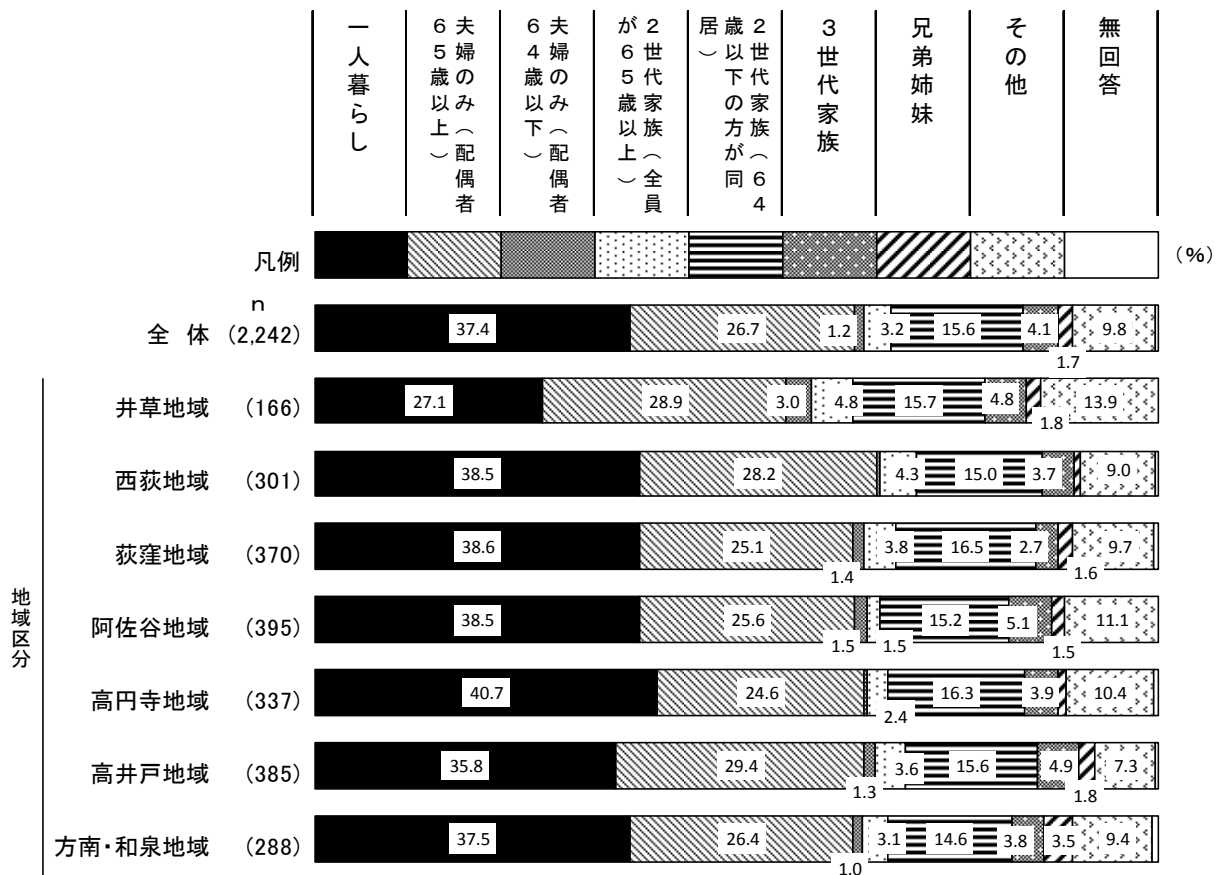
図表5-1 家族構成（年齢別）



家族構成について、「一人暮らし」が37.4%と最も多く、次いで「夫婦のみ（配偶者65歳以上）」(26.7%)、「2世帯家族（64歳以下の方が同居）」(15.6%)となっている。

年齢別でみると、「一人暮らし」は満85～89歳が42.2%と最も多く、次いで満65～69歳(42.0%)、満80～84歳(36.6%)と続いている。「夫婦のみ（配偶者65歳以上）」は満80～84歳が34.0%と最も多く、満80歳以上は年齢が高くなるに従って少なくなる傾向がみられる。(図表5-1)

図表5-2 家族構成（地域区分別）



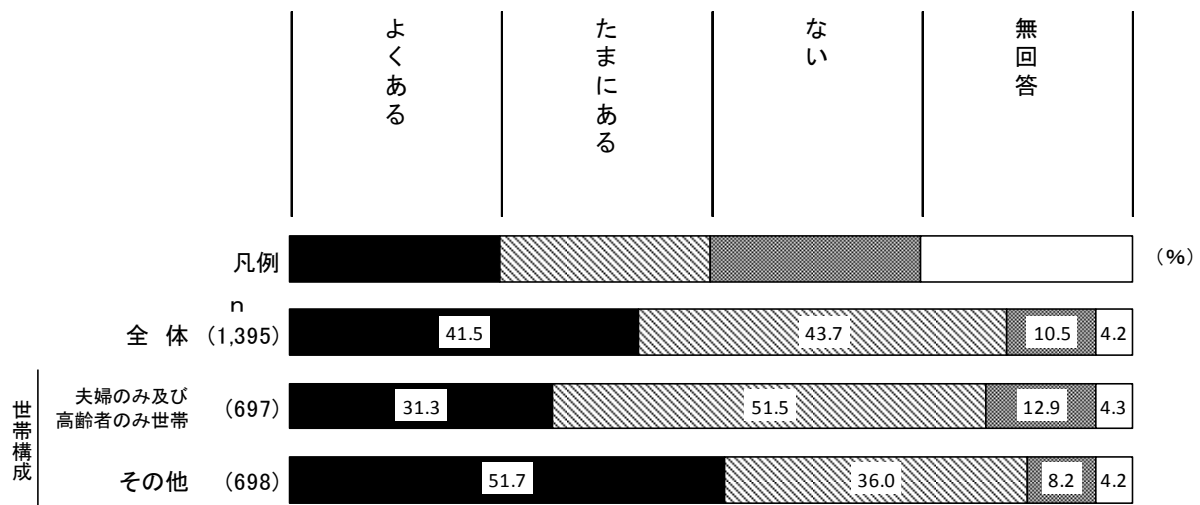
地域区分別でみると、「一人暮らし」は高円寺地域が 40.7%と最も多く、次いで荻窪地域(38.6%)、西荻地域(38.5%)、阿佐谷地域(38.5%)と続いている。「夫婦のみ(配偶者65歳以上)」は高井戸地域が 29.4%と最も多く、次いで「井草地域」(28.9%)、「西荻地域」(28.2%)と続いている。「一人暮らし」、「夫婦のみ(配偶者65歳以上)」、「2世代家族(全員が65歳以上)」を合計した高齢者のみの世帯は、すべての地域で6割を超えている。(図表5-2)

(2) 日中にひとりでのいる頻度

問6 日中、ひとりになることがありますか。(1つに○)

「たまにある」が43.7%、「よくある」が41.5%。日中にひとりでのいることがある人は、85.2%。

図表6-1 日中にひとりでのいる頻度（世帯構成別）



日中にひとりでのいる頻度について、「たまにある」が43.7%と最も多く、次いで「よくある」(41.5%)、「ない」(10.5%)と続いている。「よくある」と「たまにある」を合わせて、日中にひとりでのいることがあると回答した人は85.2%となっている。

世帯構成別でみると、日中にひとりでのいることが「ある」は、「その他」の世帯が「夫婦のみ及び高齢者のみ世帯」より4.9ポイント多くなっている。(図表6-1)

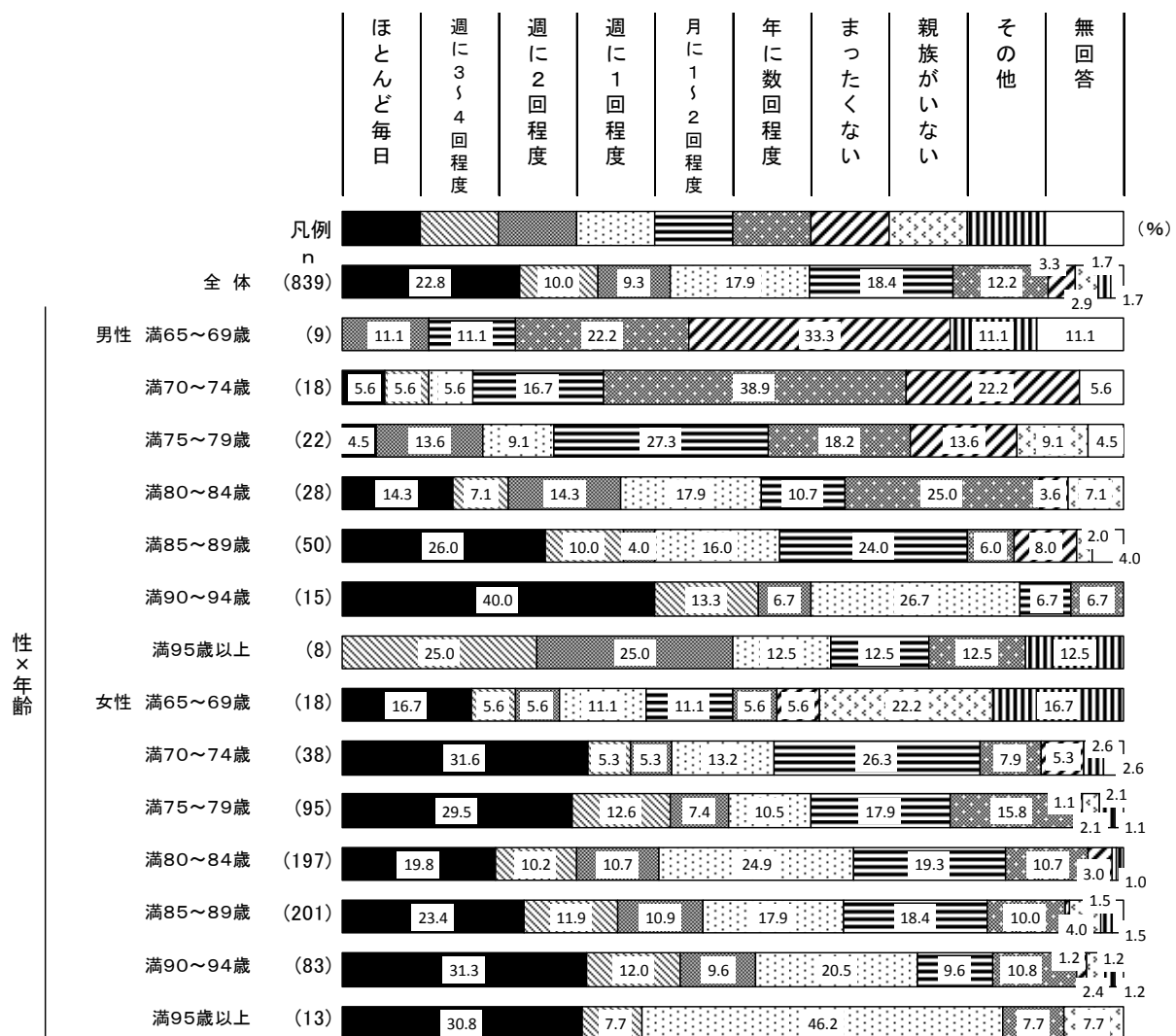
(3) 親族との会話・連絡の頻度

問7 (問5で「1.一人暮らし」と回答された方におたずねします。)

お子さんや兄弟姉妹など親族の方とは、どのくらいの頻度で会ったり、電話などで連絡をとっていますか。(1つに○)

「ほとんど毎日」が22.8%、「月に1～2回程度」が18.4%。

図表7-1 親族との会話・連絡の頻度(性×年齢別)



親族との会話・連絡の頻度について、「ほとんど毎日」が22.8%と最も多く、次いで「月に1～2回程度」(18.4%)、「週に1回程度」(17.9%)と続いている。

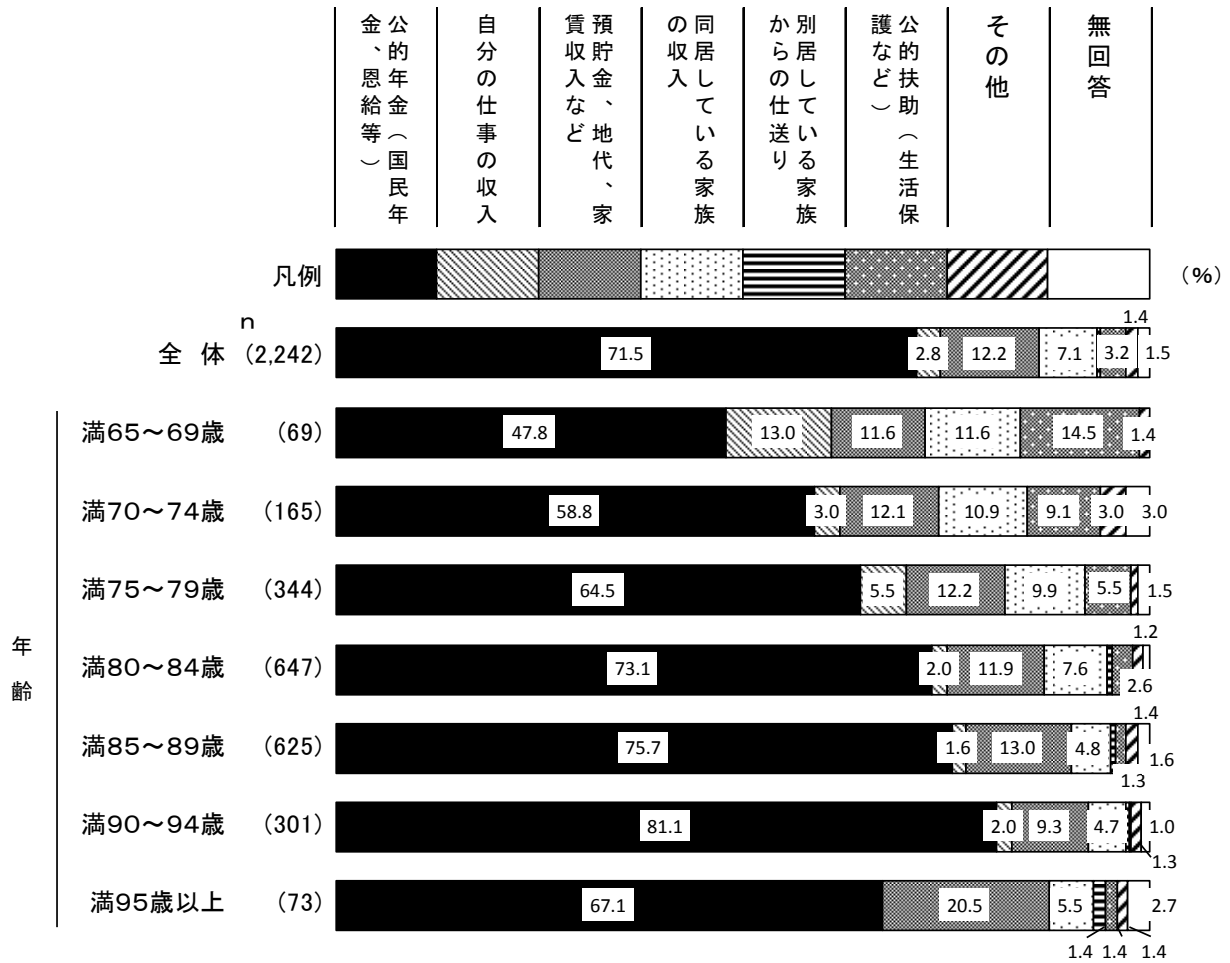
性×年齢別でみると、満65～69歳の男性で「まったくくない」と回答した割合は33.3%と、同年代の女性の割合である5.6%に比べ多くなっている。同様に満90歳以上を除くすべての年代において、「まったくくない」と回答した割合は男性の方が女性より高くなっている。このことから、男性は親族とのかわりが女性より少ないことがわかる。(図表7-1)

(4) 主な収入の種類

問8 あなたの生活を支えている主な収入はどれですか。(1つに○)

「公的年金(国民年金、恩給等)」が71.5%、「預貯金、地代、家賃収入等」が12.2%、「同居している家族の収入」が7.1%。

図表8-1 主な収入の種類(年齢別)



主な収入の種類について、「公的年金(国民年金、恩給等)」が71.5%と最も多く、次いで「預貯金、地代、家賃収入等」(12.2%)、「同居している家族の収入」(7.1%)と続いている。

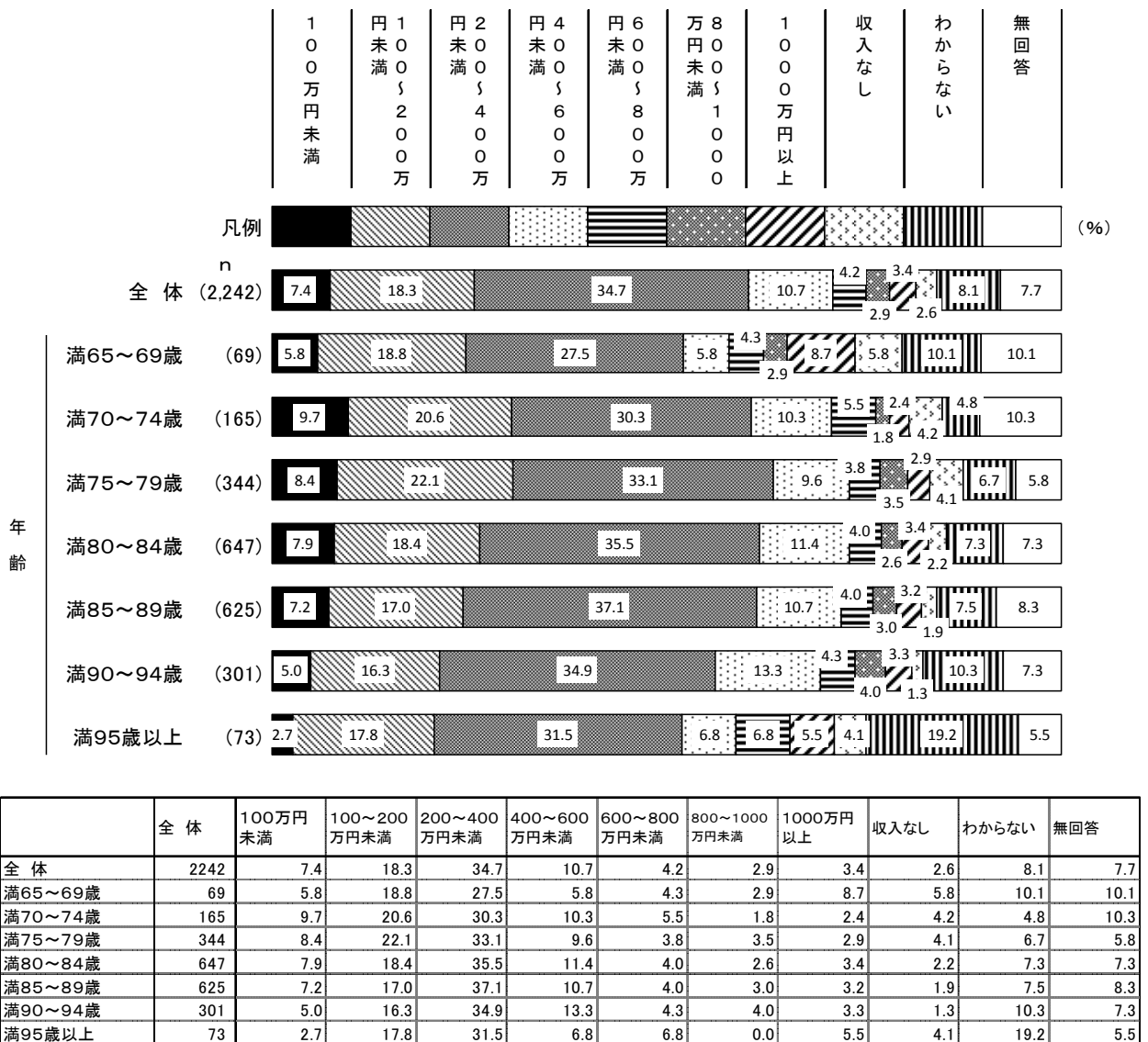
年齢別でみると、「公的年金(国民年金、恩給等)」は満65~69歳では47.8%、満90~94歳では81.1%と、おおむね年齢が高くなるに従って多くなる傾向がみられる。一方「同居している家族の収入」は満65~69歳では11.6%、満90~94歳では4.7%と、おおむね年齢が高くなるに従って少なくなる傾向がみられる。(図表8-1)

(5) 世帯の収入額

問9 昨年1年間の世帯(同居するご家族すべてを含む)の収入はどのくらいでしたか。(1つに○)

「200~400万円未満」が34.7%、「100~200万円未満」が18.3%。

図表9-1 世帯の収入額(年齢別)



世帯の収入額について、「200~400万円未満」が34.7%と最も多く、次いで「100~200万円未満」(18.3%)「400~600万円未満」(10.7%)と続いている。

年齢別でみると、「100万円未満」と「100~200万円未満」を合わせた200万円未満は、満75~79歳では30.5%、満95歳以上では20.5%と、おおむね年齢が高くなるに従って少なくなる傾向がみられる。(図表9-1)

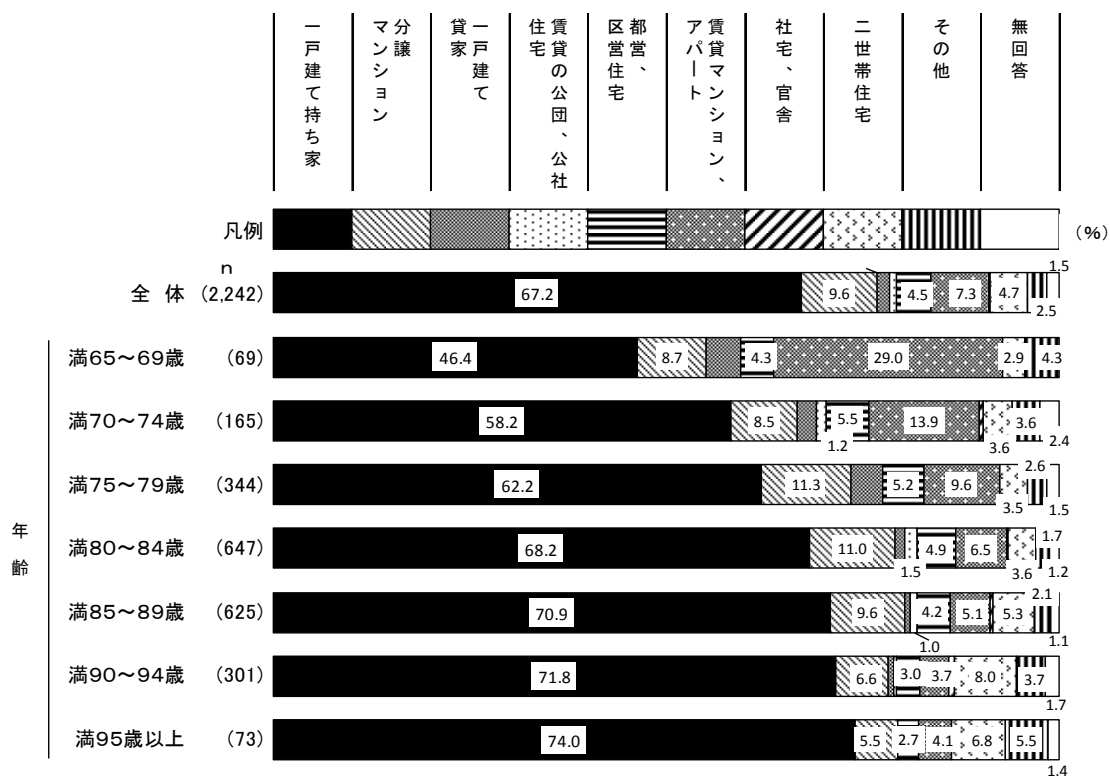
3. 住まいについて

(1) 居住形態

問10 お住まいは次のうちどれですか。(1つに○)

「一戸建て持ち家」が67.2%、「分譲マンション」が9.6%。

図表10-1 居住形態（年齢別）

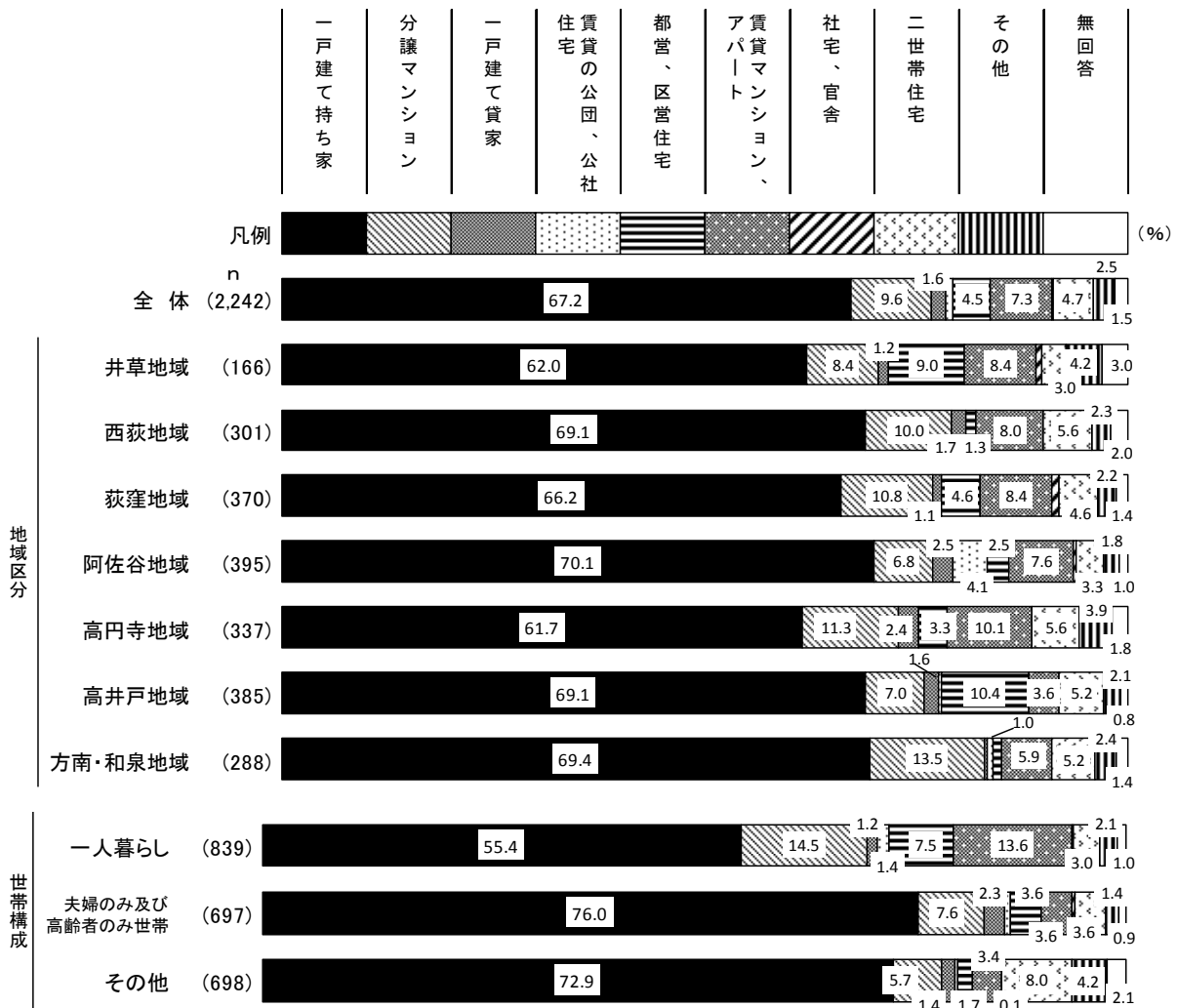


	全体	一戸建て持ち家	分譲マンション	一戸建て貸家	賃貸の公団、公社住宅	都営、区営住宅	賃貸マンション、アパート	社宅、官舎	二世帯住宅	その他	無回答
全体	2242	67.2	9.6	1.6	0.8	4.5	7.3	0.2	4.7	2.5	1.5
満65～69歳	69	46.4	8.7	4.3	0.0	4.3	29.0	0.0	2.9	4.3	0.0
満70～74歳	165	58.2	8.5	2.4	1.2	5.5	13.9	0.6	3.6	3.6	2.4
満75～79歳	344	62.2	11.3	4.1	0.0	5.2	9.6	0.0	3.5	2.6	1.5
満80～84歳	647	68.2	11.0	1.2	1.5	4.9	6.5	0.2	3.6	1.7	1.2
満85～89歳	625	70.9	9.6	0.6	1.0	4.2	5.1	0.2	5.3	2.1	1.1
満90～94歳	301	71.8	6.6	0.7	0.3	3.0	3.7	0.7	8.0	3.7	1.7
満95歳以上	73	74.0	5.5	0.0	0.0	2.7	4.1	0.0	6.8	5.5	1.4

住居形態について、「一戸建て持ち家」が67.2%と最も多く、次いで「分譲マンション」(9.6%)、「賃貸マンション、アパート」(7.3%)と続いている。

年齢別でみると、「一戸建て持ち家」が、満65～69歳では46.4%、満95歳以上では74.0%と、年齢が高くなるに従って多くなる傾向がみられる。一方「賃貸マンション、アパート」は満65～69歳では29.0%、満90～94歳では3.7%と、年齢が高くなるに従って少なくなる傾向がみられる。(図表10-1)

図表10-2 居住形態（地域区分別／世帯構成別）



	全体	一戸建て持ち家	分譲マンション	一戸建て貸家	賃貸の公団、公社住宅	都営、区営住宅	賃貸マンション、アパート	社宅、官舎	二世帯住宅	その他	無回答
全体	2242	67.2	9.6	1.6	0.8	4.5	7.3	0.2	4.7	2.5	1.5
井草地域	166	62.0	8.4	1.2	0.0	9.0	8.4	0.6	3.0	4.2	3.0
西荻地域	301	69.1	10.0	1.7	0.0	1.3	8.0	0.0	5.6	2.3	2.0
荻窪地域	370	66.2	10.8	1.1	0.0	4.6	8.4	0.8	4.6	2.2	1.4
阿佐谷地域	395	70.1	6.8	2.5	4.1	2.5	7.6	0.3	3.3	1.8	1.0
高円寺地域	337	61.7	11.3	2.4	0.0	3.3	10.1	0.0	5.6	3.9	1.8
高井戸地域	385	69.1	7.0	1.6	0.3	10.4	3.6	0.0	5.2	2.1	0.8
方南・和泉地域	288	69.4	13.5	0.3	0.7	1.0	5.9	0.0	5.2	2.4	1.4
一人暮らし	839	55.4	14.5	1.2	1.4	7.5	13.6	0.2	3.0	2.1	1.0
夫婦のみ及び高齢者のみ世帯	697	76.0	7.6	2.3	0.7	3.6	3.6	0.3	3.6	1.4	0.9
その他	698	72.9	5.7	1.4	0.3	1.7	3.4	0.1	8.0	4.2	2.1

地域区分別で見ると、「一戸建て持ち家」は「阿佐谷地域」が70.1%と最も多く、次いで「方南・和泉地域」(69.4%)、「西荻地域」、「高井戸地域」(各69.1%)と続いている。

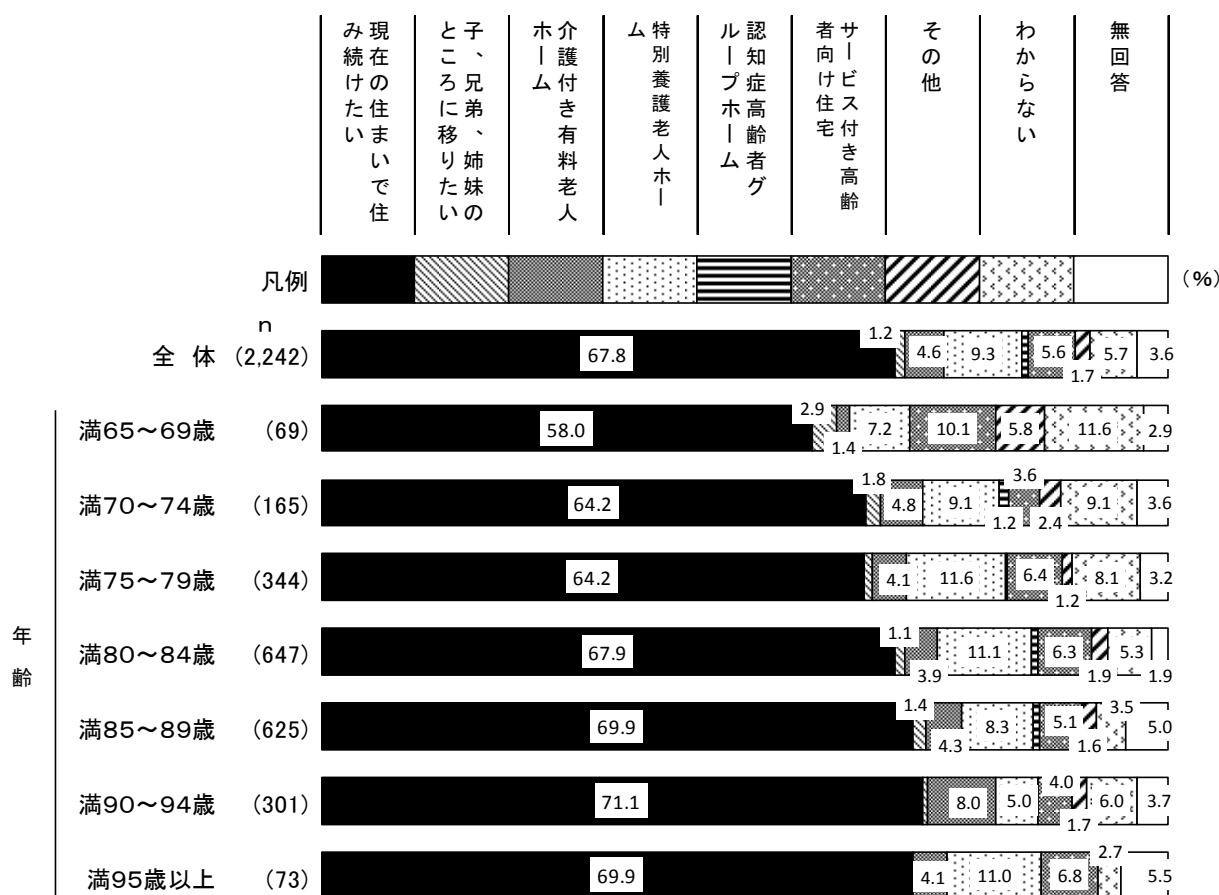
世帯構成別で見ると、一人暮らしでは「分譲マンション」、「賃貸マンション、アパート」がそれぞれ14.5%、13.6%と、他の世帯構成に比べて多く、一方「一戸建て持ち家」は55.4%と少なくなっている。(図表10-2)

(2) 将来希望する介護形態

問11 介護が必要になった場合に希望する（今、介護を受けている方は理想と思う）居住形態について一番近いものはどれですか。（1つに○）

「現在の住まいで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい」が67.8%、「介護度が高くなっても所得に応じた費用で入所できる「特別養護老人ホーム」に入りたい」が9.3%。

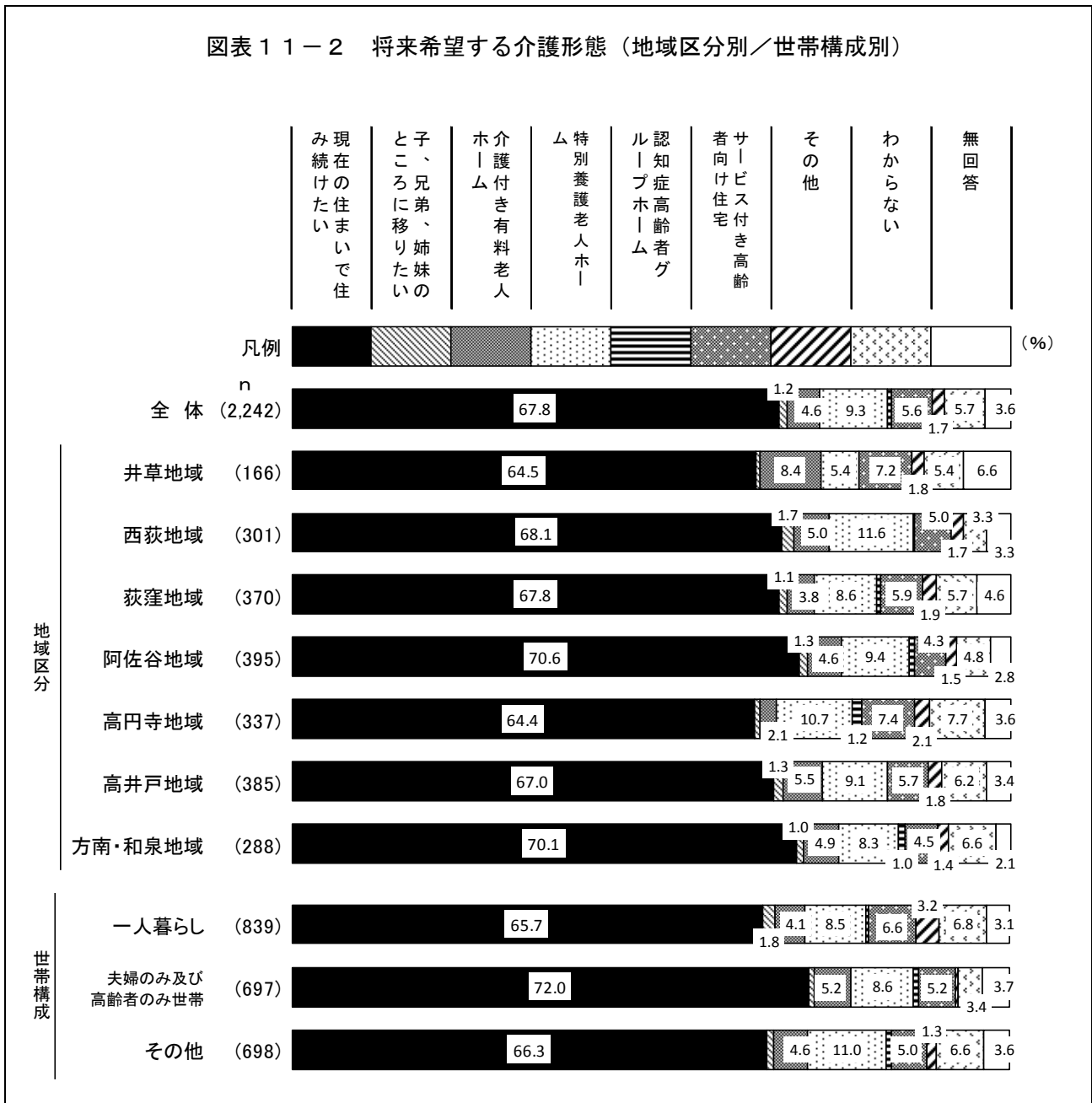
図表11-1 将来希望する介護形態（年齢別）



将来希望する介護形態について、「現在の住まいで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい」が67.8%と最も多く、次いで「介護度が高くなっても所得に応じた費用で入所できる「特別養護老人ホーム」に入りたい」(9.3%)と続いている。

年齢別でみると、「現在の住まいで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい」は、満95歳以上を除き、年齢が高くなるに従って多くなる傾向がみられる。(図表11-1)

図表 1 1 - 2 将来希望する介護形態（地域区分別／世帯構成別）



地域区分別で見ると、「現在の住みで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい」は「阿佐谷地域」で70.6%と最も多く、次いで「方南・和泉地域」（70.1%）、「西荻地域」（68.1%）と続いている。

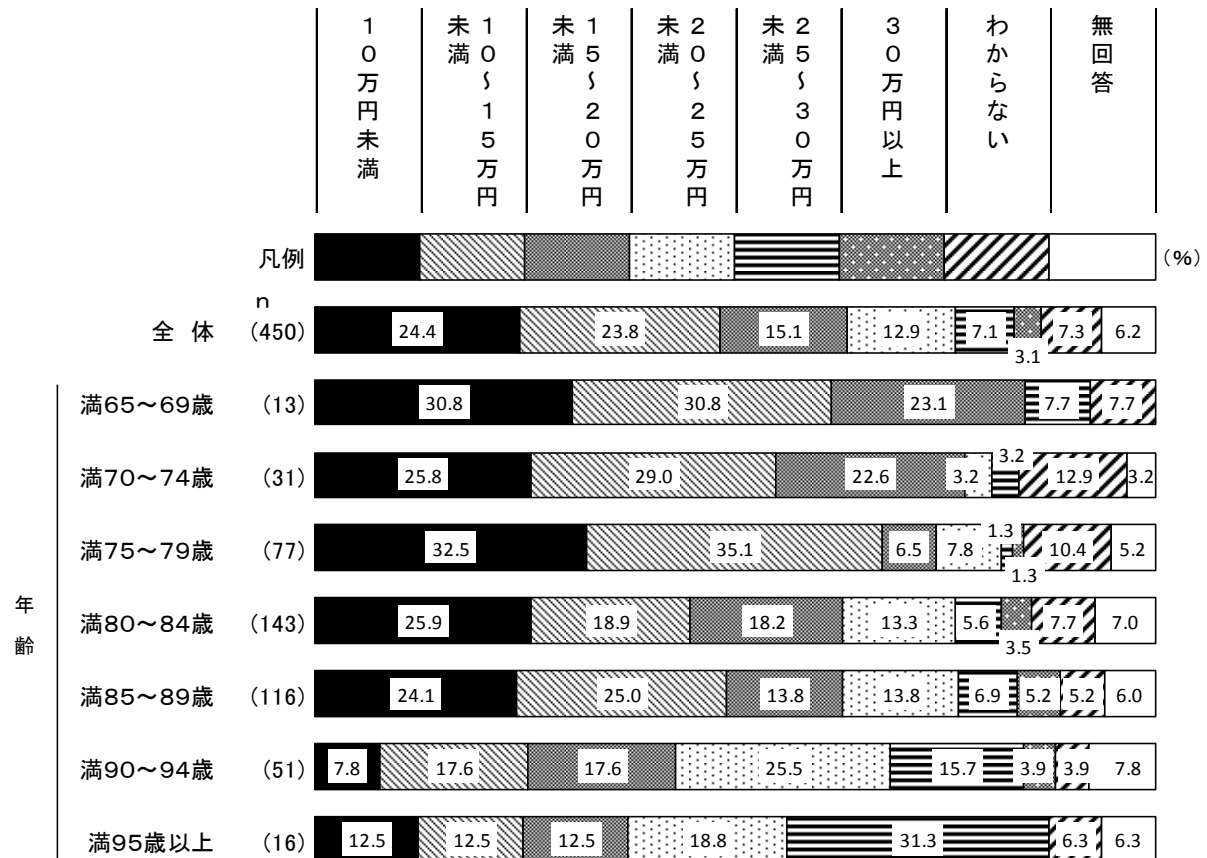
世帯構成別について、「特別養護老人ホーム」は「夫婦のみ及び高齢者のみ世帯」で8.6%であるのに対し、「その他」の世帯で11.0%となっている。このことから、高齢者のみの世帯より若い世代と同居している世帯の方が、「特別養護老人ホーム」の希望者が多いことがわかる。

(3) 家賃・介護費用負担可能額

問12 (問11で「3」「4」「5」「6」と回答された方におたずねします。
家賃・介護費用など月額負担費用はいくらまで可能ですか。(1つに○)

「10万円未満」が24.4%、「10～15万円未満」が23.8%。

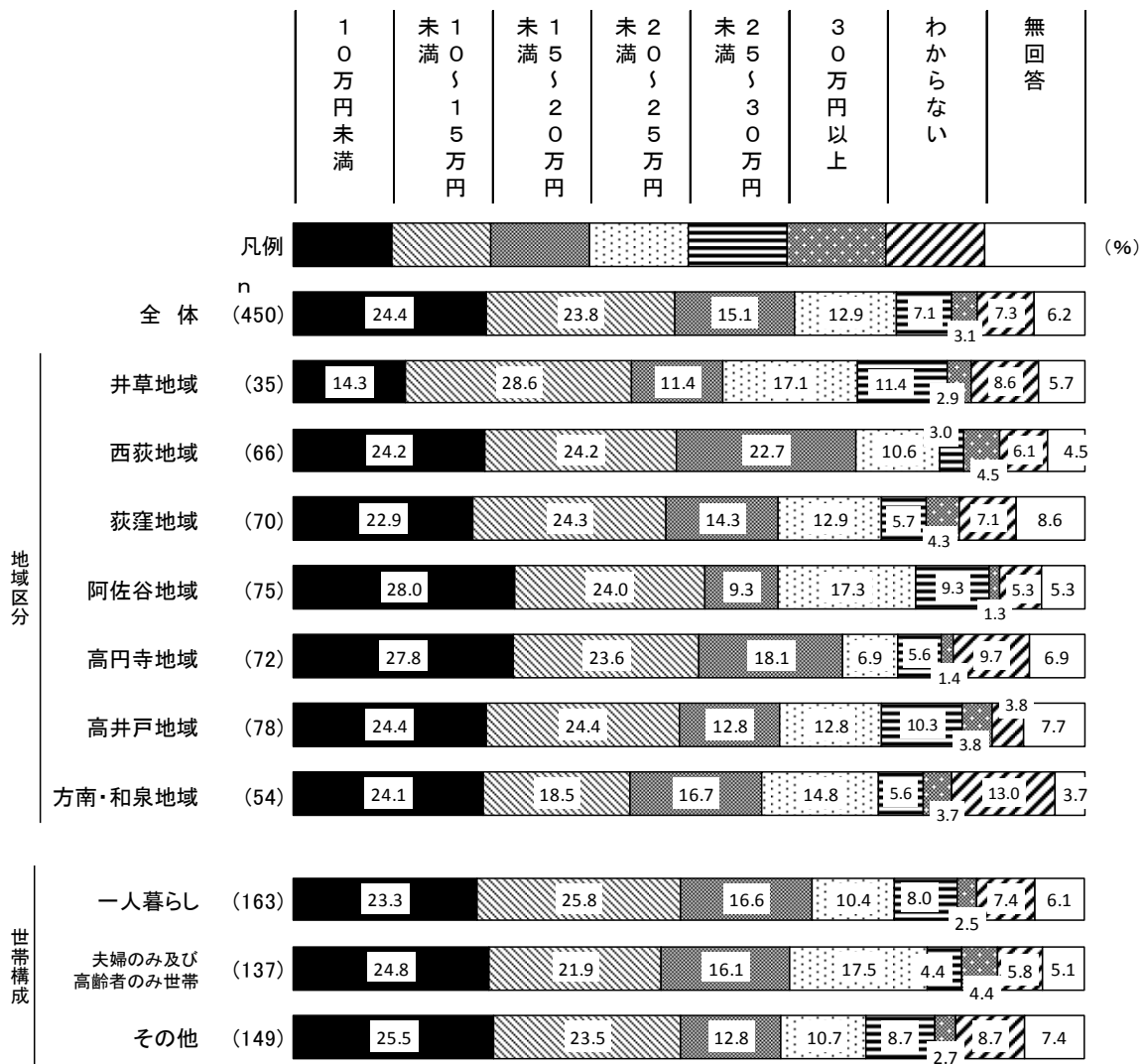
図表12-1 家賃・介護費用負担可能額（年齢別）



家賃・介護費用負担可能額については、「10万円未満」が24.4%と最も多く、次いで「10～15万円未満」(23.8%)、「15～20万円未満」(15.1%)と続いている。

年齢別でみると、「10万円未満」は満75～79歳が32.5%と最も多く、満75歳以上では年齢が高くなるに従って少なくなる傾向がみられる。(図表12-1)

図表12-2 家賃・介護費用負担可能額（地域区分別／世帯構成別）



	全体	10万円未満	10~15万円未満	15~20万円未満	20~25万円未満	25~30万円未満	30万円以上	わからない	無回答
全体	450	24.4	23.8	15.1	12.9	7.1	3.1	7.3	6.2
井草地域	35	14.3	28.6	11.4	17.1	11.4	2.9	8.6	5.7
西荻地域	66	24.2	24.2	22.7	10.6	3.0	4.5	6.1	4.5
荻窪地域	70	22.9	24.3	14.3	12.9	5.7	4.3	7.1	8.6
阿佐谷地域	75	28.0	24.0	9.3	17.3	9.3	1.3	5.3	5.3
高円寺地域	72	27.8	23.6	18.1	6.9	5.6	1.4	9.7	6.9
高井戸地域	78	24.4	24.4	12.8	12.8	10.3	3.8	3.8	7.7
方南・和泉地域	54	24.1	18.5	16.7	14.8	5.6	3.7	13.0	3.7
一人暮らし	163	23.3	25.8	16.6	10.4	8.0	2.5	7.4	6.1
夫婦のみ及び 高齢者のみ世帯	137	24.8	21.9	16.1	17.5	4.4	4.4	5.8	5.1
その他	149	25.5	23.5	12.8	10.7	8.7	2.7	8.7	7.4

地域区分別でみると、「10万円未満」は「阿佐谷地域」が28.0%と最も多く、次いで「高円寺地域」(27.8%)、「高井戸地域」(24.4%)と続いている。

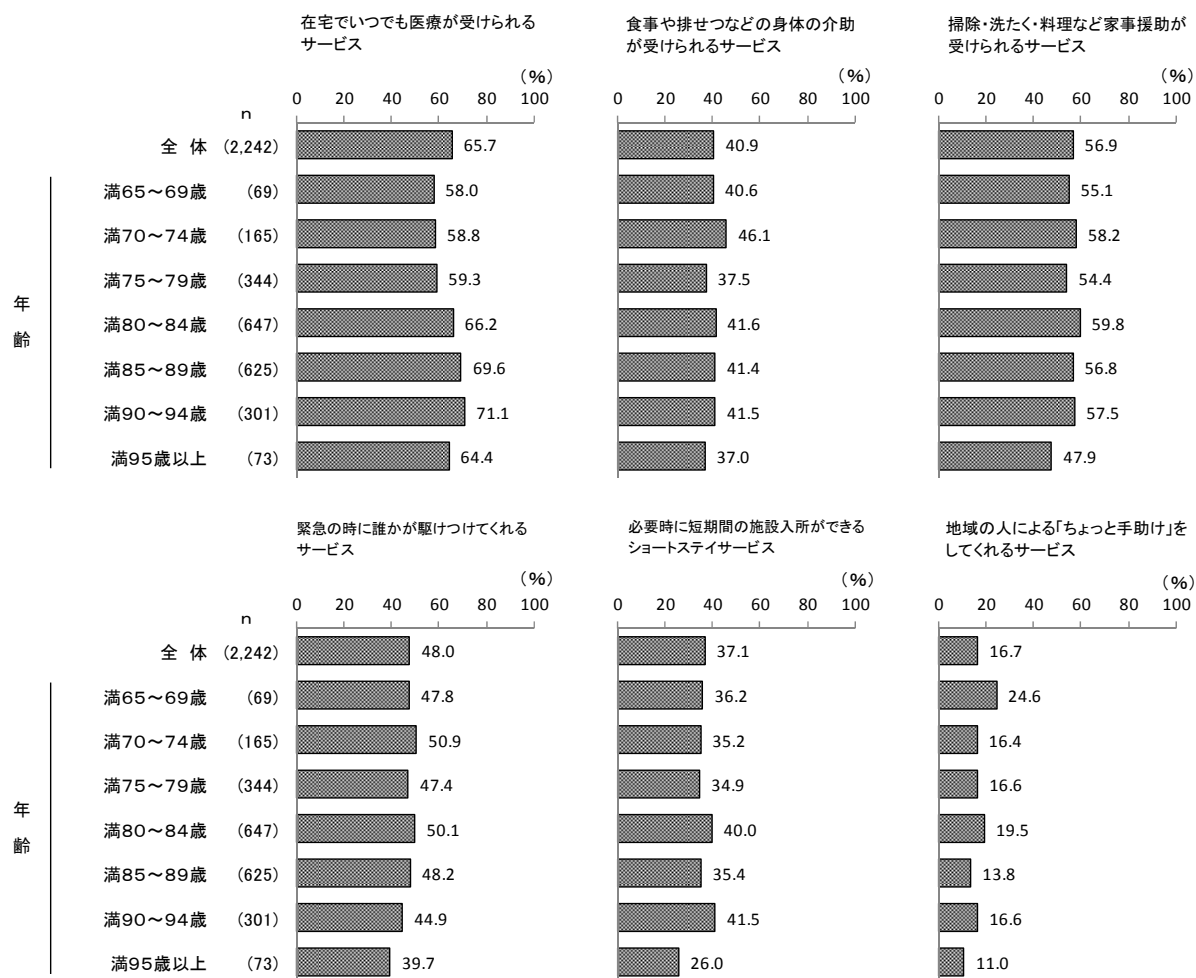
世帯構成別でみると、「10~15万円未満」は「一人暮らし」が「夫婦のみ及び高齢者のみ世帯」より3.9ポイント多くなっている。一方「20~25万円未満」は「夫婦のみ及び高齢者のみ世帯」が「一人暮らし」より7.1ポイント多くなっている。(図表12-2)

(4) 在宅生活のために必要なサービス

問13 できるだけ自宅に住み続けるために必要と思われるサービスは何ですか。(いくつでも○)

「在宅でいつでも医療が受けられるサービス」が65.7%、「掃除・洗たく・料理など家事援助が受けられるサービス」が56.9%。

図表13-1 在宅生活のために必要なサービス（年齢別）



在宅生活のために必要なサービスについて、「在宅でいつでも医療が受けられるサービス」が65.7%と最も多く、次いで「掃除・洗たく・料理など家事援助が受けられるサービス」(56.9%)、「緊急の時に誰かが駆けつけてくれるサービス」(48.0%)と続いている。

年齢別でみると、「在宅でいつでも医療が受けられるサービス」は、満90～94歳が71.1%と最も多く、次いで満85～89歳(69.6%)、満80～84歳(66.2%)と続いている。(図表13-1)

4. 社会参加について

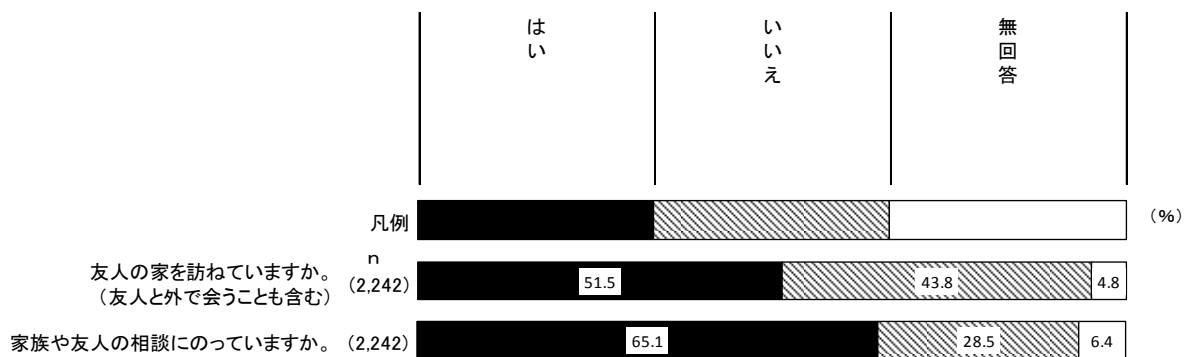
(1) 社会参加の有無

問14 友人の家を訪ねていますか。(友人と外で会うことも含む)

問15 家族や友人の相談にのっていますか。

各問における「はい」の割合は、『家族や友人の相談にのる』(65.1%)、『友人の家を訪ねる』(51.5%)。

図表14-1 社会参加の有無



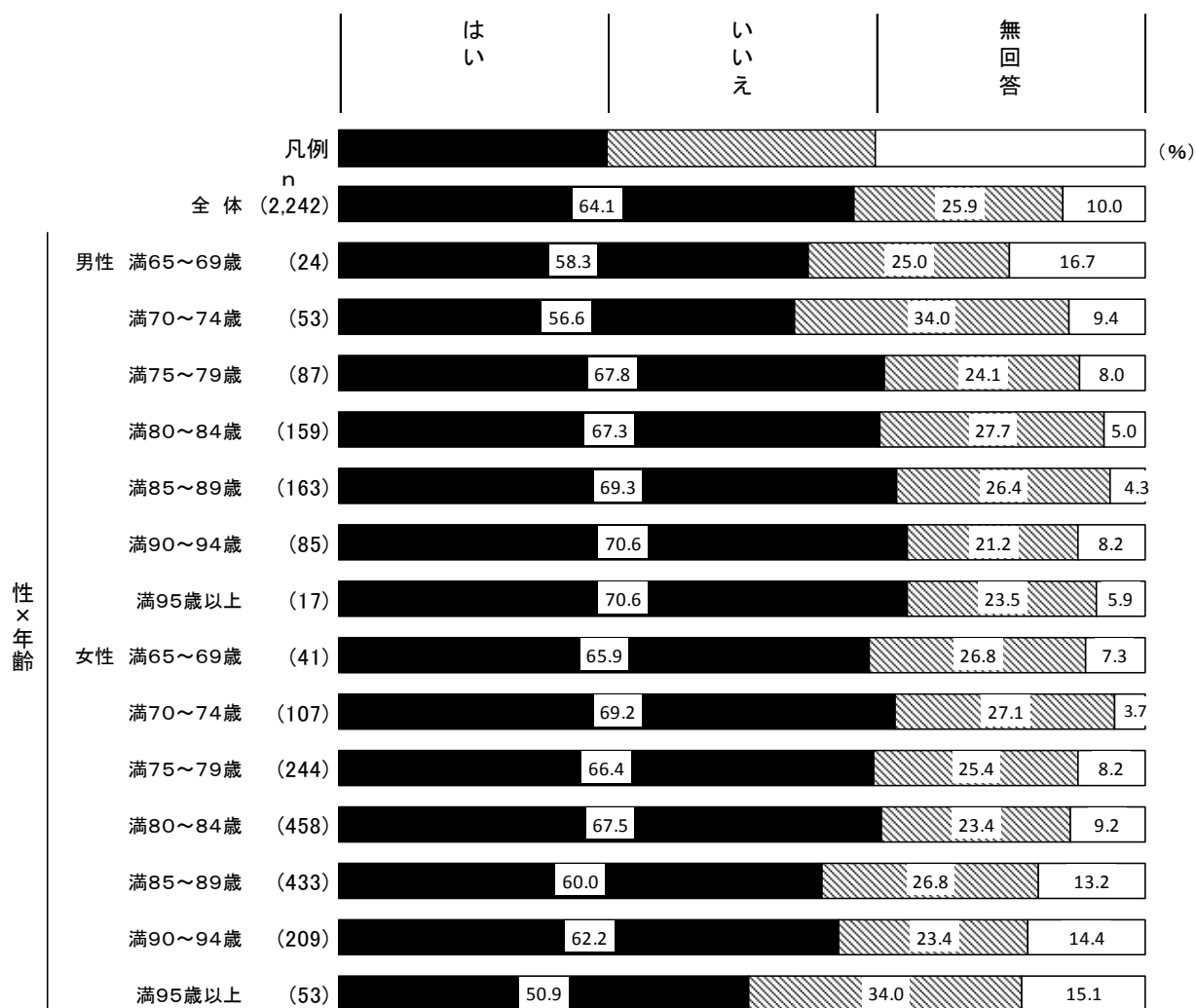
社会参加の有無について、各問における「はい」の割合は、『家族や友人の相談にのる』(65.1%)、『友人の家を訪ねる』(51.5%)となっている。(図表14-1)

(2) 生きがいを感じるかについて

問16 生きがいを感じていますか。

「はい」が64.1%、「いいえ」が25.9%。

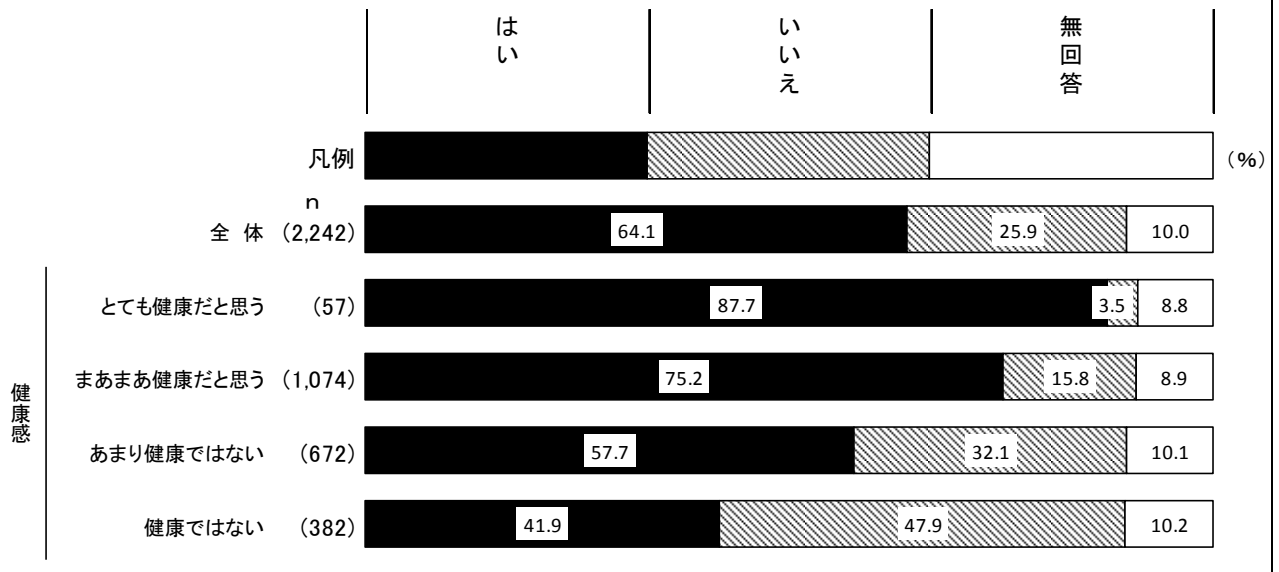
図表16-1 生きがいを感じるか（性×年齢別）



生きがいを感じるかについて、「はい」が64.1%、「いいえ」が25.9%となっている。

性×年齢別でみると、男性の場合「はい」と答えた割合は満80～84歳では67.3%、満90～94歳、満95歳以上では70.6%と、おおむね年齢が高くなるに従って多くなっている。(図表16-1)

図表16-2 生きがいを感じるか（健康感別）



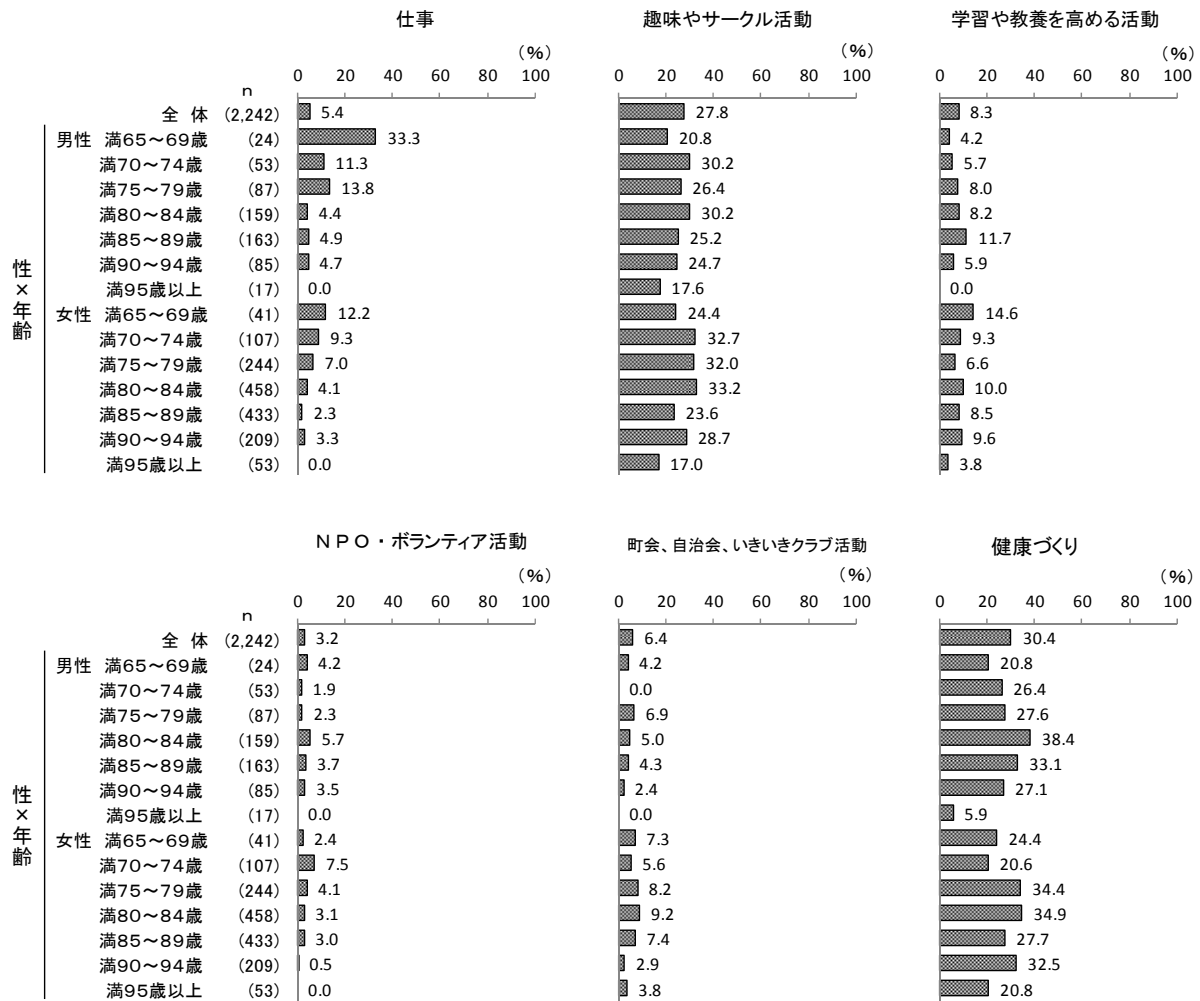
健康感別でみると、「はい」は、とても健康だと思うが87.7%と最も多く、健康だと思っている人ほど、生きがいを感じている割合が多くなっている。(図表16-2)

(3) 現在やっている活動

問17 現在やっている活動はありますか。(いくつでも○)

「健康づくり」が30.4%、「趣味やサークル活動」が27.8%。

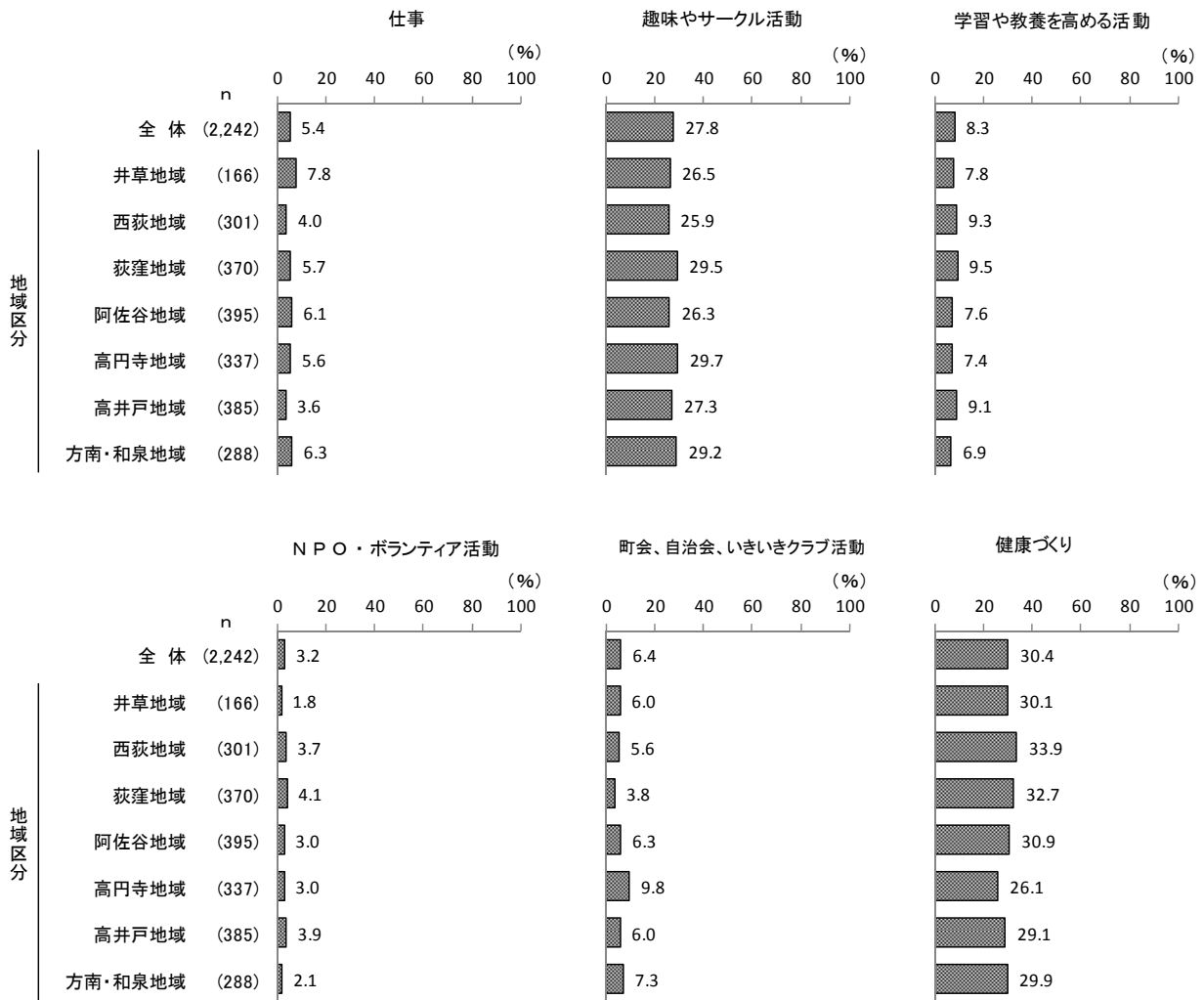
図表17-1 現在やっている活動(性×年齢別)



現在やっている活動について、「健康づくり」が30.4%と最も多く、次いで「趣味やサークル活動」(27.8%)、「学習や教養を高める活動」(8.3%)と続いている。

性×年齢別でみると、「健康づくり」は、男性の満80～84歳が38.4%と最も多く、次いで女性の満80～84歳(34.9%)、女性の満75～79歳(34.4%)と続いている。(図表17-1)

図表17-2 現在やっている活動（地域区分別）



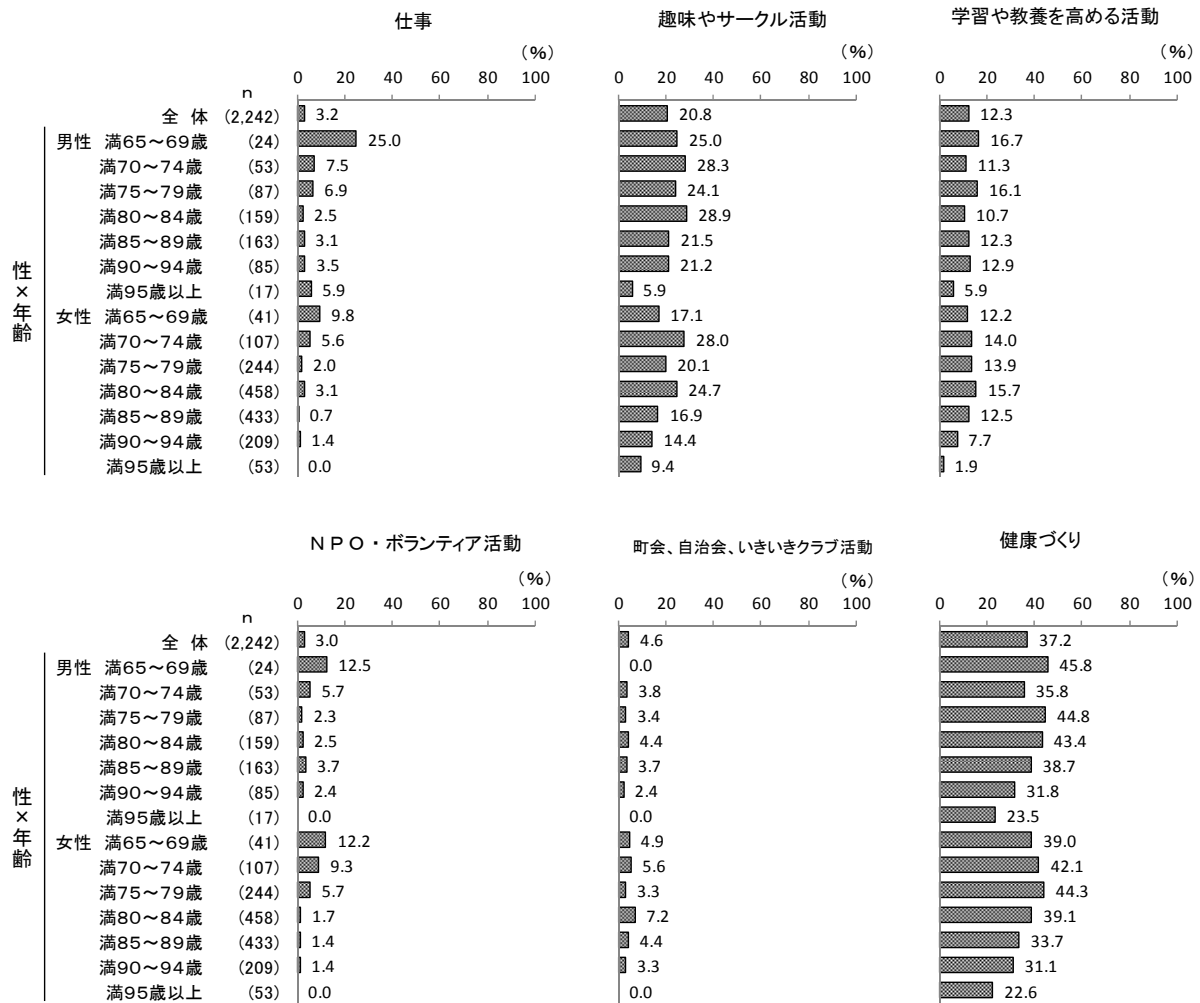
地域区分別でみると、「健康づくり」は、「西荻地域」が33.9%で最も多く、次いで「荻窪地域」(32.7%)、「阿佐谷地域」(30.9%)と続いている。(図表17-2)

(4) 今後やってみたい活動

問18 これからやってみたい活動はありますか。(いくつでも○)

「健康づくり」が37.2%、「趣味やサークル活動」が20.8%。

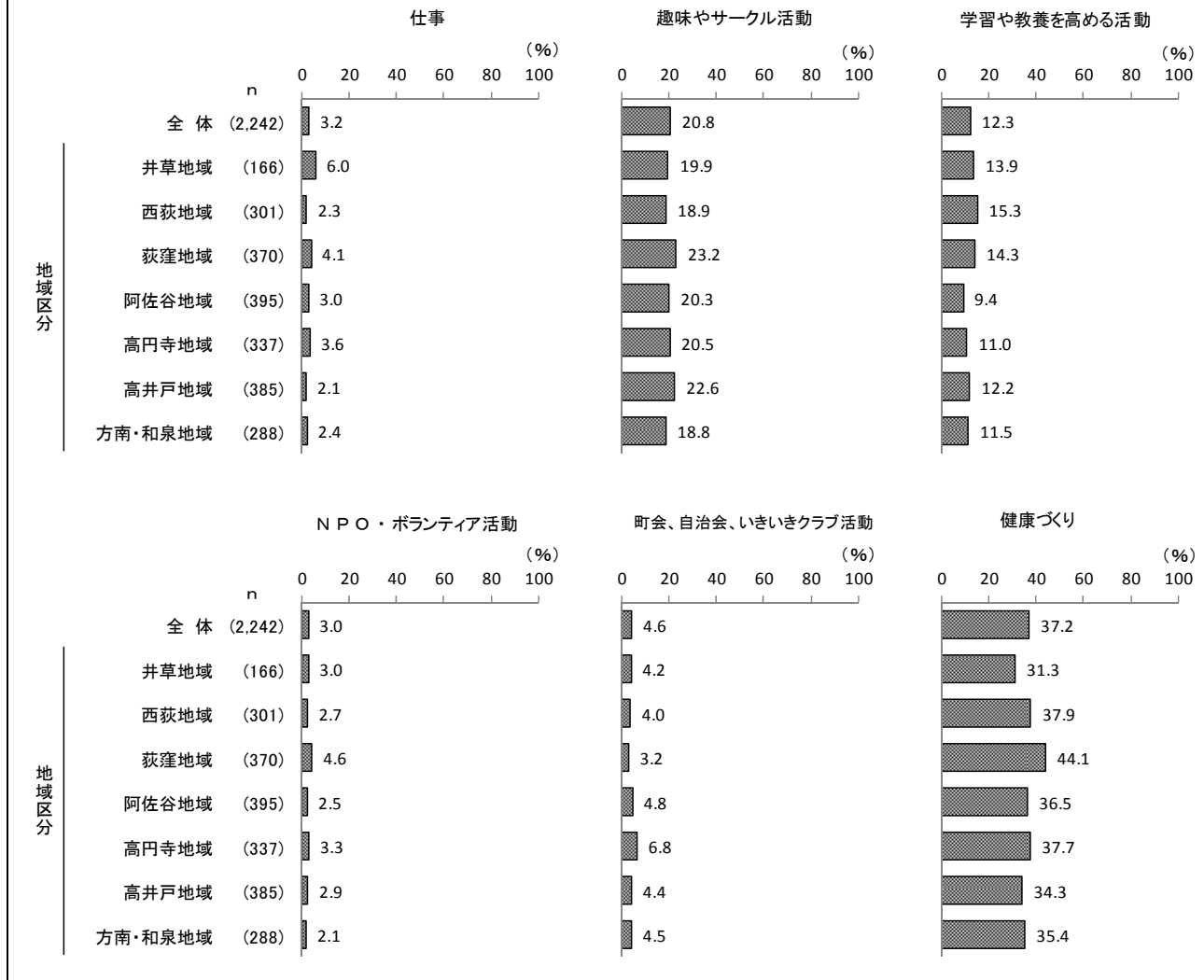
図表18-1 今後やってみたい活動(性×年齢別)



今後やってみたい活動について、「健康づくり」が37.2%と最も多く、次いで「趣味やサークル活動」(20.8%)、「学習や教養を高める活動」(12.3%)と続いている。

性・年代別でみると、「健康づくり」は男性の満75～79歳が44.8%と最も多く、次いで女性の満75～79歳(44.3%)、男性の満80～84歳(43.4%)と続いている。(図表18-1)

図表18-2 今後やってみたい活動（地域区分別）



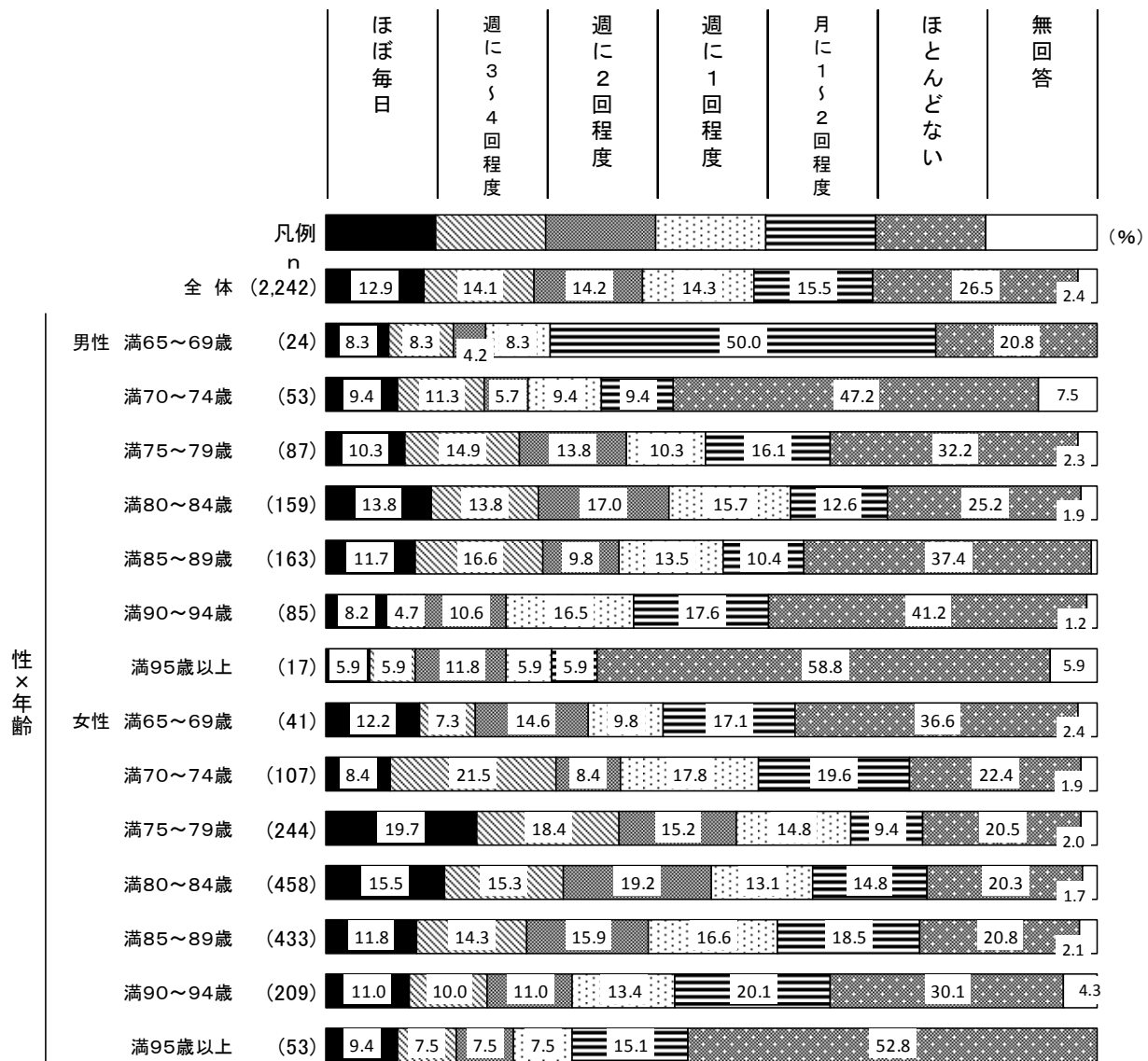
地域区分別で見ると、「健康づくり」は「荻窪地域」が44.1%と最も多く、次いで「西荻地域」(37.9%)、「高円寺地域」(37.7%)と続いている。(図表18-2)

(5) 近所の方との付き合いの有無

問19 近所の方と会話をしているなど、お付き合いはありますか。(1つに○)

「ほとんどない」が26.5%、「月に1～2回程度」が15.5%。

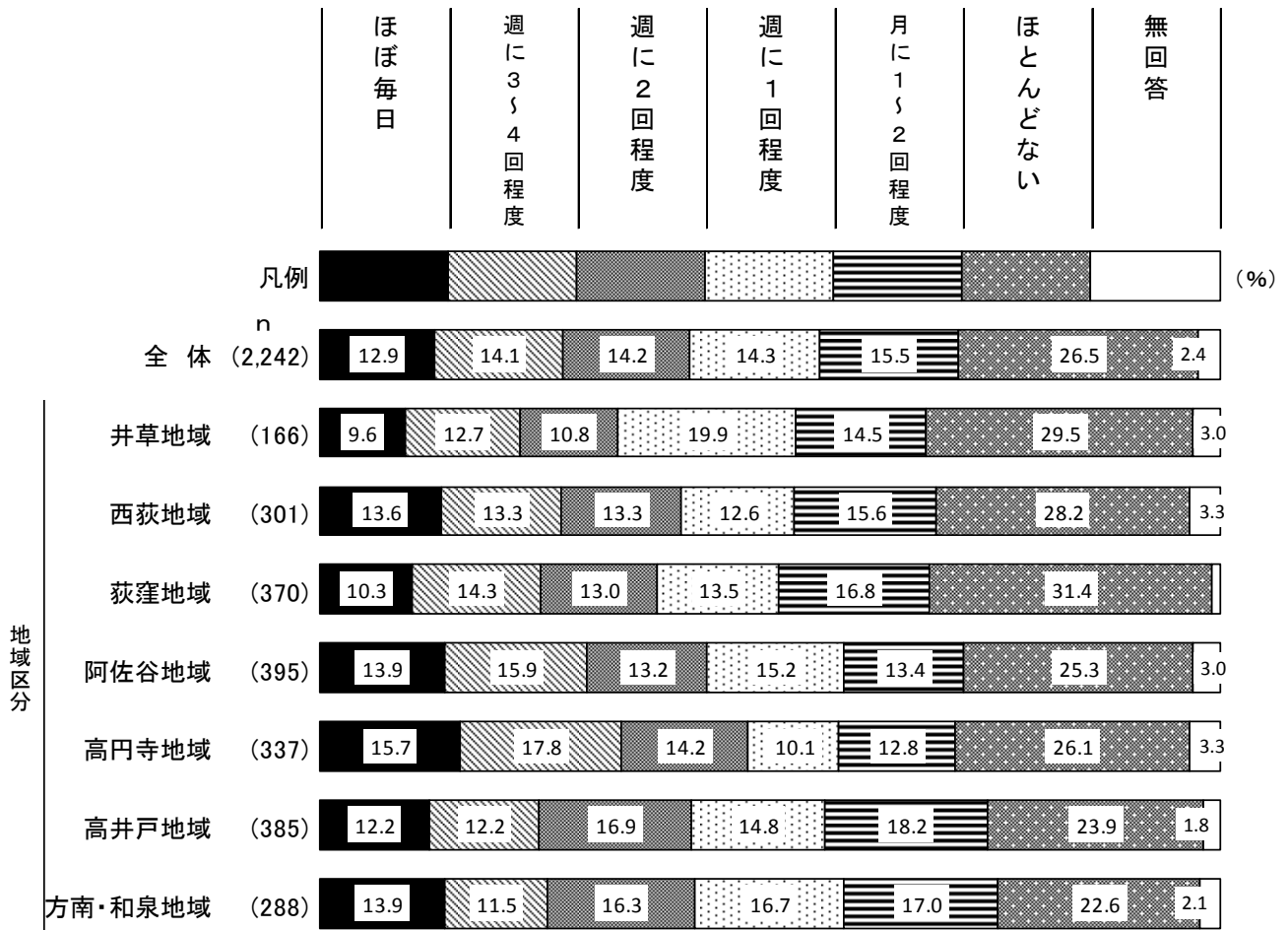
図表19-1 近所の方との付き合いの有無(性×年齢別)



近所の方との付き合いの有無について、「ほとんどない」が26.5%で最も多く、次いで「月に1～2回程度」(15.5%)、「週に1回程度」(14.3%)と続いている。

性×年齢別において、「月に1～2回程度」「ほとんどない」を合計した割合は、満95歳以上を除くすべての年代で男性の方が女性より高く、特に満75～79歳では男性の48.3%に対し、女性は29.9%と18.4ポイントの開きがあった。(図表19-1)

図表 1 9 - 2 近所の方との付き合いの有無（地域区分別）



地域区分別でみると、「ほとんどない」は「荻窪地域」が31.4%と最も多く、次いで「井草地域」(29.5%)、「西荻地域」(28.2%)と続いている。(図表 1 9 - 2)

5. 日常生活について

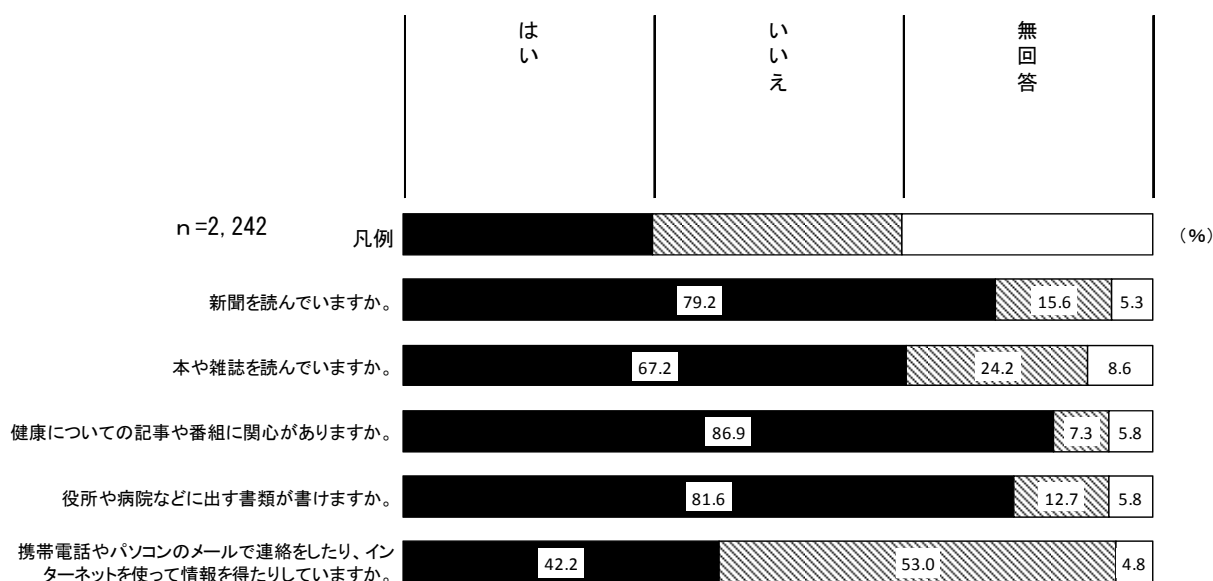
(1) 日常生活で行っていること（その1）

問20

- (1) 新聞を読んでいますか。
- (2) 本や雑誌を読んでいますか。
- (3) 健康についての記事や番組に関心がありますか。
- (4) 役所や病院などに出す書類が書けますか。
- (5) 携帯電話やパソコンのメールで連絡をしたり、インターネットを使って情報を得たりしていますか。

「はい」が最も多いのは『健康についての記事や番組に関心をもつ』(86.9%)、最も少ないのは、『携帯電話やパソコンのメールで連絡をしたり、インターネットを使って情報を得る』(42.2%)

図表20-1 日常生活で行っていること（その1）



日常生活で行っていることの有無を尋ねたところ、「はい」が最も多いのは『健康についての記事や番組に関心をもつ』の 86.9%、次いで『役所や病院などに出す手紙を書く』の 81.6%と続いている。一方、『携帯電話やパソコンのメールで連絡をしたり、インターネットを使って情報を得る』は 42.2%と最も少なくなっている。(図表20-1)

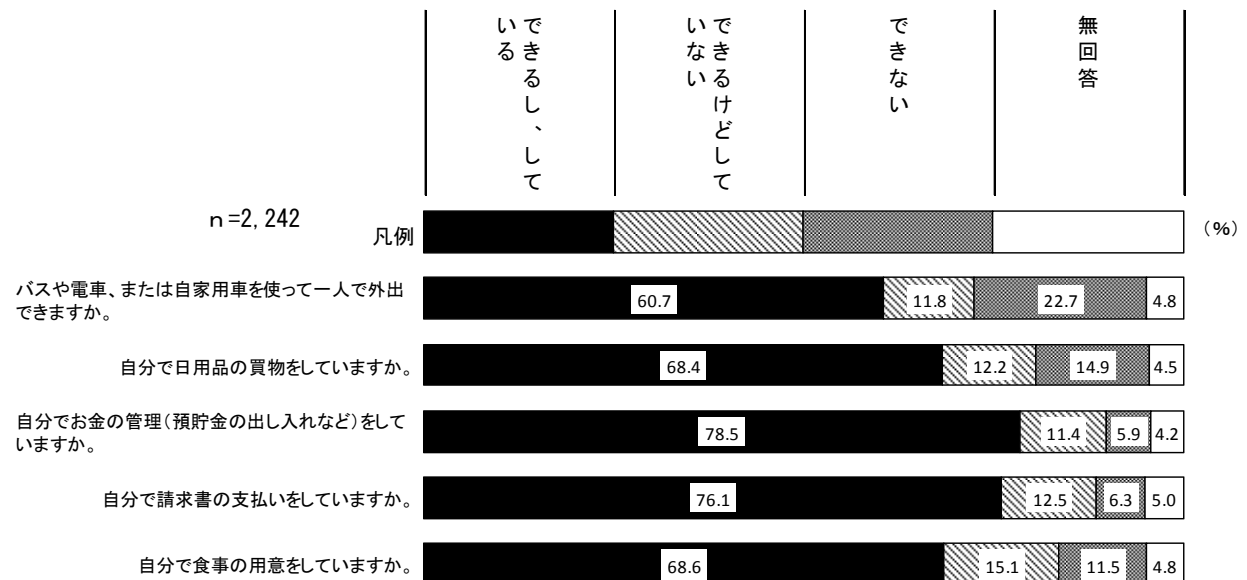
(2) 日常生活で行っていること (その2)

問20

- (6) バスや電車、または自家用車を使って一人で外出できますか。
- (7) 自分で日用品の買物をしていますか。
- (8) 自分でお金の管理(預貯金の出し入れなど)をしていますか。
- (9) 自分で請求書の支払いをしていますか。
- (10) 自分で食事の用意をしていますか。

「できるし、している」が最も多いのは、『お金の管理(預貯金の出し入れなど)』(78.5%)。最も少ないのは、『バスや電車、または自家用車を使って一人で外出』(60.7%)

図表20-2 日常生活で行っていること (その2)



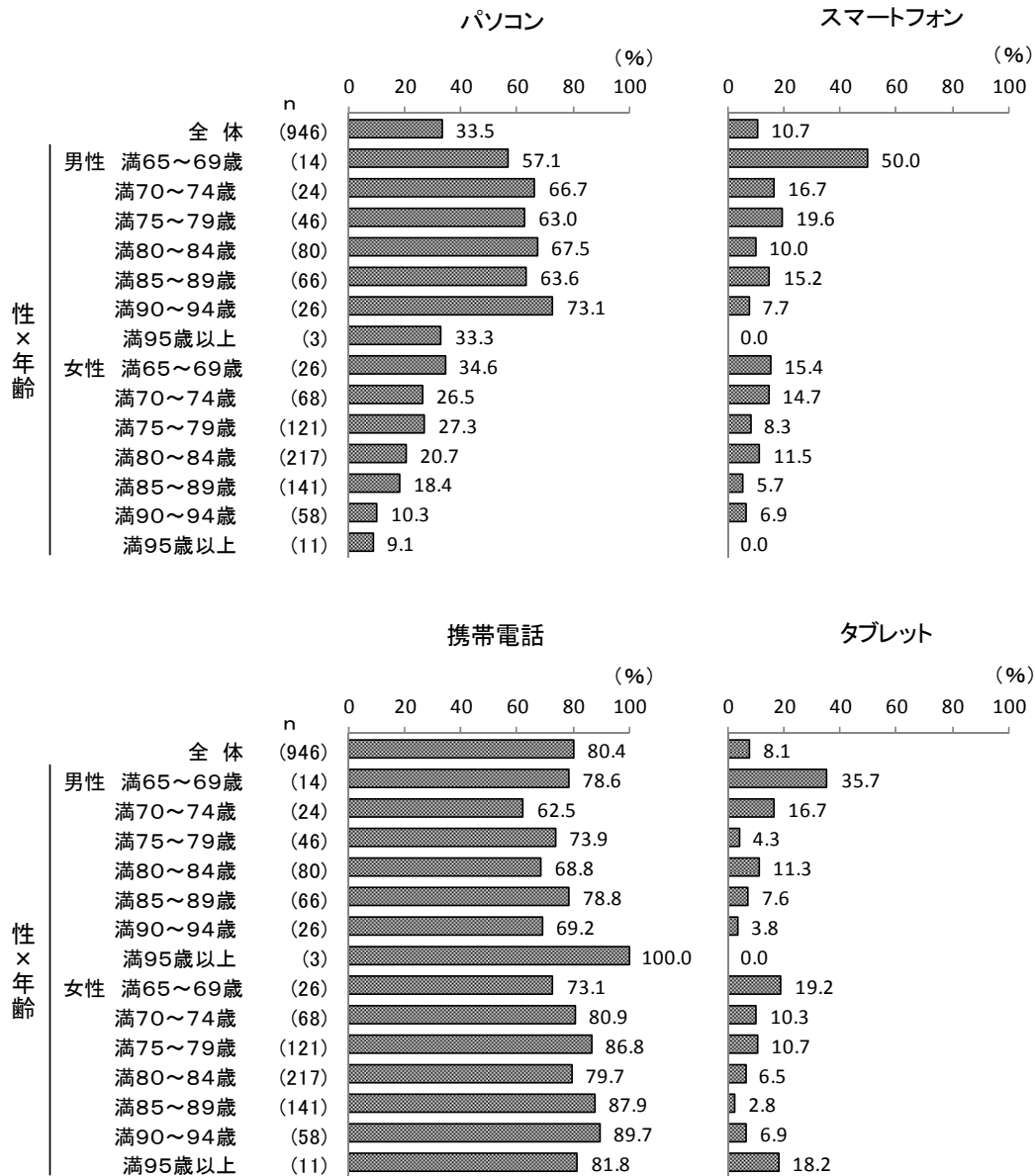
日常生活で行っていることを、そのことができるか尋ねたところ、「できるし、している」が最も多いのは、『お金の管理(預貯金の出し入れなど)』(78.5%)、次いで『請求書の支払い』(76.1%)、『食事の用意』(68.6%)となっている。(図表20-2)

(3) 情報取得に利用している機器

問20-1 (問20(5)で「はい」と回答された方におたずねします。
 どのような機器を利用していますか (いくつでも○)

「携帯電話」が80.4%、「パソコン」が33.5%。

図表20-1-1 情報取得に利用している機器 (性×年齢別)



情報取得に利用している機器について、「携帯電話」が80.4%と最も多く、次いで「パソコン」(33.5%)、「スマートフォン」(10.7%)、「タブレット」(8.1%)と続いている。

性×年齢別でみると、「携帯電話」は女性の方が男性より割合が多い傾向がみられる。(図表20-1-1)

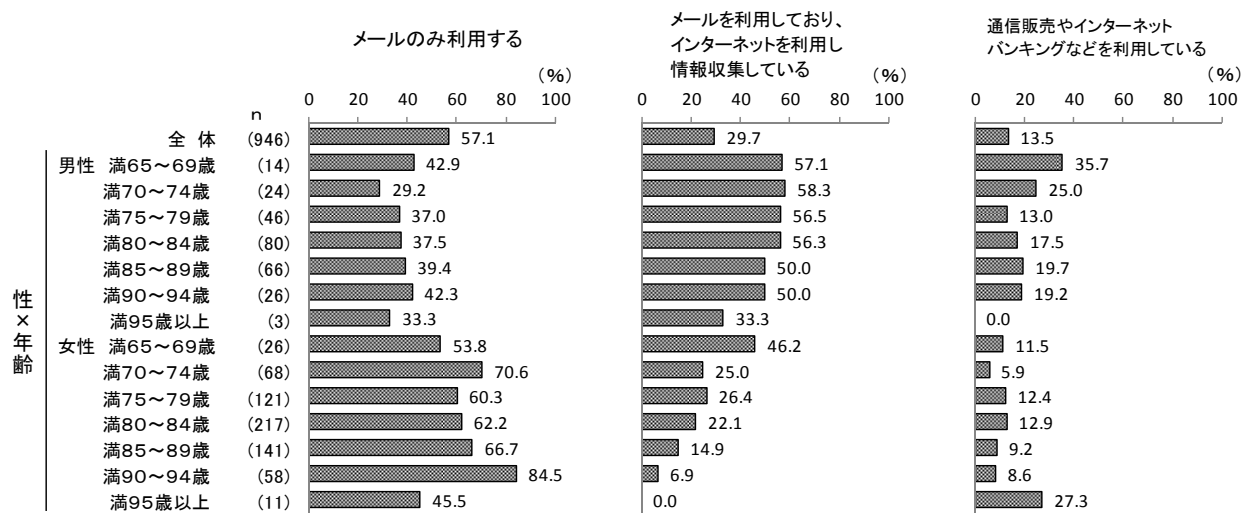
(4) 情報取得の目的

問20-2 (問20(5)で「はい」と回答された方におたずねします。)

どのような目的に利用していますか。(いくつでも○)

「メールのみ利用する」が57.1%、「メールを利用しており、インターネットを利用し情報収集している」が29.7%。

図表20-2-1 情報取得の目的(性×年齢別)



情報収集の目的について、「メールのみ利用する」が57.1%と最も多く、次いで「メールを利用しており、インターネットを利用し情報収集している」(29.7%)、「通信販売やインターネットバンキングなどを利用している」(13.5%)と続いている。

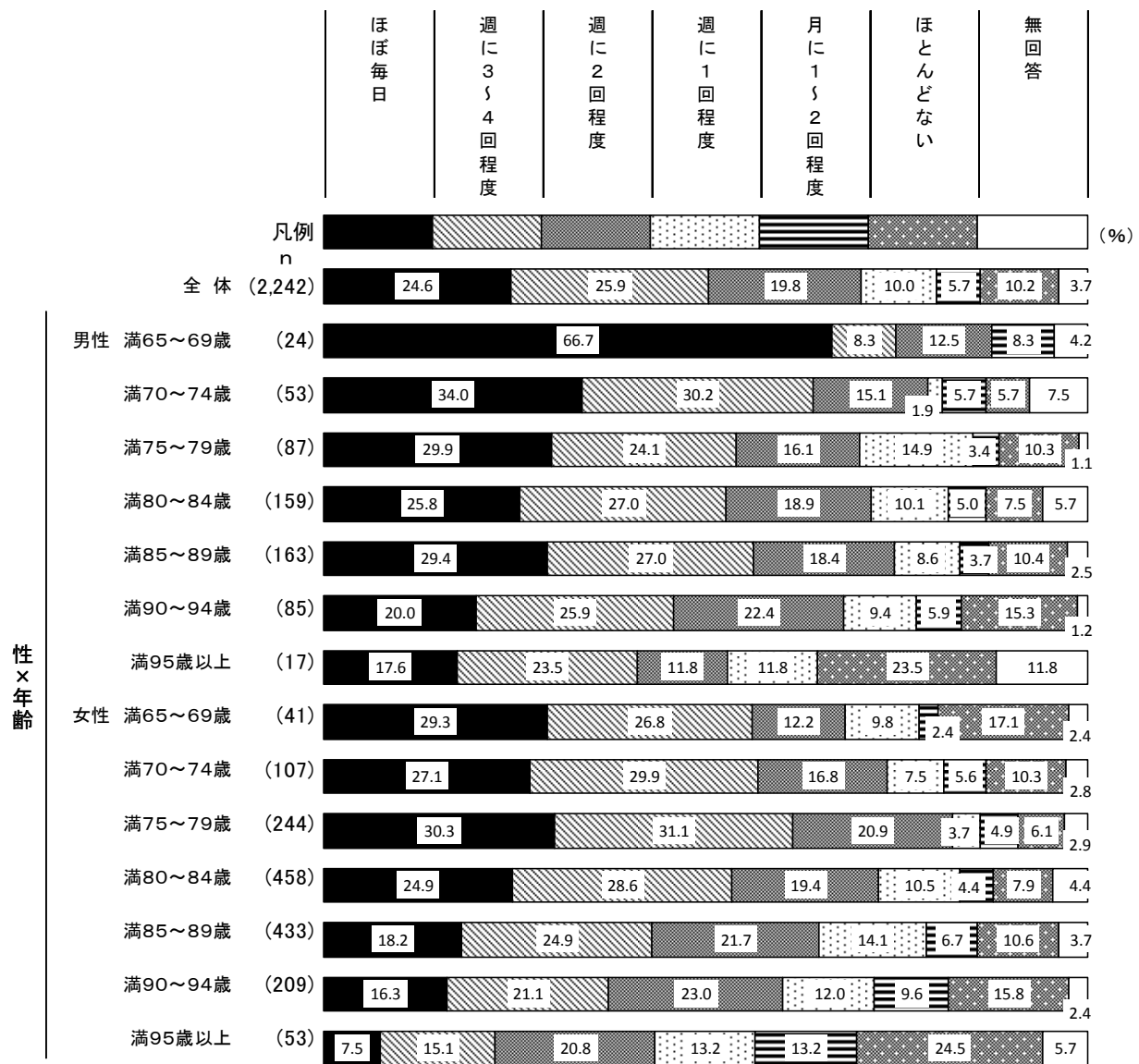
性×年齢別でみると、「メールのみ利用する」は女性が男性より割合が多い傾向がみられる。一方、「メールを利用しており、インターネットを利用し情報収集している」は男性が女性より割合が多い傾向がみられる。(図表20-2-1)

(5) 外出の頻度

問2 1 散歩や買い物など、外出の回数はどのくらいですか（通院を除く）。（1つに○）

「週に3～4回程度」が25.9%、「ほぼ毎日」が24.6%。

図表2 1 - 1 外出の頻度（性×年齢別）



外出の頻度について、「週に3～4回程度」が25.9%と最も多く、次いで、「ほぼ毎日」(24.6%)、「週に2回程度」(19.8%)と続いている。

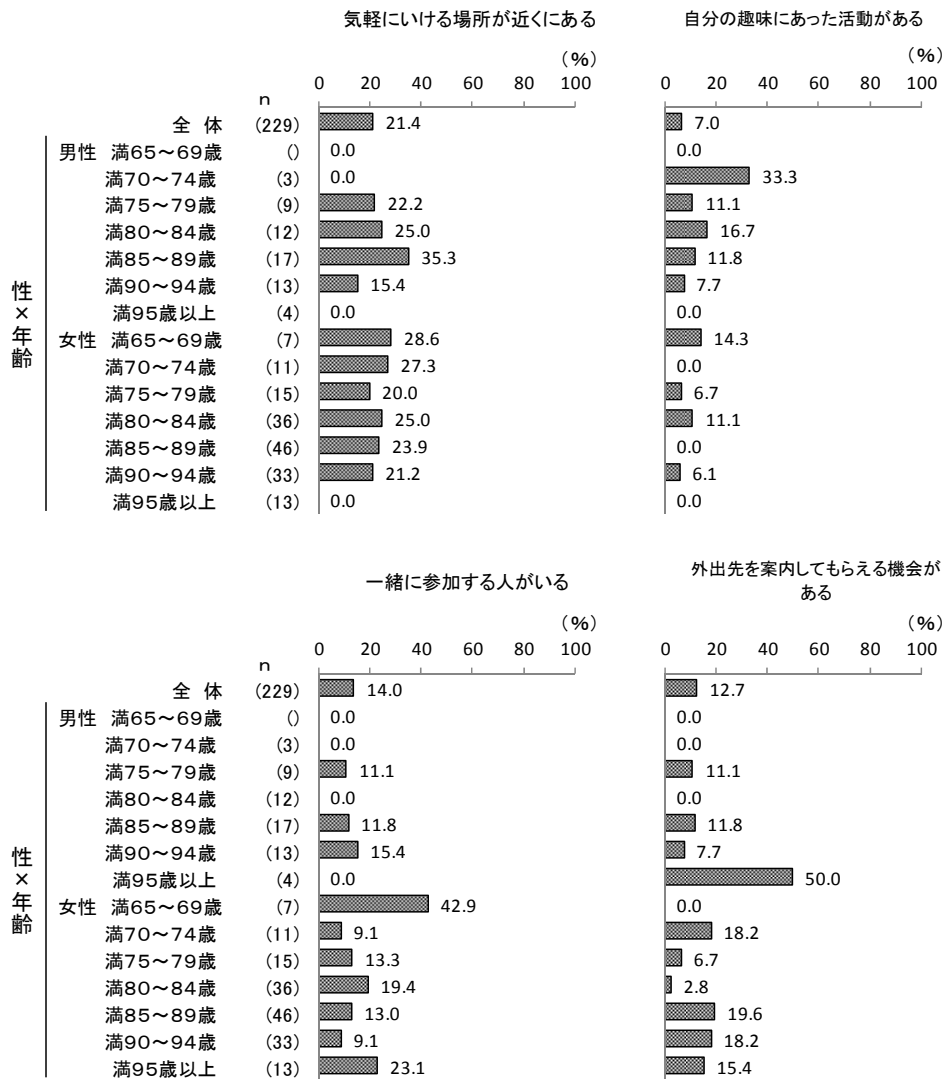
性×年齢別でみると、「ほぼ毎日」は男性の満65～69歳が66.7%と最も多く、次いで男性の満70～74歳(34.0%)、女性の満75～79歳(30.3%)と続いている。(図表2 1 - 1)

(6) 外出の機会が増えるために必要なもの

問21-1 問21で「6」と回答された方におたずねします。
 外出の機会は何があると増えますか。(いくつでも○)

「気軽にいける場所が近くにある」が21.4%、「一緒に参加する人がいる」が14.0%。

図表21-1-1 外出の機会が増えるために必要なもの(性×年齢別)



外出機会が増える方法について、「気軽にいける場所が近くにある」が21.4%と最も多く、次いで「一緒に参加する人がいる」(14.0%)、「外出先を案内してもらえる機会がある」(12.7%)、「自分の趣味にあった活動がある」(7.0%)と続いている。

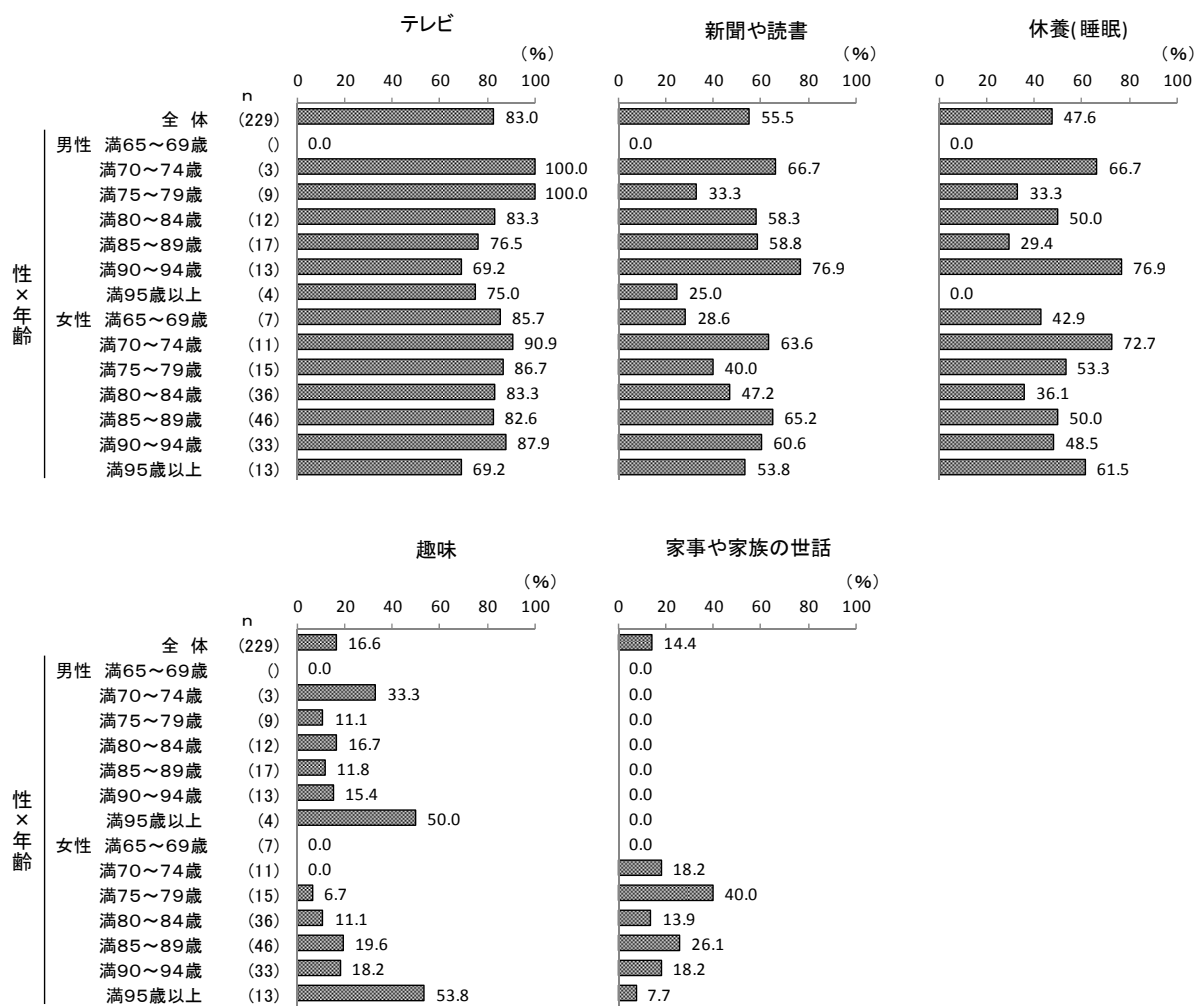
性・年齢別でみると、「気軽にいける場所が近くにある」は女性の満80～84歳が25.0%と最も多く、次いで女性の満85～89歳(23.9%)、女性の満90～94歳(21.2%)と続いている。(図表21-1-1)

(7) 家での過ごし方

問21-2 問21で「6」と回答された方におたずねします。
家で過ごすときは何をしていますか。(いくつでも○)

「テレビ」が83.0%、「新聞や読書」が55.5%。

図表21-2-1 家での過ごし方(性×年齢別)



家での過ごし方について、「テレビ」が83.0%と最も多く、次いで「新聞や読書」(55.5%)、「休養(睡眠)」(47.6%)と続いている。

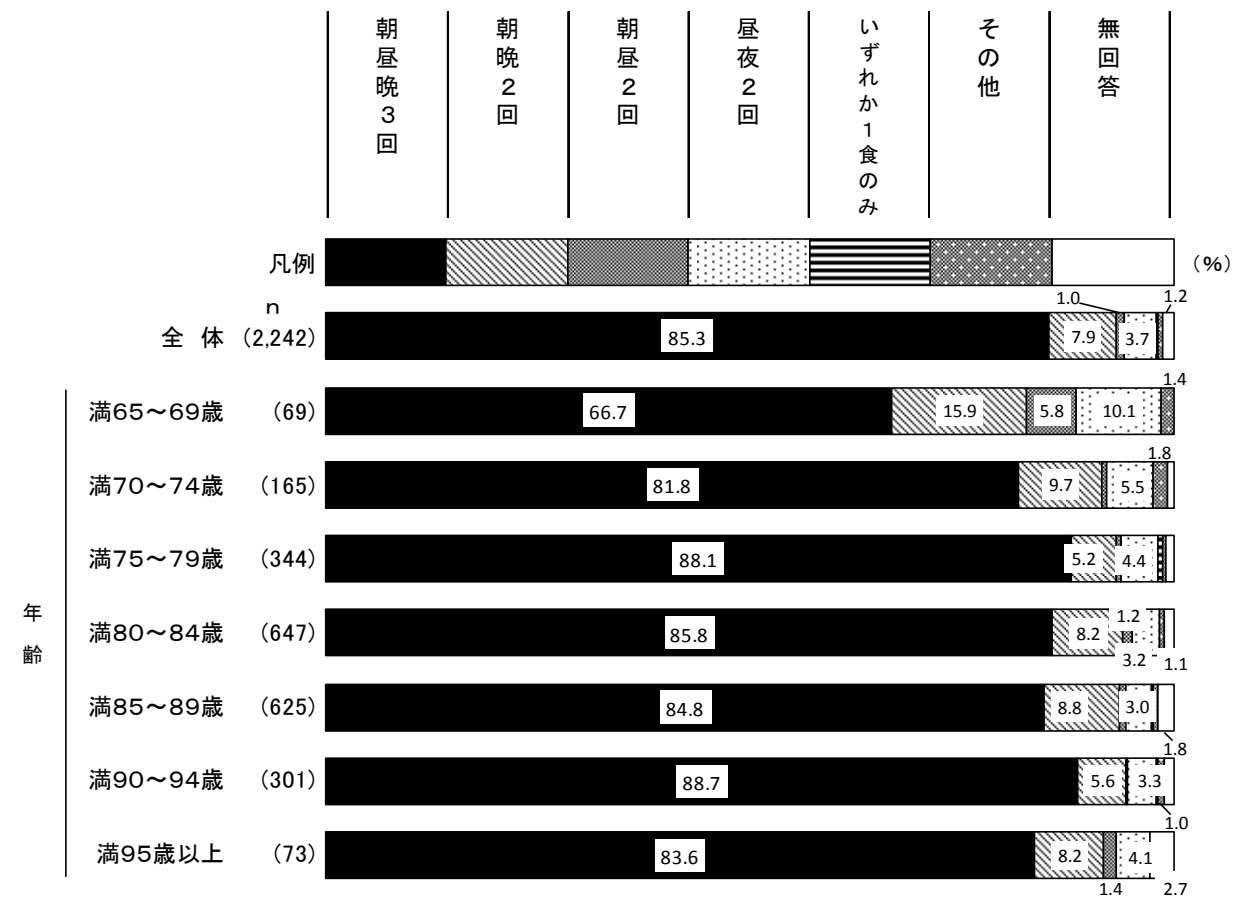
性×年齢別でみると、「テレビ」において、満70～74歳と満75～79歳の男性は共に100.0%だが、満90～94歳は69.2%と、おおむね年齢が高くなるに従って少なくなっている。(図表21-2-1)

(8) 1日の食事の回数

問22 1日の食事の回数は何回ですか。(普段の生活から平均的な回数)(1つに○)

「朝昼晩3回」が85.3%、「朝晩2回」が7.9%。

図表22-1 1日の食事の回数(年齢別)



一日における食事の回数について、「朝昼晩3回」が85.3%と最も多く、次いで「朝晩2回」(7.9%)、「昼夜2回」(3.7%)と続いている。

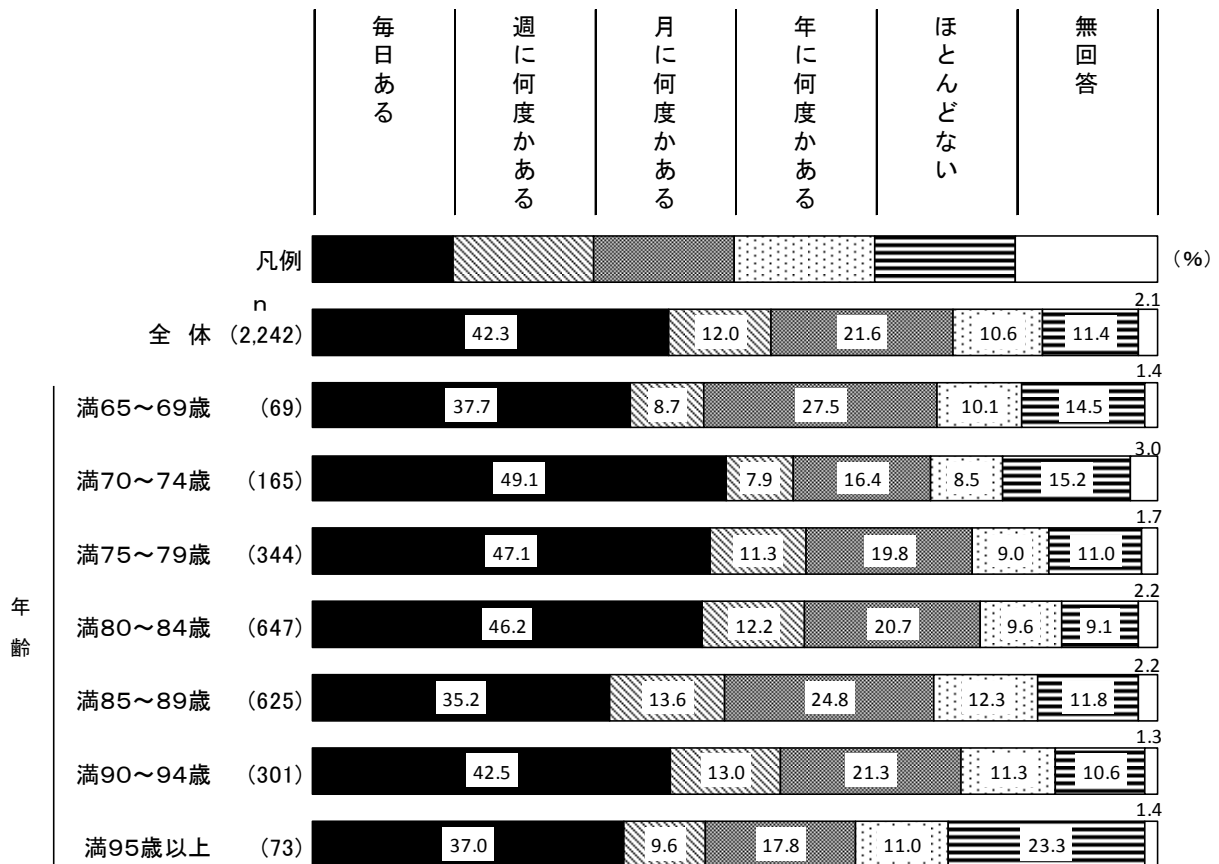
年齢別でみると、「朝昼晩3回」は、満90～94歳が88.7%と最も多く、次いで満75～79歳(88.1%)、満80～84歳(85.8%)と続いている。(図表22-1)

(9) ほかの人と食事をともしる機会の有無

問23 自分一人ではなく、どなたかと食事をともしる機会はありますか。(1つに○)

「毎日ある」が42.3%、「月に何度かある」が21.6%。

図表23-1 ほかの人と食事をともしる機会の有無(年齢別)



ほかの人と食事をともしる機会の有無について、「毎日ある」が42.3%と最も多く、次いで「月に何度かある」(21.6%)、「週に何度かある」(12.0%)と続いている。

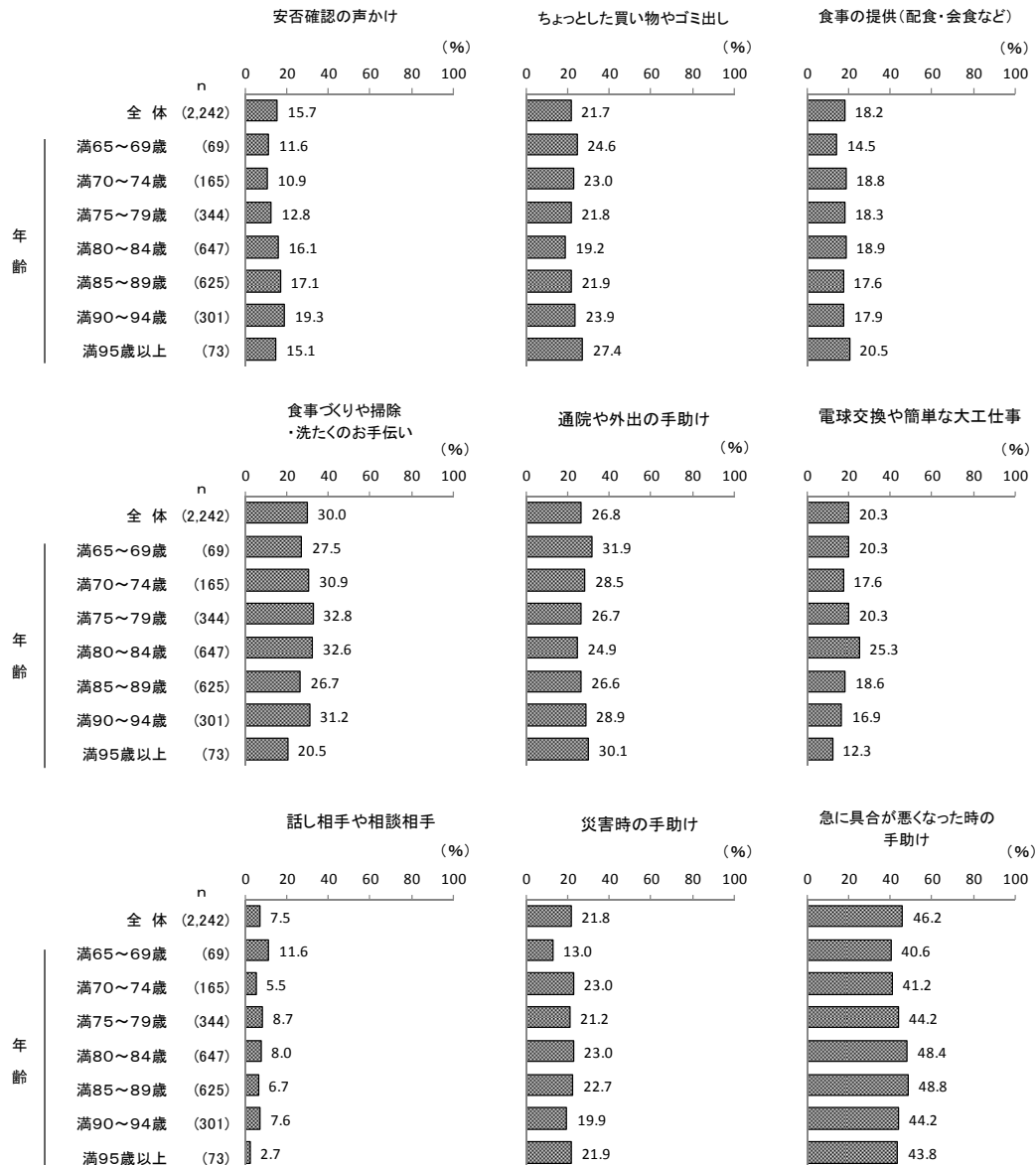
年齢別でみると、「毎日ある」は、満70～74歳が49.1%と最も多く、次いで満75～79歳(47.1%)、満80～84歳(46.2%)と続いている。(図表23-1)

(10) 日常生活で手助けをしてほしいこと

問24 日常生活で手助けが必要になった場合、どんな手助けをしてほしいですか。(3つまで○)

「急に具合が悪くなった時の手助け」が46.2%、「食事づくりや掃除・洗たくのお手伝い」が30.0%。

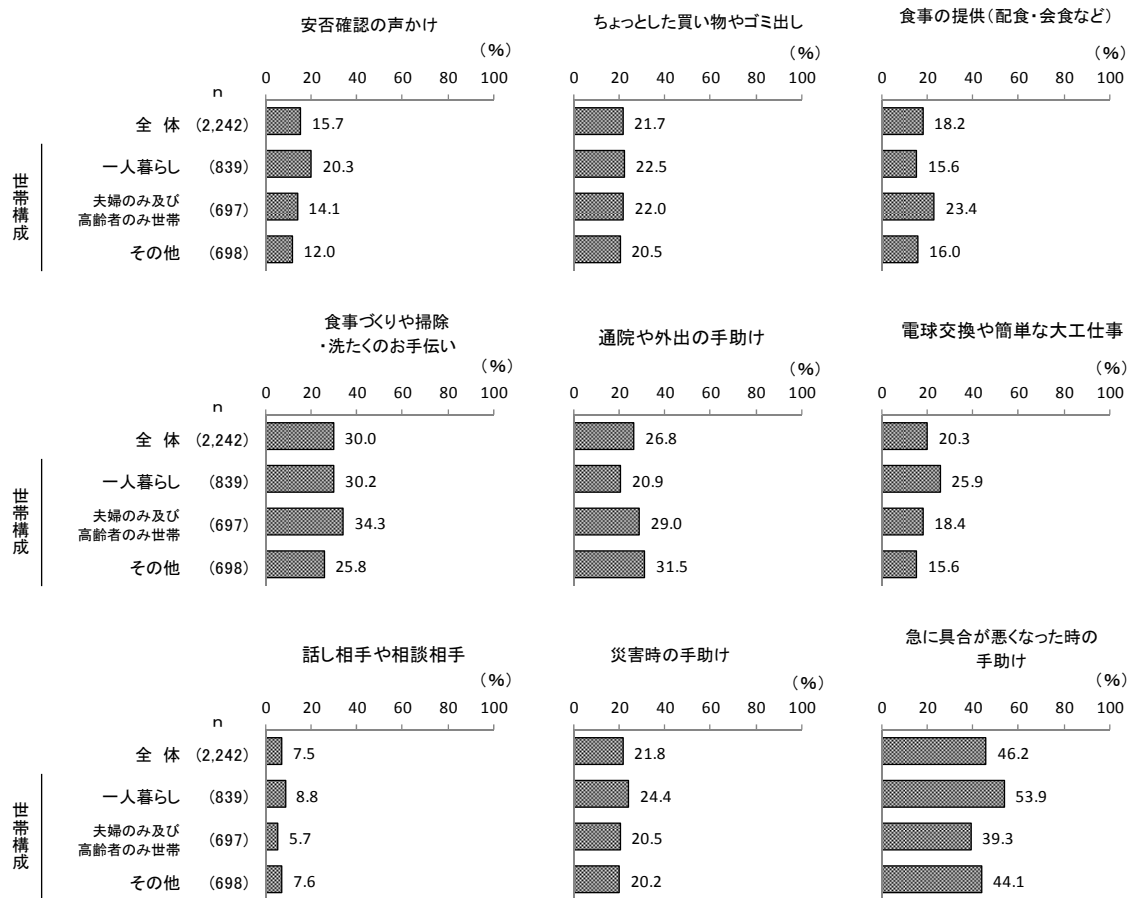
図表24-1 日常生活で手助けをしてほしいこと(年齢別)



日常生活で手助けをしてほしいことについて、「急に具合が悪くなった時の手助け」が46.2%と最も多く、次いで「食事づくりや掃除・洗たくのお手伝い」(30.0%)、「通院や外出の手助け」(26.8%)の続いている。

年齢別で見ると、「急に具合が悪くなった時の手助け」が満65~69歳は40.6%、満85~89歳は48.8%となっており、おおむね年齢が高くなるに従って多くなっている。(図表24-1)

図表24-2 日常生活で手助けをしてほしいこと（世帯構成別）



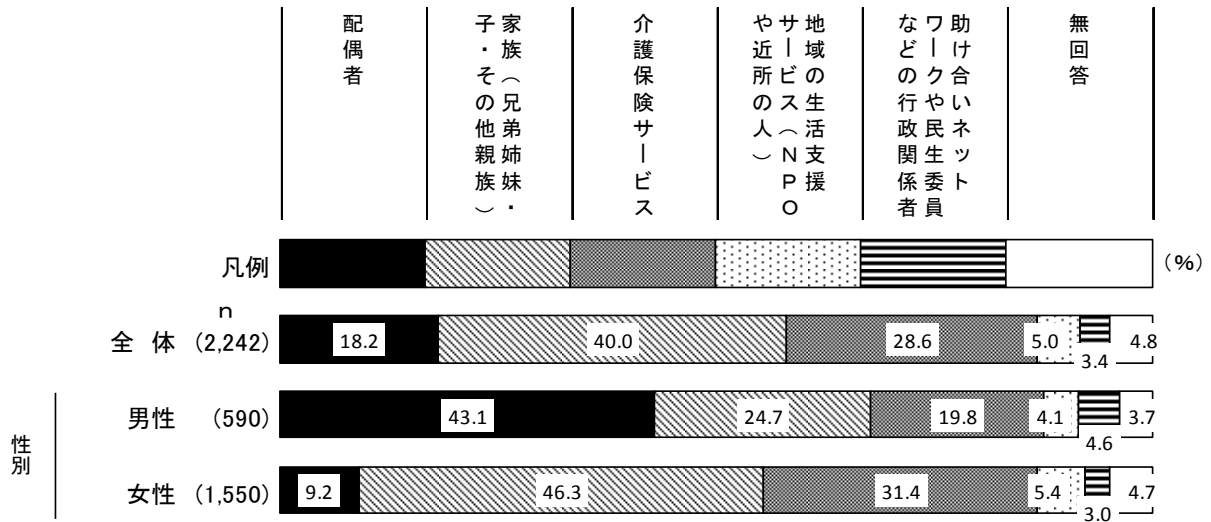
世帯構成別でみると、一人暮らし世帯は夫婦のみ及び高齢者のみ世帯より「急に具合が悪くなった時の手助け」が14.6ポイント、「電球交換や簡単な大工仕事」が7.5ポイント多くなっている。一方、夫婦のみ及び高齢者のみ世帯は一人暮らし世帯より「食事の提供(配食・会食など)」が7.8ポイント多くなっている。(図表24-2)

(11) 日常生活で手助けをしてほしい相手

問25 日常生活で手助けが必要になった場合、だれに手伝ってほしいですか。(1つに○)

「家族（兄弟姉妹・子・その他親族）」が40.0%、「介護保険サービス」が28.6%。

図表25-1 日常生活で手助けをしてほしい相手（性別）



日常生活で手助けをしてほしい相手について、「家族（兄弟姉妹・子・その他親族）」が40.0%と最も多く、次いで「介護保険サービス」(28.6%)、「配偶者」(18.2%)と続いている。

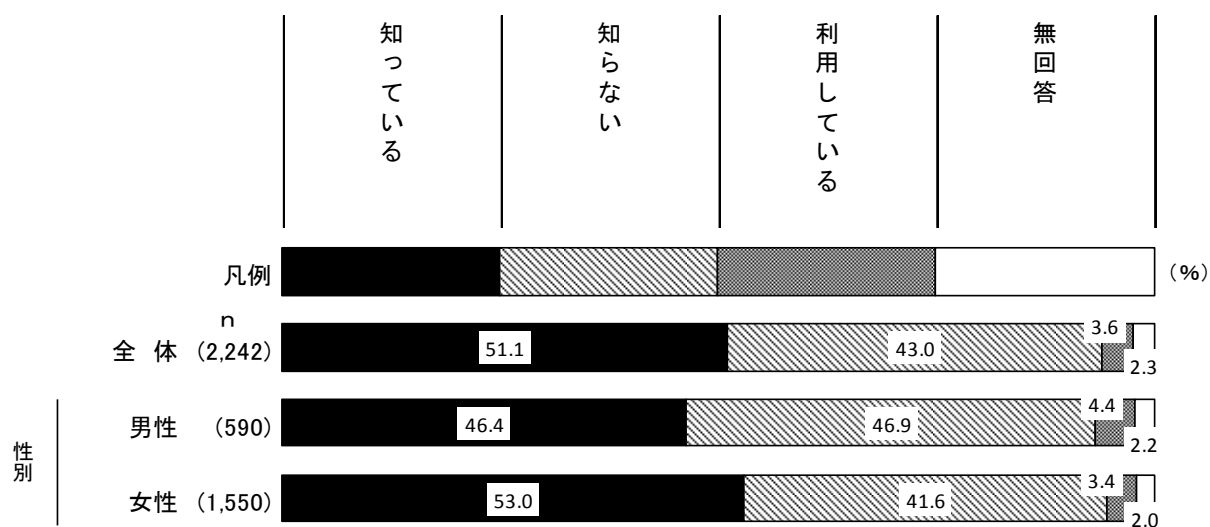
性別でみると、男性は女性より「配偶者」が33.9ポイント多くなっている。一方、女性は男性より「家族（兄弟姉妹・子・その他親族）」が21.6ポイント、「介護保険サービス」が11.6ポイント多くなっている。(図表25-1)

(12) 地域の生活支援サービスの認知度

問26 地域に困ったときのお手伝い(移動の援助や買い物、配食)を行う生活支援のサービスがあることを知っていますか(1つに○)

「知っている」が51.1%、「知らない」が43.0%。

図表26-1 地域の生活支援サービスの認知度(性別)



地域の生活支援サービスの認知度について、「知っている」が51.1%、「知らない」が43.0%となっている。

性別でみると、女性は男性より「知っている」と回答した割合が6.6ポイント多くなっている。(図表26-1)

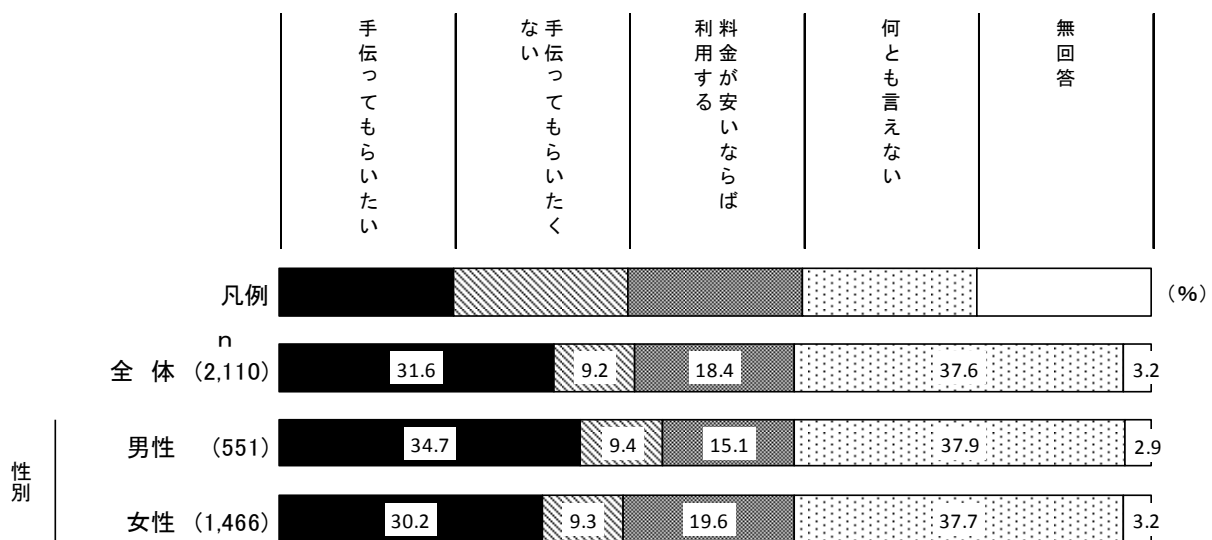
(13) NPOや近所の人の手助けの要否

問27 (問26で「1」または「2」と回答された方におたずねします。)

困った時のお手伝い(移動の援助や買い物、配食)を行うNPOや近所の人に手伝ってもらいたいですか。(1つに○)

「何とも言えない」が37.6%、「手伝ってもらいたい」が31.6%。

図表27-1 NPOや近所の人に手伝ってもらいたいか(性別)



NPOや近所の人に手伝ってもらいたいかについて、「何とも言えない」が37.6%と最も多く、次いで「手伝ってもらいたい」(31.6%)、「料金が安いならば利用する」(18.4%)と続いている。

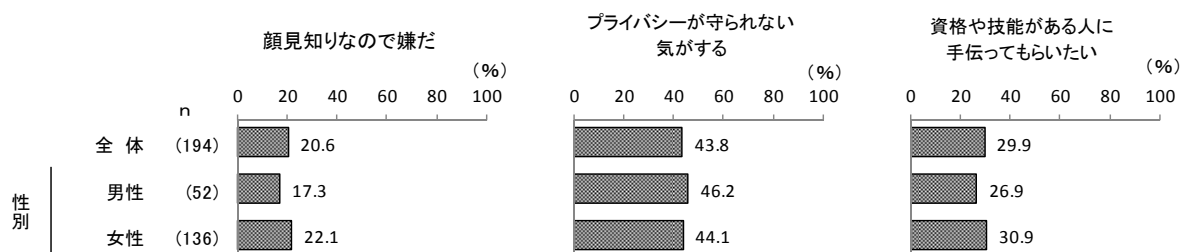
性別でみると、男性は女性より「手伝ってもらいたい」が4.5ポイント多くなっている。一方、女性は男性より「料金が安いならば利用する」が4.5ポイント多くなっている。(図表27-1)

(14) NPOや近所の人に手伝ってもらいたくない理由

問28 (問27で「2」と回答された方におたずねします。)
 手伝ってもらいたくない理由は何ですか(いくつでも○)

「プライバシーが守られない気がする」が43.8%、「資格や技能がある人に手伝ってもらいたい」が29.9%。

図表28-1 NPOや近所の人に手伝ってもらいたくない理由(性別)



NPOや近所の人に手伝ってもらいたくない理由について、「プライバシーが守られない気がする」が43.8%と最も多く、次いで「資格や技能がある人に手伝ってもらいたい」(29.9%)、「顔見知りなので嫌だ」(20.6%)と続いている。

性別でみると、男性は女性より「プライバシーが守られない気がする」が2.1ポイント多くなっている。女性は男性より「顔見知りなので嫌だ」が4.8ポイント、「資格や技能がある人に手伝ってもらいたい」が4.0ポイント多くなっている。(図表28-1)

6. 記憶・判断について

(1) 記憶・判断について

問29 その日の活動（食事をする、衣類を選ぶなど）を自分で決めていますか。（1つに○）

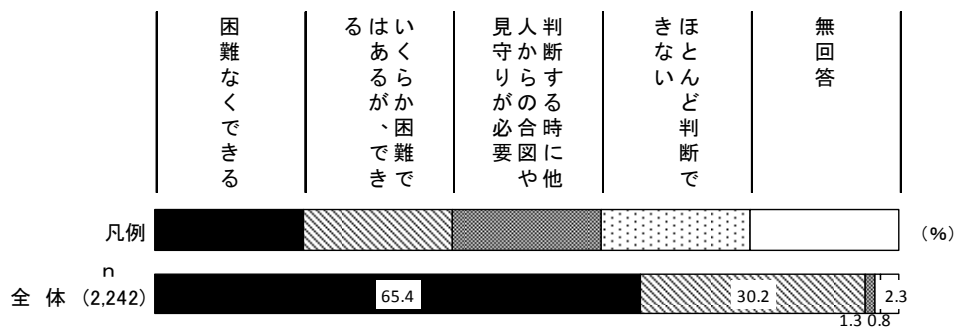
問30 5分前のことが思い出せますか。

問31 人に自分の考えをうまく伝えられていますか。（1つに○）

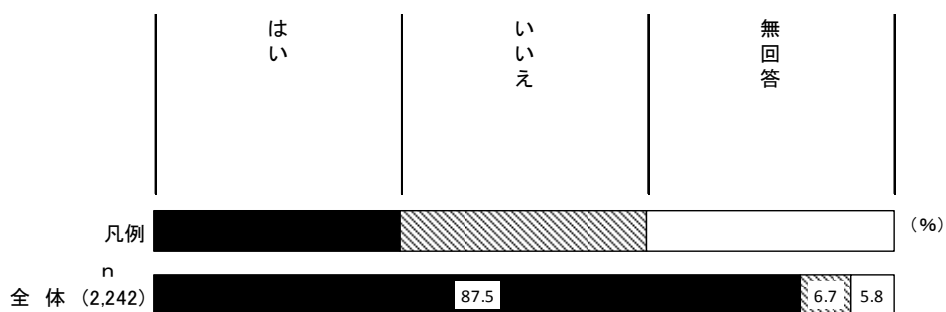
その日の活動（食事をする、衣類を選ぶなど）を自分で決めている人は65.4%、5分前のことが思い出せる人は87.5%、人に自分の考えを上手く伝えられる人は69.2%。

図表29-1 記憶・判断について

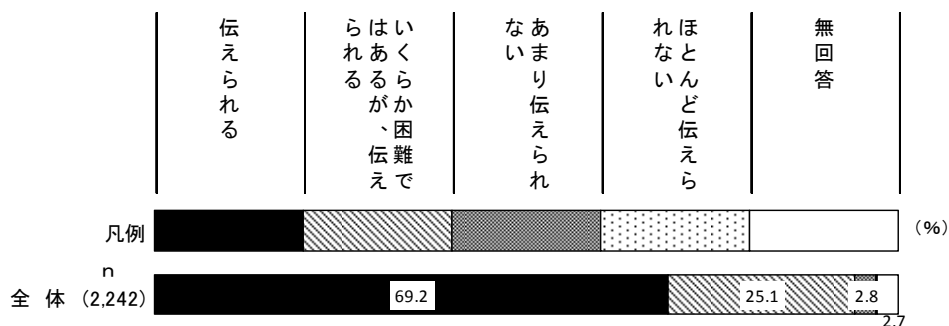
【その日の活動を自分で決めている】



【5分前のことを思い出することができる】



【人に自分の考えをうまく伝えることができる】

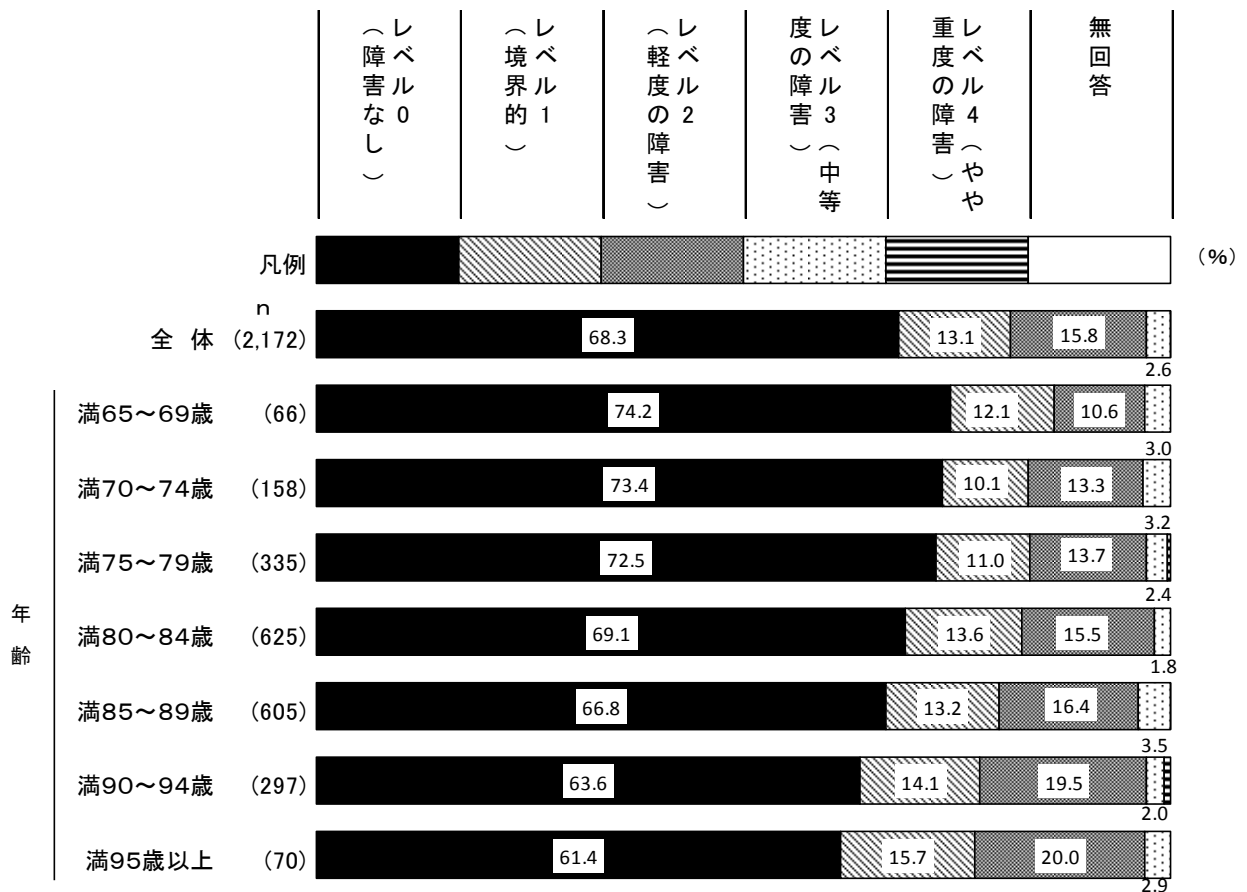


記憶・判断についてその日の活動（食事をする、衣類を選ぶなど）を自分で決めている人は65.4%、5分前のことが思い出せる人は87.5%、人に自分の考えを上手く伝えられる人は69.2%となっている。（図表29-1）

(2) 認知機能の分析結果

「レベル0 (障害なし)」が68.3%、「レベル2 (軽度の障害)」が15.8%、「レベル1(境界的)」が13.1%

図表 a-1 認知機能の分析結果



問29～問31の回答の組み合わせをもとに認知機能判定を行った。その結果、「レベル0 (障害なし)」が68.3%と最も多く、次いで「レベル2 (軽度の障害)」(15.8%)、「レベル1 (境界的)」(13.1%)と続いている。

年齢別でみると、「レベル0 (障害なし)」は年齢が高くなるに従って、少なくなる傾向がみられる。

(図表 a-1)

7. 運動機能について

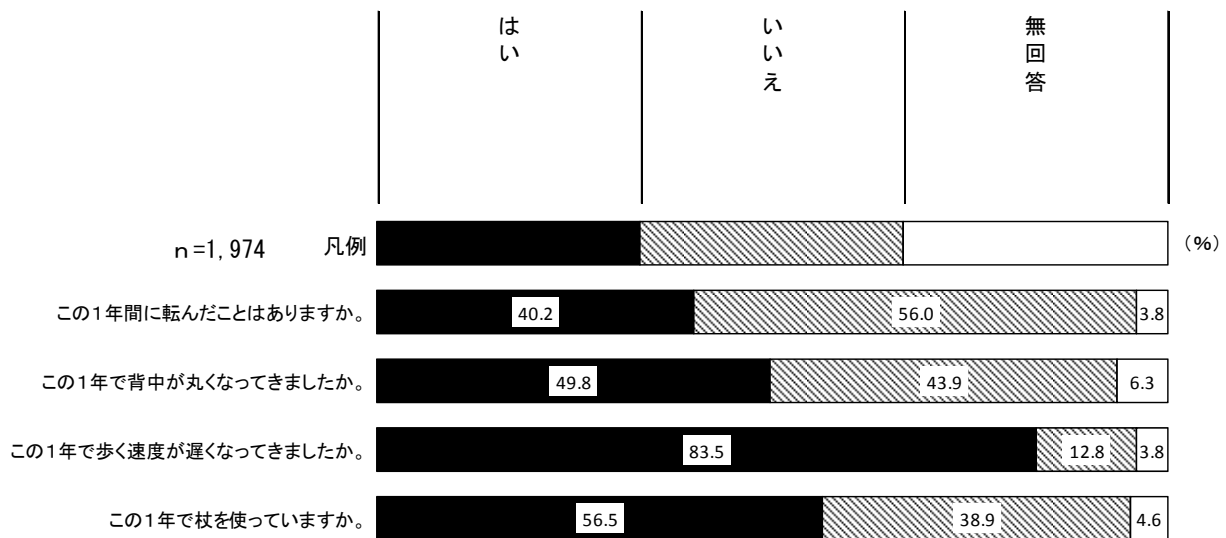
(1) 運動機能について

問32

- (1) この1年間に転んだことはありますか。
- (2) この1年で背中が丸くなってきましたか。
- (3) この1年で歩く速度が遅くなってきましたか。
- (4) この1年で杖を使っていますか。

この1年で、歩く速度が遅くなってきた人は83.5%、この1年で杖を使っている人は56.5%。

図表32-1 運動機能について



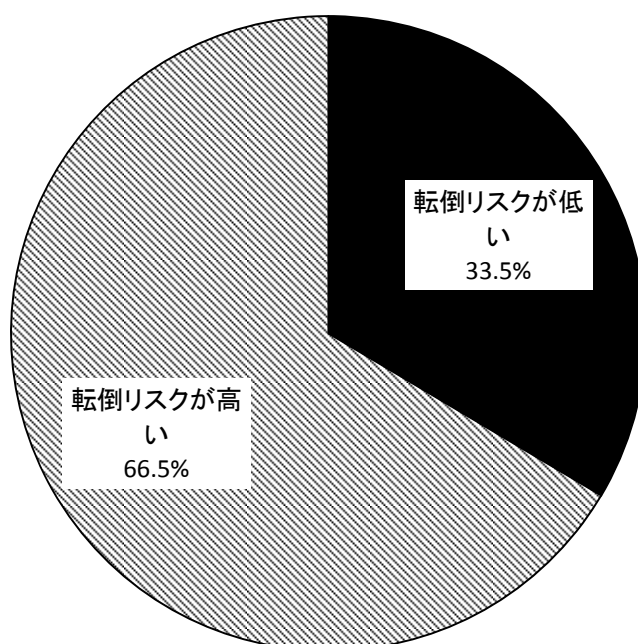
運動機能について、この1年で、歩く速度が遅くなってきた人が83.5%、この1年で杖を使っている人が56.5%、この1年で背中が丸くなってきた人が49.8%、この1年間に転んだことがある人が40.2%となっている。(図表32-1)

(2) 転倒リスクの分析結果

「転倒リスクが高い」が66.5%、「転倒リスクが低い」が33.5%。

図表 b-1 転倒リスクの分析結果

n=2,242



問32の回答から転倒リスクの分析を行ったところ、「転倒リスクが高い」が66.5%、「転倒リスクが低い」が33.5%であった。(図表b-1)

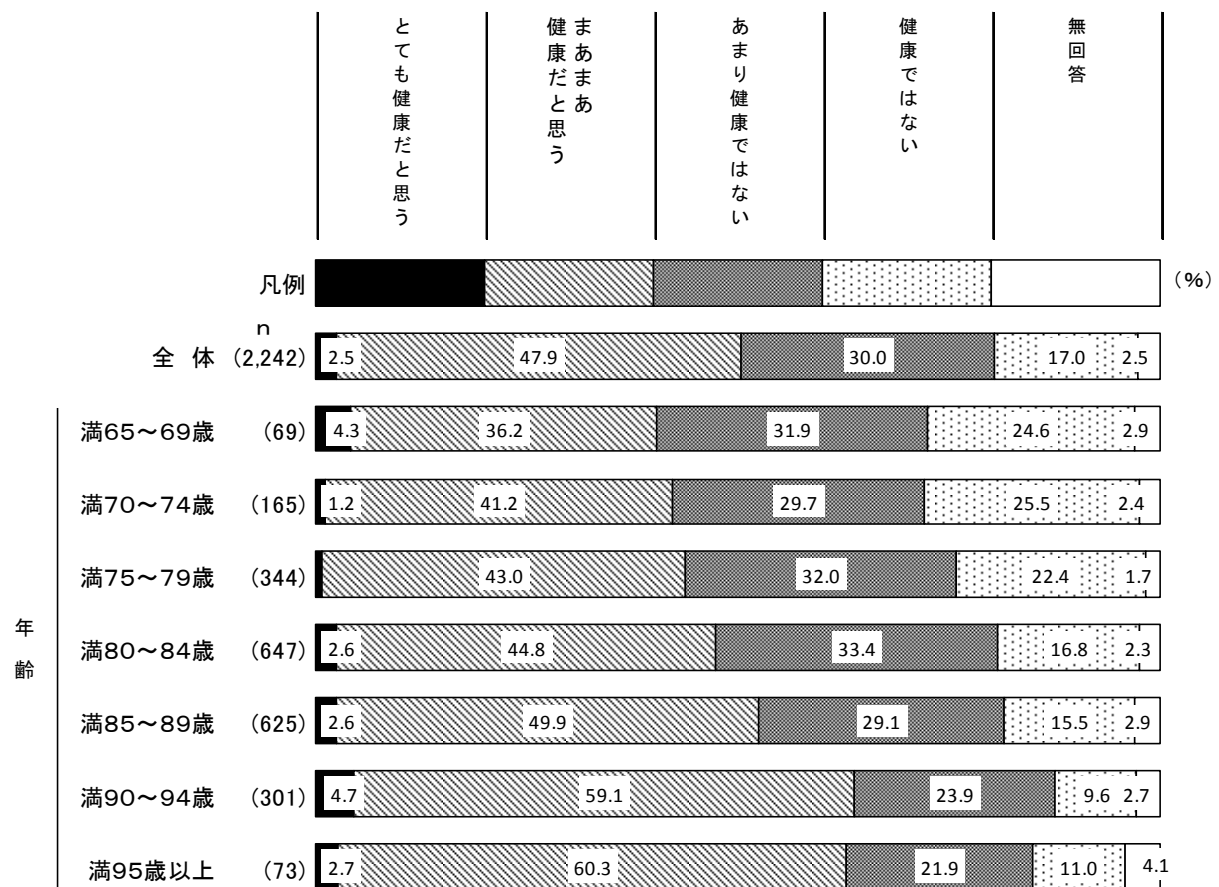
8. 健康について

(1) 主観的な健康感について

問33 ご自分で健康だと思いますか。(1つに○)

「まあまあ健康だと思う」が47.9%、「あまり健康ではない」が30.0%。

図表33-1 主観的な健康感について（年齢別）



主観的な健康感について、「まあまあ健康だと思う」が47.9%と最も多く、次いで「あまり健康ではない」(30.0%)、「健康ではない」(17.0%)と続いている。

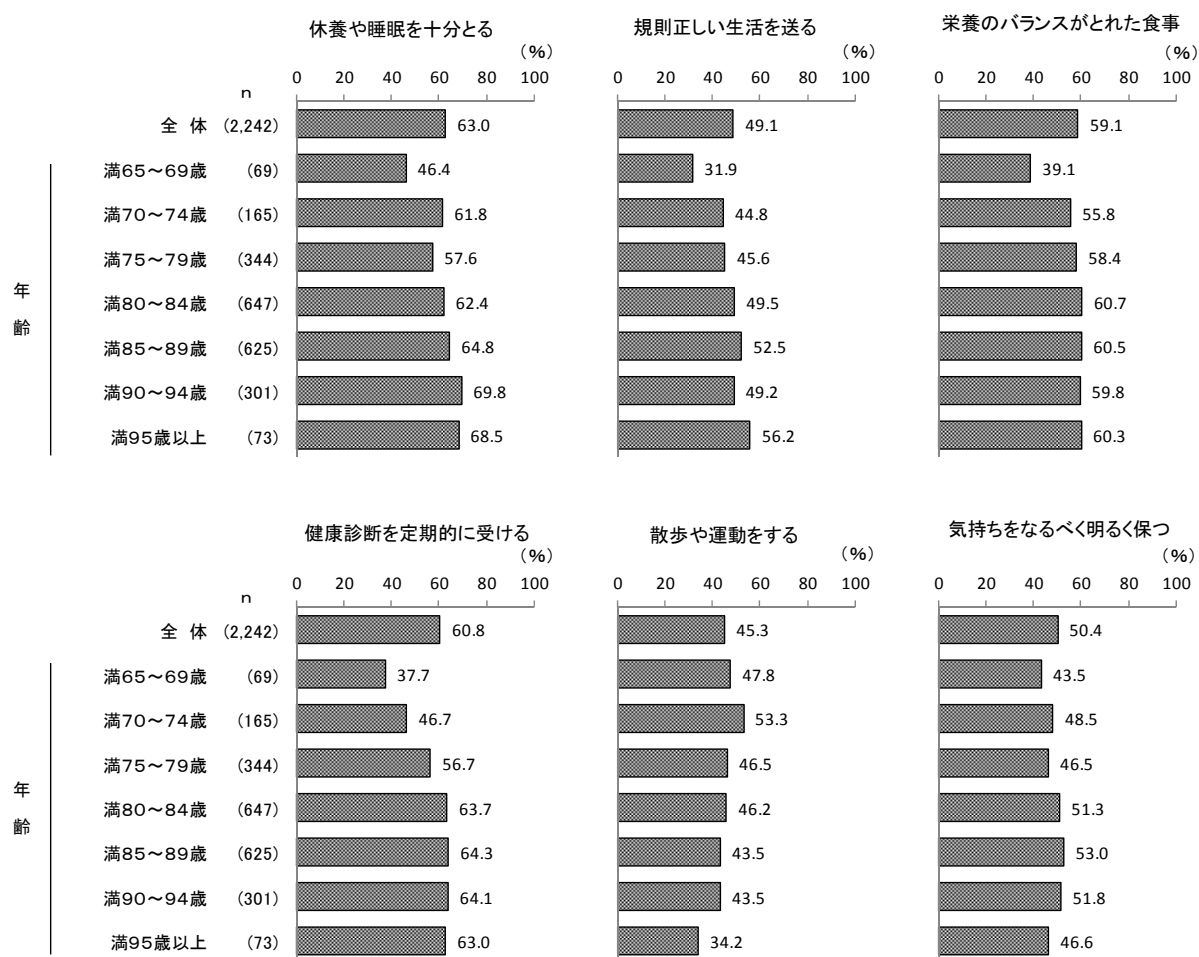
年齢別でみると、「まあまあ健康だと思う」は年齢が高くなるに従って多くなる傾向がみられる。(図表33-1)

(2) 健康に気を使っていること

問34 健康に気を使っていることはありますか。(いくつでも○)

「休養や睡眠を十分とる」が63.0%、「健康診断を定期的に受ける」が60.8%。

図表34-1 健康に気を使っていること(年齢別)



健康に気を使っていることについて、「休養や睡眠を十分とる」が63.0%と最も多く、次いで「健康診断を定期的に受ける」(60.8%)、「栄養のバランスが取れた食事」(59.1%)と続いている。

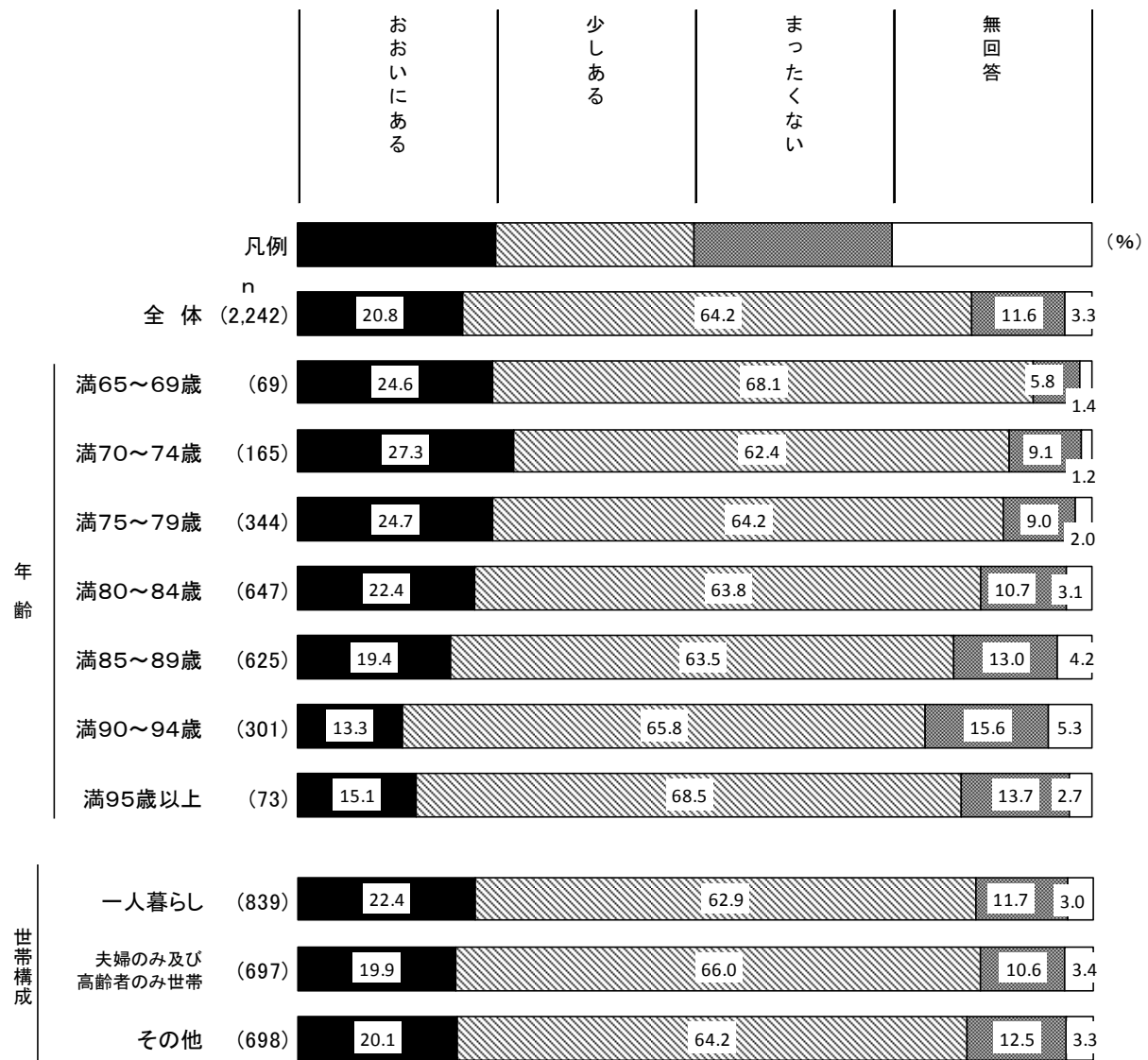
年齢別でみると、「休養や睡眠を十分とる」は満90~94歳が69.8%と最も多く、次いで満95歳以上(68.5%)、満85~89歳(64.8%)と続いている。(図34-1)

(3) 悩みやストレスの有無

問35 悩みやストレスはありますか。(1つに○)

「少しある」が64.2%、「おおいにある」が20.8%。

図表35-1 悩みやストレスの有無(年齢別/世帯構成別)

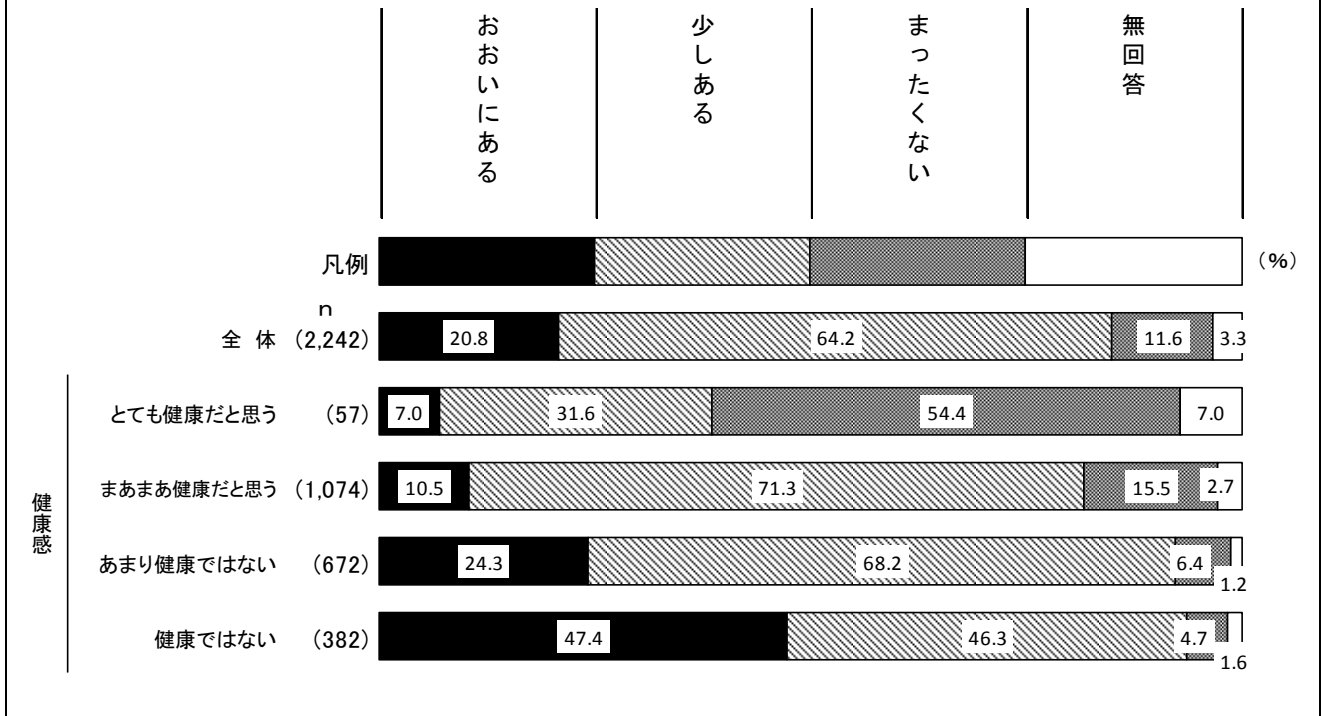


悩みやストレスの有無について、「少しある」が64.2%と最も多く、次いで「おおいにある」(20.8%)、「まったくない」(11.6%)と続いている。

年齢別でみると、「おおいにある」は満70～74歳が27.3%、満90～94歳が13.3%と、おおむね年齢が高くなるに従って少なくなっている。

世帯構成別でみると、一人暮らしは「おおいにある」が22.4%と、他の世帯構成に比べ多くなっている。(図35-1)

図表35-2 悩みやストレスの有無（健康感別）



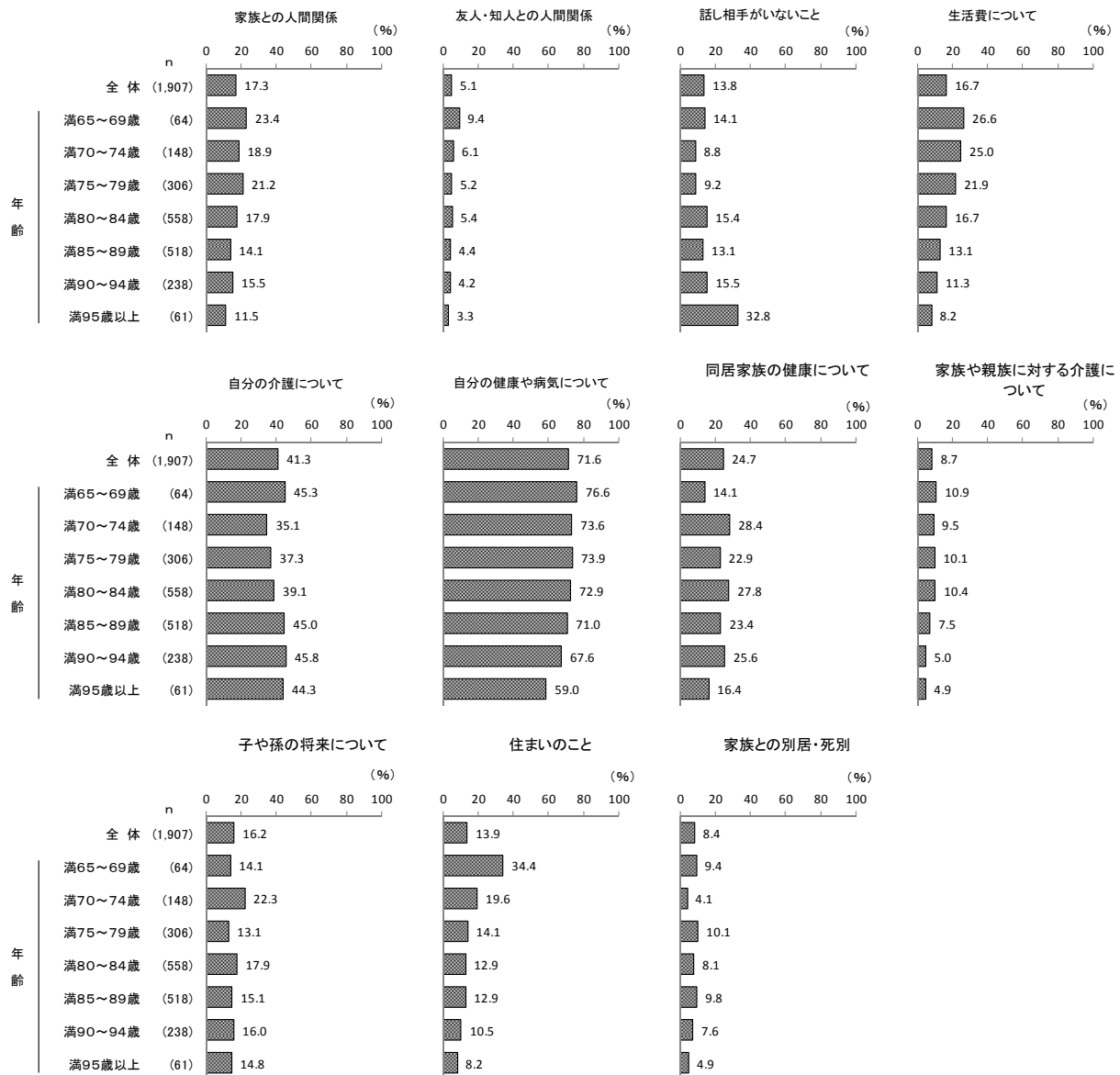
健康感別でみると、悩みやストレスが「おおいにある」は、「とても健康だと思う」人で7.0%、「あまり健康でない」人で24.3%、「健康ではない」では47.4%となっており、健康ではないと感じている人ほどストレスを強く感じている傾向がみられる。一方、「まったくない」は、「とても健康だと思う」人で54.4%と、5割強を占めている。(図表35-2)

(4) 悩みやストレスの原因

問36 (問35で「1」「2」と回答された方におたずねします。)
その原因は何ですか。(いくつでも○)

「自分の健康や病気について」が71.6%、「自分の介護について」が41.3%。

図表36-1 悩みやストレスの原因(年齢別)



悩みやストレスの原因について、「自分の健康や病気について」が71.6%と最も多く、次いで「自分の介護について」(41.3%)、「同居家族の健康について」(24.7%)と続いている。

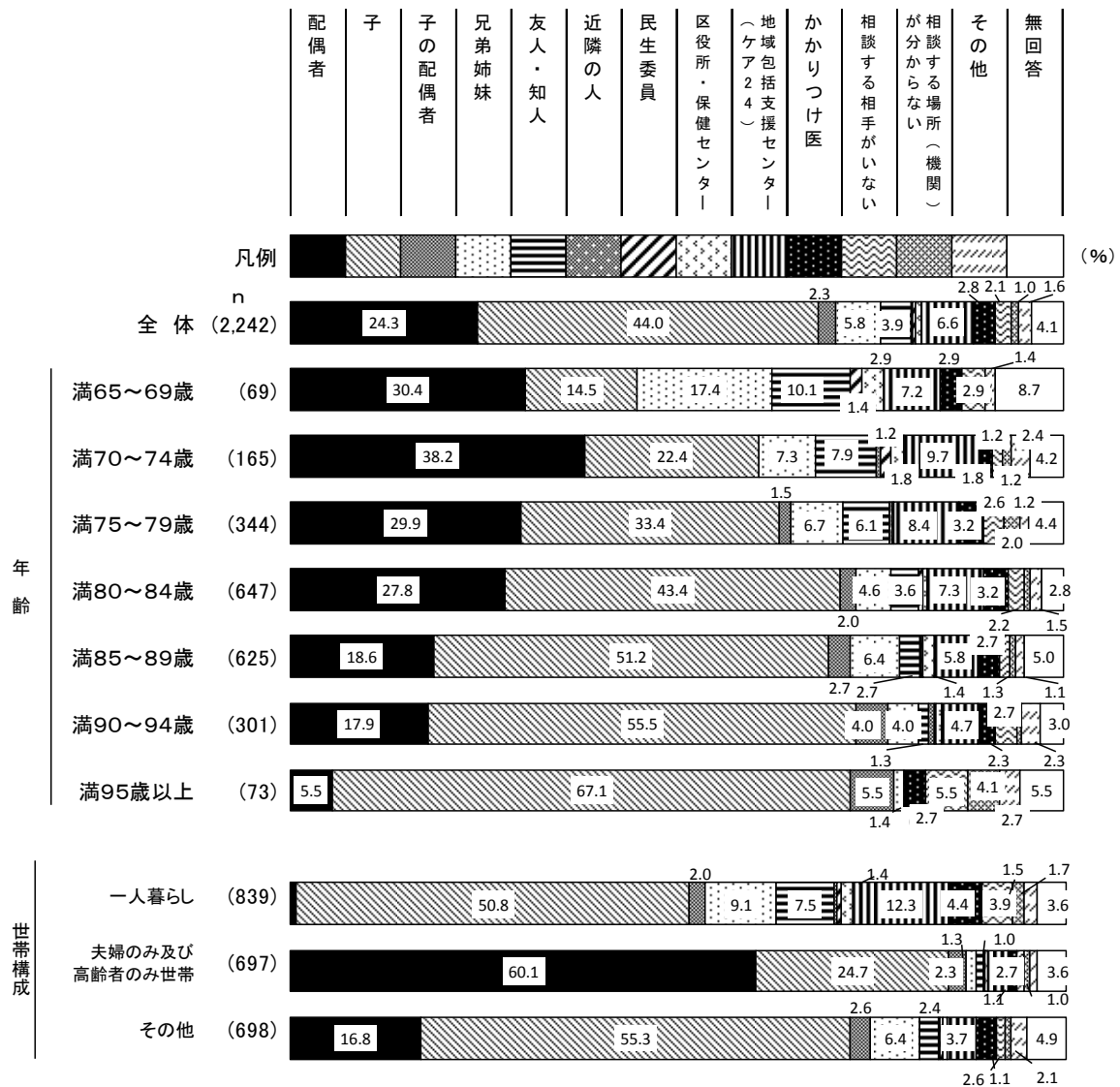
年齢別でみると、「自分の健康や病気について」は満65～69歳が76.6%、満95歳以上が59.0%と年齢が高くなるに従って少なくなる傾向がみられる。(図36-1)

(5) 生活の中で不安に思ったときの相談先

問37 あなたは生活の中で不安に思ったとき、どなた（どこ）に相談しますか。
 (もっともよくあてはまるもの1つに○)

「子」が44.0%、「配偶者」が24.3%。年齢が高くなるにつれ「子」の割合が多くなる。

図表37-1 生活の中で不安に思ったときの相談先（年齢別／世帯構成別）



生活の中で不安に思ったときの相談先について、「子」が44.0%と最も多く、次いで「配偶者」(24.3%)、「地域包括支援センター(ケア24)」(6.6%)と続いている。

年齢別でみると、「子」は、満65～69歳が14.5%、満95歳以上が67.1%と、年齢が高くなるに従って多くなる傾向がみられる。一方「配偶者」は、満70～74歳が38.2%、満95歳以上が5.5%と、おおむね年齢が高くなるに従って少なくなる傾向がみられる。

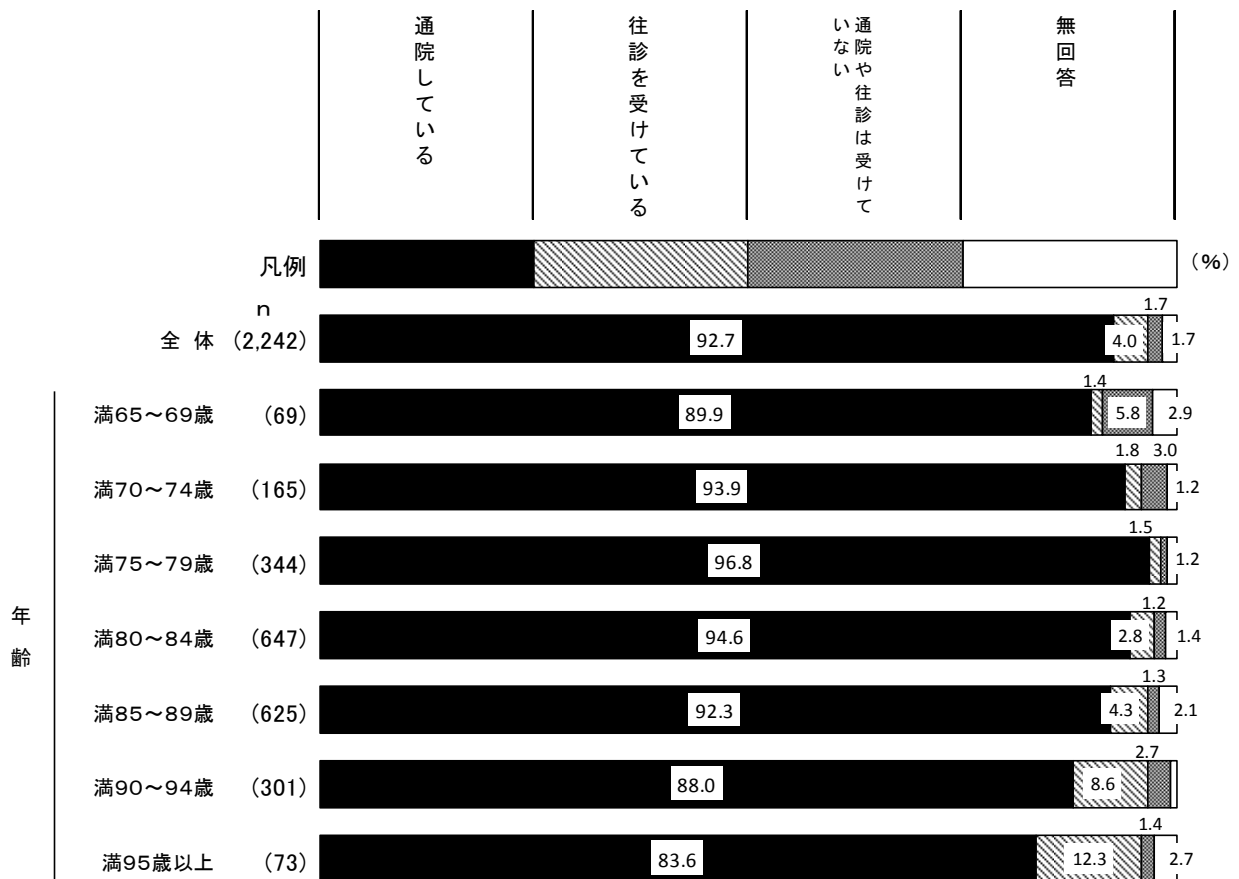
世帯構成別でみると、夫婦のみ及び高齢者のみ世帯においては、「配偶者」が60.1%と6割を超え、他の世帯構成に比べ多くなっている。(図37-1)

(6) 通院・往診の状況

問38 現在、通院（病院・医院・診療所など）や往診を受けていますか。

「通院している」が92.7%、「往診を受けている」が4.0%。

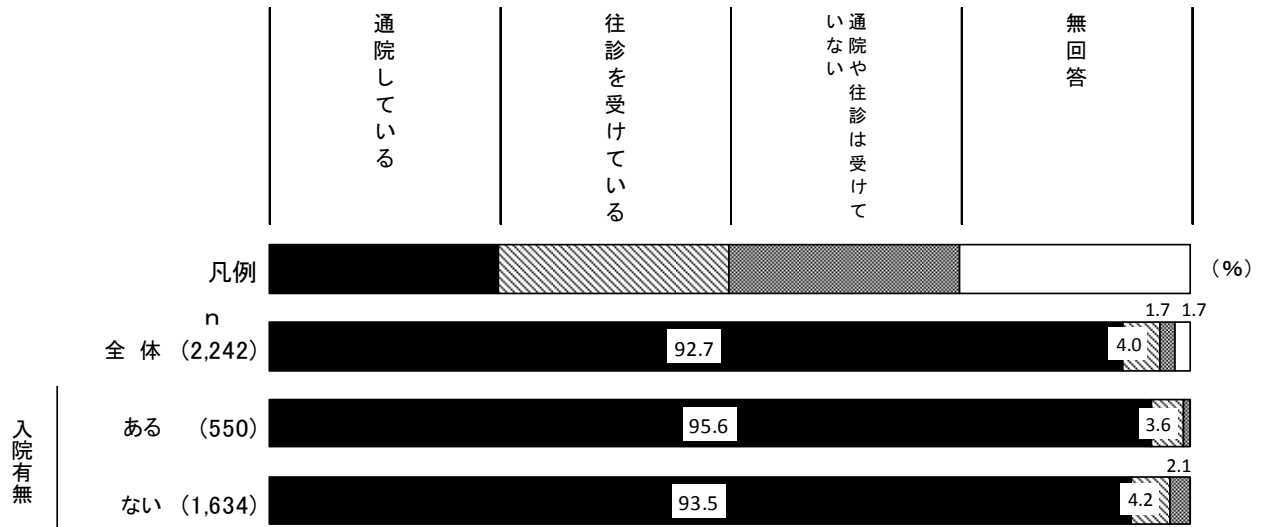
図表38-1 通院・往診の状況（年齢別）



通院・往診の状況について、「通院している」が92.7%と最も多く、次いで「往診を受けている」(4.0%)、「通院や往診は受けていない」(1.7%)と続いている。

年齢別でみると、「通院している」は、満75～79歳が96.8%と最も多く、次いで満80～84歳(94.6%)、満70～74歳(93.9%)と続いている。(図表38-1)

図表38-2 通院・往診の状況（この1年間での入院の有無別）



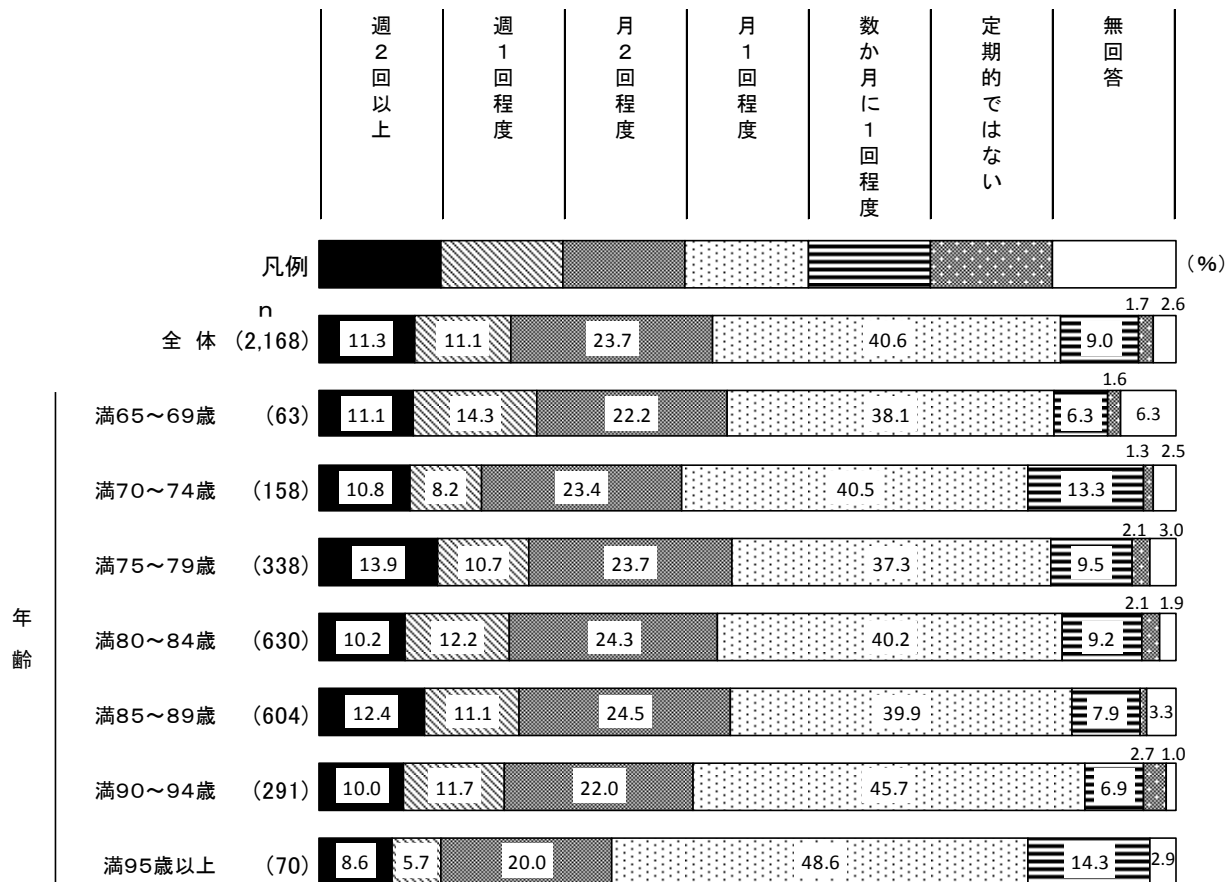
この1年間での入院有無別でみると、「通院している」は、「入院あり」と「入院なし」のいずれも9割を超えており、入院の有無による通院・往診の状況の大きな違いはみられなかった。(図表38-2)

(7) 通院・往診の頻度

問39 (問38で「1」「2」と回答された方におたずねします。) 通院や往診の頻度をおしえてください。(1つに○)

「月1回程度」が40.6%、「月2回程度」が23.7%。

図表39-1 通院・往診の頻度 (年齢別)



通院・往診の頻度について、「月1回程度」が40.6%と最も多く、次いで「月2回程度」(23.7%)、「週2回以上」(11.3%)の順となっている。

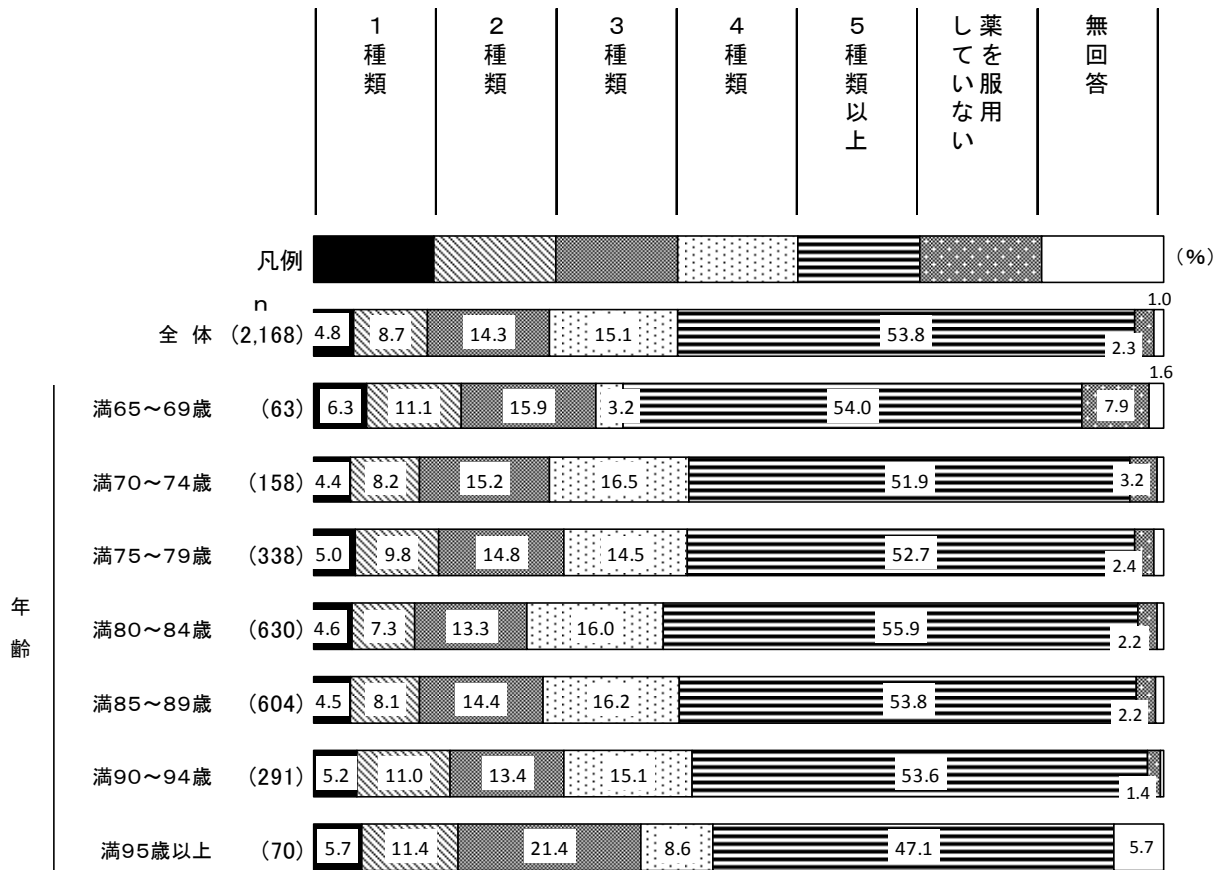
年齢別でみると、「月2回程度」は満65～69歳が22.2%、満85～89歳が24.5%と、おおむね年齢が高くなるにつれ多くなっている。(図表39-1)

(8) 服用している薬の種類

問40 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでますか。(1つに○)

「5種類以上」が53.8%、「4種類」が15.1%。

図表40-1 服用している薬の種類(年齢別)



服用している薬の種類について、「5種類以上」が53.8%と最も多く、次いで「4種類」(15.1%)、「3種類」(14.3%)の順となっている。

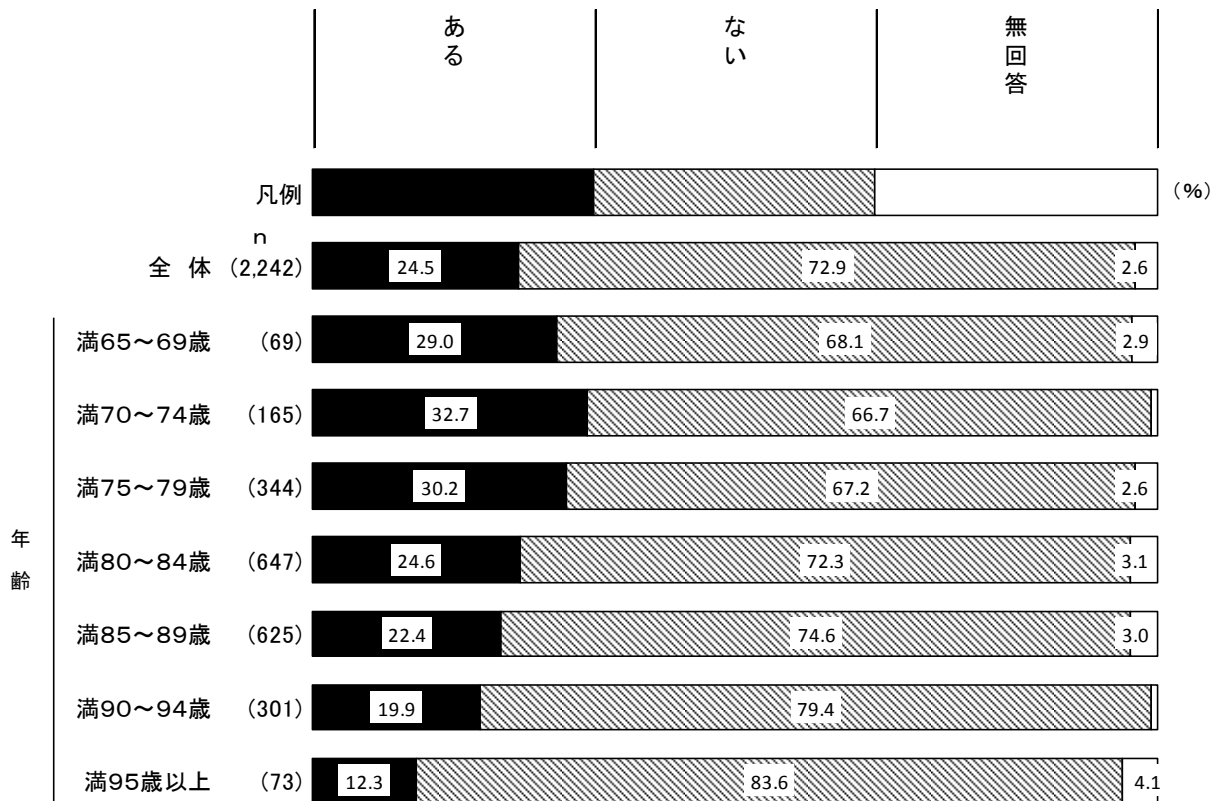
年齢別でみると、「5種類以上」が満80~84歳で55.9%と最も多く、次いで満65~69歳(54.0%)、満85~89歳(53.8%)の順となっている。(図40-1)

(9) 1年以内の入院の有無

問4-1 この1年間で入院したことがありますか。(1つに○)

「ある」が24.5%、「ない」が72.9%。

図表4-1-1 1年間の入院有無(年齢別)



1年間の入院有無について、「ある」が24.5%、「ない」が72.9%となっている。

年齢別で見ると、満70～74歳において「ある」と回答した人は32.7%で、他の年齢と比べ多くなっているが、そこから年齢が高くなるにつれ「ある」と回答した人の割合は少なくなっている。(図4-1-1)

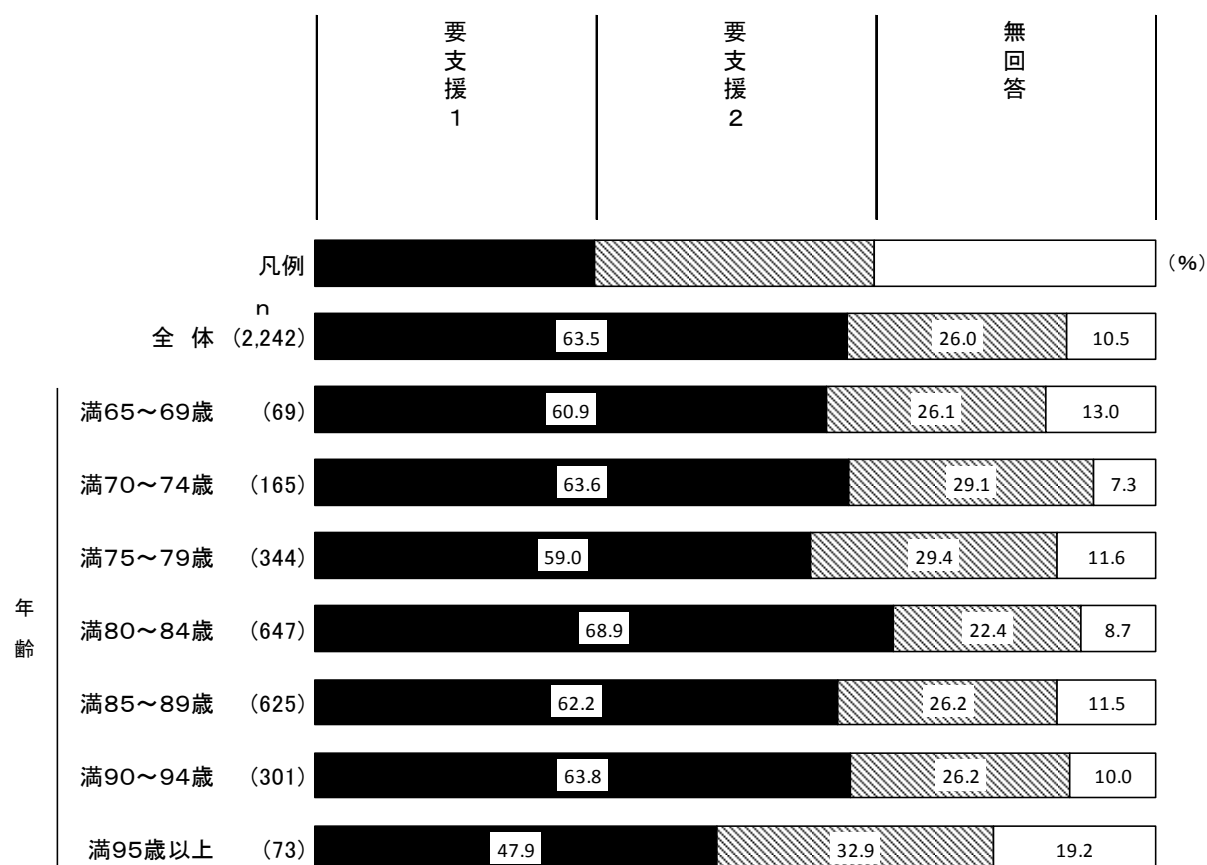
9. 介護保険サービスの利用・制度について

(1) 介護保険の認定

問4-2 現在の認定状況をおしえてください。(1つに○)

「要支援1」が63.5%、「要支援2」が26.0%。

図表4-2-1 介護保険の認定（年齢別）



介護保険の認定について、「要支援1」が63.5%、「要支援2」が26.0%となっている。

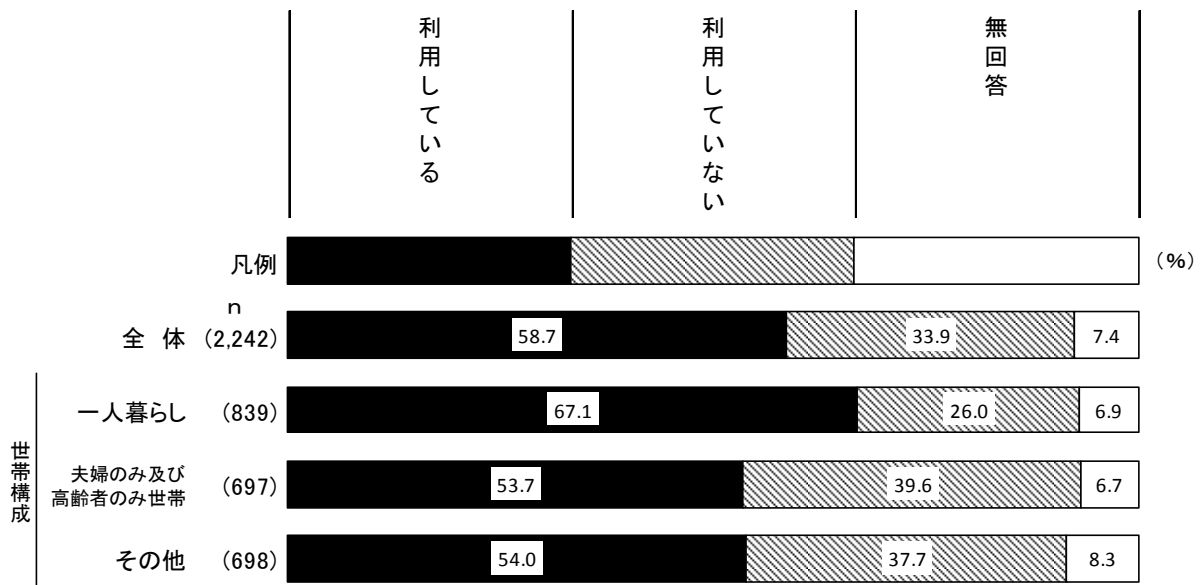
年齢別で見ると、満95歳以上において、「要支援1」は他の年齢に比べ少なく、「要支援2」は他の年齢に比べ多くなっている。(図表4-2-1)

(2) 介護保険サービスの利用有無

問43 介護保険サービスを利用していますか。(1つに○)

「利用している」が58.7%、「利用していない」が33.9%。

図表43-1 介護保険サービスの利用有無（世帯構成別）



介護保険サービスの利用有無について、「利用している」が58.7%、「利用していない」が33.9%となっている。

世帯構成別でみると、「利用している」は一人暮らしが67.1%と、他の世帯構成と比べ多くなっている。(図表43-1)

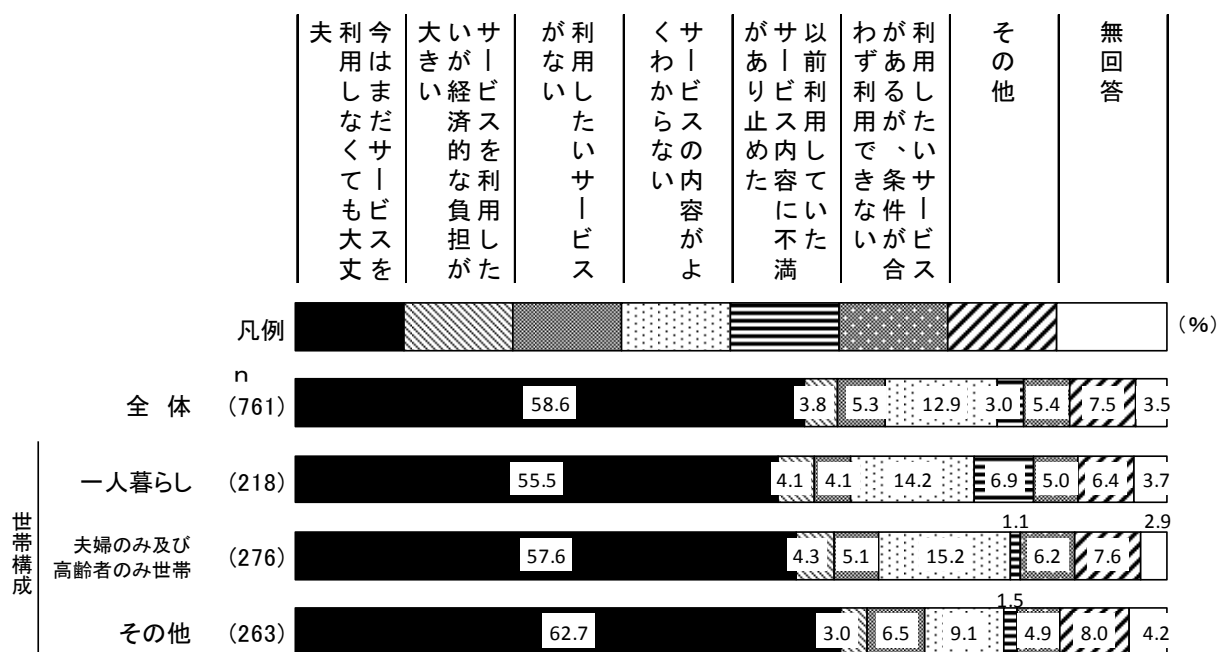
(3) 介護保険サービスを利用していない理由

問44 (問43で「2」と回答された方におたずねします。)

サービスを利用していない理由をおしえてください。(1つに○)

「今はまだサービスを利用しなくても大丈夫」が58.6%、「サービスの内容がよくわからない」が12.9%。

図表44-1 介護保険サービスを利用していない理由(世帯構成別)



介護保険サービスを利用していない理由について、「今はまだサービスを利用しなくても大丈夫」が58.6%と最も多く、次いで「サービスの内容がよくわからない」(12.9%)、「その他」(7.5%)の順となっている。

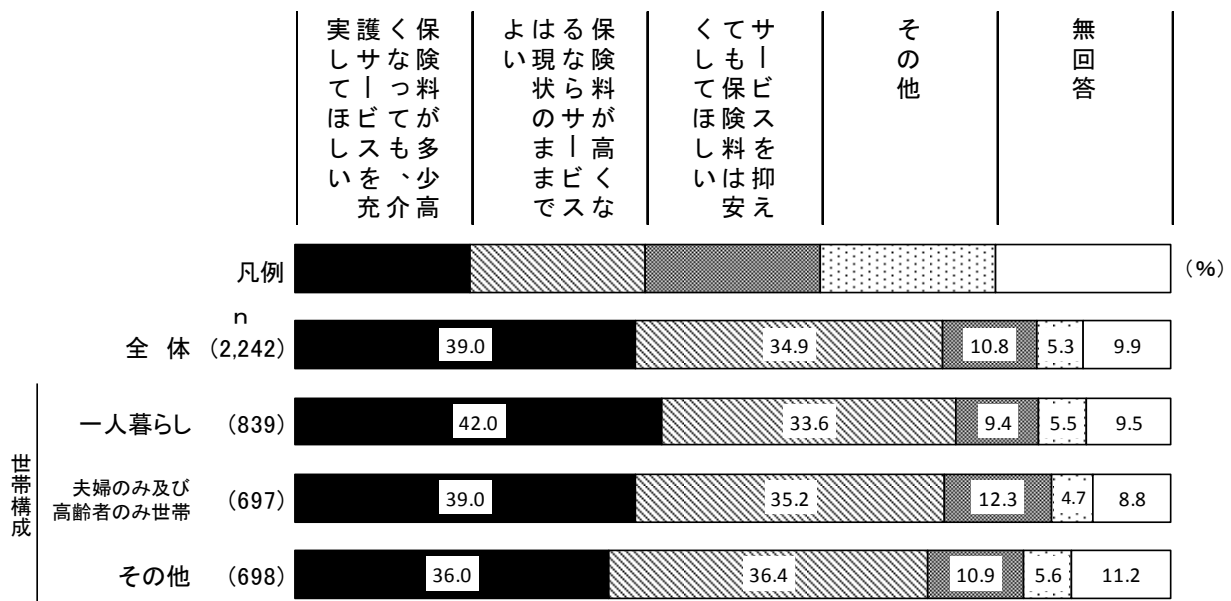
世帯構成別でみると、「サービスを利用したいが経済的な負担が大きい」「サービスの内容がよくわからない」「利用したいサービスがあるが、条件が合わず利用できない」は夫婦のみ及び高齢者のみ世帯が、他の世帯構成と比べ多くなっている。(図表44-1)

(4) 介護保険サービスと保険料のあり方について

問45 介護保険サービスと保険料のあり方について、あなたの考えにもっとも近いのはどれですか。(1つに○)

「保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい」が39.0%、「保険料が高くなるならサービスは現状のままでよい」が34.9%。

図表45-1 介護保険サービスと保険料のあり方について（世帯構成別）



介護保険サービスと保険料のあり方について、「保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい」が39.0%と最も多く、次いで「保険料が高くなるならサービスは現状のままでよい」(34.9%)、「サービスを抑えても保険料は安くしてほしい」(10.8%)の順となっている。

世帯構成別でみると、「保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい」は一人暮らしが42.0%と、他の世帯構成と比べ多くなっており、「サービスを抑えても保険料は安くしてほしい」は夫婦のみ及び高齢者のみ世帯が12.3%と、他の世帯構成と比べ多くなっている。(図45-1)

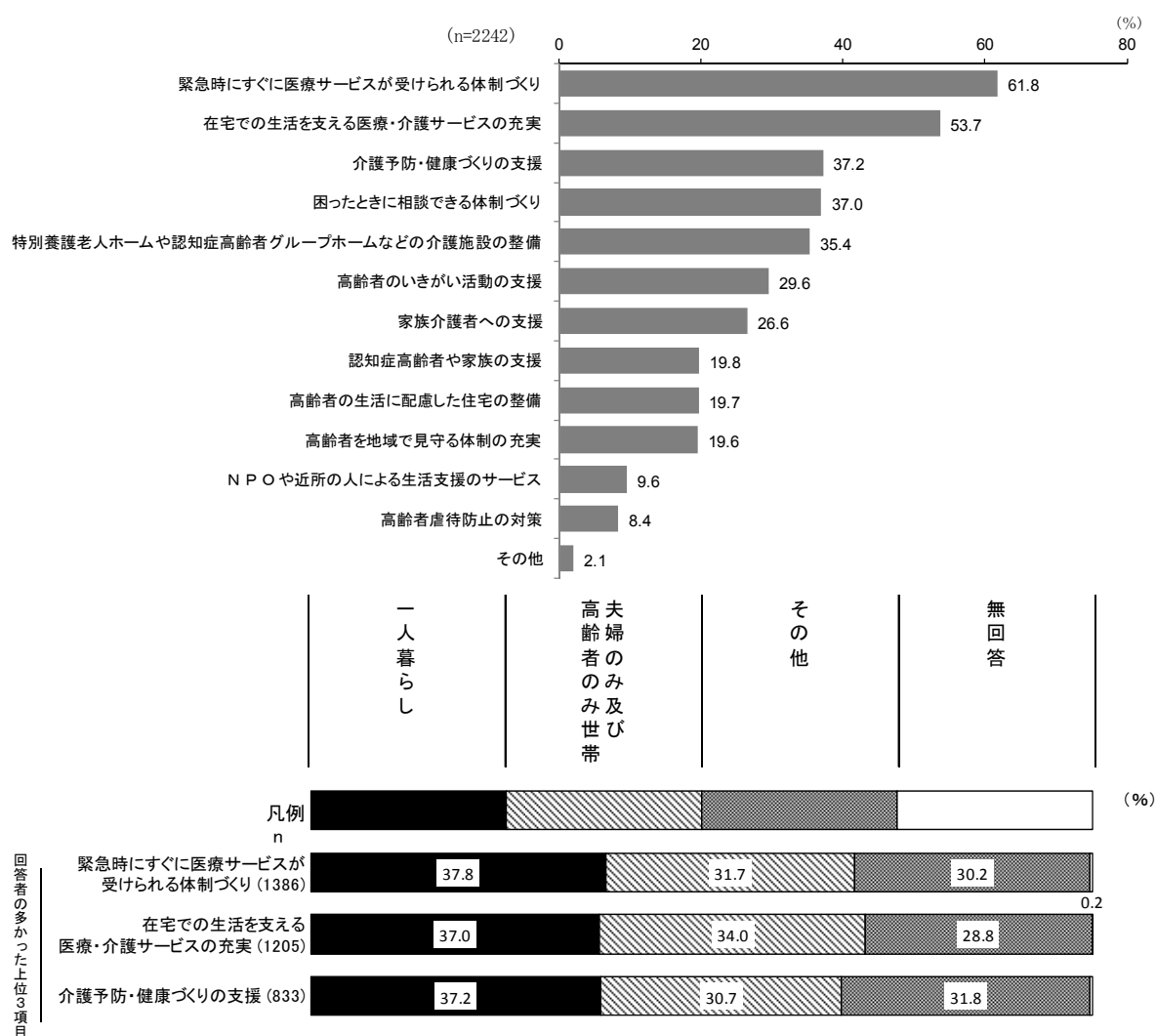
10. その他

(1) 今後、充実した方が良くと思う高齢者施策について

問46. 今後、高齢者のためにどのような施策を充実したらよいと思いますか。(いくつでも○)

最も要望が多かったのは「緊急時にすぐに医療サービスが受けられる体制づくり」が61.8%、次いで「在宅での生活を支える医療・介護サービスの充実」が53.7%、「介護予防・健康づくりの支援」が37.2%。

図表46-1 今後、充実した方が良く思う高齢者施策について



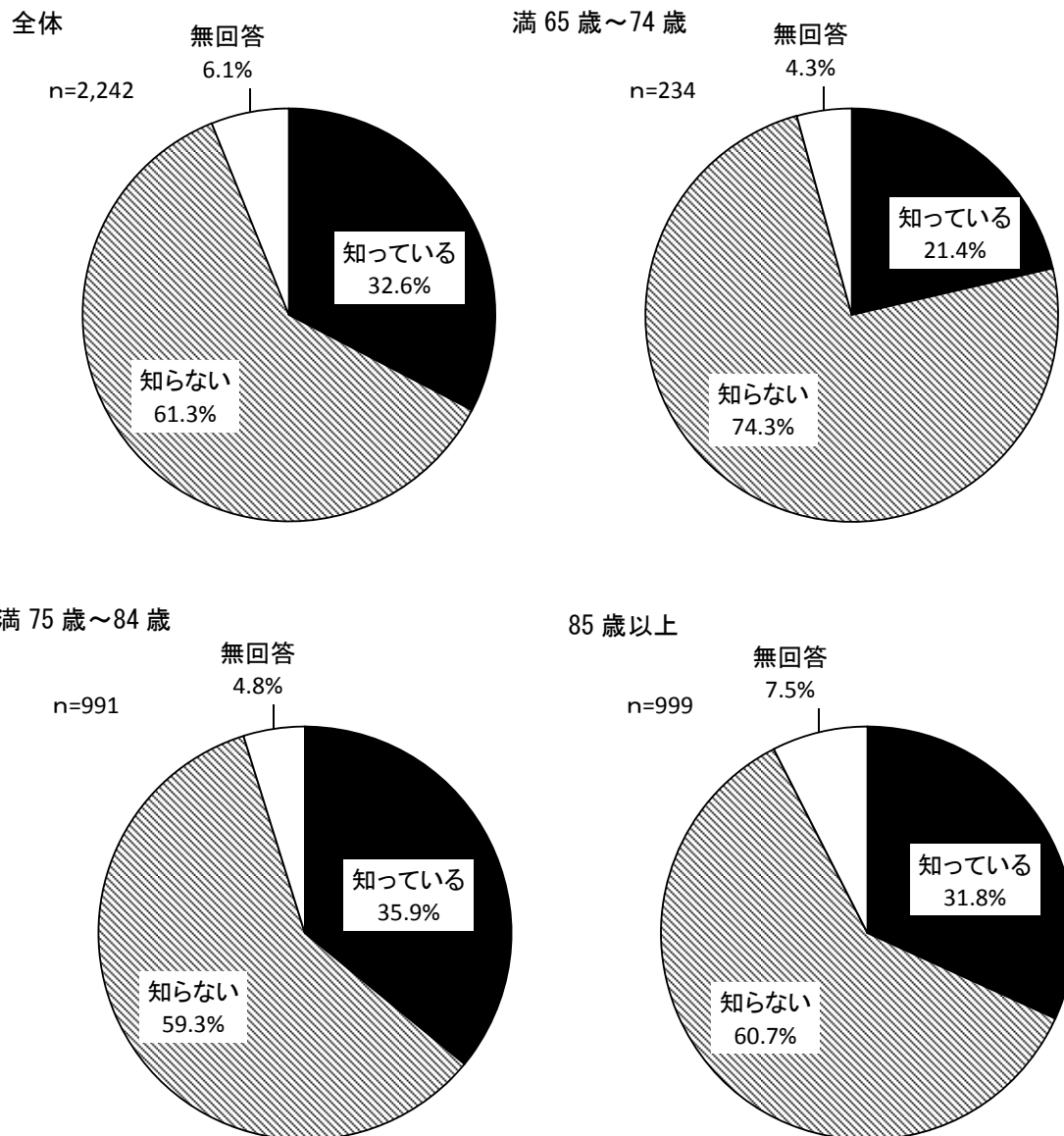
上位3項目について世帯構成別でみると、一人暮らしでは「緊急時にすぐに医療サービスが受けられる体制づくり」(37.8%)、夫婦のみ及び高齢者のみ世帯では「在宅での生活を支える医療・介護サービスの充実」(34.0%)がそれぞれ最も多くなっている。(図表46-1)

(2) 長寿応援ポイント事業の認知度

問47 区が実施している長寿応援ポイント事業を知っていますか。(1つに○)

「知っている」が32.6%、「知らない」が61.3%。

図表47-1 長寿応援ポイント事業の認知度(年齢別)



長寿応援ポイント事業の認知度について、「知っている」が32.6%、「知らない」が61.3%となっている。

年齢別で見ると、「知っている」は満75～84歳が35.9%と、他の年齢層に比べ多くなっており、「知らない」は満65～74歳が74.3%と、他の年齢層に比べ多くなっている。(図表47-1)

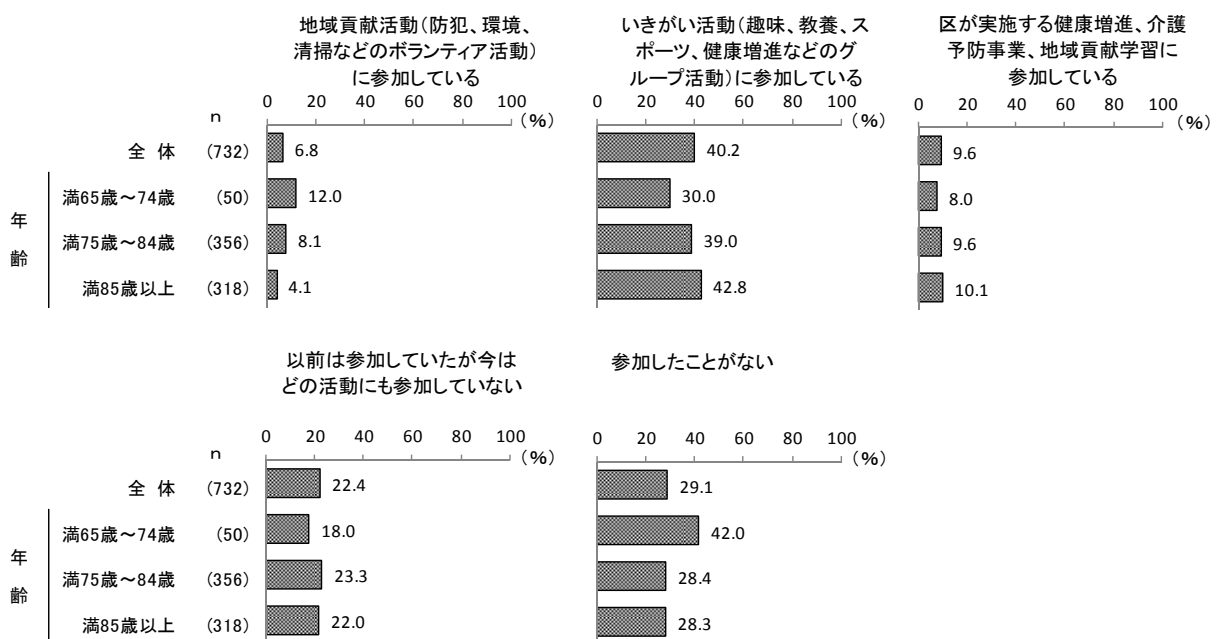
(3) 長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加有無

問48 (問47で「1」と回答された方におたずねします。)

長寿応援ポイントシールがもらえる活動に参加していますか。(いくつでも○)

「いきがい活動(趣味、教養、スポーツ、健康増進などのグループ活動)に参加している」が40.2%、「参加したことがない」が29.1%、「以前は参加していたが今はどの活動にも参加していない」が22.4%。

図表48-1 長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加有無(年齢別)



ポイントシールがもらえる活動への参加は、「いきがい活動(趣味、教養、スポーツ、健康増進などのグループ活動)」が40.2%と最も多く、次いで「区が実施する健康増進、介護予防事業、地域貢献学習」(9.6%)、「地域貢献活動(防犯、環境、清掃などのボランティア活動)」(6.8%)の順となっている。

年代別でみると、「いきがい活動(趣味、教養、スポーツ、健康増進などのグループ活動)」は年代が上がるにつれて割合が多くなっている。(図表48-1)

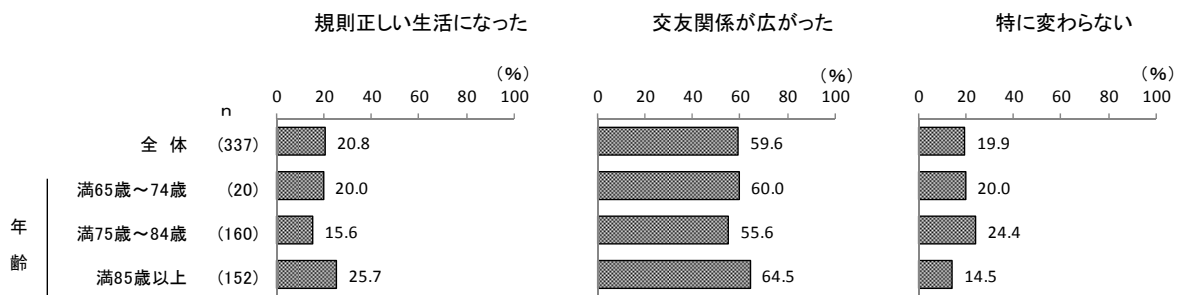
(4) 長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加後の生活の変化

問49 (問48で「1」～「3」と回答された方におたずねします。)

参加前と比べて生活に変化を感じられますか。(いくつでも○)

「交友関係が広がった」が59.6%、「規則正しい生活になった」が20.8%。

図表49-1 長寿応援ポイントシールがもらえる活動への参加後の生活の変化(年齢別)



活動への参加後の生活の変化は、「交友関係が広がった」が59.6%と最も多く、「規則正しい生活になった」は20.8%となっている。

年代別でみると、「交友関係が広がった」は満85歳以上で64.5%と最も多くなっている。

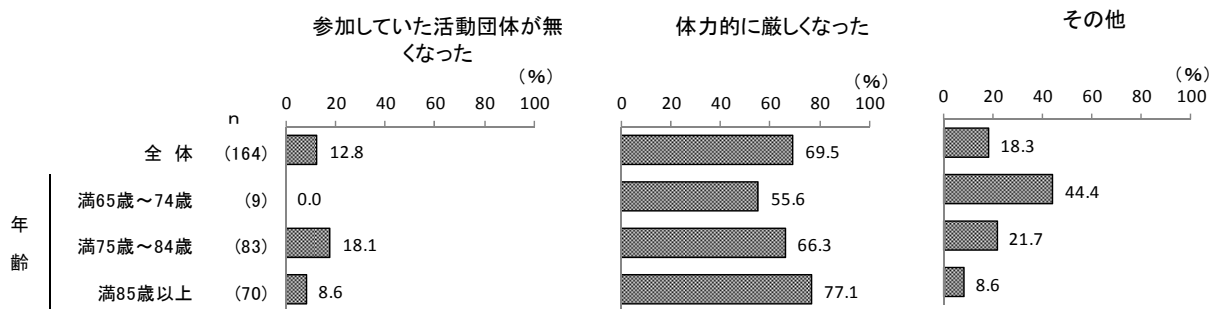
(図表49-1)

(5) 長寿応援ポイントシールがもらえる活動に参加していない理由

問50 (問48で「4」と回答された方におたずねします)
今参加していない理由はなんですか。(いくつでも○)

「体力的に厳しくなった」が69.5%、「参加していた活動団体が無くなった」が12.8%。

図表50-1 長寿応援ポイントシールがもらえる活動に参加していない理由(年齢別)



活動に参加していない理由は、「体力的に厳しくなった」が69.5%と最も多く、次いで「参加していた活動団体が無くなった」(12.8%)の順となっている。

年代別でみると、「体力的に厳しくなった」は年代が高くなるにつれて割合が多くなっている。
(図表50-1)

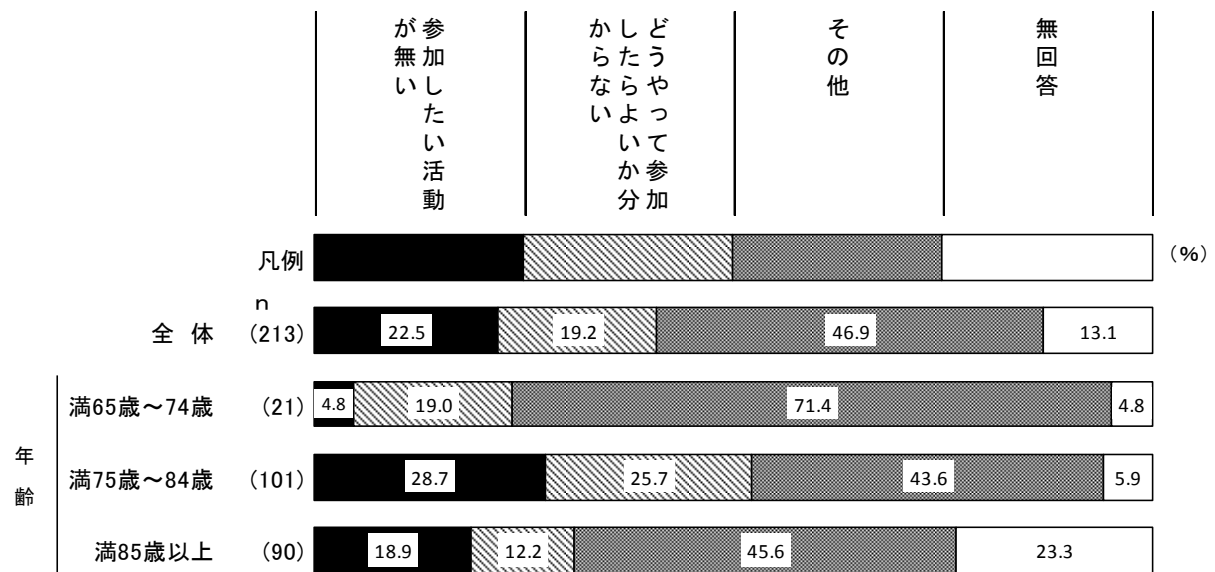
(6) 長寿応援ポイントシールがもらえる活動に参加したことがない理由

問5 1 (問4 8で5と答えた方にお聞きします。)

理由はなんですか？

「参加したい活動がない」が22.5%、「どうやって参加したらよいか分からない」が19.2%。

図表5 1 - 1 長寿応援ポイントシールがもらえる活動に参加したことがない理由 (年齢別)



参加したことがない理由は、「参加したい活動が無い」が22.5%、「どうやって参加したらよいか分からない」が19.2%となっている。

年代別で見ると、「参加したい活動が無い」は満75歳～84歳で最も多くなっている。(図表5 1 - 1)

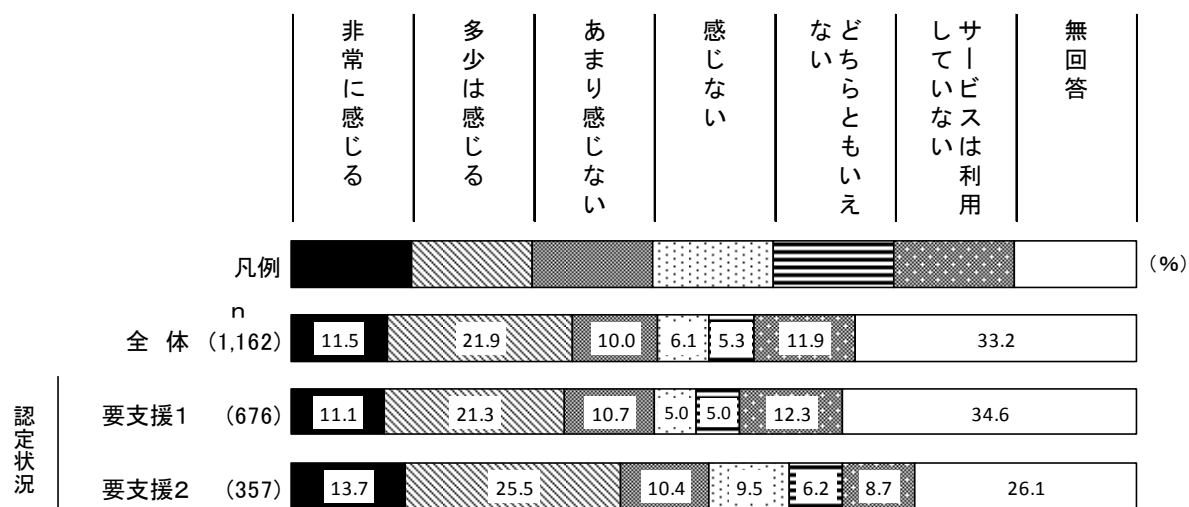
1.1. 介助・介護者への設問

(1) 介護保険サービスによる負担の軽減感

問52 介護保険サービスを利用して、介護にかかる負担が軽減されたと感じることはありますか。
(1つに○)

「多少は感じる」が21.9%、「サービスは利用していない」が11.9%。

図表52-1 介護保険サービスによる負担の軽減感（認定状況別）



介護保険サービスによる負担の軽減感について、「多少は感じる」が21.9%と最も多く、次いで「サービスは利用していない」(11.9%)、「非常に感じる」(11.5%)の順となっている。

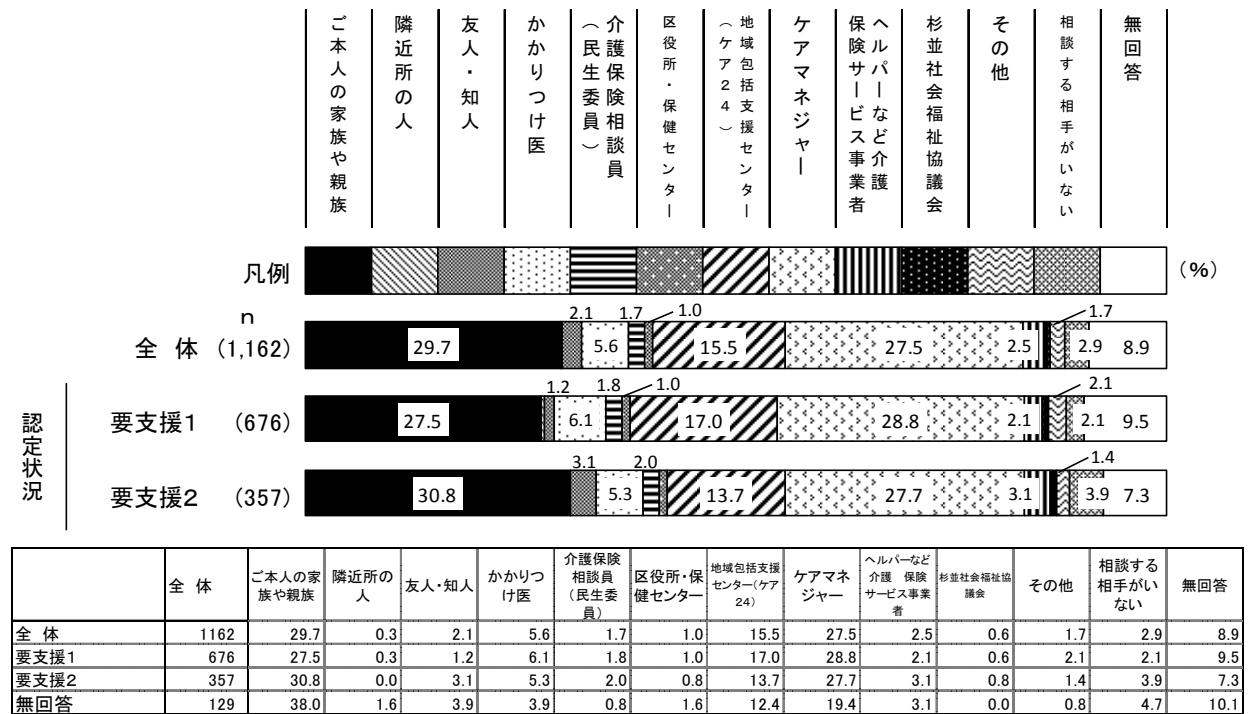
認定状況別でみると、要支援2は要支援1に比べ、「非常に感じる」「多少は感じる」を合わせた回答の数が多くなっている。(図表52-1)

(2) 介助・介護のことで困ったときの相談先

問53 介助・介護のことで困ったとき、誰に相談していますか。(1つに○)

「ご本人の家族や親族」が29.7%、「ケアマネジャー」が27.5%。

図表53-1 介助・介護のことで困ったときの相談先（認定状況別）



介助・介護のことで困ったときの相談先について、「ご本人の家族や親族」が29.7%と最も多く、次いで「ケアマネジャー」(27.5%)、「地域包括支援センター(ケア24)」(15.5%)の順となっている。

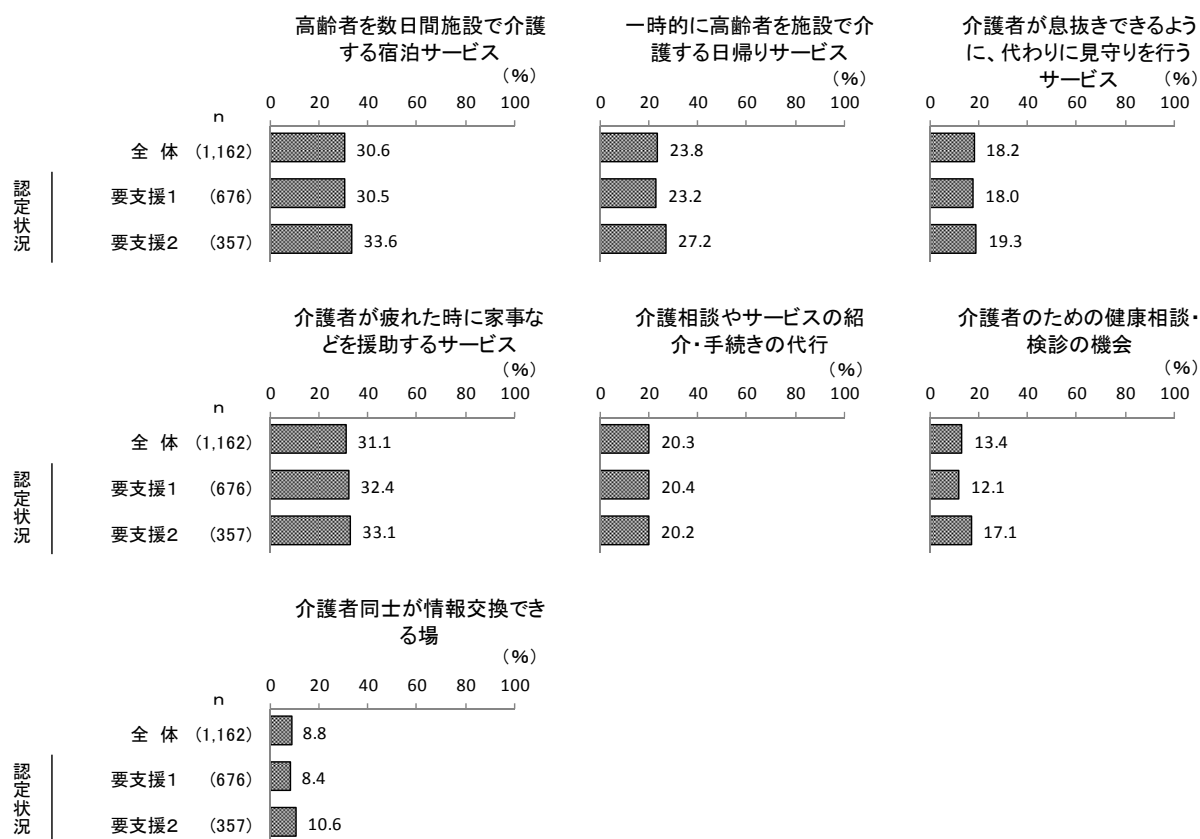
認定状況別でみると、「ご本人の家族や親族」は要支援2(30.8%)が要支援1(27.5%)より多く、「ケアマネジャー」は要支援1(28.8%)が要支援2(27.7%)より多くなっている。(図表53-1)

(3) 介助・介護者が必要とするサービス

問54 介助・介護をしているあなたが必要とするサービスはなんですか。(いくつでも○)

「介護者が疲れた時に家事などを援助するサービス」が31.1%、「高齢者を数日間施設で介護する宿泊システム」が30.6%。

図表54-1 介助・介護者が必要とするサービス（認定状況別）



介助・介護者が必要とするサービスについて、「介護者が疲れた時に家事などを援助するサービス」が31.1%と最も多く、次いで「高齢者を数日間施設で介護する宿泊システム」(30.6%)、「一時的に高齢者を施設で介護する日帰りサービス」(23.8%)となっている。

認定状況別でみると、「介護相談やサービスの紹介・手続きの代行」のみ、要支援1(20.4%)が要支援2(20.2%)よりも多くなっている。(図表54-1)

1 2. 社会的孤立の状況について

問7 親族の方とは、どのくらいの頻度で会ったり、電話などで連絡をとっていますか。

問14 友人の家を訪ねていますか。(友人と外で会うことも含む)

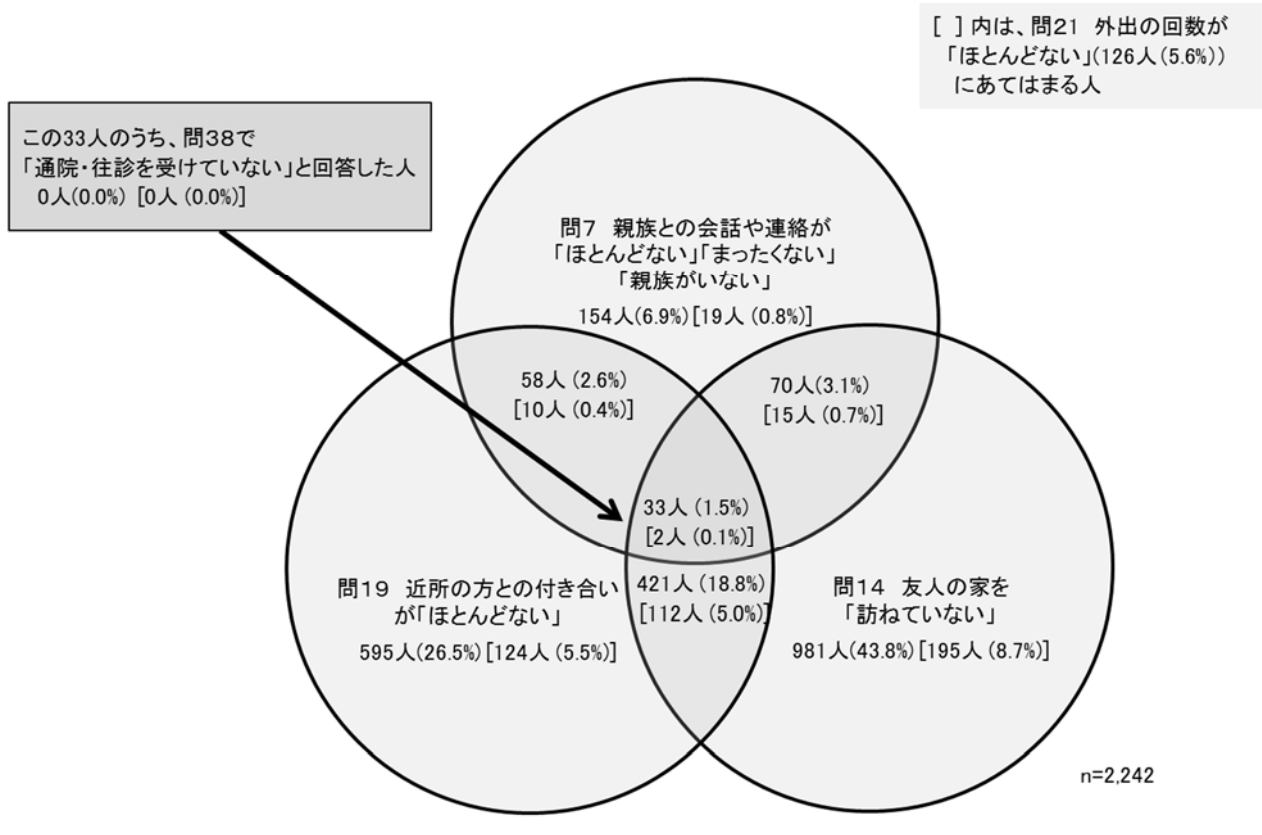
問19 近所の方と会話をしているなど、お付き合いはありますか。

問21 散歩や買い物など、外出の回数はどのくらいですか(通院を除く)。

問38 現在、通院(病院・医院・診療所など)や往診を受けていますか。

親族の方との会話や連絡、友人宅の訪問、近所の方との付き合いがすべてない人は33人(1.5%)

図表 c-1 社会的孤立の状況について



親族の方との会話や連絡の頻度(問7)、友人の家への訪問の有無(問14)、近所の方との付き合いの頻度(問19)、外出の回数(問21)、通院・往診の有無(問37)の社会的孤立にかかわる5項目にてその有無・頻度がほとんど無いと回答した人の状況を整理した。

回答者2,242人のうち、親族の方との会話や連絡、友人宅の訪問、近所の方との付き合いの3項目がすべてない人は33人(1.5%)であり、さらに外出の回数がほとんどない人は2人(0.1%)であった。(図表c-1)

13. 高齢者の福祉についてのご意見・ご要望

高齢者の福祉について、652人から意見・要望があった。記載内容を区分し、いくつかの意見等について以下に示す。

【施設の基盤整備について (46件)】

- ・高齢者用ホームを作ってほしい。杉並区は老人ホームが充実していないため不安である。
- ・健康で暮らしていたいが(なるべく人手を借りずに)自分で動きにくくなった場合にすぐ入所できる場所があれば安心である。
- ・特別養護老人ホームやグループホームなどの介護施設を増やしてほしい。

【福祉施策について (23件)】

- ・老々介護者が増加しておりかなりきびしい生活をしていることと思う。福祉の更なる充実とサービス(心遣い)をお願いしたい。
- ・高齢なので健康の事が不安です。福祉の充実に期待していきたい。
- ・高齢者が、ある日突然孤独になる(自然災害は勿論のこと、家族関係)ことを考えての対応をキメ細かく考えて欲しい。

【情報、相談について (27件)】

- ・区役所での相談、手続きが、土日祝日にできると助かる。
- ・介護度により利用できるサービスをわかりやすく開示してほしい。
- ・急病、症状が夜間に急に出たとき、一人で倒れた時、連絡出来るような機関が区内に何ヶ所かあるとよい。

【医療、医療費、病院について (22件)】

- ・救急病院が救急車の中でなかなか見つからない経験があるので不安。
- ・最近健康で全く病院に行っていないのに毎月年金から高額な医療費をとられるのは理不尽だと思う。
- ・健康保険、介護保険の医療費負担の割合の増加(1割から2、3割)に対する不安がある。(出費の急増。特に1割→3割の場合)

【生きがい、社会参加について (18件)】

- ・週1回程度、カラオケ教室など、ご近所の高齢者同志が気楽に話し合える場所がほしい。
- ・老人が(趣味、運動、おしゃべり等で)気楽に集まれる建物があるとよい。

【今後の介護について (26件)】

- ・今後、体が動かなくなって誰かの手助けが必要になった時に、安心して暮らせるサービスをお願いしたい。老人ホームはお金がかかる、空きがないなど現実的に厳しい。
- ・現在は要支援のサービスを受けなんとか生活しているが、年々弱っていく身体を思うと、娘が病弱の為、終末を自宅で迎えることが不安である。

【介護保険制度について (21 件)】

- ・介護保険のことは殆ど知らなかったが、実際にお世話になって行き届いた制度に感心し、大変貴重な経験をしたと思っている。お付き合いした皆さんからは無言の励ましを感じ、心強いものがあった。
- ・介護保険制度では要支援2では病院の送り迎えの付き添いが認められていないので区で対応してもらいたい。

【サービス、スタッフの質について (95 件)】

- ・時間内で制約を受ける状況で、すべてを行うことが出来ないことで残念な気持ちでいることがある。
- ・介護認定の審査が本当に平等なのか審査する人によって違うのではないのかと思う。
- ・1週間に1回のヘルパーの仕事の時間が1時間では短いと思う。

【介護保険料について (11 件)】

- ・介護は受けていないが介護保険料が高い気がする。
- ・収入なしなのに介護保険料が高い。

【健康増進、予防について (14 件)】

- ・介助者の生活もあるため、本人に必要な介助が出来ていない。
- ・区健康増進とはどのようなことを行っているのか知りたい。

【在宅サービスについて (3 件)】

- ・重度の介護が必要になって来る場合の訪問介護を充実してもらいたい。
- ・サービス付き高齢者向け住宅や介護付高齢者住宅を杉並区で(数多く)建てて欲しい。

【高齢者という認識はない (19 件)】

- ・それなりに健康に過ごす為の努力はしてきた。最近は養生も趣味の域に入ってきたように思っている。
- ・現在、介護・介助なしで十分生活できている。

【経済的負担等について (22 件)】

- ・年金生活で、退院後、自宅での生活、自立するには困難な状況。

【その他 (309 件)】

- ・大変こまかく調査をしてもらって有難い。
- ・リハビリの介護施設に週一回お世話になっている。皆さんの温かい対応に感謝している。
- ・地域での見廻り体制などがあれば心強いと思う。

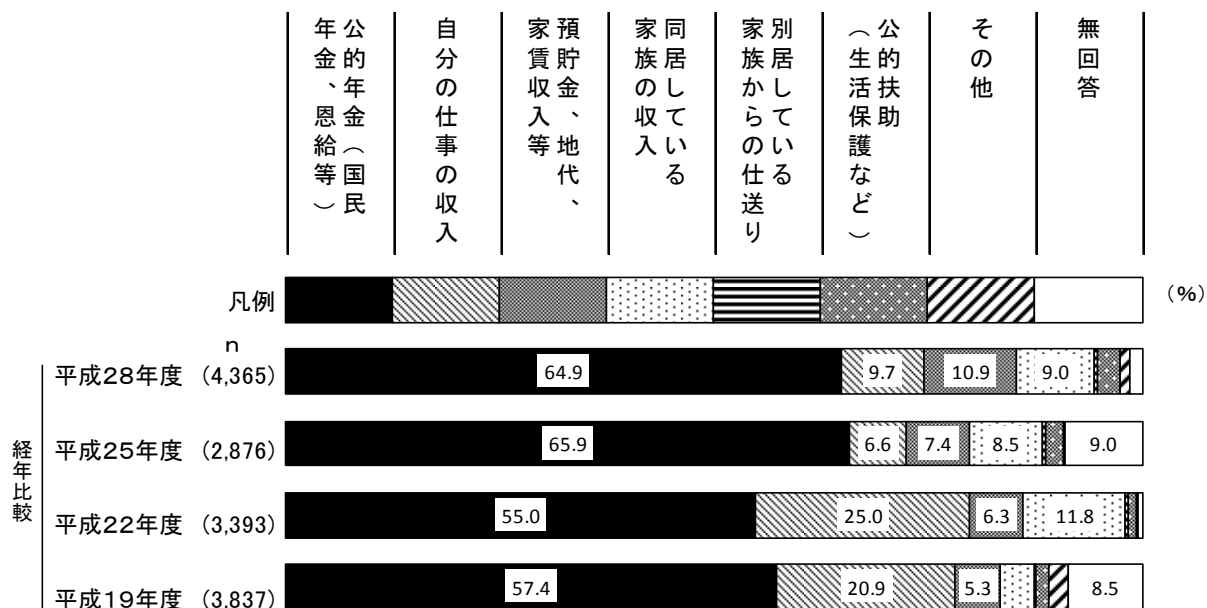
Ⅲ. ニーズ調査の経年比較

1. ニーズ調査の経年比較

(1) 主な収入の種類

問8 あなたの生活を支えている主な収入はどれですか。（1つに○）

図表1-1 主な収入の種類



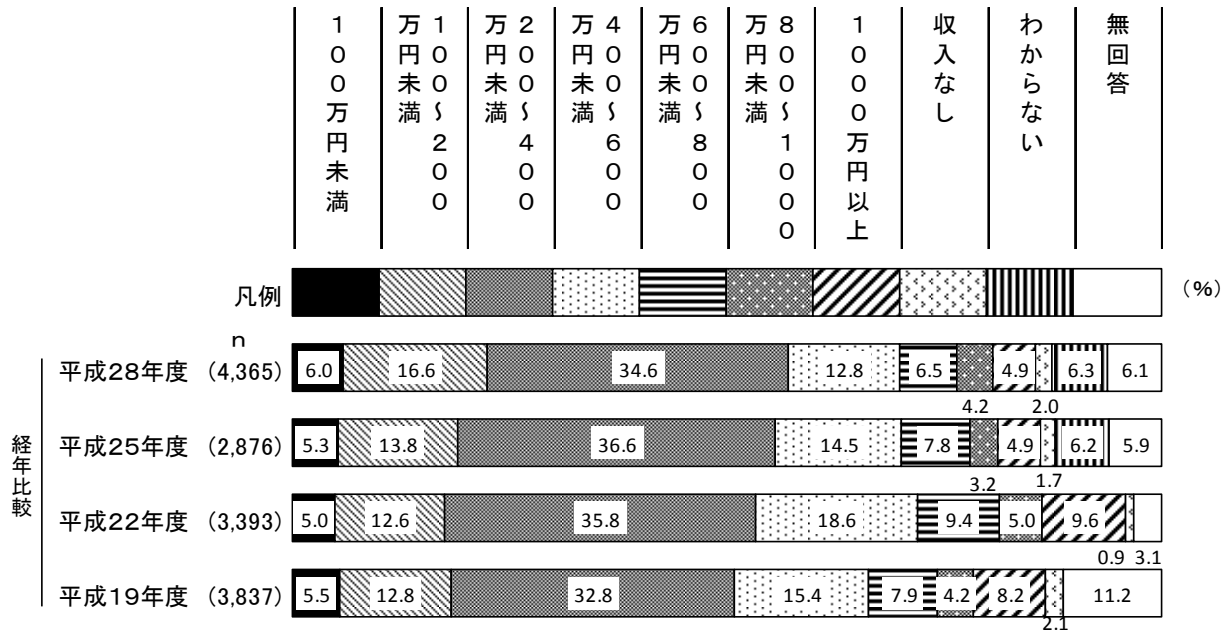
	公的年金（国民年金、恩給等）	自分の仕事の収入	預貯金、地代、家賃収入等	同居している家族の収入	別居している家族からの仕送り	公的扶助（生活保護など）	その他	無回答
平成28年度 (4,365)	64.9	9.7	10.9	9.0	0.4	2.6	1.2	1.4
平成25年度 (2,876)	65.9	6.6	7.4	8.5	0.3	2.1	0.2	9.0
平成22年度 (3,393)	55.0	25.0	6.3	11.8	0.4	0.9	0.3	0.4
平成19年度 (3,837)	57.4	20.9	5.3	3.9	0.2	1.5	2.4	8.5

主な収入の種類について、「自分の仕事の収入」は平成22年度の25.0%から平成25年度の6.6%に大きく減少したが、平成28年度は9.7%と増加に転じている。「預貯金、地代、家賃収入等」は年度とともに多くなっている。（図表1-1）

(2) 世帯の収入額

問9 昨年1年間の世帯(同居するご家族すべてを含む)の収入はどのくらいでしたか。(1つに○)

図表2-1 世帯の収入額



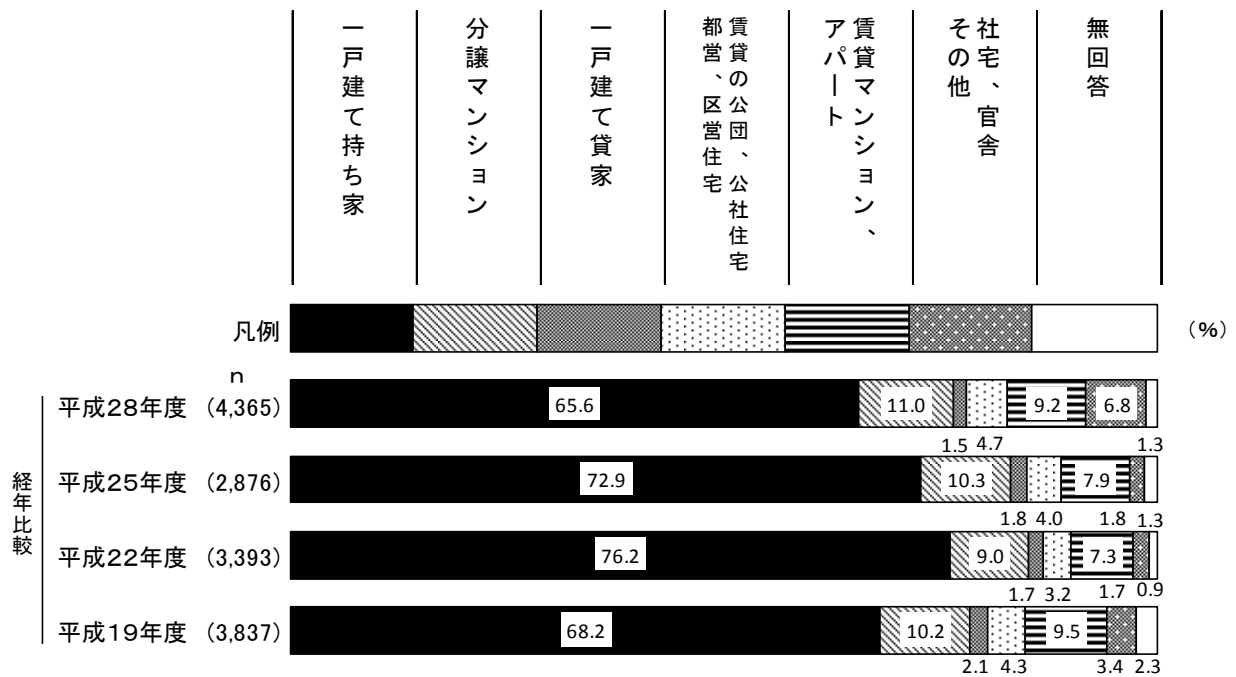
※「わからない」は平成25年度より追加。

世帯の収入額について、「100～200万円未満」と「200～400万円未満」の割合の合計は年度とともに多くなっており、平成25年度は50.4%、平成28年度は51.2%となっている。また、「400～600万円未満」は、平成22年度の18.6%から、平成25年度は14.5%、平成28年度は12.8%と、年度とともに少なくなっている。(図表2-1)

（3）居住形態

問10. お住まいは次のうちどれですか。（1つに○）

図表3-1 居住形態



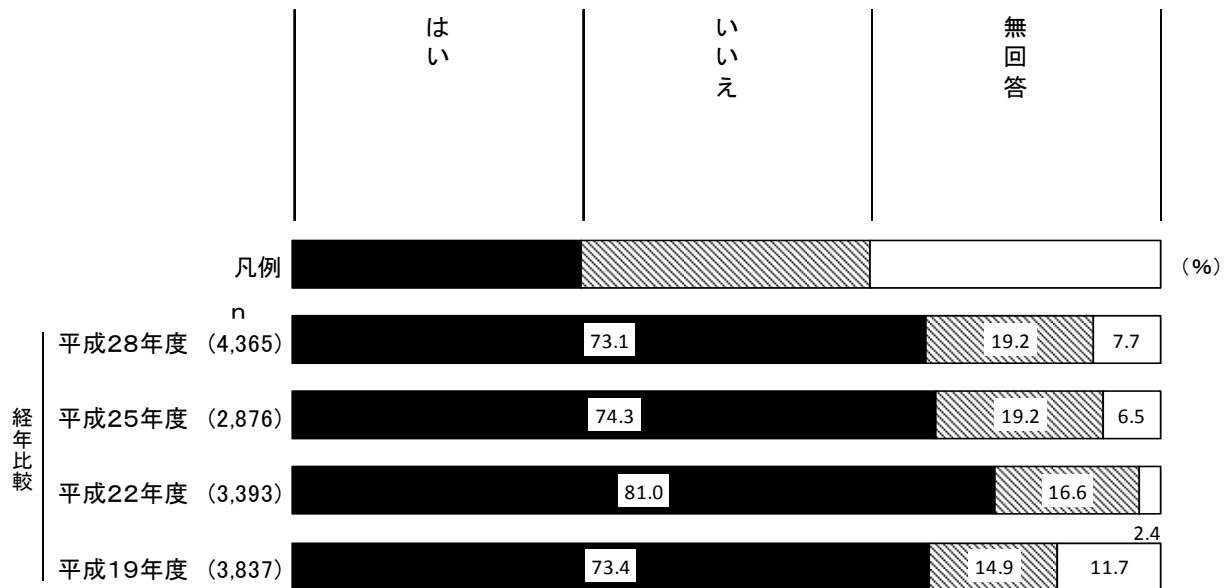
※平成22年度以前における「賃貸マンション」、「民間鉄筋・鉄骨アパート」、「民間木造アパート」は、合計して「賃貸マンション、アパート」とし、「間借り・住み込み等」は、「その他」へ合算して集計した。

居住形態について「一戸建て持ち家」は、平成22年度の76.2%から、平成25年度は72.9%、平成28年度は65.6%と、年度とともに少なくなっている。「分譲マンション」は1割前後で、年度の違いによる大きな変化はみられない。（図表3-1）

(4) 生きがいを感じるかについて

問16 生きがいを感じていますか。

図表4-1 生きがいを感じるかについて



※平成22年以前における「感じている」、「感じていない」はそれぞれ「はい」、「いいえ」として集計した。

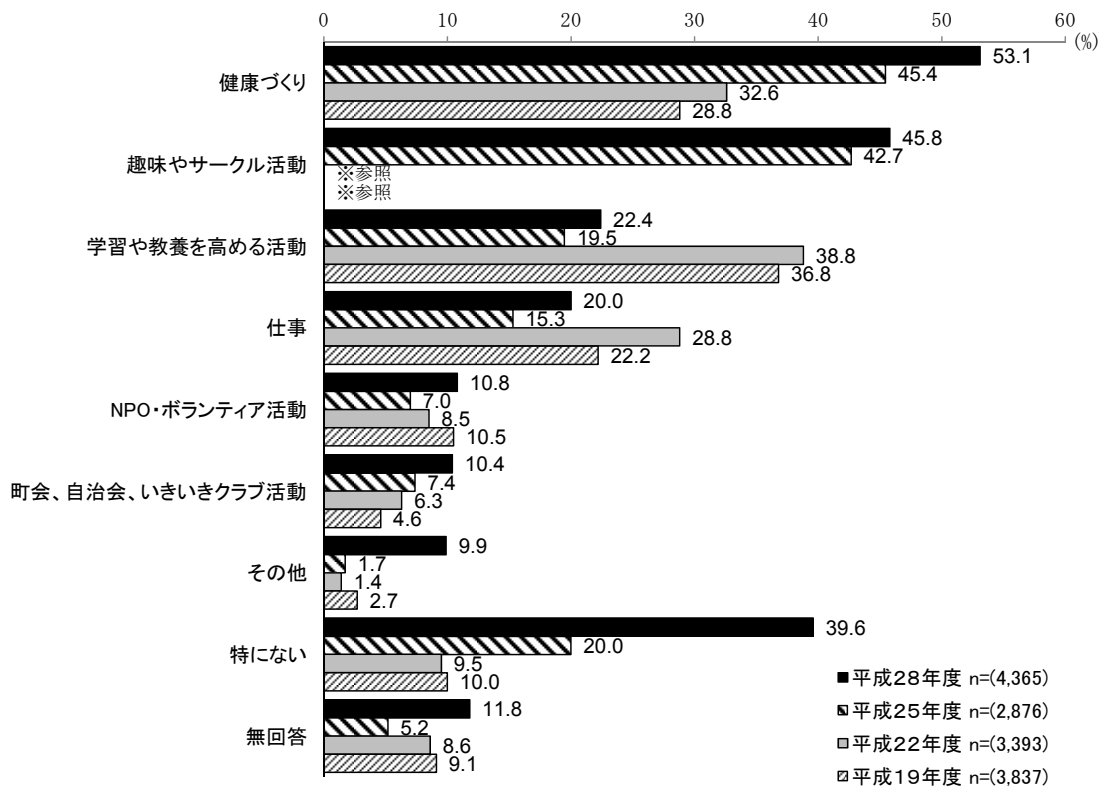
生きがいを感じるかについて、「はい」は、平成22年度の81.0%から、平成25年度は74.3%、平成28年度は73.1%と、年度とともに少なくなっている。(図表4-1)

（5）現在やっている、または今後やってみたいこと

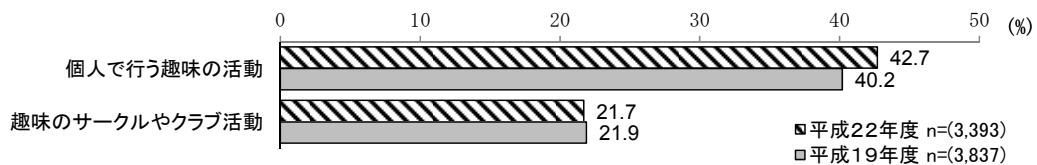
問17 現在やっている活動はありますか。（いくつでも○）

問18 これからやってみたい活動はありますか。（いくつでも○）

図表5-1 現在やっている、または今後やってみたいこと



図表5-2 過年度のグラフ抜粋（参考）



※平成25年度以前においては、「現在やっている、または今後やってみたいことはありますか。」という質問であるため、平成28年度の回答は問17と問18を合算して集計した。

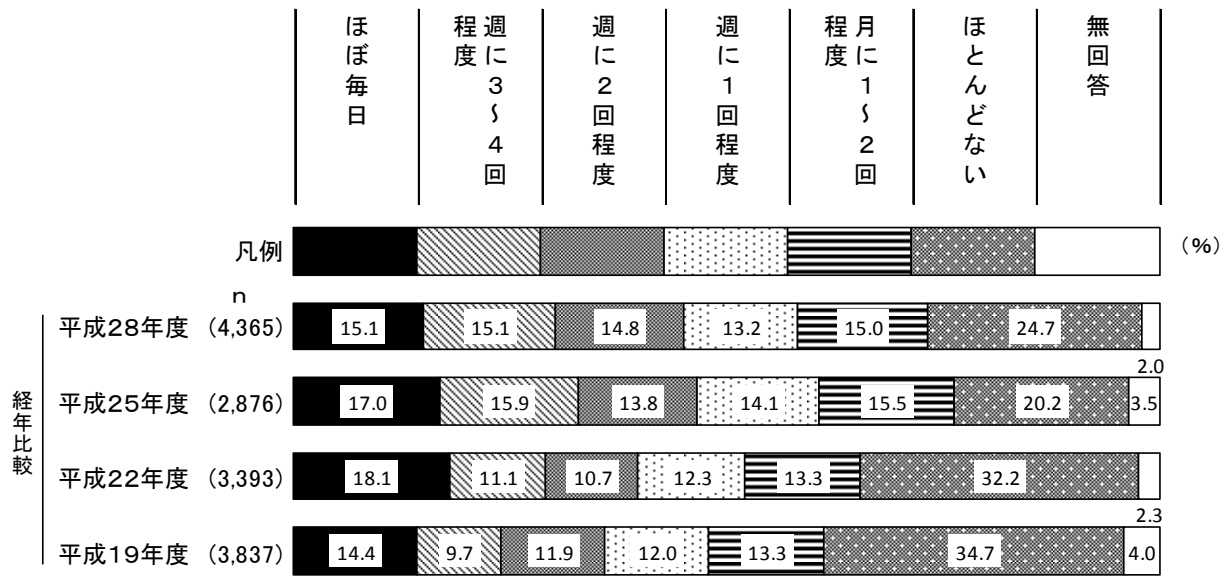
※平成22年度における「働くこと」、「健康づくり・介護予防」の値は、それぞれ「仕事」、「健康づくり」として集計した。「個人で行う趣味の活動」、「趣味のサークルやクラブ活動」の値は、合計して「趣味やサークル活動」としたため、上記2項目のグラフを別図とした。

現在やっている、または今後やってみたいことについて、ほとんどの項目で平成28年度は過年度に比べ多くなっており、「健康づくり」は、平成19年度の28.8%から、平成22年度は32.6%、平成25年度は45.4%と増加し、平成28年度は53.1%とさらに増えている。一方で「特にない」は、平成25年度の20.0%から平成28年度は39.6%と約2倍に増えている。（図表5-1）

(6) 近所の方との付き合いの有無

問19 近所の方と会話をしているなど、お付き合いはありますか。(1つに○)

図表6-1 近所の方との付き合いの有無

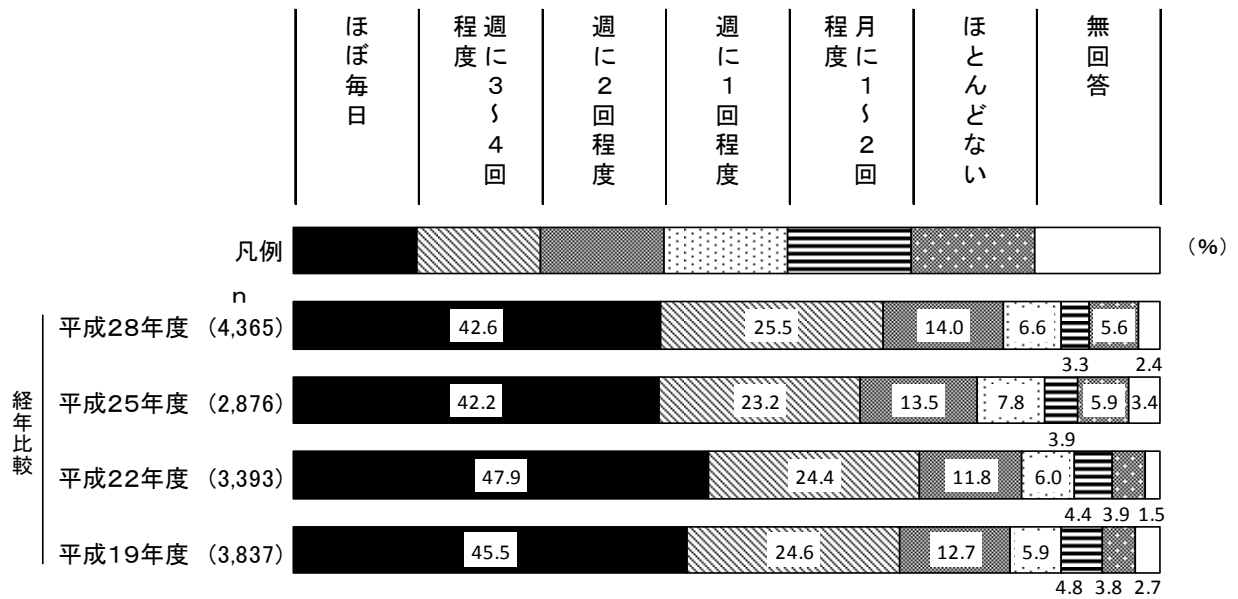


近所の方との付き合いの有無について、「ほぼ毎日」は、平成22年度の18.1%から、平成25年度は17.0%、平成28年度は15.1%と、年度とともに少なくなっている。一方で「ほとんどない」は平成19年度の34.7%から、平成22年度は32.2%、平成25年度は20.2%と年度とともに減少していたが、平成28年度は24.7%と増加に転じている。(図表6-1)

（7）外出の頻度

問2 1 散歩や買い物など、外出の回数はどのくらいですか（通院を除く）。（1つに○）

図表7-1 外出の頻度

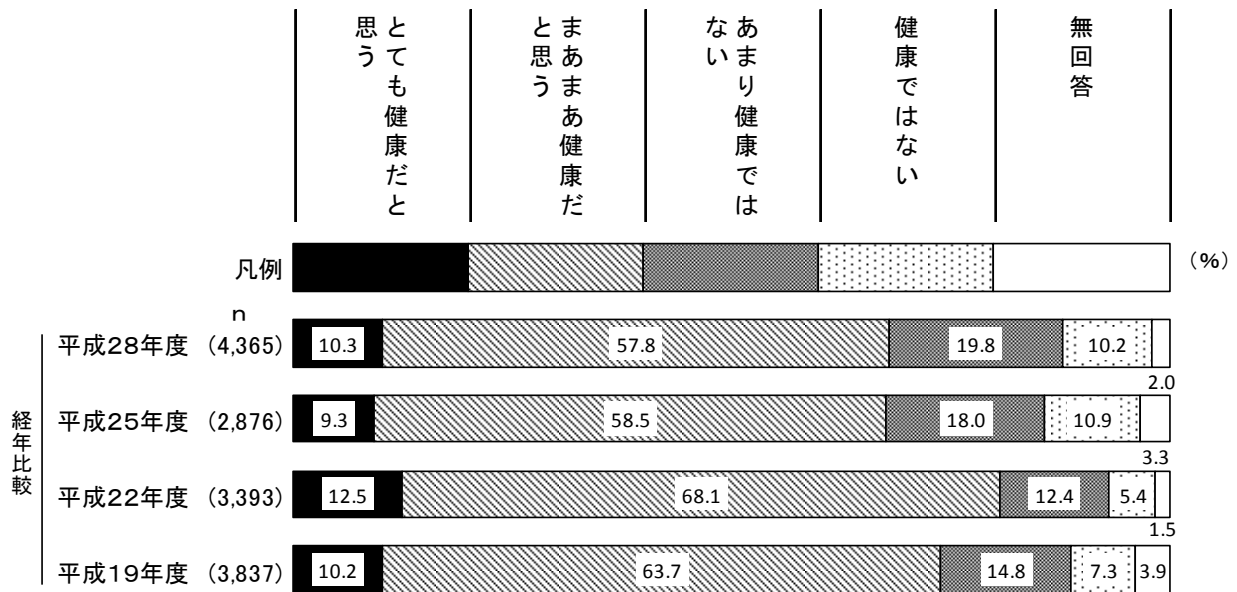


外出の頻度について、「週に2回程度」は、平成22年度の11.8%から、平成25年度は13.5%、平成28年度は14.0%と、年度とともに多くなっている。「週に3~4回程度」は、平成28年度は過年度に比べ多くなっている。（図表7-1）

(8) 主観的な健康感について

問32 ご自分で健康だと思いますか。(1つに○)

図表8-1 主観的な健康感について



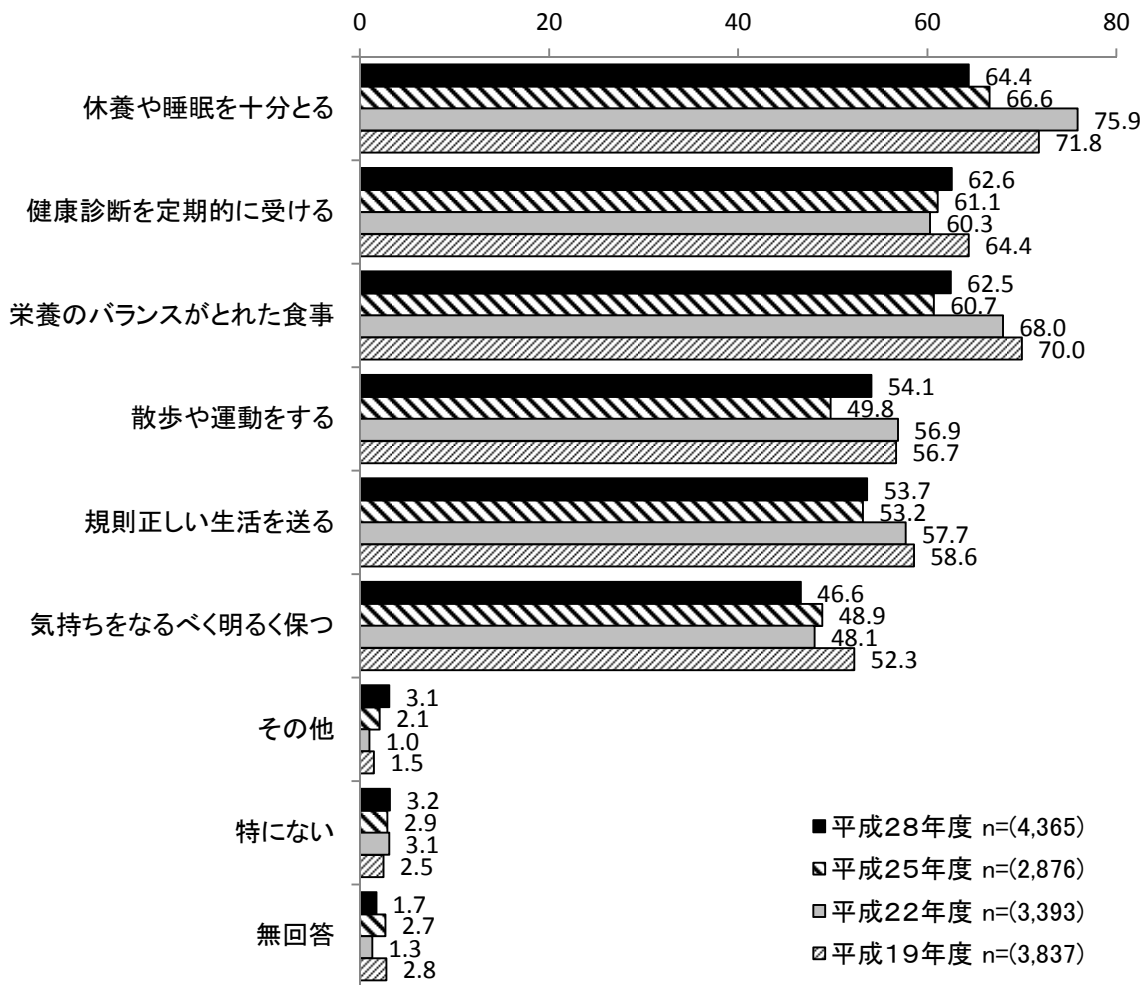
※「Ⅰ. 要支援・要介護を受けていない人への調査」、「Ⅱ. 要支援1・2の認定を受けた人への調査」では設問番号が異なり、それぞれ問32、問33としている。

主観的な健康感について、「まあまあ健康だと思おう」は、平成22年度の68.1%から、平成25年度は58.5%、平成28年度は57.8%と、年度とともに少なくなっている。一方で「あまり健康ではない」と「健康ではない」の合計は、平成22年度の17.8%から、平成25年度は28.9%、平成28年度は30.0%と、年度とともに多くなっている。(図表8-1)

（9）健康に気を使っていること

問33 健康に気を使っていることはありますか。（いくつでも○）

図表9-1 健康に気を使っていること



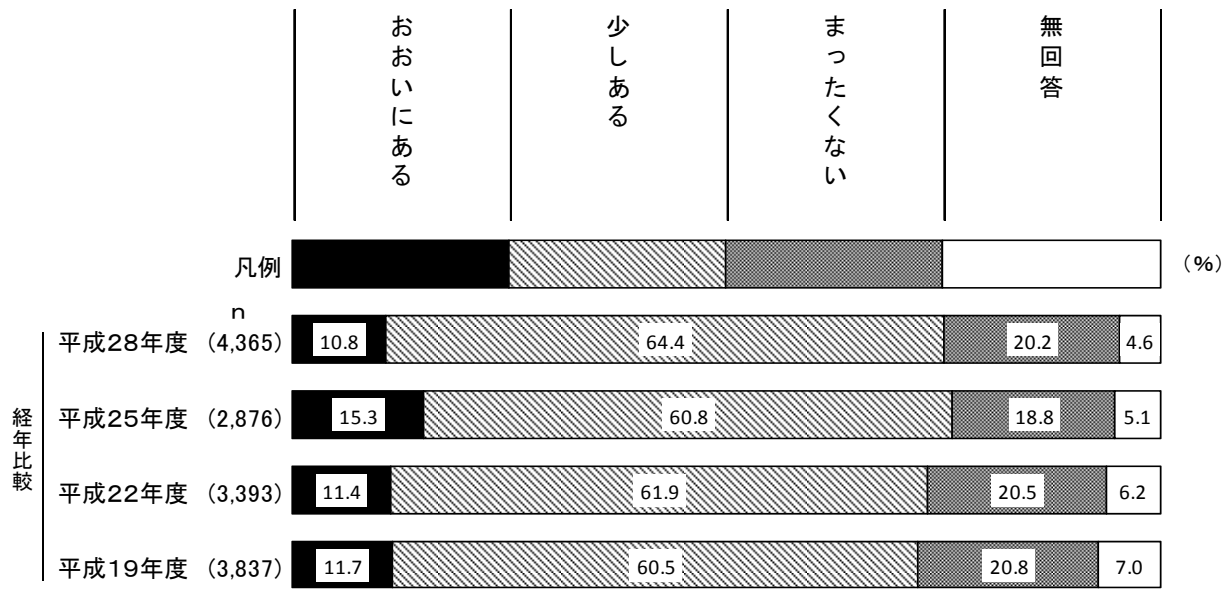
※「Ⅰ. 要支援・要介護を受けていない人への調査」、「Ⅱ. 要支援1・2の認定を受けた人への調査」では設問番号が異なり、それぞれ問33、問34としている。

健康に気を使っていることについて、「休養や睡眠を十分とる」は、平成22年度の75.9%から、平成25年度は66.6%、平成28年度は64.4%と、年度とともに少なくなっている。（図表9-1）

(10) 悩みやストレスの有無

問34 悩みやストレスはありますか。(1つに○)

図表10-1 悩みやストレスの有無



※「Ⅰ. 要支援・要介護を受けていない人への調査」、「Ⅱ. 要支援1・2の認定を受けた人への調査」では設問番号が異なり、それぞれ問34、問35としている。

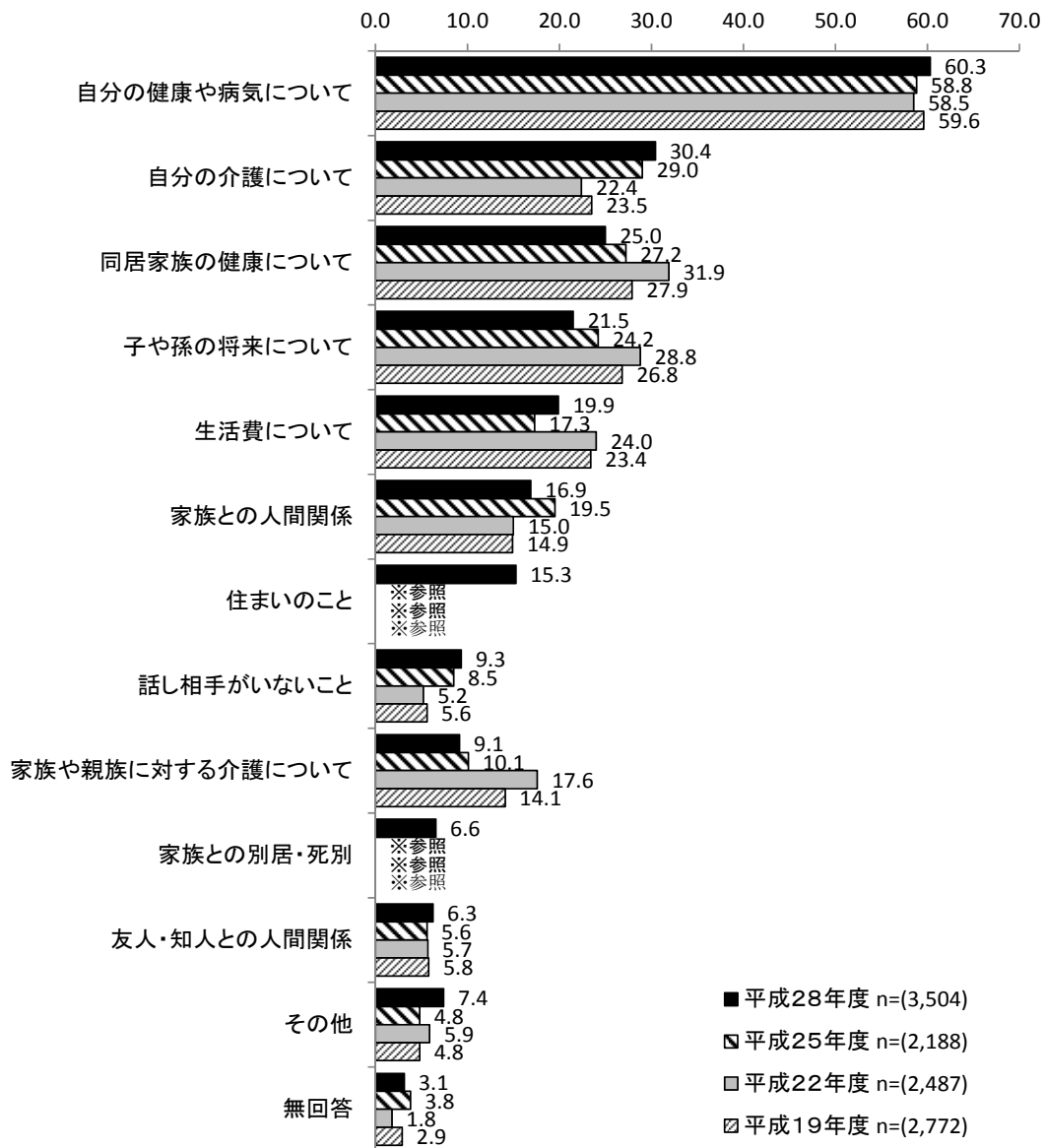
悩みやストレスの有無について、「おおいにある」は平成28年度は10.8%と、過年度に比べ少なくなっている。一方で「少しある」は64.4%と過年度に比べ多くなっている。(図表10-1)

（11）悩みやストレスの原因

問35 （問34で「1」「2」と回答された方におたずねします。）

その原因は何ですか。（いくつでも○）

図表11-1 悩みやストレスの原因



※「Ⅰ. 要支援・要介護を受けていない人への調査」、「Ⅱ. 要支援1・2の認定を受けた人への調査」では設問番号が異なり、それぞれ問35、問36としている。

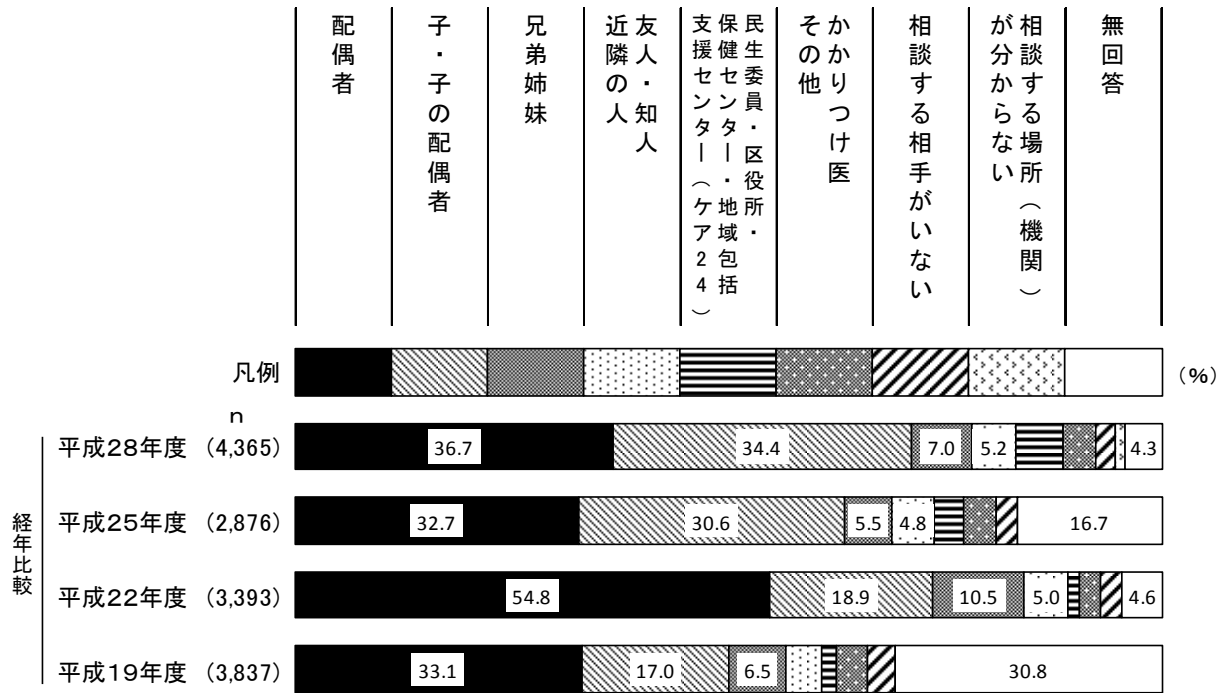
※「住まいのこと」、「家族との別居・死別」は平成28年度より追加。

悩みやストレスの原因について、「自分の健康や病気について」は平成28年度は60.3%、「自分の介護について」は平成28年度は30.4%とそれぞれ過年度に比べ多くなっている。一方で「同居家族の健康について」、「子や孫の将来について」は、平成22年度以降はそれぞれ年度とともに少なくなっている。（図表11-1）

(12) 生活の中で不安に思ったときの相談先

問36 あなたは生活の中で不安に思ったとき、どなた(どこ)に相談しますか。
(もっともよくあてはまるもの1つに○)

図表12-1 生活の中で不安に思った時の相談先



	配偶者	子・子の配偶者	兄弟姉妹	友人・知人 近隣の人	民生委員・区役所・保健センター・地域包括支援センター(ケア24)	かかりつけ医 その他	相談する相手がいない	相談する場所(機関)が分からない	無回答
平成28年度(4,365)	36.7	34.4	7.0	5.2	5.4	3.8	2.2	1.1	4.3
平成25年度(2,876)	32.7	30.6	5.5	4.8	3.4	3.9	2.3	-	16.7
平成22年度(3,393)	54.8	18.9	10.5	5.0	1.4	2.5	2.4	-	4.6
平成19年度(3,837)	33.1	17.0	6.5	4.2	1.6	3.7	3.1	-	30.8

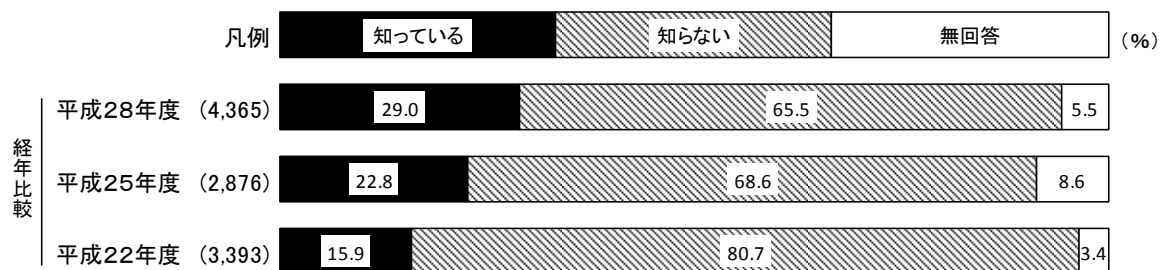
※「Ⅰ. 要支援・要介護を受けていない人への調査」、「Ⅱ. 要支援1・2の認定を受けた人への調査」では設問番号が異なり、それぞれ問36、問37としている。

生活の中で不安に思ったときの相談先について、「子・子の配偶者」は、平成19年度は17.0%、平成22年度は18.9%、平成25年度は30.6%、平成28年度は34.4%と、年度とともに多くなっている。(図表12-1)

（13）長寿応援ポイント事業の認知度

問43 区が実施している長寿応援ポイント事業を知っていますか。（1つに○）

図表13-1 長寿応援ポイント事業の認知度



※「長寿応援ポイント事業の認知度」に関する設問は平成22年度より追加。

※「Ⅰ. 要支援・要介護を受けていない人への調査」、「Ⅱ. 要支援1・2の認定を受けた人への調査」では設問番号が異なり、それぞれ問43、問47としている。

長寿応援ポイント事業の認知度について、「知っている」は、平成22年度は15.9%、平成25年度は22.8%、平成28年度は29.0%と、年度とともに多くなっている。（図表13-1）

第3章 介護保険に関する調査

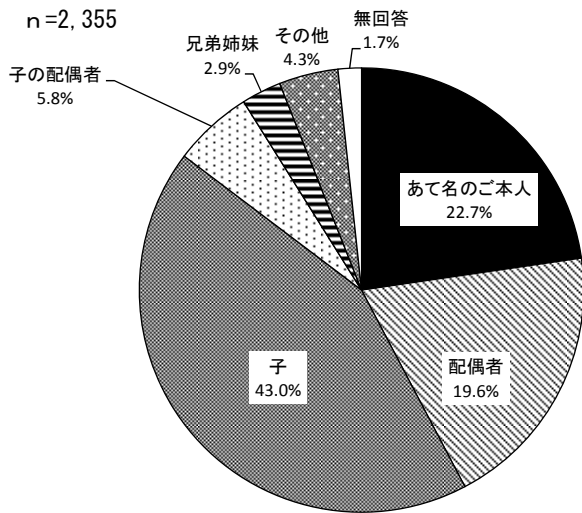
1. 回答者の属性

(1) 調査票の記入者、対象者の性別・年齢

○調査票の記入者

問1 調査票を記入するのはどなたですか。

図表1-1 調査票の記入者

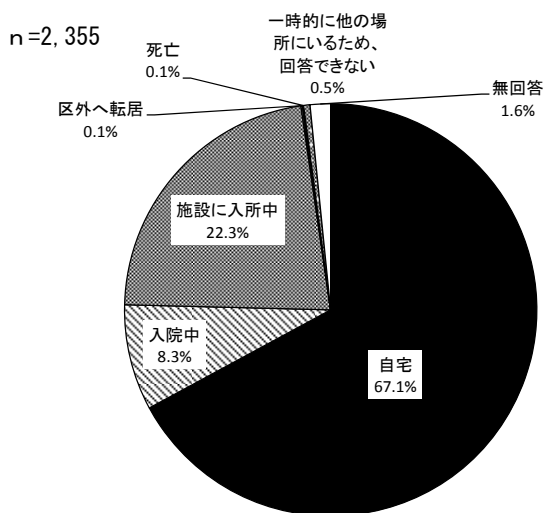


	基数	構成比
あて名のご本人	535	22.7%
配偶者	462	19.6%
子	1013	43.0%
子の配偶者	137	5.8%
兄弟姉妹	68	2.9%
その他	101	4.3%
無回答	39	1.7%
全 体	2355	100.0%

○対象者の生活場所

問2 あなたは今どちらにいらっしゃいますか。(1つに○)

図表2-1 対象者の生活場所

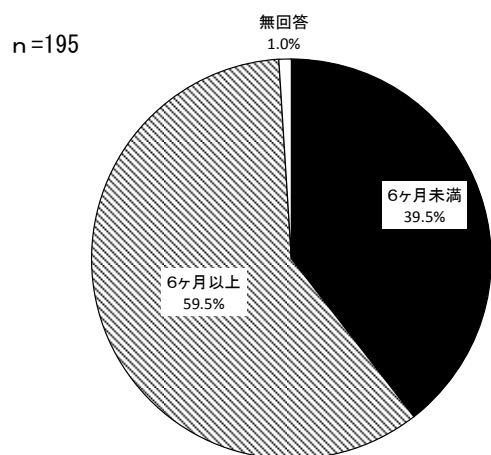


	基数	構成比
自宅	1581	67.1%
入院中	195	8.3%
施設に入所中	525	22.3%
区外へ転居	3	0.1%
死亡	3	0.1%
一時的に他の場所にいるため、回答できない	11	0.5%
無回答	37	1.6%
全 体	2355	100.0%

○対象者の入院期間

問3 (問2で「2 入院中」と回答された方におたずねします。) 入院期間はどのくらいですか。
(1つに○)

図表3-1 対象者の入院期間

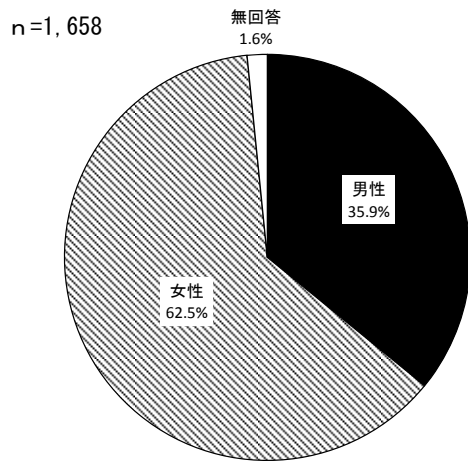


	基数	構成比
6ヶ月未満	77	39.5%
6ヶ月以上	116	59.5%
無回答	2	1.0%
全 体	195	100.0%

○対象者の性別、年齢

問4 あなたの性別を教えてください。

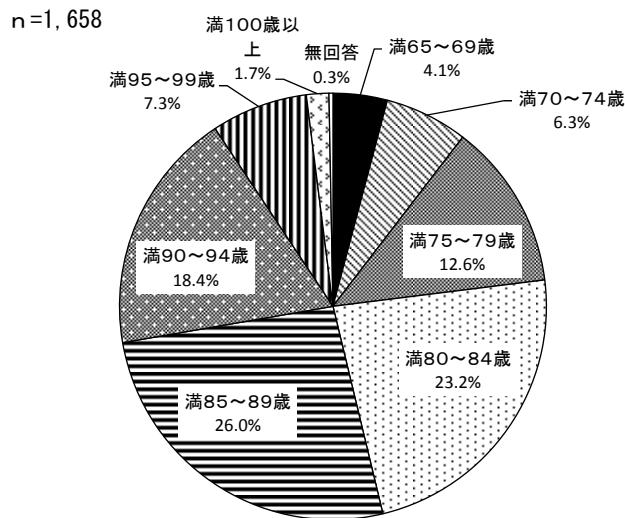
図表4-1 対象者の性別



	基数	構成比
男性	595	35.9%
女性	1036	62.5%
無回答	27	1.6%
全体	1658	100.0%

問5 あなたの年齢はおいくつですか。(1つに○)

図表5-1 対象者の年齢



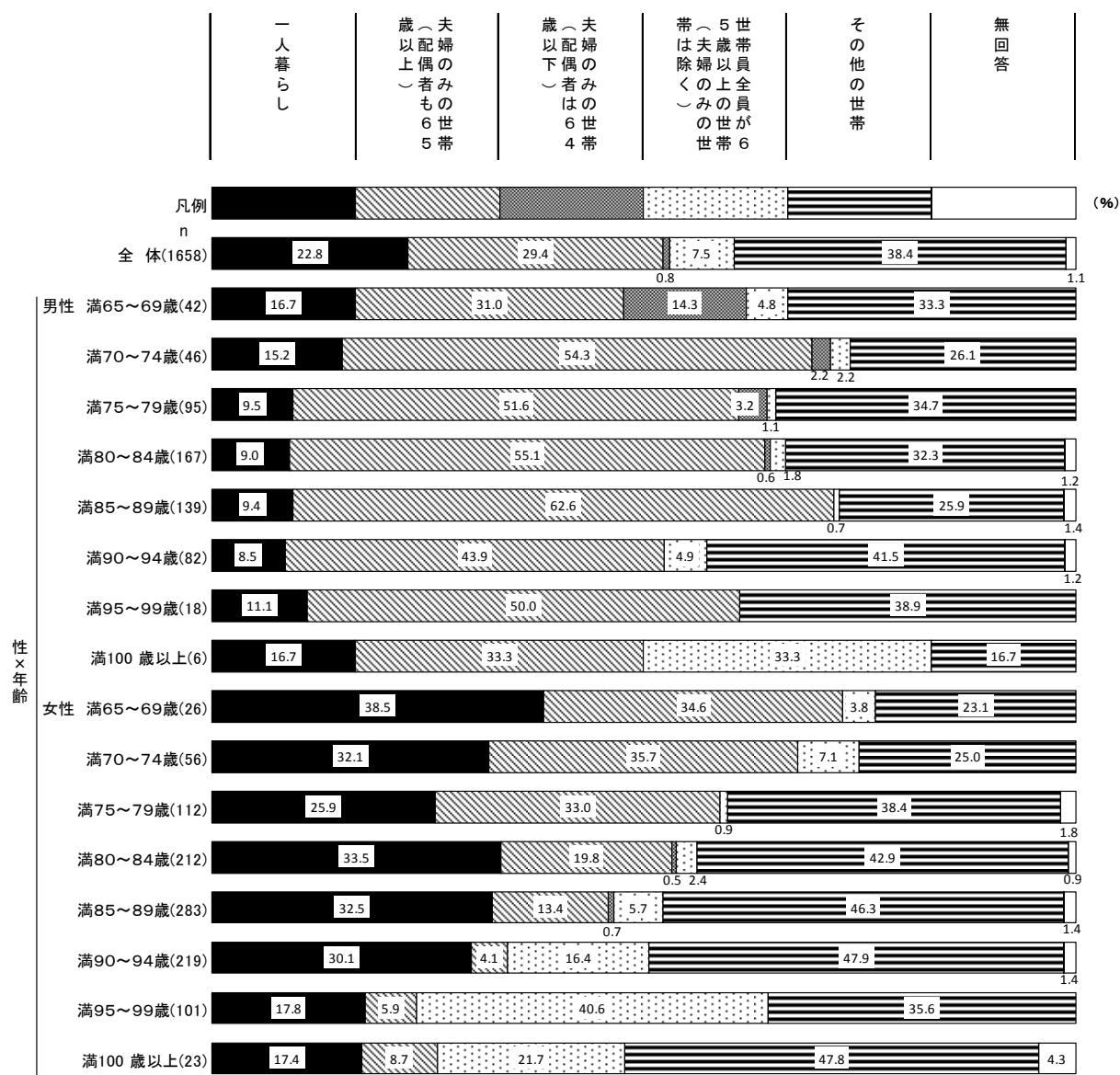
	基数	構成比
満65～69歳	68	4.1%
満70～74歳	105	6.3%
満75～79歳	209	12.6%
満80～84歳	385	23.2%
満85～89歳	431	26.0%
満90～94歳	305	18.4%
満95～99歳	121	7.3%
満100歳以上	29	1.7%
無回答	5	0.3%
全体	1658	100.0%

(2) 家族構成

問6 一緒に暮らしている家族の構成を教えてください。(1つに○)

「夫婦のみの世帯(配偶者も65歳以上)」が29.4%、「一人暮らし」が22.8%。

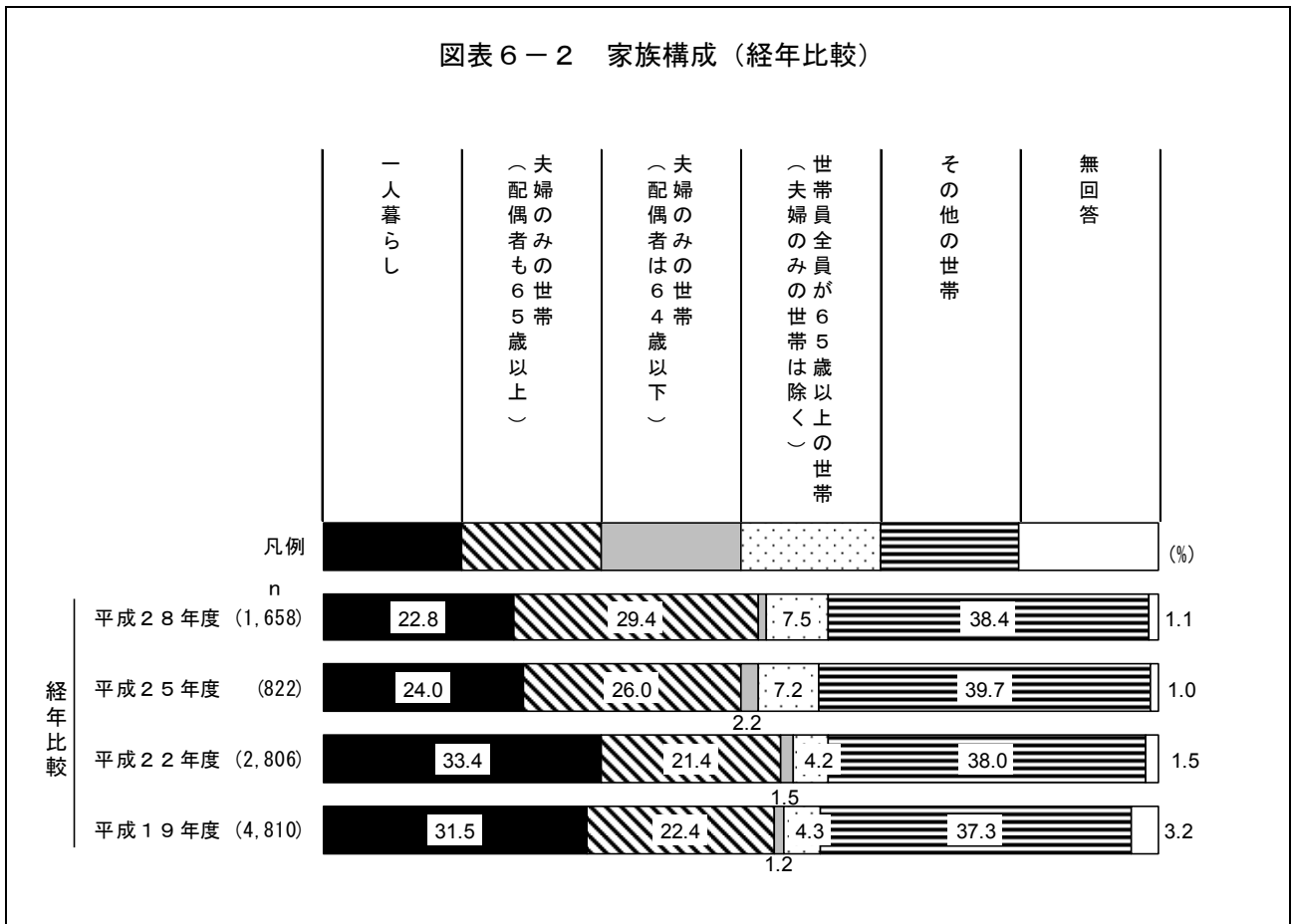
図表6-1 家族構成(性×年齢別)



家族構成については、「夫婦のみの世帯(配偶者も65歳以上)」が29.4%で最も多く、次いで「一人暮らし」(22.8%)、「世帯全員が65歳以上」(7.5%)となっている。

性×年齢別で見ると、男性は年齢が高くなるにつれて「一人暮らし」が少なくなる傾向がみられ、満90~94歳では8.5%と最も少なくなっている。女性は全ての年齢において「一人暮らし」が男性の同年齢を上回っている一方で、年齢が高くなるにつれ、「世帯員全員が65歳以上の世帯」の割合が多くなっており、「満95~99歳」では40.6%と最も多くなっている。(図表6-1)

図表6-2 家族構成（経年比較）



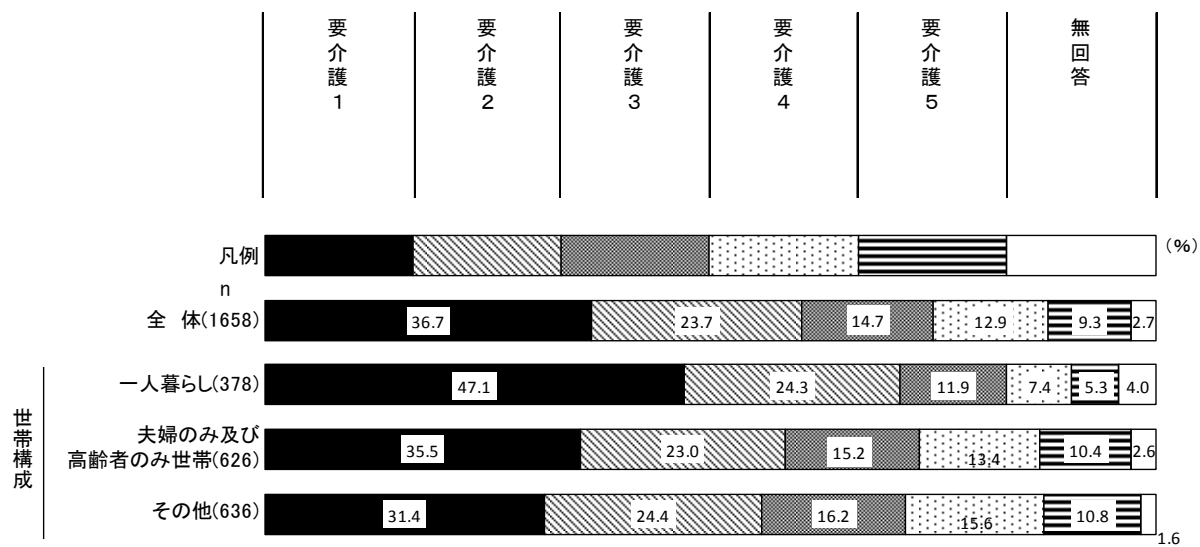
経年比較でみると、「一人暮らし」は22.8%と、過年度（平成25年度24.0%、平成22年度33.4%、平成19年度31.5%）に比べて少なくなっている。「夫婦のみの世帯（配偶者も65歳以上）」は29.4%と、過年度（平成25年度26.0%、平成22年度21.4%、平成19年度22.4%）と比べて多くなっている。「その他の世帯」は、各年度とも38%前後となっている。（図表6-2）

(3) 現在の要介護度

問7 現在の要介護度を教えてください。(有効期間が切れている場合、切れる前の要介護度を記入してください。)(1つに○)

「要介護1」が36.7%、「要介護2」が23.7%、「要介護3」が14.7%。

図表7-1 現在の要介護度(世帯構成別)



「要介護1」が36.7%で最も多く、次いで「要介護2」(23.7%)、「要介護3」(14.7%)と、要介護度が上がるにつれ割合が低くなっている。

世帯構成別では、「要介護1」で「一人暮らし」が47.1%となっており、「夫婦のみ及び高齢者のみ世帯」(35.5%)、「その他」(31.4%)に比べ多くなっている。一方、「要介護3」～「要介護5」は他の世帯構成と比べ少なくなっている。(図表7-1)

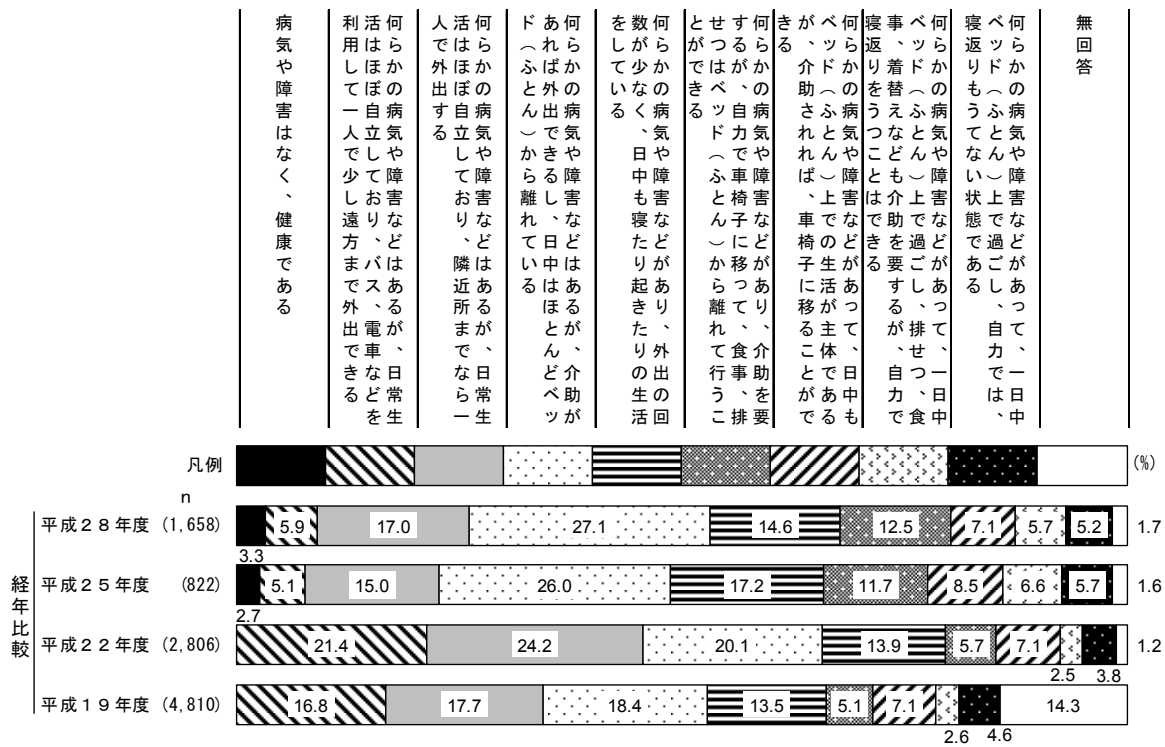
2. 日常生活の状況について

(1) 日常生活における自立度

問8 あなたの生活の状況について、もっとも近いものはどれですか。(1つに○)

「何らかの病気や障害などがあり、介助があれば外出できるし、日中はほとんどベッド（ふとん）から離れている」が27.1%、「何らかの病気や障害などがあり、日常生活はほぼ自立しており、隣近所までなら一人で外出する」が17.0%。

図表8-1 日常生活における自立度（経年比較）



今回の調査では、日常生活の自立度について、「何らかの病気や障害などはあるが、介助があれば外出できるし、日中はほとんどベッド（ふとん）から離れている」が27.1%と最も多く、次いで「何らかの病気や障害などはあるが、日常生活はほぼ自立しており、隣近所までなら一人で外出する」（17.0%）、「何らかの病気や障害などがあり、外出の回数が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている」（14.6%）と続いている。

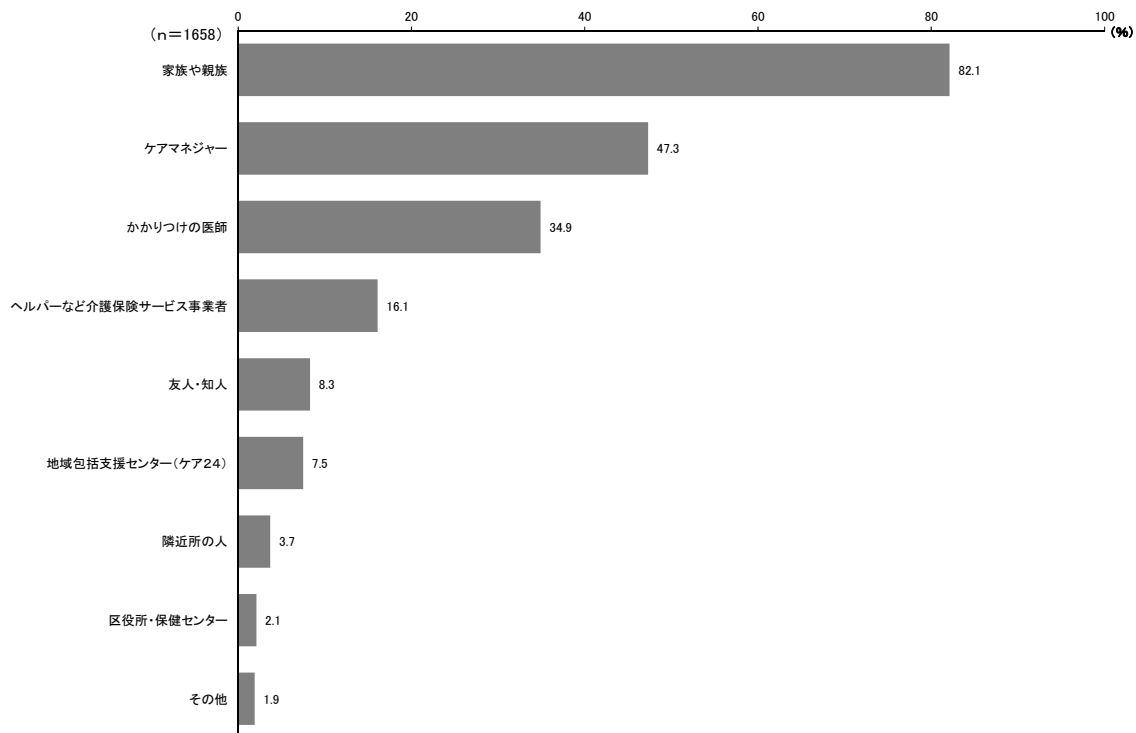
経年比較でみると、「何らかの病気や障害などはあるが、介助があれば外出できるし、日中はほとんどベッド（ふとん）から離れている」は年度とともに多くなっている傾向がみられる。（図表8-1）

(2) 生活の中で不安に思ったときの相談先

問9 生活の中で不安に思ったとき、どなた（どこ）に相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

「家族や親族」が82.1%、「ケアマネジャー」が47.3%、「かかりつけの医師」が34.9%。

図表9-1 生活の中で不安に思ったときの相談先



生活の中で不安に思ったときの相談先については、「家族や親族」が82.1%と最も多く、次いで「ケアマネジャー」(47.3%)、「かかりつけの医師」(34.9%)の順となっている。(図表9-1)

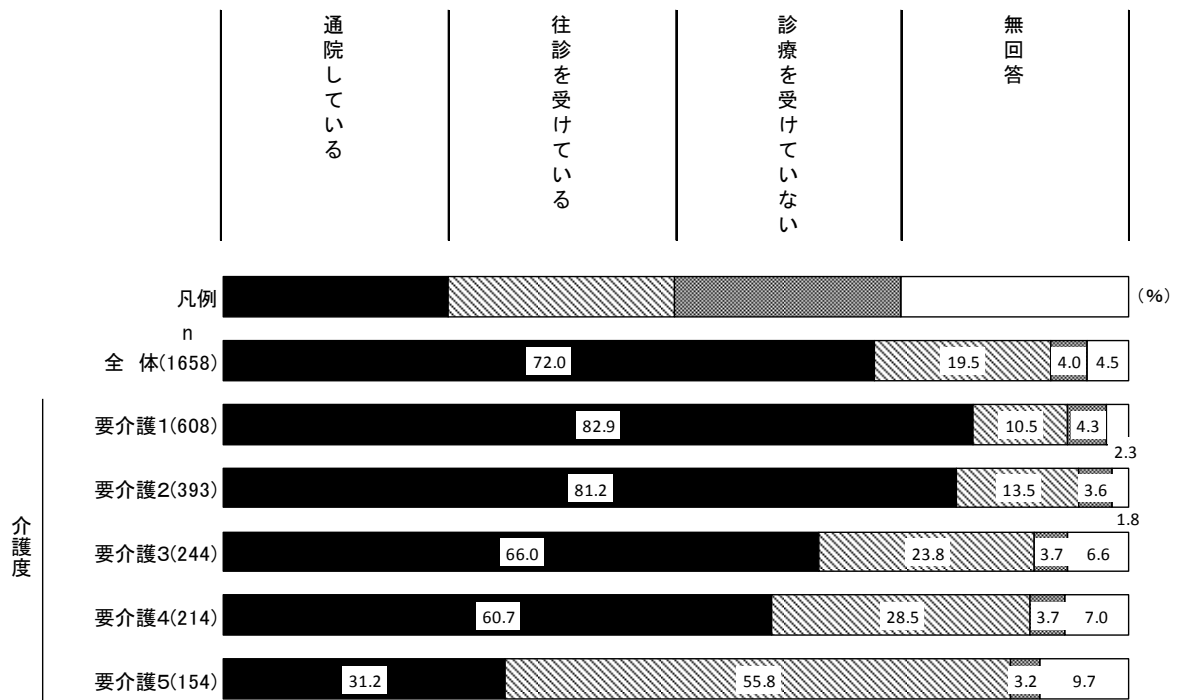
3. 健康について

(1) 通院・往診の状況

問10 現在、通院（病院・医院・診療所）や往診で診療を受けていますか。（1つに○）

「通院している」が72.0%、「往診を受けている」が19.5%、「診療を受けていない」が4.0%。

図表10-1 通院・往診の状況（介護度別）



通院・往診の状況については、「通院している」が72.0%と最も多く、次いで「往診を受けている」(19.5%)、「診療を受けていない」(4.0%)の順となっている。

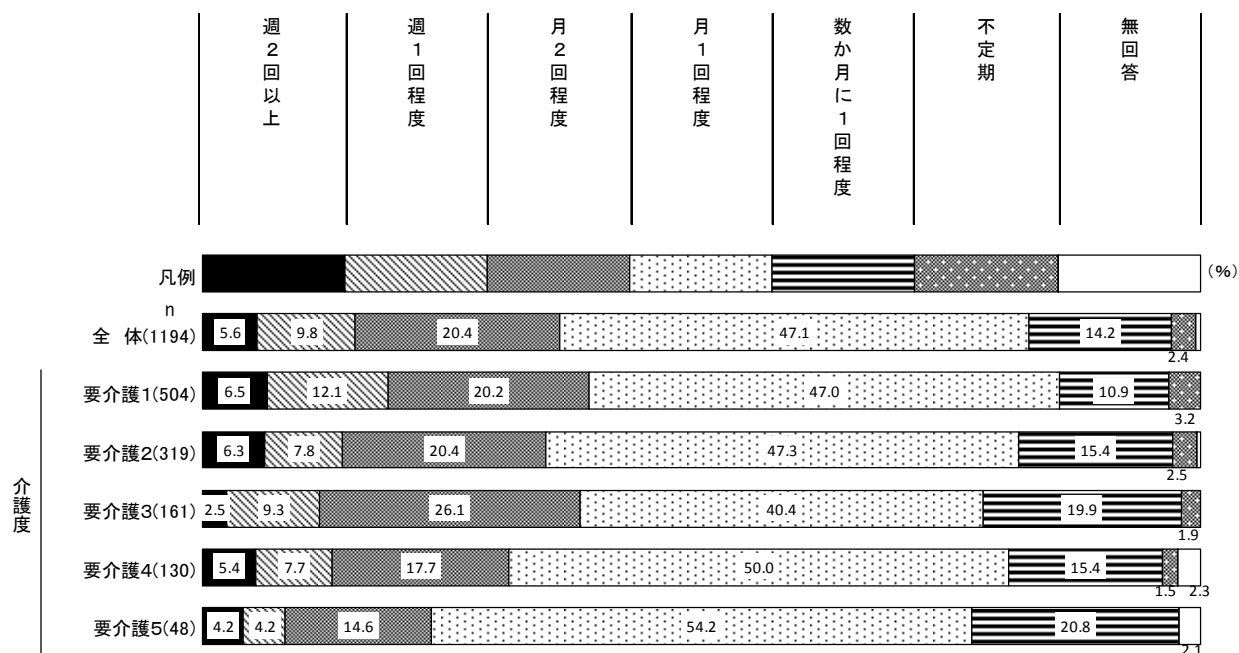
介護度別でみると、要介護1では「通院している」が82.9%と8割以上を占めているが、要介護度が高くなるにつれて「通院している」の割合が少なくなり、「往診を受けている」の割合が多くなっている。要介護度5では「通院している」が31.2%に対し、「往診を受けている」が55.8%と半数以上を占めている。(図表10-1)

(2) 通院・往診の頻度

問11 (問10で「1 通院している」と回答された方におたずねします。) 通院の回数はどのくらいですか。(1つに○)

「月1回程度」が47.1%、「月2回程度」が20.4%、「数か月に1回程度」が14.2%。

図表11-1 通院・往診の頻度(介護度別)



通院・往診の頻度については、「月1回程度」が47.1%と最も多く、次いで「月2回程度」(20.4%)、「数か月に1回程度」(14.2%)の順となっている。

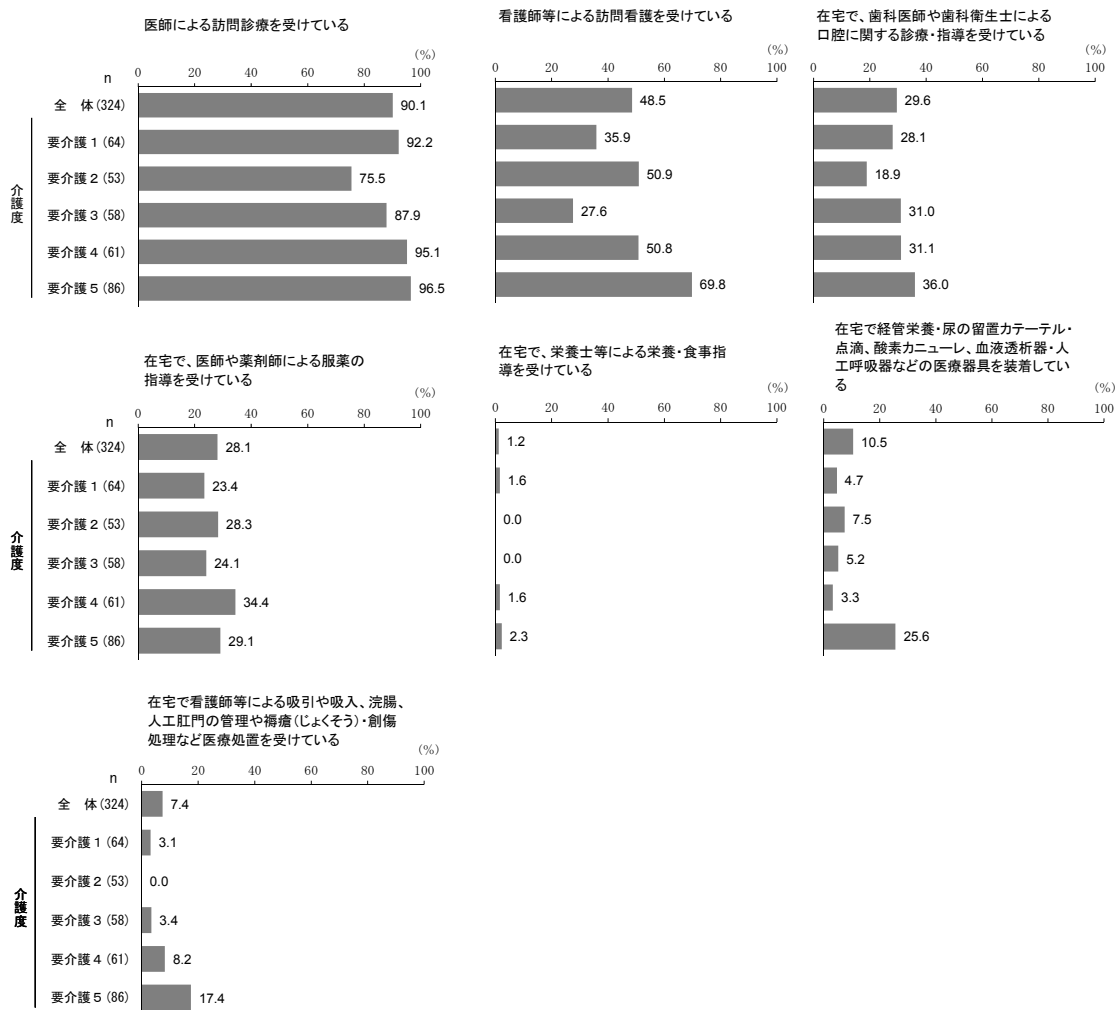
介護度別でみると、「月2回程度」は「要介護3」で26.1%と最も多く、「月1回程度」は「要介護5」で54.2%と最も多くなっている。(図表11-1)

(3) 往診の内容

問12 (問10で「2 往診をうけている」と回答された方におたずねします。)
 往診を受けているのは、どのような内容ですか。(現在受けているものすべてに○)

「医師による訪問診療を受けている」が90.1%、「看護師等による訪問介護を受けている」が48.5%、「在宅で、歯科医師や歯科衛生士による口腔に関する診療・指導を受けている」が29.6%。

図表12-1 往診の内容(介護度別)



「医師による訪問診療を受けている」が90.1%と最も多く、「看護師等による訪問看護を受けている」(48.5%)、「在宅で、歯科医師や歯科衛生士による口腔に関する診療・指導を受けている」(29.6%)の順となっている。

介護度別でみると、要介護5は「看護師等による訪問看護を受けている」で69.8%、「在宅で、歯科医師や歯科衛生士による口腔に関する診療・指導を受けている」で36.0%となっている他、多くの項目において他の要介護度に比べ多くなっている。(図表12-1)

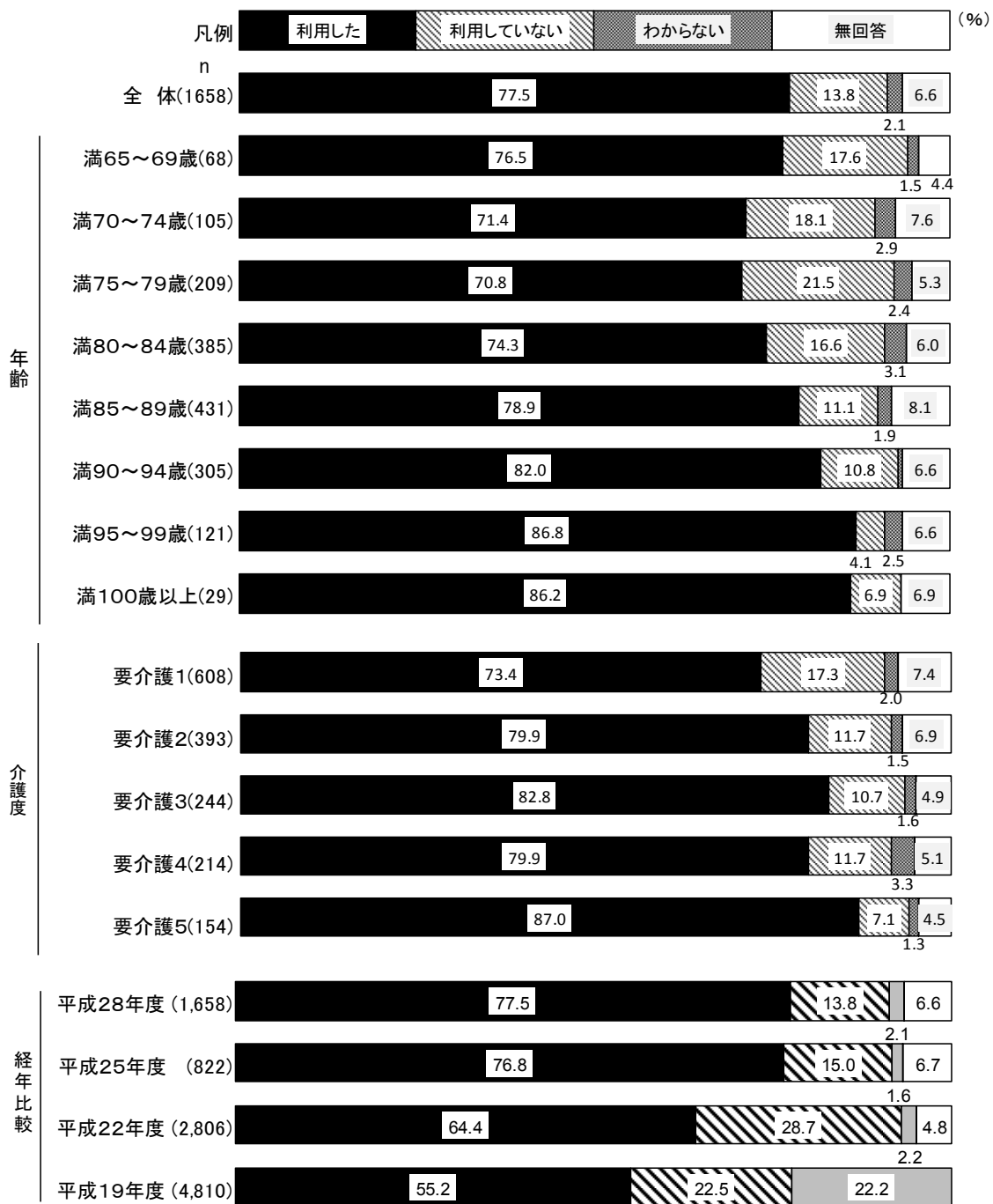
4. サービスの利用状況

(1) 介護保険サービスの利用有無

問13 9月中に、介護保険サービスを実際に利用しましたか。(1つに○)

「利用した」が77.5%、「利用していない」が13.8%。

図表13-1 介護保険サービスの利用有無（年齢別／要介護度別／経年比較）



「利用した」が77.5%、「利用していない」が13.8%となっている。

年齢別でみると、「利用した」の割合は、満95～99歳が86.8%と最も多く、次いで満100歳以上(86.2%)、満90～94歳(82.0%)の順となっている。

介護度別でみると、「利用した」の割合は、要介護5で87.0%、次いで要介護3(82.8%)、要介護2、要介護4(それぞれ79.9%)の順となっており、おおむね要介護度が高くなるにつれて、「利用した」の割合が多くなっている。

経年比較でみると、「利用した」は年度とともに多くなる傾向がみられる。(図表13-1)

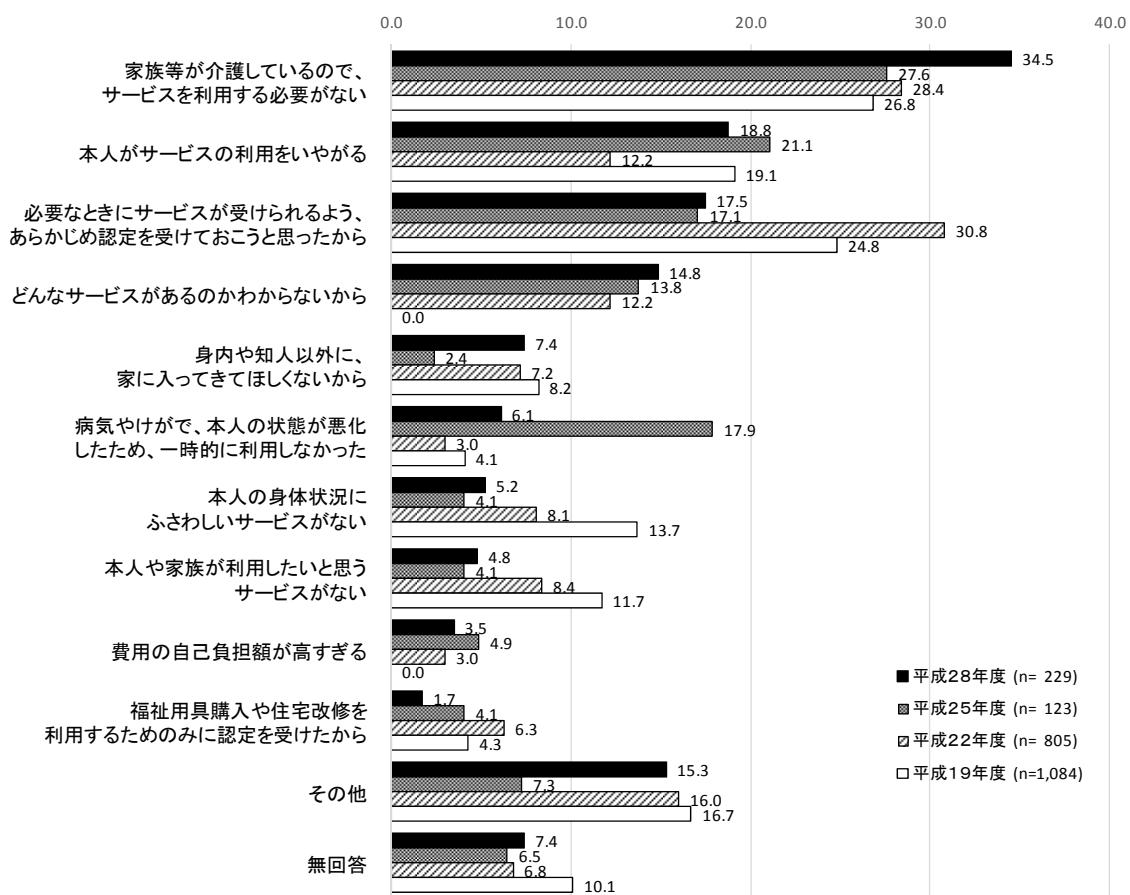
(2) 介護保険サービスを利用していない理由

問14 (問13で「2 利用していない」と回答された方におたずねします。)

9月の時点で、介護保険サービスを利用していない理由で、ご本人のお考えに近いものはどれですか。(2つまで○)

「家族等が介護しているので、サービスを利用する必要がない」が34.5%、「本人がサービスの利用をいやがる」が18.8%、「必要なときにサービスが受けられるよう、あらかじめ認定を受けておこうと思ったから」が17.5%。

図表14-1 介護保険サービスを利用していない理由(経年比較)

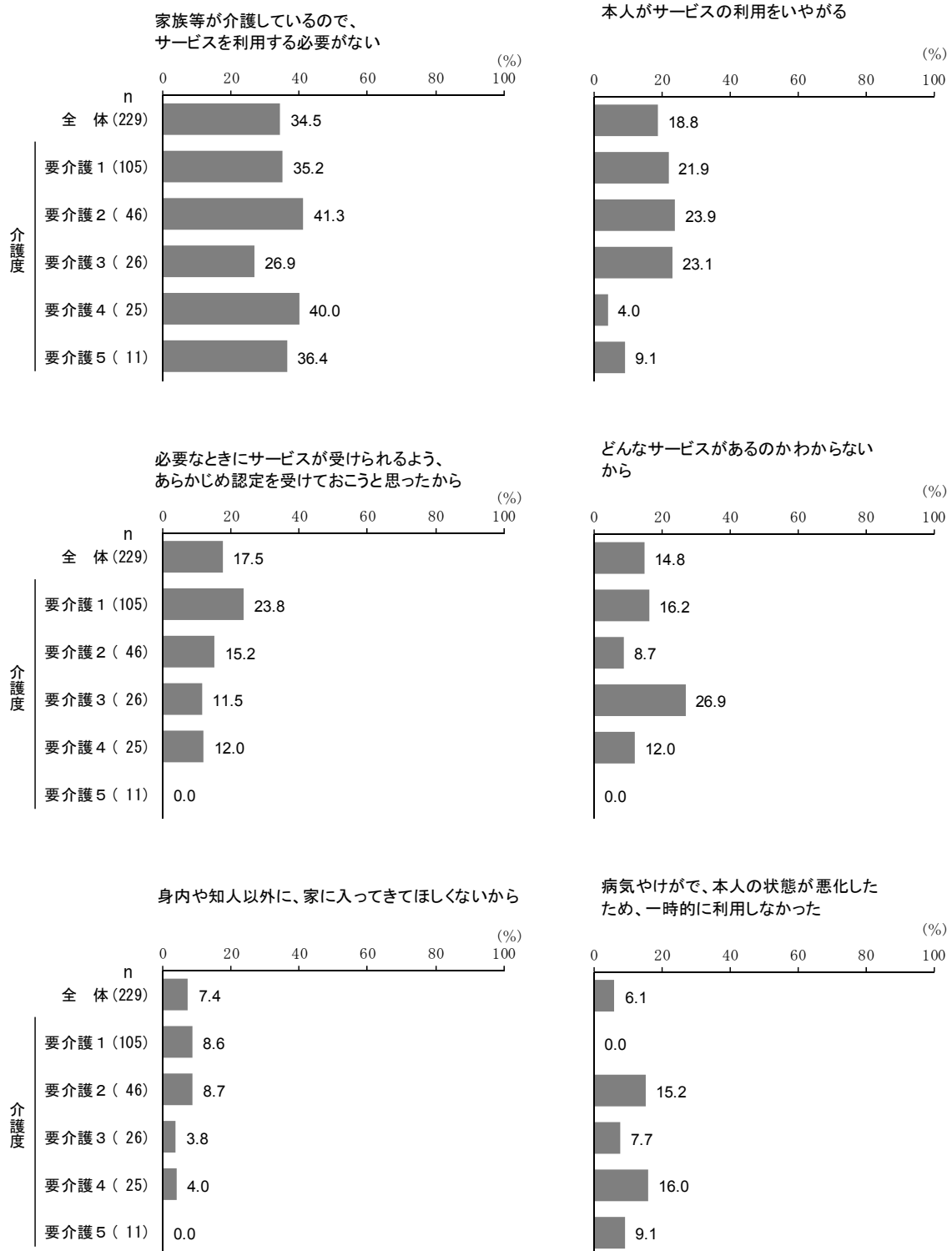


※「どんなサービスがあるのかわからないから」「費用の負担額が高すぎる」は平成22年度より追加。

介護保険サービスを利用していない理由について、「家族等が介護しているので、サービスを利用する必要がない」が34.5%と最も多く、次いで「本人がサービスの利用をいやがる」(18.8%)、「必要なときにサービスが受けられるよう、あらかじめ認定を受けておこうと思ったから」(17.5%)と続いている。

経年比較でみると、「家族等が介護しているので、サービスを利用する必要がない」は平成25年度より6.9ポイント多くなっている。一方、「病気やけがで、本人の状態が悪化したため、一時的に利用しなかった」は平成25年度より11.8ポイント少なくなっている。(図表14-1)

図表 1 4 - 2 介護保険サービスを利用していない理由（介護度別）（上位 6 位まで）



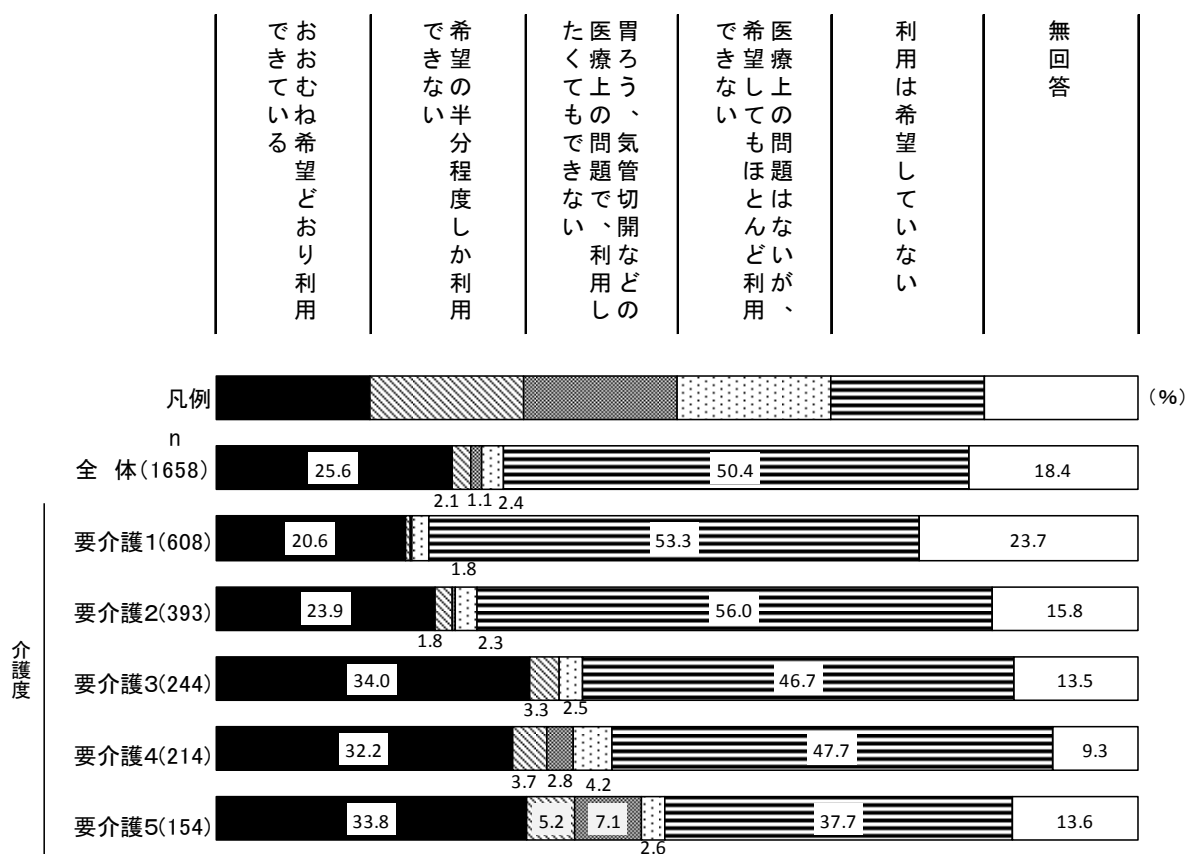
介護度別でみると、「必要なときにサービスが受けられるよう、あらかじめ認定を受けておこうと思ったから」では要介護 1 が 23.8%、「どんなサービスがあるのかわからないから」では要介護 3 が 26.9%と、それぞれ他の介護度に比べて最も多くなっている。(図表 1 4 - 2)

(3) ショートステイの利用有無

問15 ここ半年間に、短期入所生活・短期入所療養介護（ショートステイ）を希望どおり利用できましたか。（1つに○）

「利用は希望していない」が50.4%、「おおむね希望通り利用できている」が25.6%。

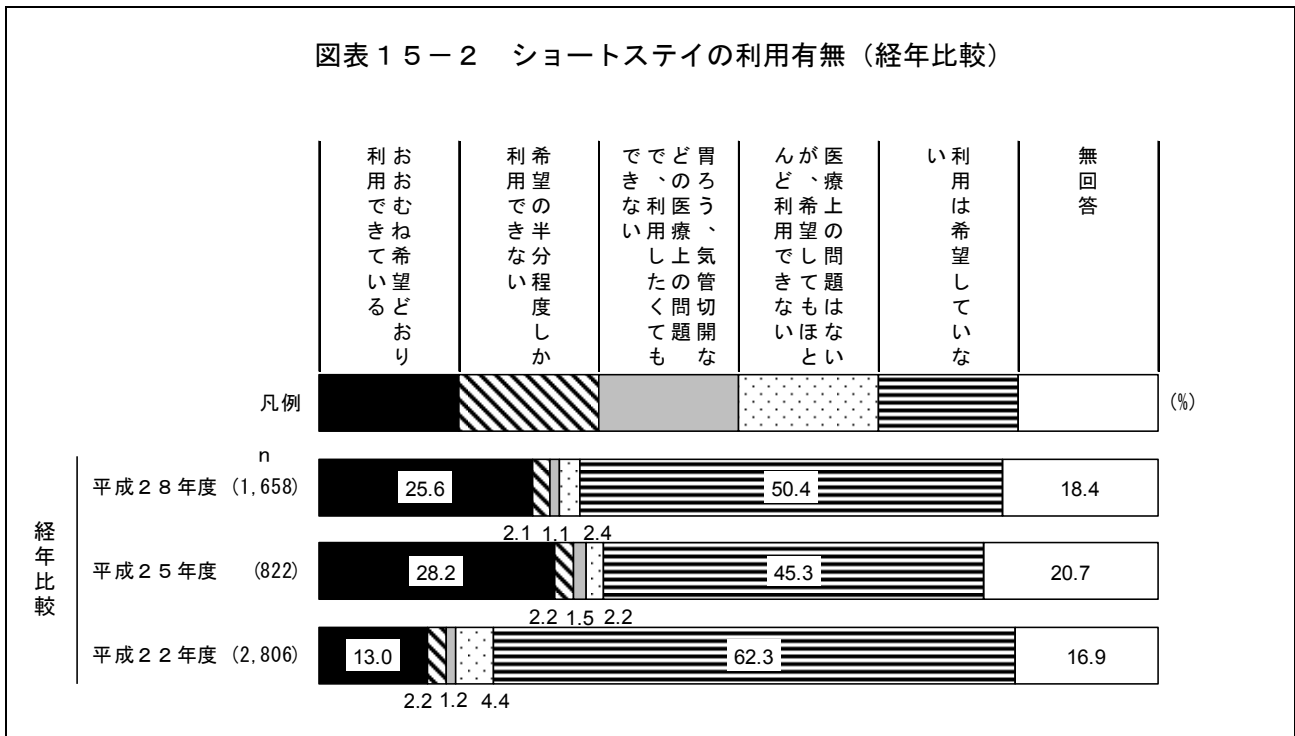
図表15-1 ショートステイの利用有無（介護度別）



ショートステイの利用の有無については、「利用は希望していない」が50.4%と最も多く、次いで「おおむね希望通り利用できている」の25.6%となっている。

介護度別でみると、「おおむね希望通り利用できている」は要介護3で34.0%と最も多く、要介護5（33.8%）、要介護4（32.2%）の順となっている。一方で、「希望の半分程度しか利用できない」と「医療上の問題はないが、希望してもほとんど利用できない」の合計は、要介護4が7.9%と最も多く、次いで要介護5（7.8%）、要介護3（5.8%）の順となっている。（図表15-1）

図表15-2 ショートステイの利用有無（経年比較）



経年比較で見ると、「利用は希望していない」は平成25年度より5.1ポイント多くなっている。（図表15-2）

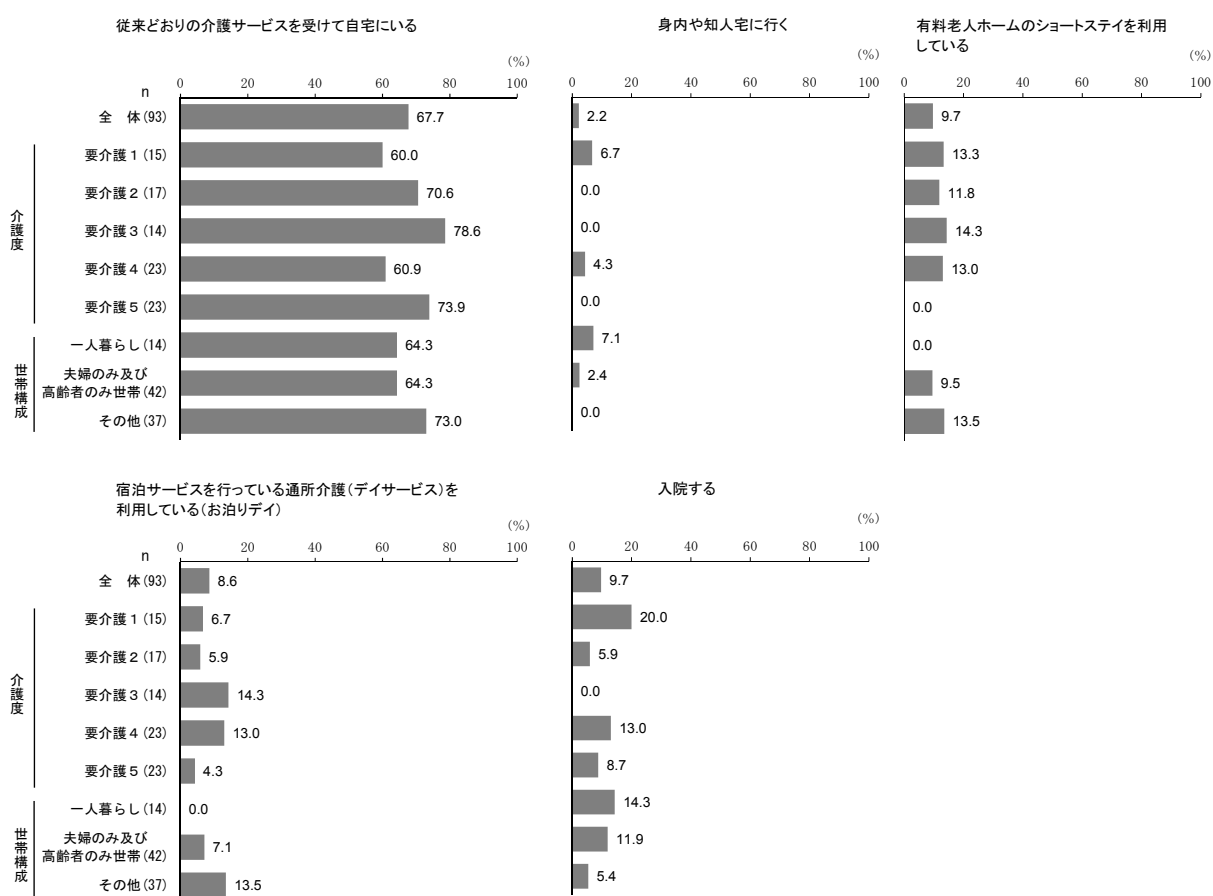
(4) ショートステイを利用できないときの対応

問16 (問15で「2~4」に回答された方におたずねします。)

短期入所生活・短期入所療養介護(ショートステイ)を希望どおり利用できない場合は、どのようにしていますか。(あてはまるものすべてに○)

「従来どおりの介護サービスを受けて自宅にいる」が67.7%、「有料老人ホームのショートステイを利用している」「入院する」が各9.7%。

図表16-1 ショートステイを利用できないときの対応(介護度別/世帯構成別)



ショートステイを利用できないときの対応については、「従来どおりの介護サービスを受けて自宅にいる」が67.7%と最も多く、次いで「入院する」「有料老人ホームのショートステイを利用している」(各9.7%)、「宿泊サービスを行っている通所介護(デイサービス)を利用している」(8.6%)の順となっている。

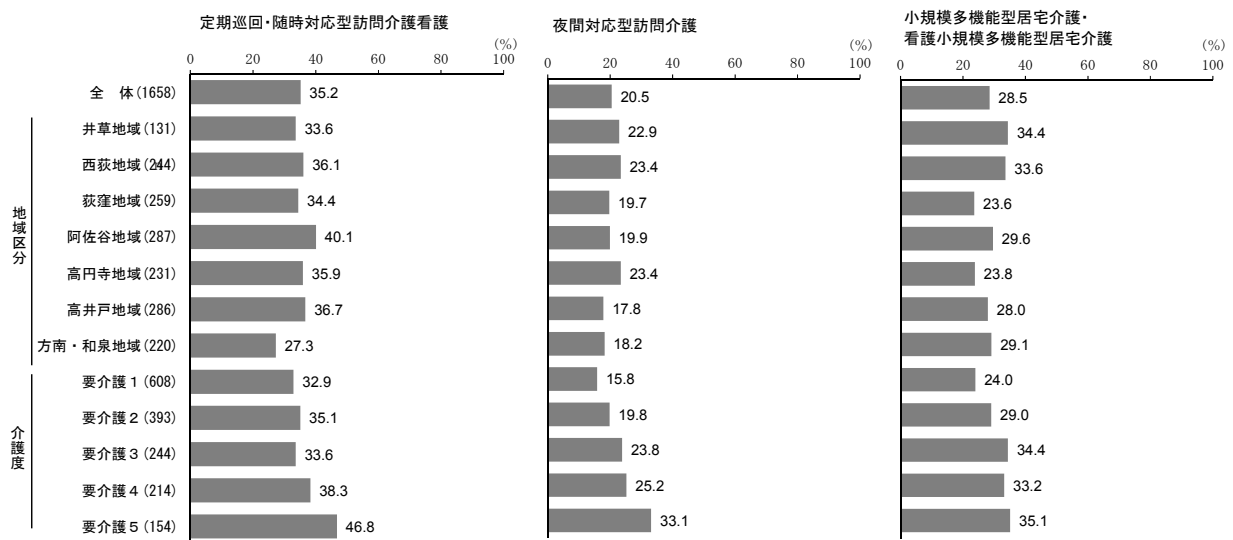
世帯構成別については、各属性別の回答者数が少ないため、参考としてグラフの記載にとどめることとする。(図表16-1)

(5) 介護保険の地域密着型サービスの認知度

問17 介護保険の地域密着型サービスを知っている、または聞いたことがありますか。
(以下のあてはまるものすべてに○)

「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が35.2%、「小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護」が28.5%、「夜間対応型訪問介護」が20.5%。

図表17-1 介護保険の地域密着型サービスの認知度（地域区分別／介護度別）



介護保険の地域密着型サービスの認知度については、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が35.2%で最も多く、次いで「小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護」(28.5%)、「夜間対応型訪問介護」(20.5%)の順となっている。

サービスごとの認知度の差が最も大きい地域は、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」では「阿佐谷地域」(40.1%)と「方南・和泉地域」(27.3%)の12.8ポイント差、「夜間対応型訪問介護」では「西荻地域」、「高円寺地域」(各23.4%)と「高井戸地域」(17.8%)の5.6ポイント差、「小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護」では「井草地域」(34.4%)と「荻窪地域」(23.6%)の10.8ポイント差となっている。

介護度別でみると、要介護度が高くなるにつれ、いずれのサービスにおいても「知っている」の割合がおおむね多くなっている。(図表17-1)

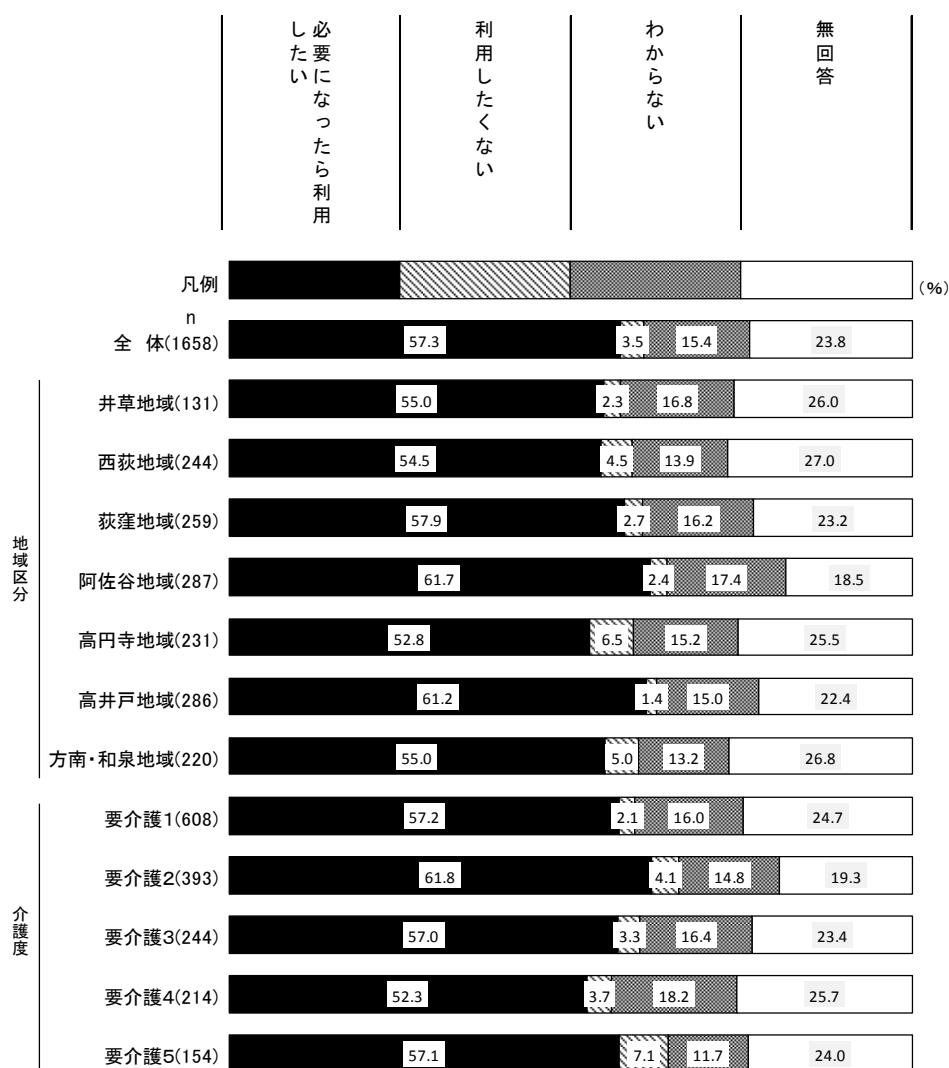
(6) 地域密着型サービスについての利用希望

問18 問17の地域密着型サービスについて、利用してみたいと思いますか(あてはまるものに○)

- 1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- 2 夜間対応型訪問介護
- 3 小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護

「必要になったら利用したい」が57.3%、「利用したくない」が3.5%。

図表18-1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護についての利用希望

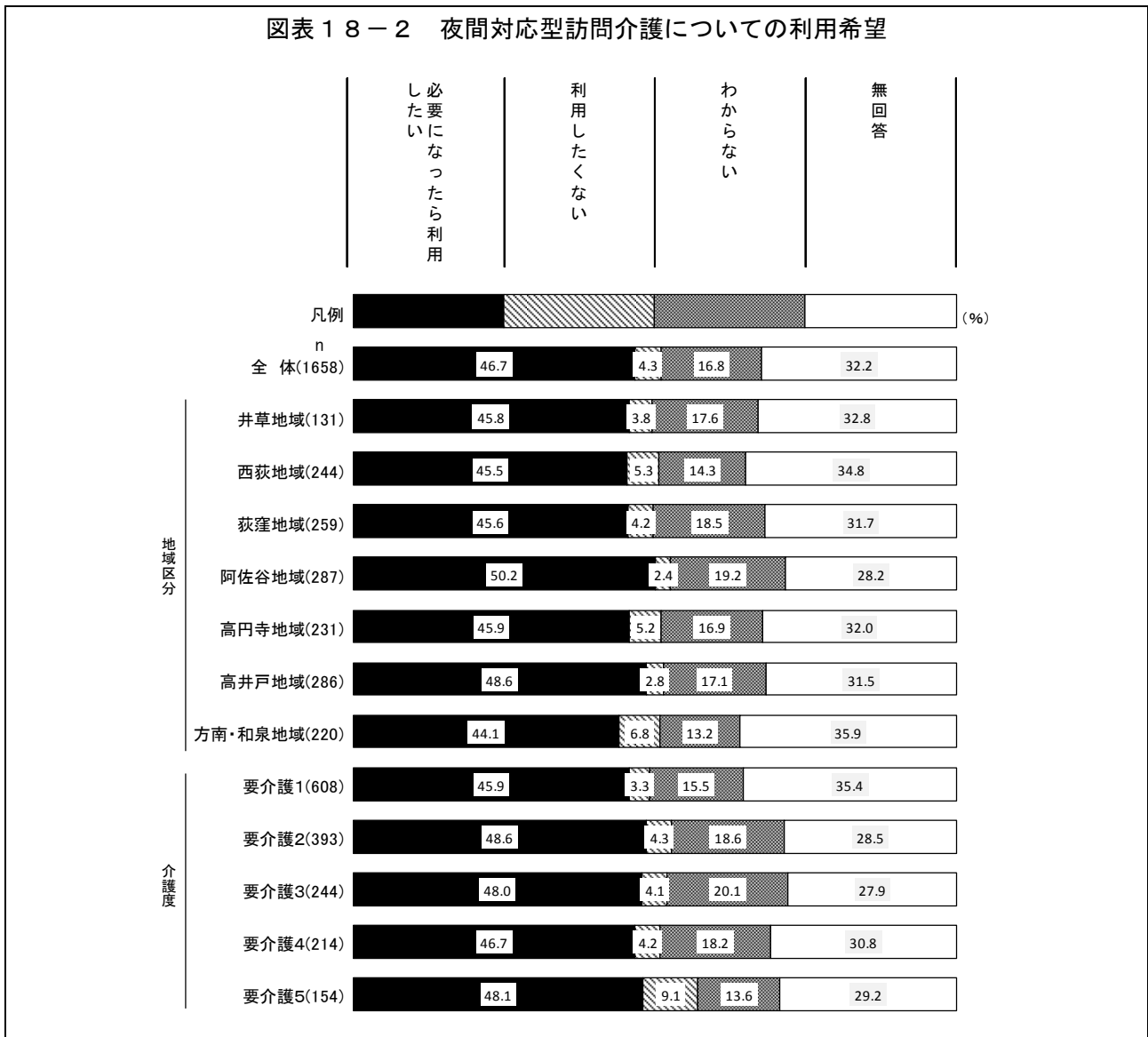


「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」について、「必要になったら利用したい」が57.3%で、「利用したくない」(3.5%)を大きく上回っている。

地域区分別でみると、「必要になったら利用したい」の割合が「阿佐谷地域」で61.7%と最も多く、次いで「高井戸地域」(61.2%)、「萩窪地域」(57.9%)の順となっている。

介護度別でみると、「必要になったら利用したい」の割合は、要介護2で61.8%と最も多くなっている。(図表18-1)

図表 18-2 夜間対応型訪問介護についての利用希望

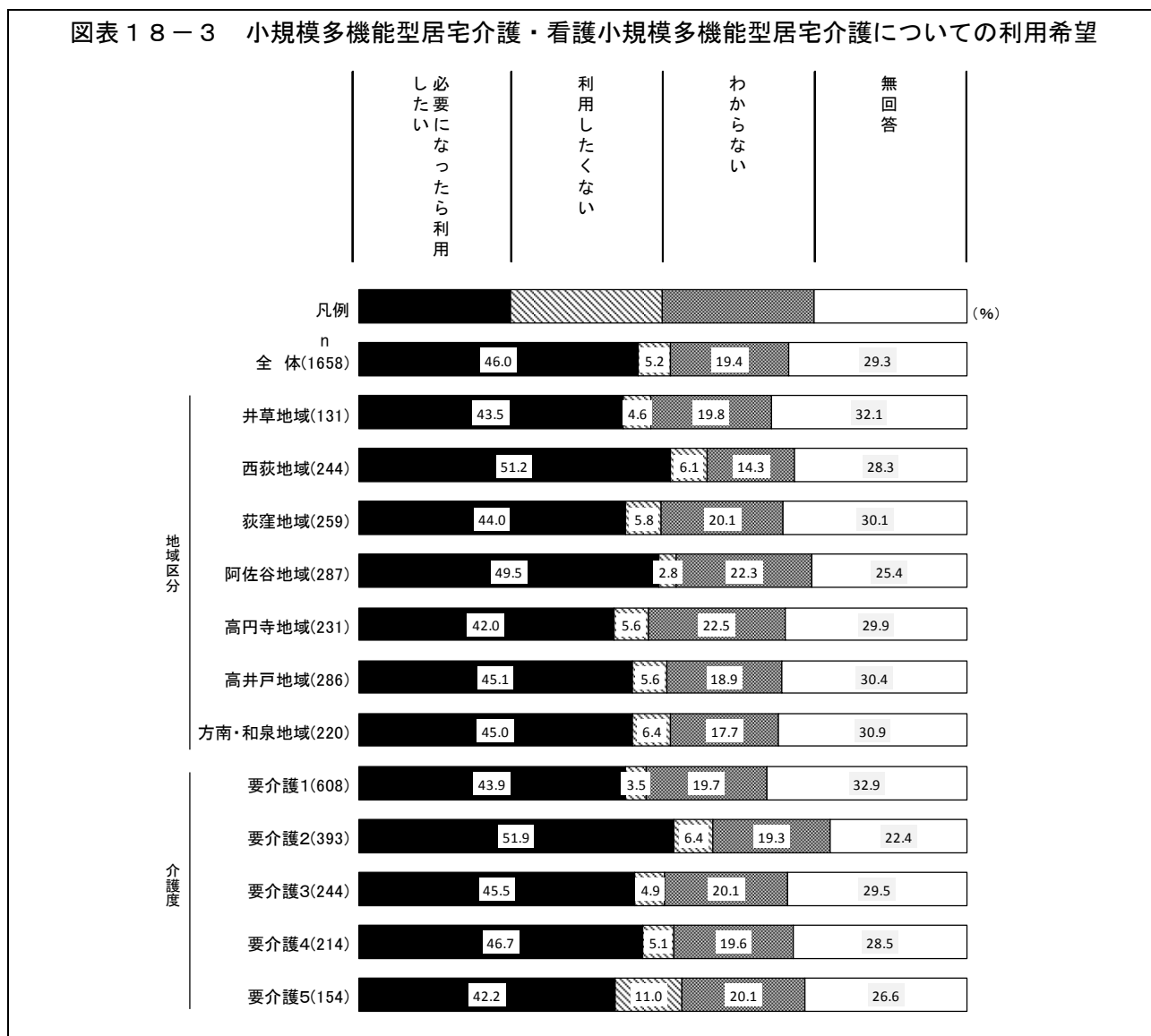


夜間対応型訪問介護の利用希望について、「必要になったら利用したい」が46.7%で、「利用したくない」の4.3%を大きく上回っている。

地域区分別でみると、「必要になったら利用したい」が「阿佐谷地域」で50.2%と最も多く、次いで「高井戸地域」(48.6%)、「高円寺地域」(45.9%)と続いている。

介護度別でみると、「必要になったら利用したい」は各介護度とも48%前後である一方で、「利用したくない」の割合は要介護5で9.1%とひと際多くなっている。(図表18-2)

図表 18-3 小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護についての利用希望



小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護の利用希望について、「必要になったら利用したい」が46.0%となっており、「利用したくない」(5.2%)を大きく上回っている。

地域区分別でみると、「必要になったら利用したい」の割合は「西荻地域」で51.2%と最も多く、次いで「阿佐谷地域」(49.5%)、「高井戸地域」(45.1%)の順となっている。割合が最も多い「西荻地域」(51.2%)と最も少ない「高円寺地域」(42.0%)との差は9.2ポイントとなっている。

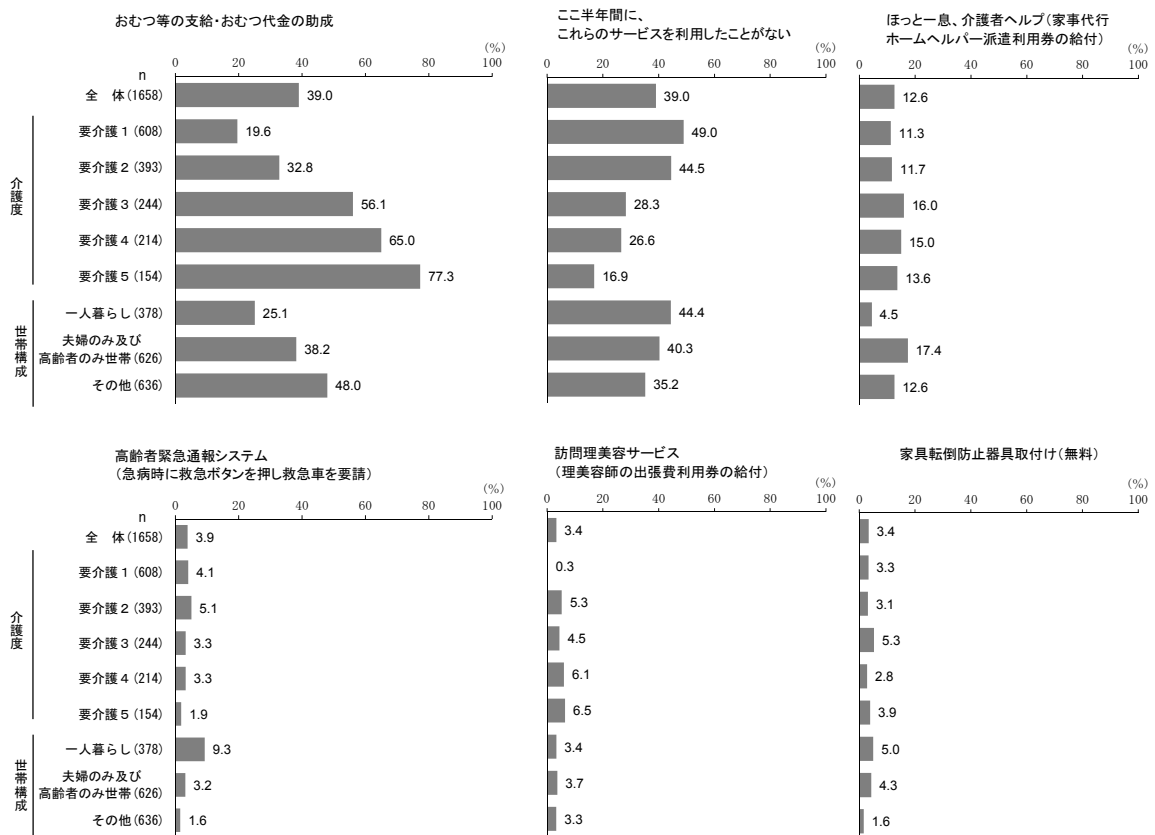
介護度別でみると、「必要になったら利用したい」の割合は要介護2で51.9%と最も多くなっている。(図表18-3)

(7) 高齢者在宅サービスの利用有無

問19 ここ半年間に、高齢者在宅サービス（区の独自サービス）を利用したことがありますか。
（あてはまるものすべてに○）

「おむつ等の支給・おむつ代金の助成」が39.0%、「ほっと一息、介護者ヘルプ（家事代行ホームヘルパー派遣利用券の給付）」が12.6%、「ここ半年間に、サービスを利用したことがない」が39.0%。

図表19-1 高齢者在宅サービスの利用有無(介護度別/世帯構成別) (上位6位まで)



半年間の高齢者在宅サービスの利用有無では、「おむつ等の支給・おむつ代金の助成」が39.0%、次いで「ほっと一息、介護者ヘルプ（家事代行ホームヘルパー派遣利用券の給付）」（12.6%）となっている。一方、「ここ半年間に、サービスを利用したことがない」は39.0%となっている。

介護度別でみると、「おむつ等の支給・おむつ代金の助成」は要介護度が高くなるにつれ割合が多くなり、要介護5は77.3%と他の要介護度に比べ多くなっている。一方、「ここ半年間に、これらのサービスを利用したことがない」は要介護度が高くなるにつれ、割合が少なくなっている。

世帯構成別でみると、「おむつ等の支給・おむつ代金の助成」では、「一人暮らし」が25.1%と他の世帯構成と比べやや少ない一方で、「高齢者緊急通報システム（急病時に救急ボタンを押し救急車を要請）」では「一人暮らし」が9.3%と他の世帯構成と比べ割合が多くなっている。（図表19-1）

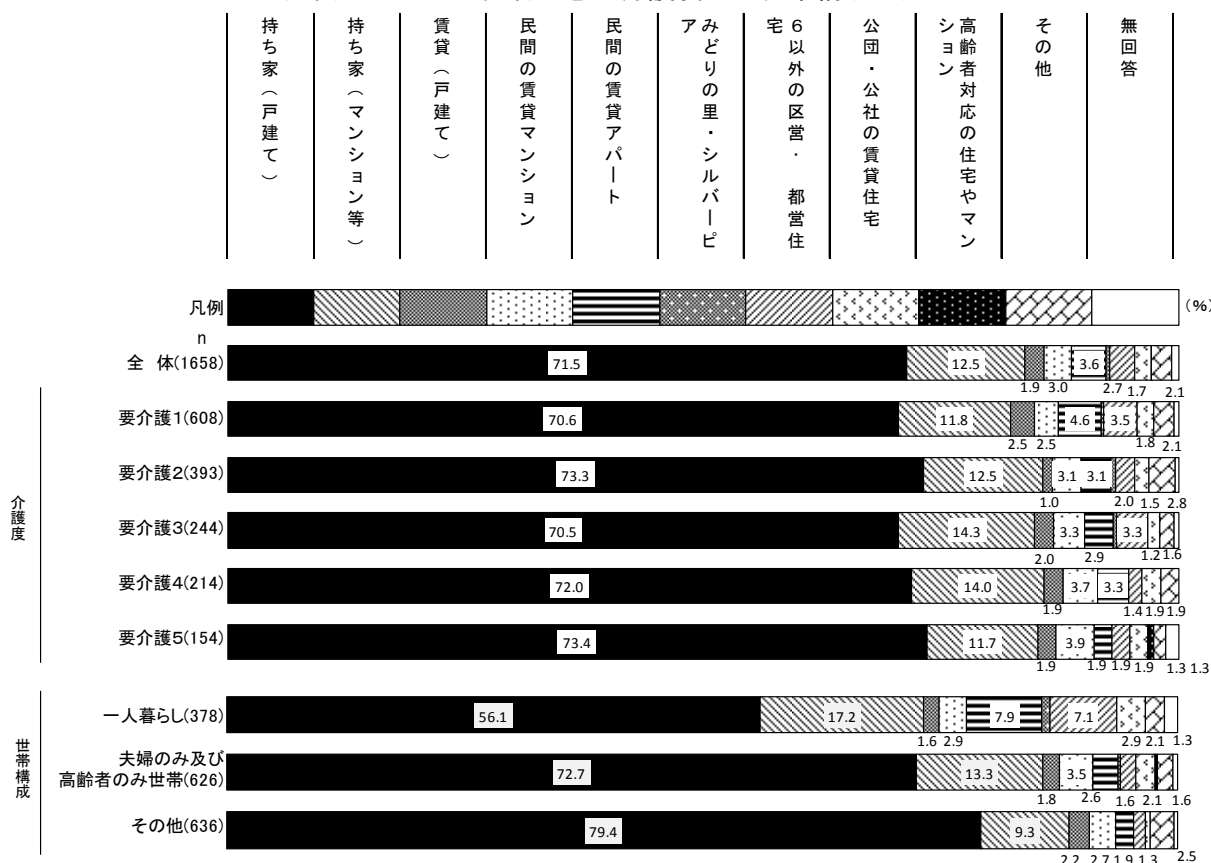
5. 住まいについて

(1) 居住形態

問20 現在のお住まいは次のうちどれですか。(1つに○)

「持ち家(戸建て)」が71.5%、「持ち家(マンション等)」が12.5%。

図表20-1 住居形態(介護度別/世帯構成別)



住居形態については、「持ち家(戸建て)」が71.5%で最も多く、次いで「持ち家(マンション等)」(12.5%)、「民間の賃貸アパート」(3.6%)の順となっている。

介護度別で見ると、要介護3と要介護4では「持ち家(マンション等)」が他の要介護度に比べ割合が多くなっている。

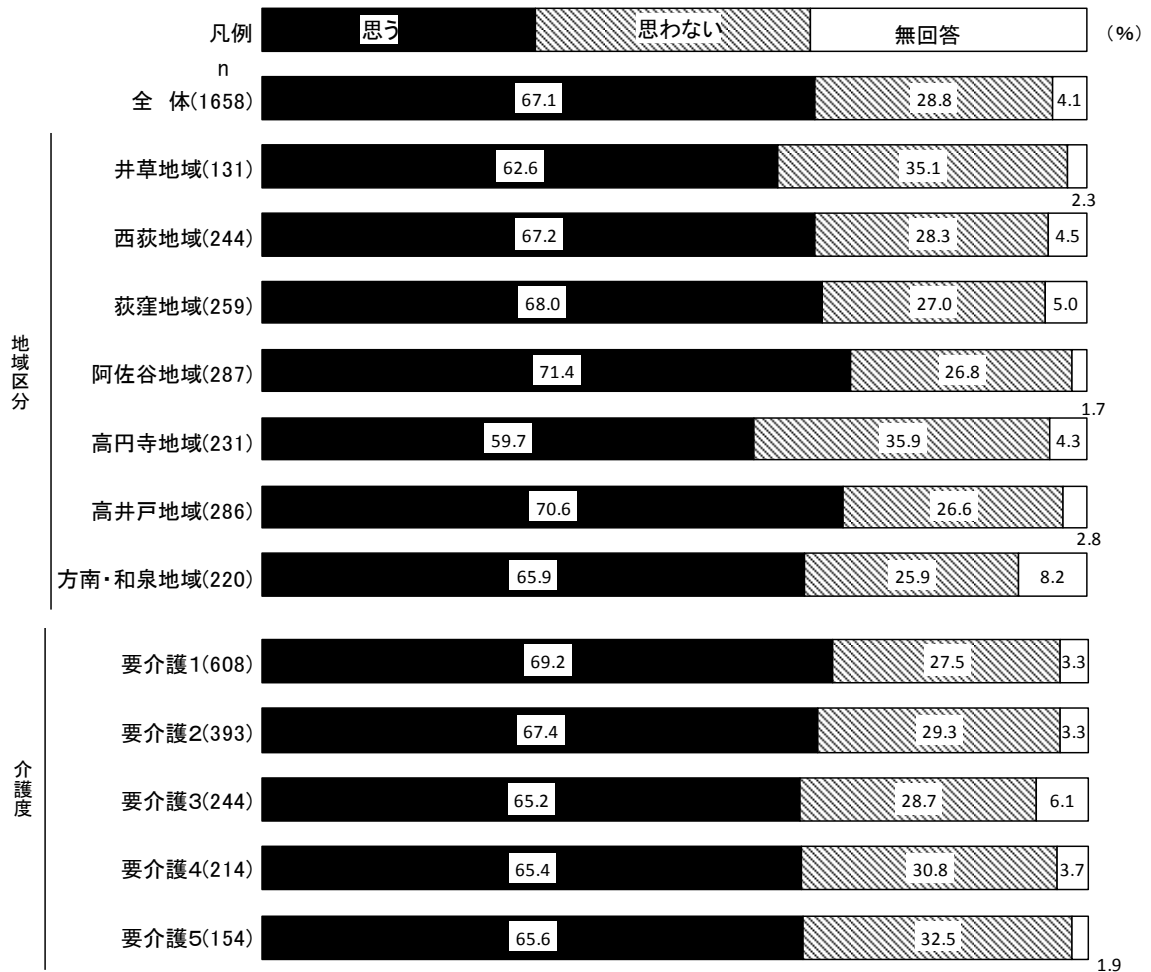
世帯構成別で見ると、「持ち家(戸建て)」では「夫婦のみ及び高齢者のみ世帯」が72.7%、「その他」が79.4%であるのに対して、「一人暮らし」では56.1%と割合が少なくなっている。一方、「持ち家(マンション等)」や「民間の賃貸アパート」では「一人暮らし」の割合が最も多くなっている。(図表20-1)

(2) 現在の住居が在宅生活に適しているかについて

問2-1 現在のお住まいは、介護を受けながら在宅生活を送るのに適していると思いますか。
(1つに○)

「思う」が67.1%、「思わない」が28.8%。

図表2-1-1 現在の住居が在宅生活に適しているかについて（地域区分別／介護度別）

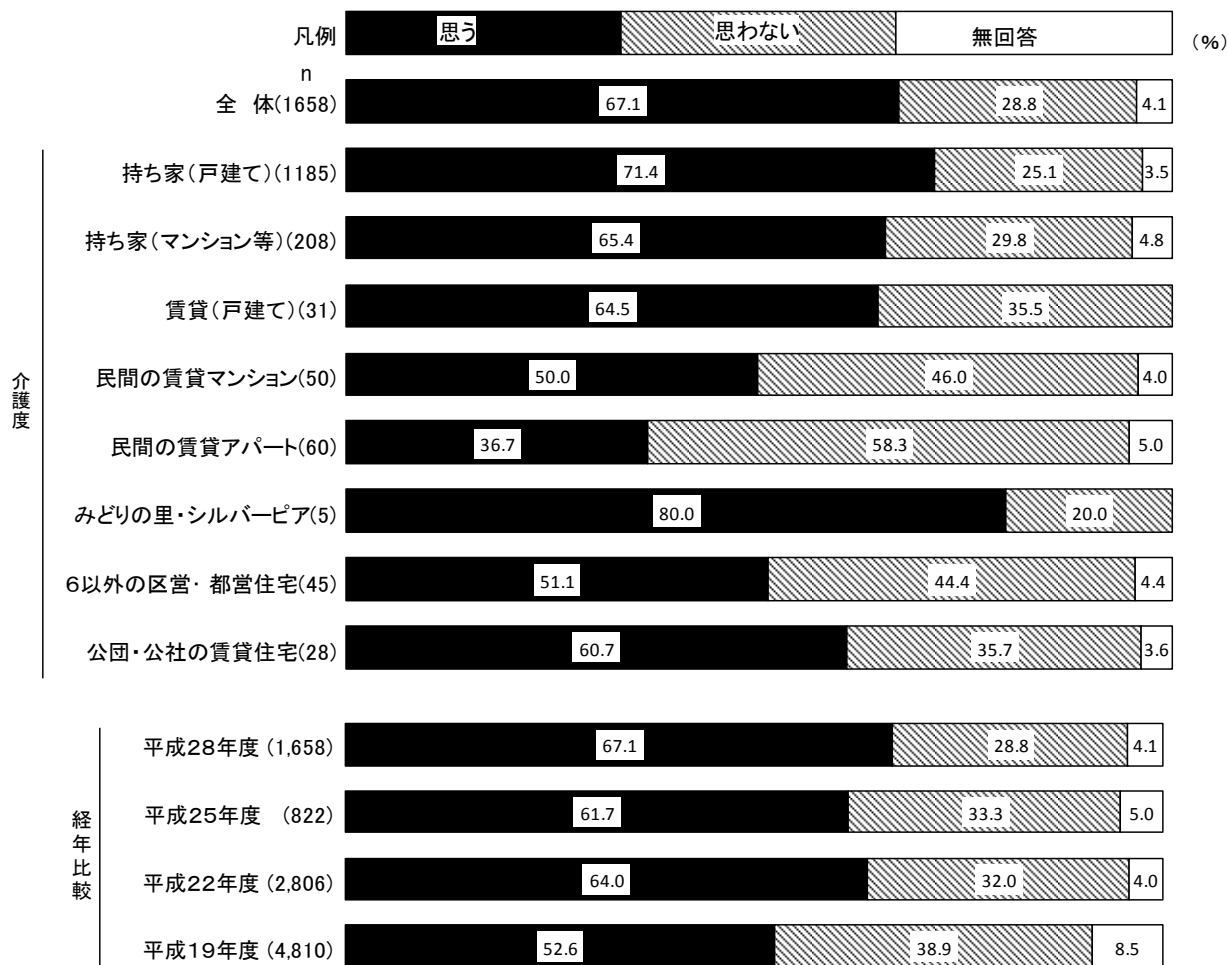


現在の住居が在宅生活に適しているかについては、「思う」が67.1%、「思わない」が28.8%となっている。

地域区分別でみると、「思う」の割合は「阿佐谷地域」が71.4%と他の地域に比べ最も多く、次いで「高井戸地域」(70.6%)、「荻窪地域」(68.0%)の順となっている。また、最も割合の多い「阿佐谷地域」(71.4%)と最も少ない「高円寺地域」(59.7%)の差は11.7ポイントとなっている。

介護度別でみると、要介護1から要介護3にかけて「思う」の割合がゆるやかに少なくなっているが、要介護3から要介護5にかけては微増している。(図表2-1-1)

図表 2 1 - 2 現在の住居が在宅生活に適しているかについて（住居形態別／経年比較）



住居形態別で見ると、「思う」では、分析数の少ない「みどりの里・シルバーピア」「高齢者対応の住宅やマンション」を除き、「持ち家（戸建て）」が 71.4%と最も多くなっており、次いで「持ち家（マンション等）」（65.4%）、「賃貸（戸建て）」（64.5%）の順となっている。

経年比較で見ると、「思う」は平成25年度より 5.4ポイント多くなっている。（図表 2 1 - 2）

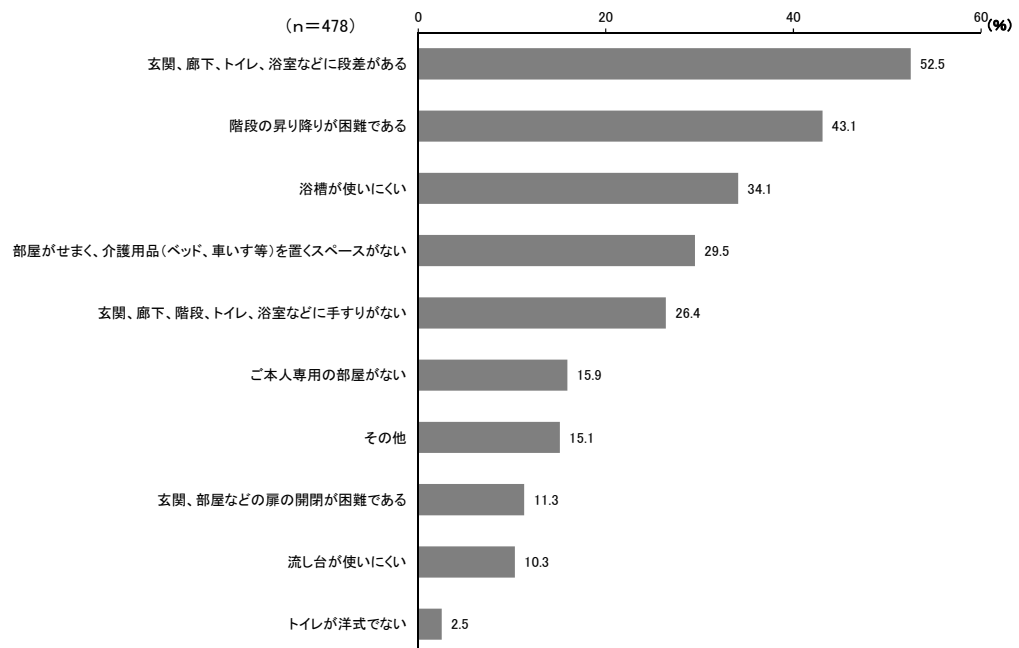
(3) 現在の住居が在宅生活に適していない理由

問22 (問21で「2 思わない」と回答された方におたずねします。)

在宅生活に適していると思わない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「玄関、廊下、トイレ、浴室などに段差がある」が52.5%、「階段の昇り降りが困難である」が43.1%、「浴槽が使いにくい」が34.1%。

図表22-1 現在の住居が在宅生活に適していない理由



現在の住居が在宅生活に適していない理由は、「玄関、廊下、トイレ、浴室などに段差がある」が52.5%と最も多く、次いで「階段の昇り降りが困難である」(43.1%)、「浴槽が使いにくい」(34.1%)、「部屋がせまく、介護用品(ベッド、車いす等)を置くスペースがない」(29.5%)、「玄関、廊下、階段、トイレ、浴室などに手すりがない」(26.4%)と続いている。(図表22-1)

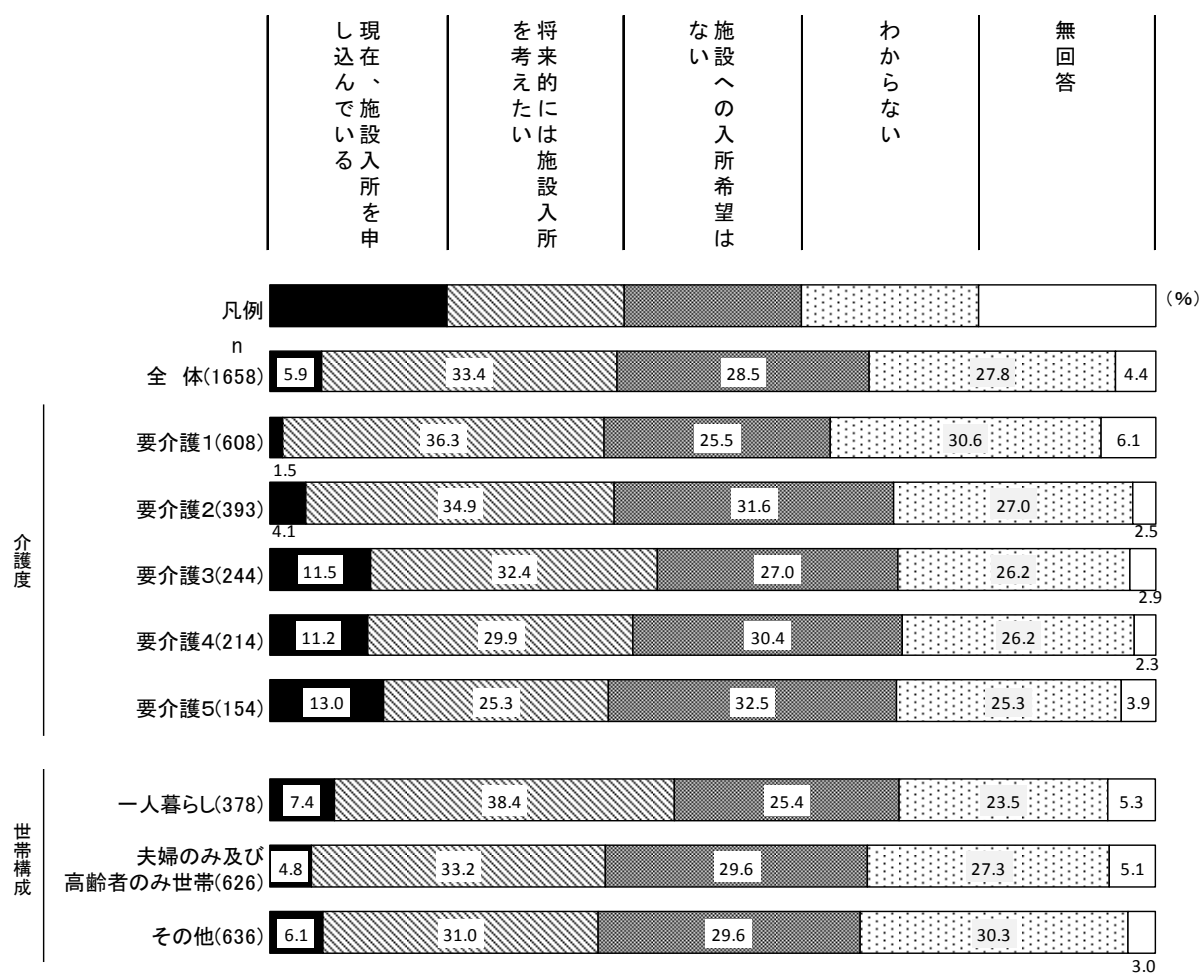
6. 施設入所について

(1) 施設入所の希望

問 2 3 介護保険施設や有料老人ホーム等に入所（居）希望がありますか。（1つに○）

「将来的には施設入所を考えたい」が33.4%、「施設への入所希望はない」が28.5%。

図表 2 3 - 1 施設入所の希望（介護度別／世帯構成別）

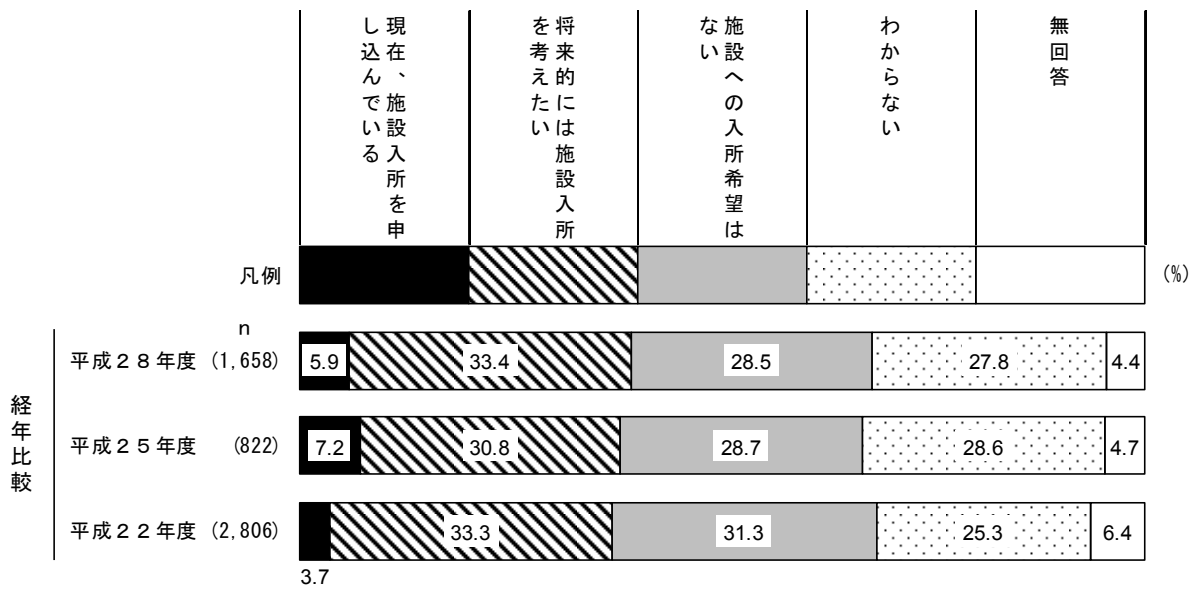


施設入所の希望については、「将来的には施設入所を考えたい」が33.4%と最も多く、次いで「施設への入所希望はない」（28.5%）、「わからない」（27.8%）の順となっている。

介護度別でみると、「現在、施設入所を申し込んでいる」は要介護3～5で1割以上を占めている。

世帯構成別でみると、「現在、施設入所を申し込んでいる」「将来的には施設入所を考えたい」は「一人暮らし」が最も多くなっており、「施設への入所希望はない」は「夫婦のみ及び高齢者のみ世帯」と「その他」の世帯で、「わからない」は「その他」の世帯で最も多くなっている。（図表23-1）

図表 2 3 - 2 施設入所の希望（経年比較）



※「施設入所の希望」に関する設問は平成22年度より追加。

経年比較でみると、「将来的には施設入所を考えたい」は平成25年度より2.6ポイント多くなっている。（図表23-2）

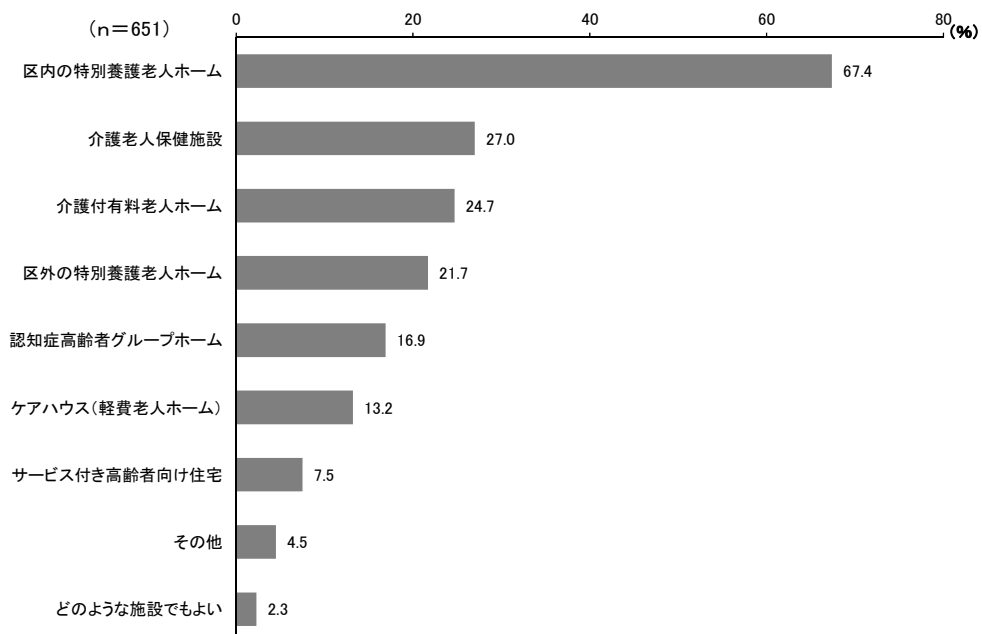
(2) 入所を希望する施設

問24 (問23で「1」または「2」と回答された方におたずねします。)

入所(居)を希望されている施設はどのような施設ですか。(希望するもの3つまで○)

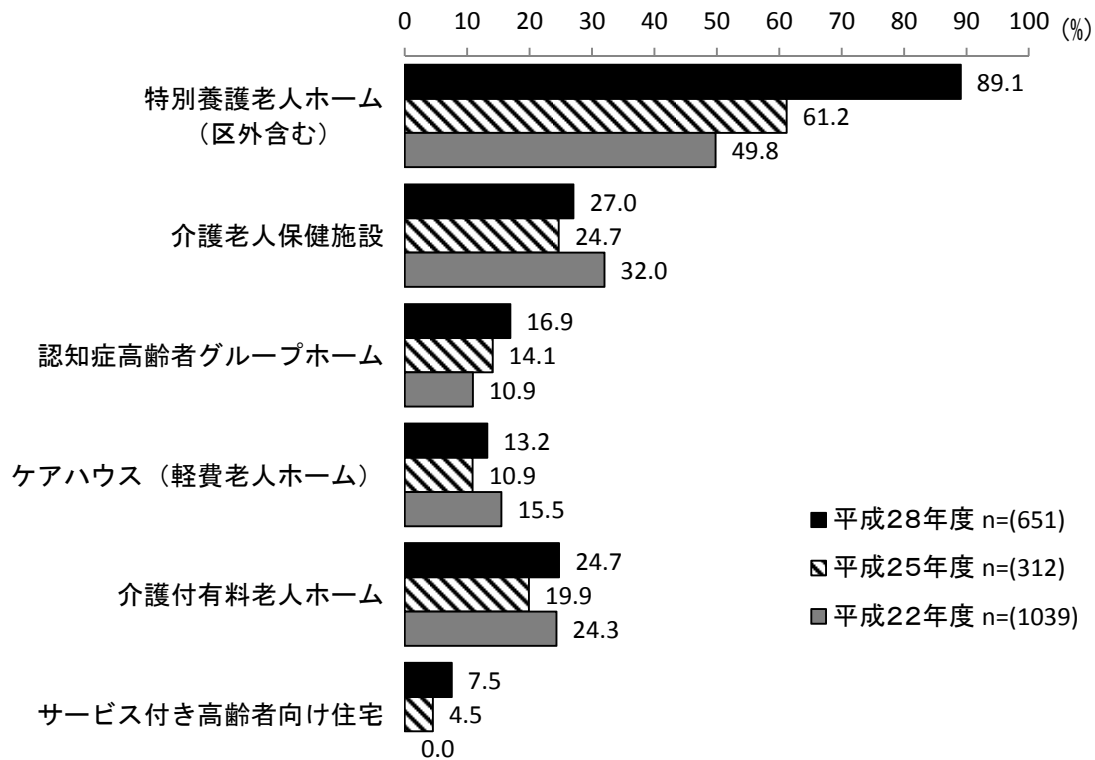
「区内の特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)」が67.4%、「介護老人保健施設」が27.0%、「介護付有料老人ホーム」が24.7%。

図表24-1 入所を希望する施設



入所を希望する施設については、「区内の特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)」が67.4%と最も多く、次いで「介護老人保健施設」(27.0%)、「介護付有料老人ホーム」(24.7%)、「区外の特別養護老人ホーム(介護老人保健施設)」(21.7%)、「認知症高齢者グループホーム」(16.9%)の順となっている。(図表24-1)

図表 2 4 - 2 入所を希望する施設（経年比較）



※「入所を希望する施設」に関する設問は平成22年度より追加。

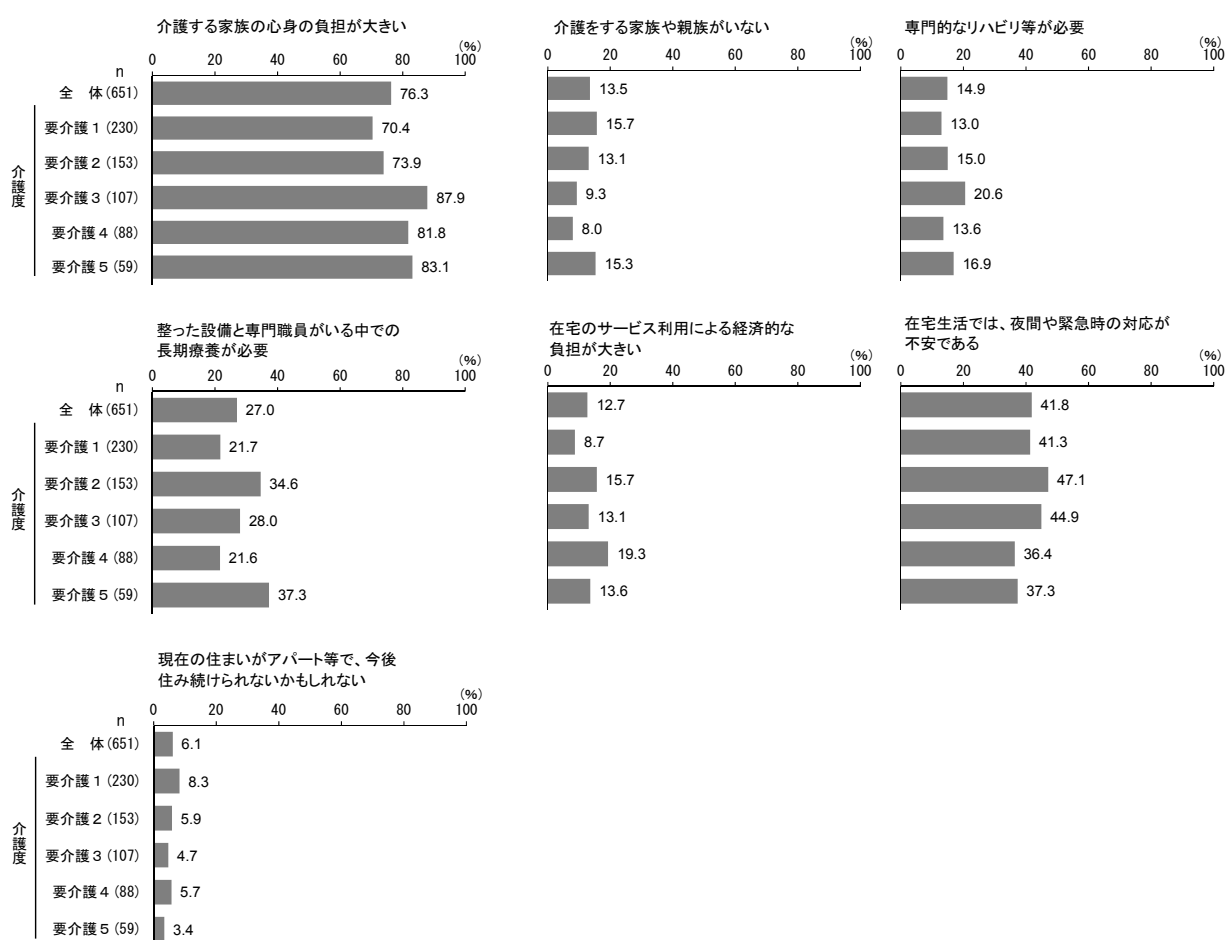
経年比較で見ると、「特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）」が平成25年度から27.9ポイント増加しており、次いで「介護付有料老人ホーム」が4.8ポイント増となっている。（図表24-2）

(3) 入所を希望する理由

問25 (問23で「1」または「2」と回答された方におたずねします。)
 現在、または将来において施設に入所したいとお考えの理由は何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

「介護する家族の心身の負担が大きい」が76.3%、「在宅生活では、夜間や緊急時の対応が難しい」が41.8%。

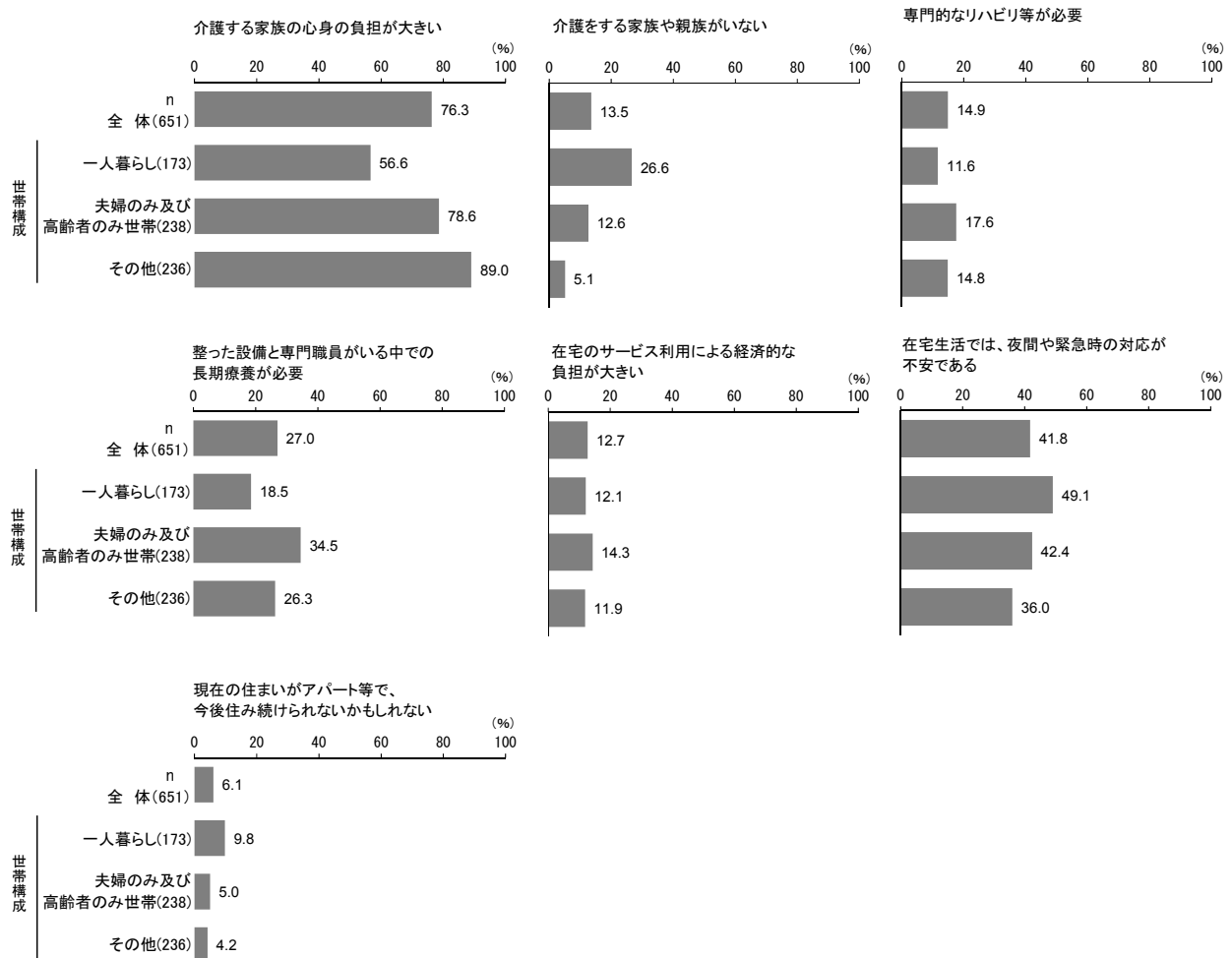
図表25-1 入所を希望する理由(介護度別)



入所を希望する理由は、「介護する家族の心身の負担が大きい」が76.3%と最も多く、次いで「在宅生活では、夜間や緊急時の対応が不安である」(41.8%)、「整った設備と専門職員がいる中での長期療養が必要」(27.0%)の順となっている。

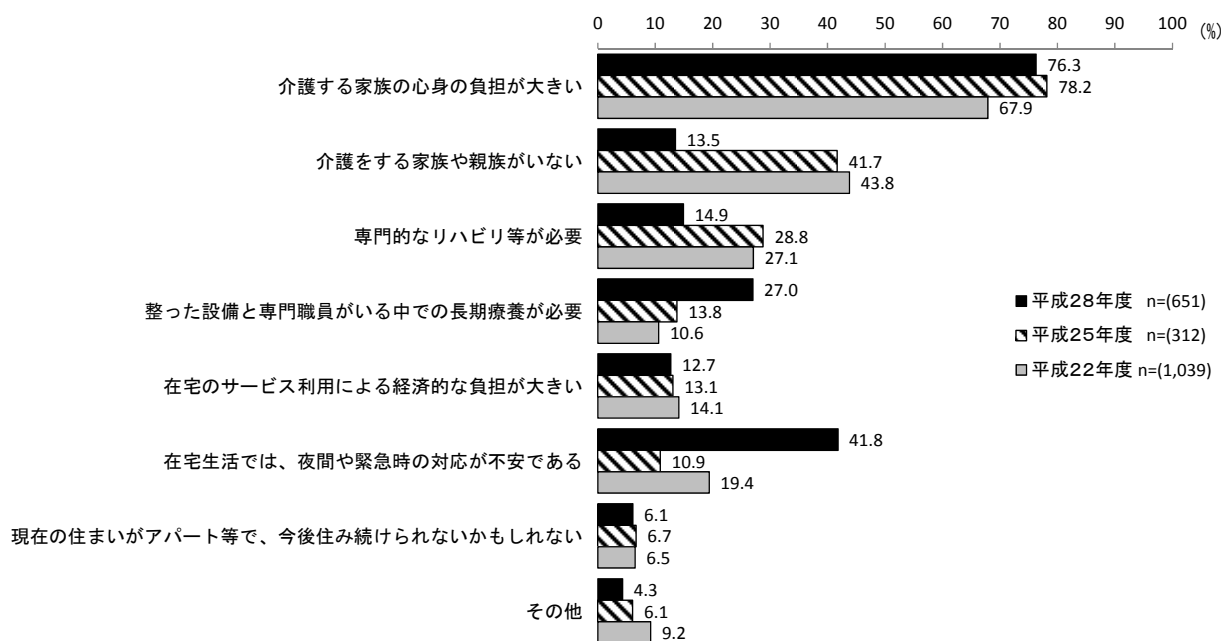
介護度別でみると、各介護度で「介護する家族の心身の負担が大きい」の割合が最も多くなっているが、要介護3～要介護5においては8割を超えている。また、「整った設備と専門職員がいる中での長期療養が必要」の割合も要介護5では37.3%と、他の要介護度に比べ多くなっている。(図表25-1)

図表 25-2 入所を希望する理由（世帯構成別）



世帯構成別でみると、各世帯構成とも「介護する家族の心身の負担が大きい」の割合が最も高くなっており、次いで「在宅生活では、夜間や緊急時の対応が不安である」の割合が高くなっている。（図表 25-2）

図表 25-3 入所を希望する理由（経年比較）



※「入所を希望する理由」に関する設問は平成22年度より追加。

経年比較でみると、「在宅生活では、夜間や緊急時の対応が不安である」は平成25年度より30.9ポイント多くなっている。一方、「介護をする家族や親族がいない」は平成25年度より28.2ポイント、「専門的なりハビリ等が必要」は平成25年度より13.9ポイント少なくなっている。（図表25-3）

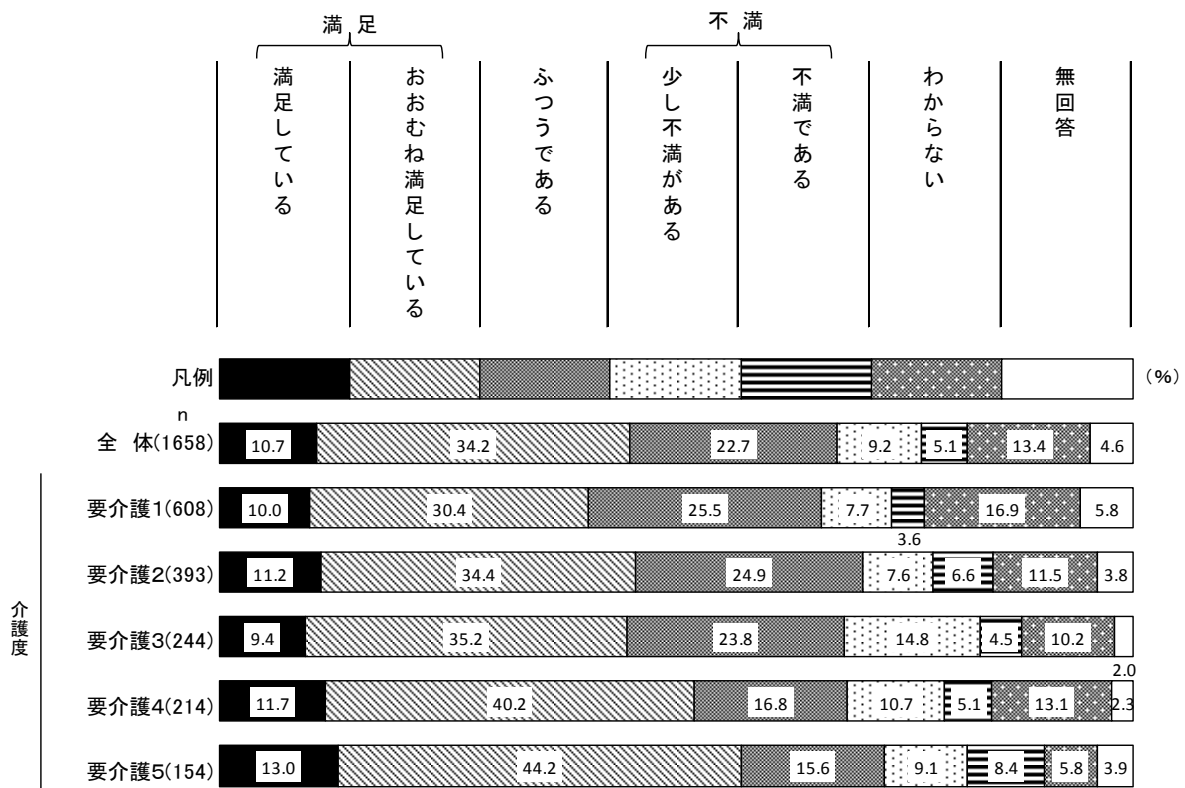
7. 介護保険制度について

(1) 介護保険サービスの満足度

問26 介護保険サービス全般の内容に満足していますか。(1つに○)

『満足』（「満足している」＋「おおむね満足している」）は44.9%、『不満』（「少し不満がある」＋「不満である」）が14.3%。

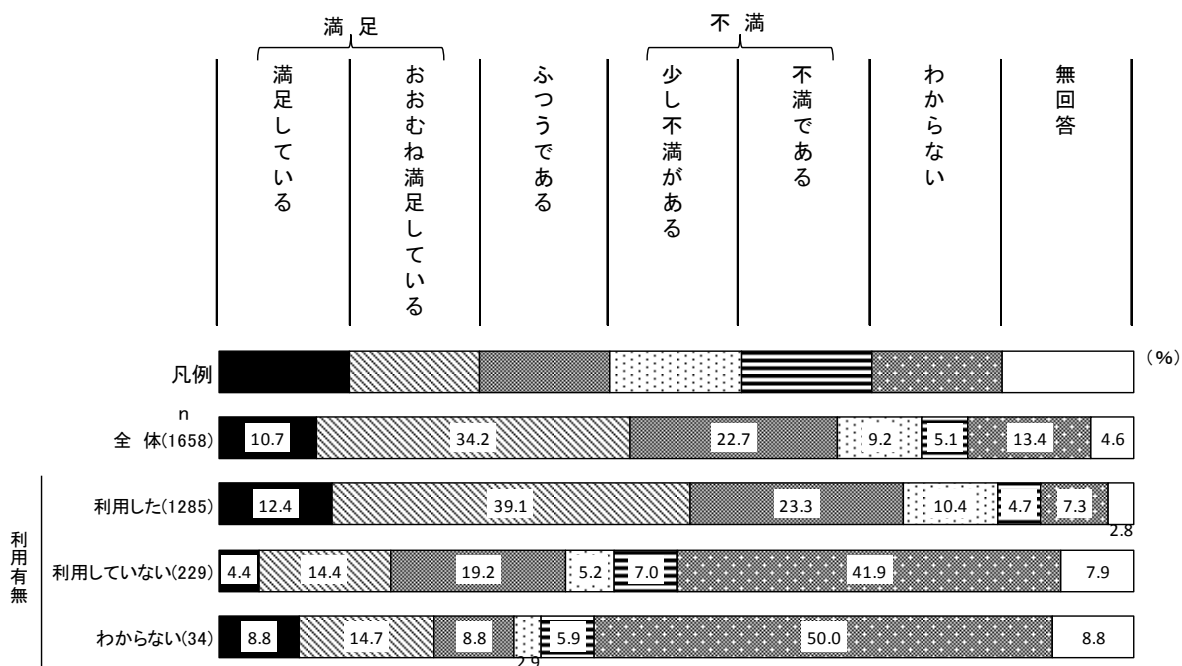
図表26-1 介護保険サービスの満足度（介護度別）



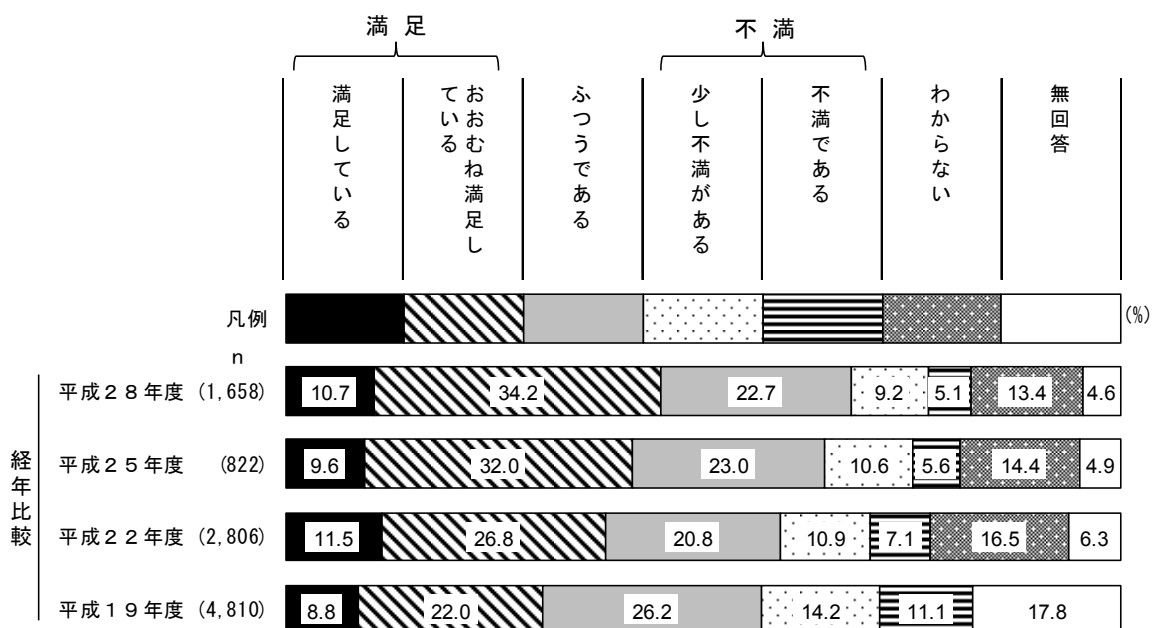
介護保険サービスの満足度については、『満足』（「満足している」＋「おおむね満足している」）の44.9%が、『不満』（「少し不満がある」＋「不満である」）の14.3%を大きく上回っている。個別に見ると「おおむね満足している」が34.2%と最も多く、次いで「ふつうである」（22.7%）、「わからない」（13.4%）、「満足している」（10.7%）の順となっている。

介護度別でみると、要介護度が上がるにつれて、『満足』の割合がおおむね増加している。要介護4および要介護5では『満足』が50%以上となっている。（図表26-1）

図表 26-2 介護保険サービスの満足度（介護保険サービスの利用有無別）



図表 26-3 介護保険サービスの満足度（経年比較）



介護保険サービスの利用の有無別で見ると、『満足』の割合が「利用した」で51.5%、「利用していない」で18.8%となっている。

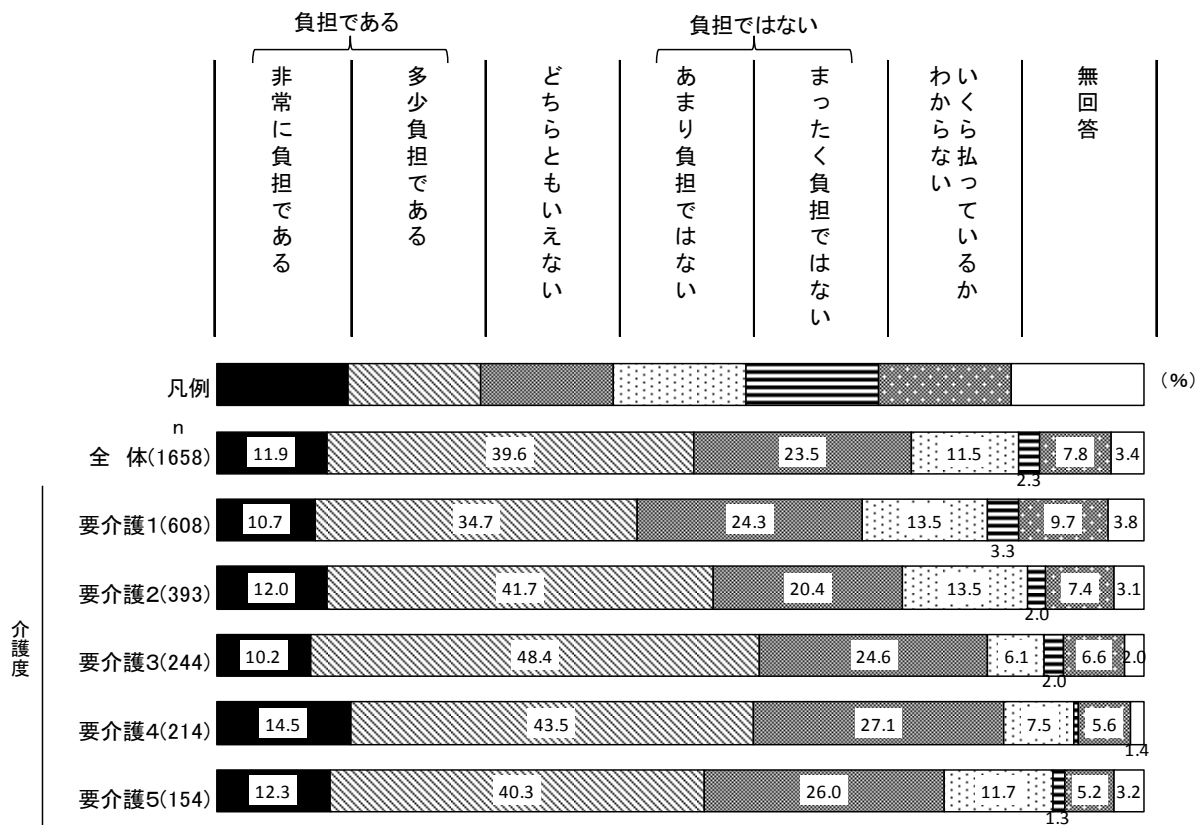
経年比較で見ると、「おおむね満足している」は年度とともに多くなる傾向がみられる。(図26-3)

(2) 介護保険料の負担感

問27 現在の介護保険料をどのように感じていますか。(1つに○)

「多少負担である」が 39.6%、「どちらともいえない」が 23.5%、「非常に負担である」が 11.9%。

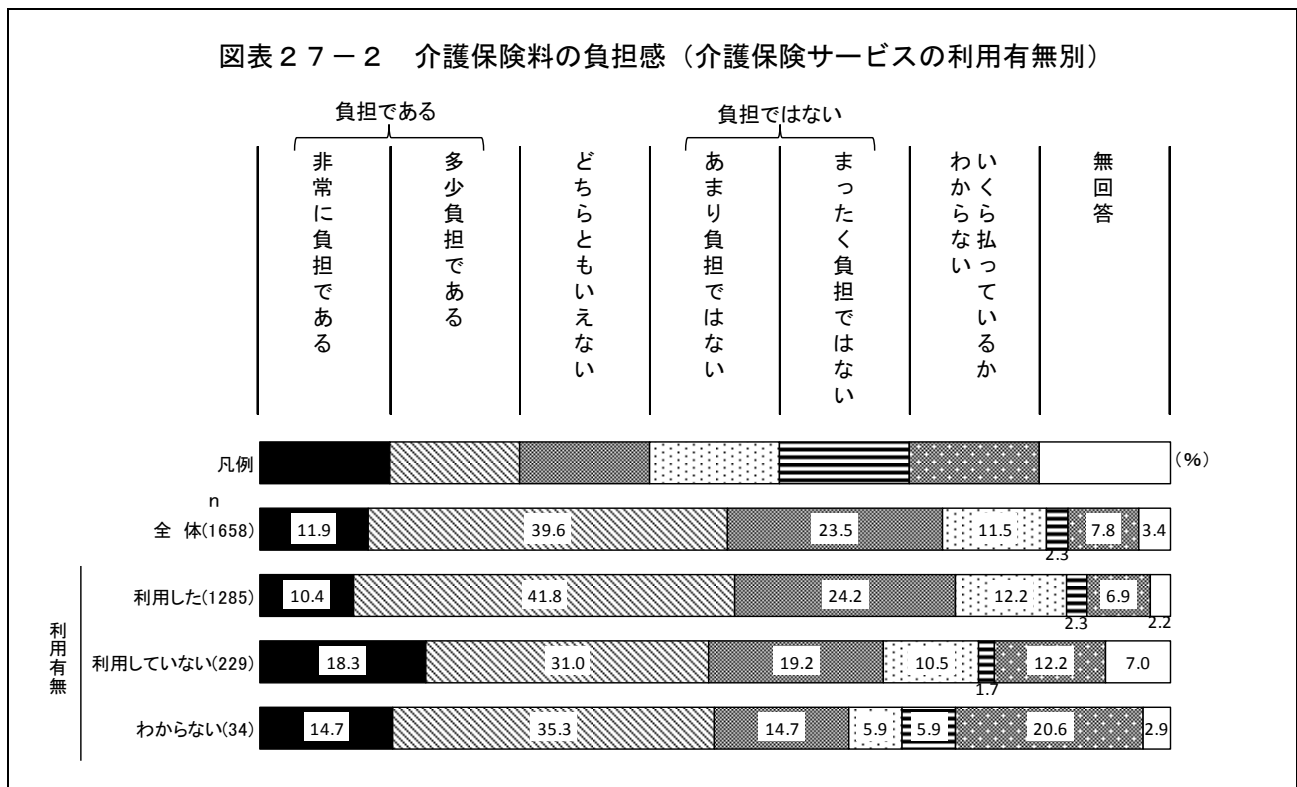
図表27-1 介護保険料の負担感(介護度別)



介護保険料の負担感については、『負担である』(「非常に負担である」+「多少負担である」)が51.5%となっており、『負担ではない』(「あまり負担ではない」+「まったく負担ではない」)の13.8%を上回っている。

介護度別でみると、要介護3と要介護4は、他の要介護度に比べ『負担である』の割合が多くなっている。また、要介護1(45.4%)を除き、全ての要介護度において『負担である』の割合が半数を超えている。(図27-1)

図表 27-2 介護保険料の負担感（介護保険サービスの利用有無別）



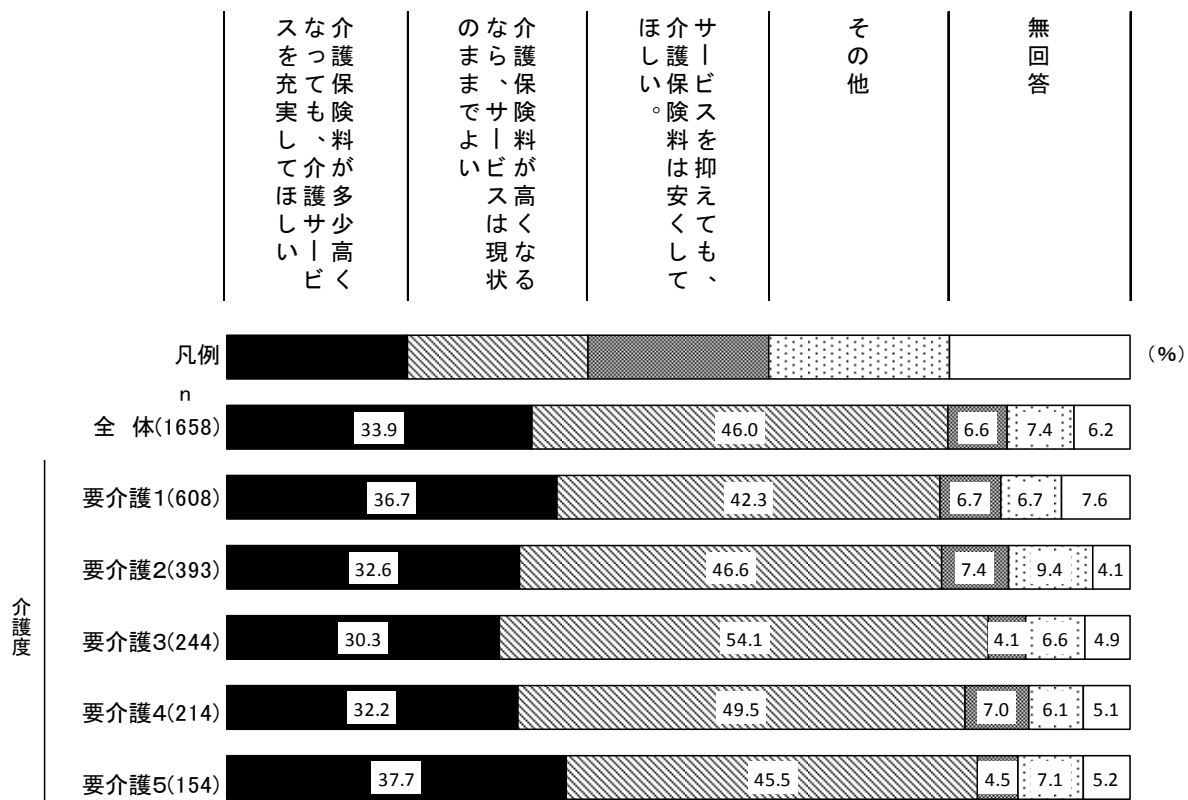
介護保険サービスの利用有無別でみると、「多少負担である」と「どちらともいえない」は、「利用した」が「利用していない」を上回っているが、「非常に負担である」は「利用していない」が18.3%と、「利用した」(10.4%)を上回っている。しかし、『負担である』(「非常に負担である」+「多少負担である」)の割合は、「利用した」が52.2%に対して、「利用していない」が49.3%となっている。また、『負担ではない』(「あまり負担ではない」+「まったく負担ではない」)の割合は、「利用した」が14.5%に対して、「利用していない」が12.2%となっている。(図27-2)

(3) 介護保険サービスと保険料のあり方について

問28 介護サービスと介護保険料のあり方について、ご本人のお考えにもっとも近いものはどれですか。(1つに○)

「介護保険料が高くなるなら、サービスは現状のままでよい」が46.0%、「介護保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい」が33.9%。

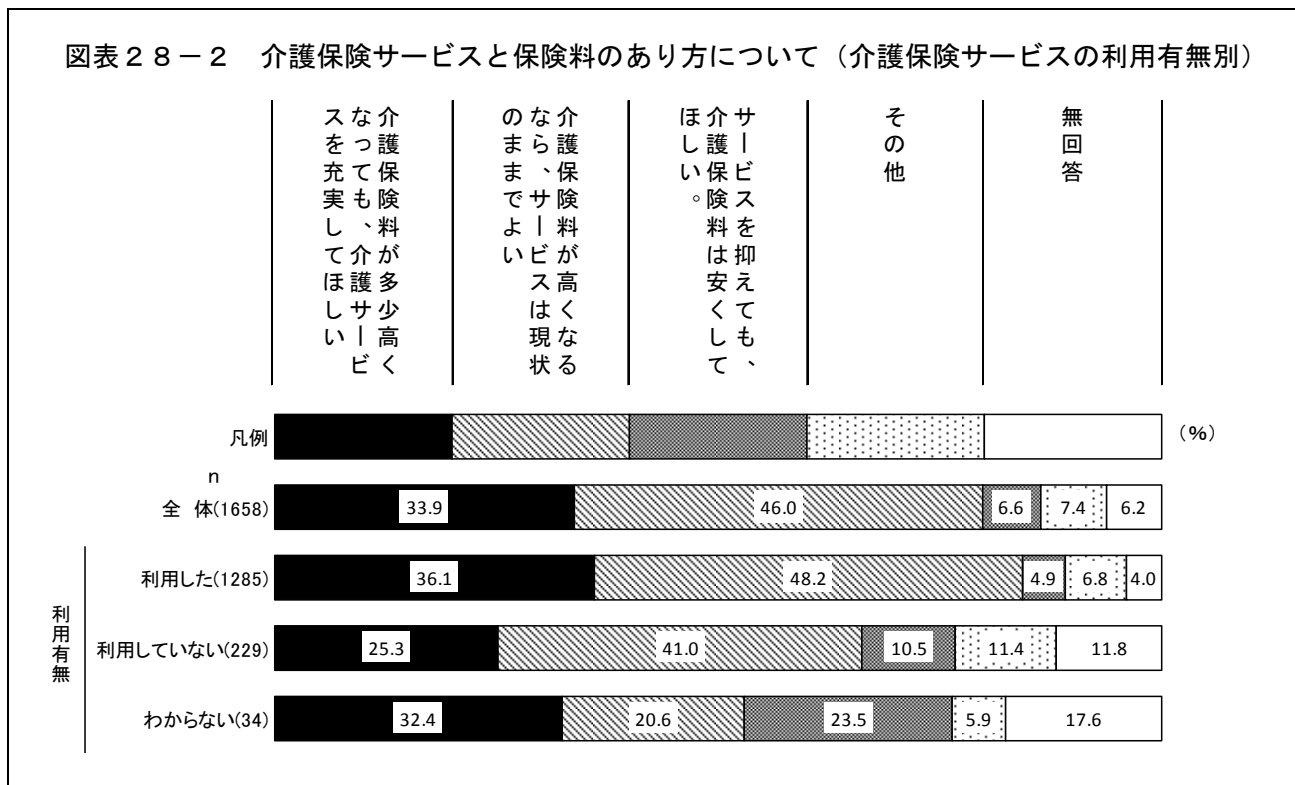
図表28-1 介護保険サービスと保険料のあり方について（介護度別）



介護保険料とサービスのあり方については、「介護保険料が高くなるなら、サービスは現状のままでよい」が46.0%と最も多く、次いで「介護保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい」(33.9%)、「サービスを抑えても、介護保険料は安くしてほしい」(6.6%)の順となっている。

介護度別でみると、「介護保険料が高くなるなら、サービスは現状のままでよい」は要介護1から要介護3と要介護度が高くなるにつれ多くなっている。一方、「介護保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい」は要介護5の割合が多くなっている。(図表28-1)

図表 28-2 介護保険サービスと保険料のあり方について（介護保険サービスの利用有無別）



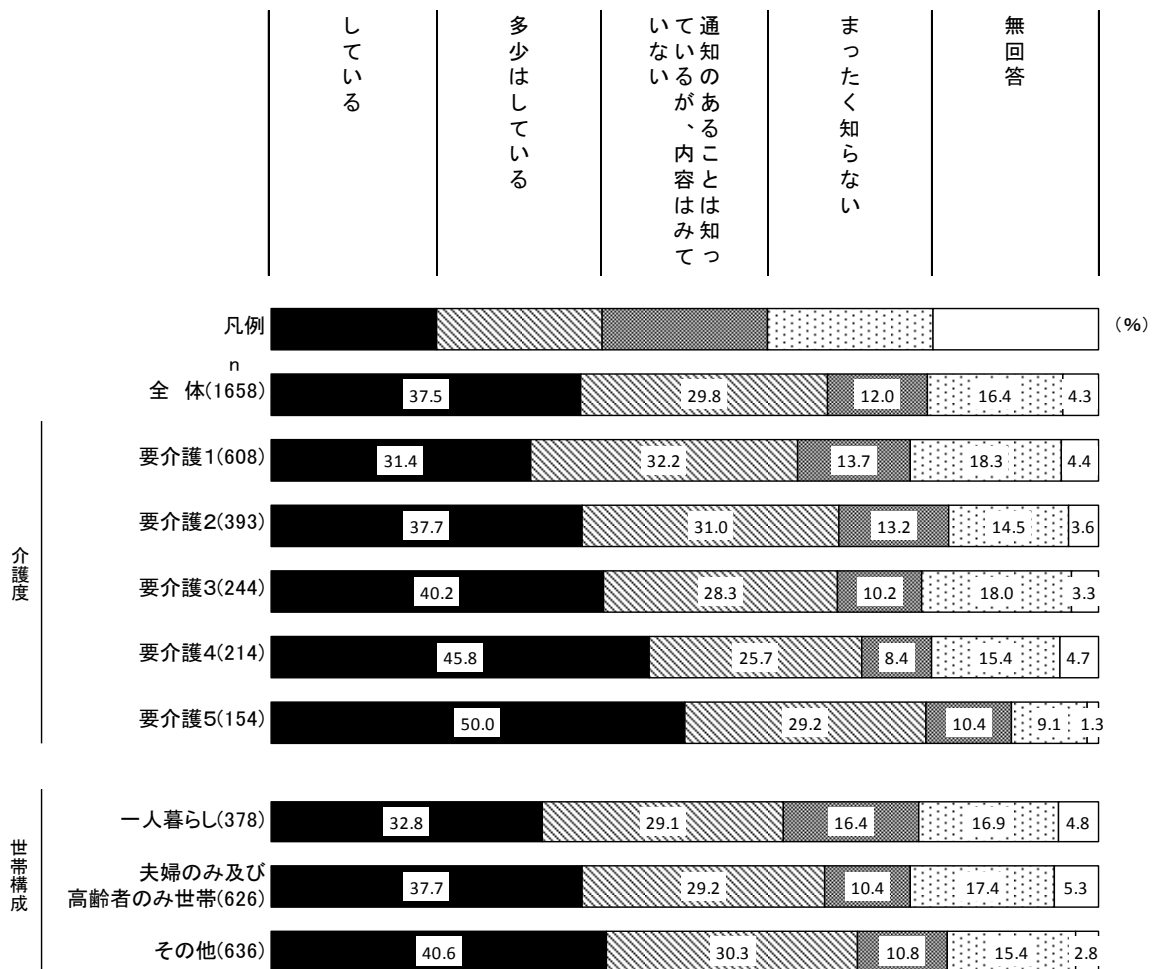
介護保険サービス利用別でみると、「介護保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい」が、「利用した」では36.1%、「利用していない」では25.3%と差がみられる。また、「介護保険料が高くなるなら、サービスは現状のままでよい」では、「利用した」では48.2%であるのに対し、「利用していない」では41.0%と少なくなっている。（図表28-2）

(4) 介護保険サービス利用費のお知らせの確認有無

問29 介護保険サービス利用の費用について、区から年2回お知らせしていますが、内容を確認していますか。(1つに○)

「している」が37.5%、「多少はしている」が29.8%、「まったく知らない」が16.4%。

図表29-1 介護保険サービス利用費のお知らせの確認有無(介護度別/世帯構成別)



介護保険サービス利用費のお知らせの確認有無については、「している」が37.5%と最も多く、次いで「多少はしている」(29.8%)、「まったく知らない」(16.4%)、「通知のあることは知っているが、内容はみえていない」(12.0%)の順となっている。

介護度別で見ると、要介護度が高くなるにつれて、「している」の割合が多くなる傾向がみられ、要介護5では50.0%とちょうど半数になっている。また、「通知のあることは知っているが、内容はみえていない」「まったく知らない」は、要介護度が高くなるにつれておおむね減少している。

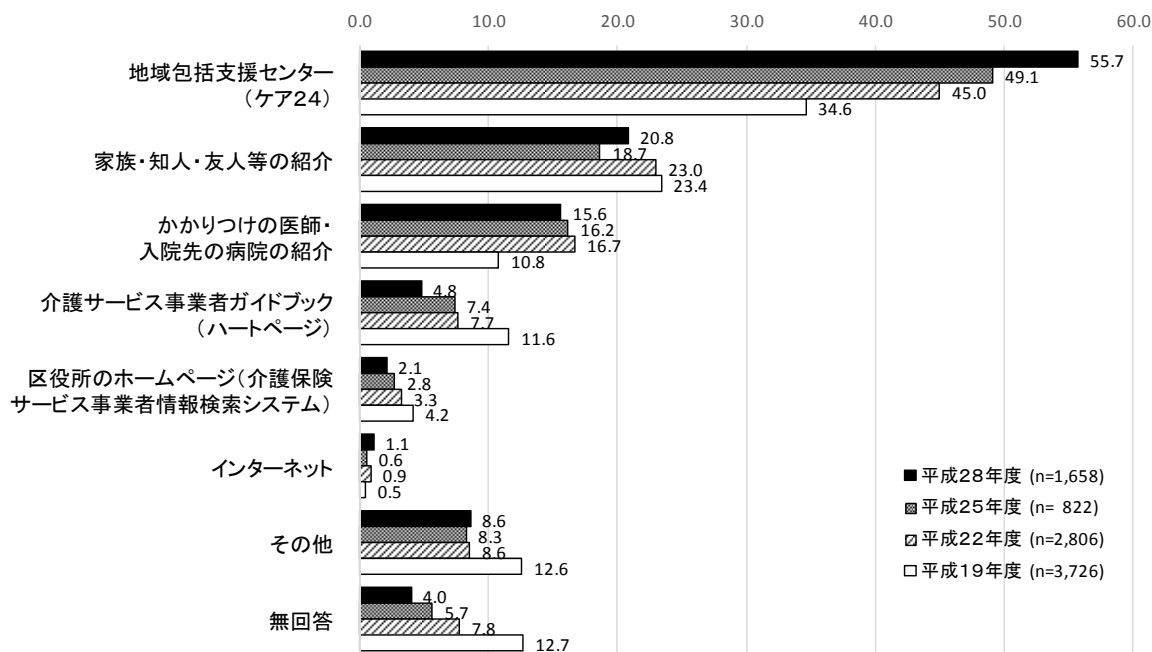
世帯構成別で見ると、「している」は、「その他」では40.6%と最も多く、「一人暮らし」では32.8%と最も少なくなっている。一方、「まったく知らない」は、「その他」で15.4%と最も少なく、「夫婦のみ及び高齢者のみ世帯」で17.4%と最も多くなっている。(図表29-1)

(5) ケアマネジャーの事業所を知った経緯

問30 ケアマネジャーと契約をするとき、その事業所をどのようにお知りになりましたか。(あてはまるものすべてに○)

「地域包括支援センター（ケア24）」が55.7%、「家族・知人・友人等の紹介」が20.8%、「かかりつけの医師・入院先の病院の紹介」が15.6%。

図表30-1 ケアマネジャーの事務所を知った経緯（経年比較）



ケアマネジャーの事務所を知った経緯については、「地域包括支援センター（ケア24）」が55.7%と最も多く、次いで「家族・知人・友人等の紹介」（20.8%）、「かかりつけの医師・入院先の病院の紹介」（15.6%）と続いている。

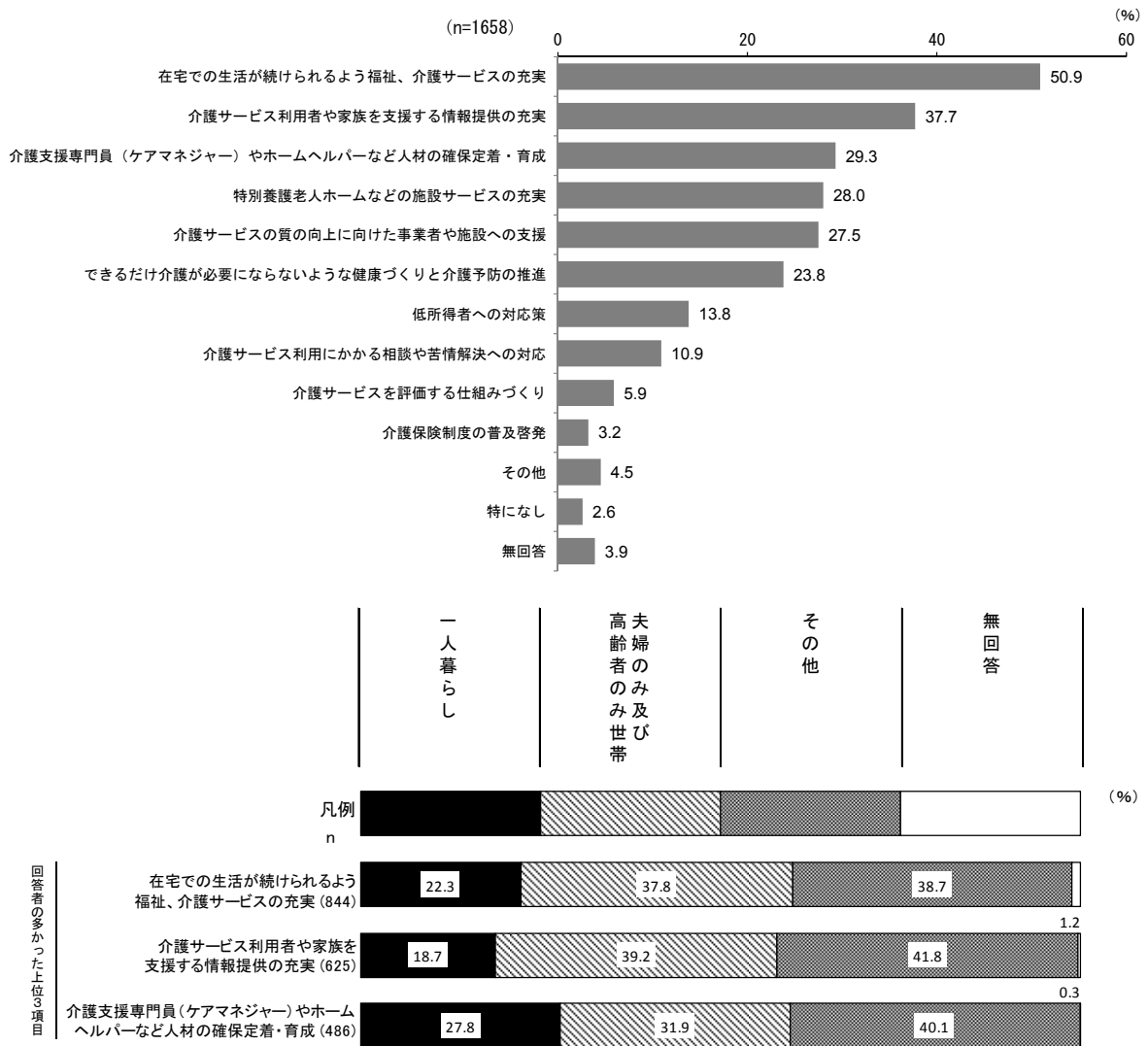
経年比較でみると、「地域包括支援センター（ケア24）」は平成25年度より6.6ポイント多くなっている。（図表30-1）

(6) 今後、区が力を入れていくべきと思う施策

問3 1 今後、区が力を入れていくべきと思うものは何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

最も要望が多かったのは「在宅での生活が続けられるよう福祉、介護サービスの充実」、次いで「介護サービス利用者や家族を支援する情報提供の充実」、「介護支援専門員(ケアマネジャー)やホームヘルパーなど人材の確保定着・育成」。

図表3 1-1 今後、区が力を入れていくべきと思う施策



上位3項目について世帯構成別でみると、「一人暮らし」では「介護支援専門員(ケアマネジャー)やホームヘルパーなど人材の確保定着・育成」(27.8%)、「夫婦のみ及び高齢者のみ世帯」では「介護サービス利用者や家族を支援する情報提供の充実」(39.2%)がそれぞれ最も多くなっている。(図表3 1-1)

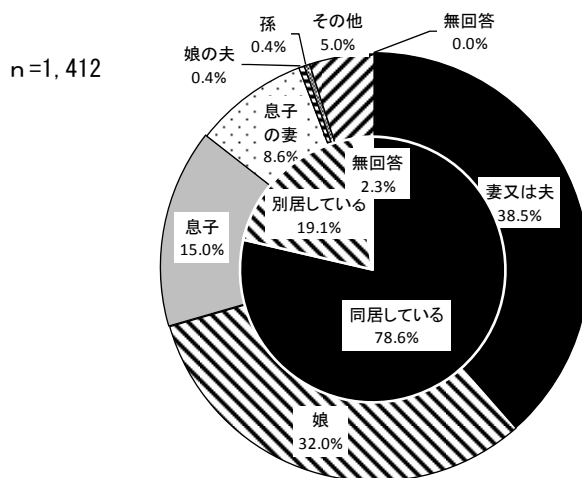
8. 介助・介護者への設問

(1) 主な介護者

問32 ふだん主に介護やお世話をしているのはどなたですか。(1つに○)
介護保険の認定を受けているご本人からみた続柄でご回答ください。

「妻又は夫」が38.5%、「娘」が32.0%、「息子」が15.0%。

図表32-1 主な介護者



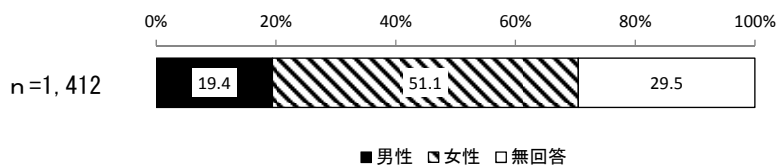
主な介護者は、「妻又は夫」が38.5%と最も多く、次いで「娘」(32.0%)、「息子」(15.0%)と続いている。(図表32-1)

(2) 主な介護者の性別

問33 主に介護をしている方(問32でお答えいただいた方)の状況についておたずねします。
(1) 性別

「男性」が19.4%、「女性」が51.1%。

図表33-1 主な介護者の性別



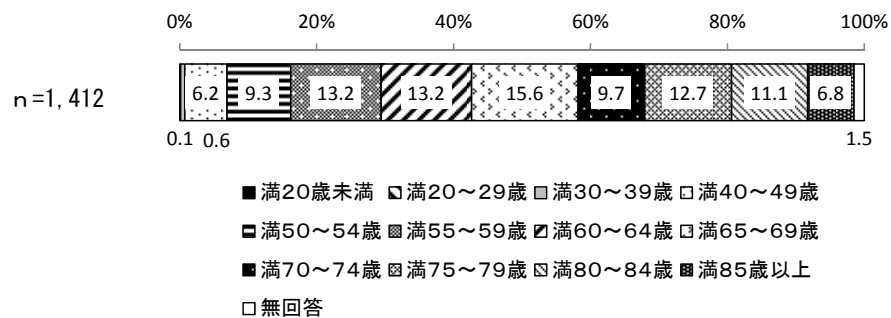
主な介護者の性別は、「男性」が19.4%、「女性」が51.1%と約半数を女性が占めている。(図表33-1)

(3) 主な介護者の年齢

問33 主に介護をしている方（問32でお答えいただいた方）の状況についておたずねします。
 (2) 年齢

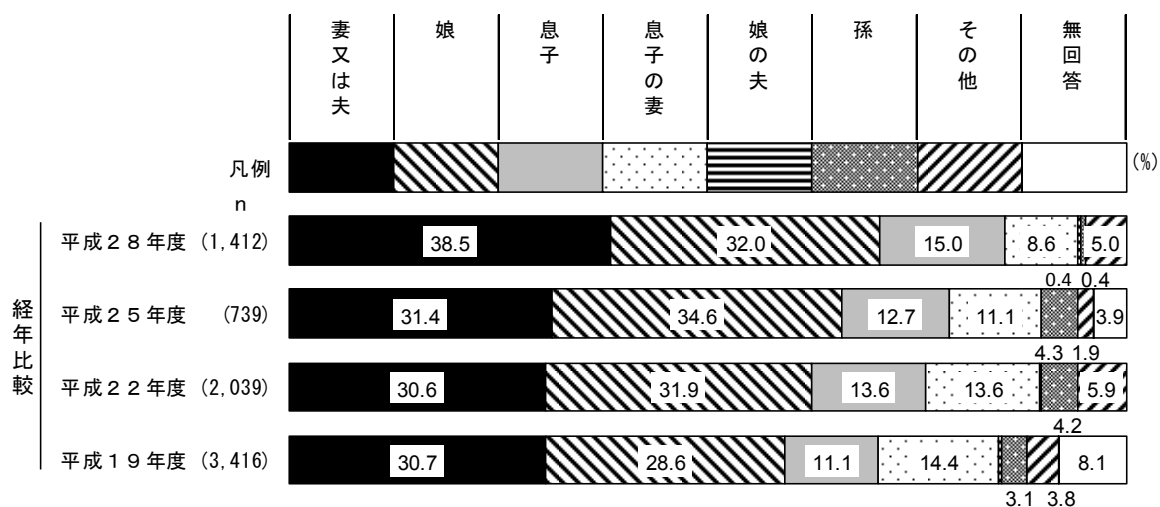
「満65～69歳」が15.6%、「満60～64歳」、「満55～59歳」が13.2%。

図表33-2 主な介護者の年齢

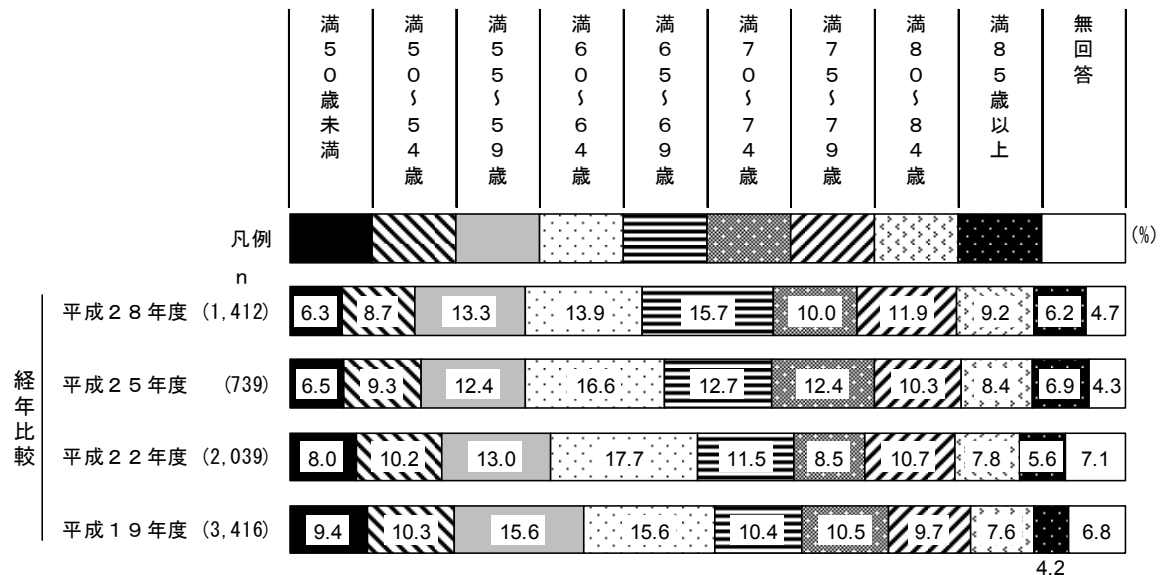


主な介護者の年齢は、「満65～69歳」が15.6%と最も多く、「満60～64歳」、「満55～59歳」(各13.2%)と続いている。(図表33-2)

図表32-2 主な介護者（経年比較）



図表33-3 主な介護者の年齢（経年比較）



経年比較でみると、「妻又は夫」は平成25年度より7.1ポイント多くなっている。（図表32-2）
 満65歳以上の介護者の比率が上昇しており、老・老介護の実態がうかがえる。（図表33-3）

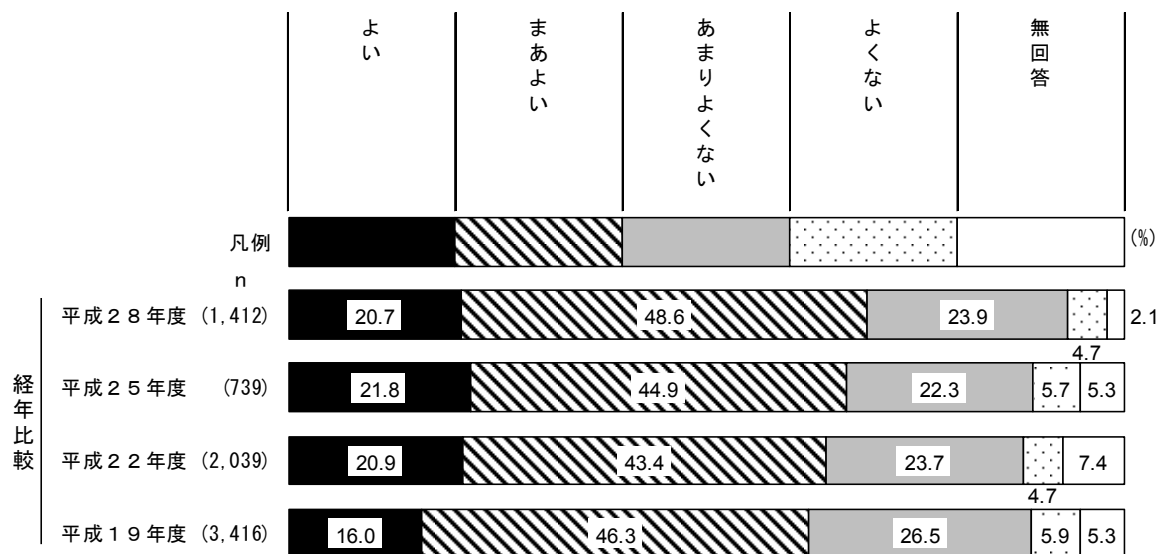
(4) 主な介護者の健康状態

問33 主に介護をしている方（問32でお答えいただいた方）の状況についておたずねします。

(3) 健康状態

「まあよい」が48.6%、「あまりよくない」が23.9%、「よい」が20.7%。

図表33-4 主な介護者の健康状態（経年比較）



主な介護者の健康状態は、「まあよい」が48.6%と最も多く、次いで「あまりよくない」(23.9%)、「よい」(20.7%)と続いている。

経年比較でみると、「まあよい」は平成25年度より3.7ポイント多くなっている。(図表33-4)

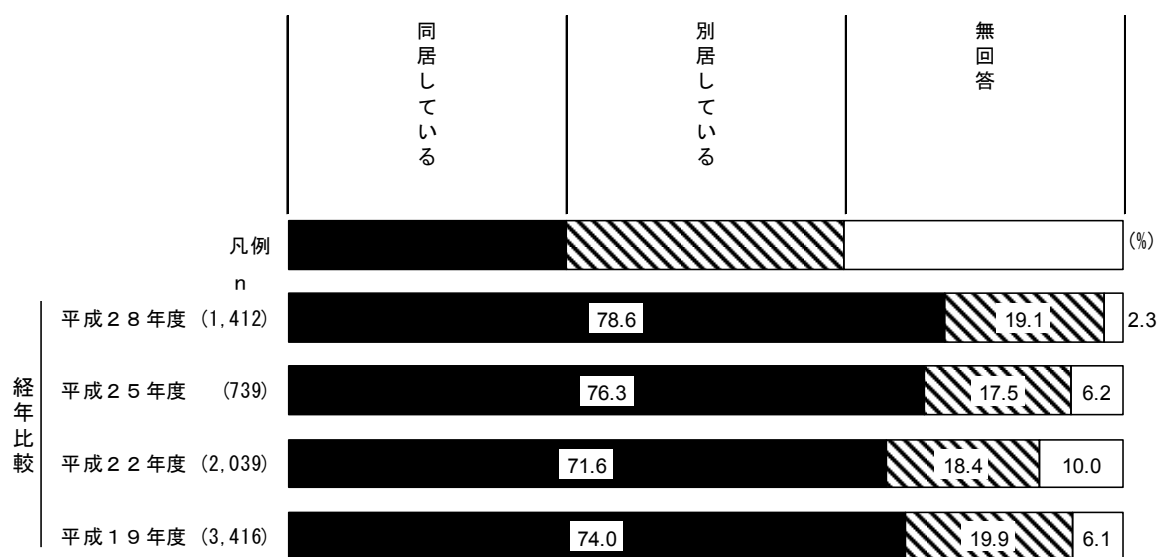
(5) 主な介護者の高齢者ご本人との同居の状況

問33 主に介護をしている方（問32でお答えいただいた方）の状況についておたずねします。

(4) 高齢者ご本人との同居の状況

「同居している」が78.6%、「別居している」が19.1%。

図表33-5 主な介護者の高齢者ご本人との同居の状況（経年比較）



主な介護者の高齢者ご本人との同居の状況は、「同居している」が78.6%、「別居している」が19.1%となっている。

経年比較でみると、「同居している」は平成22年度より7.0ポイント多くなっている。(図表33-5)

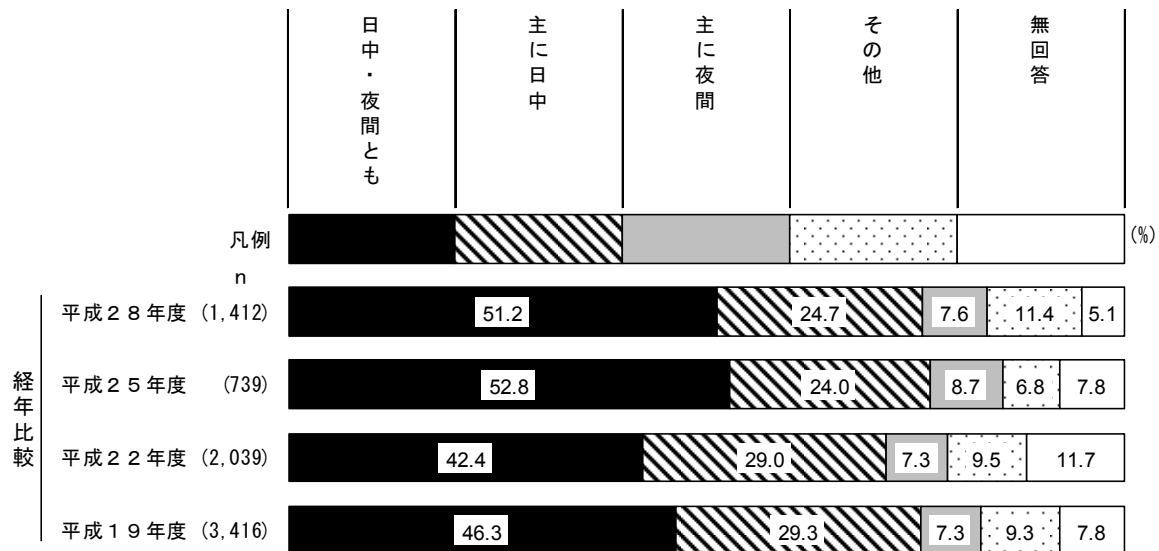
(6) 主な介護者の介護の時間帯

問33 主に介護をしている方（問32でお答えいただいた方）の状況についておたずねします。

(5) 介護の時間帯

「日中・夜間とも」が51.2%、「主に日中」が24.7%、「主に夜間」が7.6%。

図表33-6 主な介護者の介護の時間帯（経年比較）



主な介護者の介護の時間帯は、「日中・夜間とも」が51.2%と最も多く、次いで「主に日中」(24.7%)、「主に夜間」(7.6%)と続いている。

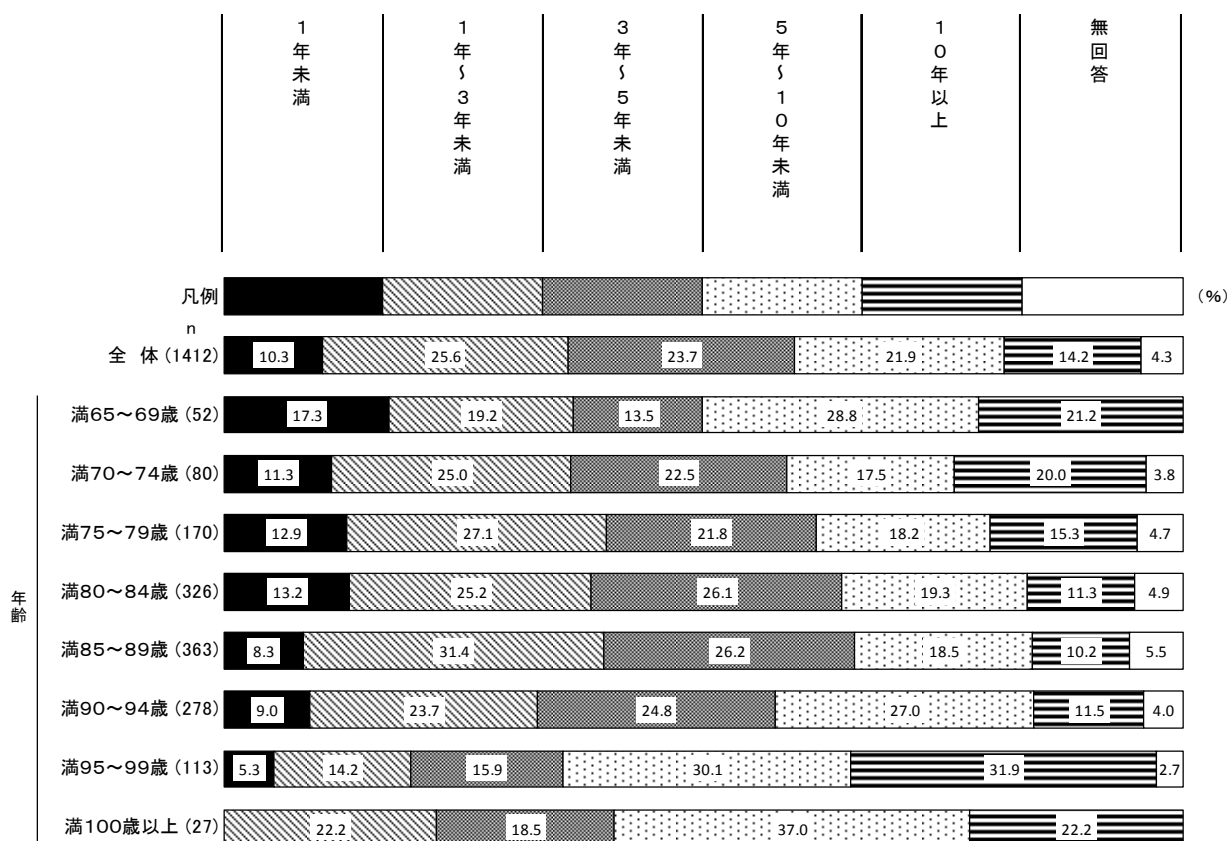
経年比較でみると、「日中・夜間とも」は平成22年度より8.8ポイント多くなっている。(図表33-6)

(7) 主な介護者の介護年数

問33 主に介護をしている方（問32でお答えいただいた方）の状況についておたずねします。
 (6) 介護年数

「1年～3年未満」が25.6%、「3年～5年未満」が23.7%、「5年～10年未満」が21.9%。

図表33-7 主な介護者の介護年数（本人の年齢層別）

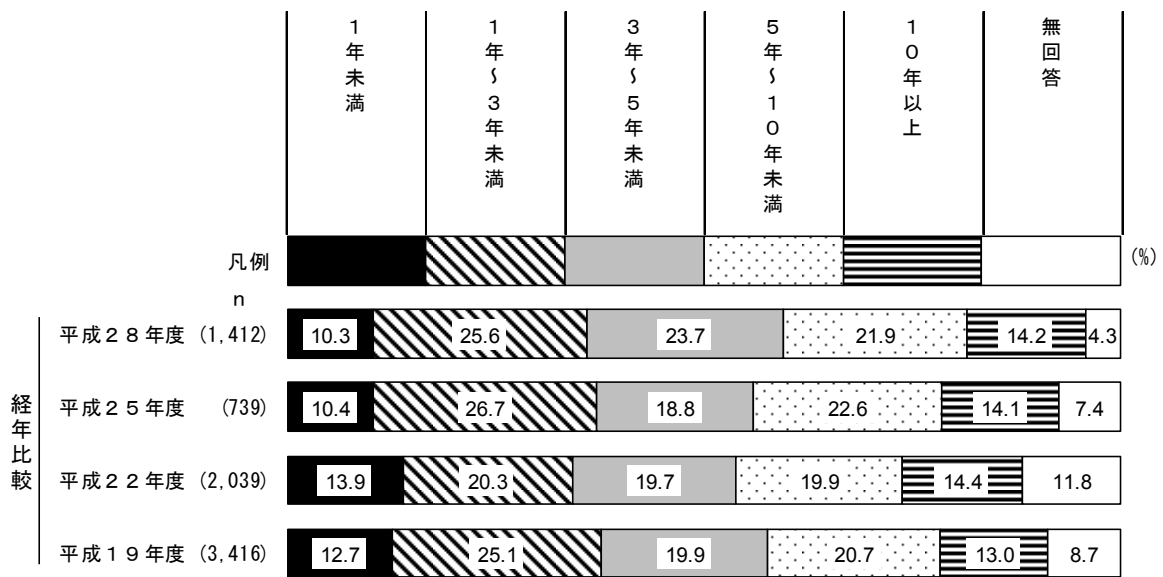


主な介護者の介護年数は、「1年～3年未満」が25.6%と最も多く、次いで「3年～5年未満」(23.7%)、「5年～10年未満」(21.9%)、「10年以上」(14.2%)の順となっている。

本人の年齢層別でみると、満80～84歳では「3年～5年未満」が、満65～69歳と満90歳以上では「5年～10年未満」が最も多くなっている。「1年未満」の割合は、年齢が上がるにつれておむね減少傾向にある。

また、満65～69歳の50%は介護年数が5年以上となっている。(図表33-7)

図表 3 3 - 8 主な介護者の介護年数（経年比較）



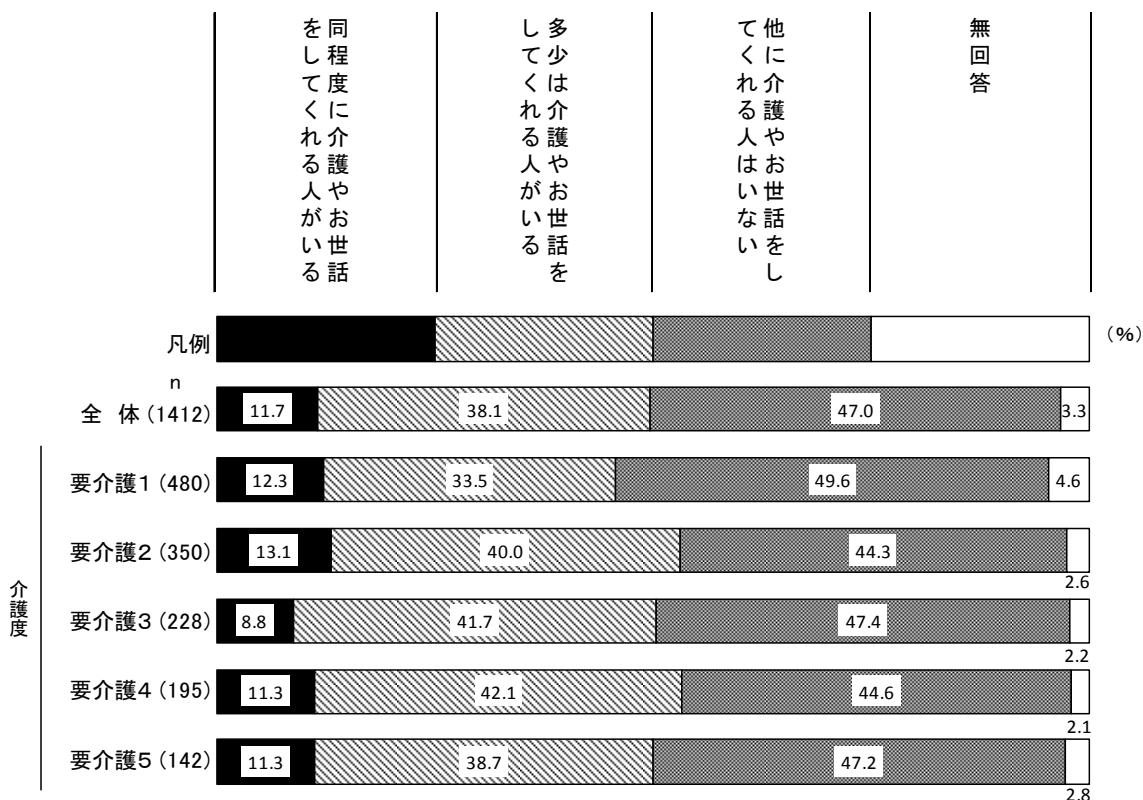
経年比較でみると、「3年～5年未満」は平成25年度より4.9ポイント多くなっている。（図表33-8）

(8) 主な介護者以外の介護者の有無

問34 主に介護をしている方以外に、介護やお世話をする方（ヘルパーを除く）はいますか。
 (1つに○)

「他に介護やお世話をしてくれる人はいない」が47.0%、「多少は介護やお世話をしてくれる人がある」が38.1%。

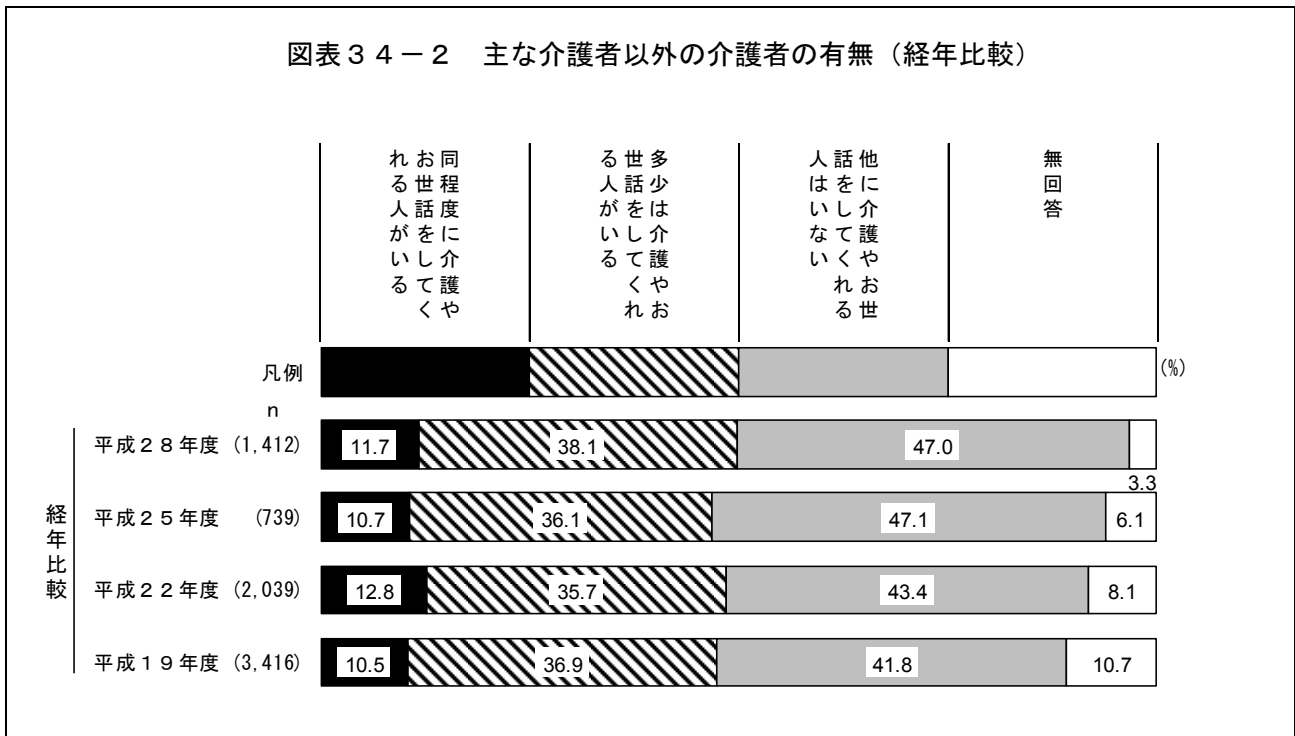
図表34-1 主な介護者以外の介護者の有無（介護度別）



主な介護者以外の介護者の有無について、「他に介護やお世話をしてくれる人はいない」が47.0%と最も多く、次いで「多少は介護やお世話をしてくれる人がある」(38.1%)、「同程度に介護やお世話をしてくれる人がある」(11.7%)の順となっている。

介護度別でみると、要介護4において「多少は介護やお世話をしてくれる人がある」が42.1%と最も多くなっている。また、要介護3において「他に介護やお世話をしてくれる人はいない」が47.4%と最も多くなっている。(図表34-1)

図表34-2 主な介護者以外の介護者の有無（経年比較）



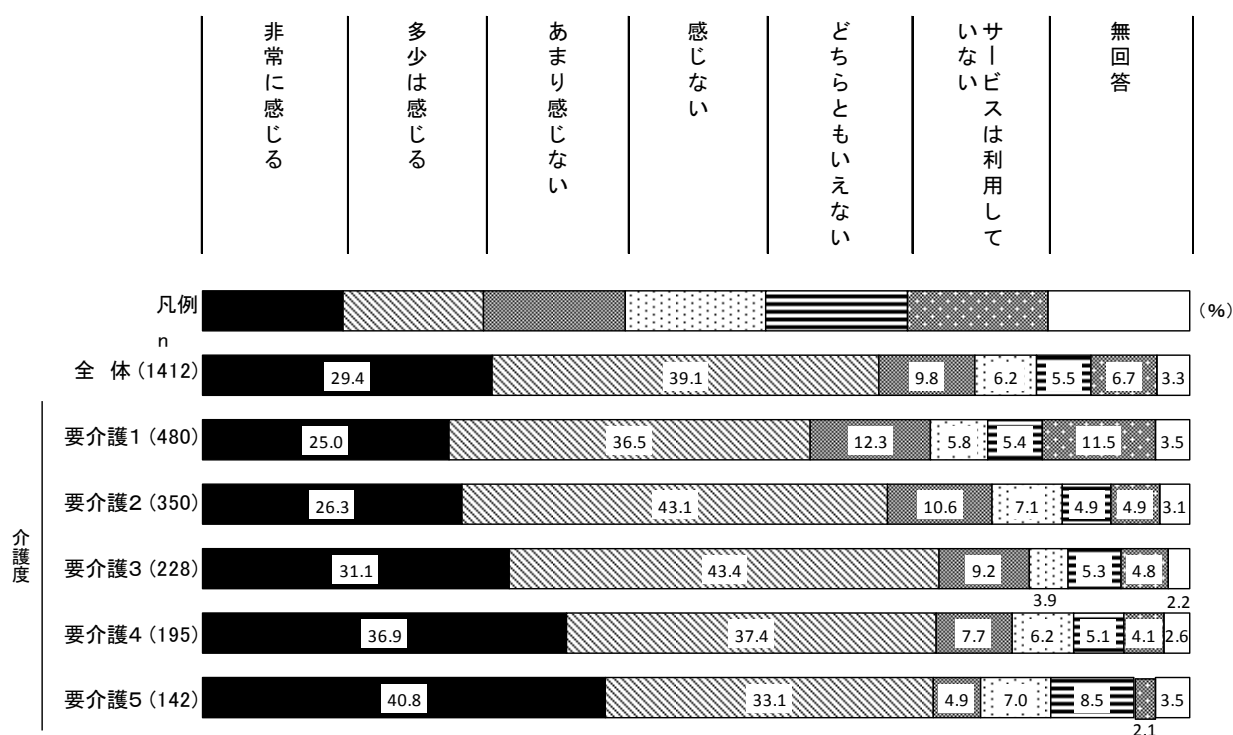
経年比較でみると、「多少は介護や世話をしてくれる人がいる」は平成25年度より2.0ポイント多くなっている。(図表34-2)

(9) 介護保険による介護負担の軽減感

問35 介護保険サービスを利用して、介護にかかる負担が軽減されたと感じることはありますか。
(1つに○)

「多少は感じる」が39.1%、「非常に感じる」が29.4%、「あまり感じない」が9.8%。

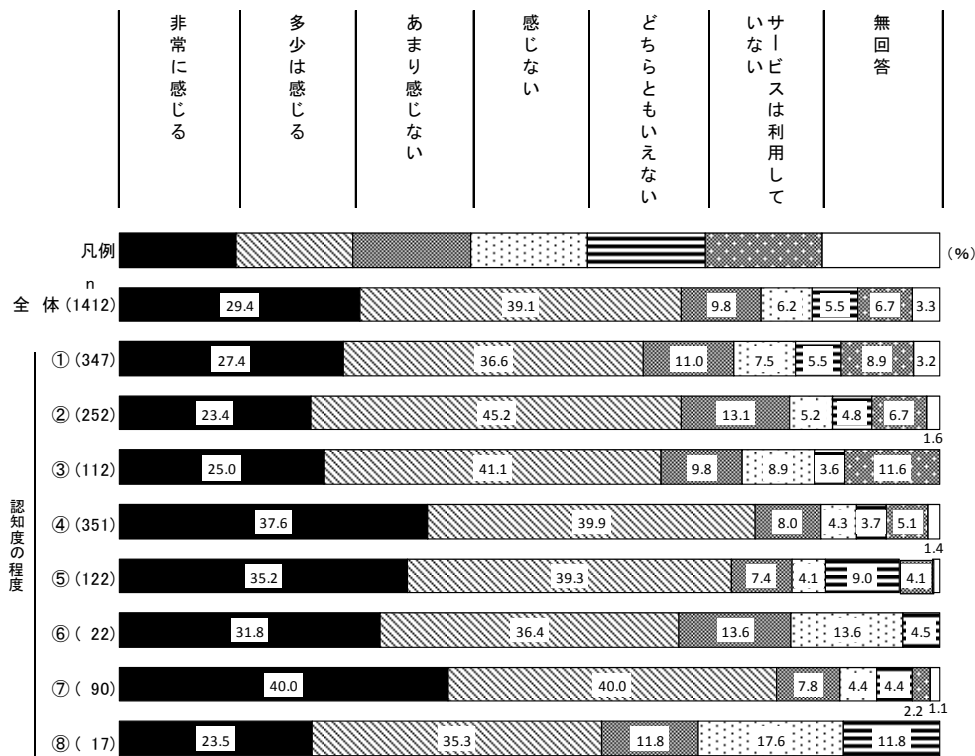
図表35-1 介護保険による介護負担の軽減感（介護度別）



介護保険による介護負担の軽減感については、「多少は感じる」が39.1%と最も多く、次いで「非常に感じる」(29.4%)、「あまり感じない」(9.8%)、「サービスは利用していない」(6.7%)の順となっている。

介護度別でみると、要介護度が上がるに従い「非常に感じる」の割合が多くなっている。(図表35-1)

図表 3 5 - 2 介護保険による介護負担の軽減感（認知度の程度別）



①	認知症はない	⑤	日中を中心として、下記の状態が見られる。日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする
②	何らかの認知症はあるが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している	⑥	夜間を中心として、下記の状態が見られる。日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする
③	家庭外で下記の状態が見られる。日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	⑦	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする
④	家庭内でも下記の状態が見られる。日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	⑧	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする

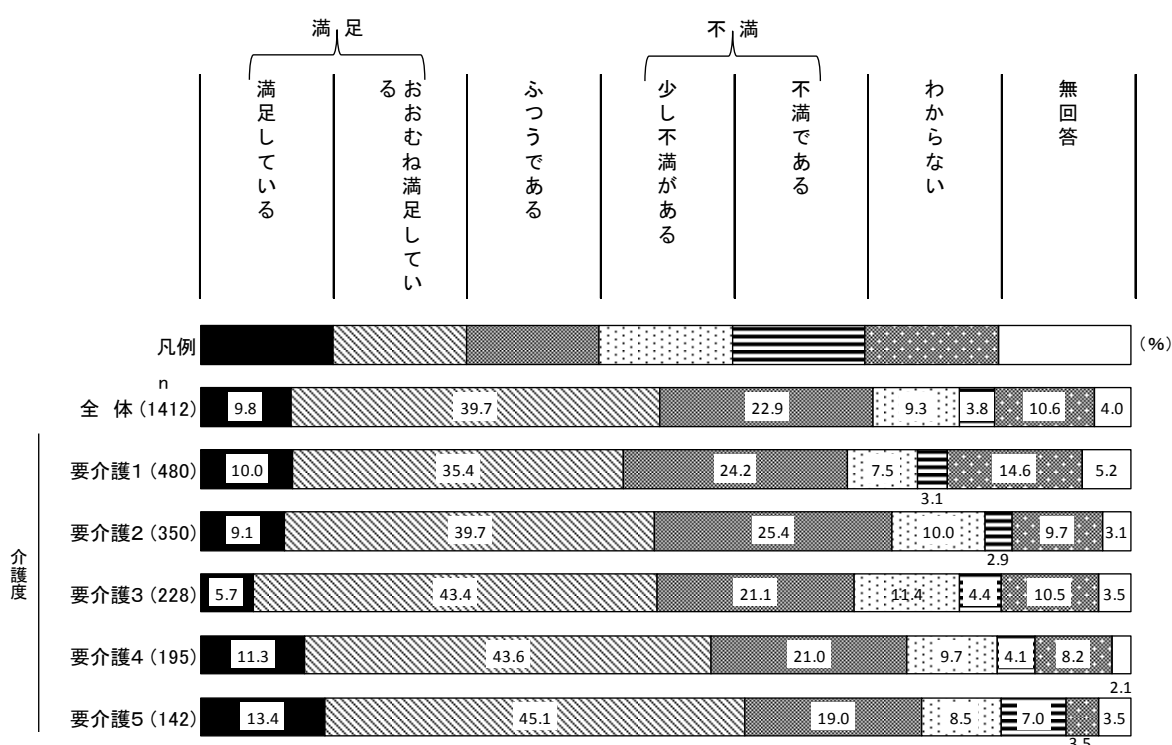
認知度の程度別でみると、「非常に感じる」は、「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ常に介護を必要とする」で40%と他の認知度に比べ多くなっている。また、「非常に感じる」と「多少は感じる」の合計でも、「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする」が80%と最も多くなっている。(図表 3 5 - 2)

(10) 介護者から見た介護保険の満足度

問36 介護保険サービス全般の内容は満足できますか。(1つに○)

『満足』(「満足している」+「おおむね満足している」)が49.5%、『不満』(「少し不満がある」+「不満である」)が13.1%。

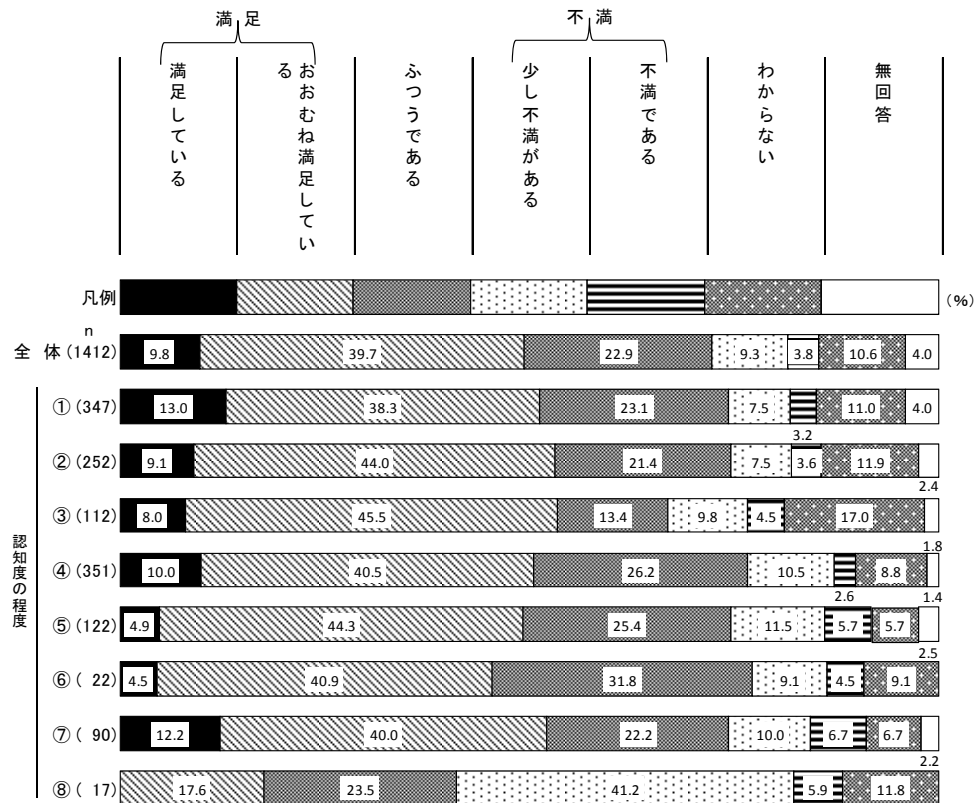
図表36-1 介護者から見た介護保険の満足度(介護度別)



介護者から見た介護保険の満足度について、『満足』(「満足している」+「おおむね満足している」)は49.5%と、『不満』(「少し不満がある」+「不満である」)の13.1%を上回っている。個別に見ると、「おおむね満足している」が39.7%と最も多く、次いで「ふつうである」(22.9%)、「わからない」(10.6%)、「満足している」(9.8%)、「少し不満がある」(9.3%)の順となっている。

介護度別でみると、『満足』の割合は、要介護度が上がるにつれておおむね多くなっており、要介護5では58.5%と最も多くなっている。一方、『不満』の割合は要介護3が15.8%で最も多くなっている。(図表36-1)

図表 3 6 - 2 介護者から見た介護保険の満足度（認知度の程度別）



①	認知症はない	⑤	日中を中心として、下記の状態が見られる。日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする
②	何らかの認知症はあるが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している	⑥	夜間を中心として、下記の状態が見られる。日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする
③	家庭外で下記の状態が見られる。日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	⑦	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする
④	家庭内でも下記の状態が見られる。日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	⑧	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする

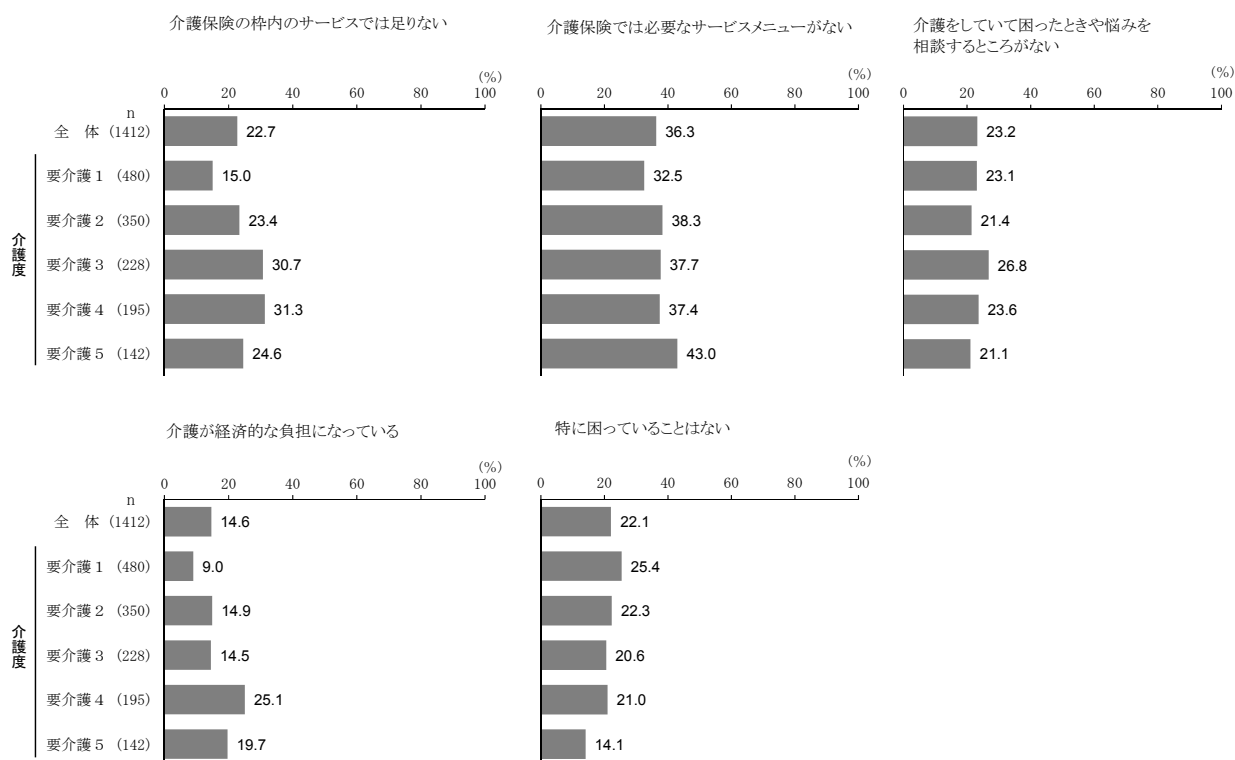
認知度の程度別でみると、症状が軽いほど『満足』の割合がおおむね多くなっており、「家庭外で日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる」で53.5%と最も多くなっている。(図表 3 6 - 2)

(11) 介護をする上で困っていること

問37 介護をする上で困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「介護保険では必要なサービスメニューがない」が36.3%、「介護をされていて困ったときや悩みを相談するところがない」が23.2%、「介護保険の枠内のサービスでは足りない」が22.7%。

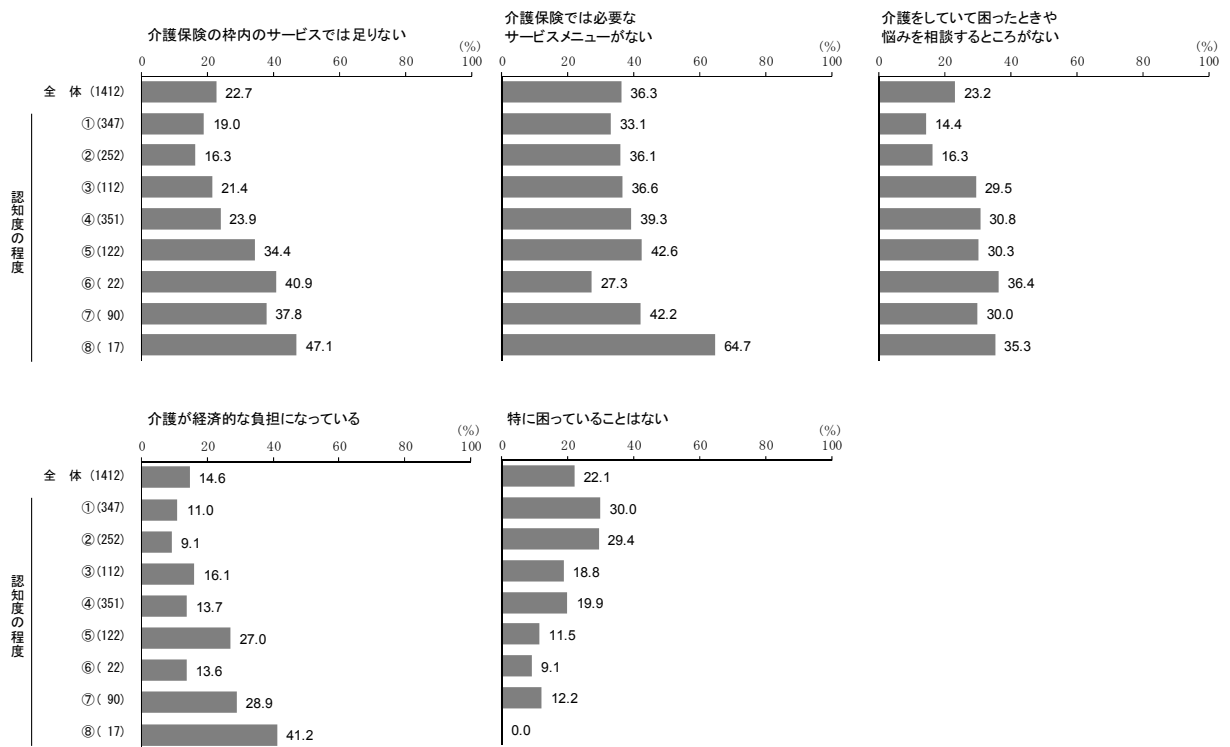
図表37-1 介護をする上で困っていること（介護度別）



介護をする上で困っていることについて、「介護保険では必要なサービスメニューがない」が36.3%と最も多く、「介護をされていて困ったときや悩みを相談するところがない」(23.2%)、「介護保険の枠内のサービスでは足りない」(22.7%)、「特に困っていることはない」(22.1%)が続いている。

介護度別で見ると、全ての介護度で「介護保険では必要なサービスメニューがない」が最も多くなっており、「特に困っていることはない」の割合は介護度が高くなるにつれて少なくなる傾向にある。(図表37-1)

図表37-2 介護をする上で困っていること（認知度の程度別）



①	認知症はない	⑤	日中を中心として、下記の状態が見られる。日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする
②	何らかの認知症はあるが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している	⑥	夜間を中心として、下記の状態が見られる。日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする
③	家庭外で下記の状態が見られる。日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	⑦	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする
④	家庭内でも下記の状態が見られる。日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	⑧	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする

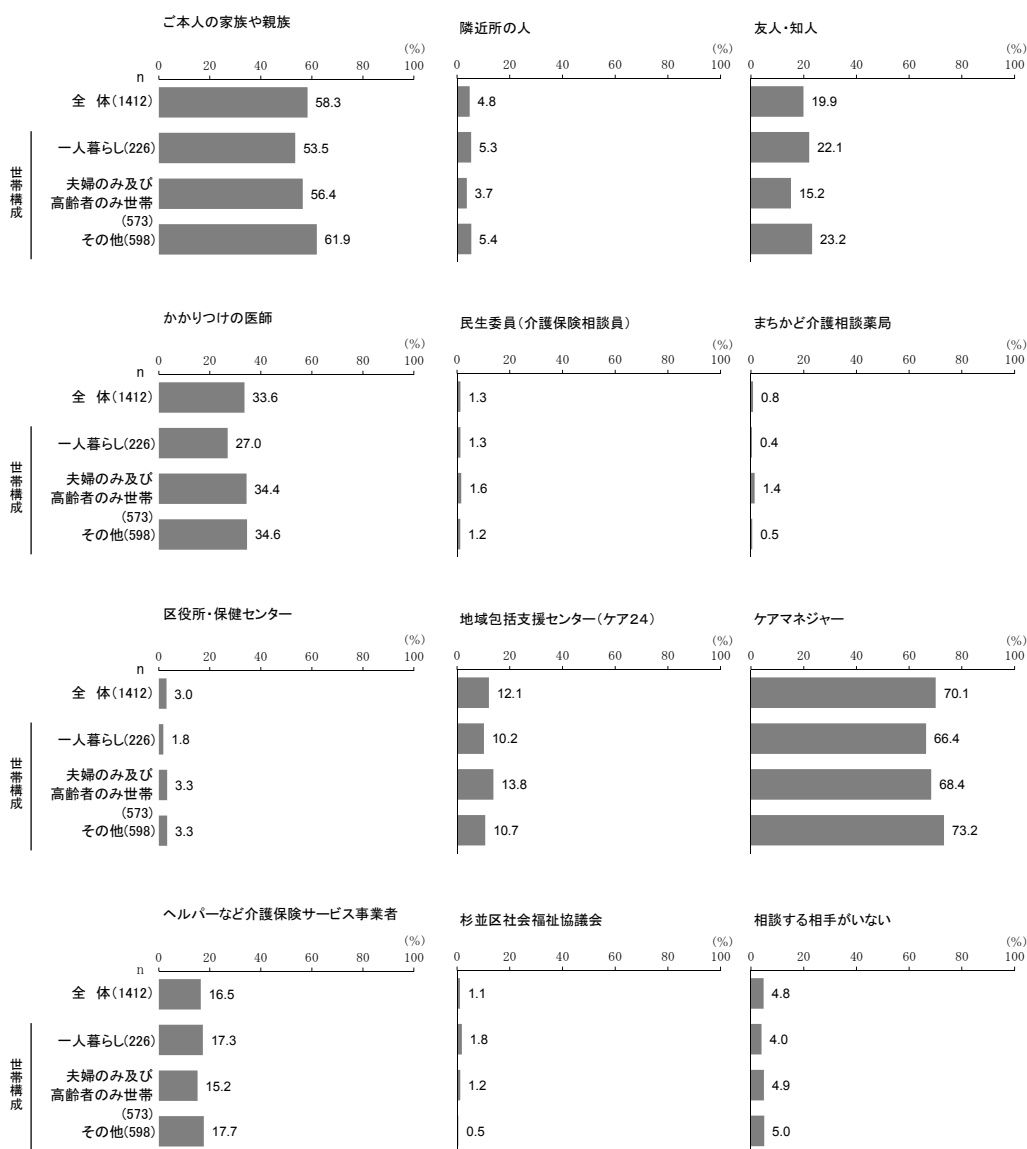
認知度の程度別でみると、⑧「著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする」は、「介護保険では必要なサービスメニューがない」(64.7) %、「介護保険の枠内のサービスでは足りない」(47.1%)、「介護が経済的な負担になっている」(41.2%)の項目で、他の認知度に比べて割合が最も多くなっている。(図表37-2)

(12) 介護に関する相談先

問38 介護のことで困ったとき、誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

「ケアマネジャー」が70.1%、「ご本人の家族や親族」が58.3%、「かかりつけの医師」が33.6%。

図表38-1 介護に関する相談先（世帯構成別）



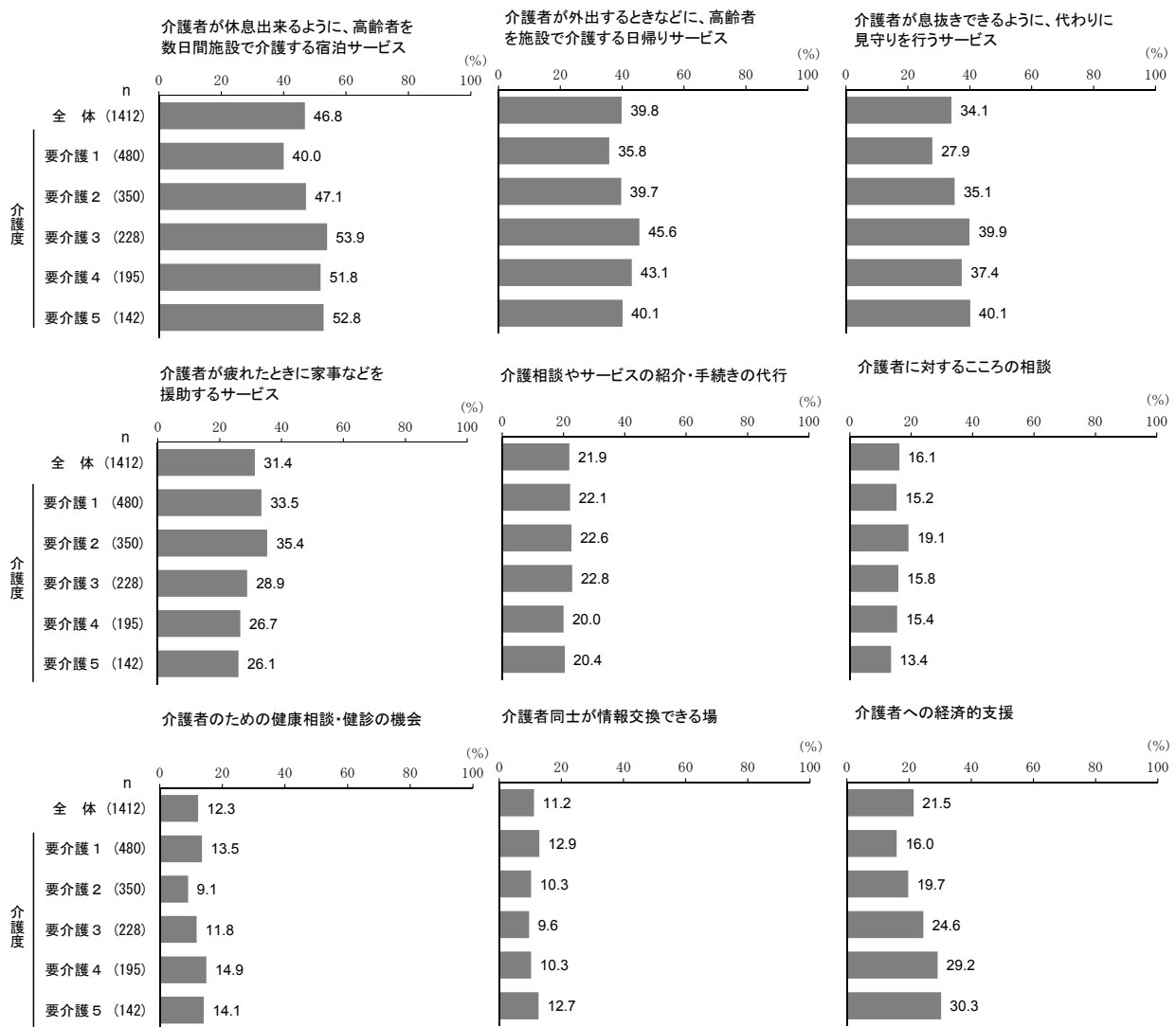
介護に関する相談先は、「ケアマネジャー」が70.1%と最も多く、次いで「ご本人の家族や親族」(58.3%)、「かかりつけの医師」(33.6%)の順となっている。(図表38-1)

(13) 介護者が必要とするサービス

問39 介護者が必要とするサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「介護者が休息できるように、高齢者を数日間施設で介護する宿泊システム」が46.8%、「介護者が外出するときなどに、高齢者を施設で介護する日帰りサービス」が39.8%、「介護者が息抜きできるように、代わりに見守りを行うサービス」が34.1%。

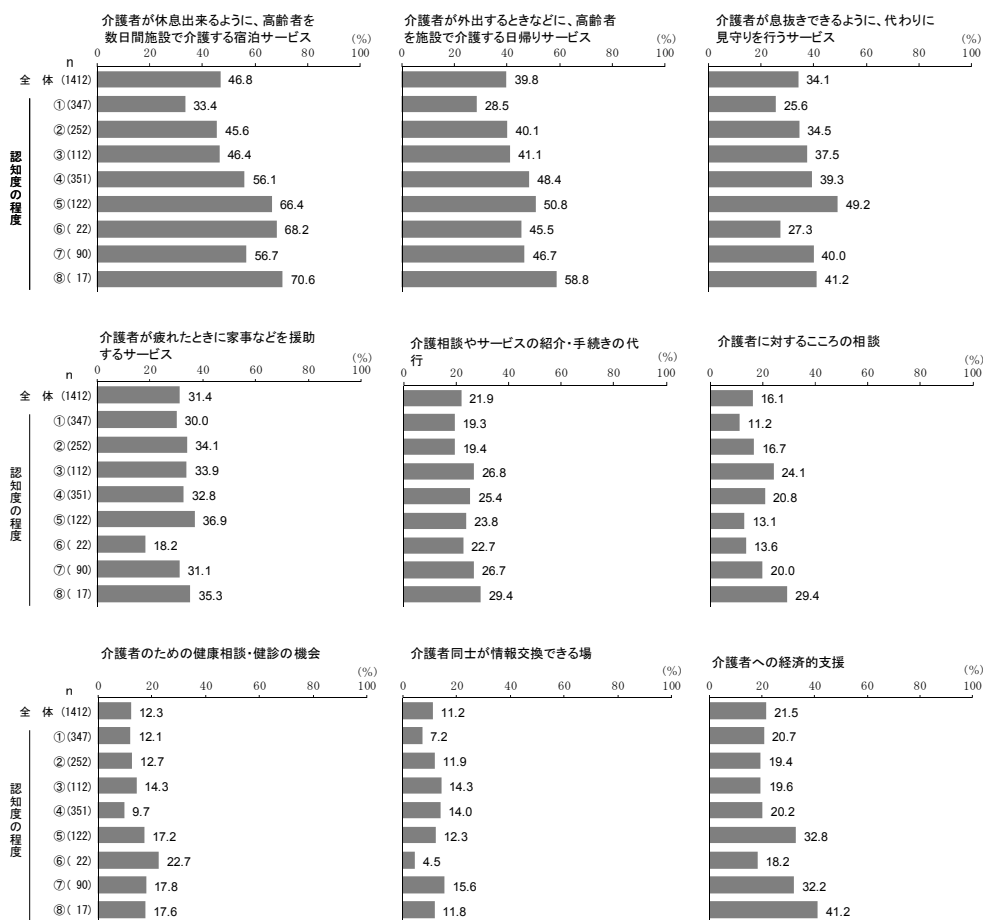
図表39-1 介護者が必要とするサービス（介護度別）



介護者が必要とするサービスについて、「介護者が休息できるように、高齢者を数日間施設で介護する宿泊システム」が46.8%と最も多く、次いで、「介護者が外出するときなどに高齢者を施設で介護する日帰りサービス」(39.8%)、「介護者が息抜きできるように、代わりに見守りを行うサービス」(34.1%)、「介護者が疲れたときに家事などを援助するサービス」(31.4%)の順となっている。

介護度別でみると、「介護者への経済的支援」では介護度が高くなるにつれて割合が多くなっている。(図表39-1)

図表39-2 介護者が必要とするサービス（認知度の程度別）



①	認知症はない	⑤	日中を中心として、下記の状態が見られる。日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする
②	何らかの認知症はあるが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している	⑥	夜間を中心として、下記の状態が見られる。日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする
③	家庭外で下記の状態が見られる。日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	⑦	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする
④	家庭内でも下記の状態が見られる。日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	⑧	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする

認知度の程度別でみると、⑤「日中を中心として、日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする」は、「介護者が息抜きできるように、代わりに見守りを行うサービス」(49.2%)、「介護者が疲れたときに家事などを援助するサービス」(36.9%)の項目で最も多くなっている。(図表39-2)

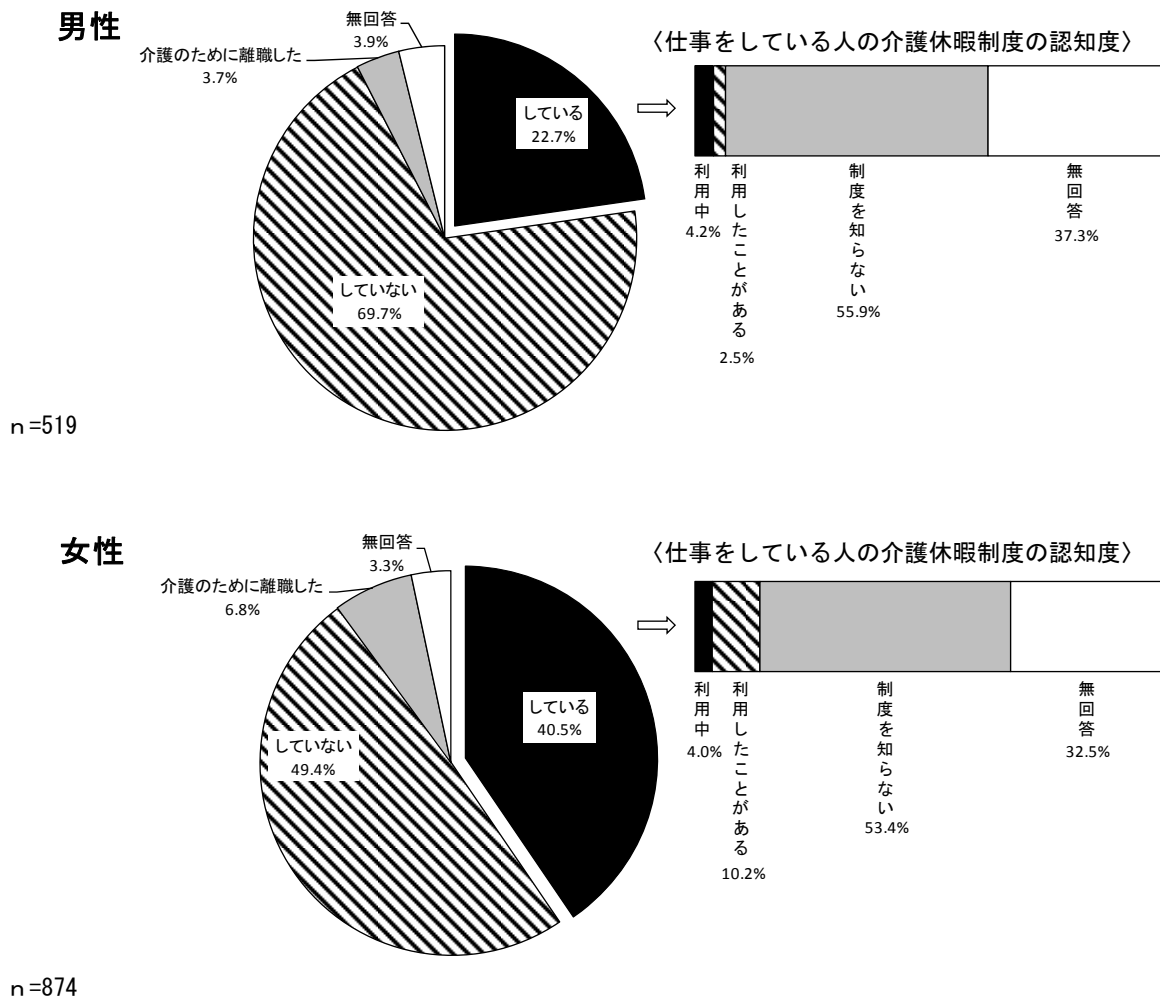
(14) 介護者の仕事の有無・介護休暇制度の利用有無

問40 現在、介護をしながら仕事をしていますか？（1つに○）

問41 職場で介護休暇制度などを利用していますか。（1つに○）

介護をしながら仕事をしている男性は22.7%、女性は40.5%。
職場で介護休暇制度を利用中の男性は4.2%、女性は4.0%。

図表40-1 介護者の仕事有無（性別）



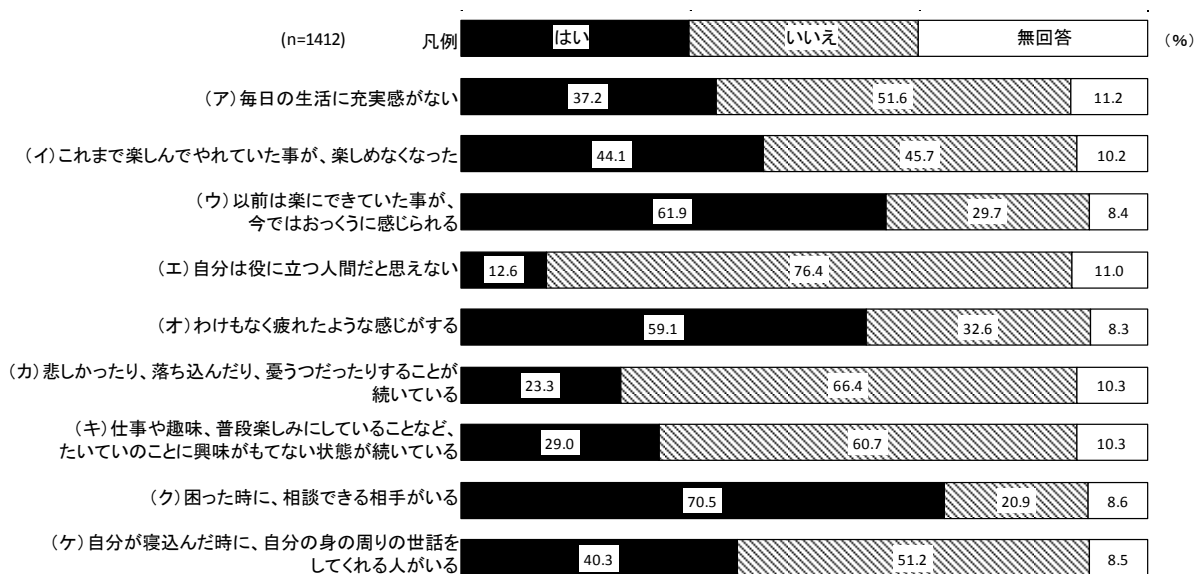
介護者の仕事の有無・介護休暇制度の利用有無を性別で見ると、男性では仕事をしている人が22.7%、女性では仕事をしている人が40.5%となっている。また、介護休暇制度は「制度を知らない」が男女ともに5割を超えている。（図表40-1）

(15) 介護者の状況

問42 主に介護している方の最近2週間のことについておたずねします。
ア～ケの質問にご回答ください。(1 (はい) または2 (いいえ) のどちらかに○)

「以前は楽にできていた事が、今ではおっくうに感じられる」(61.9%)、「わけもなく疲れた感じがする」(59.1%)、「困った時に、相談できる相手がいる」(70.5%)で、「はい」が半数以上。

図表42-1 介護者の状況 (介護度別)



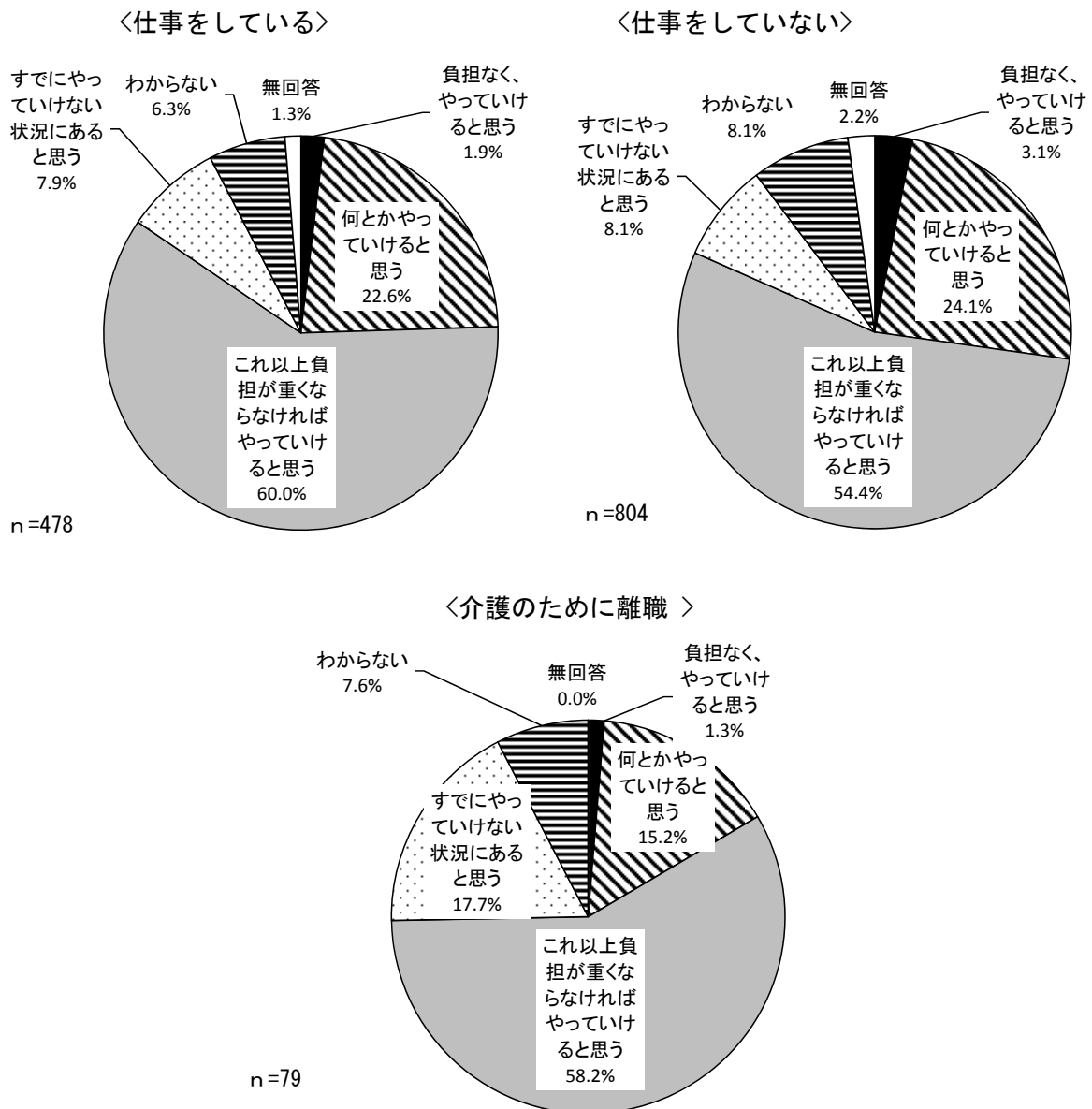
介護者の状態について、「はい」は「困った時に、相談できる相手がいる」で70.5%と最も多く、次いで「以前は楽にできていた事が、今ではおっくうに感じられる」(61.9%)、「わけもなく疲れた感じがする」(59.1%)の順となっている。一方、「いいえ」は「自分は役に立つ人間だとは思えない」で76.4%と最も多く、次いで「悲しかったり、落ち込んだり、憂うつだったりすることが続いている」(66.4%)、「仕事や趣味、普段楽しみにしていることなど、たいていのことに興味がもてない状態が続いている」(60.7%)の順となっている。(図表42-1)

(16) 今後の在宅介護の見通し

問43 身体的、精神的な負担を考えて、これからも在宅での介護を続けていけると思えますか。
(1つに○)

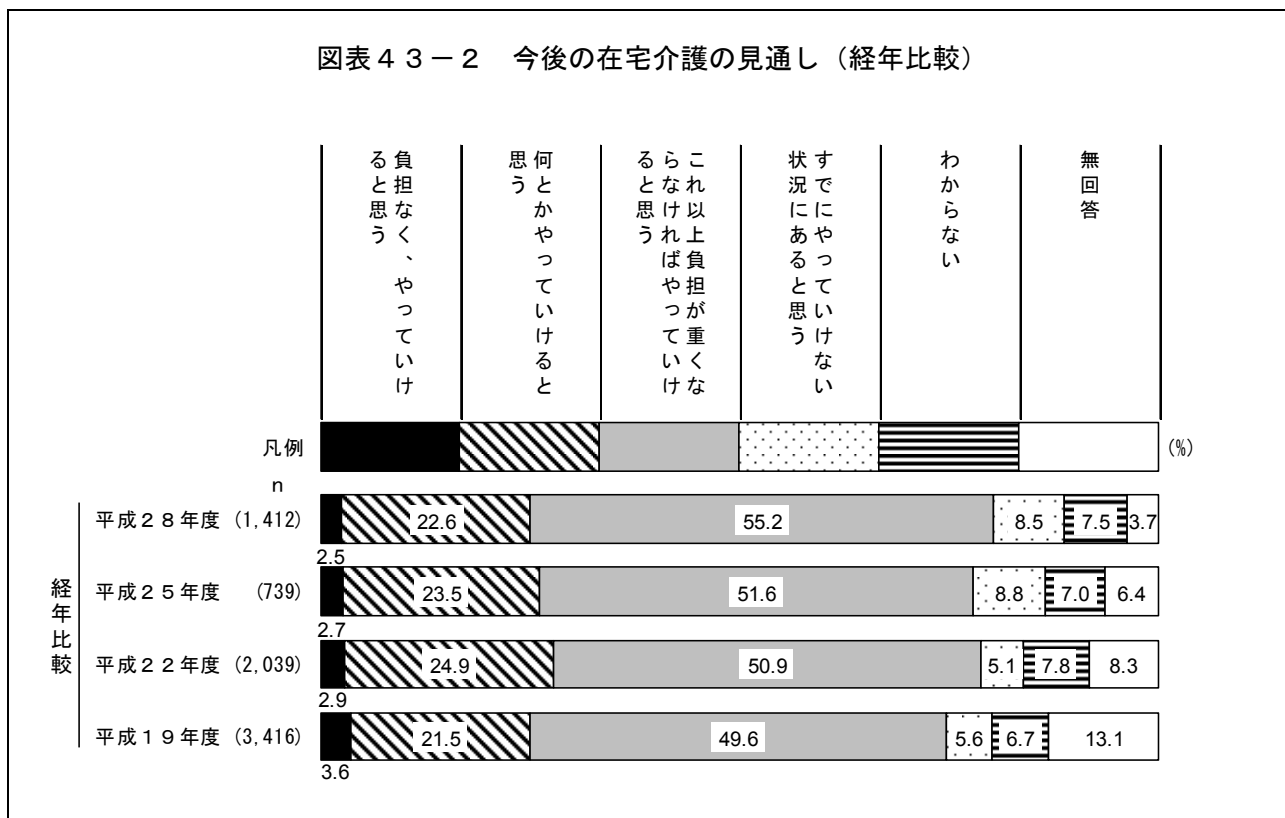
「これ以上負担が重くなければやっていけると思う」は仕事をしている人の60.0%、仕事をしていない人の54.4%、介護のために離職した人の58.2%。

図表43-1 今後の在宅介護の見通し（介護者の仕事有無別）



今後の在宅介護の見通しを介護者の仕事有無別でみると、「これ以上負担が重くなければやっていけると思う」が最も多く、仕事をしている人が60.0%、仕事をしていない人が54.4%、介護のために離職した人が58.2%となっている。(図表43-1)

図表43-2 今後の在宅介護の見通し（経年比較）

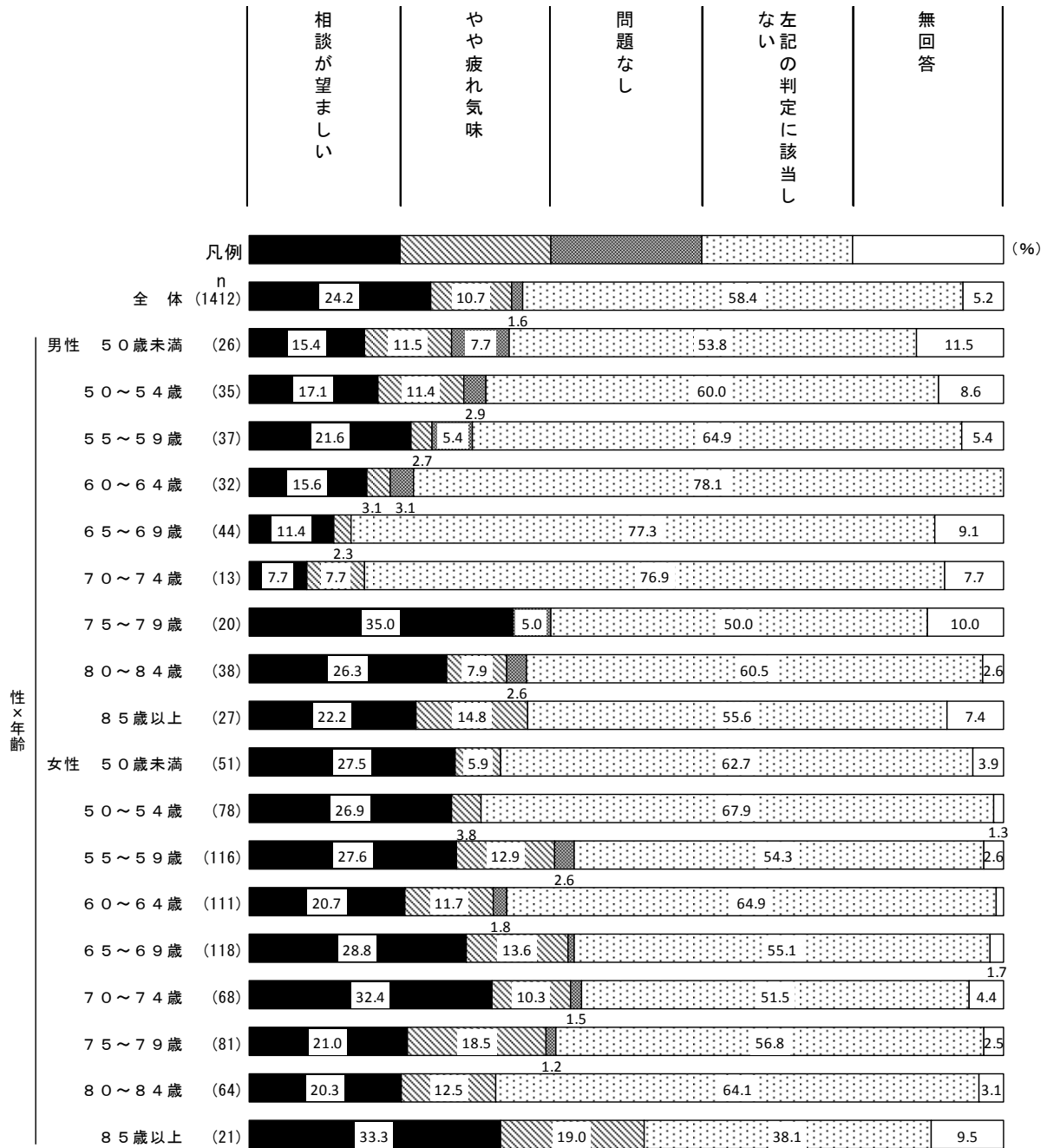


経年比較でみると、「これ以上負担が重くなければやっていると」は年度とともに多くなる傾向がみられる。(図表43-2)

(17) 「こころの健康チェック」の分析結果

「相談が望ましい」が24.2%、「やや疲れ気味」が10.7%、「問題なし」が1.6%。

図表 a-1 「こころの健康チェック」の分析結果



問42の回答の組み合わせにより、抑うつ状態の評価（こころの健康チェック）を行った。その結果、「左記の判定に該当しない」（境界層）が58.4%と最も多く、次いで「相談が望ましい」（24.2%）、「やや疲れ気味」（10.7%）の順となっている。

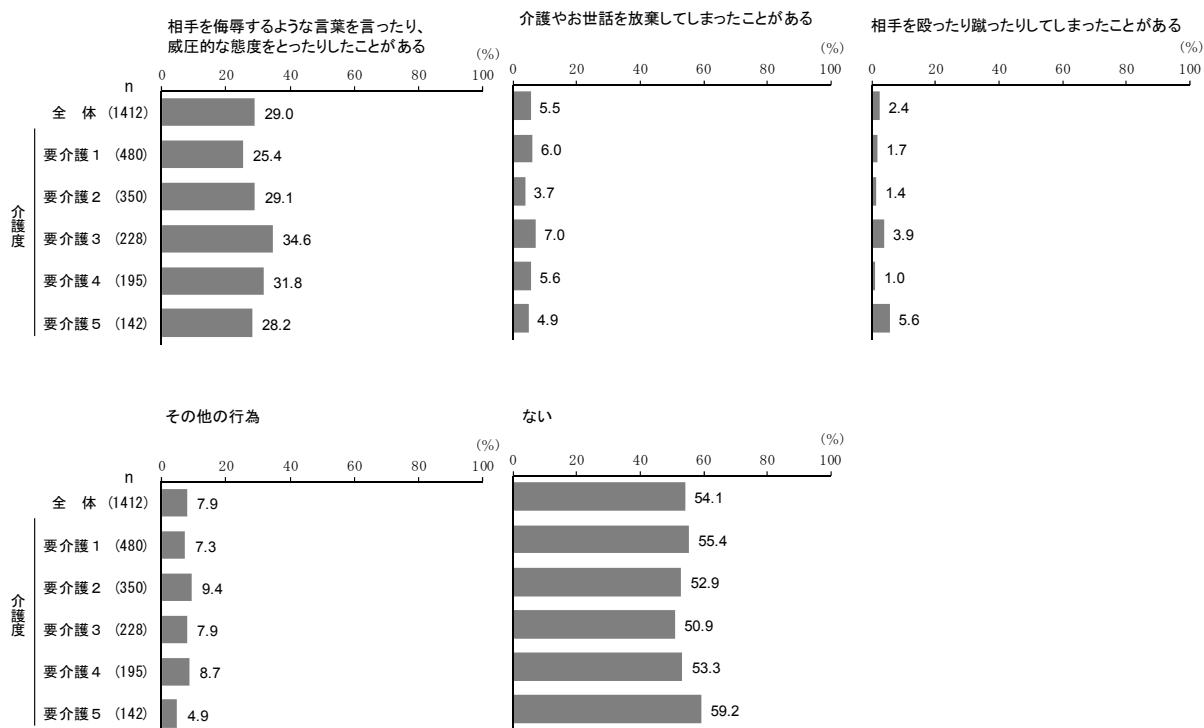
性×年齢別でみると、「相談が望ましい」は男性では75～79歳（35.0%）、女性では85歳以上（33.3%）が最も多くなっている。（図表a-1）

(18) 本人と衝突した経験

問4-4 最近6か月の間に、介護が原因で、介護保険の認定を受けているご本人と衝突したことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「ない」が54.1%、「相手を侮辱するような言葉を言ったり、威圧的な態度をとったりしたことがある」が29.0%、「介護やお世話を放棄してしまったことがある」が5.5%。

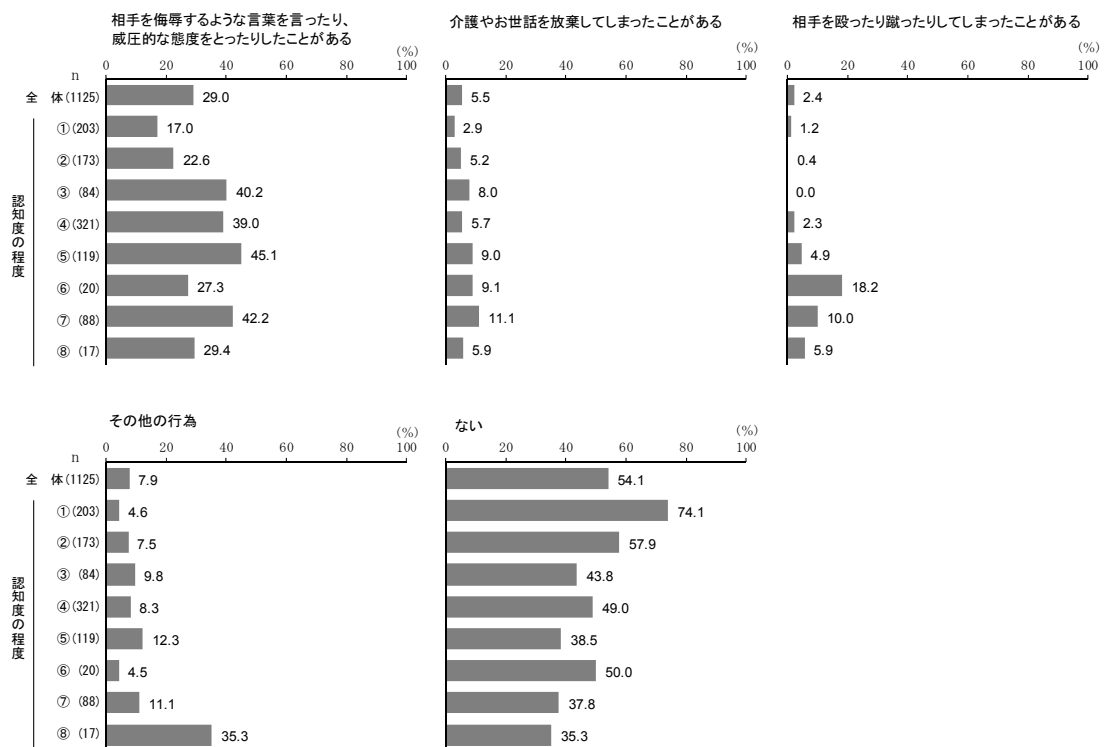
図表4-4-1 本人と衝突した経験（介護度別）



本人と衝突した経験について、「ない」が54.1%と最も多く、次いで「相手を侮辱するような言葉を言ったり、威圧的な態度をとったりしたことがある」(29.0%)、「介護やお世話を放棄してしまったことがある」(5.5%)の順となっている。

介護度別では、上段の3つのケース全てにおいて要介護3が他の介護度に比べて多くなっており、また「なし」の割合は要介護3が他の介護度に比べて少なくなっている。(図表4-4-1)

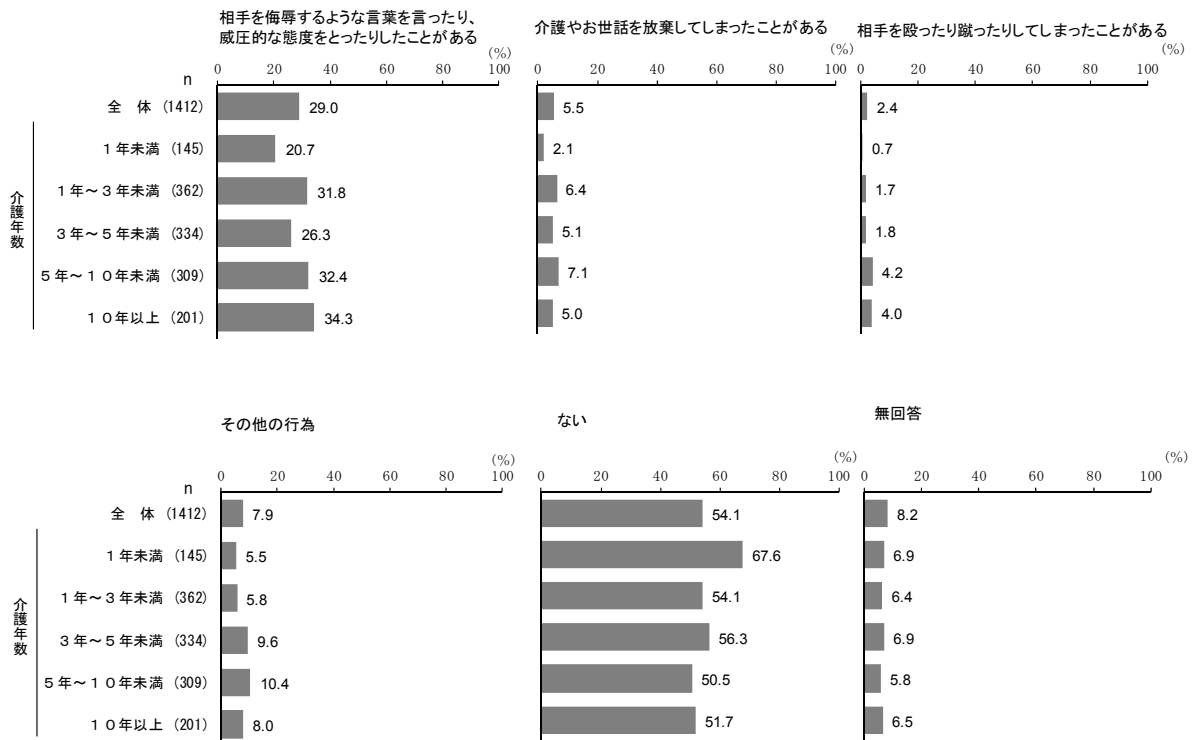
図表 4 4 - 2 本人と衝突した経験（認知度の程度別）



①	認知症はない	⑤	日中を中心として、下記の状態が見られる。日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする
②	何らかの認知症はあるが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している	⑥	夜間を中心として、下記の状態が見られる。日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする
③	家庭外で下記の状態が見られる。日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	⑦	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする
④	家庭内でも下記の状態が見られる。日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	⑧	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする

認知度の程度別では、「相手を侮辱するような言葉を言ったり、威圧的な態度をとったりしたことがある」では⑤「日中を中心として、日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする」が 45.1%と他の認知度に比べて多い。また、「相手を殴ったり蹴ったりしてしまったことがある」では⑥「夜間を中心として、日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする」が 18.2%と、他の認知度に比べて非常に多くなっている。(図表 4 4 - 2)

図表 4 4 - 3 本人と衝突した経験（介護年数別）



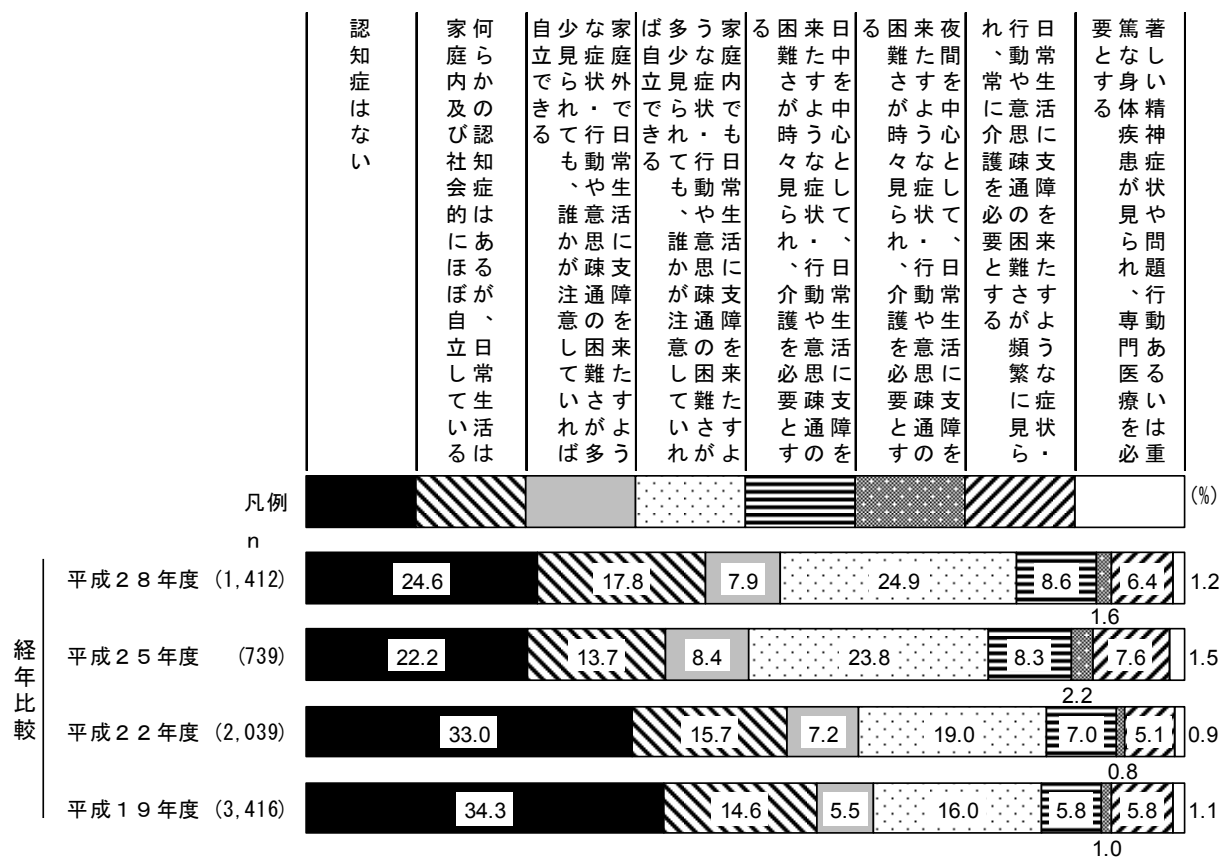
介護年数で見ると、「ない」は「1年未満」で 67.6%と最も多く、「相手を侮辱するような言葉を言ったり、威圧的な態度をとったりしたことがある」では「5年～10年未満」「10年以上」でそれぞれ 32.4%、34.3%と、他の介護年数に比べ多くなっている。(図表 4 4 - 3)

(19) 本人の認知状況について

問45 介護保険の認定を受けているご本人の認知症の状況について、1から8までの番号のうち、もっとも近いものはどれですか。(1つに○)

「家庭内でも日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる」が24.9%、「何らかの認知症はあるが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している」が17.8%。

図表45-1 本人の認知状況について(経年比較)



本人の認知状況について、「家庭内でも日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる」が24.9%と最も多く、次いで「認知症はない」(24.6%)、「何らかの認知症はあるが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している」(17.8%)、「日中を中心として、日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする」(8.6%)と続いている。

経年比較でみると、「日中を中心として、日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする」は年度とともに多くなる傾向がみられる。(図表45-1)

9. 社会的孤立の状況について

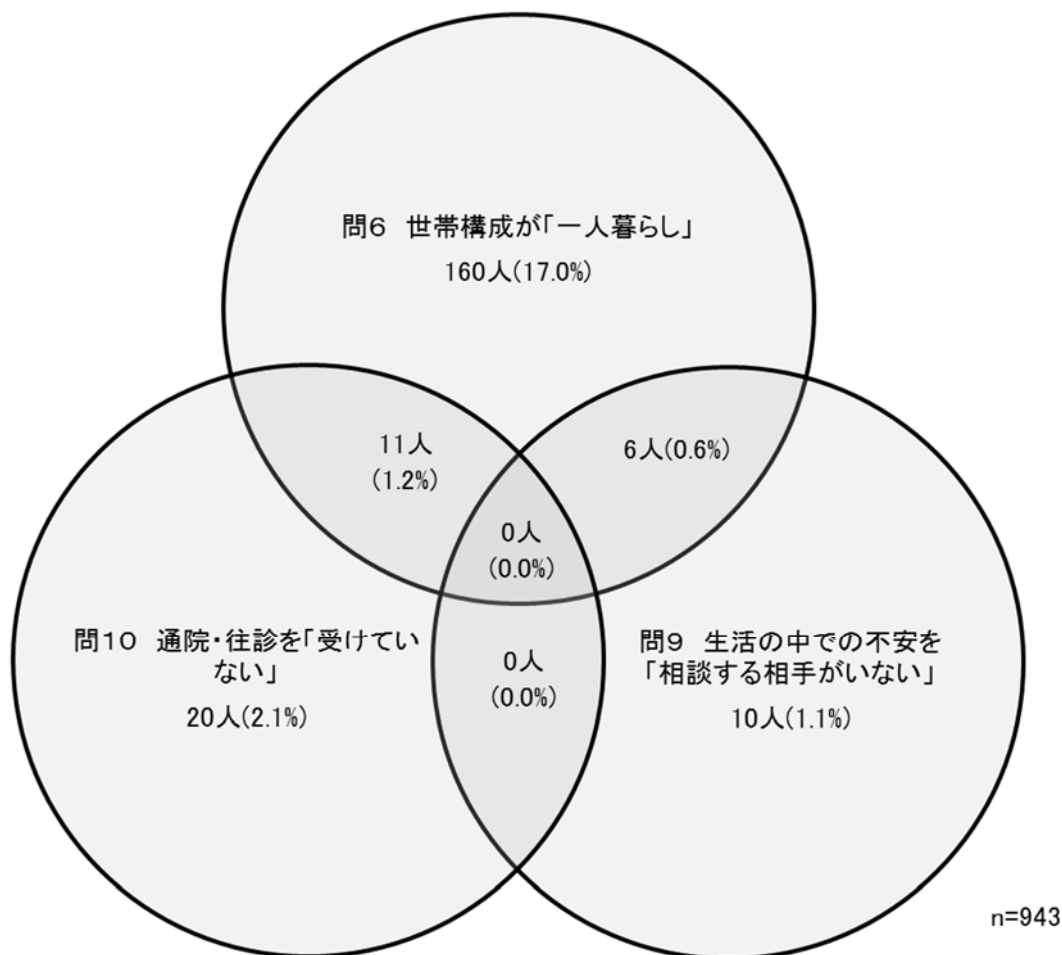
問6 一緒に暮らしている家族の構成を教えてください。

問9 生活の中で不安に思ったとき、どなた（どこ）に相談しますか。

問10 現在、通院（病院・医院・診療所など）や往診を受けていますか。

一人暮らしで、生活の中での不安を相談する人がなく、通院・往診を受けていない人はみられない

図表 b-1 社会的孤立の状況について



介護者がいない人について、世帯構成(問6)、生活の中での不安を相談する相手(問9)、通院・往診の有無(問10)といった社会的孤立にかかわる3項目にてその有無・頻度がほとんどないと回答した人の状況を整理した。

回答者943人のうち、世帯構成が「一人暮らし」、通院・往診を「受けていない」、生活の中での不安を「相談する相手がいない」の3項目がすべてない人はみられない。(図表b-1)

10. 高齢者の福祉についてのご意見・ご要望

高齢者の福祉について、691人から意見・要望があった。記載内容を区分し、いくつかの意見等について以下に示す。

【施設の基盤整備について (35件)】

- ・特別養護老人ホームを増やして欲しい。また、本当に必要としている人達は必ず入れるようにして欲しい。
- ・これから先自宅介護が困難になった時、有料老人ホームは経済的に無理なので、特養など費用が軽く済む施設の充実を希望する。

【福祉施策について (15件)】

- ・本当にサービスが必要な人には最大のサービスをしてほしい。不要な人がサービスを受けている話を聞くことがあるため、診断、調査を厳しくしてよいと思う。

【情報、相談について (29件)】

- ・介護を目的とした事業所のリストなどがあるとふさわしい場所が探せると思う。
- ・周囲で介護の必要があっても、制度などを知らない人が多くいるため、もう少し媒体などを利用しての情報発信などが必要だと感じる。

【医療、医療費、病院について (20件)】

- ・医療費、薬代金が高い。
- ・高齢による精神の変化を理解する、専門特別医療センターが必要。
- ・療養型病院に入院しているが、入院費の補助金などがあると助かる。

【生きがい、社会参加について (2件)】

- ・本人の外出支援、外食支援などQOLを上げる積極的な新企画を希望する。

【今後の介護について (28件)】

- ・杉並区は、介護認定がとても厳しいと聞くことがある。もう少し、考えて認定してほしいと思う。
- ・本当にきめ細かいサービスをして下さる小規模なデイサービスを見直すことが大事だと思う。利益等考えず奉仕の精神で面倒を見る所を見極めて、援助をすれば、介護を受ける方も介護している方も精神的に安定できると思う。

【介護保険制度について (53件)】

- ・介護保険、保健福祉サービスについてわかりづらい。教えてもらう所があれば良い。
- ・各家庭により、細かく事情が違っている場合が多いと思うので、全ての対応は不可能としても、個別案件を相談し、対応する窓口が欲しい。介護認定基準(介護度)の認定が厳しいように思われる。
- ・介護保険負担割合証・介護保険証の有効期限をもう少し延ばしてほしい。

【サービス、スタッフの質について (162 件)】

- ・ケアマネジャーの対応に不満がある。問題や介護の悩みに対する相談に対しても適切な対応をしてもらえない。
- ・老人施設のスタッフの人手不足を早急に解消してもらいたい。
- ・同じ介護度でも歩けるというだけで受けられないサービスがあるので困る。
- ・介護を必要とする人のためだけでなく、介護者の生活（介護者の家族も含む）を守るサービスもさらに充実させてほしい。

【介護保険料について (27 件)】

- ・介護サービスを受けた事のない者にとっては、保険料の負担はきつい。何かの見返りがあっても然るべきと考える。
- ・毎年のように保険料が上がっているのを実感している。

【健康増進、予防について (9 件)】

- ・介護予防サービス施設にて筋トレを行う体操が少ないように思う。

【在宅サービスについて (9 件)】

- ・在宅で看ているが、同居の家族がいるためサービスが受けられない。同居家族がいてもホームヘルプサービスを受けられるようにしてほしい。

【高齢者という認識が無い (7 件)】

- ・現在、介護を必要としていないが必要時は利用したい。

【経済的負担等について (59 件)】

- ・自己負担 2 割は大変きびしいと思う。
- ・介護をしている者への経済的な援助も、もっと必要だと思う。
- ・介護保険サービスをもっとたくさん受けたいが、金額に限度があり受ける事が出来ない。またサービスを受けるにも金額が嵩むので必要なサービスを全て受けることが出来ない。

【その他 (238 件)】

- ・良いケアマネジャーに出会って、紹介していただいたデイサービスに行ってから、本人がとても明るくなった。
- ・色々とサービスがあることはわかっているが、主治医からデイサービスに通うことを勧められていても、本人が家から出ることを嫌がり利用することができないでいる。
- ・介護士の給料が安すぎる。介護士の労働のきつさ、仕事に対する対価を考え直すべきである。
- ・歩行が困難な為、通院等にタクシーを利用する際の補助がほしい。
- ・この調査自体が負担となっている。

資料 調査票

■日常生活圏域ニーズ調査■

平成28年9月

【調査ご協力のお願い】

日頃から杉並区政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

区では、住みなれた地域で安心して暮らしていけるよう、高齢者施策を展開しています。

このたび、今後の高齢社会に向けた施策の推進にあたり地域のニーズを把握するため、平成28年9月1日現在、杉並区にお住まいの65歳以上の方3,000人を対象にアンケート調査票を送付させていただきました。

この調査は無記名式となっていますので、お名前をご記入いただく必要はありません。また、ご回答いただいた内容は統計情報の作成のみに使用いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

【調査票の記入にあたってのお願い】

- 1 ボールペンまたは鉛筆でご記入ください。
- 2 ご回答にあたっては、封筒のあて名ご本人についてお答えいただきますが、ご家族や周りの方がご本人と一緒に、またはご本人の代わりにご記入いただいてもかまいません。そのときはあて名ご本人の立場にたってお答えください。
- 3 質問文に記載のあります「1つに○」「いくつでも○」などの説明にしたがって番号に○をつけてご回答ください。また、「その他」にあてはまる場合は、()内になるべく具体的に内容をご記入ください。
- 4 質問によっては、ご回答いただく方が限られる場合があります。矢印(→)など、次にご回答いただく質問番号への案内にご注意ください。
- 5 ご回答いただいた調査票は、**10月14日(金)まで**に同封の返信用封筒(切手は不要です)にてご返送ください。
- 6 調査の内容や記入の方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。



〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1
杉並区役所 保健福祉部 高齢者施策課 管理係
電話：03-3312-2111 (大代表) 内線 1162

【はじめにおききします】

問 1. この調査票を記入するのはどなたですか。（あて名のご本人からみた関係）（1 つに○）

- | | | |
|------------|---------|--------------------------------|
| 1. あて名のご本人 | 2. 配偶者 | 3. 子 |
| 4. 子の配偶者 | 5. 兄弟姉妹 | 6. その他（ ） |

※ 以下の質問の中での「あなた」は、お送りした封筒のあて名の方になります。

問 2. あなた（封筒のあて名ご本人）の性別は。（1 つに○）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問 3. あなたの年齢は。（1 つに○）

- | | | |
|------------------|------------------|------------------|
| 1. 満 6 5 ～ 6 9 歳 | 2. 満 7 0 ～ 7 4 歳 | 3. 満 7 5 ～ 7 9 歳 |
| 4. 満 8 0 ～ 8 4 歳 | 5. 満 8 5 ～ 8 9 歳 | 6. 満 9 0 ～ 9 4 歳 |
| 7. 満 9 5 歳以上 | | |

問 4. 普段、どなたかの介助・介護が必要ですか。（1 つに○）

- | |
|-----------------------------|
| 1. 介助・介護は必要ない |
| 2. 何らかの介助・介護は必要だが、現在は受けていない |
| 3. 家族などの介助・介護を受けている |

【ご家族や生活状況についておたずねします】

問 5. 一緒に暮らしている家族の構成を教えてください。（1 つに○）

- | | |
|--------------------------------|------------|
| 1. 一人暮らし | →(問 7 へ進む) |
| 2. 夫婦のみ（配偶者 6 5 歳以上） | |
| 3. 夫婦のみ（配偶者 6 4 歳以下） | |
| 4. 2 世代家族（全員が 6 5 歳以上） | →(問 6 へ進む) |
| 5. 2 世代家族（6 4 歳以下の方が同居） | |
| 6. 3 世代家族 | |
| 7. 兄弟姉妹 | |
| 8. その他（ ） | |

問6. 日中、ひとりになることがありますか。(1つに○)

- | | | |
|---------|----------|-------|
| 1. よくある | 2. たまにある | 3. ない |
|---------|----------|-------|

(問8へ進む)

問7. 問5で「1.一人暮らし」と回答された方におたずねします。

お子さんや兄弟姉妹など親族の方とは、どのくらいの頻度で会ったり、電話などで連絡をとっていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週に3～4回程度 |
| 3. 週に2回程度 | 4. 週に1回程度 |
| 5. 月に1～2回程度 | 6. 年に数回程度 |
| 7. まったくない | 8. 親族がない |
| 9. その他 () | |

問8. あなたの生活を支えている主な収入はどれですか。(1つに○)

- | |
|-------------------|
| 1. 公的年金(国民年金、恩給等) |
| 2. 自分の仕事の収入 |
| 3. 預貯金、地代、家賃収入など |
| 4. 同居している家族の収入 |
| 5. 別居している家族からの仕送り |
| 6. 公的扶助(生活保護など) |
| 7. その他 () |

問9. 昨年1年間の世帯(同居するご家族すべてを含む)の収入はどのくらいでしたか。(1つに○)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 100万円未満 | 2. 100～200万円未満 |
| 3. 200～400万円未満 | 4. 400～600万円未満 |
| 5. 600～800万円未満 | 6. 800～1000万円未満 |
| 7. 1000万円以上 | 8. 収入なし |
| 9. わからない | |

【住まいについておたずねします】

問 10. お住まいは次のうちどれですか。(1 つに○)

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 一戸建て持ち家 | 2. 分譲マンション |
| 3. 一戸建て貸家 | 4. 賃貸の公団、公社住宅 |
| 5. 都営、区営住宅 | 6. 賃貸マンション、アパート |
| 7. 社宅、官舎 | 8. 二世帯住宅 |
| 9. その他 () | |

問 11. 介護が必要になった場合に希望する(今、介護を受けている方は理想と思う)居住形態について一番近いものはどれですか。(1 つに○)

- | |
|---|
| 1. 現在の住まいで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい |
| 2. 子や兄弟姉妹のところに移りたい |
| 3. 様々な事業者が独自に運営する「介護付き有料老人ホーム」に入りたい |
| 4. 介護度が高くなっても所得に応じた費用で入所できる「特別養護老人ホーム」に入りたい |
| 5. 身近な地域で他の入居者と共同生活する「認知症高齢者グループホーム」に入りたい |
| 6. 見守りや食事などが提供される「サービス付き高齢者向け住宅」に入りたい |
| 7. その他 () |
| 8. わからない |

1、2、7、8の方は問13へ進む

問 12. 問 11 で「3」「4」「5」「6」と回答された方におたずねします。
家賃・介護費用など月額負担費用はいくらまで可能ですか。(1 つに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 10万円未満 | 2. 10～15万円未満 |
| 3. 15～20万円未満 | 4. 20～25万円未満 |
| 5. 25～30万円未満 | 6. 30万円以上 |
| 7. わからない | |

問 1 3. できるだけ自宅に住み続けるために必要と思われるサービスは何ですか。(いくつでも○)

1. 在宅でいつでも医療が受けられるサービス
2. 食事や排せつなどの身体の介助が受けられるサービス
3. 掃除・洗たく・料理など家事援助が受けられるサービス
4. 緊急の時に誰かが駆けつけてくれるサービス
5. 必要時に短期間の施設入所ができるショートステイサービス
6. 地域の人による「ちょっとした手助け」をしてくれるサービス
7. その他 ()

【社会参加についておたずねします】

問 1 4. 友人の家を訪ねていますか。(友人と外で会うことも含む)

1. はい
2. いいえ

問 1 5. 家族や友人の相談にのっていますか。

1. はい
2. いいえ

問 1 6. 生きがいを感じていますか。

1. はい
2. いいえ

問 1 7. 現在やっている活動はありますか。(いくつでも○)

1. 仕事
2. 趣味やサークル活動
3. 学習や教養を高める活動
4. NPO・ボランティア活動
5. 町会、自治会、いきいきクラブ活動
6. 健康づくり
7. 特にない
8. その他 ()

問18. これからやってみたい活動はありますか。(いくつでも○)

1. 仕事
2. 趣味やサークル活動
3. 学習や教養を高める活動
4. NPO・ボランティア活動
5. 町会、自治会、いきいきクラブ活動
6. 健康づくり
7. 特にない
8. その他 ()

問19. 近所の方と会話をしているなど、お付き合いはありますか。(1つに○)

1. ほぼ毎日
2. 週に3～4回程度
3. 週に2回程度
4. 週に1回程度
5. 月に1～2回程度
6. ほとんどない



【日常生活についておたずねします】

問20. 次の(1)～(10)の全ての項目について、あてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

	いずれかに必ず○をつける
(1) 新聞を読んでいますか。	1. はい 2. いいえ
(2) 本や雑誌を読んでいますか。	1. はい 2. いいえ
(3) 健康についての記事や番組に関心がありますか。	1. はい 2. いいえ
(4) 役所や病院などに出す書類が書けますか。	1. はい 2. いいえ
(5) 携帯電話やパソコンのメールで連絡をしたり、インターネットを使って情報を得たりしていますか。	1. はい 2. いいえ
(6) バスや電車、または自家用車を使って一人で外出できますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(7) 自分で日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(8) 自分でお金の管理(預貯金の出し入れなど)をしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(9) 自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(10) 自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問20-1. 問20(5)で「はい」と回答された方におたずねします。

どのような機器を利用していますか(いくつでも○)

1. パソコン	2. スマートフォン
3. 携帯電話	4. タブレット

**問20-2. 問20(5)で「はい」と回答された方におたずねします。
どのような目的に利用していますか。(いくつでも○)**

1. メールのみ利用する
2. メールを利用しており、インターネットを利用し情報収集している
3. 通信販売やインターネットバンキングなどを利用している

**問21. 散歩や買い物など、外出の回数はどのくらいですか(通院を除く)。
(1つに○)**

1. ほぼ毎日
2. 週に3～4回程度
3. 週に2回程度
4. 週に1回程度
5. 月に1～2回程度
6. ほとんどない

**問21-1. 問21で「6」と回答された方におたずねします。
外出の機会は何があると増えますか。(いくつでも○)**

1. 気軽にいける場所が近くにある
2. 自分の趣味にあった活動がある
3. 一緒に参加する人がいる
4. 外出先を案内してもらい機会がある

**問21-2. 問21で「6」と回答された方におたずねします。
家で過ごすときは何をしていますか。(いくつでも○)**

1. テレビ
2. 新聞や読書
3. 休養(睡眠)
4. 趣味
5. 家事や家族の世話
6. その他()

問 2 2. 1日の食事の回数は何回ですか。(普段の生活から平均的な回数)
(1つに○)

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 朝昼晩 3 回 | 2. 朝晩 2 回 |
| 3. 朝昼 2 回 | 4. 昼夜 2 回 |
| 5. いずれか 1 食のみ | 6. その他 () |

問 2 3. 自分一人ではなく、どなたかと食事をともにする機会がありますか。
(1つに○)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある |
| 3. 月に何度かある | 4. 年に何度かある |
| 5. ほとんどない | |

問 2 4. 日常生活で手助けが必要になった場合、どんな手助けをしてほしいですか。(3つまで○)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 安否確認の声かけ | 2. ちょっとした買い物やゴミ出し |
| 3. 食事の提供(配食・会食など) | 4. 食事づくりや掃除・洗たくのお手伝い |
| 5. 通院や外出の手助け | 6. 電球交換や簡単な大工仕事 |
| 7. 話し相手や相談相手 | 8. 災害時の手助け |
| 9. 急に具合が悪くなった時の手助け | 10. 今は分からない |
| 11. その他 () | |

問 2 5. 日常生活で手助けが必要になった場合、だれに手伝ってほしいですか。
(1つに○)

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 1. 配偶者 | 2. 家族(兄弟姉妹・子・その他の親族) |
| 3. 介護保険サービス | |
| 4. 地域の生活支援のサービス(NPOや近所の人) | |
| 5. 助け合いネットワークや民生委員などの行政関係者 | |

問26. 地域に困ったときのお手伝い(移動の援助や買い物、配食)を行う生活支援のサービスがあることを知っていますか(1つに○)

- | | | |
|----------|---------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 知らない | 3. 利用している |
|----------|---------|-----------|

問27. 問26で「1」または「2」と回答された方におたずねします。
困った時のお手伝い(移動の援助や買い物、配食)を行うNPOや近所の人に手伝ってもらいたいですか。(1つに○)

- | |
|-----------------|
| 1. 手伝ってもらいたい |
| 2. 手伝ってもらいたくない |
| 3. 料金が安いならば利用する |
| 4. 何とも言えない |

問28. 問27で「2」と回答された方におたずねします。
手伝ってもらいたくない理由は何ですか(いくつでも○)

- | |
|------------------------|
| 1. 顔見知りなので嫌だ |
| 2. プライバシーが守られない気がする |
| 3. 資格や技能がある人に手伝ってもらいたい |
| 4. その他() |



【記憶・判断についておたずねします】

問29. その日の活動(食事をする、衣類を選ぶなど)を自分で決めていますか。
(1つに○)

1. 困難なくできる
2. いくらか困難ではあるが、できる
3. 判断する時に他人からの合図や見守りが必要
4. ほとんど判断できない

問30. 5分前のことが思い出せますか。

1. はい
2. いいえ

問31. 人に自分の考えをうまく伝えられていますか。(1つに○)

1. 伝えられる
2. いくらか困難ではあるが、伝えられる
3. あまり伝えられない
4. ほとんど伝えられない

【健康についておたずねします】

問32. ご自分で健康だと思えますか。(1つに○)

1. とても健康だと思う
2. まあまあ健康だと思う
3. あまり健康ではない
4. 健康ではない

問33. 健康に気を使っていることはありますか。(いくつでも○)

1. 休養や睡眠を十分とる
2. 規則正しい生活を送る
3. 栄養のバランスがとれた食事
4. 健康診断を定期的に受ける
5. 散歩や運動をする
6. 気持ちをなるべく明るく保つ
7. その他 ()
8. 特にない

問34. 悩みやストレスはありますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. おおいにある | 2. 少しある |
| 3. まったくない | →(問36へ進む) |

→**問35. 問34で「1」「2」と回答された方におたずねします。
その原因は何ですか。(いくつでも○)**

- | |
|--------------------|
| 1. 家族との人間関係 |
| 2. 友人・知人との人間関係 |
| 3. 話し相手がないこと |
| 4. 生活費について |
| 5. 自分の介護について |
| 6. 自分の健康や病気について |
| 7. 同居家族の健康について |
| 8. 家族や親族に対する介護について |
| 9. 子や孫の将来について |
| 10. 住まいのこと |
| 11. 家族との別居・死別 |
| 12. その他 () |

**問36. あなたは生活の中で不安に思ったとき、どなた(どこ)に相談しますか。
(もっともよくあてはまるもの1つに○)**

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 |
| 3. 子の配偶者 | 4. 兄弟姉妹 |
| 5. 友人・知人 | 6. 近隣の人 |
| 7. 民生委員 | 8. 区役所・保健センター |
| 9. 地域包括支援センター(ケア24) | 10. かかりつけ医 |
| 11. 相談する相手がない | |
| 12. 相談する場所(機関)が分からない | |
| 13. その他 () | |

問 37. 現在、通院（病院・医院・診療所など）や往診を受けていますか。

（1 つに○）

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 通院している | 2. 往診を受けている |
| 3. 通院や往診は受けていない | → (問 40 へ進む) |

→ 問 38. 問 37 で「1」「2」と回答された方におたずねします。

通院や往診の頻度をおしえてください。（1 つに○）

- | | | |
|------------|---------------|------------|
| 1. 週 2 回以上 | 2. 週 1 回程度 | 3. 月 2 回程度 |
| 4. 月 1 回程度 | 5. 数か月に 1 回程度 | 6. 定期的ではない |

問 39. 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。（1 つに○）

- | | | |
|---------|-----------|--------------|
| 1. 1 種類 | 2. 2 種類 | 3. 3 種類 |
| 4. 4 種類 | 5. 5 種類以上 | 6. 薬を服用していない |

問 40. この 1 年間で入院したことがありますか。（1 つに○）

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

【その他】

問 41. 地域包括支援センター（ケア 24）を知っていますか。（1 つに○）

- | |
|-----------------------|
| 1. 知っている（業務も含めて） |
| 2. 名前は知っているが業務内容は知らない |
| 3. 知らない |

問 42. 地域包括支援センター（ケア 24）を利用したことはありますか。

（1 つに○）

- | | |
|-------|---------------|
| 1. ある | 2. ないが今後利用したい |
| 3. ない | |

問 4 3. 区が実施している長寿応援ポイント事業を知っていますか。(1 つに○)

1. 知っている → (問 4 4 へ進む)

2. 知らない → (問 4 8 へ進む)

問 4 4. 問 4 3 で「1」と回答された方におたずねします。

長寿応援ポイントシールがもらえる活動に参加していますか。

(いくつでも○)

1. 地域貢献活動(防犯、環境、清掃などのボランティア活動)に参加している

2. いきがい活動(趣味、教養、スポーツ、健康増進などのグループ活動)に参加している

3. 区が実施する健康増進、介護予防事業、地域貢献学習に参加している

4. 以前は参加していたが今ほどの活動にも参加していない

→ (問 4 6 へ進む)

5. 参加したことがない → (問 4 7 へ進む)

問 4 5. 問 4 4 で「1」～「3」と回答された方におたずねします。

参加前と比べて生活に変化を感じられますか。(いくつでも○)

1. 規則正しい生活になった

2. 交友関係が広がった

3. 特に変わらない

4. その他 ()

問 4 8 へ進む



**問46. 問44で「4」と回答された方におたずねします。
今参加していない理由はなんですか。(いくつでも○)**

1. 参加していた活動団体が無くなった
2. 体力的に厳しくなった
3. 活動に魅力を感じなくなった
4. その他()

**問47. 問44で「5」と回答された方におたずねします。
理由はなんですか？**

1. 参加したい活動が無い
2. どうやって参加したらよいか分からない
3. その他()

**問48. あなたはこれまでに介護保険の認定を申請したことがありますか。
(いくつでも○)**

1. 申請したことはない。申請する予定もない。
2. 現在申請中、または申請する予定である。
3. 申請したが「自立」と判定された。
4. 申請して要支援、要介護と認定されたことがある

問49. 介護保険サービスと保険料のあり方について、あなたの考えにもっとも近いのはどれですか。(1つに○)

1. 保険料が多少高くても、介護サービスを充実してほしい
2. 保険料が高くなるならサービスは現状のままでよい
3. サービスを抑えても保険料は安くしてほしい
4. その他()

問50. 今後、高齢者のためにどのような施策を充実したらよいと思いますか。
(いくつでも○)

1. 高齢者のいきがい活動の支援
2. 介護予防・健康づくりの支援
3. 緊急時にすぐに医療サービスが受けられる体制づくり
4. 困ったときに相談できる体制づくり
5. 在宅での生活を支える医療・介護サービスの充実
6. 高齢者を地域で見守る体制の充実
7. 認知症高齢者や家族の支援
8. 家族介護者への支援
9. 高齢者虐待防止の対策
10. 特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホームなどの介護施設の整備
11. 高齢者の生活に配慮した住宅の整備
12. NPOや近所の人による生活支援のサービス
13. その他 ()

【高齢者の福祉について、ご意見・ご要望などございましたら自由にご記入ください】

貴重なお時間を割いてご協力いただき、ありがとうございました。

ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）にて
10月14日（金）までにご返送ください。

●日常生活圏域ニーズ調査●

平成28年9月

【調査ご協力をお願い】

日頃から杉並区政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

区では、住みなれた地域で安心して暮らしていけるよう、高齢者施策を展開しています。このたび、今後の高齢社会に向けた施策の推進にあたり地域のニーズを把握するため、平成28年9月1日現在、杉並区にお住まいの65歳以上の方3,000人を対象にアンケート調査票を送付させていただきました。

この調査は無記名式となっていますので、お名前をご記入いただく必要はありません。また、ご回答いただいた内容は統計情報の作成のみに使用いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

【調査票の記入にあたってのお願い】

- 1 ボールペンまたは鉛筆でご記入ください。
- 2 ご回答にあたっては、封筒のあて名ご本人についてお答えいただきますが、ご家族や周りの方がご本人と一緒に、またはご本人の代わりにご記入いただいてもかまいません。そのときはあて名ご本人の立場にたってお答えください。
- 3 質問文に記載のあります「1つに○」「いくつでも○」などの説明にしたがって番号に○をつけてご回答ください。また、「その他」にあてはまる場合は、()内になるべく具体的に内容をご記入ください。
- 4 質問によっては、ご回答いただく方が限られる場合があります。矢印(→)など、次にご回答いただく質問番号への案内にご注意ください。
- 5 問52～54は、封筒のあて名ご本人が介助・介護を受けている場合に、お世話をされている方への質問となっています。
- 6 ご回答いただいた調査票は、**10月14日(金)まで**に同封の返信用封筒(切手は不要です)にてご返送ください。
- 7 調査の内容や記入の方法などについて、ご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。



〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1
杉並区役所 保健福祉部 高齢者施策課 管理係
電話：03-3312-2111 (大代表) 内線 1162

【はじめにおききます】

問 1. この調査票を記入するのはどなたですか。（あて名のご本人からみた関係）1つに○

- | | | |
|------------|---------|-----------|
| 1. あて名のご本人 | 2. 配偶者 | 3. 子 |
| 4. 子の配偶者 | 5. 兄弟姉妹 | 6. その他（ ） |

※ 以下の質問の中での「あなた」は、お送りした封筒のあて名の方になります。

問 2. あなた（封筒のあて名ご本人）の性別は。（1つに○）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問 3. あなたの年齢は。（1つに○）

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 満65～69歳 | 2. 満70～74歳 | 3. 満75～79歳 |
| 4. 満80～84歳 | 5. 満85～89歳 | 6. 満90～94歳 |
| 7. 満95歳以上 | | |

問 4. 普段、どなたかの介助・介護が必要ですか。（1つに○）

- | |
|-----------------------------|
| 1. 介助・介護は必要ない |
| 2. 何らかの介助・介護は必要だが、現在は受けていない |
| 3. 家族などの介助・介護を受けている |

【ご家族や生活状況についておたずねします】

問 5. 一緒に暮らしている家族の構成を教えてください。（1つに○）

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 一人暮らし | →(問7へ進む) |
| 2. 夫婦のみ（配偶者65歳以上） | |
| 3. 夫婦のみ（配偶者64歳以下） | |
| 4. 2世代家族（全員が65歳以上） | ----->(問6へ進む) |
| 5. 2世代家族（64歳以下の方が同居） | |
| 6. 3世代家族 | |
| 7. 兄弟姉妹 | |
| 8. その他（ ） | |

問6. 日中、ひとりになることがありますか。(1つに○)

- | | | |
|---------|----------|-------|
| 1. よくある | 2. たまにある | 3. ない |
|---------|----------|-------|

(問8へ進む)

問7. 問5で「1. 一人暮らし」と回答された方におたずねします。

お子さんや兄弟姉妹など親族の方とは、どのくらいの頻度で会ったり、電話などで連絡をとっていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週に3～4回程度 |
| 3. 週に2回程度 | 4. 週に1回程度 |
| 5. 月に1～2回程度 | 6. 年に数回程度 |
| 7. まったくない | 8. 親族がいない |
| 9. その他 () | |

問8. あなたの生活を支えている主な収入はどれですか。(1つに○)

- | |
|-------------------|
| 1. 公的年金（国民年金、恩給等） |
| 2. 自分の仕事の収入 |
| 3. 預貯金、地代、家賃収入など |
| 4. 同居している家族の収入 |
| 5. 別居している家族からの仕送り |
| 6. 公的扶助（生活保護など） |
| 7. その他 () |

問9. 昨年1年間の世帯（同居するご家族すべてを含む）の収入はどのくらいでしたか。(1つに○)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 100万円未満 | 2. 100～200万円未満 |
| 3. 200～400万円未満 | 4. 400～600万円未満 |
| 5. 600～800万円未満 | 6. 800～1000万円未満 |
| 7. 1000万円以上 | 8. 収入なし |
| 9. わからない | |

【住まいについておたずねします】

問10. お住まいは次のうちどれですか。(1つに○)

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 一戸建て持ち家 | 2. 分譲マンション |
| 3. 一戸建て貸家 | 4. 賃貸の公団、公社住宅 |
| 5. 都営、区営住宅 | 6. 賃貸マンション、アパート |
| 7. 社宅、官舎 | 8. 二世帯住宅 |
| 9. その他 () | |

問11. 介護が必要になった場合に希望する(今、介護を受けている方は理想と思う)居住形態について一番近いものはどれですか。(1つに○)

- | |
|---|
| 1. 現在の住まいで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい |
| 2. 子や兄弟姉妹のところに移りたい |
| 3. 様々な事業者が独自に運営する「介護付き有料老人ホーム」に入りたい |
| 4. 介護度が高くなっても所得に応じた費用で入所できる「特別養護老人ホーム」に入りたい |
| 5. 身近な地域で他の入居者と共同生活する「認知症高齢者グループホーム」に入りたい |
| 6. 見守りや食事などが提供される「サービス付き高齢者向け住宅」に入りたい |
| 7. その他 () |
| 8. わからない |

1、2、7、8の方は問13へ進む

▶問12. 問11で「3」「4」「5」「6」と回答された方におたずねします。
家賃・介護費用など月額負担費用はいくらまで可能ですか。(1つに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 10万円未満 | 2. 10～15万円未満 |
| 3. 15～20万円未満 | 4. 20～25万円未満 |
| 5. 25～30万円未満 | 6. 30万円以上 |
| 7. わからない | |

問 1 3. できるだけ自宅に住み続けるために必要と思われるサービスは何ですか。(いくつでも○)

1. 在宅でいつでも医療が受けられるサービス
2. 食事や排せつなどの身体の介助が受けられるサービス
3. 掃除・洗たく・料理など家事援助が受けられるサービス
4. 緊急の時に誰かが駆けつけてくれるサービス
5. 必要時に短期間の施設入所ができるショートステイサービス
6. 地域の人による「ちょっと手助け」をしてくれるサービス
7. その他 ()

【社会参加についておたずねします】

問 1 4. 友人の家を訪ねていますか。(友人と外で会うことも含む)

1. はい
2. いいえ

問 1 5. 家族や友人の相談にのっていますか。

1. はい
2. いいえ

問 1 6. 生きがいを感じていますか。

1. はい
2. いいえ

問 1 7. 現在やっている活動はありますか。(いくつでも○)

1. 仕事
2. 趣味やサークル活動
3. 学習や教養を高める活動
4. NPO・ボランティア活動
5. 町会、自治会、いきいきクラブ活動
6. 健康づくり
7. 特にない
8. その他 ()

問 18. これからやってみたい活動はありますか。(いくつでも○)

1. 仕事
2. 趣味やサークル活動
3. 学習や教養を高める活動
4. NPO・ボランティア活動
5. 町会、自治会、いきいきクラブ活動
6. 健康づくり
7. 特にない
8. その他 ()

問 19. 近所の方と会話をしているなど、お付き合いはありますか。(1つに○)

1. ほぼ毎日
2. 週に3～4回程度
3. 週に2回程度
4. 週に1回程度
5. 月に1～2回程度
6. ほとんどない



【日常生活についておたずねします】

問20. 次の(1)～(10)の全ての項目について、あてはまるものにそれぞれ1つつ〇をつけてください。

	いずれかに必ず〇をつける
(1) 新聞を読んでいますか。	1. はい 2. いいえ
(2) 本や雑誌を読んでいますか。	1. はい 2. いいえ
(3) 健康についての記事や番組に関心がありますか。	1. はい 2. いいえ
(4) 役所や病院などに出す書類が書けますか。	1. はい 2. いいえ
(5) 携帯電話やパソコンのメールで連絡をしたり、インターネットを使って情報を得たりしていますか。	1. はい 2. いいえ
(6) バスや電車、または自家用車を使って一人で外出できますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(7) 自分で日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(8) 自分でお金の管理(預貯金の出し入れなど)をしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(9) 自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(10) 自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問20-1. 問20(5)で「はい」と回答された方におたずねします。
どのような機器を利用していますか(いくつでも〇)

1. パソコン	2. スマートフォン
3. 携帯電話	4. タブレット

問20-2. 問20(5)で「はい」と回答された方におたずねします。
どのような目的に利用していますか。(いくつでも○)

1. メールのみ利用する
2. メールを利用しており、インターネットを利用し情報収集している
3. 通信販売やインターネットバンキングなどを利用している

問21. 散歩や買い物など、外出の回数はどのくらいですか(通院を除く)。
(1つに○)

1. ほぼ毎日
2. 週に3～4回程度
3. 週に2回程度
4. 週に1回程度
5. 月に1～2回程度
6. ほとんどない

問21-1. 問21で「6」と回答された方におたずねします。
外出の機会は何があると増えますか。(いくつでも○)

1. 気軽にいける場所が近くにある
2. 自分の趣味にあった活動がある
3. 一緒に参加する人がいる
4. 外出先を案内してもらえる機会がある

問21-2. 問21で「6」と回答された方におたずねします。
家で過ごすときは何をしていますか。(いくつでも○)

1. テレビ
2. 新聞や読書
3. 休養(睡眠)
4. 趣味
5. 家事や家族の世話
6. その他()

**問 2 2. 1日の食事の回数は何回ですか。(普段の生活から平均的な回数)
(1つに○)**

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 朝昼晩 3回 | 2. 朝晩 2回 |
| 3. 朝昼 2回 | 4. 昼夜 2回 |
| 5. いずれか 1食のみ | 6. その他 () |

**問 2 3. 自分一人ではなく、どなたかと食事をとにもする機会がありますか。
(1つに○)**

- | | |
|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある |
| 3. 月に何度かある | 4. 年に何度かある |
| 5. ほとんどない | |

問 2 4. 日常生活で手助けが必要になった場合、どんな手助けをしてほしいですか。(3つまで○)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 安否確認の声かけ | 2. ちょっとした買い物やゴミ出し |
| 3. 食事の提供(配食・会食など) | 4. 食事づくりや掃除・洗たくのお手伝い |
| 5. 通院や外出の手助け | 6. 電球交換や簡単な大工仕事 |
| 7. 話し相手や相談相手 | 8. 災害時の手助け |
| 9. 急に具合が悪くなった時の手助け | 10. 今はわからない |
| 11. その他 () | |

**問 2 5. 日常生活で手助けが必要になった場合、だれに手伝ってほしいですか。
(1つに○)**

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 1. 配偶者 | 2. 家族(兄弟姉妹・子・その他親族) |
| 3. 介護保険サービス | |
| 4. 地域の生活支援サービス(NPOや近所の人) | |
| 5. 助け合いネットワークや民生委員などの行政関係者 | |

問26. 地域に困った時のお手伝い（移動や援助や買い物、配食）を行う生活支援サービスがあることを知っていますか。

- | | | |
|----------|---------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 知らない | 3. 利用している |
|----------|---------|-----------|

問27. 問26で「1」または「2」と回答された方におたずねします。困った時のお手伝い（移動の援助や買い物、配食）を行うNPOや近所の人に手伝ってもらいたいですか。（1つに○）

- | |
|-----------------|
| 1. 手伝ってもらいたい |
| 2. 手伝ってもらいたくない |
| 3. 料金が安いならば利用する |
| 4. 何とも言えない |

問28. 問27で「2」と回答された方におたずねします。手伝ってもらいたくない理由は何ですか。（いくつでも○）

- | |
|------------------------|
| 1. 顔見知りなので嫌だ |
| 2. プライバシーが守られない気がする |
| 3. 資格や技能がある人に手伝ってもらいたい |
| 4. その他() |

【記憶・判断についておたずねします】

問29. その日の活動（食事をする、衣類を選ぶなど）を自分で決めていますか。（1つに○）

- | |
|-------------------------|
| 1. 困難なくできる |
| 2. いくらか困難ではあるが、できる |
| 3. 判断する時に他人からの合図や見守りが必要 |
| 4. ほとんど判断できない |

問30. 5分前のことが思い出せますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問31. 人に自分の考えをうまく伝えられていますか。(1つに○)

- | |
|----------------------|
| 1. 伝えられる |
| 2. いくらか困難ではあるが、伝えられる |
| 3. あまり伝えられない |
| 4. ほとんど伝えられない |

【運動機能についておたずねします】

問32. 次の(1)～(8)の全ての項目について、あてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

	いずれかに必ず○をつける
(1) この1年間に転んだことはありますか。	1. はい 2. いいえ
(2) この1年で背中が丸くなってきましたか。	1. はい 2. いいえ
(3) この1年で歩く速度が遅くなってきましたか。	1. はい 2. いいえ
(4) この1年で杖を使っていますか。	1. はい 2. いいえ
(5) 転倒に対する不安は大きいですか。	1. はい 2. いいえ
(6) 階段を手すりや壁をつたわずに昇り降りしていますか。	1. はい 2. いいえ
(7) 椅子に座った状態から何も捕まらずに立ち上がっていますか。	1. はい 2. いいえ
(8) 15分くらい続けて歩いていますか。	1. はい 2. いいえ

【健康についておたずねします】

問33. ご自分で健康だと思いますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. とても健康だと思う | 2. まあまあ健康だと思う |
| 3. あまり健康ではない | 4. 健康ではない |

問34. 健康に気を使っていることはありますか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 休養や睡眠を十分とる | 2. 規則正しい生活を送る |
| 3. 栄養のバランスがとれた食事 | 4. 健康診断を定期的に受ける |
| 5. 散歩や運動をする | 6. 気持ちをなるべく明るく保つ |
| 7. その他 () | 8. 特にない |

問35. 悩みやストレスはありますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. おおいにある | 2. 少しある |
| 3. まったくない | → (問37へ進む) |

問36. 問35で「1」「2」と回答された方におたずねします。
その原因は何ですか。(いくつでも○)

- | |
|--------------------|
| 1. 家族との人間関係 |
| 2. 友人・知人との人間関係 |
| 3. 話し相手がないこと |
| 4. 生活費について |
| 5. 自分の介護について |
| 6. 自分の健康や病気について |
| 7. 同居家族の健康について |
| 8. 家族や親族に対する介護について |
| 9. 子や孫の将来について |
| 10. 住まいのこと |
| 11. 家族との別居・死別 |
| 12. その他 () |

問37. あなたは生活の中で不安に思ったとき、どなた(どこ)に相談しますか。
(もっともよくあてはまるもの1つに○)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 |
| 3. 子の配偶者 | 4. 兄弟姉妹 |
| 5. 友人・知人 | 6. 近隣の人 |
| 7. 民生委員 | 8. 区役所・保健センター |
| 9. 地域包括支援センター(ケア24) | 10. かかりつけ医 |
| 11. 相談する相手がいない | |
| 12. 相談する場所(機関)が分からない | |
| 13. その他() | |

問38. 現在、通院(病院・医院・診療所など)や往診を受けていますか。
(1つに○)

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 通院している | 2. 往診を受けている |
| 3. 通院や往診は受けていない | → (問41へ進む) |

→ 問39. 問38で「1」「2」と回答された方におたずねします。
通院や往診の頻度をおしえてください。(1つに○)

- | | | |
|----------|-------------|------------|
| 1. 週2回以上 | 2. 週1回程度 | 3. 月2回程度 |
| 4. 月1回程度 | 5. 数か月に1回程度 | 6. 定期的ではない |

問40. 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。(1つに○)

- | | | |
|--------|----------|--------------|
| 1. 1種類 | 2. 2種類 | 3. 3種類 |
| 4. 4種類 | 5. 5種類以上 | 6. 薬を服用していない |

問41. この1年間で入院したことがありますか。(1つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

【介護保険サービスの利用や制度についておたずねします】

問 4 2. 現在の認定状況をおしえてください。(1 つに○)

- | | |
|----------|----------|
| 1. 要支援 1 | 2. 要支援 2 |
|----------|----------|

問 4 3. 介護保険サービスを利用していますか。(1 つに○)

- | | |
|------------|---------------|
| 1. 利用している | → (問 4 5 へ進む) |
| 2. 利用していない | |

▶ 問 4 4. 問 4 3 で「2」と回答された方におたずねします。
サービスを利用していない理由をおしえてください。(1 つに○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 今はまだサービスを利用しなくても大丈夫 |
| 2. サービスを利用したいが経済的な負担が大きい |
| 3. 利用したいサービスがない |
| 4. サービスの内容がよくわからない |
| 5. 以前利用していたサービス内容に不満があり止めた |
| 6. 利用したいサービスがあるが、条件が合わず利用できない |
| 7. その他 () |

問 4 5. 介護保険サービスと保険料のあり方について、あなたの考えにもっとも近いのはどれですか。(1 つに○)

- | |
|------------------------------|
| 1. 保険料が多少高くても、介護サービスを充実してほしい |
| 2. 保険料が高くなるならサービスは現状のままでよい |
| 3. サービスを抑えても保険料は安くしてほしい |
| 4. その他 () |

【その他】

問46. 今後、高齢者のためにどのような施策を充実したらよいと思いますか。
(いくつでも○)

1. 高齢者のいきがい活動の支援
2. 介護予防・健康づくりの支援
3. 緊急時にすぐに医療サービスが受けられる体制づくり
4. 困ったときに相談できる体制づくり
5. 在宅での生活を支える医療・介護サービスの充実
6. 高齢者を地域で見守る体制の充実
7. 認知症高齢者や家族の支援
8. 家族介護者への支援
9. 高齢者虐待防止の対策
10. 特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホームなどの介護施設の整備
11. 高齢者の生活に配慮した住宅の整備
12. NPOや近所の人による生活支援のサービス
13. その他 ()

問47. 区が実施している長寿応援ポイント事業を知っていますか。(1つに○)

1. 知っている → (問48へ進む)

2. 知らない → (16頁へ進む)



問 4 8. 問 4 7 で「1」と回答された方におたずねします。
長寿応援ポイントシールがもらえる活動に参加していますか。
(いくつでも○)

1. 地域貢献活動（防犯、環境、清掃などのボランティア活動）に参加している
2. いきがい活動（趣味、教養、スポーツ、健康増進などのグループ活動）に参加している
3. 区が実施する健康増進、介護予防事業、地域貢献学習に参加している

4. 以前は参加していたが今はどの活動にも参加していない

→(問 5 0 へ進む)

5. 参加したことがない → (問 5 1 へ進む)

問 4 9. 問 4 8 で「1」～「3」と回答された方におたずねします。
参加前と比べて生活に変化を感じられますか。(いくつでも○)

1. 規則正しい生活になった
2. 交友関係が広がった
3. 特に変わらない
4. その他 ()

(16頁へ進む)

問 5 0. 問 4 8 で「4」と回答された方におたずねします。
今参加していない理由はなんですか。(いくつでも○)

1. 参加していた活動団体が無くなった
2. 体力的に厳しくなった
3. その他 ()

問 5 1. 問 4 8 で5と答えた方にお聞きします。
その理由はなんですか。

1. 参加したい活動が無い
2. どうやって参加したらよいか分からない
3. その他 ()

以下の問5 2～5 4は、封筒のあて名ご本人を介助・介護している方におたずねします。

介助・介護を受けられていない方は 17頁のご意見・ご要望の記入欄へお進みください

【介助・介護をしている方におききします】

問5 2. 介護保険サービスを利用して、介護にかかる負担が軽減されたと感じることはありますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 非常に感じる | 2. 多少は感じる |
| 3. あまり感じない | 4. 感じない |
| 5. どちらともいえない | 6. サービスは利用していない |

問5 3. 介助・介護のことで困ったとき、誰に相談していますか。(1つに○)

- | |
|----------------------|
| 1. ご本人の家族や親族 |
| 2. 隣近所の人 |
| 3. 友人・知人 |
| 4. かかりつけ医 |
| 5. 介護保険相談員(民生委員) |
| 6. 区役所・保健センター |
| 7. 地域包括支援センター(ケア24) |
| 8. ケアマネジャー |
| 9. ヘルパーなど介護保険サービス事業者 |
| 10. 杉並社会福祉協議会 |
| 11. その他 () |
| 12. 相談する相手がいない |

**問54. 介助・介護をしているあなたが必要とするサービスはなんですか。
(いくつでも○)**

1. 高齢者を数日間施設で介護する宿泊サービス
2. 一時的に高齢者を施設で介護する日帰りサービス
3. 介護者が息抜きできるように、代わりに見守りを行うサービス
4. 介護者が疲れた時に家事などを援助するサービス
5. 介護相談やサービスの紹介・手続きの代行
6. 介護者のための健康相談・検診の機会
7. 介護者同士が情報交換できる場
8. その他 ()

【高齢者の福祉について、ご意見・ご要望などございましたら自由にご記入ください】

貴重なお時間を割いてご協力いただき、ありがとうございました。
ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）にて
10月14日（金）までにご返送ください。

杉並区 介護保険に関する調査

平成28年10月

【調査ご協力のお願い】

日頃から杉並区政に、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

区では、住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるよう、高齢者施策を展開しています。このたび、『第7期介護保険事業計画（平成30年～32年度）』策定の基礎資料とするため、平成28年9月1日現在、杉並区にお住まいの要介護認定を受けている65歳以上の方4,000人を対象にアンケート調査票を送付させていただきました。

この調査は無記名式となっていますので、お名前をご記入いただく必要はありません。また、ご回答いただいた内容は統計情報の作成のみに使用いたしません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

【調査票の記入にあたってのお願い】

- 1 ご記入は、ボールペンまたは鉛筆でお願いいたします。
- 2 ご本人（封筒の宛名の方）が、記入できない場合は、ご本人の日常生活をよく知っているご家族の方や、介護をされている方が、ご本人の立場に立ってご記入ください。
- 3 質問文に記載のあります「1つに○」「あてはまるものすべてに○」などの説明にしたがって番号に○をつけてご回答ください。また、「その他」に○をつけた場合は、なるべく具体的に内容をご記入ください。
- 4 質問によっては、ご回答いただく方が限られる場合があります。矢印（→）など、次にご回答いただく質問番号への案内にご注意ください。
- 5 問32～45は、封筒の宛名ご本人を介護している方（ヘルパーを除く）への質問となっています。
- 6 ご回答いただいた調査票は、**10月31日(月)まで**に同封の返信用の封筒（切手は不要です）にて、ご返送ください。
- 7 調査の内容や記入の方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1
杉並区役所 保健福祉部 高齢者施策課 管理係
電話：03-3312-2111（大代表） 内線1162

調査票の記入者をご本人の生活場所についておたずねします。

問1 調査票（問3 1まで）を記入される方は、どなたですか。
封筒のあて名のご本人からみた関係でご回答ください。2人以上で記入される場合は主に記入される方をご記入ください。（1つに○）

- | | | |
|-----------|--------|----------|
| 1 あて名のご本人 | 2 配偶者 | 3 子 |
| 4 子の配偶者 | 5 兄弟姉妹 | 6 その他（ ） |

※ 以下の質問の中の「あなた」は封筒のあて名の方になります。

問2 あなたは今どちらにいらっしゃいますか。（1つに○）

- | | | |
|------------------------|---|--|
| 1 自宅 ⇒ 問4 へ進む | } | 3～6にご回答の方はこれで調査は終了です。ありがとうございました。調査票をご返送ください。
なお、ご意見・ご要望などございましたら、 <u>15</u> 頁にご記入ください。 |
| 2 入院中 ⇒ 問3 へ進む | | |
| 3 施設に入所中（入所先： | | |
| 4 区外へ転居 | | |
| 5 死亡 | | |
| 6 一時的に他の場所にいるため、回答できない | | |

問3 問2で「2 入院中」と回答された方におたずねします。

入院期間はどのくらいですか。（1つに○）

- | | |
|-------------------------|---------|
| 1 6ヶ月未満 ⇒ 問4 へ進む | 2 6ヶ月以上 |
|-------------------------|---------|

これで調査は終了です。ありがとうございました。調査票をご返送ください。なお、ご意見・ご要望などございましたら、15頁にご記入ください。

※以下の設問は、問2で「1」・問3で「1」と回答された方におたずねします。

問4 あなたの性別を教えてください。

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問5 あなたの年齢はおいくつですか。（1つに○）

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 満65～69歳 | 2 満70～74歳 | 3 満75～79歳 |
| 4 満80～84歳 | 5 満85～89歳 | 6 満90～94歳 |
| 7 満95～99歳 | 8 満100歳以上 | |

問6 一緒に暮らしている家族の構成を教えてください。(1つに○)

- 1 一人暮らし
- 2 夫婦のみの世帯 (配偶者も65歳以上)
- 3 夫婦のみの世帯 (配偶者は64歳以下)
- 4 世帯員全員が65歳以上の世帯 (夫婦のみの世帯は除く)
- 5 その他の世帯

問7 現在の要介護度を教えてください。(有効期間が切れている場合、切れる前の要介護度を記入してください。)(1つに○)

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1 要介護1 | 2 要介護2 | 3 要介護3 |
| 4 要介護4 | 5 要介護5 | |

日常生活についておたずねします。

問8 あなたの生活の状況について、もっとも近いものはどれですか。(1つに○)

- 1 病気や障害はなく、健康である
- 2 何らかの病気や障害などはあるが、日常生活はほぼ自立しており、バス、電車などを利用して一人で少し遠方まで外出できる
- 3 何らかの病気や障害などはあるが、日常生活はほぼ自立しており、隣近所までなら一人で外出する
- 4 何らかの病気や障害などはあるが、介助があれば外出できるし、日中はほとんどベッド(ふとん)から離れている
- 5 何らかの病気や障害などがあり、外出の回数が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている
- 6 何らかの病気や障害などがあり、介助を要するが、自力で車椅子に移って、食事、排せつはベッド(ふとん)から離れて行うことができる
- 7 何らかの病気や障害などがあって、日中もベッド(ふとん)上での生活が主体であるが、介助されれば、車椅子に移ることができる
- 8 何らかの病気や障害などがあって、一日中ベッド(ふとん)上で過ごし、排せつ、食事、着替えなども介助を要するが、自力で寝返りをうつことはできる
- 9 何らかの病気や障害などがあって、一日中ベッド(ふとん)上で過ごし、自力では、寝返りもうてない状態である

問9 生活の中で不安に思ったとき、どなた（どこ）に相談しますか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------------------|----------------------|
| 1 家族や親族 | 2 隣近所の人 |
| 3 友人・知人 | 4 かかりつけの医師 |
| 5 民生委員（介護保険相談員） | 6 まちかど介護相談薬局 |
| 7 区役所・保健センター | 8 地域包括支援センター（ケア24） |
| 9 ケアマネジャー | 10 ヘルパーなど介護保険サービス事業者 |
| 11 杉並区社会福祉協議会 | 12 インターネットで、自分で調べる |
| 13 相談する相手がいない | 14 相談しない |
| 15 その他（ ） | |

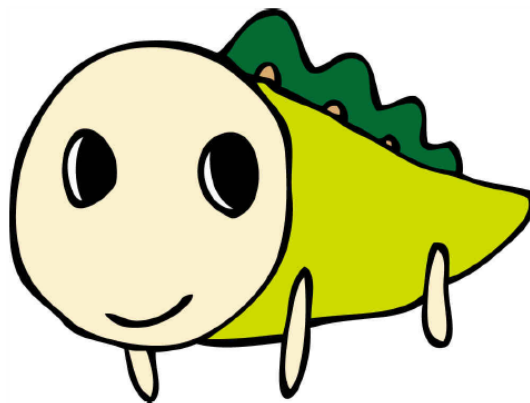
健康についておたずねします。

問10 現在、通院（病院・医院・診療所）や往診で診療を受けていますか。
（1つに○）

- | | |
|-------------|---------|
| 1 通院している | ⇒問11へ進む |
| 2 往診を受けている | ⇒問12へ進む |
| 3 診療を受けていない | ⇒問13へ進む |

問11 問10で「1 通院している」と回答された方におたずねします。
通院の回数はどのくらいですか。（1つに○）

- | | | |
|---------|------------|---------|
| 1 週2回以上 | 2 週1回程度 | 3 月2回程度 |
| 4 月1回程度 | 5 数か月に1回程度 | 6 不定期 |



問12 問10で「2 往診をうけている」と回答された方におたずねします。

往診を受けているのは、どのような内容ですか。

(現在受けているものすべてに○)

- 1 医師による訪問診療を受けている
- 2 看護師等による訪問看護を受けている
- 3 在宅で、歯科医師や歯科衛生士による口腔に関する診療・指導を受けている
- 4 在宅で、医師や薬剤師による服薬の指導を受けている
- 5 在宅で、栄養士等による栄養・食事指導を受けている
- 6 在宅で経管栄養・尿の留置カテーテル・点滴、酸素カニューレ、血液透析器・人工呼吸器などの医療器具を装着している
- 7 在宅で看護師等による吸引や吸入、浣腸、人工肛門の管理や褥瘡（じょくそう）・創傷処理など医療処置を受けている

サービスの利用状況についておたずねします。

問13 9月中に、介護保険サービスを実際に利用しましたか。(1つに○)

- 1 利用した ⇒ 問15へ進む
- 2 利用していない ⇒ 問14へ進む
- 3 わからない ⇒ 問15へ進む

問14 問13で「2 利用していない」と回答された方におたずねします。

9月の時点で、介護保険サービスを利用していない理由で、ご本人のお考えに近いものはどれですか。(2つまで○)

- 1 病気やけがで、本人の状態が悪化したため、一時的に利用しなかった
- 2 家族等が介護しているので、サービスを利用する必要がない
- 3 本人の身体状況にふさわしいサービスがない
- 4 本人や家族が利用したいと思うサービスがない
- 5 本人がサービスの利用をいやがる
- 6 どんなサービスがあるのかわからないから
- 7 費用の自己負担額が高すぎる
- 8 身内や知人以外に、家に入ってきてほしくないから
- 9 福祉用具購入や住宅改修を利用するためのみに認定を受けたから
- 10 必要なときにサービスが受けられるよう、あらかじめ認定を受けておこうと思ったから
- 11 その他 ()

問15 ここ半年間に、短期入所生活・短期入所療養介護（ショートステイ）を希望どおり利用できましたか。（1つに○）

- 1 おおむね希望どおり利用できている ⇒問17へ進む
- 2 希望の半分程度しか利用できない
- 3 胃ろう、気管切開などの医療上の問題で、利用したくてもできない
- 4 医療上の問題はないが、希望してもほとんど利用できない
- 5 利用は希望していない ⇒問17へ進む

2～4を選択⇒問16へ進む

問16 問15で「2～4」に回答された方におたずねします。

短期入所生活・短期入所療養介護（ショートステイ）を希望どおり利用できない場合は、どのようにしていますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 従来どおりの介護サービスを受けて自宅にいる
- 2 身内や知人宅に行く
- 3 有料老人ホームのショートステイを利用している
- 4 宿泊サービスを行っている通所介護（デイサービス）を利用している（お泊りデイ）
- 5 緊急ショートステイを利用している（区の独自サービス）
- 6 入院する
- 7 その他（ ）

問17 介護保険の地域密着型サービスを知っている、または聞いたことがありますか。（以下のあてはまるものすべてに○）

- 1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
日中・夜間を通じて24時間、訪問介護と訪問看護を一体的に又はそれぞれが連携しながら定期巡回訪問と随時の対応を行うサービスです。
- 2 夜間対応型訪問介護
24時間安心して在宅生活を送れるよう、巡回や通報システムによる夜間専用の訪問介護サービスを受けられます。
- 3 小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護
小規模な住居型の施設で、「通い」を中心に、「訪問介護」または「短期間の宿泊」などを組み合わせて、食事・入浴などの介護や看護の支援が受けられます。

**問18 問17の地域密着型サービスについて、利用してみたいと思いますか
(あてはまるものに○)**

- | | | | | |
|---|------------------------------|---|---|--------------|
| 1 | 定期巡回・随時対応型介護看護 | ⇒ | 1 | 必要になったら利用したい |
| | | | 2 | 利用したくない |
| | | | 3 | わからない |
| 2 | 夜間対応型訪問介護 | ⇒ | 1 | 必要になったら利用したい |
| | | | 2 | 利用したくない |
| | | | 3 | わからない |
| 3 | 小規模多機能型居宅介護
看護小規模多機能型居宅介護 | ⇒ | 1 | 必要になったら利用したい |
| | | | 2 | 利用したくない |
| | | | 3 | わからない |

問19 ここ半年間に、高齢者在宅サービス（区の独自サービス）を利用したことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 おむつ等の支給・おむつ代金の助成
- 2 ほっと一息、介護者ヘルプ（家事代行ホームヘルパー派遣利用券の給付）
- 3 高齢者緊急通報システム（急病時に救急ボタンを押し救急車を要請）
- 4 寝具洗たく乾燥サービス
- 5 訪問理美容サービス（理美容師の出張費利用券の給付）
- 6 緊急ショートステイ
- 7 見守り配食サービス
- 8 家具転倒防止器具取付け（無料）
- 9 認知症高齢者家族安らぎ支援（ボランティアによる傾聴サービス）
- 10 高齢者安心コール（電話訪問による安否確認、健康相談）
- 11 高齢者火災安全システム（電磁調理器等の給付）
- 12 徘徊高齢者探索システム（GPS通信を使って高齢者の居場所を探索）
- 13 高齢者24時間安心ヘルプサービス助成事業
- 14 ここ半年間に、これらのサービスを利用したことがない

お住まいについておたずねします。

問20 現在のお住まいは次のうちどれですか。(1つに○)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 持ち家 (戸建て) | 2 持ち家 (マンション等) |
| 3 賃貸 (戸建て) | 4 民間の賃貸マンション |
| 5 民間の賃貸アパート | 6 みどりの里・シルバーピア |
| 7 6以外の区営・都営住宅 | 8 公団・公社の賃貸住宅 |
| 9 高齢者対応の住宅やマンション | 10 その他 () |

問21 現在のお住まいは、介護を受けながら在宅生活を送るのに適していると思いますか。(1つに○)

- | | |
|--------|------------------|
| 1 思う | ⇒ <u>問23</u> へ進む |
| 2 思わない | ⇒ <u>問22</u> へ進む |

問22 問21で「2 思わない」と回答された方におたずねします。

在宅生活に適していると思わない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------------------|
| 1 ご本人専用の部屋がない |
| 2 部屋がせまく、介護用品 (ベッド、車いす等) を置くスペースがない |
| 3 階段の昇り降りが困難である |
| 4 玄関、廊下、階段、トイレ、浴室などに手すりがない |
| 5 玄関、廊下、トイレ、浴室などに段差がある |
| 6 玄関、部屋などの扉の開閉が困難である |
| 7 トイレが洋式でない |
| 8 流し台が使いにくい |
| 9 浴槽が使いにくい |
| 10 その他 () |

施設の入所についておたずねします。

問23 介護保険施設や有料老人ホーム等に入所(居)希望がありますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 現在、施設入所を申し込んでいる | } ⇒ <u>問24</u> へ進む |
| 2 将来的には施設入所を考えたい | |
| 3 施設への入所希望はない | } ⇒ <u>問26</u> へ進む |
| 4 わからない | |

問25 問23で「1」または「2」と回答された方におたずねします。

現在、または将来において施設に入所したいとお考えの理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 介護する家族の心身の負担が大きい
- 2 介護をする家族や親族がいない
- 3 専門的なりハビリ等が必要
- 4 整った設備と専門職員がいる中での長期療養が必要
- 5 在宅のサービス利用による経済的な負担が大きい
- 6 在宅生活では、夜間や緊急時の対応が不安である
- 7 現在の住まいがアパート等で、今後住み続けられないかもしれない
- 8 その他 ()

介護保険制度についておたずねします。

問26 介護保険サービス全般の内容に満足していますか。(1つに○)

- 1 満足している
- 2 おおむね満足している
- 3 ふつうである
- 4 少し不満がある
- 5 不満である
- 6 わからない

問27 現在の介護保険料をどのように感じていますか。(1つに○)

- 1 非常に負担である
- 2 多少負担である
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり負担ではない
- 5 まったく負担ではない
- 6 いくら払っているかわからない

問28 介護サービスと介護保険料のあり方について、ご本人のお考えにもっとも近いものはどれですか。(1つに○)

- 1 介護保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい
- 2 介護保険料が高くなるなら、サービスは現状のままでよい
- 3 サービスを抑えても、介護保険料は安くしてほしい。
- 4 その他 ()

問29 介護保険サービス利用の費用について、区から年2回お知らせしていますが、内容を確認していますか。(1つに○)

- 1 している
- 2 多少はしている
- 3 通知のあることは知っているが、内容はみていない
- 4 まったく知らない

問30 ケアマネジャーと契約をするとき、その事業所をどのようにお知りになりましたか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族・知人・友人等の紹介
- 2 かかりつけの医師・入院先の病院の紹介
- 3 地域包括支援センター(ケア24)
- 4 インターネット
- 5 区役所のホームページ(介護保険サービス事業者情報検索システム)
- 6 介護サービス事業者ガイドブック(ハートページ)
- 7 その他()

問31 今後、区が力を入れていくべきと思うものは何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

- 1 介護サービス利用者や家族を支援する情報提供の充実
- 2 介護サービス利用にかかる相談や苦情解決への対応
- 3 介護サービスを評価する仕組みづくり
- 4 在宅での生活が続けられるよう福祉、介護サービスの充実
- 5 特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実
- 6 介護支援専門員(ケアマネジャー)やホームヘルパーなど人材の確保・定着・育成
- 7 介護サービスの質の向上に向けた事業者や施設への支援
- 8 介護保険制度の普及啓発
- 9 低所得者への対応策
- 10 できるだけ介護が必要にならないような健康づくりと介護予防の推進
- 11 その他()
- 12 特になし

(以下の問32～問45までは、介護をしている方(ヘルパーを除く)におたずねします。介護者がいない方は15頁へお進みください。)

問32 ふだん主に介護やお世話をしているのはどなたですか。(1つに○)
介護保険の認定を受けているご本人からみた続柄でご回答ください。

- | | | |
|-----------|-------|------|
| 1 妻又は夫 | 2 娘 | 3 息子 |
| 4 息子の妻 | 5 娘の夫 | 6 孫 |
| 7 その他 () | | |

問33 主に介護をしている方(問32でお答えいただいた方)の状況についておたずねします。(選択肢があるものは、1つに○)

性別	1 男性	2 女性
年齢	1 満20歳未満	2 満20～29歳
	3 満30～39歳	4 満40～49歳
	5 満50～54歳	6 満55～59歳
	7 満60～64歳	8 満65～69歳
	9 満70～74歳	10 満75～79歳
	11 満80～84歳	12 満85歳以上
健康状態	1 よい	2 まあよい
	3 あまりよくない	4 よくない
高齢者ご本人との同居の状況	1 同居している	2 別居している
介護の時間帯	1 日中・夜間とも	2 主に日中
	3 主に夜間	4 その他 ()
介護年数	1 1年未満	2 1年～3年未満
	3 3年～5年未満	4 5年～10年未満
	5 10年以上	

問34 主に介護をしている方以外に、介護やお世話をする方(ヘルパーを除く)はいますか。(1つに○)

- | |
|------------------------|
| 1 同程度に介護やお世話をしてくれる人がいる |
| 2 多少は介護やお世話をしてくれる人がいる |
| 3 他に介護やお世話をしてくれる人はいない |

問35 介護保険サービスを利用して、介護にかかる負担が軽減されたと感じることはありますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1 非常に感じる | 2 多少は感じる |
| 3 あまり感じない | 4 感じない |
| 5 どちらともいえない | 6 サービスは利用していない |

問36 介護保険サービス全般の内容は満足できますか。(1つに○)

- | | |
|----------|--------------|
| 1 満足している | 2 おおむね満足している |
| 3 ふつうである | 4 少し不満がある |
| 5 不満である | 6 わからない |

問37 介護をする上で困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1 介護保険の枠内のサービスでは足りない
(例：もっとホームヘルプサービス、ショートステイ、デイサービス等の介護サービスを利用したい等) |
| 2 介護保険では必要なサービスメニューがない
(例：介護者が休息や外出するときに見守りのサービスが欲しい、外出時に付き添いが欲しい、自分のほかに介護をしてくれる人がほしい等) |
| 3 介護をしていて困ったときや悩みを相談するところがない
(例：自分の健康が保てない、ストレスがたまっている、介護サービスを本人が使いたがらない、本人と意思疎通がうまく出来ない等) |
| 4 介護が経済的な負担になっている
(例：介護のために働くことが困難である等) |
| 5 特に困っていることはない |
| 6 その他 () |

問38 介護のことで困ったとき、誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1 ご本人の家族や親族 | 2 隣近所の人 |
| 3 友人・知人 | 4 かかりつけの医師 |
| 5 民生委員(介護保険相談員) | 6 まちかど介護相談薬局 |
| 7 区役所・保健センター | 8 地域包括支援センター(ケア24) |
| 9 ケアマネジャー | 10 ヘルパーなど介護保険サービス事業者 |
| 11 杉並区社会福祉協議会 | 12 その他 () |
| 13 相談する相手がない | |

問39 介護者が必要とするサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----|-----------------------------------|
| 1 | 介護者が休息出来るように、高齢者を数日間施設で介護する宿泊サービス |
| 2 | 介護者が外出するときなどに、高齢者を施設で介護する日帰りサービス |
| 3 | 介護者が息抜きできるように、代わりに見守りを行うサービス |
| 4 | 介護者が疲れたときに家事などを援助するサービス |
| 5 | 介護相談やサービスの紹介・手続きの代行 |
| 6 | 介護者に対するこころの相談 |
| 7 | 介護者のための健康相談・健診の機会 |
| 8 | 介護者同士が情報交換できる場 |
| 9 | 介護者への経済的支援 |
| 10 | その他 () |

問40 現在、介護をしながら仕事をしていますか？(1つに○)

- | | | |
|---------|----------|---------------|
| 1. している | 2. していない | 3. 介護のために離職した |
|---------|----------|---------------|

問41 職場で介護休暇制度などを利用していますか。(1つに○)

(例：介護のための短時間勤務制度・介護休暇・介護休業など)

- | | | |
|-------|-------------|-----------|
| 1 利用中 | 2 利用したことがある | 3 制度を知らない |
|-------|-------------|-----------|

問42 主に介護している方の最近2週間のことについておたずねします。ア～ケの質問にご回答ください。(1(はい)または2(いいえ)のどちらかに○)

	質問項目	はい	いいえ
ア	毎日の生活に充実感がない	1	2
イ	これまで楽しんでやれていた事が、楽しめなくなった	1	2
ウ	以前は楽にできていた事が、今ではおっくうに感じられる	1	2
エ	自分は役に立つ人間だと思えない	1	2
オ	わけもなく疲れたような感じがする	1	2
カ	悲しかったり、落ち込んだり、憂うつだったりすることが続いている	1	2
キ	仕事や趣味、普段楽しみにしていることなど、たいいていこのことに興味がもてない状態が続いている	1	2
ク	困った時に、相談できる相手がいる	1	2
ケ	自分が寝込んだ時に、自分の身の周りの世話をしてくれる人がいる	1	2

問43 身体的、精神的な負担を考えて、これからも在宅での介護を続けていけると思えますか。(1つに○)

- 1 負担なく、やっていけると思う
- 2 何とかやっていけると思う
- 3 これ以上負担が重くならなければやっていけると思う
- 4 すでにやっていけない状況にあると思う
- 5 わからない

問44 最近6か月の間に、介護が原因で、介護保険の認定を受けているご本人と衝突したことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 相手を侮辱するような言葉を言ったり、威圧的な態度をとったりしたことがある
- 2 介護やお世話を放棄してしまったことがある
- 3 相手を殴ったり蹴ったりしてしまったことがある
- 4 その他の行為 ()
- 5 ない

問45 介護保険の認定を受けているご本人の認知症の状況について、1から8までの番号のうち、もっとも近いものはどれですか。(1つに○)

		見られる症状・行動例
1	認知症はない	
2	何らかの認知症はあるが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している	
3	家庭外で下記の状態が見られる 日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	たびたび道に迷う、買物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスがめだつ 等
4	家庭内でも下記の状態が見られる 日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	服薬管理ができない、電話の応対や訪問者との応対など一人で留守番ができない 等
5	日中を中心として、下記の状態が見られる 日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする	着替え、食事、排せつが上手にできない・時間がかかる やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声、火の不始末、不潔な行為、性的行為 等

6	夜間を中心として、下記の状態が見られる 日常生活に支障を来たすような症状・行動や 意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要 とする	着替え、食事、排せつが上手にでき ない・時間がかかる やたらに物を口に入れる、物を拾い集 める、徘徊、失禁、大声、火の不始 末、不潔な行為、性的行為 等
7	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意 思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必 要とする	上記に同じ
8	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身 体疾患が見られ、専門医療を必要とする	せん妄、妄想、興奮、自傷、他害等 の精神症状や精神症状に起因する問 題行動が継続する状態

その他

介護保険制度、保健福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などございましたら、自由にお書きください。

貴重なお時間を割いてご協力いただき、ありがとうございました。

ご回答いただきました調査票に記入もれがないか、今一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒（切手は不要です）にて

10月31日（月）までにご返送ください



杉並区高齢者実態調査報告書

- ・ 日常生活圏域ニーズ調査
- ・ 介護保険に関する調査

登録印刷物番号

28-0109

平成29年3月発行

【発行】 杉並区保健福祉部高齢者施策課

〒166-8570 東京都杉並区阿佐谷南1-15-1

電話：03-3312-2111（代表）

【集計・分析】 株式会社 アストジェイ

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-7-4

神田374ビル

電話：03-6262-9716（代表）

☆杉並区のホームページでご覧になれます。

<http://www.city.suginami.tokyo.jp>